

令和8年度

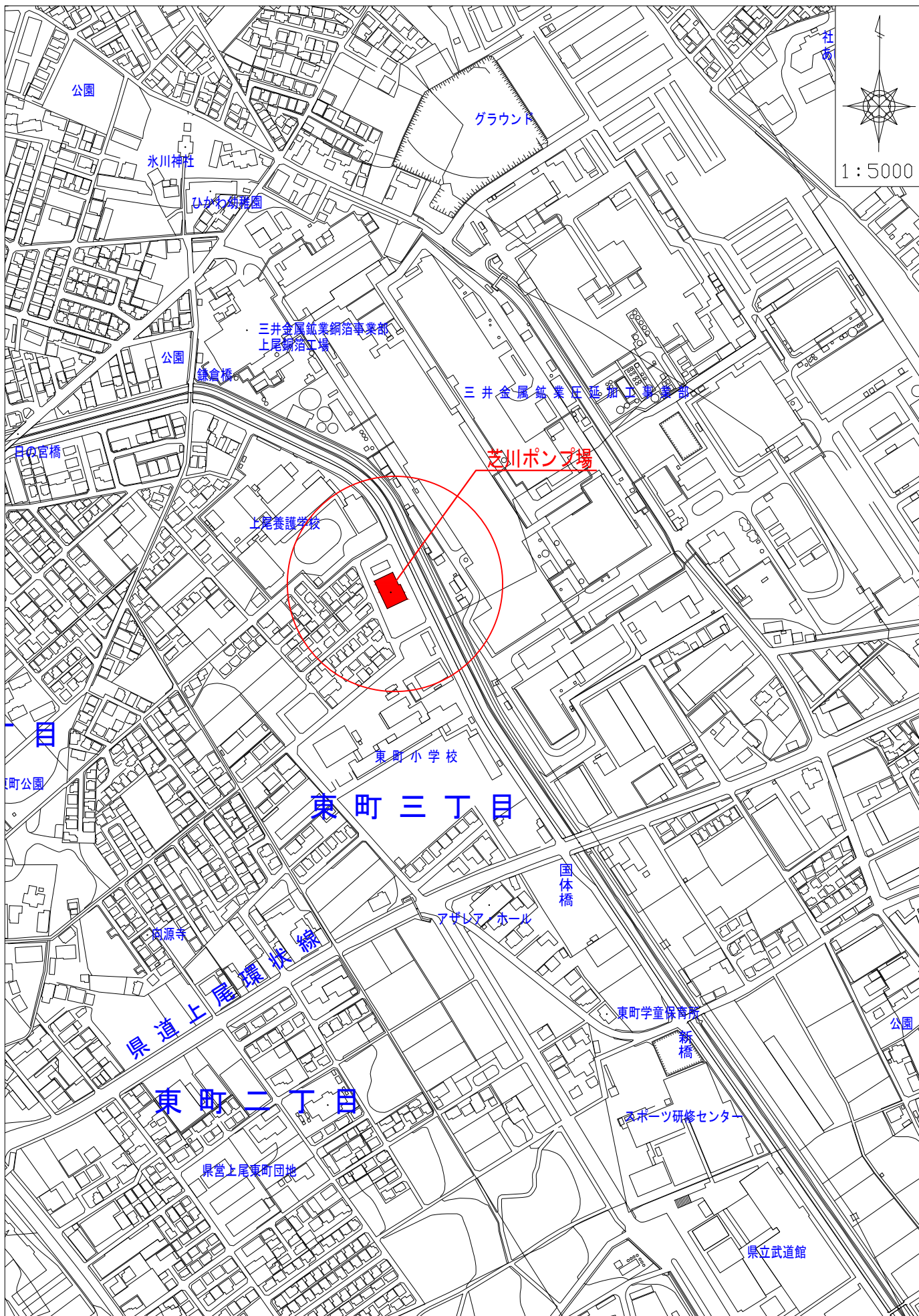
工 事 仕 様 書

- 1 工 事 名 芝川ポンプ場耐震補強工事
- 2 工 事 場 所 芝川ポンプ場
- 3 工 期 契約締結日から令和9年3月31日まで

工 事 の 大 要	耐震補強工(土木) 1式 耐震補強工(建築) 1式 建築電気設備工 1式 プラント電気設備工 1式 建築機械設備工 1式
-----------------	--

変更理由					
備 考					
地 区	県南（北本県土整備）	労務費補正	1.02	機械経費（賃料）補正	1.00
単価適用年月	令和08年07月01日付 公共				
工 期	当初	自		至	
		日数			
	変更			至	
経費適用年月	公共 令和08年度				
主たる工種	耐震補強工事（下水道工事（3））				
設 計	当 初 金 額		変 更 金 額		
	工 事 価 格				
	消費税相当額				
	合 計				
請 負	工 事 価 格				
	消費税相当額				
	合 計				
	請負増減額				
週休2日区分	完全週休2日（土日）補正				

位置図



— 工事場所

本工事費内訳書								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
芝川ポンプ場耐震補強工事								
本工事費								
	土木工(C)							下水道工事(3)
		直接工事費		1	式			
		間接工事費		1	式			
			共通仮設費 (率)	1	式			下水道工事(3) 市街地(DID補正) (1)-3
			技術管理費	1	式			
			小計					
		純工事費		1	式			
			現場管理費	1	式			下水道工事(3) 市街地(DID補正) (1)-3
			小計					
		工事原価		1	式			
		一般管理費等		1	式			

本工事費内訳書								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
土木工工事価格合計				1	式			
	建築工(A・S)							
		直接工事費		1	式			
		共通仮設費		1	式			改修建築工事
		純工事費		1	式			
		現場管理費		1	式			改修建築工事 完全週休2日(土日) 補正係数1.01
		工事原価		1	式			
		一般管理費等		1	式			建築工事
建築工工事価格合計				1	式			

本工事費内訳書								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
	電気設備工(AE)							
		直接工事費		1	式			
		共通仮設費		1	式			改修電気設備工事
		純工事費		1	式			
		現場管理費		1	式			改修電気設備工事 完全週休2日(土日) 補正係数1.01
		工事原価		1	式			
		一般管理費等		1	式			電気設備工事
電気設備工(AE)工事価格合計				1	式			

本工事費内訳書								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
	電気設備工(PE)							
		機器費		1	式			
		直接工事費		1	式			
		間接工事費		1	式			
			共通仮設費	1	式			電気設備工事 完全週休2日(土日) 補正係数1.02
			現場管理費	1	式			電気設備工事 完全週休2日(土日) 補正係数1.03
			据付間接費	1	式			
		据付工事原価		1	式			
		設計技術費		1	式			
		工事原価		1	式			
		一般管理費等		1	式			電気設備工事
電気設備工(PE)工事価格合計				1	式			

本工事費内訳書								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
	建築機械設備工 (AM)							
		直接工事費		1	式			
		共通仮設費		1	式			改修機械設備工事
		純工事費		1	式			
		現場管理費		1	式			改修機械設備工事 完全週休2日(土日) 補正係数1.01
		工事原価		1	式			
		一般管理費等		1	式			機械設備工事
建築機械設備工 (AM) 工事価格合計				1	式			
工事価格合計								土木工(C)+建築工(A・S)+電気 設備工(AE)+電気設備工(PE) +建築機械設備工(AM)
消費税等相当額				1	式			10%
本工事費計								

本工事費内訳書								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
芝川ポンプ場耐震補強工事(土木工事)								
本工事費								
	土木工							
		直接工事費						
			耐震補強工	1	式			第1号内訳書
			開口設置閉塞工	1	式			第2号内訳書
			仮壁設置撤去工	1	式			第3号内訳書
			計					直接工事費
		間接工事費		1	式			共通仮設費＋現場管理費
			共通仮設費（率）	1	式			下水道工事(3) 市街地(DID補正) (1)－3
			技術管理費	1	式			第4号内訳書
			小計					共通仮設費

本工事費内訳書								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		純工事費		1	式			直接工事費＋共通仮設費
			現場管理費	1	式			下水道工事(3) 市街地(DID補正) (1)－3
			小計					現場管理費
		工事原価		1	式			直接工事費＋間接工事費
			一般管理費等	1	式			
工事価格合計								工事原価＋一般管理費等
消費税等相当額				1	式			10%
本工事費計								

第1号内訳書								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		耐震補強工						
			あと施工せん断補強工	1	式			第1号明細書
			撤去工	1	式			第2号明細書
			復旧工	1	式			第3号明細書
		計						耐震補強工

第2号内訳書								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		開口設置閉塞工						
			開口設置工	1	式			第4号明細書
			開口閉塞工	1	式			第5号明細書
		計						開口設置閉塞工

第3号内訳書								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		仮壁設置撤去工						
			仮壁設置工	1	式			第6号明細書
			仮壁撤去工	1	式			第7号明細書
			水替え工	1	式			第8号明細書
			土砂浚渫工	1	式			第9号明細書
		計						仮壁設置撤去工

第4号内訳書								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		技術管理費						
			鉄筋探索工	1	式			第10号明細書
		計						技術管理費

第1号明細書								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
		あと施工せん断補強工						
			あと施工せん断補強 (CCb工法) 【両端先端型】	1	式			見積 数量計算書(土木)あと施工せん断補 強工(梁)(柱)(壁)数量参照
			現場発生品及び支給品積込み・荷卸し トラック[クレーン装置付]ベーストラック2t積、吊能力2.9t	3.020	t			第1号代価表
			現場発生品及び支給品運搬 トラック[クレーン装置付]ベーストラック2t積、 吊能力2.9t DID区間有り 5.0km以下	3.020	t			第2号代価表
			廃材持込料 区分 北本県土整備事務所 適用区分 Co廃材[無 筋]	3.020	t			
			足場工 単管足場 不要	23.290	掛m ²			第3号代価表
			足場工 単管傾斜足場 不要	1.200	掛m ²			第4号代価表
			残水ポンプ排水工 (沈砂池へ排水)	4	回			第5号代価表
		計						あと施工せん断補強工

第2号明細書								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		撤去工						
			構造物とりこわし 無筋構造物 人力施工 制約無 夜間無	1.060	m ³			第8号代価表
			コンクリートはつり 3cm以下	4.750	m ²			第9号代価表
			現場発生品及び支給品積込み・荷卸し トラック[クレーン装置付]ヘーストラック2t積、吊能力2.9t	2.760	t			第1号代価表
			現場発生品及び支給品運搬 トラック[クレーン装置付]ヘーストラック2t積、 吊能力2.9t DID区間有り 5.0km以下	2.760	t			第2号代価表
			廃材持込料 区分 北本県土整備事務所 適用区分 Co廃材[無筋]	2.760	t			
		計						撤去工

第3号明細書								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		復旧工						
			コンクリート 小型構造物 人力打設 18-12-25(20)(高炉)生コン クリート小型車割増無 一般養生 現場内小運搬有り	1.060	m ³			第10号代価表
			型枠 一般型枠 小型構造物	2.460	m ²			第12号代価表
			モルタル金ゴテ仕上げ 床	4.750	m ²			第13号代価表
		計						復旧工

第4号明細書								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		開口設置工						
			コンクリート削孔(さく岩機) 100mm以上200mm未満	4	孔			第15号代価表
			コンクリート削孔(さく岩機) 300mm以上400mm未満	18	孔			第16号代価表
			ワイヤーソーイング [*] 低配筋鉄筋比率0.4%未満	0.600	m ²			積算資料公表価格版
			ワイヤーソーイング [*] 中配筋鉄筋比率0.8%未満	5.550	m ²			積算資料公表価格版
			構造物とりこわし 鉄筋構造物 人力施工 制約無 夜間無	1.430	m ³			第17号代価表
			構造物とりこわし 無筋構造物 人力施工 制約無 夜間無	0.620	m ³			第8号代価表
			現場発生品及び支給品積込み・荷卸し トラック[クレーン装置付]ヘーストラック2t積、吊能力2.9t	4.930	t			第1号代価表
			現場発生品及び支給品運搬 トラック[クレーン装置付]ヘーストラック2t積、 吊能力2.9t DID区間有り 5.0km以下	4.930	t			第2号代価表
			廃材持込料 区分 北本県土整備事務所 適用区分 Co廃材[有筋]	3.500	t			
			廃材持込料 区分 北本県土整備事務所 適用区分 Co廃材[無筋]	1.430	t			
		計						開口設置工

第5号明細書								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		開口閉塞工						
			コンクリートはつり 3cmを超え6cm以下	12.240	m ²			第18号代価表
			現場発生品及び支給品積込み・荷卸し トラック[クレーン装置付]ベーストラック2t積、吊能力2.9t	1.400	t			第1号代価表
			現場発生品及び支給品運搬 トラック[クレーン装置付]ベーストラック2t積、 吊能力2.9t DID区間有り 5.0km以下	1.400	t			第2号代価表
			廃材持込料 区分 北本県土整備事務所 適用区分 Co廃材[無 筋]	1.400	t			
			コンクリート 小型構造物 人力打設 24-12-25(20)(高炉)生コン クリート小型車割増無 一般養生 現場内小運搬有り	2.010	m ³			第19号代価表
			コンクリート 小型構造物 人力打設 18-12-25(20)(高炉)生コン クリート小型車割増無 一般養生 現場内小運搬有り	0.620	m ³			第10号代価表
			耐震改修工事 無収縮モルタル注入【材工共】 試験費共 Fc=30	0.040	m ³			
			型枠 一般型枠 小型構造物	1.440	m ²			第12号代価表
			型枠 化粧型枠 小型構造物	1.440	m ²			第21号代価表
			化粧型枠(材料費) 一般工事ビマス・ワンダー共通	1.440	m ²			第22号代価表
			コンクリート表面処理工(ウォーターショット工 300m2未満 制約無 夜間無 上向無 減額無(単価 に含む)	6.990	m ²			第23号代価表
			鉄筋工[市場単価] 各種 一般構造物 10t未満 制約無 夜間無 トンネル無 法面無 太径 10%未満(補正無) 補正無(一般構造物) D13mm0.995kg/m	22	kg			第24号代価表

			鉄筋工[市場単価] 各種 一般構造物 10t未満 制約無 夜間無 トンネル無 法面無 太径 10%未満(補正無) 補正無(一般構造物) D16mm1.56kg/m	231	kg			第25号代価表
			ARケミカルセッター HPアンカー【材工共】 回転・打撃型 異形鉄筋 I D16×530 横向打(壁)	16	本			
			フレア溶接工 夜間無 制約無 V型溶接 下向き・横向き D13*D13	40	箇所			第26号代価表
			フレア溶接工 夜間無 制約無 V型溶接 下向き・横向き D16*D16	236	箇所			第27号代価表
			[小口]H形鋼(SS400) 広幅 200×200×8×12mm 49.9kg/m	613.770	kg			
			ステンレス鋼 熱間圧延鋼板(SUS304) 厚10×幅2438×長6100mm	658.820	kg			
			ワイヤロープ 1号 A種C/L 6×7 径20mm	10.920	m			
		計						開口閉塞工

第6号明細書								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		仮壁設置工						
			切梁・腹起し設置 火打ちブロック無	2.160	t			第28号代価表
			作業員(補助) 足場等仮設含む	5	日			第29号代価表
			[小口]H形鋼(SS400) 広幅 125×125×6.5×9mm 23.6kg/m	30.210	kg			
			[小口]H形鋼(SS400) 広幅 200×200×8×12mm 49.9kg/m	439.620	kg			
			[小口]溝形鋼(SS400) 大形 6.5×75×150mm 18.6kg/m	1012.770	kg			
			[小口]溝形鋼(SS400) 大形 7.5×80×200mm 24.6kg/m	66.170	kg			
			[小口]等辺山形鋼(SS400) 中形 10×100×100mm 14.9kg/m	30.100	kg			
			[小口]厚板(SPHC又は無規格) 6.0×914×1829	8.480	kg			
			[小口]厚板(SPHC又は無規格) 9~12×914×1829	2.210	kg			
			[小口]厚板(SPHC又は無規格) 9~12×914×1829	102.690	kg			
			[小口]厚板(SPHC又は無規格) 16~25×914×1829	24.730	kg			
			鋼床版現場溶接工 発動発電機 総延長4.3m t=12mm	4.26	m			第31号代価表

			コンクリートアンカー(樹脂カプセル)取付 M10	2	本			第33号代価表
			コンクリートアンカー(樹脂カプセル)取付 M16	14	本			第36号代価表
			コンクリートアンカー(樹脂カプセル)取付 M22	4	本			第38号代価表
			耐震改修工事 無収縮モルタル注入【材工共】 試験費共 $F_c=30$	0.010	m ³			
			シール材	2.03	m			第40号代価表
			シール材(材料費)	2.03	L			第41号代価表
		計						仮壁設置工

第7号明細書								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		仮壁撤去工						
			切梁・腹起し撤去	2.16	t			第42号代価表
			作業員(補助) 足場等仮設含む	3	日			第29号代価表
			桁材2次切断(ガス切断機) 部材厚:20mmまで	4.280	m			第43号代価表
			鉄スクラップ ヘビー H1	-1.550	t			
		計						仮壁撤去工

第8号明細書								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		水替え工						
			残水ポンプ排水工 (沈砂池へ排水)	8	回			第44号代価表
		計						水替え工

第9号明細書								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		土砂浚渫工						
			掘削 土砂 現場制約あり	2.900	m ³			第47号代価表
			人力運搬(積込み~運搬~取卸し) 20m以下	2.900	m ³			第48号代価表
			土砂等運搬 小規模 バックホウ山積0.13m3(平積0.1m3) 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID有り 24.0km以下 良好	2.900	m ³			第49号代価表
			処分費	2.900	m ³			第50号代価表
		計						土砂浚渫工

第10号明細書								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		鉄筋探査工						
			鉄筋探査工 探査方向 下向き 深度200mm程度 距離10m	27.790	m ²			第51号代価表
			鉄筋探査工 探査方向 横向き 深度200mm程度 距離10m	98.590	m ²			第52号代価表
		計						鉄筋探査工

第1号代価表								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		現場発生品及び支給 品積み込み・荷卸し	トラック[クレーン装置付]ヘーストラック2t積、吊能力2.9t					
			トラック クレーン装置付・積載質量 2t積・2.9t吊		供用日			
			特殊運転手		人			週休2日補正
			特殊作業員		人			週休2日補正
			軽油 1.2号 ハトロール給油		L			
		計						現場発生品及び支給品 積み込み・荷卸し

第2号代価表								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		現場発生品及び支給 品運搬	トラック[クレーン装置付]ヘーストラック2t積、吊能力2.9t DID区間有り 5.0km以下					
			トラック クレーン装置付・積載質量 2t積・2.9t吊		供用日			
			特殊運転手		人			週休2日補正
			特殊作業員		人			週休2日補正
			軽油 1.2号 パトロール給油		L			
		計						現場発生品及び支給品 運搬

第3号代価表								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		足場工	単管足場 不要					
			土木一般世話役		人			週休2日補正
			とび工		人			週休2日補正
			普通作業員		人			週休2日補正
			ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ｼﾌﾞ型] 25t吊		日			週休2日補正
			諸雑費		%			足場工仮設材等
		計						100掛㎡当たり
		計						1掛㎡当たり 足場工

第4号代価表								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		足場工	単管傾斜足場 不要					
			土木一般世話役		人			週休2日補正
			とび工		人			週休2日補正
			普通作業員		人			週休2日補正
			ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ｼﾌﾞ型] 25t吊		日			週休2日補正
			諸雑費		%			足場工仮設材等
		計						100掛㎡当たり
		計						1掛㎡当たり 足場工

第5号代価表								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		残水ポンプ排水工	(沈砂池へ排水)					
			ポンプ設置・撤去		日			第6号代価表
			ポンプ運転 排水量0m3/h以上120m3/h未満 揚程10m 発動 発電機 作業時排水		日			第7号代価表
			諸雑費	1	式			調整金
		計						残水ポンプ排水工

第6号代価表								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		ポンプ設置・撤去						
			土木一般世話役		人			週休2日補正
			特殊作業員		人			週休2日補正
			普通作業員		人			週休2日補正
			バックホウ(賃料) バケット容量・山積0.8(平積0.6)m3・吊能力2.9t		日			第1号単価表
			諸雑費	1	式			調整金
		計						ポンプ設置・撤去

第7号代価表								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		ポンプ運転	排水量0m3/h以上120m3/h未満 揚程10m 発動 発電機 作業時排水					
			特殊作業員		人			週休2日補正
			工事用水中モータポンプ(賃料) 径200mm11kW揚程10m		日			第2号単価表
			発動発電機(賃料) 出力45kVA低騒音・超低騒音		日			第3号単価表
			諸雑費		%			ポンプ配管材料の損料 分電盤の賃料等
		計						ポンプ運転

第8号代価表								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		構造物とりこわし	無筋構造物 人力施工 制約無 夜間無					
			構造物とりこわし工 昼間施工[手間のみ] 無筋構造物 人力施工 制約なし	1.000	m ³			
		計						構造物とりこわし

第9号代価表								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		コンクリートはつり	3cm以下					
			空気圧縮機[可搬式・エンジン駆動・スクェ型] 吐出量5.0m3/min		日			週休2日補正
			特殊作業員		人			週休2日補正
			普通作業員		人			週休2日補正
			土木一般世話役		人			週休2日補正
			軽油 1.2号 バトロール給油		L			
		計						コンクリートはつり

第10号代価表								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		コンクリート	小型構造物 人力打設 18-12-25(20)(高炉)生コンクリート小型車割増無 一般養生 現場内小運搬有り					
			普通作業員		人			週休2日補正
			土木一般世話役		人			週休2日補正
			特殊作業員		人			週休2日補正
			生コンクリート 18-12-25(20)(高炉) 生コンクリート小型車割増無	1.060	m ³			第11号代価表
		計						コンクリート

第11号代価表								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		生コンクリート	18-12-25(20)(高炉) 生コンクリート小型車割増無					
			生コンクリート 18-12-25(20) 高炉 (60%以下)	1	m ³			
		計						生コンクリート

第12号代価表								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		型枠	一般型枠 小型構造物					
			型枠工		人			週休2日補正
			普通作業員		人			週休2日補正
			土木一般世話役		人			週休2日補正
		計						型枠

第13号代価表								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		モルタル金ゴテ仕上げ	床					
			左官		人			週休2日補正
			普通作業員		人			週休2日補正
			モルタル練 普通 1:3 ハラ物	0.020	m ³			第14号代価表
		計						モルタル金ゴテ仕上げ

第14号代価表								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		モルタル練	普通 1:3 バラ物					
			普通作業員		人			週休2日補正
			土木一般世話役		人			週休2日補正
			ポルトランドセメント 普通 バラ物	0.530	t			
			コンクリート用砕砂 粒径5~0mm	1.050	m ³			
		計						モルタル練

第15号代価表								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		コンクリート削孔(さく岩機)	100mm以上200mm未満					
			空気圧縮機[可搬式・エンジン駆動・スクェ型] 吐出量3.5~3.7m3/min		日			週休2日補正
			さく岩機[ハントトリル(空圧式)](ハントトリル) 空圧式15kg級		共用日			
			特殊作業員		人			週休2日補正
			普通作業員		人			週休2日補正
			土木一般世話役		人			週休2日補正
			軽油 1.2号 パトロール給油		L			
		計						コンクリート削孔(さく岩機)

第16号代価表								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		コンクリート削孔(さく岩機)	300mm以上400mm未満					
			空気圧縮機[可搬式・エンジン駆動・スクェ型] 吐出量3.5~3.7m3/min		日			週休2日補正
			さく岩機[ハントトリル(空圧式)]〈ハントトリル〉 空圧式15kg級		共用日			
			特殊作業員		人			週休2日補正
			普通作業員		人			週休2日補正
			土木一般世話役		人			週休2日補正
			軽油 1.2号 パトロール給油		L			
		計						コンクリート削孔(さく岩機)

第17号代価表								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		構造物とりこわし	鉄筋構造物 人力施工 制約無 夜間無					
			構造物とりこわし工 昼間施工[手間のみ] 鉄筋構造物 人力施工 制約なし	1.000	m ³			
		計						構造物とりこわし

第18号代価表								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		コンクリートはつり	3cmを超え6cm以下					
			空気圧縮機[可搬式・エンジン駆動・スクェ型] 吐出量5.0m3/min		日			週休2日補正
			特殊作業員		人			週休2日補正
			普通作業員		人			週休2日補正
			土木一般世話役		人			週休2日補正
			軽油 1.2号 バトロール給油		L			
		計						コンクリートはつり

第19号代価表								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		コンクリート	小型構造物 人力打設 24-12-25(20)(高炉)生コンクリート小型車割増無 一般養生 現場内小運搬有り					
			普通作業員		人			週休2日補正
			土木一般世話役		人			週休2日補正
			特殊作業員		人			週休2日補正
			生コンクリート 24-12-25(20)高炉(55%以下) 生コンクリート小型車割増無	1.060	m ³			第20号代価表
		計						コンクリート

第20号代価表								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		生コンクリート	24-12-25(20)高炉(55%以下) 生コンクリート小型車割増無					
			生コンクリート 24-12-25(20) 高炉 (55%以下)	1	m ³			
		計						生コンクリート

第21号代価表								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		型枠	化粧型枠 小型構造物					
			型枠工		人			週休2日補正
			普通作業員		人			週休2日補正
			土木一般世話役		人			週休2日補正
		計						型枠

第22号代価表								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		化粧型枠(材料費)	一般工事ビ・アス・ワンター共通					
			残存型枠 ビ・アス用組立部材(ステンボルトプレート)	1	m ²			
		計						化粧型枠(材料費)

第23号代価表								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		コンクリート表面処理工 (ウォータージェット工)	300m2未満 制約無 夜間無 上向無 減額無(単価 に含む)					
			コンクリート表面処理工(ウォータージェット工)[材工共]	1	m ²			
		計						コンクリート表面処理工 (ウォータージェット工)

第24号代価表								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		鉄筋工[市場単価]	各種 一般構造物 10t未満 制約無 夜間無トンネル 無 法面無 太径10%未満(補正無) 補正無(一般構 造物) D13mm0.995kg/m					
			[小口]異形棒鋼 SD345 D13mm 0.995kg/m		t			
			鉄筋工 加工・組立[手間のみ] 一般構造物		t			
			諸雑費	1	式			調整金
		計						1000kg当たり
		計						1kg当たり 鉄筋工[市場単価]

第25号代価表								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		鉄筋工[市場単価]	各種 一般構造物 10t未満 制約無 夜間無トンネル 無 法面無 太径10%未満(補正無) 補正無(一般構 造物) D16mm1.56kg/m					
			[小口]異形棒鋼 SD345 D16mm 1.56kg/m		t			
			鉄筋工 加工・組立[手間のみ] 一般構造物		t			
			諸雑費	1	式			調整金
		計						1000kg当たり
		計						1kg当たり 鉄筋工[市場単価]

第26号代価表								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		フレア溶接工	夜間無 制約無 V型溶接 下向き・横向き D13* D13					
			フレア溶接工 V型溶接 時間的制約 無 下向き・横向き D13× D13 機・労・材 昼間単価	1	箇所			
		計						フレア溶接工

第27号代価表								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		フレア溶接工	夜間無 制約無 V型溶接 下向き・横向き D16×D16					
			フレア溶接工 V型溶接 時間的制約 無 下向き・横向き D16× D16 機・労・材 昼間単価	1	箇所			
		計						フレア溶接工

第28号代価表								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		切梁・腹起し設置	火打ちブロック無					
			土木一般世話役		人			週休2日補正 夜間(割増×1.5)
			とび工		人			週休2日補正 夜間(割増×1.5)
			溶接工		人			週休2日補正 夜間(割増×1.5)
			普通作業員		人			週休2日補正 夜間(割増×1.5)
			ラフテレーンクレーン(作業料金)(長期割引あり) 25t吊 オペレータ付 日極		台/日			週休2日補正
			諸雑費		%			設置 溶接機、 溶接棒、アセチレンガス等
		計						10t当たり
		計						1t当たり 切梁・腹起し設置

第29号代価表								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		作業員(補助)	足場等仮設含む					
			普通作業員		人			週休2日補正 夜間(割増×1.5)
			足場工 単管足場 必要		掛㎡			第30号代価表
			諸雑費	1	式			調整金
		計						作業員(補助)

第30号代価表								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		足場工	単管足場 必要					
			土木一般世話役		人			週休2日補正 夜間(割増×1.5)
			とび工		人			週休2日補正 夜間(割増×1.5)
			普通作業員		人			週休2日補正 夜間(割増×1.5)
			ラフテレーンクレーン(作業料金)(長期割引あり) 25t吊 オペレータ付 日極		台/日			週休2日補正
			諸雑費		%			足場工仮設材等
		計						100掛㎡当たり
		計						1掛㎡当たり 足場工

第31号代価表								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		鋼床版現場溶接工 発動発電機	総延長4.3m t=12mm					
			橋りょう世話役		人			週休2日補正 夜間(割増×1.5)
			橋りょう特殊工		人			週休2日補正 夜間(割増×1.5)
			鋼床版現場溶接工機械器具損料 燃料費含む		共用日			
			消耗材料費 t=12mm		m			第32号代価表
			諸雑費		%			雑消耗材料、空気圧縮 機、 溶接工具等
		計						100m当たり
		計						1m当たり 鋼床版現場溶接工 発動発電機

第32号代価表								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		消耗材料費	t=12mm					
			鋼床版現場溶接工消耗材料費 12mm	100	m			
		計						100m当たり
		計						1m当たり 消耗材料費

第33号代価表								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		コンクリートアンカー (樹脂カプセル)取付	M10					
			取付孔さく孔	100	本			第34号代価表
			アンカー取付	100	本			第35号代価表
		計						100本当たり
		計						1本当たり コンクリートアンカー (樹脂カプセル)取付

第34号代価表								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		取付孔さく孔						
			土木一般世話役		人			週休2日補正 夜間(割増×1.5)
			特殊作業員		人			週休2日補正 夜間(割増×1.5)
			普通作業員		人			週休2日補正 夜間(割増×1.5)
			発動発電機(賃料) 出力2kVA低騒音型		日			第4号単価表
			諸雑費		%			労務費・機械賃料 諸雑費
		計						100本当たり
		計						1本当たり 取付孔さく孔

第35号代価表								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		アンカー取付						
			接着系カプセル方式アンカー HVU2 M12×110 12.9×135mm	100.000	本			
			全ネジボルト(N・W含む) φ 20.0mm×L300mm	100.000	本			
			土木一般世話役		人			週休2日補正 夜間(割増×1.5)
			特殊作業員		人			週休2日補正 夜間(割増×1.5)
			諸雑費		%			労務費諸雑費
		計						100本当たり
		計						1本当たり アンカー取付

第36号代価表								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		コンクリートアンカー (樹脂カプセル)取付	M16					
			取付孔さく孔	100	本			第34号代価表
			アンカー取付	100	本			第37号代価表
		計						100本当たり
		計						1本当たり コンクリートアンカー (樹脂カプセル)取付

第37号代価表								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		アンカー取付						
			接着系カプセル方式アンカー HVU2 M16×125 16.9×132mm	100.000	本			
			全ネジボルト(N・W含む) φ 20.0mm×L300mm	100.000	本			
			土木一般世話役		人			週休2日補正 夜間(割増×1.5)
			特殊作業員		人			週休2日補正 夜間(割増×1.5)
			諸雑費		%			労務費諸雑費
		計						100本当たり
		計						1本当たり アンカー取付

第38号代価表								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		コンクリートアンカー (樹脂カプセル)取付	M22					
			取付孔さく孔	100	本			第34号代価表
			アンカー取付	100	本			第39号代価表
		計						100本当たり
		計						1本当たり コンクリートアンカー (樹脂カプセル)取付

第39号代価表								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		アンカー取付						
			接着系カプセル方式アンカー HVU2 M24×210 25.7×210mm	100.000	本			
			全ネジボルト(N・W含む) φ 20.0mm×L300mm	100.000	本			
			土木一般世話役		人			週休2日補正 夜間(割増×1.5)
			特殊作業員		人			週休2日補正 夜間(割増×1.5)
			諸雑費		%			労務費諸雑費
		計						100本当たり
		計						1本当たり アンカー取付

第40号代価表								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		シール材						
			普通作業員		人			週休2日補正 夜間(割増×1.5)
			土木一般世話役		人			週休2日補正 夜間(割増×1.5)
		計						シール材

第41号代価表								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		シール材(材料費)						
			弾性シール材	0.002	m ³			
		計						シール材(材料費)

第42号代価表								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		切梁・腹起し撤去	火打ちブロック無					
			土木一般世話役		人			週休2日補正 夜間(割増×1.5)
			とび工		人			週休2日補正 夜間(割増×1.5)
			溶接工		人			週休2日補正 夜間(割増×1.5)
			普通作業員		人			週休2日補正 夜間(割増×1.5)
			ラフテレーンクレーン(作業料金)(長期割引あり) 25t吊 オペレータ付 日極		台/日			週休2日補正
			諸雑費		%			撤去 溶接機、 溶接棒、アセチレンガス等
		計						10t当たり
		計						1t当たり 切梁・腹起し撤去

第43号代価表								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		桁材2次切断(ガス切断機)	部材厚:20mmまで					
			土木一般世話役		人			週休2日補正 夜間(割増×1.5)
			溶接工		人			週休2日補正 夜間(割増×1.5)
			普通作業員		人			週休2日補正 夜間(割増×1.5)
			ラフテレーンクレーン(作業料金)(長期割引あり) 25t吊 オペレータ付 日極		台/日			週休2日補正
			諸雑費		%			労務費諸雑費
		計						10m当たり
		計						1m当たり 桁材2次切断(ガス切断機)

第44号代価表								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		残水ポンプ排水工	(沈砂池へ排水)					
			ポンプ設置・撤去	1.000	日			第45号代価表
			ポンプ運転 排水量0m3/h以上120m3/h未満 揚程10m 発動 発電機 作業時排水	1.000	日			第46号代価表
			諸雑費	1	式			調整金
		計						残水ポンプ排水工

第45号代価表								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		ポンプ設置・撤去						
			土木一般世話役		人			週休2日補正 夜間(割増×1.5)
			特殊作業員		人			週休2日補正 夜間(割増×1.5)
			普通作業員		人			週休2日補正 夜間(割増×1.5)
			バックホウ(賃料) バケット容量・山積0.8(平積0.6)m3・吊能力2.9t		日			第1号単価表
			諸雑費		式			調整金
		計						ポンプ設置・撤去

第46号代価表								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		ポンプ運転	排水量0m3/h以上120m3/h未満 揚程10m 発動 発電機 作業時排水					
			特殊作業員		人			週休2日補正 夜間(割増×1.5)
			工事用水中モータポンプ(賃料) 径200mm11kW揚程10m		日			第2号単価表
			発動発電機(賃料) 出力45kVA低騒音・超低騒音		日			第3号単価表
			諸雑費		%			ポンプ配管材料の損料、 分電盤の賃料等
		計						ポンプ運転

第47号代価表								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		掘削	土砂 現場制約あり					
			普通作業員		人			週休2日補正 夜間(割増×1.5)
		計						掘削

第48号代価表								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		人力運搬 (積込み~運搬~取卸し)	20m以下					
			普通作業員		人			週休2日補正 夜間(割増×1.5)
		計						
		計						人力運搬 (積込み~運搬~取卸し)

第49号代価表								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		土砂等運搬	小規模 バックホウ山積0.13m3(平積0.1m3) 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID有り 24.0km以下 良好					
			ダンプトラック オンロード・ディーゼル・積載質量2t積級		供用日			
			運転手(一般)		人			週休2日補正 夜間(割増×1.5)
			軽油 小型ローリー・パトロール給油 2~4KL積載車		L			
		計						土砂等運搬

第50号代価表								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		処分費						
			中間処理場委託料金 汚泥処理	100.000	m ³			
		計						100m ³ 当たり
		計						1m ³ 当たり 処分費

第51号代価表								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		鉄筋探査工	探査方向 下向き 深度200mm程度 距離10m					
			技師(A)(土木工事)		人			週休2日補正
			技師(B)(土木工事)		人			週休2日補正
			技師(C)(土木工事)		人			週休2日補正
			諸雑費		%			探査機器損料、 消耗品、用紙等
		計						鉄筋探査工

第52号代価表								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		鉄筋探査工	探査方向 横向き 深度200mm程度 距離10m					
			技師(A)(土木工事)		人			週休2日補正
			技師(B)(土木工事)		人			週休2日補正
			技師(C)(土木工事)		人			週休2日補正
			諸雑費		%			探査機器損料、 消耗品、用紙等
		計						鉄筋探査工

第1号単価表								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		バックホウ(賃料)	バケツ容量・山積0.8(平積0.6)m3・吊能力2.9t					
			特殊運転手		人			週休2日補正
			軽油 小型ローリー・バートル給油 2~4KL積載車		L			
			バックホウ・クローラ型クレーン付(賃貸)(長期割引あり) バケツ容量・山積0.8(平積0.6)m3・吊能力2.9t		台/日			週休2日補正
			諸雑費	1	式			調整金
		計						バックホウ(賃料)

第2号単価表								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		工事用水中モータポンプ(賃料)	径200mm11kW揚程10m					
			水中ポンプ(賃貸)(長期割引あり) 径200mm 11kW 揚程10m		基/日			週休2日補正
		計						工事用水中モータポンプ(賃料)

第3号単価表								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		発動発電機(賃料)	出力45kVA低騒音・超低騒音					
			軽油 小型ローリー・パトロール給油 2~4KL積載車		L			
			ディーゼル発電機(賃貸)(長期割引あり) 出力45kVA 低騒音・超低騒音		基/日			週休2日補正
		計						発動発電機(賃料)

第4号単価表								
費目	工種	種別	細別 規格	数量	単位	単 価	金額	摘 要
		発動発電機(賃料)	出力2kVA低騒音型					
			レギュレーガソリン スタント		L			
			ガソリン発電機(賃貸)(長期割引あり) 出力2kVA 低騒音型		基/日			週休2日補正
		計						発動発電機(賃料)

芝川ポンプ場耐震補強工事

数 量 計 算 書 (土木)

令和 8 年

埼 玉 県 上 尾 市

耐震補強工

[illegible]

耐震補強工

[illegible]

種 別	略 図 計 算 式	数 量
耐震補強工		
あと施工せん断補強工		
①梁		
1F Y1通り X1-X2	鉄筋径D13 鉄筋長1140mm 削孔長1140mm 下向き	
	$N = 7.00 \times 2$	= 14.00 本
コンクリート殻処分 削孔径 φ 30mm	$V = 0.030^2 \times \pi / 4 \times 1.140 \times 14$	= 0.011 m ³
1F X2通り Y0-Y2	鉄筋径D16 鉄筋長1259mm(平均値) 削孔長1259mm(平均値) 下向き	
	$N = 8.00 \times 2$	= 16.00 本
コンクリート殻処分 削孔径 φ 30mm	$V = 0.030^2 \times \pi / 4 \times 1.259 \times 16$	= 0.014 m ³
M1F Y1通り X5-X6	鉄筋径D13 鉄筋長640mm 削孔長640mm 下向き	
	$N = 7.00 \times 2$	= 14.00 本
コンクリート殻処分 削孔径 φ 30mm	$V = 0.030^2 \times \pi / 4 \times 0.640 \times 14$	= 0.006 m ³
B1F X2通り Y1-Y2	鉄筋径D13 鉄筋長1374mm 削孔長1374mm 下向き	
	$N = 11.00 \times 2$	= 22.00 本
コンクリート殻処分 削孔径 φ 30mm	$V = 0.030^2 \times \pi / 4 \times 1.374 \times 22$	= 0.021 m ³
B1F X4通り Y1-Y2	鉄筋径D13 鉄筋長1374mm 削孔長1374mm 下向き	
	$N = 11.00 \times 2$	= 22.00 本
コンクリート殻処分 削孔径 φ 30mm	$V = 0.030^2 \times \pi / 4 \times 1.374 \times 22$	= 0.021 m ³

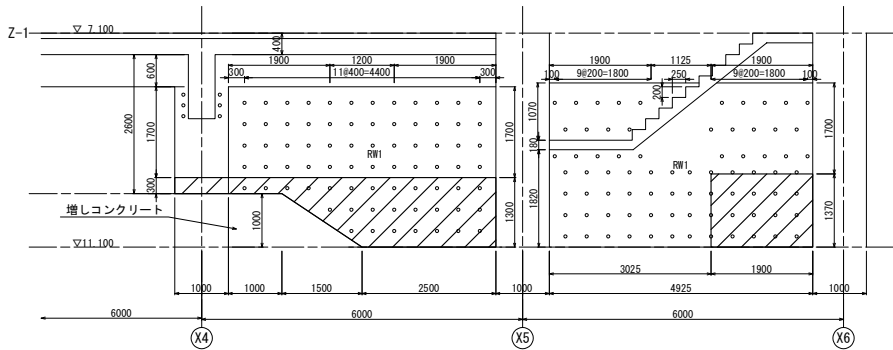
種 別	略 図 計 算 式	数 量
B2F X2通り Y0-Y1	鉄筋径D25 鉄筋長1730mm 削孔長1730mm 下向き	
	$N = 13.00 \times 3$	= 39.00 本
コンクリート殻処分 削孔径 φ 46mm	$V = 0.046^2 \times \pi / 4 \times 1.730 \times 39$	= 0.112 m ³
B2F X3通り Y0-Y1	鉄筋径D25 鉄筋長1730mm 削孔長1730mm 下向き	
	$N = 13.00 \times 4$	= 52.00 本
コンクリート殻処分 削孔径 φ 46mm	$V = 0.046^2 \times \pi / 4 \times 1.730 \times 52$	= 0.150 m ³
B2F X2通り Y1-Y2	鉄筋径D25 鉄筋長1730mm 削孔長1730mm 下向き	
	$N = 17.00 \times 3 + 12.00 \times 2$	= 75.00 本
コンクリート殻処分 削孔径 φ 46mm	$V = 0.046^2 \times \pi / 4 \times 1.730 \times 75$	= 0.216 m ³
B2F X4通り Y1-Y2	鉄筋径D25 鉄筋長2730mm 削孔長2730mm 下向き	
	$N = 8.00 \times 2 \times 2$	= 32.00 本
コンクリート殻処分 削孔径 φ 46mm	$V = 0.046^2 \times \pi / 4 \times 2.730 \times 32$	= 0.145 m ³
B2F Y1通り X5-X6	鉄筋径D29 鉄筋長1730mm 削孔長1730mm 下向き	
	$N = 15.00 \times 4 + 6.00 \times 2$	= 72.00 本
コンクリート殻処分 削孔径 φ 50mm	$V = 0.050^2 \times \pi / 4 \times 1.730 \times 72$	= 0.245 m ³

種 別	略 図 計 算 式	数 量
②柱 B1F Y2-X3	鉄筋径D22 鉄筋長1430mm 削孔長1430mm 横向き	
	$N = 8.00$	$= 8.00 \text{ 本}$
コンクリート殻処分 削孔径 $\phi 36\text{mm}$	$V = 0.036^2 \times \pi / 4 \times 1.430 \times 8$	$= 0.012 \text{ m}^3$
B2F Y2-X4	鉄筋径D16 鉄筋長1430mm 削孔長1430mm 横向き	
	$N = 3.00 \times 2$	$= 6.00 \text{ 本}$
コンクリート殻処分 削孔径 $\phi 30\text{mm}$	$V = 0.030^2 \times \pi / 4 \times 1.430 \times 6$	$= 0.006 \text{ m}^3$
③壁 B1F X0通り Y0-Y2	鉄筋径D22 鉄筋長730mm 削孔長730mm 横向き	
	$N = 6.00 \times 13.00 \times 2 - 2$	$= 154.00 \text{ 本}$
コンクリート殻処分 削孔径 $\phi 36\text{mm}$	$V = 0.036^2 \times \pi / 4 \times 0.730 \times 154$	$= 0.114 \text{ m}^3$
B2F Y2通り X4-X6	鉄筋径D22 鉄筋長630mm 削孔長630mm 横向き	
一般部	$N = 7.00 \times 12.00 - 9 + 4.00 \times 12.00$	$= 123.00 \text{ 本}$
コンクリート殻処分 削孔径 $\phi 36\text{mm}$	$V = 0.036^2 \times \pi / 4 \times 0.630 \times 123$	$= 0.079 \text{ m}^3$
横端部	鉄筋径D22 鉄筋長611mm 削孔長611mm 横向き	
	$N = 5.00 \times 3.00 \times 2 - 1$	$= 29.00 \text{ 本}$
コンクリート殻処分 削孔径 $\phi 36\text{mm}$	$V = 0.036^2 \times \pi / 4 \times 0.611 \times 29$	$= 0.018 \text{ m}^3$

種 別	略 図 計 算 式	数 量
B2F Y0通り X4-X6	鉄筋径D22 鉄筋長630mm 削孔長630mm 横向き	
一般部	$N = 7.00 \times 10.00 + 4.00 \times 12.00 - 8.00 \times 2.00$	= 102.00 本
コンクリート殻処分 削孔径 φ 36mm	$V = 0.036^2 \times \pi / 4 \times 0.630 \times 102$	= 0.065 m ³
横端部	鉄筋径D22 鉄筋長611mm 削孔長611mm 横向き $N = 5.00 \times 3.00 \times 2$	= 30.00 本
コンクリート殻処分 削孔径 φ 36mm	$V = 0.036^2 \times \pi / 4 \times 0.611 \times 30$	= 0.019 m ³
B2F X6通り Y0-Y2	鉄筋径D22 鉄筋長730mm 削孔長730mm 横向き	
	$N = 4.00 \times 13.00 \times 2 - 2.00 \times 13.00$	= 78.00 本
コンクリート殻処分 削孔径 φ 36mm	$V = 0.036^2 \times \pi / 4 \times 0.730 \times 78$	= 0.058 m ³
コンクリート殻処分 合計	無筋構造物	$\Sigma V = 1.312$ m ³
	$W = 1.312 \times 2.30$	= 3.018 t
水替え工 残水ポンプ排水工	揚程 10m B2F水張部(4箇所) $N = 4.0$	= 4.00 回

種 別	略 図 計 算 式	数 量
鉄筋探査工		
下向き		
①梁		
1F Y1通り X1-X2	$A = 0.40 \times 1.40 \times 2$	$= 1.12 \text{ m}^2$
1F X2通り Y0-Y2	$A = 0.30 \times (1.70 + 0.95 + 0.65)$	$= 0.99 \text{ m}^2$
M1F Y1通り X5-X6	$A = 0.35 \times 1.40 \times 2$	$= 0.98 \text{ m}^2$
B1F X2通り Y1-Y2	$A = 0.50 \times 1.70 \times 2 - 0.15 \times 0.35$	$= 1.65 \text{ m}^2$
B1F X4通り Y1-Y2	$A = 0.50 \times 1.70 \times 2 - 0.35 \times 0.50$	$= 1.53 \text{ m}^2$
B2F X2通り Y0-Y1	$A = 1.10 \times (1.20 + 1.45)$	$= 2.92 \text{ m}^2$
B2F X3通り Y0-Y1	$A = 1.10 \times (1.20 + 1.45)$	$= 2.92 \text{ m}^2$
B2F X2通り Y1-Y2	$A = (0.40 + 0.25) \times 2 \times 5.925$	$= 7.70 \text{ m}^2$
B2F X4通り Y1-Y2	$A = (0.40 + 0.25) \times 2 \times (1.50 + 0.25) \times 2$	$= 4.55 \text{ m}^2$
B2F Y1通り X5-X6	$A = 0.775 \times (4.275 + 0.15)$	$= 3.43 \text{ m}^2$
	合計=	27.79 m^2
横向き		
①柱		
B1F Y2-X3	$A = 0.25 \times (0.15 + 1.40 + 0.25)$	$= 0.45 \text{ m}^2$
B2F Y2-X4	$A = (0.16 + 0.09) \times (0.15 + 0.40 + 0.25)$	$= 0.20 \text{ m}^2$
②壁		
B1F X0通り Y0-Y2	$A = (0.20 + 2.20 + 0.25) \times 6.425 \times 2 - 0.15 \times (1.75 + 2.615) - 0.18 \times 0.50$	$= 33.31 \text{ m}^2$
B2F Y2通り X4-X6	$A = 5.00 \times 3.00 - 1.00 \times 1.00 - 1.50 \times 1.00 / 2 + 4.925 \times (1.40 + 1.67) - (1.125 - 0.25 \times 2) \times (1.57 - 0.25) - 0.18 \times (1.565 + 0.335 + 0.25 \times 2) - 0.20 \times 0.25 \times 2$	$= 27.01 \text{ m}^2$
B2F Y0通り X4-X6	$A = (2.50 + 1.50) \times 3.00 + 4.925 \times (1.40 + 1.67) - 3.195 \times 0.93 - (1.125 - 0.25 \times 2) \times (1.57 - 0.25)$	$= 23.32 \text{ m}^2$
B2F X6通り Y0-Y2	$A = (0.20 + 1.40) \times (6.425 + 3.91 + 2.335) - 0.93 \times 6.425$	$= 14.30 \text{ m}^2$
	合計=	98.59 m^2
足場工		
単管足場		
①壁		
B1F X0通り Y0-Y2	$A = 0.70 \times (3.81 + 6.425)$	$= 7.16 \text{ 掛m}^2$
B2F Y2通り X4-X6	$A = 0.30 \times (1.00 + 1.00) + 1.30 \times 2.50 + 1.37 \times 1.90$	$= 6.45 \text{ 掛m}^2$
B2F Y0通り X4-X6	$A = 1.30 \times (2.50 + 1.50) + 0.44 \times 1.90 \times 2 + 0.93 \times (1.50 + 0.23) + 0.80 \times 1.50$	$= 9.68 \text{ 掛m}^2$
	合計=	23.29 掛m^2
単管傾斜足場		
①壁		
B2F Y2通り X4-X6	$A = (0.30 + 1.30) \times 1.50 / 2$	$= 1.20 \text{ 掛m}^2$

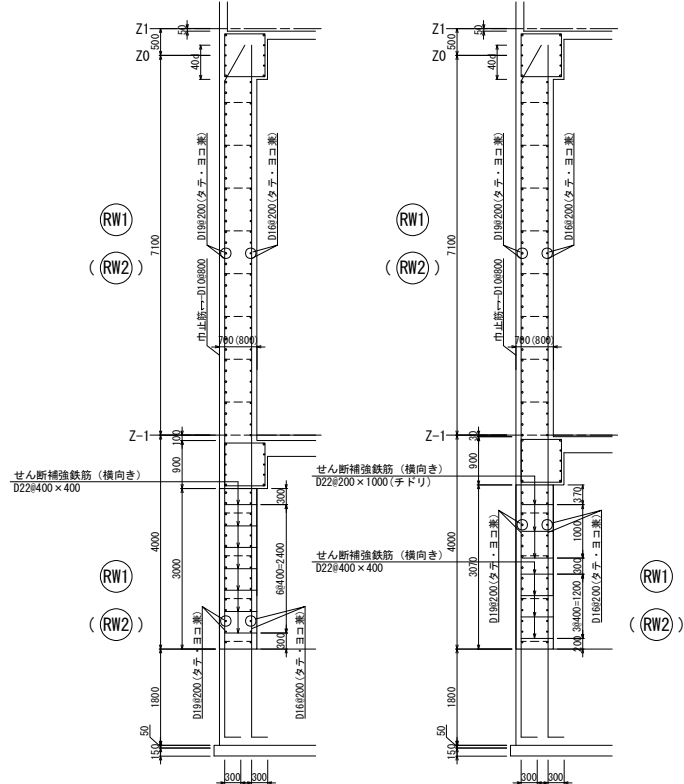
芝川ポンプ場足場工根拠図(2)



A-A断面図 1/50

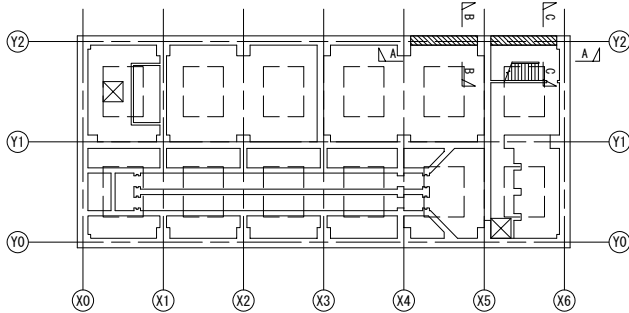
地下壁リスト

[注記]・() 内寸法は隅2を示す。



B-B断面図 1/50

C-C断面図 1/50

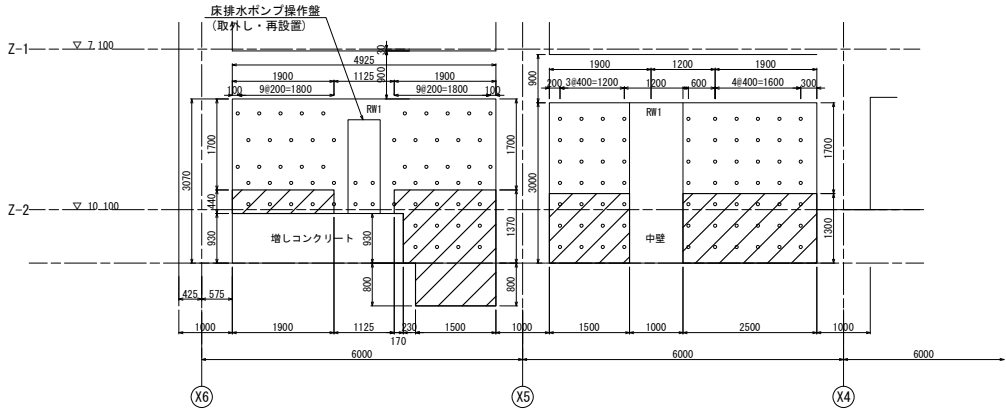


位置図
(B2F平面図)

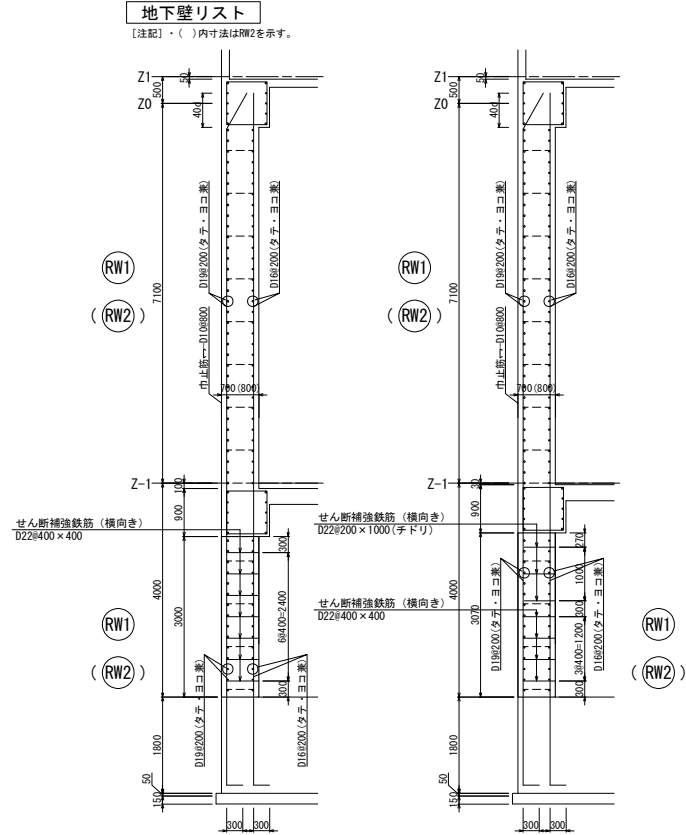
凡例
: 足場範囲

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	芝川ポンプ場足場工根拠図 壁(2)		
作成年月日	令和8年3月		
縮尺	1/50	図面番号	
会社名	株式会社 日建技術コンサルタント		
事業者名	埼玉県 上尾市		

芝川ポンプ場足場工根拠図(3)

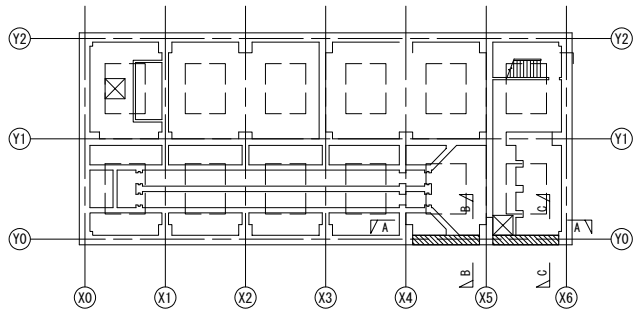


A-A断面図 1/50



B-B断面図 1/50

C-C断面図 1/50



位置図
(B2F平面図)

凡例
: 足場範囲

工事名	芝川ポンプ場増設補強工事		
図面名	芝川ポンプ場足場工根拠図(3)		
作成年月日	令和8年3月		
縮尺	1/50	図面番号	
会社名	株式会社 日建技術コンサルタント		
事業者名	埼玉県 上尾市		

種 別	略 図 計 算 式	数 量
撤去工		
コンクリートとりこわし工 無筋構造物		
①梁		
1F Y1通り X1-X2	$V = 0.40 \times 1.40 \times 0.10 \times 2 + ((0.30 + 0.225) \times 0.40) - (0.30 \times 0.20) \times 0.40$	= 0.30 m ³
1F X2通り Y1-Y2	$V = 0.30 \times (0.95 \times 0.30 + 0.65 \times 0.10)$	= 0.11 m ³
B1F X2通り Y1-Y2	$V = 0.50 \times (1.70 + 1.55) \times 0.10 - 0.15 \times 0.35 \times 0.10$	= 0.16 m ³
B1F X4通り Y1-Y2	$V = 0.50 \times (1.70 + 1.55) \times 0.10 - 0.35 \times 0.50 \times 0.10$	= 0.15 m ³
B2F X2通り Y0-Y1	$V = 1.10 \times (0.20 \times 0.30 / 2 \times 2 + ((0.20 + 0.16) \times 2 + 0.24) \times 0.10)$	= 0.17 m ³
B2F X3通り Y0-Y1	$V = 1.10 \times (0.20 \times 0.30 / 2 \times 2 + ((0.20 + 0.16) \times 2 + 0.24) \times 0.10)$	= 0.17 m ³
	合計=	1.06 m ³
コンクリートはつり工 t=3cm以下		
①梁		
1F X2通り Y0-Y1	$A = 0.30 \times 1.70$	= 0.51 m ²
M1F Y1通り X5-X6	$A = 0.35 \times (1.25 + 1.40)$	= 0.93 m ²
B2F Y1通り X5-X6	$A = 0.775 \times 4.275$	= 3.31 m ²
	合計=	4.75 m ²
コンクリート殻処分工 無筋構造物	$V = 1.06 + 4.75 \times 0.03$	= 1.20 m ³
	$W = 1.20 \times 2.30$	= 2.76 t
復旧工		
コンクリート工 無筋コンクリート	コンクリートとりこわし工と同量	
	V =	= 1.06 m ³
型枠工 一般型枠		
①梁		
1F Y1通り X1-X2	$A = 0.40 \times 0.40$	= 0.16 m ²
B1F X2通り Y1-Y2	$A = 0.50 \times 0.10$	= 0.05 m ²
B1F X4通り Y1-Y2	$A = 0.50 \times 0.10$	= 0.05 m ²
B2F X2通り Y0-Y1	$A = 1.10 \times 0.10 \times 4 + 1.10 \times 0.30 \times 2$	= 1.10 m ²
B2F X3通り Y0-Y1	$A = 1.10 \times 0.10 \times 4 + 1.10 \times 0.30 \times 2$	= 1.10 m ²
	合計=	2.46 m ²
モルタル金ゴテ仕上げ工 床面	コンクリートはつり工と同量	
	A =	= 4.75 m ²

仮設開口設置閉塞工

工 種		単位	数 量	摘 要
芝川ポンプ場				
開口設置工				
コンクリート削孔工				
横向き	φ 50 t=150mm	孔	4	開口E
下向き	φ 50 t=300mm	孔	18	開口A～D
ワイヤーソーイング工				
	低配筋（鉄筋比率0.4%未満）	m ²	0.60	開口E
	中配筋（鉄筋比率0.8%未満）	m ²	5.55	開口A～D
コンクリートとりこわし工				
	鉄筋構造物	m ³	1.43	
	無筋構造物	m ³	0.62	
コンクリート殻運搬・処分工		t	4.93	合計（鉄筋+無筋）
	鉄筋構造物	m ³	1.43	
		t	3.50	
	無筋構造物	m ³	0.62	
		t	1.43	
開口閉塞工				
コンクリートはつり工	t=100mm	m ²	6.12	
	t=30～60mm	m ²	12.24	積算用数量(×2)
コンクリート殻運搬・処分工				
	無筋構造物	m ³	0.61	
		t	1.40	
コンクリート工				
	鉄筋コンクリート	m ³	2.01	
	無筋コンクリート	m ³	0.62	
無収縮モルタル注入工	Fc=30	m ³	0.04	材工共
型枠工				
	一般型枠	m ²	1.44	
	化粧型枠	m ²	1.44	
コンクリート表面処理工		m ²	6.99	
鉄筋工				
本体配筋	SD345 D13	kg	22.00	
	SD345 D16	kg	231.00	
あと施工アンカー	D16用 横向き	本	16	削孔長L=170mm
フレア溶接	D13	箇所	40	
	D16	箇所	236	

進入用開口設置閉塞工

[illegible]

種 別	略 図 計 算 式	数 量
開口設置工		
コンクリート削孔工	横向き $\phi 50$ $t=150\text{mm}$ $N =$	$=$ 4 孔
	下向き $\phi 50$ $t=300\text{mm}$ $N = 4 \times 3 + 6$	$=$ 18 孔
ワイヤーソーイング工	低配筋（鉄筋比率0.4%未満） $A = 1.00 \times 0.15 \times 4$	$=$ 0.60 m^2
	中配筋（鉄筋比率0.8%未満） $A = 1.00 \times 0.30 \times 4 \times 3 + (2.50 \times 2 + 0.50 \times 3) \times 0.30$	$=$ 5.55 m^2
コンクリートとりこわし工	鉄筋構造物	合計 $=$ 1.43 m^3
	$V = 1.00 \times 1.00 \times 0.15$	$=$ 0.15 m^3
	$V = 1.00 \times 1.00 \times 0.30 \times 3$	$=$ 0.90 m^3
	$V = 2.50 \times 0.50 \times 0.30$	$=$ 0.38 m^3
	無筋構造物	合計 $=$ 0.62 m^3
	$V = 1.20 \times 1.20 \times 0.10 \times 3$	$=$ 0.43 m^3
	$V = 2.70 \times 0.70 \times 0.10$	$=$ 0.19 m^3
コンクリート殻運搬・処分工	鉄筋構造物	$=$ 1.43 m^3
	$W = 1.43 \times 2.45$	$=$ 3.50 t
	無筋構造物	$=$ 0.62 m^3
	$W = 0.62 \times 2.30$	$=$ 1.43 t

種 別	略 図 計 算 式	数 量
開口閉塞工		
コンクリートはつり工 t=100mm	合計=	6.12 m ²
	A = (1.00+1.20)×0.15×2 =	0.66 m ²
	A = (1.00+1.20)×0.30×2×3 =	3.96 m ²
	A = 2.50×2×0.30 =	1.50 m ²
コンクリート殻運搬・処分工		
無筋構造物		
V = 6.12×0.10 =		0.61 m ³
W = 0.61×2.30 =		1.40 t
コンクリート工	鉄筋コンクリート	合計= 2.01 m ³
	V = 1.20×(1.20-0.20)×0.15 =	0.18 m ³
	V = 1.20×1.20×0.30×3 =	1.30 m ³
	V = 2.50×0.70×0.30 =	0.53 m ³
	無筋コンクリート	合計= 0.62 m ³
	V = 1.20×1.20×0.10×3 =	0.43 m ³
	V = 2.70×0.70×0.10 =	0.19 m ³
無収縮モルタル注工 Fc=30	V = 1.20×0.20×0.15 =	0.04 m ³
型枠工	一般型枠	
	A = 1.20×1.20 =	1.44 m ²
	化粧型枠	
	A = 1.20×1.20 =	1.44 m ²
コンクリート表面処理工	合計=	6.99 m ²
	A = 1.20×0.15×3 =	0.54 m ²
	A = 1.20×0.30×4×3 =	4.32 m ²
	A = (2.50×2+0.70×3)×0.30 =	2.13 m ²

種 別	略 図 計 算 式	数 量
鉄筋工 (SD345)	鉄筋加工表より	
	D13 =	22.00 kg
	D16 =	231.00 kg
	あと施工アンカー D16用 横向き 削孔長L=170mm 8×2	16 本
	フレア溶接 D13 20×2	40 箇所
	D16 (34+84)×2	236 箇所
仮設材 H形鋼 (SS400) 広幅 200×200×8×12mm 支持材 吊鋼材	単位重量：49.9kg/m	
	W = (1.20×2+2.50×2)×49.9	= 369.26 kg
	W = (1.60+1.10×3)×49.9	= 244.51 kg
	合計=	613.77 kg
受枠 ステンレス鋼 熱間圧延鋼板 (SUS304) (t=10mm)	単位重量：79.28kg/m ²	
	A = 1.40×1.40×3+2.70×0.90	= 8.31 m ²
	W = 8.31×79.28	= 658.82 kg
吊材 ワイヤロープ1号 A種C/L (6×7 径20mm)		
	L = (0.20 + (0.20×2+0.40+0.01)×2) × (3+1×3)	= 10.92 m

仮壁設置撤去工

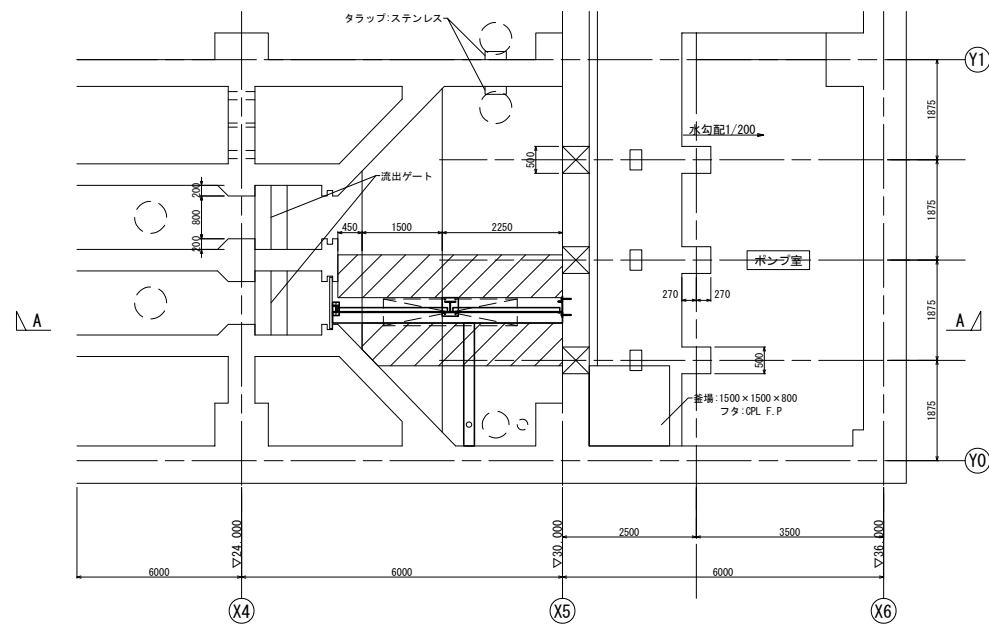
工 種		単位	数 量	摘 要
芝川ポンプ場				
仮壁設置工				
切梁腹起し設置工		t	2.16	
H形鋼(SS400) 広幅				
125×125×6.5×9mm	kg	30.21	23.6kg/m	
200×200×8×12mm	kg	439.62	49.9kg/m	
溝形鋼(SS400) 大形				
6.5×75×150mm	kg	1,012.77	18.6kg/m	
7.5×80×200mm	kg	66.17	24.6kg/m	
等辺山形鋼(SS400) 中形				
10×100×100mm	kg	30.10	14.9kg/m	
鋼板 厚板(SPHC又は無規格)				
PL-6 (6.0×914×1829)	kg	8.48	47.1kg/m ²	
PL-9 (9~12×914×1829)	kg	2.21	70.6kg/m ²	
PL-12 (9~12×914×1829)	kg	102.69	94.2kg/m ²	
PL-30 (16~25×914×1829)	kg	24.73	235.5kg/m ²	
現場溶接工	t=12mm	m	4.26	
あと施工アンカー工	M10 L=100	本	2.0	
	M16 L=160	本	14.0	
	M22 L=220	本	4.0	
無収縮モルタル注工	Fc=30	m ³	0.01	材工共
シール材	弾性シール材	m	2.03	
仮設足場工	単管足場	掛m ²	18.6	
仮壁撤去工				
切梁腹起し撤去工		t	2.16	
鉄スクラップ処分	へビーH1	t	1.55	
桁材2次切断工	t=20mm以下	m	4.28	ガス切断機
仮設足場工	単管足場	掛m ²	18.6	
水替え工				
残水ポンプ排水工	揚程 10m	回	8.0	設置時(5回)+撤去時(3回)
土砂浚渫工				
掘削工	人力施工	m ³	2.9	
発生土処分工		m ³	2.9	

種 別	略 図 計 算 式	数 量
仮壁設置工 切梁腹起し設置工 材料 H形鋼(SS400) 広幅	$125 \times 125 \times 6.5 \times 9\text{mm} \quad 23.6\text{kg/m}$ $W = 1.28 \times 23.6 = 30.21 \text{ kg}$	
	$200 \times 200 \times 8 \times 12\text{mm} \quad 49.9\text{kg/m}$ $W = (2.66 + 4.30 + 1.85) \times 49.9 = 439.62 \text{ kg}$	
溝形鋼(SS400) 大形	$6.5 \times 75 \times 150\text{mm} \quad 18.6\text{kg/m}$ $W = (2.00 \times 18 + 2.05 \times 9) \times 18.6 = 1012.77 \text{ kg}$	
	$7.5 \times 80 \times 200\text{mm} \quad 24.6\text{kg/m}$ $W = 2.69 \times 24.6 = 66.17 \text{ kg}$	
等辺山形鋼(SS400) 中形	$10 \times 100 \times 100\text{mm} \quad 14.9\text{kg/m}$ $W = 2.02 \times 14.9 = 30.10 \text{ kg}$	
鋼板 厚板(SPHC又は無規格)	$\text{PL-6} (6.0 \times 914 \times 1829) \quad 47.1\text{kg/m}^2$ $W = 0.18 \times 0.10 \times 10 \times 47.1 = 8.48 \text{ kg}$	
	$\text{PL-9} (9 \sim 12 \times 914 \times 1829) \quad 70.6\text{kg/m}^2$ $W = 0.125 \times 0.25 \times 70.6 = 2.21 \text{ kg}$	
	$\text{PL-12} (9 \sim 12 \times 914 \times 1829) \quad 94.2\text{kg/m}^2$ $W = ((1.528 + 0.885) / 2 \times 0.60 + (0.885 + 0.060) / 2 \times 0.775) \times 94.2 = 102.69 \text{ kg}$	
	$\text{PL-30} (16 \sim 25 \times 914 \times 1829) \quad 235.5\text{kg/m}^2$ $W = 0.35 \times 0.30 \times 235.5 = 24.73 \text{ kg}$	
	合計 =	1,716.98 kg
	副部材(A):主部材×0.22、副部材(B):主部材×0.04 $W = 1716.98 \times 1.26 / 1000 = 2.16 \text{ t}$	

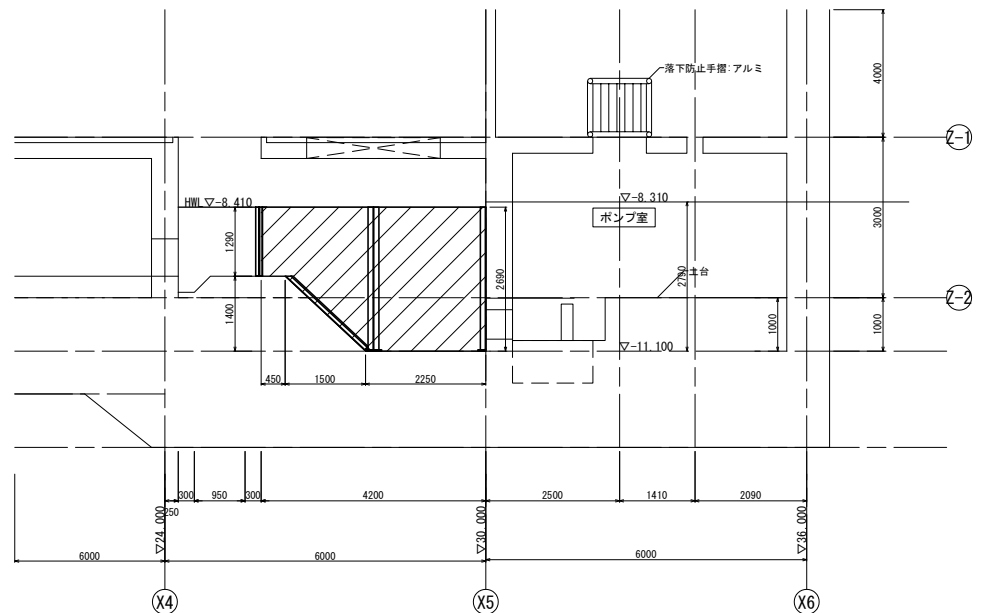
種 別	略 図 計 算 式	数 量
現場溶接工	鋼板 $t=12\text{mm}$ 隅肉溶接 $L = 2.008+1.37+0.885$	$= 4.26 \text{ m}$
あと施工アンカー工	M10 $L=100$ $N = 2.00$	$= 2.00 \text{ 本}$
	M16 $L=160$ $N = 10+4$	$= 14.00 \text{ 本}$
	M22 $L=220$ $N = 4.00$	$= 4.00 \text{ 本}$
無収縮モルタル注入工	Fc=30 $V = 1.80 \times 0.20 \times 0.03$	$= 0.01 \text{ m}^3$
シール材	弾性シール材 厚 10mm $L = 2.025$	$= 2.03 \text{ m}$
仮設足場工	単管足場（止水壁両側に配置する） $A = (2.69 \times 2.25 + (1.29 + 2.69) / 2 \times 1.50) \times 2 + 1.29 \times 0.45$	$= 18.6 \text{ 掛m}^2$

種 別	略 図 計 算 式	数 量
仮壁撤去		
切梁腹起し撤去工	$W = 1716.98 \times 1.26 / 1000$	$= 2.16 \text{ t}$
鉄スクラップ処分 ヘビーH1	H形鋼 125×125×6.5×9mm 23.6kg/m	
	$W = 1.28 \times 23.6 / 1000$	$= 0.03 \text{ t}$
	H形鋼 200×200×8×12mm 49.9kg/m	
	$W = (2.66 + 4.30 + 1.85) \times 49.9 / 1000$	$= 0.44 \text{ t}$
	溝形鋼 150×75×6.5×10 18.6kg/m	
	$W = (2.00 \times 18 + 2.05 \times 9) \times 18.6 / 1000$	$= 1.01 \text{ t}$
	溝形鋼 200×80×7.5×11 24.6kg/m	
	$W = 2.69 \times 24.6 / 1000$	$= 0.07 \text{ t}$
	PL-6 180×100	
	合計	$= 1.55 \text{ t}$
桁材2次切断工	t=20mm以下	
	$L = 2.015 + 1.375 + 0.885$	$= 4.28 \text{ m}$
仮設足場工	単管足場（止水壁両側に配置する）	
	$A = (2.69 \times 2.25 + (1.29 + 2.69) / 2 \times 1.50) \times 2 + 1.29 \times 0.45$	$= 18.6 \text{ 掛m}^2$
水替え工		
残水ポンプ排水工	揚程 10m 設置時(5回)+撤去時(3回)	
	$N = 5.0 + 3.0$	$= 8.00 \text{ 回}$
土砂浚渫工		
掘削工	人力施工（ポンプ井内に20cm堆積と仮定する）	
	$V = (2.25 \times 6.725 - 0.50 \times 0.80 - 0.04 \times 0.04 / 2 - 0.26 \times 0.25 / 2) \times 0.20$	$= 2.9 \text{ m}^3$
発生土処分工		$V = 2.9 \text{ m}^3$

芝川ポンプ場足場工根拠図(4)



地下2階平面図 1/50

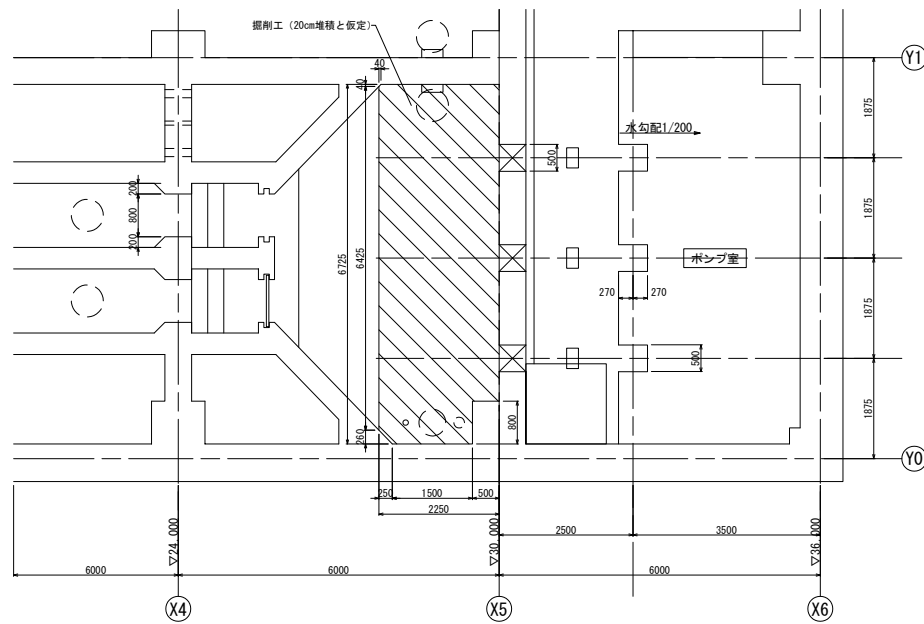


A-A断面図 1/50

凡例
: 足場範囲

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	芝川ポンプ場足場工根拠図(4)		
作成年月日	令和8年3月		
縮尺	1/50	図面番号	
会社名	株式会社 日建技術コンサルタント		
事業者名	埼玉県 上尾市		

芝川ポンプ場土砂浚渫工根拠図



地下2階平面図 1/50

凡例

 : 掘削工範囲

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	芝川ポンプ場土砂浚渫工根拠図		
作成年月日	令和8年3月		
縮尺	1/50	図面番号	
会社名	株式会社 日建技術コンサルタント		
事業者名	埼玉県 上尾市		

建築工(A・S) 仕様書

費目	工種	種別	細別・規格	数量	単位	単価	金額	摘要
直接工事費	建築工事							
		耐震補強等工事		1	式			建築工事小計より
		別紙明細書		1	式			別紙明細書より
	計							

建築工(A・S) 仕様書

費目	工種	種別	細別・規格	数量	単位	単価	金額	摘要
直接工事費				1	式			
	共通仮設費率							改修建築工事
	共通仮設費			1	式			一円未満切り捨て
純工事費	(直接工事費＋共通仮設費)			1	式			
	現場管理費率							改修建築工事
	完全週休2日(土日)補正＝現場管理費率×1.01							
	現場管理費			1	式			一円未満切り捨て
工事原価	(純工事費＋現場管理費)							
	一般管理費等率							建築工事
	一般管理費等			1	式			一円未満切り捨て
工事価格	(工事原価＋一般管理費等)			1	式			
	消費税相当額			10	%			
	計							

費目	工種	種別	細別・規格	数量	単位	単価	金額	摘要
建築工事	直接仮設工事			1	式			
	配筋工事			1	式			
	型枠工事			1	式			
	コンクリート工事			1	式			
	防水工事			1	式			
	木工事			1	式			
	金属工事			1	式			
	ガラス工事			1	式			
	左官工事			1	式			
	塗装工事			1	式			
	内装工事			1	式			
	ユニット他工事			1	式			
	撤去工事			1	式			
	発生材処分			1	式			

費目	工種	種別	細別・規格	数量	単位	単価	金額	摘要
	建築工事小計							

費目	工種	種別	細別・規格	数量	単位	単価	金額	摘要
	直接仮設工事	墨出し	躯体 RC	73.9	延m2			
	直接仮設工事	清掃跡片付け		131.6	延m2			
	直接仮設工事	周囲養生	仕上用	119.9	延m2			
	直接仮設工事	桝組本足場手摺先行w600	耐震壁施工用3ヶ月	135.1	架m2			
	直接仮設工事	桝組本足場手摺先行 w 600	耐震壁施工用1ヶ月	146.9	架m2			
	直接仮設工事	床養生シート張り	作業員通路用（2重張り）	30.8	延m2			
	直接仮設工事	桝組本足場手摺先行w900	作業員外部通路用4ヶ月	29.2	架m2			
	直接仮設工事	脚立足場	内装改修室用	16.1	延m2			
	直接仮設工事	配線ケーブル養生	操作室床ピット内 （型桝合板）	1.2	m2			
	計							

費目	工種	種別	細別・規格	数量	単位	単価	金額	摘要
	配筋工事	鉄筋D10（所要数量）	所要数量＝設計数量 1469.8kg×104%）	1,529.0	kg			
	配筋工事	鉄筋D13（所要数量）	所要数量＝設計数量 340.9kg×104%）	355.0	kg			
	配筋工事	スパイラル筋75		18.0	m			
	配筋工事	スパイラル筋100		143.6	m			
	配筋工事	スパイラル筋200		24.1	m			
	配筋工事	鉄筋加工手間		2.0	t			
	計							

費目	工種	種別	細別・規格	数量	単位	単価	金額	摘要
	型枠工事	耐震補強壁用	開口周囲小口ふさぎ 含む	274.9	m2			
	型枠工事	無収縮モルタル注入用	注入口および目張り 対応	58.0	m			
	型枠工事	化粧目地（20x20）	外壁：開口部閉塞部 周囲	10.6	m			
	型枠工事	型枠運搬費		274.9	m2			
	計							

費目	工種	種別	細別・規格	数量	単位	単価	金額	摘要
	コンクリート工事	普通コンクリート	Fc21-18S	40.7	m3			
	コンクリート工事	打設手間（ポンプ車）	耐震補強壁 流し込み	40.7	m3			
	コンクリート工事	無収縮モルタル	FC30	2.0	m3			
	コンクリート工事	無筋コンクリート	Fc18-15S	3.2	m3			
	コンクリート工事	打設手間（ポンプ車）	床：土間コンクリート	3.2	m3			
	コンクリート工事	コンクリートポンプ車（基本料のみ）	各回30m3未満	4.0	回			
	計							

費目	工種	種別	細別・規格	数量	単位	単価	金額	摘要
	防水工事	シーリング（耐震スリット用）	MS-2：20×10mm	3.8	m			
	計							

費目	工種	種別	細別・規格	数量	単位	単価	金額	摘要
	木工事	木軸壁（仮設間仕切り壁用）	耐震工事各区画封鎖用	186.9	m2			
	木工事	床板張り（耐水合板）	耐水合板Ⅰ種	2.5	m2			
	木工事	上り框（木製）	タモ材・塗装品	1.3	m			
	計							

費目	工種	種別	細別・規格	数量	単位	単価	金額	摘要
	金属工事	アンカー上向き（差し筋）D10	差し筋上D10	325.0	本			
	金属工事	アンカー横向き（差し筋）D10	差し筋横D10	335.0	本			
	金属工事	アンカー下向き（差し筋）D10	差し筋下D10	305.0	本			
	金属工事	アンカー上向き（差し筋）D13	差し筋上D13	51.0	本			
	金属工事	アンカー下向き（差し筋）D13	差し筋下D13	51.0	本			
	金属工事	アンカー横向き（シアコネクタ）	シアコネクタ横M12	1,385.0	本			
	金属工事	LGS天井下地	（19形直貼り）	17.6	m2			
	金属工事	LGS天井下地	（19形捨貼り）	2.0	m2			
	金属工事	LGS壁下地	（65形）直貼り	11.4	m2			
	金属工事	LGS天井開口補強	（600x600）	2.0	箇所			
	金属工事	LGS壁開口補強	（800x1800）	1.0	箇所			
	金属工事	天井点検口	（600x600）額縁タイプ	2.0	箇所			
	計							

費目	工種	種別	細別・規格	数量	単位	単価	金額	摘要
	ガラス工事	GA-1_複層合わせ	PW6.8+A6+FL3&FL3	4.1	m2			一位代価表_01
	ガラス工事	GA-2_網入り合わせ	PW6.8&FL6	12.3	m2			
	ガラス工事	GA-3_合わせ厚10	FL5&FL5	8.0	m2			
	ガラス工事	GA-4_合わせ厚10	FL5&FL5	64.1	m2			
	ガラス工事	GA-5_合わせ厚6	FL3&FL3	3.7	m2			
	ガラス工事	ガラス留めシーリング	5mm x 5mm シリコン1成分系	225.0	m			
	計							

費目	工種	種別	細別・規格	数量	単位	単価	金額	摘要
	左官工事	モルタル金ゴテ	床：木ゴテ	12.9	m2			
	左官工事	モルタル金ゴテ	床：張物下地用	5.8	m2			
	左官工事	モルタル金ゴテ	壁	246.9	m2			
	左官工事	モルタル金ゴテ	天井	5.0	m2			
	左官工事	複層仕上塗材RE	ゆず肌 ローラー塗 下地調整共	3.5	m2			一位代価表_02
	左官工事	躯体断面欠損補修	□200深100程度	30.0	箇所			一位代価表_07
	計							

費目	工種	種別	細別・規格	数量	単位	単価	金額	摘要
	塗装工事	EP塗_モルタル壁	素地ごしらえB種含む	263.9	m2			
	塗装工事	EP塗_モルタル天井	素地ごしらえB種含む	5.0	m2			
	塗装工事	EP塗_ボード壁	素地ごしらえB種含む	11.4	m2			
	塗装工事	EP塗_ボード天井	素地ごしらえB種含む	7.1	m2			
	塗装工事	EP-G塗装	木製額縁：細物	10.6	m			一位代価表_03
	計							

費目	工種	種別	細別・規格	数量	単位	単価	金額	摘要
	内装工事	GWボード張り_壁		57.3	m2			
	内装工事	GWボード張り_天井		1.5	m2			
	内装工事	RB張り_天井		2.0	m2			
	内装工事	GB-D張り_天井		10.5	m2			
	内装工事	GB-R張り_仮設間仕切り壁用		170.4	m2			
	内装工事	GB-S張り（壁：耐水）		11.4	m2			
	内装工事	巾木（塩ビ製）		21.8	m2			
	内装工事	天井廻り縁（塩ビ製）		25.4	m2			
	内装工事	GB-S張り（天井：耐水）		7.9	m2			
	内装工事	乾式二重床（置床式：H100）		2.5	m2			
	内装工事	際根太	置き床下地	5.3	m			
	内装工事	床クッションフロア張り	床：無地	2.5	m2			
	内装工事	床長尺シート張り		3.2	m2			
	内装工事	塗床防水塗布		4.0	m2			

費目	工種	種別	細別・規格	数量	単位	単価	金額	摘要
	計							

費目	工種	種別	細別・規格	数量	単位	単価	金額	摘要
	ユニット他工事	ユニットバス（1216タイプ）		1.0	箇所			一位代価表_04
	ユニット他工事	壁点検枠（塩ビ製：300角）		2.0	箇所			一位代価表_05
	ユニット他工事	ロックウール充填（巾20mm）		3.8	m			一位代価表_06
	計							

費目	工種	種別	細別・規格	数量	単位	単価	金額	摘要
	撤去工事	カッター入れ_床		54.7	m			
	撤去工事	カッター入れ_壁		134.9	m			
	撤去工事	カッター入れ_天井	(コンクリート)	54.7	m			
	撤去工事	カッター入れ_天井	(ボード)	64.7	m			
	撤去工事	目荒らし_床		27.6	m2			
	撤去工事	目荒らし_壁		276.6	m2			
	撤去工事	目荒らし_天井		15.0	m2			
	撤去工事	モルタル撤去_壁		275.4	m2			
	撤去工事	コンクリート解体	(人力：床：溝堀)	3.2	m3			
	撤去工事	壁コンクリート解体	(人力：W200)	10.3	m			
	撤去工事	建具周囲コンクリート解体	(人力：W200)	5.8	m			
	撤去工事	アスファルト防水撤去		2.5	m2			
	撤去工事	木床組解体（ころばし）		8.1	m2			
	撤去工事	床板はがし（合板）		8.1	m2			

費目	工種	種別	細別・規格	数量	単位	単価	金額	摘要
	撤去工事	床Pタイル撤去		7.7	m2			
	撤去工事	ビニル巾木撤去		11.8	m			
	撤去工事	タイル撤去（モルタル下地共） w100		0.3	m2			
	撤去工事	塗膜撤去（壁面：建具周囲）	16.4m2 x 0.12m=1.968m3	2.1	m2			
	撤去工事	コンクリートブロック撤去（壁： モルタル共）		2.0	m3			
	撤去工事	甲板撤去（テラゾーブロック）		2.7	m			
	撤去工事	天井GB-D張り撤去		10.5	m2			
	撤去工事	天井ボード撤去（フレキシブル ボード VP）		8.6	m2			
	撤去工事	天井ボード撤去（岩綿吸音板）		2.0	m2			
	撤去工事	天井ボード撤去（断熱パネル）		2.5	m2			
	撤去工事	LGS天井下地撤去		23.6	m2			
	撤去工事	木製額縁撤去		10.4	m			
	撤去工事	鋼製建具撤去（アルミ製ドア撤 去：700x1900）		1.0	箇所			
	撤去工事	鋼製建具撤去（アルミ製窓撤去： 600x2300）		1.0	箇所			

費目	工種	種別	細別・規格	数量	単位	単価	金額	摘要
	撤去工事	鋼製建具撤去（SUS製扉：PS用300角）		2.0	箇所			
	撤去工事	化粧鏡撤去（800 x 500）	ガラス撤去（1.0m2）	1.0	箇所			
	撤去工事	化粧鏡撤去（1500 x 700）	ガラス撤去（1.0m2）	1.0	箇所			
	撤去工事	ガラス撤去		92.2	m2			
	撤去工事	ガラス留めシーリング撤去		225.0	m			
	撤去工事	積込み（人力）無筋コンクリート類		3.6	m3			
	撤去工事	積込み（人力）モルタル類		3.5	m3			
	撤去工事	積込み（人力）内装材類		2.4	m3			
	撤去工事	積込み（人力）ガラス類		0.9	m3			
	撤去工事	除去アスベスト処理		5.6	m3			
	計							

費目	工種	種別	細別・規格	数量	単位	単価	金額	摘要
	発生材処分	収集運搬費（コンクリート類）	4tダンプ車（概ね 25km）	3.0	台			
	発生材処分	収集運搬費（モルタル類）	2 t コンテナ車(概ね 25 k m)	4.0	台			
	発生材処分	収集運搬費（内装材類）	2 t コンテナ車(概ね 25 k m)	2.0	台			
	発生材処分	収集運搬費（ガラス類）	2 t コンテナ車(概ね 25 k m)	1.0	台			
	発生材処分	収集運搬費（アスベスト類）	2 t コンテナ車(概ね 25 k m)	3.0	台			
	発生材処分	中間処分費	無筋コンクリート類 (30cm以下)	6.6	t			
	発生材処分	中間処分費	モルタル類(埼玉県平 均)	3.5	m3			
	発生材処分	中間処分費	内装材類(埼玉県平 均)	2.4	m3			
	発生材処分	中間処分費	ガラス類(埼玉県平 均)	0.9	m3			
	発生材処分	最終処分費	アスベスト類(安定型 群馬県 下限値)	5.6	m3			
	計							

費目	工種	種別	細別・規格	数量	単位	単価	金額	摘要
(別紙明細書)								
	収集運搬費	2 t コンテナ車	片道距離概ね25 k m (鉄筋類)	2.0	台			
	収集運搬費	2 t コンテナ車	片道距離概ね25 k m (非鉄金属)	1.0	台			
	スクラップ控除	金属くず (鉄)	ヘビーH2：異形鉄筋 LGS天井下地	0.13	t			
	スクラップ控除	金属くず (非鉄金属)	アルミ材：サッシ枠	10.0	k g			
	スクラップ控除	金属くず (鉄)	ステンレス新断：13Cr：扉	10.3	k g			
	計							

費目	工種	種別	細別・規格	数量	単位	単価	金額	摘要
建具	ガラス	PW6.8+A6+FL6 材 工価格	網入り透明ガラス厚6.8+空気層 6+透明板ガラス厚6 4㎡以下	1	m2			
建具	ガラス	透明板ガラス FL6 材のみ	透明板ガラス厚6 4㎡以下	1	m2			
建具	ガラス	FL6を減じた金額	網入り透明ガラス厚6.8+空気層 6+（ガラス無し） の価格	1	m2			
建具	ガラス	合わせガラス FL3&FL3 材のみ	み込み&透明板ガラス厚3 4㎡ 以下	1	m2			
建具	ガラス	FL3&FL3を加えた 金額	網入り透明ガラス厚6.8+空気層 6+合わせガラス厚3&厚3	1	m2			
一位代価表_01	ガラス	PW6.8+A6+FL3&FL 3 材工	GA-1_複層合わせ					m2当り
左官	複層仕上塗材（RE： ローラー塗）	不陸調整	コンクリート打放し面補修	1	m2			
左官	複層仕上塗材（RE： ローラー塗）	下地調整	合成樹脂溶剤系シーラー	1	m2			
左官	複層仕上塗材（RE： ローラー塗）	複層塗材RE	ゆず肌 ローラー塗	1	m2			
一位代価表_02	複層仕上塗材（RE： ローラー塗）	下地調整共						m2当り
塗装	EP塗装（木製額縁： 細物）	素地ごしらえ	木部 細物（100mm程度）	1	m			
塗装	EP塗装（木製額縁： 細物）	つや有合成エマル ションペイント塗	木部 細物（100mm程度）	1	m			
一位代価表_03	EP塗装（木製額縁： 細物）	壁点検口取付	樹脂製枠300角					m当り
仕上げユニット	ユニットバス	1216タイプ 材のみ	BL認定品程度	1	箇所			JXV1216

費目	工種	種別	細別・規格	数量	単位	単価	金額	摘要
仕上げユニット	ユニットバス	据付け	普通作業員		人			
仕上げユニット	ユニットバス	据付け	軽作業員		人			
仕上げユニット	ユニットバス		その他	1	式			
一位代価表_04	ユニットバス	1216タイプ設置	BL認定品程度					箇所当り
仕上げユニット	「金属A1-14-4：目地ジョイナー取付」流用	壁点検口300角	樹脂枠300角	1	箇所			スマート点検口
仕上げユニット	「金属A1-14-4：目地ジョイナー取付」流用	取り付け	左官		人			
仕上げユニット	「金属A1-14-4：目地ジョイナー取付」流用		その他	1	式			
一位代価表_05	「金属A1-14-4：目地ジョイナー取付」流用	壁点検口取付	樹脂製枠300角					箇所当り
仕上げユニット	「金属A1-14-4：目地ジョイナー取付」流用	ロックウール材設置	樹脂枠300角	1	箇所			
仕上げユニット	「金属A1-14-4：目地ジョイナー取付」流用	取り付け	左官		人			
仕上げユニット	「金属A1-14-4：目地ジョイナー取付」流用		その他	1	式			
一位代価表_06	「金属A1-14-4：目地ジョイナー取付」流用	壁点検口取付	樹脂製枠300角					m当り
左官	断面欠損補修	□200深さ100程度	溝モルタル塗 糸幅200mm	0.3	m			
一位代価表_07	断面欠損補修	□200深さ100程度						箇所当り

芝川ポンプ場耐震補強工事

建築工事数量調書

令和 8年

種 別	数量集計表							数 量
大集計表				集計1_耐 壁	集計2_附 帯	集計_硝 子		
直接仮設工事	墨出し			54.7	19.2			73.9 延m2
直接仮設工事	清掃跡片付け			109.4	22.2			131.6 延m2
直接仮設工事	周囲養生			109.4	10.5			119.9 延m2
直接仮設工事	枠組本足場手摺先行w600_耐震壁用_3ヶ月			135.1				135.1 架m2
直接仮設工事	枠組本足場手摺先行w600_耐震壁用_1ヶ月			133.2	13.7			146.9 架m2
直接仮設工事	床養生シート張り (m2)			15.2	15.6			30.8 延m2
直接仮設工事	枠組本足場手摺先行w900_4ヶ月			29.2				29.2 架m2
直接仮設工事	脚立足場				16.1			16.1 延m2
直接仮設工事	配線ケーブル養生			1.2				1.2 m2
配筋工事	鉄筋D10			1408.2	61.6			1,469.8 kg
配筋工事	鉄筋D13			340.9				340.9 kg
配筋工事	スパイラル75			18				18. m
配筋工事	スパイラル100			143.6				143.6 m
配筋工事	スパイラル200			24.14				24.1 m
配筋工事	鉄筋加工手間			2	0.04			2.04 t
型枠工事	型枠_耐震補強用			257.5	17.4			274.9 m2
型枠工事	型枠_グラウトコンクリート用			54.2	3.8			58. m
型枠工事	化粧目地 (20x20)				10.6			10.6 m
型枠工事	型枠運搬費							274.9 m2
コンクリート工事	普通コンクリートFc21-18S			39.8	0.9			40.7 m3
コンクリート工事	打設手間 (ポンプ車) 耐震補強用			39.8	0.9			40.7 m3
コンクリート工事	無収縮モルタル			1.8	0.2			2. m3
コンクリート工事	無筋コンクリートFc18-15S			3.2				3.2 m3
コンクリート工事	打設手間 (ポンプ車)			3.2				3.2 m3
コンクリート工事	コンクリートポンプ車			4				4. 回
防水工事	シーリング (耐震スリット用)				3.8			3.8 m
木工事	木軸壁 (仮設間仕切り壁用)			164.3	22.6			186.9 m2
木工事	床板張り (耐水合板)				2.5			2.5 m2
木工事	上り框 (木製)				1.3			1.3 m
金属工事	アンカー上向き (差し筋) D10			325				325. 本
金属工事	アンカー横向き (差し筋) D10			333	2			335. 本
金属工事	アンカー下向き (差し筋) D10			302	3			305. 本
金属工事	アンカー上向き (差し筋) D13			51				51. 本
金属工事	アンカー下向き (差し筋) D13			51				51. 本
金属工事	アンカー横向き (シアコネクタ)			1385				1,385. 本
金属工事	LGS天井下地 (19形直貼り)			10.5	7.1			17.6 m2
金属工事	LGS天井下地 (19形捨貼り)				2			2. m2
金属工事	LGS壁下地 (65形)				11.4			11.4 m2
金属工事	LGS天井開口補強 (600x600)				2			2. 箇所
金属工事	LGS壁開口補強 (800x1800)				1			1. 箇所
金属工事	天井点検口 (600x600)				2			2. 箇所
ガラス工事	GA-1_複層合わせ					4.1		4.1 m2
ガラス工事	GA-2_網入り合わせ					12.3		12.3 m2
ガラス工事	GA-3_合わせ厚10					8		8. m2
ガラス工事	GA-4_合わせ厚10					64.1		64.1 m2
ガラス工事	GA-5_合わせ厚6					3.7		3.7 m2
ガラス工事	ガラス留めシーリング					224.99		225. m
左官工事	モルタル金ゴテ_床			12.9				12.9 m2

種 別	数量集計表							数 量
大集計表				集計1_耐 壁	集計2_附 帯	集計_硝 子		
左官工事	モルタル張物下_床			3.7	2.1			5.8 m2
左官工事	モルタル金ゴテ_壁			237.5	9.4			246.9 m2
左官工事	モルタル金ゴテ_天井（梁下）			5				5. m2
左官工事	複層仕上塗材（RE：ローラー塗）				3.5			3.5 m2
左官工事	躯体断面欠損補修(□200深100)			30				30. 箇所
内装工事	GWボード張り_壁			57.3				57.3 m2
内装工事	GWボード張り_天井			1.5				1.5 m2
内装工事	RB張り_天井				2			2. m2
内装工事	GB-D張り_天井			10.5				10.5 m2
内装工事	GB-R張り_仮設間仕切り壁用			164.3	6.1			170.4 m2
内装工事	GB-S張り（壁：耐水）				11.4			11.4 m2
内装工事	巾木（塩ビ製）			10.1	11.7			21.8 m2
内装工事	天井廻り縁（塩ビ製）			11.7	13.7			25.4 m2
内装工事	GB-S張り（天井：耐水）				7.9			7.9 m2
内装工事	乾式二重床（置床式：H100）				2.5			2.5 m2
内装工事	際根太				5.3			5.3 m
内装工事	床クッションフロア張り				2.5			2.5 m2
内装工事	床長尺シート張り				3.2			3.2 m2
内装工事	塗床防水塗布			3.6	0.4			4. m2
塗装工事	EP塗_モルタル壁			237.5	26.4			263.9 m2
塗装工事	EP塗_モルタル天井			5				5. m2
塗装工事	EP塗_ボード壁				11.4			11.4 m2
塗装工事	EP塗_ボード天井				7.1			7.1 m2
塗装工事	EP塗装（木製額縁：細物）				10.6			10.6 m
ユニット他工事	ユニットバス（1216タイプ）				1			1. 箇所
ユニット他工事	壁点検枠（塩ビ製：300角）				2			2. 箇所
ユニット他工事	ロックウール充填（巾20mm）				3.8			3.8 m
ユニット他工事	ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌ｛ｱ（アルミ製：500角）				0			0. m2
撤去工事	カッター入れ_床			54.7	0			54.7 m
撤去工事	カッター入れ_壁			97.8	37.1			134.9 m
撤去工事	カッター入れ_天井			54.7				54.7 m
撤去工事	カッター入れ_天井（ボード）			54.7	10			64.7 m
撤去工事	目荒らし_床			27.4	0.2			27.6 m2
撤去工事	目荒らし_壁			276.6				276.6 m2
撤去工事	目荒らし_天井			15.04				15. m2
撤去工事	モルタル撤去_壁			265.1	10.3			275.4 m2
撤去工事	コンクリート解体（人力：床：溝堀）			3.2	0			3.2 m3
撤去工事	壁コンクリート解体（人力：W200）				10.3			10.3 m
撤去工事	建具周囲コンクリート解体（人力：W200）				5.8			5.8 m
撤去工事	アスファルト防水撤去				2.5			2.5 m2
撤去工事	木床組解体（ころばし）				8.1			8.1 m2
撤去工事	床板はがし（合板）				8.1			8.1 m2
撤去工事	床Pタイル撤去			5.26	2.4			7.7 m2
撤去工事	ビニル巾木撤去			10.7	1.1			11.8 m
撤去工事	タイル撤去（モルタル下地共）w100				0.3			0.3 m2
撤去工事	塗膜撤去（壁面：建具周囲）				2.1			2.1 m2
撤去工事	コンクリートブロック撤去（壁：モルタル共）				2			2. m3
撤去工事	甲板撤去（テラゾーブロック）				2.7			2.7 m
撤去工事	天井GB-D張り撤去			10.5				10.5 m2

• •

[illegible]

種 別		数量集計表												数 量
集計表1				耐壁01	耐壁02	耐壁03	耐壁04	耐壁05	耐壁06	耐壁07	耐壁08	耐壁09	耐壁10	
配筋	耐震壁工事	【躯体等数量】												
		鉄筋												
		補強筋 横筋 D10 材料長さ	64	116.4	92.8	103	103	107.3	105.8	107.15	135.5	80.25	79.65	1030.9 m
		補強筋 縦筋 D10 材料長さ	70		151.8	169.32	169.32	169.3	166.9	184.72	215.48	129.1	127.9	1483.8 m
	材 鉄筋D10	小計												2514.7 m
		単位重量0.560kg/m 小計(kg)												1408.2 kg
		補強筋 縦筋 D13 材料長さ	70	237.88										237.9 m
		開口補強縦横斜筋 D13 材料長さ	81	7.66	22.38	0	0	7.66	13.92	7.72	28.24	5.38	11.78	104.7 m
	材 鉄筋D13	小計												342.6 m
		単位重量0.995kg/m 小計(kg)												340.9 kg
配筋	材 スパイラル75	スパイラル筋 直径75 設置長さ	85	17.96										18.0 m
配筋	材 スパイラル100	スパイラル筋 直径100 設置長さ	85		17.96	20.26	20.26	18.5	18	18.46		15.4	14.8	143.6 m
配筋	材 スパイラル200	スパイラル筋 直径200 設置長さ	85								24.14			24.1 m
		補強筋 横筋 D10 単位重量	65	65.18	51.97	57.68	57.68	60.09	59.25	60	75.88	44.94	44.6	577.3 kg
		補強筋 縦筋 D10 単位重量	71		85.01	94.82	94.82	94.81	93.46	103.44	120.67	72.3	71.62	831.0 kg
		補強筋 縦筋 D13 単位重量	71	236.69										236.7 kg
		開口補強縦横斜筋 D13 単位重量	82	7.62	22.27	0	0	7.62	13.85	7.68	28.1	5.35	11.72	104.2 kg
		スパイラル筋 直径75 単位重量1.10kg		19.76										19.8 kg
		スパイラル筋 直径100 単位重量1.46kg			26.22	29.58	29.58	27.01	26.28	26.95		22.48	21.61	209.7 kg
		スパイラル筋 直径200 単位重量2.93kg									70.73			70.7 kg
		小計(kg)												2049.4 kg
配筋	工 鉄筋加工手間	小計(t)												2.0 t
金属	材													
	工 差し筋上D10	アンカー上向き（差し筋）D10	88		34	34	34	34	31	44	44	35	35	325.0 本
金属	材													
	工 差し筋横D10	アンカー横向き（差し筋）D10	89	36	31	40	40	34	34	26	44	24	24	333.0 本
金属	材													
	工 差し筋下D10	アンカー下向き（差し筋）D10	90		34	34	34	34	34	34	44	29	25	302.0 本
金属	材													
	工 差し筋上D13	アンカー上向き（差し筋）D13	88	51										51.0 本
金属	材													
	工 差し筋下D13	アンカー下向き（差し筋）D13	90	51										51.0 本
金属	材													
	工 アンカ横M12	アンカー横向き（シアコネクタ）	95	157	169	110	110	183	179	126	155	98	98	1385.0 本
		型枠												
		壁面（開口部等控除含む）	98	24.27	23.02	25.65	25.65	25.66	25.26	27.65	33.28	19.37	19.19	249.0 m2
		開口部1（小口）	99	0.42	0.53	0	0	0.53	0.53	0.69	1.74	0.5	0.5	5.4 m2
		開口部2（小口）	100	0	0.8	0	0	0	0.32	0	1.74	0	0.18	3.0 m2
型枠	材													
	工 型枠_耐震		101	24.69	24.35	25.65	25.65	26.19	26.11	28.34	36.76	19.87	19.87	257.5 m2
型枠	材 グラウトコンクリート													
	工 用型枠	グラウトコンクリート用型枠	102	5.15	5.15	5.15	5.15	5.15	4.65	6.65	6.65	5.25	5.25	54.2 m
		コンクリート												
ンクリー	材 普通コンクリート	普通コンクリート	106	2.79	3.3	3.7	3.7	3.7	3.64	3.95	9.58	2.75	2.72	39.8 m3
ンクリー	工 打設手間	普通コンクリート	106	2.79	3.3	3.7	3.7	3.7	3.64	3.95	9.58	2.75	2.72	39.8 m3
ンクリー	材													
	工 無収縮モルタル	グラウトコンクリート	107	0.12	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.2	0.4	0.16	0.16	1.8 m3
ンクリー	工 コンクリートポンプ車			1 ←	←	←	1	←	←	1	1	←		4.0 回
		【撤去等数量】												
撤去	工 目荒らし_床	床（既存壁から500mm）	112	2.58	2.58	2.58	2.58	2.58	2.58	3.33	3.33	2.63	2.63	27.4 m2
撤去	工 カッター入れ_床		109	5.15	5.15	5.15	5.15	5.15	5.15	6.65	6.65	5.25	5.25	54.7 m
		壁面（床上～梁下）	115	25.65		25.65		27.04	27.04	32.45	36.04	21.53	21.53	216.9 m2
		壁面（袖壁区切り当該室側）	116		15.31		15.31							30.6 m2
		柱型（梁幅分）2面	118	2.69	2.99	2.99	2.99	3.15	3.15	2.93	3.25	2.46	2.46	29.1 m2
撤去	工 目荒らし_壁	小計												276.6 m2
撤去	工 カッター入れ_壁		110	9.96	9.96	9.96	9.96	10.5	10.5	9.76	10.84	8.2	8.2	97.8 m
		壁面（天井裏除く）	117	25.65		25.65		27.04	27.04	32.45	36.04	15.76	15.76	205.4 m2
		壁面（袖壁区切り当該室側）	116		15.31		15.31							30.6 m2
		柱型（梁幅分）2面	118	2.69	2.99	2.99	2.99	3.15	3.15	2.93	3.25	2.46	2.46	29.1 m2
撤去	工 モルタル撤去_壁	小計												265.1 m2
撤去	工 コンクリート解体_床	床（シンダーコンクリート厚300）	120					0	0		0	1.61	1.61	3.2 m3
撤去	工 目荒らし_天井	梁下（梁下端）	119	1.39	0.92	1.55	0.92	1.55	1.55	2	2	1.58	1.58	15.0 m2
撤去	工 カッター入れ_天井		111	5.15	5.15	5.15	5.15	5.15	5.15	6.65	6.65	5.25	5.25	54.7 m

種 別		数量集計表												数 量	
集計表1			耐壁01	耐壁02	耐壁03	耐壁04	耐壁05	耐壁06	耐壁07	耐壁08	耐壁09	耐壁10			
工	床Pタイル撤去	113									2.63	2.63	5.3 m2		
工	ビニル巾木撤去	114									5.35	5.35	10.7 m		
【仕上等数量】															
材	モルタル金ゴテ_床	床（500mm～増厚壁）	123	1.96	0.93	1.8	0.93	1.8	1.8	2.33	1.33		12.9 m2		
材	モルタル張物下_床	床（500mm～増厚壁）	123								1.84	1.84	3.7 m2		
材	塗床	床（500mm～増厚壁）	123					1.8	1.8				3.6 m2		
材	無筋コンFc18	床（シンダー厚300）	124	0	0	0	0	0	0	0	1.61	1.61	3.2 m3		
工	打設手間	床（シンダー厚300）	124	0	0	0	0	0	0	0	1.61	1.61	3.2 m3		
		壁面（天井裏除く）	126	25.65		25.65		27.04	27.04	32.45	36.04	9.99	9.99	193.9 m2	
		壁面（袖壁区切り当該室側）	125		15.31		15.31						30.6 m2		
		柱型（梁幅分・増厚壁）2面	127	1.49	1.49	1.49	1.49	1.58	1.58	1.46	0	1.23	1.23	13.0 m2	
材	モルタル金ゴテ_壁	小計											237.5 m2		
材	EP塗_モルタル壁												237.5 m2		
		壁面（天井裏除く）	126					27.04	27.04				54.1 m2		
		柱型（梁幅分・増厚壁）2面	127					1.58	1.58				3.2 m2		
材	GWボード張り_壁	小計											57.3 m2		
材	モルタル金ゴテ_天井（梁下）	梁下（梁下端）	128	0.77	0.46	0.77	0.46	0.77	0.77	1	0		5.0 m2		
材	EP塗_モルタル天井												5.0 m2		
工	巾木（塩ビ製）	巾木	129								5.05	5.05	10.1 m2		
工	GWボード張り_天井	梁下（梁下端）	128					0.77	0.77				1.5 m2		
工	天井廻り縁（塩ビ製）	天井廻り縁	131								5.85	5.85	11.7 m2		
工	LGS天井下地撤去	天井（仕上材共）1m巾	130	0	0	0	0	0	0	0	5.25	5.25	10.5 m2		
工	GB-D張り撤去												10.5 m2		
工	LGS天井下地												10.5 m2		
工	GB-D張り												10.5 m2		
工	断面欠損補修	□200深100程度	132	3	3	3	3	3	3	3	3	3	30.0 箇所		
【直接仮設】															
工	墨出し	躯体墨だし（作業範囲1m巾）	135	5.15	5.15	5.15	5.15	5.15	5.15	6.65	6.65	5.25	5.25	54.7 m2	
工	清掃跡片付け	清掃跡片付け（作業範囲2m巾）	137	10.3	10.3	10.3	10.3	10.3	10.3	13.3	13.3	10.5	10.5	109.4 m2	
工	周囲養生	周囲養生（床面：作業範囲2m巾）	139	10.3	10.3	10.3	10.3	10.3	10.3	13.3	13.3	10.5	10.5	109.4 m2	
工	枠組本足場手摺先行w600_耐震壁用_3ヶ月	枠組本足場手摺先行（W600）	141	25.65	25.65	25.65	25.65			32.45			135.1 架m2		
工	枠組本足場手摺先行w600_耐震壁用_1ヶ月	枠組本足場手摺先行（W600）	141					27.04	27.04		36.04	21.53	21.53	133.2 架m2	
材	木軸壁_仮設間仕切り壁用	仮設間仕切り壁（木軸片面ボード）	144	0	0	0	12.45	68.25	0	0	38.48	22.55	22.55	164.3 m2	
材	GB張り_仮設間仕切り壁用												164.3 m2		
工	床養生シート張り（m）	作業員通路（w600、養生シート敷）	146	0	0	0	11.6	8.5	0	0	5.3	0	0	25.4 m	
工	床養生シート張り（m2）	作業員通路（w600、養生シート敷）											15.2 m2		
工	枠組本足場手摺先行w900_4ヶ月	仮設外部足場（w900）GL～2FL+1.8	148	0	0	0	0	0	0	0	29.16	0	29.2 架m2		
工	配線ケーブル養生	2階操作室床ビット内（合板張り）	150									1.2	1.2 m2		

種 別	数量集計表											数 量
集計表2		附帯01	附帯02	附帯03	付帯4-1	付帯4-2	附帯05	附帯06	附帯07	耐水化		
附帯工事	【撤去数量】	耐震スリット工事	脱衣・浴室改修工事	手洗所改修工事	袖壁打替改修工事	袖壁打替改修工事	防油堤打替改修工事	開口部閉塞工事	点検口設置工事	堤防新設工事		
工 カッター入れ（壁）	カッター入れ（壁）	7.6	2	6	4.95	4.95	1	10.6			37.1 m	
工 カッター入れ（床）	カッター入れ（床）										0 m	
工 目荒らし_床	目荒らし（床）									0.17	0.2 m2	
工 コングリート解体（人力：床：溝堀）	コングリート解体（人力：床：溝堀）										0 m3	
工 壁コングリート解体（人力：W200）	壁コングリート解体（人力：W200）				4.95	4.95	0.4				10.3 m	
工 アスファルト防水撤去	アスファルト防水撤去		2.47								2.5 m2	
工 木床組解体（ころばし）	木床組解体（ころばし）		8.05								8.1 m2	
工 床板はがし（合板）	床板はがし（合板）		8.05								8.1 m2	
工 床Pタイル撤去	床Pタイル撤去		0.36	2							2.4 m2	
工 モルタル撤去_壁	モルタル撤去（壁）			1.8	3.98	3.98	0.5				10.3 m2	
工 タイル撤去（モルタル下地共）w100	タイル撤去（モルタル下地共）w100	0.3									0.3 m2	
工 塗膜撤去（壁面：建具周囲）	塗膜撤去（壁面：建具周囲）							2.1			2.1 m2	
工 コングリートブロック撤去（壁：モルタル共）	コングリートブロック撤去（壁：モルタル共）	0.02	1.33	0.61							2 m2	
工 甲板撤去（テラゾーブロック）	甲板撤去（テラゾーブロック）	0.1	0.95	1.65							2.7 m	
工 建具周囲コングリート撤去 W200	建具周囲コングリート撤去 W200							5.8			5.8 m	
工 LGS天井下地撤去	LGS天井下地撤去	1	8.05	2					2		13.1 m2	
工 ビニル巾木撤去	ビニル巾木撤去			1.14							1.1 m	
工 天井ボード撤去（フレキVP）	天井ボード撤去（フレキVP）	1	5.58	2							8.6 m2	
工 天井ボード撤去（断熱パネル）	天井ボード撤去（断熱パネル）		2.47								2.5 m2	
工 木製額縁撤去	木製額縁撤去		10.42								10.4 m	
工 鋼製建具撤去（アルミ製ドア撤去：アルミ製窓撤去：鋼製建具撤去（SUS製扉：PS用300角）化粧鏡撤去（800 x 500）化粧鏡撤去（1500 x 700）	鋼製建具撤去（アルミ製ドア撤去：700x1900）	1									1 箇所	
工 鋼製建具撤去（アルミ製窓撤去：鋼製建具撤去（SUS製扉：PS用300角）化粧鏡撤去（800 x 500）化粧鏡撤去（1500 x 700）	鋼製建具撤去（アルミ製窓撤去：600x2300）							1			1 箇所	
工 鋼製建具撤去（SUS製扉：PS用300角）化粧鏡撤去（800 x 500）化粧鏡撤去（1500 x 700）	鋼製建具撤去（SUS製扉：PS用300角）	1	1								2 箇所	
工 化粧鏡撤去（800 x 500）	化粧鏡撤去（800 x 500）		1								1 箇所	
工 化粧鏡撤去（1500 x 700）	化粧鏡撤去（1500 x 700）			1							1 箇所	
	【躯体等数量】											
材 鉄筋D10	鉄筋D10長さ				19.2	19.2	3.2	16.8		3.18	61.6 m	
	鉄筋（重量：kg）				10.75	10.75	1.79	14.62		3.16	41.1 kg	
工 鉄筋加工手間											0.040 t	
材 型枠_耐震	型枠（少量：普通程度：打放しB種）				4.95	4.95	0.28	6.96		0.29	17.4 m2	
工 化粧目地（20x20）	化粧目地（20x20）							10.6			10.6 m	
材 普通コンクリート	普通コンクリート（Fc24：s18）				0.19	0.19	0.02	0.48		0.02	0.9 m3	
工 打設手間											0.9 m3	
材 ト	無収縮モルタル				0.07	0.07		0.04			0.2 m3	
工 差し筋横D10	アンカー横向き（差し筋） D10									2	2 本	
工 差し筋下D10	アンカー下向き（差し筋） D10									3	3 本	
	【仕上等数量】											
工 モルタル張物下_床	モルタル金ゴテ（床：張物下）			2			0.07				2.1 m2	
工 モルタル金ゴテ_壁	モルタル金ゴテ（壁：塗装下地）	0.56	4.76	0.3	1.73	1.73	0.28				9.4 m2	
工 乾式二重床（置床式：H100）	床下地（置床式：H100）		2.5								2.5 m2	
工 床板張り（耐水合板）	床板張り（耐水合板）		2.5								2.5 m2	
工 床クッションフロア張り	床クッションフロア張り		2.5								2.5 m2	

[illegible]

内装

No.

種 別	数量集計表								数 量															
大集計表																								
									積込み（人力） 除去アス スクラップ															
									掛け率(mm)			数量	無筋コンクリート類	モルタル類	内装材類	ガラス類	ベスト処理	単位重量	スチール	アルミ	ステンレス			
									巾	高さ	厚	m3												
撤去工事	モルタル撤去_壁											275.4 m2												
	耐壁01～04、07～08											168.3 m2						5.05						
	耐壁05～06、09～10											96.8 m2			2.9									
	附帯04-1、-2											8. m2						0.24						
	附帯03、05											2.3 m2			0.07									
撤去工事	コンクリート解体（人力：床：溝堀）								61		3.2	12	0	3.2 m3		3.2								
撤去工事	壁コンクリート解体（人力：W200）											13	10.3	10.3 m	200	150	0.31	0.31						
撤去工事	建具周囲コンクリート解体（人力：W200）											23	5.8	5.8 m	200	150	0.17	0.17						
撤去工事	アスファルト防水撤去											14	2.5	2.5 m2		100	0.25							
撤去工事	木床組解体（ころばし）											15	8.1	8.1 m2		200	1.62							
撤去工事	床板はがし（合板）											16	8.1	8.1 m2		10	0.08							
撤去工事	床Pタイル撤去								64		5.26	17	2.4	7.7 m2		10	0.08			0.08				
撤去工事	ビニル巾木撤去								65		10.7	25	1.1	11.8 m		100	10	0.12			0.12			
撤去工事	タイル撤去（モルタル下地共）w100											19	0.3	0.3 m2			50	0.02						
撤去工事	塗膜撤去（壁面：建具周囲）											20	2.1	2.1 m2		20	0.04			0.04				
撤去工事	コンクリートブロック撤去（壁：モルタル共）											21	2	2. m3		120	0.24			0.24				
撤去工事	甲板撤去（テラゾーブロック）											22	2.7	2.7 m		120	0.32			0.32				
撤去工事	天井GB-D張り撤去								90		10.5			10.5 m2		10	0.11			0.11				
撤去工事	天井ボード撤去（フレキシブルボード VP）											26	8.6	8.6 m2		10	0.09			0.09				
撤去工事	天井ボード撤去（岩綿吸音板）											87	2	2. m2		25	0.05			0.05				
撤去工事	天井ボード撤去（断熱パネル）											27	2.5	2.5 m2		30	0.08			0.08				
撤去工事	LGS天井下地撤去								89		10.5	24	13.1	23.6 m2			23.6				3	70.8		
撤去工事	木製額縁撤去											28	10.4	10.4 m		25	0.26			0.26				
撤去工事	鋼製建具撤去（アルミ製ドア撤去：700x1900）											29	1	1. 箇所			1			5.18		5.18		
撤去工事	鋼製建具撤去（アルミ製窓撤去：600x2300）											30	1	1. 箇所			1			4.86		4.86		
撤去工事	鋼製建具撤去（SUS製扉：PS用300角）											31	2	2. 箇所			200	0.4		25.7			10.3	
撤去工事	化粧鏡撤去（800 x 500）											32	1	1. 箇所	500	800	10	0.01			0.01			
撤去工事	化粧鏡撤去（1500 x 700）											33	1	1. 箇所	1500	700	10	0.02			0.02			
撤去工事	ガラス撤去													92.2 ガ			10	0.92			0.92			
撤去工事	ガラス留めシーリング撤去											224.99		225. m	20		20	0.09			0.09			
配筋工事	鉄筋加工（設計数量）											2.04 t												
	（所要数量）＝設計数量×104％											2.12 t												
	（所要数量）－（設計数量）											0.08 t			70%						56			
	発生材数量											m3					3.68	3.55	2.49	0.95	5.67			
	単位重量（t /m3）																1.8	1.8	0.8	1.8	0.9			
	重量											t					6.62	6.39	1.99	1.71	5.10	0.13 10 10.3		

種 別	略 図 計 算 式										数 量
耐震壁工事											
図面番号：S-10											
補強番号：01	構築場所：Y0、X2～X3										
1階	補強対象既存壁仕様										
工作室・倉庫	33 壁記号	TW18A									
	34 横筋（径）	D10 @ 200									
	35 縦筋（径）	D13 @ 100									
	1 既存壁厚	0.18									0.18 m
	2 増設壁厚	0.12									0.12 m
	3 階高	6.00									6.00 m
	4 スパン	6.00									6.00 m
	5 梁成（上階）	0.75									0.75 m
	6 梁下がり（上階）	0.3									0.30 m
	7 梁下がり（下階）	0.03									0.03 m
	8 柱巾	0.85									0.85 m
	9 かぶり厚（壁厚方向）	0.12	-		0.03	*	2.00	=		0.06 m	
	10 高さ（床SL～梁下端）	6.00	+	0.03	-	0.30	-	0.75	=	4.98 m	
	11 巾（柱内面～内面）	6.00	-	0.85						=	5.15 m
	12 壁面（控除前）	4.98	*	5.15						=	25.65 m2
	13 壁面（開口控除後）	25.65	-	1.38	-	0.00				=	24.27 m2
	14 開口1w	0.60									0.60 m
	15 開口1h	2.30									2.30 m
	16 開口1周長	(0.60	+	2.30	)*	2				=	5.80 m
	17 開口1面積	0.60	*	2.30						=	1.38 m2
	18 開口2w	0.00									0.00 m
	19 開口2h	0.00									0.00 m
	20 開口2周長	(0.00	+	0.00	)*	2				=	0.00 m
	21 開口2面積	0.00	*	0.00						=	0.00 m2
	既存梁幅	0.45									0.45 m
	32 床（シンダー厚）	0.00									0.00 m
	38 ピッチ（柱）	200.00 / 1000									0.20 m
	39 ピッチ（梁）	100.00 / 1000									0.10 m
	40 ピッチ（壁）シアコネクタ	400.00 / 1000									0.40 m
	配筋ピッチ										
	横筋	4.98	/	0.20	=	24.90	→	25.00	-	1 =	24 本
	縦筋	5.15	/	0.10	=	51.50	→	52.00	-	1 =	51 本

種 別	略 図 計 算 式	数 量
	【躯体等数量】	
	補強筋	
	横筋 $5.15 * 24 \text{ 本} =$	123.60 m
	控除：開口1 横筋 $- 0.60 * 12 \text{ 本} =$	▲ 7.20 m
	控除：開口2 横筋 $- 0.00 * 0 \text{ 本} =$	0.00 m
	小計	116.40 m
	D10 単位重量 $0.560 * 116.40 \text{ m} =$	65.18 kg
	縦筋 $4.98 * 51 \text{ 本} =$	253.98 m
	控除：開口1 縦筋 $- 2.30 * 7 \text{ 本} =$	▲ 16.10 m
	控除：開口2 縦筋 $- 0.00 * 0 \text{ 本} =$	0.00 m
	小計	237.88 m
	D13 単位重量 $0.995 * 237.88 \text{ m} =$	236.69 kg
	開口補強筋	
	↓該当なしの場合、x 表記	
	開口1 横筋 $(0.60 + 0.013 * 40 \text{ d} * 1) * 2 =$	2.24 m
	開口1 縦筋 $(2.30 + 0.013 * 40 \text{ d} * 2) * 1 =$	3.34 m
	開口1 斜筋 $(0.013 * 40 \text{ d} * 2) * 2 =$	2.08 m
	x 開口2 横筋 $(0.00 + 0.013 * 40 \text{ d} * 2) * 0 * 0 =$	0.00 m
	x 開口2 縦筋 $(0.00 + 0.013 * 40 \text{ d} * 2) * 0 * 0 =$	0.00 m
	x 開口2 斜筋 $(0.013 * 40 \text{ d} * 2) * 0 * 0 =$	0.00 m
	小計	7.66 m
	D13 単位重量 $0.995 * 7.66 \text{ m} =$	7.62 kg
	スパイラル筋	
	設置長さ $(5.15 + 4.98) * 2 - 2.30 =$	17.96 m
	差し筋アンカー	
	上向き（開口部等控除含む） $51.00 * 1 - 0 =$	51.00 本
	横向き（開口部等控除含む） $24.00 * 2 - 12 =$	36.00 本
	下向き（開口部等控除含む） $51.00 * 1 - 0 =$	51.00 本
	小計	138.00 本
	シアコネクタアンカー	
	横向き $13 * 5 + 11 * 6 =$	131.00 本
	横向き $13 * 2 =$	26.00 本
	小計	157.00 本
	型枠	
	壁面（開口部等控除含む） $24.27 =$	24.27 m2
	開口部1（小口） $(0.60 * 2 + 2.30 * 1) * 0.12 =$	0.42 m2
	開口部2（小口） $(0.00 * 0 + 0.00 * 0) * 0.12 =$	0.00 m2
	小計	24.69 m2
	グラウトコンクリート用型枠 $5.15 * 1 =$	5.15 m
	コンクリート	
	普通コンクリート $24.27 * 0.12 =$	2.91 m3
	グラウト部分（上端200mm） $- 5.15 * 0.12 * 0.20 \text{ m} =$	▲ 0.12 m3
	小計	2.79 m3
	グラウトコンクリート $-0.12 * -1 =$	0.12 m3
	【撤去等数量】	
	カッター入れ_床 $5.15 =$	5.15 m

[illegible]

種 別	略 図 計 算 式										数 量
耐震壁工事											
図面番号：S-11											
補強番号：02	構築場所：Y0、X3～X4										
1階	補強対象既存壁仕様										
工作室・倉庫	33 壁記号	W15									
	34 横筋（径）	D10 @ 250									
	35 縦筋（径）	D10 @ 150									
	1 既存壁厚	0.15									0.15 m
	2 増設壁厚	0.15									0.15 m
	3 階高	6.00									6.00 m
	4 スパン	6.00									6.00 m
	5 梁成（上階）	0.75									0.75 m
	6 梁下がり（上階）	0.3									0.30 m
	7 梁下がり（下階）	0.03									0.03 m
	8 柱巾	0.85									0.85 m
	9 かぶり厚（壁厚方向）	0.15	-		0.03	*	2.00	=		0.09 m	
	10 高さ（床SL～梁下端）	6.00	+	0.03	-	0.30	-	0.75	=	4.98 m	
	11 巾（柱内面～内面）	6.00	-	0.85						=	5.15 m
	12 壁面（控除前）	4.98	*	5.15						=	25.65 m2
	13 壁面（開口控除後）	25.65	-	1.38	-	1.25				=	23.02 m2
	14 開口1w	0.60									0.60 m
	15 開口1h	2.30									2.30 m
	16 開口1周長	(0.60	+	2.30	)*	2				=	5.80 m
	17 開口1面積	0.60	*	2.30						=	1.38 m2
	18 開口2w	0.60									0.60 m
	19 開口2h	2.08									2.08 m
	20 開口2周長	(0.60	+	2.08	)*	2				=	5.36 m
	21 開口2面積	0.60	*	2.08						=	1.25 m2
	既存梁幅	0.45									0.45 m
	32 床（シンダー厚）	0.00									0.00 m
	38 ピッチ（柱）	250.00 / 1000									0.25 m
	39 ピッチ（梁）	150.00 / 1000									0.15 m
	40 ピッチ（壁）シアコネクタ	500.00 / 1000									0.50 m
	配筋ピッチ										
	横筋	4.98	/	0.25	=	19.92	→	20.00	-	0 =	20 本
	縦筋	5.15	/	0.15	=	34.33	→	35.00	-	1 =	34 本

種 別	略 図 計 算 式	数 量
	【躯体等数量】	
	補強筋	
	横筋 $5.15 * 20$ 本 =	103.00 m
	控除：開口1 横筋 $- 0.60 * 8$ 本 =	▲ 4.80 m
	控除：開口2 横筋 $- 0.60 * 9$ 本 =	▲ 5.40 m
	小計	92.80 m
	D10 単位重量 $0.560 * 92.80$ m =	51.97 kg
	縦筋 $4.98 * 34$ 本 =	169.32 m
	控除：開口1 縦筋 $- 2.30 * 4$ 本 =	▲ 9.20 m
	控除：開口2 縦筋 $- 2.08 * 4$ 本 =	▲ 8.32 m
	小計	151.80 m
	D10 単位重量 $0.560 * 151.80$ m =	85.01 kg
	開口補強筋	
	↓該当なしの場合、x表記	
	開口1 横筋 $(0.60 + 0.013 * 40 d * 2) * 2$ =	3.28 m
	開口1 縦筋 $(2.30 + 0.013 * 40 d * 2) * 1$ =	3.34 m
	開口1 斜筋 $(0.013 * 40 d * 2) * 2$ =	2.08 m
	開口2 横筋 $(0.60 + 0.013 * 40 d * 2) * 2$ =	3.28 m
	開口2 縦筋 $(2.08 + 0.013 * 40 d * 2) * 2$ =	6.24 m
	開口2 斜筋 $(0.013 * 40 d * 2) * 4$ =	4.16 m
	小計	22.38 m
	D13 単位重量 $0.995 * 22.38$ m =	22.27 kg
	スパイラル筋	
	設置長さ $(5.15 + 4.98) * 2 - 2.30$ =	17.96 m
	差し筋アンカー	
	上向き（開口部等控除含む） $34.00 * 1 - 0$ =	34.00 本
	横向き（開口部等控除含む） $20.00 * 2 - 9$ =	31.00 本
	下向き（開口部等控除含む） $34.00 * 1 - 0$ =	34.00 本
	小計	99.00 本
	シアコネクタアンカー	
	横向き $17 * 4 + 13 * 4$ =	120.00 本
	横向き $15 * 1 + 17 * 2$ =	49.00 本
	小計	169.00 本
	型枠	
	壁面（開口部等控除含む） 23.02 =	23.02 m2
	開口部1（小口） $(0.60 * 2 + 2.30 * 1) * 0.15$ =	0.53 m2
	開口部2（小口） $(0.60 * 2 + 2.08 * 2) * 0.15$ =	0.80 m2
	小計	24.35 m2
	グラウトコンクリート用型枠 $5.15 * 1$ =	5.15 m
	コンクリート	
	普通コンクリート $23.02 * 0.15$ =	3.45 m3
	グラウト部分（上端200mm） $- 5.15 * 0.15 * 0.20$ m =	▲ 0.15 m3
	小計	3.30 m3
	グラウトコンクリート $-0.15 * -1$ =	0.15 m3
	【撤去等数量】	
	カッター入れ_床 5.15 =	5.15 m

[illegible]

[illegible]

種 別	略 図 計 算 式	数 量
	【躯体等数量】	
	補強筋	
	横筋 $5.15 * 20$ 本 =	103.00 m
	控除：開口1 横筋 $- 0.00 * 0$ 本 =	0.00 m
	控除：開口2 横筋 $- 0.00 * 0$ 本 =	0.00 m
	小計	103.00 m
	D10 単位重量 $0.560 * 103.00$ m =	57.68 kg
	縦筋 $4.98 * 34$ 本 =	169.32 m
	控除：開口1 縦筋 $- 0.00 * 0$ 本 =	0.00 m
	控除：開口2 縦筋 $- 0.00 * 0$ 本 =	0.00 m
	小計	169.32 m
	D10 単位重量 $0.560 * 169.32$ m =	94.82 kg
	開口補強筋	
	↓該当なしの場合、x表記	
	x 開口1 横筋 $(0.00 + 0.013 * 40 d * 2) * 0 * 0 =$	0.00 m
	x 開口1 縦筋 $(0.00 + 0.013 * 40 d * 2) * 0 * 0 =$	0.00 m
	x 開口1 斜筋 $(0.013 * 40 d * 2) * 0 * 0 =$	0.00 m
	x 開口2 横筋 $(0.00 + 0.013 * 40 d * 2) * 0 * 0 =$	0.00 m
	x 開口2 縦筋 $(0.00 + 0.013 * 40 d * 2) * 0 * 0 =$	0.00 m
	x 開口2 斜筋 $(0.013 * 40 d * 2) * 0 * 0 =$	0.00 m
	小計	0.00 m
	D13 単位重量 $0.995 * 0.00$ m =	0.00 kg
	スパイラル筋	
	設置長さ $(5.15 + 4.98) * 2 =$	20.26 m
	差し筋アンカー	
	上向き（開口部等控除含む） $34.00 * 1 - 0 =$	34.00 本
	横向き（開口部等控除含む） $20.00 * 2 - 0 =$	40.00 本
	下向き（開口部等控除含む） $34.00 * 1 - 0 =$	34.00 本
	小計	108.00 本
	シアコネクタアンカー	
	横向き $11 * 10 =$	110.00 本
	横向き =	0.00 本
	小計	110.00 本
	型枠	
	壁面（開口部等控除含む） $25.65 =$	25.65 m2
	開口部1（小口） $(0.00 * 0 + 0.00 * 0) * 0.15 =$	0.00 m2
	開口部2（小口） $(0.00 * 0 + 0.00 * 0) * 0.15 =$	0.00 m2
	小計	25.65 m2
	グラウトコンクリート用型枠 $5.15 * 1 =$	5.15 m
	コンクリート	
	普通コンクリート $25.65 * 0.15 =$	3.85 m3
	グラウト部分（上端200mm） $- 5.15 * 0.15 * 0.20$ m =	▲ 0.15 m3
	小計	3.70 m3
	グラウトコンクリート $-0.15 * -1 =$	0.15 m3
	【撤去等数量】	
	カッター入れ_床 $5.15 =$	5.15 m

[illegible]

[illegible]

種 別	略 図 計 算 式	数 量
	【躯体等数量】	
	補強筋	
	横筋 $5.15 * 20$ 本 =	103.00 m
	控除：開口1 横筋 $- 0.00 * 0$ 本 =	0.00 m
	控除：開口2 横筋 $- 0.00 * 0$ 本 =	0.00 m
	小計	103.00 m
	D10 単位重量 $0.560 * 103.00$ m =	57.68 kg
	縦筋 $4.98 * 34$ 本 =	169.32 m
	控除：開口1 縦筋 $- 0.00 * 7$ 本 =	0.00 m
	控除：開口2 縦筋 $- 0.00 * 0$ 本 =	0.00 m
	小計	169.32 m
	D10 単位重量 $0.560 * 169.32$ m =	94.82 kg
	開口補強筋	
	↓該当なしの場合、x表記	
	x 開口1 横筋 $(0.00 + 0.013 * 40 d * 2) * 0 * 0 =$	0.00 m
	x 開口1 縦筋 $(0.00 + 0.013 * 40 d * 2) * 0 * 0 =$	0.00 m
	x 開口1 斜筋 $(0.013 * 40 d * 2) * 0 * 0 =$	0.00 m
	x 開口2 横筋 $(0.00 + 0.013 * 40 d * 2) * 0 * 0 =$	0.00 m
	x 開口2 縦筋 $(0.00 + 0.013 * 40 d * 2) * 0 * 0 =$	0.00 m
	x 開口2 斜筋 $(0.013 * 40 d * 2) * 0 * 0 =$	0.00 m
	小計	0.00 m
	D13 単位重量 $0.995 * 0.00$ m =	0.00 kg
	スパイラル筋	
	設置長さ $(5.15 + 4.98) * 2 =$	20.26 m
	差し筋アンカー	
	上向き（開口部等控除含む） $34.00 * 1 - 0 =$	34.00 本
	横向き（開口部等控除含む） $20.00 * 2 - 0 =$	40.00 本
	下向き（開口部等控除含む） $34.00 * 1 - 0 =$	34.00 本
	小計	108.00 本
	シアコネクタアンカー	
	横向き $11 * 10 =$	110.00 本
	横向き =	0.00 本
	小計	110.00 本
	型枠	
	壁面（開口部等控除含む） $25.65 =$	25.65 m2
	開口部1（小口） $(0.00 * 0 + 0.00 * 0) * 0.15 =$	0.00 m2
	開口部2（小口） $(0.00 * 0 + 0.00 * 0) * 0.15 =$	0.00 m2
	小計	25.65 m2
	グラウトコンクリート用型枠 $5.15 * 1 =$	5.15 m
	コンクリート	
	普通コンクリート $25.65 * 0.15 =$	3.85 m3
	グラウト部分（上端200mm） $- 5.15 * 0.15 * 0.20$ m =	▲ 0.15 m3
	小計	3.70 m3
	グラウトコンクリート $-0.15 * -1 =$	0.15 m3
	【撤去等数量】	
	カッター入れ_床 $5.15 =$	5.15 m

[illegible]

種 別	略 図 計 算 式										数 量
耐震壁工事											
図面番号：S-14											
補強番号：05	構築場所：Y2、X2～X3										
1階	補強対象既存壁仕様										
発電機室	33 壁記号	TW15									
	34 横筋（径）	D10 @ 250									
	35 縦筋（径）	D10 @ 150									
	1 既存壁厚	0.15									0.15 m
	2 増設壁厚	0.15									0.15 m
	3 階高	6.00									6.00 m
	4 スパン	6.00									6.00 m
	5 梁成（上階）	0.75									0.75 m
	6 梁下がり（上階）	0.3									0.30 m
	7 梁下がり（下階）	0.30									0.30 m
	8 柱巾	0.85									0.85 m
	9 かぶり厚（壁厚方向）	0.15	-		0.03	*	2.00	=		0.09 m	
	10 高さ（床SL～梁下端）	6.00	+	0.30	-	0.30	-	0.75	=	5.25 m	
	11 巾（柱内面～内面）	6.00	-	0.85						=	5.15 m
	12 壁面（控除前）	5.25	*	5.15						=	27.04 m2
	13 壁面（開口控除後）	27.04	-	1.38	-	0.00				=	25.66 m2
	14 開口1w	0.60									0.60 m
	15 開口1h	2.30									2.30 m
	16 開口1周長	(0.60	+	2.30	)*	2				=	5.80 m
	17 開口1面積	0.60	*	2.30						=	1.38 m2
	18 開口2w	0.00									0.00 m
	19 開口2h	0.00									0.00 m
	20 開口2周長	(0.00	+	0.00	)*	2				=	0.00 m
	21 開口2面積	0.00	*	0.00						=	0.00 m2
	既存梁幅	0.45									0.45 m
	32 床（シンダー厚）	0.30									0.30 m
	38 ピッチ（柱）	250.00 / 1000									0.25 m
	39 ピッチ（梁）	150.00 / 1000									0.15 m
	40 ピッチ（壁）シアコネクタ	500.00 / 1000									0.50 m
	配筋ピッチ										
	横筋	5.25	/	0.25	=	21.00	→	21.00	+	1 =	22 本
	縦筋	5.15	/	0.15	=	34.33	→	35.00	-	1 =	34 本

種 別	略 図 計 算 式	数 量
	【躯体等数量】	
	補強筋	
	横筋 $5.15 * 22$ 本 =	113.30 m
	控除：開口1 横筋 $- 0.60 * 10$ 本 =	▲ 6.00 m
	控除：開口2 横筋 $- 0.00 * 0$ 本 =	0.00 m
	小計	107.30 m
	D10 単位重量 $0.560 * 107.30$ m =	60.09 kg
	縦筋 $5.25 * 34$ 本 =	178.50 m
	控除：開口1 縦筋 $- 2.30 * 4$ 本 =	▲ 9.20 m
	控除：開口2 縦筋 $- 0.00 * 0$ 本 =	0.00 m
	小計	169.30 m
	D10 単位重量 $0.560 * 169.30$ m =	94.81 kg
	開口補強筋	
	↓該当なしの場合、x 表記	
	開口1 横筋 $(0.60 + 0.013 * 40 d * 1) * 2$ =	2.24 m
	開口1 縦筋 $(2.30 + 0.013 * 40 d * 2) * 1$ =	3.34 m
	開口1 斜筋 $(0.013 * 40 d * 2) * 2$ =	2.08 m
	x 開口2 横筋 $(0.00 + 0.013 * 40 d * 2) * 0$ *0=	0.00 m
	x 開口2 縦筋 $(0.00 + 0.013 * 40 d * 2) * 0$ *0=	0.00 m
	x 開口2 斜筋 $(0.013 * 40 d * 2) * 0$ *0=	0.00 m
	小計	7.66 m
	D13 単位重量 $0.995 * 7.66$ m =	7.62 kg
	スパイラル筋	
	設置長さ $(5.15 + 5.25) * 2 - 2.30$ =	18.50 m
	差し筋アンカー	
	上向き（開口部等控除含む） $34.00 * 1 - 0$ =	34.00 本
	横向き（開口部等控除含む） $22.00 * 2 - 10$ =	34.00 本
	下向き（開口部等控除含む） $34.00 * 1 - 0$ =	34.00 本
	小計	102.00 本
	シアコネクタアンカー	
	横向き $18 * 4 + 15 * 5$ =	147.00 本
	横向き $18 * 2$ =	36.00 本
	小計	183.00 本
	型枠	
	壁面（開口部等控除含む） 25.66 =	25.66 m2
	開口部1（小口） $(0.60 * 2 + 2.30 * 1) * 0.15$ =	0.53 m2
	開口部2（小口） $(0.00 * 0 + 0.00 * 0) * 0.15$ =	0.00 m2
	小計	26.19 m2
	グラウトコンクリート用型枠 $5.15 * 1$ =	5.15 m
	コンクリート	
	普通コンクリート $25.66 * 0.15$ =	3.85 m3
	グラウト部分（上端200mm） $- 5.15 * 0.15 * 0.20$ m =	▲ 0.15 m3
	小計	3.70 m3
	グラウトコンクリート $-0.15 * -1$ =	0.15 m3
	【撤去等数量】	
	カッター入れ_床 5.15 =	5.15 m

[illegible]

種 別	略 図 計 算 式										数 量
耐震壁工事											
図面番号：S-15											
補強番号：06	構築場所：Y2、X3～X4										
1階	補強対象既存壁仕様										
発電機室	33 壁記号	TW15									
	34 横筋（径）	D10 @ 250									
	35 縦筋（径）	D10 @ 150									
	1 既存壁厚	0.15									0.15 m
	2 増設壁厚	0.15									0.15 m
	3 階高	6.00									6.00 m
	4 スパン	6.00									6.00 m
	5 梁成（上階）	0.75									0.75 m
	6 梁下がり（上階）	0.3									0.30 m
	7 梁下がり（下階）	0.30									0.30 m
	8 柱巾	0.85									0.85 m
	9 かぶり厚（壁厚方向）	0.15	-		0.03	*	2.00	=		0.09 m	
	10 高さ（床SL～梁下端）	6.00	+	0.30	-	0.30	-	0.75	=	5.25 m	
	11 巾（柱内面～内面）	6.00	-	0.85						=	5.15 m
	12 壁面（控除前）	5.25	*	5.15						=	27.04 m2
	13 壁面（開口控除後）	27.04	-	1.38	-	0.40				=	25.26 m2
	14 開口1w	0.60									0.60 m
	15 開口1h	2.30									2.30 m
	16 開口1周長	(0.60	+	2.30	)*	2				=	5.80 m
	17 開口1面積	0.60	*	2.30						=	1.38 m2
	18 開口2w	0.50									0.50 m
	19 開口2h	0.80									0.80 m
	20 開口2周長	(0.50	+	0.80	)*	2				=	2.60 m
	21 開口2面積	0.50	*	0.80						=	0.40 m2
	既存梁幅	0.45									0.45 m
	32 床（シンダー厚）	0.30									0.30 m
	38 ピッチ（柱）	250.00 / 1000									0.25 m
	39 ピッチ（梁）	150.00 / 1000									0.15 m
	40 ピッチ（壁）シアコネクタ	500.00 / 1000									0.50 m
	配筋ピッチ										
	横筋	5.25	/	0.25	=	21.00	→	21.00	+	1 =	22 本
	縦筋	5.15	/	0.15	=	34.33	→	35.00	-	1 =	34 本

種 別	略 図 計 算 式	数 量
	【躯体等数量】	
	補強筋	
	横筋 $5.15 * 22$ 本 =	113.30 m
	控除：開口1 横筋 $- 0.60 * 10$ 本 =	▲ 6.00 m
	控除：開口2 横筋 $- 0.50 * 3$ 本 =	▲ 1.50 m
	小計	105.80 m
	D10 単位重量 $0.560 * 105.80$ m =	59.25 kg
	縦筋 $5.25 * 34$ 本 =	178.50 m
	控除：開口1 縦筋 $- 2.30 * 4$ 本 =	▲ 9.20 m
	控除：開口2 縦筋 $- 0.80 * 3$ 本 =	▲ 2.40 m
	小計	166.90 m
	D10 単位重量 $0.560 * 166.90$ m =	93.46 kg
	開口補強筋	
	↓ 該当なしの場合、x 表記	
	開口1 横筋 $(0.60 + 0.013 * 40 d * 1) * 2$ =	2.24 m
	開口1 縦筋 $(2.30 + 0.013 * 40 d * 2) * 1$ =	3.34 m
	開口1 斜筋 $(0.013 * 40 d * 2) * 2$ =	2.08 m
	開口2 横筋 $(0.50 + 0.013 * 40 d * 2) * 1$ =	1.54 m
	開口2 縦筋 $(0.80 + 0.013 * 40 d * 1) * 2$ =	2.64 m
	開口2 斜筋 $(0.013 * 40 d * 2) * 2$ =	2.08 m
	小計	13.92 m
	D13 単位重量 $0.995 * 13.92$ m =	13.85 kg
	スパイラル筋	
	設置長さ $(5.15 + 5.25) * 2 - 2.30 - 0.50$ =	18.00 m
	差し筋アンカー	
	上向き（開口部等控除含む） $34.00 * 1 - 3$ =	31.00 本
	横向き（開口部等控除含む） $22.00 * 2 - 10$ =	34.00 本
	下向き（開口部等控除含む） $34.00 * 1 - 0$ =	34.00 本
	小計	99.00 本
	シアコネクタアンカー	
	横向き $16 * 2 + 18 * 2$ =	68.00 本
	横向き $15 * 5 + 18 * 2$ =	111.00 本
	小計	179.00 本
	型枠	
	壁面（開口部等控除含む） 25.26 =	25.26 m2
	開口部1（小口） $(0.60 * 2 + 2.30 * 1) * 0.15$ =	0.53 m2
	開口部2（小口） $(0.50 * 1 + 0.80 * 2) * 0.15$ =	0.32 m2
	小計	26.11 m2
	グラウトコンクリート用型枠 $(5.15 - 0.50) * 1$ =	4.65 m
	コンクリート	
	普通コンクリート $25.26 * 0.15$ =	3.79 m3
	グラウト部分（上端200mm） $- 5.15 * 0.15 * 0.20$ m =	▲ 0.15 m3
	小計	3.64 m3
	グラウトコンクリート $-0.15 * -1$ =	0.15 m3
	【撤去等数量】	
	カッター入れ_床 5.15 =	5.15 m

[illegible]

種 別	略 図 計 算 式										数 量
耐震壁工事											
図面番号：S-16											
補強番号：07	構築場所：X2、Y0～Y1										
1階	補強対象既存壁仕様										
工作室・倉庫	33 壁記号	W15									
	34 横筋（径）	D10 @ 250									
	35 縦筋（径）	D10 @ 150									
	1 既存壁厚	0.15									0.15 m
	2 増設壁厚	0.15									0.15 m
	3 階高	6.00									6.00 m
	4 スパン	7.50									7.50 m
	5 梁成（上階）	0.85									0.85 m
	6 梁下がり（上階）	0.3									0.30 m
	7 梁下がり（下階）	0.03									0.03 m
	8 柱巾	0.85									0.85 m
	9 かぶり厚（壁厚方向）	0.15	-		0.03	*	2.00	=		0.09 m	
	10 高さ（床SL～梁下端）	6.00	+	0.03	-	0.30	-	0.85	=	4.88 m	
	11 巾（柱内面～内面）	7.50	-	0.85						=	6.65 m
	12 壁面（控除前）	4.88	*	6.65						=	32.45 m2
	13 壁面（開口控除後）	32.45	-	4.80	-	0.00				=	27.65 m2
	14 開口1w	1.60									1.60 m
	15 開口1h	3.00									3.00 m
	16 開口1周長	(1.60	+	3.00	)*	1				=	4.60 m
	17 開口1面積	1.60	*	3.00						=	4.80 m2
	18 開口2w	0.00									0.00 m
	19 開口2h	0.00									0.00 m
	20 開口2周長	(0.00	+	0.00	)*	1				=	0.00 m
	21 開口2面積	0.00	*	0.00						=	0.00 m2
	既存梁幅	0.45									0.45 m
	32 床（シンダー厚）	0.00									0.00 m
	38 ピッチ（柱）	250.00 / 1000									0.25 m
	39 ピッチ（梁）	150.00 / 1000									0.15 m
	40 ピッチ（壁）シアコネクタ	500.00 / 1000									0.50 m
	配筋ピッチ										
	横筋	4.88	/	0.25	=	19.52	→	20.00	-	1	= 19 本
	縦筋	6.65	/	0.15	=	44.33	→	45.00	-	1	= 44 本

種 別	略 図 計 算 式	数 量
	【躯体等数量】	
	補強筋	
	横筋 $6.65 * 19 \text{ 本} =$	126.35 m
	控除：開口1 横筋 $- 1.60 * 12 \text{ 本} =$	▲ 19.20 m
	控除：開口2 横筋 $- 0.00 * 0 \text{ 本} =$	0.00 m
	小計	107.15 m
	D10 単位重量 $0.560 * 107.15 \text{ m} =$	60.00 kg
	縦筋 $4.88 * 44 \text{ 本} =$	214.72 m
	控除：開口1 縦筋 $- 3.00 * 10 \text{ 本} =$	▲ 30.00 m
	控除：開口2 縦筋 $- 0.00 * 0 \text{ 本} =$	0.00 m
	小計	184.72 m
	D10 単位重量 $0.560 * 184.72 \text{ m} =$	103.44 kg
	開口補強筋	
	↓該当なしの場合、x表記	
	開口1 横筋 $(1.60 + 0.013 * 40 \text{ d} * 2) * 1 =$	2.64 m
	開口1 縦筋 $(3.00 + 0.013 * 40 \text{ d} * 2) * 1 =$	4.04 m
	開口1 斜筋 $(0.013 * 40 \text{ d} * 2) * 1 =$	1.04 m
	x 開口2 横筋 $(0.00 + 0.013 * 40 \text{ d} * 2) * 0 * 0 =$	0.00 m
	x 開口2 縦筋 $(0.00 + 0.013 * 40 \text{ d} * 2) * 0 * 0 =$	0.00 m
	x 開口2 斜筋 $(0.013 * 40 \text{ d} * 2) * 0 * 0 =$	0.00 m
	小計	7.72 m
	D13 単位重量 $0.995 * 7.72 \text{ m} =$	7.68 kg
	スパイラル筋	
	設置長さ $(6.65 + 4.88) * 2 - 1.60 - 3.00 =$	18.46 m
	差し筋アンカー	
	上向き（開口部等控除含む） $44.00 * 1 - 0 =$	44.00 本
	横向き（開口部等控除含む） $19.00 * 2 - 12 =$	26.00 本
	下向き（開口部等控除含む） $44.00 * 1 - 10 =$	34.00 本
	小計	104.00 本
	シアコネクタアンカー	
	横向き $16 * 4 + 12 * 6 =$	136.00 本
	横向き $-5 * 2 =$	▲ 10.00 本
	小計	126.00 本
	型枠	
	壁面（開口部等控除含む） $27.65 =$	27.65 m2
	開口部1（小口） $(1.60 * 1 + 3.00 * 1) * 0.15 =$	0.69 m2
	開口部2（小口） $(0.00 * 0 + 0.00 * 0) * 0.15 =$	0.00 m2
	小計	28.34 m2
	グラウトコンクリート用型枠 $6.65 * 1 =$	6.65 m
	コンクリート	
	普通コンクリート $27.65 * 0.15 =$	4.15 m3
	グラウト部分（上端200mm） $- 6.65 * 0.15 * 0.20 \text{ m} =$	▲ 0.20 m3
	小計	3.95 m3
	グラウトコンクリート $-0.20 * -1 =$	0.20 m3
	【撤去等数量】	
	カッター入れ_床 $6.65 =$	6.65 m

[illegible]

[illegible]

種 別	略 図 計 算 式	数 量
	【躯体等数量】	
	補強筋	
	横筋 $6.65 * 22$ 本 =	146.30 m
	控除：開口1 横筋 $- 0.60 * 9$ 本 =	▲ 5.40 m
	控除：開口2 横筋 $- 0.60 * 9$ 本 =	▲ 5.40 m
	小計	135.50 m
	D10 単位重量 $0.560 * 135.50$ m =	75.88 kg
	縦筋 $5.42 * 44$ 本 =	238.48 m
	控除：開口1 縦筋 $- 2.30 * 5$ 本 =	▲ 11.50 m
	控除：開口2 縦筋 $- 2.30 * 5$ 本 =	▲ 11.50 m
	小計	215.48 m
	D10 単位重量 $0.560 * 215.48$ m =	120.67 kg
	開口補強筋	
	↓該当なしの場合、x表記	
	開口1 横筋 $(0.60 + 0.013 * 40 d * 2) * 2$ =	3.28 m
	開口1 縦筋 $(2.30 + 0.013 * 40 d * 2) * 2$ =	6.68 m
	開口1 斜筋 $(0.013 * 40 d * 2) * 4$ =	4.16 m
	開口2 横筋 $(0.60 + 0.013 * 40 d * 2) * 2$ =	3.28 m
	開口2 縦筋 $(2.30 + 0.013 * 40 d * 2) * 2$ =	6.68 m
	開口2 斜筋 $(0.013 * 40 d * 2) * 4$ =	4.16 m
	小計	28.24 m
	D13 単位重量 $0.995 * 28.24$ m =	28.10 kg
	スパイラル筋	
	設置長さ $(6.65 + 5.42) * 2$ =	24.14 m
	差し筋アンカー	
	上向き（開口部等控除含む） $44.00 * 1 - 0$ =	44.00 本
	横向き（開口部等控除含む） $22.00 * 2 - 0$ =	44.00 本
	下向き（開口部等控除含む） $44.00 * 1 - 0$ =	44.00 本
	小計	132.00 本
	シアコネクタアンカー	
	横向き $15 * 4 + 13 * 5$ =	125.00 本
	横向き $15 * 2$ =	30.00 本
	小計	155.00 本
	型枠	
	壁面（開口部等控除含む） 33.28 =	33.28 m2
	開口部1（小口） $(0.60 * 2 + 2.30 * 2) * 0.30$ =	1.74 m2
	開口部2（小口） $(0.60 * 2 + 2.30 * 2) * 0.30$ =	1.74 m2
	小計	36.76 m2
	グラウトコンクリート用型枠 $6.65 * 1$ =	6.65 m
	コンクリート	
	普通コンクリート $33.28 * 0.30$ =	9.98 m3
	グラウト部分（上端200mm） $- 6.65 * 0.30 * 0.20$ m =	▲ 0.40 m3
	小計	9.58 m3
	グラウトコンクリート $-0.40 * -1$ =	0.40 m3
	【撤去等数量】	
	カッター入れ_床 6.65 =	6.65 m

[illegible]

種 別	略 図 計 算 式										数 量
耐震壁工事											
図面番号：S-18											
補強番号：09	構築場所：Y1、X2～X3										
2階	補強対象既存壁仕様										
テレメータ室	33 壁記号	TW15									
	34 横筋（径）	D10 @ 250									
	35 縦筋（径）	D10 @ 150									
	1 既存壁厚	0.15									0.15 m
	2 増設壁厚	0.15									0.15 m
	3 階高	4.50									4.50 m
	4 スパン	6.00									6.00 m
	5 梁成（上階）	0.70									0.70 m
	6 梁下がり（上階）	0									0.00 m
	7 梁下がり（下階）	0.30									0.30 m
	8 柱巾	0.75									0.75 m
	9 かぶり厚（壁厚方向）	0.15	-		0.03	*	2.00	=		0.09 m	
	10 高さ（床SL～梁下端）	4.50	+	0.30	-	0.00	-	0.70	=	4.10 m	
	11 巾（柱内面～内面）	6.00	-	0.75						=	5.25 m
	12 壁面（控除前）	4.10	*	5.25						=	21.53 m2
	13 壁面（開口控除後）	21.53	-	2.16	-	0.00				=	19.37 m2
	14 開口1w	0.90									0.90 m
	15 開口1h	2.40									2.40 m
	16 開口1周長	(0.90	+	2.40	)*	1				=	3.30 m
	17 開口1面積	0.90	*	2.40						=	2.16 m2
	18 開口2w	0.00									0.00 m
	19 開口2h	0.00									0.00 m
	20 開口2周長	(0.00	+	0.00	)*	1				=	0.00 m
	21 開口2面積	0.00	*	0.00						=	0.00 m2
	既存梁幅	0.45									0.45 m
	32 床（シンダー厚）	0.30									0.30 m
	38 ピッチ（柱）	250.00 / 1000									0.25 m
	39 ピッチ（梁）	150.00 / 1000									0.15 m
	40 ピッチ（壁）シアコネクタ	500.00 / 1000									0.50 m
	配筋ピッチ										
	横筋	4.10	/	0.25	=	16.40	→	17.00	-	0 =	17 本
	縦筋	5.25	/	0.15	=	35.00	→	35.00	-	0 =	35 本

種 別	略 図 計 算 式	数 量
	【躯体等数量】	
	補強筋	
	横筋 $5.25 * 17 \text{ 本} =$	89.25 m
	控除：開口1 横筋 $- 0.90 * 10 \text{ 本} =$	▲ 9.00 m
	控除：開口2 横筋 $- 0.00 * 0 \text{ 本} =$	0.00 m
	小計	80.25 m
	D10 単位重量 $0.560 * 80.25 \text{ m} =$	44.94 kg
	縦筋 $4.10 * 35 \text{ 本} =$	143.50 m
	控除：開口1 縦筋 $- 2.40 * 6 \text{ 本} =$	▲ 14.40 m
	控除：開口2 縦筋 $- 0.00 * 0 \text{ 本} =$	0.00 m
	小計	129.10 m
	D10 単位重量 $0.560 * 129.10 \text{ m} =$	72.30 kg
	開口補強筋	
	↓該当なしの場合、x表記	
	開口1 横筋 $(0.90 + 0.013 * 40 \text{ d} * 1) * 1 =$	1.42 m
	開口1 縦筋 $(2.40 + 0.013 * 40 \text{ d} * 1) * 1 =$	2.92 m
	開口1 斜筋 $(0.013 * 40 \text{ d} * 2) * 1 =$	1.04 m
	x 開口2 横筋 $(0.00 + 0.013 * 40 \text{ d} * 2) * 0 * 0 =$	0.00 m
	x 開口2 縦筋 $(0.00 + 0.013 * 40 \text{ d} * 2) * 0 * 0 =$	0.00 m
	x 開口2 斜筋 $(0.013 * 40 \text{ d} * 2) * 0 * 0 =$	0.00 m
	小計	5.38 m
	D13 単位重量 $0.995 * 5.38 \text{ m} =$	5.35 kg
	スパイラル筋	
	設置長さ $(5.25 + 4.10) * 2 - 0.90 - 2.40 =$	15.40 m
	差し筋アンカー	
	上向き（開口部等控除含む） $35.00 * 1 - 0 =$	35.00 本
	横向き（開口部等控除含む） $17.00 * 2 - 10 =$	24.00 本
	下向き（開口部等控除含む） $35.00 * 1 - 6 =$	29.00 本
	小計	88.00 本
	シアコネクタアンカー	
	横向き $12 * 4 + 10 * 5 =$	98.00 本
	横向き $0 * 0 =$	0.00 本
	小計	98.00 本
	型枠	
	壁面（開口部等控除含む） $19.37 =$	19.37 m2
	開口部1（小口） $(0.90 * 1 + 2.40 * 1) * 0.15 =$	0.50 m2
	開口部2（小口） $(0.00 * 0 + 0.00 * 0) * 0.15 =$	0.00 m2
	小計	19.87 m2
	グラウトコンクリート用型枠 $5.25 * 1 =$	5.25 m
	コンクリート	
	普通コンクリート $19.37 * 0.15 =$	2.91 m3
	グラウト部分（上端200mm） $- 5.25 * 0.15 * 0.20 \text{ m} =$	▲ 0.16 m3
	小計	2.75 m3
	グラウトコンクリート $-0.16 * -1 =$	0.16 m3
	【撤去等数量】	
	カッター入れ_床 $5.25 =$	5.25 m

[illegible]

種 別	略 図 計 算 式										数 量
耐震壁工事											
図面番号：S-19											
補強番号：10	構築場所：Y1、X3～X4										
2階	補強対象既存壁仕様										
操作室	33 壁記号	TW15									
	34 横筋（径）	D10 @ 250									
	35 縦筋（径）	D10 @ 150									
	1 既存壁厚	0.15									0.15 m
	2 増設壁厚	0.15									0.15 m
	3 階高	4.50									4.50 m
	4 スパン	6.00									6.00 m
	5 梁成（上階）	0.70									0.70 m
	6 梁下がり（上階）	0									0.00 m
	7 梁下がり（下階）	0.30									0.30 m
	8 柱巾	0.75									0.75 m
	9 かぶり厚（壁厚方向）	0.15	-		0.03	*	2.00	=		0.09 m	
	10 高さ（床SL～梁下端）	4.50	+	0.30	-	0.00	-	0.70	=	4.10 m	
	11 巾（柱内面～内面）	6.00	-	0.75						=	5.25 m
	12 壁面（控除前）	4.10	*	5.25						=	21.53 m2
	13 壁面（開口控除後）	21.53	-	2.16	-	0.18				=	19.19 m2
	14 開口1w	0.90									0.90 m
	15 開口1h	2.40									2.40 m
	16 開口1周長	(0.90	+	2.40	)*	1				=	3.30 m
	17 開口1面積	0.90	*	2.40						=	2.16 m2
	18 開口2w	0.60									0.60 m
	19 開口2h	0.30									0.30 m
	20 開口2周長	(0.60	+	0.30	)*	1				=	0.90 m
	21 開口2面積	0.60	*	0.30						=	0.18 m2
	既存梁幅	0.45									0.45 m
	32 床（シンダー厚）	0.30									0.30 m
	38 ピッチ（柱）	250.00 / 1000									0.25 m
	39 ピッチ（梁）	150.00 / 1000									0.15 m
	40 ピッチ（壁）シアコネクタ	500.00 / 1000									0.50 m
	配筋ピッチ										
	横筋	4.10	/	0.25	=	16.40	→	17.00	-	0 =	17 本
	縦筋	5.25	/	0.15	=	35.00	→	35.00	-	0 =	35 本

種 別	略 図 計 算 式	数 量
	【躯体等数量】	
	補強筋	
	横筋 $5.25 * 17 \text{ 本} =$	89.25 m
	控除：開口1 横筋 $- 0.90 * 10 \text{ 本} =$	▲ 9.00 m
	控除：開口2 横筋 $- 0.60 * 1 \text{ 本} =$	▲ 0.60 m
	小計	79.65 m
	D10 単位重量 $0.560 * 79.65 \text{ m} =$	44.60 kg
	縦筋 $4.10 * 35 \text{ 本} =$	143.50 m
	控除：開口1 縦筋 $- 2.40 * 6 \text{ 本} =$	▲ 14.40 m
	控除：開口2 縦筋 $- 0.30 * 4 \text{ 本} =$	▲ 1.20 m
	小計	127.90 m
	D10 単位重量 $0.560 * 127.90 \text{ m} =$	71.62 kg
	開口補強筋	
	↓該当なしの場合、x表記	
	開口1 横筋 $(0.90 + 0.013 * 40 \text{ d} * 1) * 1 =$	1.42 m
	開口1 縦筋 $(2.40 + 0.013 * 40 \text{ d} * 1) * 1 =$	2.92 m
	開口1 斜筋 $(0.013 * 40 \text{ d} * 2) * 1 =$	1.04 m
	開口2 横筋 $(0.60 + 0.013 * 40 \text{ d} * 2) * 1 =$	1.64 m
	開口2 縦筋 $(0.30 + 0.013 * 40 \text{ d} * 2) * 2 =$	2.68 m
	開口2 斜筋 $(0.013 * 40 \text{ d} * 2) * 2 =$	2.08 m
	小計	11.78 m
	D13 単位重量 $0.995 * 11.78 \text{ m} =$	11.72 kg
	スパイラル筋 開口1 開口2	
	設置長さ $(5.25 + 4.10) * 2 - 3.30 - 0.60 =$	14.80 m
	差し筋アンカー	
	上向き（開口部等控除含む） $35.00 * 1 - 0 =$	35.00 本
	横向き（開口部等控除含む） $17.00 * 2 - 10 =$	24.00 本
	下向き（開口部等控除含む） $35.00 * 1 - 6 - 4 =$	25.00 本
	小計	84.00 本
	シアコネクタアンカー	
	横向き $12 * 4 + 10 * 5 =$	98.00 本
	横向き $0 * 0 =$	0.00 本
	小計	98.00 本
	型枠	
	壁面（開口部等控除含む） $19.19 =$	19.19 m2
	開口部1（小口） $(0.90 * 1 + 2.40 * 1) * 0.15 =$	0.50 m2
	開口部2（小口） $(0.60 * 1 + 0.30 * 2) * 0.15 =$	0.18 m2
	小計	19.87 m2
	グラウトコンクリート用型枠 $5.25 * 1 =$	5.25 m
	コンクリート	
	普通コンクリート $19.19 * 0.15 =$	2.88 m3
	グラウト部分（上端200mm） $- 5.25 * 0.15 * 0.20 \text{ m} =$	▲ 0.16 m3
	小計	2.72 m3
	グラウトコンクリート $-0.16 * -1 =$	0.16 m3
	【撤去等数量】	
	カッター入れ_床 $5.25 =$	5.25 m

[illegible]

種 別	略 図 計 算 式					数 量
附帯工事1	耐震スリット工事					
図面番号：A-18						
耐震スリット	構築場所：Y2、X5～X6					
2階						
便所						
	1 既存壁厚	0.15				0.15 m
	3 階高	4.50				4.50 m
	4 スパン	6.00				6.00 m
	5 梁成（上階）	0.70				0.70 m
	6 梁下がり（上階）	0				0.00 m
	7 梁下がり（下階）	0.10				0.10 m
	8 天井高	3.00				3.00 m
	9 ライニング高さ（腰壁）	1.30				1.30 m
	10 高さ（床SL～梁下端）	4.50	-	0.00	- 0.70	= 3.80 m
	11 作業範囲（正面）	1.00				1.00 m
	仕上撤去幅	0.10				0.10 m
	【躯体等数量】					
	型枠					
	耐震スリット	3.80			=	3.80 m
	【撤去等数量】					
	カッター入れ（壁：床～天井）	3.80	*	2.00	=	7.60 m
	壁タイルモルタル共（床～天井まで）w100	3.00	*	0.10	=	0.30 m2
	コンクリートブロック撤去（腰壁）	1.30	*	0.10	* 0.12	= 0.02 m2
	甲板撤去（テラゾ）	0.10			=	0.10 m
	天井（下地材共）	1.00	*	1.00	m	= 1.00 m2
	天井ボード撤去（フレキシVP）	1.00			=	1.00 m2
	【仕上等数量】					
	モルタル金ゴテ（カッター面）	3.00	*	0.10	=	0.30 m2
	モルタル金ゴテ（CB側面	1.30	*	0.10	* 2.00	= 0.26 m2
						小計 0.56 m2
	EP塗装（細物）	0.56			=	0.56 m2
	ロックウール充填（巾20mm）	3.80			=	3.80 m
	シーリング	3.80			=	3.80 m
	LGS天井下地（19型：直貼り）	1.00			=	1.00 m2
	天井ボード張り（GB-S）	1.00			=	1.00 m2
	天井廻り縁（塩ビ製）	1.00	+	1.00	=	2.00 m

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

•

[illegible]

種 別	略 図 計 算 式										数 量
附帯工事4	袖壁打替改修工事										
図面番号：A-16, 17											
袖壁打替	構築場所：Y0、X3～X4 ⇒ 集計表では附帯4-1（図面番号A17）										
1階	構築場所：Y1、X3～X4 ⇒ 集計表では附帯4-2（図面番号A16）										
工作室・倉庫 ～脱衣室浴室 ～手洗所	※原則として、同一数量とする（算出数量は1箇所分）										
	1 既存壁厚	0.15								0.15 m	
	3 階高	6.00								6.00 m	
	4 スパン	6.00								6.00 m	
	5 梁成（上階）	0.75								0.75 m	
	6 梁下がり（上階）	0.3								0.30 m	
	7 梁下がり（下階）	0.03								0.03 m	
	8 天井高	3.00								3.00 m	
	10 高さ（床SL～梁下端）	6.00	-	0.30	-	0.75		=		4.95 m	
	11 作業範囲（側面）	0.50								0.50 m	
	11 作業範囲（奥行：片側）	1.00								1.00 m	
	耐震増壁厚	0.15								0.15 m	
	作業対象面積（両側）	0.50	*	1.00	*	2		=		1.00 m2	
	仕上撤去幅	0.10								0.10 m	
	配筋ピッチ										
	横筋：D10	4.95	/	0.20	=	24.75	→	25.00	-	1 =	
	定着長さ	(0.01	*	40 d			)	*	2	=	
	【躯体等数量】										
	配筋										
	横筋	0.80	*	24	本			=		19.20 m	
									小計	19.20 m	
	D10 単位重量	0.560	*	19.20	m			=		10.75 kg	
	型枠										
	袖壁分（両面）	0.50	*	4.95	*	2		=		4.95 m2	
	コンクリート										
	普通コンクリート	(0.50	-	0.15	)	*	4.95	*	0.15	=	
	グラウト部分（上端200mm）	(0.50	-	0.15	)	*	0.20	*	-1	=	
									小計	0.19 m3	
	グラウトコンクリート	-0.07	*	-1				=		0.07 m3	
	グラウトコンクリート用型枠	(0.50	-	0.15	)	*	2.00	=		0.70 m	

[illegible]

[illegible]

•

[illegible]

種 別	略 図 計 算 式	数 量
附帯工事6	開口部閉塞工事	
図面番号：S-16		
開口部閉塞	構築場所：X3、Y0～Y1	
1階		
工作室・倉庫	33 壁記号 W15	
	34 横筋（径） D10 @ 200	
	35 縦筋（径） D10 @ 200	
	9 既存壁厚 0.15	0.15 m
	9 ハツリ等対象幅 0.30	0.30 m
	11 作業範囲（奥行） 1.00	1.00 m
	耐震増壁厚 0.15	0.15 m
	14 開口1w窓 0.60	0.60 m
	15 開口1h窓 2.30	2.30 m
	16 開口1周長 (0.60 + 2.30) * 2 =	5.80 m
	17 開口1面積 0.60 * 2.30 =	1.38 m2
	開口周長（作業幅含む）外周 (0.60 + 2.30 + 0.30 * 8) * 2 =	10.60 m
	開口周長（作業幅含む）面積 (0.60 + 0.60) * (2.30 + 0.60) =	3.48 m2
	39 ピッチ（横筋） 200.00 / 1000	0.20 m
	40 ピッチ（縦筋） 200.00 / 1000	0.20 m
	配筋本数	
	横筋 2.30 / 0.20 = 11.50 → 12.00 =	12 本
	縦筋 0.60 / 0.20 = 3.00 → 3.00 =	3 本
	定着長さ	
	開口1 横筋 0.60 + 0.010 * 40 d * 2 =	1.40 m
	開口1 縦筋 2.30 + 0.010 * 40 d * 2 =	3.10 m
	【躯体等数量】	
	配筋	
	横筋 1.40 * 12 本 =	16.80 m
	縦筋 3.10 * 3 本 =	9.30 m
	横筋D10 単位重量 0.560 * 16.80 m =	9.41 kg
	縦筋D10 単位重量 0.560 * 9.30 m =	5.21 kg
	小計	14.62 kg
	型枠	
	外壁側（両面） 3.48 * 2 =	6.96 m2
	目地（20x20） 10.60 =	10.60 m
	コンクリート	
	普通コンクリート 3.48 * 0.15 =	0.52 m3
	グラウト部分（上端200mm） (0.60 + 0.60) * 0.15 * 0.20 * -1 =	▲ 0.04 m3
	小計	0.48 m3
	グラウトコンクリート -0.04 * -1 =	0.04 m3
	グラウトコンクリート用型枠 (0.60 + 0.60) * 2 =	2.40 m

[illegible]

種 別	略 図 計 算 式				数 量
附帯工事7	配線作業用点検口設置工事				
図面番号：A-18					
点検口設置					
2階					
会議室					
	1 既存壁厚	0.15			0.15 m
	2 階高	4.50			4.50 m
	3 スパン	6.00			6.00 m
	4 梁成（上階）	0.70			0.70 m
	5 梁下がり（上階）	0			0.00 m
	6 梁下がり（下階）	0.03			0.03 m
	7 柱巾	0.75			0.75 m
	8 天井高	3.00			3.00 m
	9 箇所数	2			2.00 箇所
	10 点検口サイズ（縦横同寸法）	0.60			0.60 m
	撤去復旧範囲の巾				
	点検口を中心に1m	1.00			1.00 m
	撤去復旧範囲の奥行				
	点検口を中心に1m	1.00			1.00 m
	撤去復旧範囲面積	1.00	*	1.00	= 1.00 m ²
	撤去復旧範囲周長	(1.00	+	1.00)*	= 4.00 m
	【撤去等数量】				
	カッター入れ_天井ボード	4.00	*	2.00 箇所	= 8.00 m
	ボード撤去（岩綿吸音板）	1.00	*	1.00 * 2.00 箇所	= 2.00 m ²
	LGS天井下地撤去	2.00			= 2.00 m ²
	【仕上等数量】				
	LGS天井下地（19型 捨貼り）	2.00			= 2.00 m ²
	LGS天井開口下地（600角）	2.00			= 2.00 箇所
	天井点検口（600角・額縁）	2.00			= 2.00 箇所
	天井ボード張り（岩綿吸音板下地共）	2.00			= 2.00 m ²

[illegible]

[illegible]

非建築構造部材（ガラス面積）施工明細一覧

階	室名	建具記号	建具数	ガラス種別	ガラス形状	板数	網入有無	当初板厚	巾	高さ	面積	対象箇所数	小計	面積区分	周長	対象箇所数	周長計
1	モーター室	AW8	2	GA-2	ブロンズ透明	単板	線入	6.8	0.6	2.3	1.38	2	2.8	2㎡	5.80	2	11.60
1	階段室1	AW8	1	GA-2	ブロンズ透明	単板	線入	6.8	0.6	2.3	1.38	1	1.4	2㎡	5.80	1	5.80
1	発電機室	AW10	3	GA-1	ブロンズ透明	複層	線入	6.8-5A6	0.6	2.3	1.38	3	4.1	2㎡	5.80	3	17.40
2	操作盤室	AW1	1	GA-2	ブロンズ透明	単板	線入	6.8	1.8	2.3	4.14	1	4.1	6㎡	8.20	1	8.20
2	操作盤室	AW1		GA-2	ブロンズ透明	単板	線入	6.8	1.75	2.3	4.03	1	4.0	6㎡	8.10	1	8.10
2	宿直室	AW1		GA-4	ブロンズ透明	単板	なし	8	1.65	2.3	3.8	1	3.8	4㎡	7.90	1	7.90
2	宿直室	AW1		GA-3	ブロンズ透明	単板	なし	10	1.75	2.3	4.03	1	4.0	6㎡	8.10	1	8.10
2	会議室	AW1		GA-4	ブロンズ透明	単板	なし	8	1.67	2.3	3.85	1	3.9	4㎡	7.94	1	7.94
2	会議室	AW1		GA-3	ブロンズ透明	単板	なし	10	1.75	2.3	4.03	1	4.0	6㎡	8.10	1	8.10
2	会議室	AW1		GA-4	ブロンズ透明	単板	なし	8	1.51	2.3	3.48	1	3.5	4㎡	7.62	1	7.62
2	会議室	AW2	1	GA-4	ブロンズ透明	単板	なし	8	1.46	2.3	3.36	1	3.4	4㎡	7.52	1	7.52
2	会議室	AW2	1	GA-4	ブロンズ透明	単板	なし	8	1.75	2.3	4.03	1	4.0	6㎡	8.10	1	8.10
2	会議室	AW2	1	GA-4	ブロンズ透明	単板	なし	8	1.065	1.9	2.03	1	2.0	4㎡	5.93	1	5.93
2	会議室	AW2		GA-5	ブロンズ透明	単板	なし	5	1.065	0.9	0.96	2	1.9	2㎡	3.93	2	7.86
2	会議室	AW3	1	GA-4	ブロンズ透明	単板	なし	8	1.22	2.3	2.81	1	2.8	4㎡	7.04	1	7.04
2	会議室	AW4	1	GA-4	ブロンズ透明	単板	なし	8	1.395	2.3	3.21	3	9.6	4㎡	7.39	3	22.17
2	便所	AW5	1	GA-4	ブロンズ透明	単板	なし	8	1.523	2.3	3.51	1	3.5	4㎡	7.65	1	7.65
2	ホール	AW5		GA-4	ブロンズ透明	単板	なし	8	1.563	2.3	3.6	4	14.4	4㎡	7.73	4	30.92
2	ホール	AW6	1	GA-4	ブロンズ透明	単板	なし	8	1.43	2.3	3.29	4	13.2	4㎡	7.46	4	29.84
2	階段室2	AW12	1	GA-5	ブロンズ透明	単板	なし	5	0.6	3	1.8	1	1.8	2㎡	7.20	1	7.20
92.2															224.99		

ガラス種別集計表

非建築構造部材_撤去工事						
ガラス種別	ガラス形状	工事内容	摘要	箇所数	面積	単位
GA-1	複層	GA-1_複層	2～10mm	1	4.10	m2
GA-2	網入り	GA-2_網入り	2～10mm	4	12.30	m2
GA-3	単板10	GA-3_単板10	2～10mm	2	8.00	m2
GA-4	単板8	GA-4_単板8	2～10mm	11	64.10	m2
GA-5	単板5	GA-5_単板5	2～10mm	2	3.70	m2
			小計		92.20	m2
		シーリング撤去	周長計		224.99	m

非建築構造部材_新設工事						
ガラス種別	ガラス形状	工事内容	摘要	区分	面積	単位
GA-1	複層合わせ	GA-1_複層合わせ	PW6.8+A6+FL3&FL3	4㎡以下	4.10	m2
GA-2	網入り合わせ	GA-2_網入り合わせ	PW6.8&FL6	4㎡以下	12.30	m2
GA-3	合わせ厚10	GA-3_合わせ厚10	FL5&FL5	4㎡以下	8.00	m2
GA-4	合わせ厚10	GA-4_合わせ厚10	FL5&FL5	4㎡以下	64.10	m2
GA-5	合わせ厚6	GA-5_合わせ厚6	FL3&FL3	2㎡以下	3.70	m2
			小計		92.20	m2
		ガラス留めシーリング	5mm x 5mm シリコン1成分系		224.99	m

電気設備工(AE) 仕様書

	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	芝川ポンプ場耐震補強工事（電気設備）						
	直接工事費						
	I.電気設備工事		1.0	式			
	II.建築副産物処理費		1.0	式			
	計						
	共通費						
	I.共通仮設費		1.0	式			改修電気設備工事
	II.現場管理費		1.0	式			完全週休2日（土日）補正係数1.01 改修電気設備工事
	III.一般管理費		1.0	式			電気設備工事
	計						
	合計（工事価格）						
	消費税相当額		1.0	式			10%
	総合計（工事費）						

	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	I. 電気設備工事						
	I -1. 電灯設備工事		1.0	式			
	I -2. 動力設備工事		1.0	式			
	I -3. 放送設備工事		1.0	式			
	I -4. インターホン設備工事		1.0	式			
	I -5. 直接仮設工事		1.0	式			
	I .の計						
	II. 建築副産物処理費		1.0	式			別紙「建築副産物処理費 計算書」参照

	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
I.	電気設備工事						
	1. 電灯設備工事						
	(1) 電灯幹線						
	主開閉器盤	M	1.0	面			
	電線	EM-IE3.5sq 管内	25.0	m			
	ケーブル	EM-CE3.5sq-2C 管内	41.0	m			
	ケーブル	EM-CE3.5sq-2C コロガシ	9.0	m			
	ケーブル	EM-CE3.5sq-3C 管内	23.0	m			
	ケーブル	EM-CE3.5sq-3C コロガシ	9.0	m			
	ケーブル	EM-CE8sq-3C 管内	13.0	m			
	ケーブル	EM-CE8sq-3C コロガシ	9.0	m			
	ケーブル	EM-CE14sq-3C 管内	51.0	m			
	ケーブル	EM-CE14sq-3C コロガシ	9.0	m			
	ケーブル	EM-CET22sq コロガシ	11.0	m			
	ケーブル	EM-CET60sq コロガシ	11.0	m			
	ねじ無し電線管	(E25) 露出	44.0	m			
	ねじ無し電線管	(E31) 露出	44.0	m			

	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	ねじ無し電線管	(E51) 露出	9.0	m			
	ねじ無し電線管	(E63) 露出	12.0	m			
	プルボックス	150×150×150 鋼製	2.0	個			
	プルボックス	200×200×150 鋼製	4.0	個			
	プルボックス	300×300×200 鋼製	4.0	個			
	はつり補修費		1.0	式			別紙明細書 -1
	塗装費		1.0	式			別紙明細書 -2
	撤去費		1.0	式			別紙明細書 -3
	1-(1)計						
	(2) 電灯分岐						
	手元開閉器	S-UB	1.0	面			
	埋込スイッチ	1P15A×1 金属プレート付	1.0	個			
	埋込スイッチ	1P15A×1+PL×1 金属プレート付	1.0	個			
	埋込スイッチ	1P15A×2+PL×1 金属プレート付	1.0	個			
	埋込スイッチ	1P15A×1+換気SW 金属プレート付	1.0	個			
	埋込コンセント	2P15A×2 金属プレート付	1.0	個			

	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	埋込コンセント	2P15AE×2 金属プレート付	6.0	個			
	埋込コンセント	プラグ共 2P15AE×1 250V 金属プレート付	1.0	個			
	ケースブレーカー	ELCB2P1E15A コンセント付 防水型	1.0	個			
	照明器具	ダウンライト LRS1-08LN	3.0	台			
	照明器具 撤去・再取付	投光器 HF200W×1	12.0	台			
	照明器具 撤去・再取付	蛍光灯 直付 FL40W×1	1.0	台			
	換気扇 撤去・再取付	350φ	1.0	台			
	接地工事	ED 接地銅棒 1500L	1.0	ヶ所			
	電線	EM-IE2.0 管内	225.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0-2C コロガシ	8.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0-3C コロガシ	47.0	m			
	ねじ無し電線管	(E19) 露出	45.0	m			
	ねじ無し電線管	(E19) 埋込	2.0	m			
	ねじ無し電線管	(E25) 露出	19.0	m			
	厚鋼電線管	(G16) 露出	5.0	m			
	硬質ビニル電線管	(VE16) 埋込	2.0	m			
	メタルモール	A型	22.0	m			

	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	同上付属品	A型 コーナーボックス	8.0	個			
	同上付属品	A型 スイッチボックス 1個用	9.0	個			
	プルボックス	150×150×100 鋼製	4.0	個			
	プルボックス (WP)	150×150×100 溶融亜鉛メッキ仕上	3.0	個			
	アウトレットボックス	四角中深	3.0	個			
	スイッチボックス	1 個用	1.0	個			
	露出スイッチボックス	1個用1方出 (E19)	3.0	個			
	露出ボックス	丸1方出 (E19)	7.0	個			
	露出ボックス	丸3方出 (E19)	1.0	個			
	はつり補修費		1.0	式			別紙明細書 -4
	塗装費		1.0	式			別紙明細書 -5
	撤去費		1.0	式			別紙明細書 -6
	1-(2)計						
	I -1.計						

	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	2. 動力設備工事						
	電線	EM-IE3.5sq 管内	35.0	m			
	電線	EM-IE5.5sq 管内	60.0	m			
	電線	EM-IE14sq 管内	30.0	m			
	電線	EM-IE22sq 管内	11.0	m			
	ケーブル	EM-CE3.5sq-3C 管内	12.0	m			
	ケーブル	EM-CE14sq-3C 管内	33.0	m			
	ケーブル	EM-CE14sq-3C コロガシ	40.0	m			
	ケーブル	EM-CET22sq 管内	18.0	m			
	ケーブル	EM-CET22sq コロガシ	12.0	m			
	ケーブル	EM-CET38sq 管内	3.0	m			
	ケーブル	EM-CET38sq コロガシ	13.0	m			
	ケーブル	EM-CET38sq ラック	14.0	m			
	ケーブル	EM-CET150sq コロガシ	11.0	m			
	ねじ無し電線管	(E25) 露出	12.0	m			
	ねじ無し電線管	(E31) 露出	25.0	m			

	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	ねじ無し電線管	(E31) 埋込	2.0	m			
	ねじ無し電線管	(E51) 露出	18.0	m			
	2種可とう電線管	(#50)	3.0	m			
	プルボックス	200×200×150 鋼製	3.0	個			
	はつり補修費		1.0	式			別紙明細書 -7
	塗装費		1.0	式			別紙明細書 -8
	撤去費		1.0	式			別紙明細書 -9
	I-2.計						
	3. 放送設備						
	業務・非常放送アンプ	撤去・再取付 10局壁掛型	1.0	台			
	ホーン型スピーカー	撤去・再取付 10W	1.0	台			
	天井埋込スピーカー	撤去・再取付 3W	1.0	台			
	定温式スポット感知器	撤去・再取付 防水型	1.0	個			
	MDF	撤去・再取付 450×600×150	1.0	面			
	電線管	撤去・再取付 (E51)	2.4	m			
	ケーブル	EM-HP1.2-3C 管内	68.0	m			

	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	ケーブル	EM-HP1.2-3C FP内	4.0	m			
	ケーブル	EM-HP1.2-3C コロガシ	18.0	m			
	ケーブル	EM-AE1.2-4C コロガシ	2.0	m			
	ねじ無し電線管	(E19) 露出	39.0	m			
	ねじ無し電線管	(E25) 露出	8.0	m			
	ねじ無し電線管	(E31) 露出	20.0	m			
	ねじ無し電線管	(E31) 埋込	1.0	m			
	合成樹脂製可とう電線管	(PF28) いんぺい	3.0	m			
	メタルモール	A型	5.0	m			
	同上付属品	A型 コーナーボックス	1.0	個			
	同上付属品	A型 ジャンクションボックス	1.0	個			
	アウトレットボックス	四角中深	1.0	個			
	露出ボックス	丸1方出 (E19)	1.0	個			
	プルボックス	150×150×100 鋼製	6.0	個			
	プルボックス	200×200×150 鋼製	2.0	個			
	はつり補修費		1.0	式			別紙明細書 -10-1
	区画貫通処理		1.0	式			別紙明細書 -10-2

	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	塗装費		1.0	式			別紙明細書 -11
	撤去費		1.0	式			別紙明細書 -12
	I -3.計						
	4. インターホン設備						
	インターホン親機	撤去・再取付 10局 卓上型	1.0	台			
	インターホン子機	撤去・再取付 壁掛	4.0	台			
	玄関子機アダプタ	撤去・再取付	1.0	個			
	ケーブル	EM-AE0.9-2C 管内	96.0	m			
	ケーブル	EM-AE0.9-2C PF管内	14.0	m			
	ケーブル	EM-AE0.9-2C コロガシ	11.0	m			
	ケーブル	EM-AE0.9-10P 管内	4.0	m			
	ケーブル	EM-AE0.9-10P コロガシ	10.0	m			
	ねじ無し電線管	(E19) 露出	21.0	m			
	ねじ無し電線管	(G16) 露出	3.0	m			
	露出ボックス	丸1方出 (E19)	6.0	個			
	プルボックス (WP)	150×150×100 溶融亜鉛メッキ仕上	2.0	個			

	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	はつり補修費		1.0	式			別紙明細書 -13
	塗装費		1.0	式			別紙明細書 -14
	撤去費		1.0	式			別紙明細書 -15
	I -4.計						
	5. 直接仮設						
	枠組本足場	W=600 階高12m以下	128.0	架㎡			
	X線鉄筋探査		1.0	式			別紙明細書 -16
	I -5.計						

別紙No	名 称	内 容	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	別紙明細-3	1-1. 電灯設備工事 (1) 電灯幹線					
	【撤去費】						
	主開閉器盤	目立型	1.0	面			
	電線	1V2.0	170.0	m			
	電線	1V8sq	156.0	m			
	電線	1V14sq	42.0	m			
	ケーブル	CV5.5sq-2C 管内	2.0	m			
	ケーブル	CV5.5sq-2C コロガシ	9.0	m			
	ケーブル	CVT38 管内	7.0	m			
	ケーブル	CVT38 コロガシ	7.0	m			
	ケーブル	CVT60 管内	7.0	m			
	ケーブル	CVT60 コロガシ	7.0	m			
	電線管	(C51) 露出	1.0	m			
	電線管	(C75) 露出	4.0	m			
	配線ダクト	200×200	5.0	m			
	ブルボックス	300×300×300	2.0	個			
	小計						
	改め						

別紙No	名 称	内 容	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	別紙明細-6	1-1. 電灯設備工事 (2) 電灯分岐					
	【撤去費】						
	照明器具	蛍光灯 FL20W×1	3.0	台			
	照明器具	白熱灯 1L60W×1	1.0	台			
	埋込コンセント	2P15A×2	4.0	個			
	埋込コンセント	2P15AE×1 250V	1.0	個			
	埋込コンセント	2P15A×3	1.0	個			
	埋込スイッチ	1P15A×1+PL	2.0	個			
	埋込スイッチ	1P15A×2+PL	1.0	個			
	電線	1V2.0	236.0	m			
	ケーブル	VVF1.6-2C コロガシ	2.0	m			
	ケーブル	VVF2.0-2C コロガシ	1.0	m			
	メタルモール	A型	3.0	m			
	ビニルモール		1.0	m			
	小計						
	改め						

別紙No	名 称	内 容	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	別紙明細-9	1-2. 動力設備工事					
	【撤去費】						
	電線	IV2.0	166.0	m			
	電線	IV8sq	105.0	m			
	電線	IV14sq	67.0	m			
	電線	IV38sq	66.0	m			
	電線	IV50sq	135.0	m			
	ケーブル	CV8sq-3C 管内	7.0	m			
	ケーブル	CV8sq-3C コロガシ	7.0	m			
	ケーブル	CVT150 管内	14.0	m			
	ケーブル	CVT150 コロガシ	15.0	m			
	小計						
	改め						

件名： 芝川ポンプ場耐震補強工事(電気設備)

建設副産物処理費 計算書

(1) 有価物売却費

①有価物処分費

+

②運搬費

=

内訳(1)

(2) 建設廃棄物(混合廃棄物) ①処分費

+

②運搬費

=

内訳(3)

(3) リサイクル処理

①処分費

+

②運搬費

=

内訳(2)

(4) 特別管理産業廃棄物(管理者保管)

品 名	数 量	保 管 場 所

有価物売却費 合 計

内訳(1)

=

建設副産物処理費用 合 計

内訳(2)

=

リサイクル処理 合 計

内訳(3)

=

産業廃棄物処理費 合 計

(円)

建設副産物処理費用
(1) ①有価物売却費

品 名	規 格	重 量		容 積		算 出	金 額(円)	摘 要
		数 量	単 位	数 量	単 位			
鉄 く ず	ヘビーH2		t		m3			鋼板・重機解体・丸棒・パイプ類
"	故鉄 B		t		m3			並鉄又はモーターブロック完全解体物
電 線 く ず	1号銅くず	315.53	kg	0.28	m3	別紙		
下 銅			kg					銅バー・避雷銅線
合 計		0.32	t	0.28	m3			

2t ダンプ車

最大積載量	処分場直線距離	1回当たり片道運搬委託料金
2t／3.85m3	25.00Km	

4t ダンプ車

最大積載量	処分場直線距離	1回当たり片道運搬委託料金
4t／6.0m3	25.00Km	

重量容量換算値

建設副産物	トン/m3	(環境省資料)
金属くず	1.13	
廃プラスチック	1.1	
コンクリート塊	2.35	
石膏ボード	0.7	

上記により、今回運搬は 4t 車 使用とする。

②運搬費

運搬回数 = 1 回 × 円 = 円

(2) ①建設廃棄物（混合廃棄物処分費）

廃棄物種別	重量		容積		中間処分単価 (円/m3)	最終処分単価 (円/m3)	金額(円)
	数量	単位	数量	単位			
コンクリート破片（安定処分）鉄筋なし		t		m3			
コンクリート破片（安定処分）鉄筋有り		t		m3			
金属くず（安定処分）		t		m3			
廃プラスチック（安定処分）		t		m3			
混合廃棄物（安定処分）(石膏ボード除く)	0.48	t	3.31	m3			
石膏ボード(再生)		t		m3			
廃油（管理処分）		t		リットル			
合 計	0.48	t	3.31	m3			

②運搬費 = 1 回 × 円 = 円
(2tダンプ車)

件名： 芝川ポンプ場耐震補強工事(電気設備)				工事種別			建設副産物数量集計			産廃数量集計						NO. 1	
材 料									数量	数量	体積	体積計	重量	合計重量		採用重量	備 考
品 名		規 格		電灯幹線	電灯分岐	動力	放送	インターホン	小計	合計	m3		kg	kg	t	t	
混合廃棄物											(想定)						
主開閉器盤	M	1.0*1.82*0.32	面	1					1	1	0.5824	0.5824	300.00	300.00	0.3000		
電線管	C51		m	7					7	7	0.0020	0.0140	0.002	0.01	0.0001		
電線管	C75		m	7					7	7	0.0033	0.0231	0.004	0.03	0.0001		
配線ダクト	200×200		m	5					5	5	0.4400	2.2000	30.00	150.00	0.1500		
プルボックス	300×300×300		m	1					1	1	0.4400	0.4400	10.00	10.00	0.0100		
照明器具	FL20W×1	直付0.7*0.15*0.1	台		3				3	3	0.0105	0.0315	2.00	6.00	0.0060		
照明器具	IL60W×1	直付0.15*0.15*0.15	台		1				1	1	0.0034	0.0034	0.80	0.80	0.0008		
端子盤		0.4*0.4*0.12	面				1		1	1	0.0192	0.0192	10.00	10.00	0.0100		
合 計												3.31		476.84	0.4770	0.48	

材 料				受電棟	(撤去)				数量	数量	体積	体積計	重量	合計重量		採用重量	備 考
品 名	規 格			電灯設備	動力設備	弱電設備	自火報		数量 小計	数量 合計	m3		kg	kg	t	t	
廃プラスチック																	
合 計																	

件名: 芝川ポンプ場耐震補強工事(電気設備)				工事種別		建設副産物数量集計			産廃数量集計				NO. 2	
材 料								数量	数量	銅質量	電線重量	銅質量計	電線重量計	備 考
品 名 規 格				電灯幹線	電灯分岐	動力	放送	インターホン	小計	合計	kg/m	kg/m	kg	
<電線くず>	銅質量		電線重量									被覆込み	被覆込み	
IV1.2、HIV1.2	3.0 kg /300m	17 kg/km					165	230	395	395	0.010	0.017	3.950	6.72
IV1.6	5.4 kg /300m	27 kg/km									0.018	0.027		
IV2.0	8.4 kg /300m	38 kg/km		172	236	166			574	574	0.028	0.038	16.070	21.81
IV3.5	9.5 kg /300m	45 kg/km									0.032	0.045		
IV5.5	14.8 kg /300m	70 kg/km									0.049	0.070		
IV8	21.4 kg /300m	105 kg/km		156		105			261	261	0.071	0.105	18.530	27.41
IV14	38.0 kg /200m	175 kg/km		42		67			109	109	0.190	0.175	20.710	19.08
IV22	39.6 kg /200m	265 kg/km									0.198	0.265		
IV38	33.4 kg /100m	430 kg/km				66			66	66	0.334	0.430	22.040	28.38
IV50	161.0 kg /300m	650 kg/km				135			135	135	0.537	0.650	72.500	87.75
CV5.5-2C	29.7 kg /300m	235 kg/km		11					11	11	0.099	0.235	1.090	2.59
CV14-2C	76.0 kg /300m	435 kg/km									0.253	0.435		
CV3.5-3C	28.5 kg /300m	210 kg/km									0.095	0.210		
CV5.5-3C	44.5 kg /300m	300 kg/km									0.148	0.300		
CV8-3C	64.1 kg /300m	385 kg/km				14			14	14	0.214	0.385	3.000	5.39
CVT22	178.0 kg /300m	880 kg/km									0.593	0.880		
CVT38	301.0 kg /300m	1380 kg/km		14					14	14	1.003	1.380	14.040	19.32
CVT60	483.0 kg /300m	2100 kg/km		14					14	14	1.610	2.100	22.540	29.40
CVT150	1251.0 kg /300m	5180 kg/km				29			29	29	4.170	5.180	120.930	150.22
VVF1.6-2C	3.6 kg /100m	145 kg/km			2				2	2	0.036	0.145	0.070	0.29
VVF2.0-2C	5.6 kg /100m	190 kg/km			1				1	1	0.056	0.190	0.060	0.19
HP1.2-5P	30.0 kg /300m	205 kg/km									0.100	0.205		
電線くず一式									小 計				315.530	398.55

銅スクラップ売却する場合<銅スクラップ売却費>

銅スクラップ売却単価 = 円/kg ナゲット処理費 = 円/kg

売却費 = 単価 × 銅質量合計(kg) - ナゲット処理費 × 電線重量 = (円/kg)× 315.53 (kg) - (円/kg)× 398.55 (kg) = 円

売却費採用価格 = 円

[illegible]

芝川ポンプ場耐震補強工事（電気設備）

数量計算書

1. 電灯設備（1）電灯幹線（改修）

数量拾い書

[illegible]

盤類步掛表

※配線用遮断器数には予備回路は含まない

公共

E1-2-15

[illegible]

数量拾い書

件 名	芝川ポンプ場耐震補強工事(電気設備)					工 事 種 別	電灯幹線設備（改修）					区分	電灯幹線 配管配線					大集計					
品 名		計上数量		各集計より															小 計	合 計	備 考		
		数量	単位			集計																	
																							(端数処理)
EM-IE3.5sq	×1	25	m			24.70														24.70	25.0		
EM-CE 3.5sq-2C	管内	41	m			40.60														40.60	41.0		
EM-CE 3.5sq-2C	コログシ	9	m			8.90														8.90	9.0		
EM-CE 3.5sq-3C	管内	23	m			23.40														23.40	23.0		
EM-CE 3.5sq-3C	コログシ	9	m			8.90														8.90	9.0		
EM-CE 8sq-3C	管内	13	m			13.30														13.30	13.0		
EM-CE 8sq-3C	コログシ	9	m			8.90														8.90	9.0		
EM-CE14sq-3C	管内	51	m			50.70														50.70	51.0		
EM-CE14sq-3C	コログシ	9	m			8.90														8.90	9.0		
EM-CET22sq	コログシ	11	m			11.40														11.40	11.0		
EM-CET60sq	コログシ	11	m			11.40														11.40	11.0		
電線管 (E25)	露出 塗装	44	m			43.60														43.60	44		
電線管 (E31)	露出 塗装	44	m			43.60														43.60	44		
電線管 (E51)	露出 塗装	9	m			8.80														8.80	9		
電線管 (E63)	露出 塗装	12	m			11.60														11.60	12		
ﾌﾞﾙｯｸｽ 鋼製	150×150×150	2	個			2.00																2	0.135m2/個
ﾌﾞﾙｯｸｽ 鋼製	200×200×150	4	個			4.00																4	0.15m2/個
ﾌﾞﾙｯｸｽ 鋼製	300×300×200	4	個			4.00																4	0.42m2/個
ﾌﾞﾙｯｸｽ塗装面積；		2.55	m2																				
はつり補修	50φ L=150																						
はつり補修	100φ L=150	7	ヶ所			7.00																7	
溝はつり補修	100×100 (m)																						
はつり補修	200×200×100	溝はつり100×100：0.4m相当	2	ヶ所		2.00																2	

数量拾い書

件 名			芝川ポンプ場耐震補強工事(電気設備)				工 事 種 別		電灯幹線設備 (改修)						区分		配管配線						集計 (電灯幹線)	
品 名			計上数量		拾い (配管配線)																小 計	備 考		
			数量	単位	1	2	3	4																
EM-IE3.5sq	×	1	24.70	m	12.10	11.30	1.30													24.70				
EM-IE5.5sq	×	1		m																				
EM-IE14sq	×	1		m																				
EM-IE22sq	×	1		m																				
EM-CE 3.5sq-2C		管内	40.60	m	12.10	28.50														40.60				
EM-CE 3.5sq-2C		コロガシ	8.90	m		2.50	6.40													8.90				
EM-CE 3.5sq-3C		管内	23.40	m		13.30	10.10													23.40				
EM-CE 3.5sq-3C		コロガシ	8.90	m		2.50	6.40													8.90				
EM-CE 8sq-3C		管内	13.30	m		13.30														13.30				
EM-CE 8sq-3C		コロガシ	8.90	m		2.50	6.40													8.90				
EM-CE14sq-3C		管内	50.70	m	12.10	28.50	10.10													50.70				
EM-CE14sq-3C		コロガシ	8.90	m		2.50	6.40													8.90				
EM-CET22sq		管内		m																				
EM-CET22sq		コロガシ	11.40	m				11.40												11.40				
EM-CET38sq		管内		m																				
EM-CET38sq		コロガシ		m																				
EM-CET38sq		ラック		m																				
EM-CET60sq		コロガシ	11.40	m				11.40												11.40				
EM-CET150sq		コロガシ		m																				
電線管 (E25)		露出	43.60	m	12.10	30.20	1.30													43.60				
電線管 (E25)		埋込		m																				
電線管 (E31)		露出	43.60	m	12.10	30.20	1.30													43.60				
電線管 (E31)		埋込		m																				
電線管 (E51)		露出	8.80	m			8.80													8.80				
電線管 (E51)		埋込		m																				
電線管 (E63)		露出	11.60	m		11.60														11.60				
電線管 (E63)		埋込		m																				
可とう電線管 F2(50)				m																				
ﾌﾞﾙｯｸｽ	鋼製	150×150×150	2	個		1	1													2				
ﾌﾞﾙｯｸｽ	鋼製	200×200×150	4	個	1	3														4				
ﾌﾞﾙｯｸｽ	鋼製	300×300×200	4	個		1	3													4				
ﾌﾞﾙｯｸｽ	鋼製	400×400×200		個																				
はつり補修		50φ L=150		ヶ所																				
はつり補修		100φ L=150	7	ヶ所	1	5	1													7				
溝はつり補修		100×100 (m)		m																				
はつり補修	200×200×100	溝はつり100×100:0.4m相当	2	ヶ所		1.0	1.0													2				

数量拾い書

件 名			芝川ポンプ場耐震補強工事(電気設備)				工 事 種 別		電灯幹線設備 (改修)				区分 配管配線				電灯幹線拾い				(1)	
品 名			地下1階				L-A1, G1系 1FL~L-B		→ →												計	備 考
			平面	立面	平面	立面	平面	立面	平面	立面	平面	立面	平面	立面	平面	立面	平面	立面	平面	立面		
EM-IE3.5sq	×1						1.00	4.60	5.00	1.50											12.10	
EM-IE5.5sq	×1																					
EM-IE14sq	×1																					
EM-IE22sq	×1																					
EM-CE 3.5sq-2C		管内					1.00	4.60	5.00	1.50											12.10	
EM-CE 3.5sq-2C		コロガシ																				
EM-CE 3.5sq-3C		管内																				
EM-CE 3.5sq-3C		コロガシ																				
EM-CE 8sq-3C		管内																				
EM-CE 8sq-3C		コロガシ																				
EM-CE14sq-3C		管内					1.00	4.60	5.00	1.50											12.10	
EM-CE14sq-3C		コロガシ																				
EM-CET22sq		管内																				
EM-CET22sq		コロガシ																				
EM-CET38sq		管内																				
EM-CET38sq		コロガシ																				
EM-CET38sq		ラック																				
EM-CET60sq		コロガシ																				
EM-CET150sq		コロガシ																				
電線管	(E25)	露出					1.00	4.60	5.00	1.50											12.10	
電線管	(E25)	埋込																				
電線管	(E31)	露出					1.00	4.60	5.00	1.50											12.10	
電線管	(E31)	埋込																				
電線管	(E51)	露出																				
電線管	(E51)	埋込																				
電線管	(E63)	露出																				
電線管	(E63)	埋込																				
可とう電線管	F2(50)																					
ﾌﾞﾙｯｸｽ	鋼製	150×150×150																				
ﾌﾞﾙｯｸｽ	鋼製	200×200×150					1														1	
ﾌﾞﾙｯｸｽ	鋼製	300×300×200																				
ﾌﾞﾙｯｸｽ	鋼製	400×400×200																				
はつり補修		50φ L=150																				
はつり補修		100φ L=150					1														1	
溝はつり補修		100×100 (m)																				
はつり補修	200×200×100	溝はつり100×100 : 0.4m相当																				

数量拾い書

件 名			芝川ポンプ場耐震補強工事(電気設備)			工 事 種 別		電灯幹線設備 (改修)				区分 配管配線				電灯幹線拾い (2)						
品 名			1 階		(B)		(C)		(E)		(D)		→				(F)				計	備 考
			平面	立面	平面	立面	ダクト内立上げ	ダクト～PB	平面	立面	PB～L-1	平面	立面	PB～PB (ホ-ル)	平面	立面	PB～PB	平面	立面	PB～PS内		
EM-IE3.5sq	×1								5.50	2.00							1.30	2.50			11.30	
EM-IE5.5sq	×1																					
EM-IE14sq	×1																					
EM-IE22sq	×1																					
EM-CE 3.5sq-2C	管内						5.80				16.60	1.00	1.30				1.30	2.50			28.50	
EM-CE 3.5sq-2C	コロガシ			2.50																	2.50	
EM-CE 3.5sq-3C	管内						5.80	5.50	2.00												13.30	
EM-CE 3.5sq-3C	コロガシ			2.50																	2.50	
EM-CE 8sq-3C	管内						5.80	5.50	2.00												13.30	
EM-CE 8sq-3C	コロガシ			2.50																	2.50	
EM-CE14sq-3C	管内						5.80				16.60	1.00	1.30				1.30	2.50			28.50	
EM-CE14sq-3C	コロガシ			2.50																	2.50	
EM-CET22sq	管内																					
EM-CET22sq	コロガシ																					
EM-CET38sq	管内																					
EM-CET38sq	コロガシ																					
EM-CET38sq	ラック																					
EM-CET60sq	コロガシ																					
EM-CET150sq	コロガシ																					
電線管 (E25)	露出							5.50	2.00	16.60	1.00	1.30					1.30	2.50			30.20	
電線管 (E25)	埋込																					
電線管 (E31)	露出							5.50	2.00	16.60	1.00	1.30					1.30	2.50			30.20	
電線管 (E31)	埋込																					
電線管 (E51)	露出																					
電線管 (E51)	埋込																					
電線管 (E63)	露出						11.60														11.60	
電線管 (E63)	埋込																					
ﾌﾟﾙｯｸｽ	鋼製	150×150×150							1												1	
ﾌﾟﾙｯｸｽ	鋼製	200×200×150							1		1						1				3	
ﾌﾟﾙｯｸｽ	鋼製	300×300×200					1														1	
ﾌﾟﾙｯｸｽ	鋼製	400×400×200																				
はつり補修	50φ	L=150																				
はつり補修	100φ	L=150					2		1				1				1				5	
溝はつり補修	100×100	(m)																				
はつり補修	200×200×100	溝はつり100×100：0.4m相当							1												1	

数量拾い書

件 名			芝川ポンプ場耐震補強工事(電気設備)				工 事 種 別		電灯幹線設備 (改修)				区分 配管配線				電灯幹線拾い (3)				計	備 考
品 名			2階		(G) M～PB		(B) M～1F		(H) PB～PB(ホ-ル)		→ PB～PB		(I) PB～L-2									
			平面	立面	平面	立面	平面	立面	平面	立面	平面	立面	平面	立面	平面	立面	平面	立面	平面	立面		
EM-IE3.5sq	×1													1.30						1.30		
EM-IE5.5sq	×1																					
EM-IE14sq	×1																					
EM-IE22sq	×1																					
EM-CE 3.5sq-2C		管内																				
EM-CE 3.5sq-2C		コロガシ					5.40	1.00												6.40		
EM-CE 3.5sq-3C		管内		1.30					3.00		4.50			1.30						10.10		
EM-CE 3.5sq-3C		コロガシ					5.40	1.00												6.40		
EM-CE 8sq-3C		管内																				
EM-CE 8sq-3C		コロガシ					5.40	1.00												6.40		
EM-CE14sq-3C		管内		1.30					3.00		4.50			1.30						10.10		
EM-CE14sq-3C		コロガシ					5.40	1.00												6.40		
EM-CET22sq		管内																				
EM-CET22sq		コロガシ																				
EM-CET38sq		管内																				
EM-CET38sq		コロガシ																				
EM-CET38sq		ラック																				
EM-CET60sq		コロガシ																				
EM-CET150sq		コロガシ																				
電線管 (E25)		露出											1.30							1.30		
電線管 (E25)		埋込																				
電線管 (E31)		露出											1.30							1.30		
電線管 (E31)		埋込																				
電線管 (E51)		露出		1.30					3.00		4.50									8.80		
電線管 (E51)		埋込																				
電線管 (E63)		露出																				
電線管 (E63)		埋込																				
ﾌﾞﾙｯｸｽ	鋼製	150×150×150											1							1		
ﾌﾞﾙｯｸｽ	鋼製	200×200×150																				
ﾌﾞﾙｯｸｽ	鋼製	300×300×200		1					1		1									3		
ﾌﾞﾙｯｸｽ	鋼製	400×400×200																				
はつり補修		50φ L=150																				
はつり補修		100φ L=150							1											1		
溝はつり補修		100×100 (m)																				
はつり補修	200×200×100	溝はつり100×100 : 0.4m相当											1							1		

数量拾い書

件 名			芝川ポンプ場耐震補強工事(電気設備)			工 事 種 別		電灯幹線設備 (改修)						区分 配管配線				電灯幹線拾い (4)				計	備 考	
品 名			2階		低圧分岐盤 ～M																			
			平面	立面	平面	立面	平面	立面	平面	立面	平面	立面	平面	立面	平面	立面	平面	立面	平面	立面				
EM-IE3.5sq	×	1																						
EM-IE5.5sq	×	1																						
EM-IE14sq	×	1																						
EM-IE22sq	×	1																						
EM-CE 3.5sq-2C		管内																						
EM-CE 3.5sq-2C		コログシ																						
EM-CE 3.5sq-3C		管内																						
EM-CE 3.5sq-3C		コログシ																						
EM-CE 8sq-3C		管内																						
EM-CE 8sq-3C		コログシ																						
EM-CE14sq-3C		管内																						
EM-CE14sq-3C		コログシ																						
EM-CET22sq		管内																						
EM-CET22sq		コログシ	9.40	2.00																	11.40			
EM-CET38sq		管内																						
EM-CET38sq		コログシ																						
EM-CET38sq		ラック																						
EM-CET60sq		コログシ	9.40	2.00																	11.40			
EM-CET150sq		コログシ																						
電線管	(E25)	露出																						
電線管	(E25)	埋込																						
電線管	(E31)	露出																						
電線管	(E31)	埋込																						
電線管	(E51)	露出																						
電線管	(E51)	埋込																						
電線管	(E63)	露出																						
電線管	(E63)	埋込																						
ﾌﾞﾙｯｸｽ	鋼製	150×150×150																						
ﾌﾞﾙｯｸｽ	鋼製	200×200×150																						
ﾌﾞﾙｯｸｽ	鋼製	300×300×200																						
ﾌﾞﾙｯｸｽ	鋼製	400×400×200																						
はつり補修		50φ L=150																						
はつり補修		100φ L=150																						
溝はつり補修		100×100 (m)																						
はつり補修	200×200×100	溝はつり100×100 : 0.4m相当																						

芝川ポンプ場耐震補強工事（電気設備）

数量計算書

1. 電灯設備（1）電灯幹線（撤去）

数量拾い書

[illegible]

盤（撤去）

盤類步掛表

※配線用遮断器数には予備回路は含まない

公共

E1-2-15

[illegible]

数量拾い書

件 名		芝川ポンプ場耐震補強工事(電気設備)				工 事 種 別		電灯幹線（撤去）				区分		配管配線（撤去）				大集計					
品 名			計上数量		各集計より																小 計	合 計	備 考
					数量	単位	集計	小集計															
【撤去】																							
IV2.0	× 2	管内	37	m		36.60														36.60	37.0		
IV2.0	× 3	管内	32	m		32.30														32.30	32.0		
合計	IV2.0	管内	170	m																			
IV8sq	× 3	管内	52	m		51.70														51.70	52.0		
合計	IV8sq	管内	156	m																			
IV14sq	× 3	管内	14	m		14.20														14.20	14.0		
合計	IV14sq	管内	42	m																			
CV5.5sq-2C		管内	2	m				2.20												2.20	2.0		
CV5.5sq-2C		コロガシ	9	m				9.20												9.20	9.0		
CVT 38sq		管内	7	m				6.80												6.80	7.0		
CVT 38sq		コロガシ	7	m				7.30												7.30	7.0		
CVT 60sq		管内	7	m				6.80												6.80	7.0		
CVT 60sq		コロガシ	7	m				7.30												7.30	7.0		
電線管		(C51) 露出	1	m				1.20												1.20	1.0		
電線管		(C75) 露出	4	m				3.60												3.60	4.0		
配線ダクト		200×200	5	m				5.45												5.45	5.0		
ブルボックス		300×300×300	2	個				2.00												2	2		
(電線別集計)																							
IV2.0			170	m																			
IV8sq			156	m																			
IV14sq			42	m																			
CV5.5sq-2C			11	m																			
CVT38sq			14	m																			
CVT60sq			14	m																			

数量拾い書

[illegible]

配管配線 集計 (電灯幹線)撤去

数量拾い書

[illegible]

[illegible]

芝川ポンプ場耐震補強工事（電気設備）

数量計算書

1. 電灯設備（2）電灯分岐（改修）

数量拾い書

[illegible]

数量拾い書

件 名	芝川ポンプ場耐震補強工事(電気設備)				工 事 種 別		電灯分岐		区分		電灯分岐 配管配線										大集計		
品 名			計上数量		各集計より														小 計	合 計	備 考		
			数量	単位			集計		小集計														
																						(端数処理)	
EM-IE2.0	×1	管内	2	m			1.50													1.50	2.0		
EM-IE2.0	×2	管内	12	m			12.30													12.30	12.0		
EM-IE2.0	×3	管内	41	m			40.40													40.40	41.0		
EM-IE2.0	×4	管内	19	m			18.50													18.50	19.0		
合計	EM-IE2.0	管内	225	m																			

[illegible]

数量拾い書

件 名				芝川ポンプ場耐震補強工事(電気設備)				工 事 種 別				電灯分岐				区分				配管配線				電灯分岐拾い (1)			
品 名				1 階		工作室 回路A		→ →		→ →		発電機室 →		工作室 外壁CN追加		→ →		工作室 回路2		→ →		→ →		計	備 考		
				平面	立面	平面	立面	平面	立面	平面	立面	平面	立面	平面	立面	平面	立面	平面	立面	平面	立面	平面	立面				
EM-IE2.0	×2	(E19)	露出											0.80	0.70							2.80	4.70	9.00			
EM-IE2.0	×2	(E19)	埋込											0.50										0.50			
EM-IE2.0	×2	E2.0	(E19)	露出			0.60				1.00							2.70	3.50	0.60	2.50			10.90			
EM-IE2.0	×2	E2.0	(E19)	埋込					0.50		0.50													1.00			
EM-IE2.0	×3	E2.0	(E25)	露出	9.50	9.00																		18.50			
EM-IE2.0	×2		(G16)	露出												1.20								1.20			
EM-IE2.0	×2	E2.0	(G16)	露出					3.40															3.40			
EM-IE2.0	×2		既設管内																								
EM-IE2.0	×1	(VE16)	埋込													1.50								1.50			
EM-EEF2.0-2C				コロガシ																							
EM-EEF2.0-3C				コロガシ																							
メタルモール				A型																							
同上付属品				コーナーボックス		A型																					
同上付属品				スイッチボックス		A型1個用																					
ブルボックス				150×150×100		2																			2		
ブルボックス				溶融亜鉛仕上		150×150×150(WP)				2				1											3		
アウトレットボックス				中深																							
スイッチボックス				1個用																							
露出スイッチボックス				E19		1個用						1								1		1			3		
露出丸ボックス				E19		1方出		1		1								1							3		
露出丸ボックス				E19		3方出												1							1		
はつり補修				50φ		L=150				1		1		1											3		

件 名		芝川ポンプ場耐震補強工事(電気設備)		工 事 種 別		電灯分岐		区分		配管配線		電灯分岐拾い (2)										
品 名		1 階		→ 手洗所 換気扇～		→ →		→ →		廊下～UB L-1～S-UB		→ S-UB～UB		→ UB内		→ →		→ →		計	備 考	
		平面	立面	平面	立面	平面	立面	平面	立面	平面	立面	平面	立面	平面	立面	平面	立面	平面	立面			
EM-IE2.0	×2	(E19)	露出																			
EM-IE2.0	×2	(E19)	埋込																			
EM-IE2.0	×2 E2.0	(E19)	露出																			
EM-IE2.0	×2 E2.0	(E19)	埋込																			
EM-IE2.0	×3 E2.0	(E25)	露出																			
EM-IE2.0	×2	(G16)	露出																			
EM-IE2.0	×2 E2.0	(G16)	露出																			
EM-IE2.0	×2	既設管内																				
EM-IE2.0	×1	(VE16)	埋込																			
EM-EEF2.0-2C	コログシ				1.20	1.20	1.60													4.00		
EM-EEF2.0-3C	コログシ		2.20				1.30	2.20	1.30	2.20	0.20		5.70	2.10	0.80		0.90	0.50	1.20	1.20	21.80	
メタルモール	A型					1.20		2.20		2.20				2.10						7.70		
同上付属品	コーナーボックス A型					1		1		1				1						4		
同上付属品	スイッチボックス A型1個用					1		1		1				1						4		
ブルボックス	150×150×100																					
ブルボックス	溶融亜鉛仕上 150×150×150(WP)																					
アウトレットボックス	中深		1										1							2		
スイッチボックス	1個用																		1	1		
露出スイッチボックス	E19 1個用																					
露出丸ボックス	E19 1方出																					
露出丸ボックス	E19 3方出																					
はつり補修	50φ L=150																					

数量拾い書

件 名	芝川ポンプ場耐震補強工事(電気設備)			工 事 種 別		電灯分岐						区分		配管配線				電灯分岐拾い				(3)	
品 名				1 階		脱衣室		→		→		モーター室		→		→						計	備 考
				PB～照明		→		PB～CN		回路5		→		→									
				平面	立面	平面	立面	平面	立面	平面	立面	平面	立面	平面	立面	平面	立面	平面	立面	平面	立面		
EM-IE2.0	×	2	(E19)	露出																			
EM-IE2.0	×	2	(E19)	埋込																			
EM-IE2.0	×	2	E2.0	(E19)	露出					9.60	6.00	4.00		1.80								21.40	
EM-IE2.0	×	2	E2.0	(E19)	埋込																		
EM-IE2.0	×	3	E2.0	(E25)	露出																		
EM-IE2.0	×	2		(G16)	露出																		
EM-IE2.0	×	2	E2.0	(G16)	露出																		
EM-IE2.0	×	2		既設管内		0.40	1.20															1.60	
EM-IE2.0	×	1		(VE16)	埋込																		
EM-EEF2.0-2C			コログシ			0.50	1.70															2.20	
EM-EEF2.0-3C			コログシ					2.00	2.20													4.20	
メタルモール			A型						2.20													2.20	
同上付属品			コーナーボックス	A型					1													1	
同上付属品			スイッチボックス	A型1個用					1													1	
ブルボックス			150×150×100			1				1												2	
ブルボックス		溶融亜鉛仕上	150×150×150(WP)																				
アウトレットボックス			中深																				
スイッチボックス			1個用																				
露出スイッチボックス			E19	1個用																			
露出丸ボックス			E19	1方出						1				2								3	
露出丸ボックス			E19	3方出																			
はつり補修			50φ	L=150										1								1	

芝川ポンプ場耐震補強工事(電気設備)

数量計算書

1. 電灯設備(2)電灯分岐(撤去)

数量拾い書

[illegible]

照明器具他（撤去）

数量拾い書

[illegible]

数量拾い書

[illegible]

数量拾い書

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

芝川ポンプ場耐震補強工事（電気設備）

数量計算書

2. 動力設備 動力幹線設備（改修）

数量拾い書

件 名	芝川ポンプ場耐震補強工事(電気設備)					工 事 種 別	動力幹線設備 (改修)					区分	動力幹線 配管配線					大集計				
品 名		計上数量		各集計より															小 計	合 計	備 考	
		数量	単位			集計																
																						(端数処理)
EM-IE3.5sq	×1	35	m			34.10														34.10	35.0	
EM-IE5.5sq	×1	60	m			59.10														59.10	60.0	
EM-IE14sq	×1	30	m			29.30														29.30	30.0	
EM-IE22sq	×1	11	m			11.40														11.40	11.0	
EM-CE 3.5sq-3C	管内	12	m			11.70														11.70	12.0	
EM-CE14sq-3C	管内	33	m			32.50														32.50	33.0	
EM-CE14sq-3C	コログシ	40	m			40.20														40.20	40.0	
EM-CET22sq	管内	18	m			18.10														18.10	18.0	
EM-CET22sq	コログシ	12	m			12.30														12.30	12.0	
EM-CET38sq	管内	3	m			2.10														2.10	3.0	
EM-CET38sq	コログシ	13	m			13.40														13.40	13.0	
EM-CET38sq	ラック	14	m			13.80														13.80	14.0	
EM-CET150sq	コログシ	11	m			11.40														11.40	11.0	
電線管 (E25)	露出 塗装	12	m			11.70														11.70	12	
電線管 (E31)	露出 塗装	25	m			25.20														25.20	25	
電線管 (E31)	埋込	2	m			1.50														1.50	2	
電線管 (E51)	露出 塗装	18	m			17.90														17.90	18	
可とう電線管 F2(50)		3	m			2.10														2.10	3.0	
ﾌﾞﾛｯｸｽ 鋼製	200×200×150	3	個			3.00															3	0.15m2/個
ﾌﾞﾛｯｸｽ塗装面積 ;		0.45	m2																			
はつり補修	50φ L=150	1	ヶ所			1.00															1	
はつり補修	100φ L=150	3	ヶ所			3.00															3	
溝はつり補修	100×100 (m)	2	m			1.50														1.5	2	

数量拾い書

件 名			芝川ポンプ場耐震補強工事(電気設備)				工 事 種 別		動力幹線設備 (改修)				区分	配管配線				集計 (動力幹線)			
品 名			計上数量		拾い (配管配線)															小 計	備 考
			数量	単位	1	2	3	4	5												
EM-IE3.5sq	×	1	34.10	m		23.70	10.40												34.10		
EM-IE5.5sq	×	1	59.10	m		5.80	30.40	22.90											59.10		
EM-IE14sq	×	1	29.30	m	16.90	6.00	6.40												29.30		
EM-IE22sq	×	1	11.40	m					11.40										11.40		
EM-CE 3.5sq-2C		管内		m																	
EM-CE 3.5sq-2C		コロガシ		m																	
EM-CE 3.5sq-3C		管内	11.70	m			11.70												11.70		
EM-CE 3.5sq-3C		コロガシ		m																	
EM-CE 8sq-3C		管内		m																	
EM-CE 8sq-3C		コロガシ		m																	
EM-CE14sq-3C		管内	32.50	m		29.50		3.00											32.50		
EM-CE14sq-3C		コロガシ	40.20	m		2.50	6.40	19.90	11.40										40.20		
EM-CET22sq		管内	18.10	m			18.10												18.10		
EM-CET22sq		コロガシ	12.30	m			12.30												12.30		
EM-CET38sq		管内	2.10	m	2.10														2		
EM-CET38sq		コロガシ	13.40	m	1.00	6.00	6.40												13.40		
EM-CET38sq		ラック	13.80	m	13.80														13.80		
EM-CET60sq		コロガシ		m																	
EM-CET150sq		コロガシ	11.40	m					11.40										11.40		
電線管 (E25)		露出	11.70	m			11.70												11.70		
電線管 (E25)		埋込		m																	
電線管 (E31)		露出	25.20	m		23.70		1.50											25.20		
電線管 (E31)		埋込	1.50	m				1.50											1.50		
電線管 (E51)		露出	17.90	m			17.90												17.90		
電線管 (E51)		埋込		m																	
電線管 (E63)		露出		m																	
電線管 (E63)		埋込		m																	
可とう電線管 F2(50)			2.10	m	2.10														2.10		
ﾌﾞﾙｯｸｽ	鋼製	150×150×150		個																	
ﾌﾞﾙｯｸｽ	鋼製	200×200×150	3	個			3												3		
ﾌﾞﾙｯｸｽ	鋼製	300×300×200		個																	
ﾌﾞﾙｯｸｽ	鋼製	400×400×200		個																	
はつり補修	50φ	L=150	1	ヶ所		1													1		
はつり補修	100φ	L=150	3	ヶ所			3												3		
溝はつり補修	100×100	(m)	1.5	m			1.50												1.50		
はつり補修	200×200×100	溝はつり100×100：0.4m相当		ヶ所																	

件 名			芝川ポンプ場耐震補強工事(電気設備)			工 事 種 別						動力幹線設備 (改修)		区分		配管配線				動力幹線拾い (1)				計	備 考	
品 名			地下1階		P-A4系 配線ダクト～PB		→ ～1F																計			備 考
			平面	立面	平面	立面	平面	立面	平面	立面	平面	立面	平面	立面	平面	立面	平面	立面	平面	立面	平面	立面				
EM-IE3.5sq	×	1																								
EM-IE5.5sq	×	1																								
EM-IE14sq	×	1	2.10		13.80	1.00																	16.90			
EM-IE22sq	×	1																								
EM-CE 3.5sq-2C		管内																								
EM-CE 3.5sq-2C		コログシ																								
EM-CE 3.5sq-3C		管内																								
EM-CE 3.5sq-3C		コログシ																								
EM-CE 8sq-3C		管内																								
EM-CE 8sq-3C		コログシ																								
EM-CE14sq-3C		管内																								
EM-CE14sq-3C		コログシ																								
EM-CET22sq		管内																								
EM-CET22sq		コログシ																								
EM-CET38sq		管内	2.10																				2.10			
EM-CET38sq		コログシ				1.00																	1.00			
EM-CET38sq		ラック			13.80																		13.80			
EM-CET60sq		コログシ																								
EM-CET150sq		コログシ																								
電線管 (E25)		露出																								
電線管 (E25)		埋込																								
電線管 (E31)		露出																								
電線管 (E31)		埋込																								
電線管 (E51)		露出																								
電線管 (E51)		埋込																								
電線管 (E63)		露出																								
電線管 (E63)		埋込																								
可とう電線管 F2(50)			2.10																				2.10			
ﾌﾞﾙｯｸｽ	鋼製	150×150×150																								
ﾌﾞﾙｯｸｽ	鋼製	200×200×150																								
ﾌﾞﾙｯｸｽ	鋼製	300×300×200																								
ﾌﾞﾙｯｸｽ	鋼製	400×400×200																								
はつり補修		50φ L=150																								
はつり補修		100φ L=150																								
溝はつり補修		100×100 (m)																								
はつり補修	200×200×100	溝はつり100×100 : 0.4m相当																								

件 名			芝川ポンプ場耐震補強工事(電気設備)				工 事 種 別				動力幹線設備 (改修)				区分		配管配線				動力幹線拾い (2)	
品 名			1 階		P-A4系 ダクト内		(B) ダクト内立上げ		(C) ダクト～PB		(D) PB～PB(ホール)		→ PB～モータ室		P-G1系 PB～P1-2				計	備 考		
			平面	立面	平面	立面	平面	立面	平面	立面	平面	立面	平面	立面	平面	立面	平面	立面			平面	立面
EM-IE3.5sq	×	1									16.60	1.00	1.30		3.80	1.00			23.70			
EM-IE5.5sq	×	1						5.80											5.80			
EM-IE14sq	×	1		3.50		2.50													6.00			
EM-IE22sq	×	1																				
EM-CE 3.5sq-2C		管内																				
EM-CE 3.5sq-2C		コログシ																				
EM-CE 3.5sq-3C		管内																				
EM-CE 3.5sq-3C		コログシ																				
EM-CE 8sq-3C		管内																				
EM-CE 8sq-3C		コログシ																				
EM-CE14sq-3C		管内						5.80			16.60	1.00	1.30		3.80	1.00			29.50			
EM-CE14sq-3C		コログシ				2.50													2.50			
EM-CET22sq		管内																				
EM-CET22sq		コログシ																				
EM-CET38sq		管内																				
EM-CET38sq		コログシ		3.50		2.50													6.00			
EM-CET38sq		ラック																				
EM-CET60sq		コログシ																				
EM-CET150sq		コログシ																				
電線管	(E25)	露出																				
電線管	(E25)	埋込																				
電線管	(E31)	露出									16.60	1.00	1.30		3.80	1.00			23.70			
電線管	(E31)	埋込																				
電線管	(E51)	露出																				
電線管	(E51)	埋込																				
電線管	(E63)	露出																				
電線管	(E63)	埋込																				
ﾌﾞﾙｯｸｽ	鋼製	150×150×150																				
ﾌﾞﾙｯｸｽ	鋼製	200×200×150																				
ﾌﾞﾙｯｸｽ	鋼製	300×300×200																				
ﾌﾞﾙｯｸｽ	鋼製	400×400×200																				
はつり補修	50φ	L=150												1					1			
はつり補修	100φ	L=150																				
溝はつり補修	100×100	(m)																				
はつり補修	200×200×100	溝はつり100×100：0.4m相当																				

[illegible]

件 名			芝川ポンプ場耐震補強工事(電気設備)				工 事 種 別				動力幹線設備 (改修)				区分		配管配線				動力幹線拾い (4)				計	備 考
品 名			2階		P-A2系 M～P2-2		→ →																			
			平面	立面	平面	立面	平面	立面	平面	立面	平面	立面	平面	立面	平面	立面	平面	立面	平面	立面						
EM-IE3.5sq ×1																										
EM-IE5.5sq ×1			18.90	1.00	1.50	1.50																22.90				
EM-IE14sq ×1																										
EM-IE22sq ×1																										
EM-CE 3.5sq-2C 管内																										
EM-CE 3.5sq-2C コログシ																										
EM-CE 3.5sq-3C 管内																										
EM-CE 3.5sq-3C コログシ																										
EM-CE 8sq-3C 管内																										
EM-CE 8sq-3C コログシ																										
EM-CE14sq-3C 管内					1.50	1.50																3.00				
EM-CE14sq-3C コログシ			18.90	1.00																		19.90				
EM-CET22sq 管内																										
EM-CET22sq コログシ																										
EM-CET38sq 管内																										
EM-CET38sq コログシ																										
EM-CET38sq ラック																										
EM-CET60sq コログシ																										
EM-CET150sq コログシ																										
電線管 (E25) 露出																										
電線管 (E25) 埋込																										
電線管 (E31) 露出						1.50																1.50				
電線管 (E31) 埋込					1.50																	1.50				
電線管 (E51) 露出																										
電線管 (E51) 埋込																										
電線管 (E63) 露出																										
電線管 (E63) 埋込																										
ﾌﾞﾙｯｸｽ 鋼製 150×150×150																										
ﾌﾞﾙｯｸｽ 鋼製 200×200×150																										
ﾌﾞﾙｯｸｽ 鋼製 300×300×200																										
ﾌﾞﾙｯｸｽ 鋼製 400×400×200																										
はつり補修 50φ L=150																										
はつり補修 100φ L=150																										
溝はつり補修 100×100 (m)					1.5																	1.5				
はつり補修 200×200×100 溝はつり100×100：0.4m相当																										

件 名			芝川ポンプ場耐震補強工事(電気設備)			工 事 種 別								動力幹線設備 (改修)		区分		配管配線				動力幹線拾い (5)				計	備 考
品 名			2階		低圧分岐盤 ～M																		計	備 考			
			平面	立面	平面	立面	平面	立面	平面	立面	平面	立面	平面	立面	平面	立面	平面	立面	平面	立面	平面	立面					
EM-IE3.5sq	×	1																									
EM-IE5.5sq	×	1																									
EM-IE14sq	×	1																									
EM-IE22sq	×	1	9.40	2.00																		11.40					
EM-CE 3.5sq-2C		管内																									
EM-CE 3.5sq-2C		コログシ																									
EM-CE 3.5sq-3C		管内																									
EM-CE 3.5sq-3C		コログシ																									
EM-CE 8sq-3C		管内																									
EM-CE 8sq-3C		コログシ																									
EM-CE14sq-3C		管内																									
EM-CE14sq-3C		コログシ	9.40	2.00																		11.40					
EM-CET22sq		管内																									
EM-CET22sq		コログシ																									
EM-CET38sq		管内																									
EM-CET38sq		コログシ																									
EM-CET38sq		ラック																									
EM-CET60sq		コログシ																									
EM-CET150sq		コログシ	9.40	2.00																		11.40					
電線管 (E25)		露出																									
電線管 (E25)		埋込																									
電線管 (E31)		露出																									
電線管 (E31)		埋込																									
電線管 (E51)		露出																									
電線管 (E51)		埋込																									
電線管 (E63)		露出																									
電線管 (E63)		埋込																									
ﾌﾞﾙｯｸｽ	鋼製	150×150×150																									
ﾌﾞﾙｯｸｽ	鋼製	200×200×150																									
ﾌﾞﾙｯｸｽ	鋼製	300×300×200																									
ﾌﾞﾙｯｸｽ	鋼製	400×400×200																									
はつり補修		50φ L=150																									
はつり補修		100φ L=150																									
溝はつり補修		100×100 (m)																									
はつり補修	200×200×100	溝はつり100×100：0.4m相当																									

芝川ポンプ場耐震補強工事(電気設備)

数量計算書

2. 動力設備 動力幹線(撤去)

件 名	芝川ポンプ場耐震補強工事(電気設備)				工 事 種 別		動力設備（撤去）		区分		配管配線（撤去）								大集計				
品 名			計上数量 数量 単位		各集計より																小 計	合 計	備 考
【撤去】						集計		小集計															
IV2.0	×1	管内	34	m		34.30														34.30	34.0		
IV2.0	×4	管内	33	m		33.30														33.30	33.0		
合計	IV2.0	管内	166	m																			
IV8sq	×3	管内	35	m		34.30														34.30	35.0		
合計	IV8sq	管内	105	m																			
IV14sq	×1	管内	67	m		66.90														66.90	67.0		
IV38sq	×3	管内	22	m		21.90														21.90	22.0		
合計	IV38sq	管内	66	m																			
IV50sq	×3	管内	45	m		45.00															45.0		
合計	IV50sq	管内	135	m																			
CV 8sq-3C		管内	7	m				6.80												6.80	7.0		
CV 8sq-3C		コロガシ	7	m				7.30												7.30	7.0		
CVT150sq		管内	14	m				13.60												13.60	14.0		
CVT150sq		コロガシ	15	m				14.60												14.6	15.0		
(電線別集計)																							
IV2.0			166	m																			
IV8sq			105	m																			
IV14sq			67	m																			
IV38sq			66	m																			
IV50sq			135	m																			
CV8sq-3C			14	m																			
CVT150sq			29	m																			

数量拾い書

[illegible]

配管配線 集計 (動力幹線)撤去

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

芝川ポンプ場耐震補強工事（電気設備）

数量計算書

3. 放送設備（改修）

数量拾い書

件 名	芝川ポンプ場耐震補強工事(電気設備)					工 事 種 別	放送設備 (改修)		区分		放送設備 配管配線						大集計			
品 名		計上数量		各集計より														小 計	合 計	備 考
		数量	単位			集計		小集計												
																		(端数処理)		
EM-HP1. 2-3C	管内	68	m			67.50											67.50	68.0		
EM-HP1. 2-3C	PF内	4	m			3.30											3.30	4.0		
EM-HP1. 2-3C	コログシ	18	m			17.10											17.10	18.0		
EM-AE1. 2-4C	コログシ	2	m			2.00												2.0		
電線管 (E19)	露出 塗装	39	m			38.60											38.60	39.0		
電線管 (E25)	露出 塗装	8	m			7.50											7.50	8.0		
電線管 (E31)	露出 塗装	20	m			20.40											20.40	20.0		
電線管 (E31)	埋込	1	m			1.00												1.0		
合成樹脂可とう電線管 (PF28)	いんぺい	3	m			3.30											3.30	3.0		
メタルモール	A型	5	m					4.90									4.90	5.0		
同上付属品	A型 コーナボックス	1	個					1.00									1.00	1.0		
同上付属品	A型 ジャンクションボックス	1	個					1.00										1.0		
アウトレットボックス	中深	1	個					1.00									1.00	1.0		
露出丸ボックス	E19 1方出	1	個					1.00									1.00	1.0		
ﾌﾞﾙｯｸｽ 鋼製	150×150×100	6	個					6.00	【塗装面積：0.15*0.15*2+0.15*4*0.1=0.105m2】									6	0.105m2/個	
ﾌﾞﾙｯｸｽ 鋼製	200×200×150	2	個					2.00	【塗装面積：0.2*0.2*2+0.2*4*0.15=0.2m2】									2	0.200m2/個	
ﾌﾞﾙｯｸｽ塗装面積；		1.03	m2																	
はつり補修	50φ L=150	6	ヶ所					6.00										6		
溝はつり補修	100×100 (m)	0.5	m					0.50										0.5		
区画貫通処理	電線管(E31)	1.0	ヶ所					1.00									1	1		

[illegible]

数量拾い書

件 名	芝川ポンプ場耐震補強工事(電気設備)				工 事 種 別			放送設備 (改修)			区分	配管配線							小集計 (放送)						
品 名					計上数量		拾い (配管配線)																	小 計	備 考
					数量	単位	1	2	3																
EM-HP1. 2-3C	×	1	(E19)	露出	38.60	m	38.60														38.60				
EM-HP1. 2-3C	×	1	(E25)	露出	7.50	m		7.50													7.50				
EM-HP1. 2-3C	×	1	(E31)	露出	20.40	m	20.40														20.40				
EM-HP1. 2-3C	×	1	(E31)	埋込	1.00	m			1.00												1.00				
EM-HP1. 2-3C	×	1	(PF28)	いんぺい	3.30	m	3.30														3.30				
EM-HP1. 2-3C	×	1	コロガシ		17.10	m	1.00		16.10												17.10				
EM-AE1. 2-4C	×	1	コロガシ		2.00	m		2.00													2.00				
メタルモール			A型		4.90	m			4.90												4.90				
同上付属品			A型	コーナボックス	1.00	個			1.00												1.00				
同上付属品			A型	ジャンクションボックス	1.00	個			1.00												1.00				
アウトレットボックス			中深		1.00	個		1.00													1.00				
露出丸ボックス			E19	1方出	1.00	個	1.00														1.00				
プルボックス	鋼製		150×150×100		6.00	個	3.00	2.00	1.00												6.00				
プルボックス	鋼製		200×200×150		2.00	個	2.00														2.00				
はつり補修			50φ	L=150	6.00	ヶ所	4.00	2.00													6.00				
溝はつり補修			100×100	(m)	0.5	m			0.50												0.5				
区画貫通処理			電線管	(E31)	1	ヶ所	1.00														1				

[illegible]

[illegible]

[illegible]

芝川ポンプ場耐震補強工事（電気設備）

数量計算書

3. 放送設備（撤去）

数量拾い書

[illegible]

器具（撤去）

数量拾い書

[illegible]

[illegible]

芝川ポンプ場耐震補強工事（電気設備）

数量計算書

4. インターホン設備（改修）

数量拾い書

[illegible]

数量拾い書

[illegible]

配管配線 小集計 (インターホン)

芝川ポンプ場耐震補強工事（電気設備）

数量計算書

4. インターホン設備（撤去）

数量拾い書

[illegible]

数量拾い書

[illegible]

[illegible]

芝川ポンプ場耐震補強工事（電気設備）

数量計算書

2. 直接仮設

数量拾い書

[illegible]

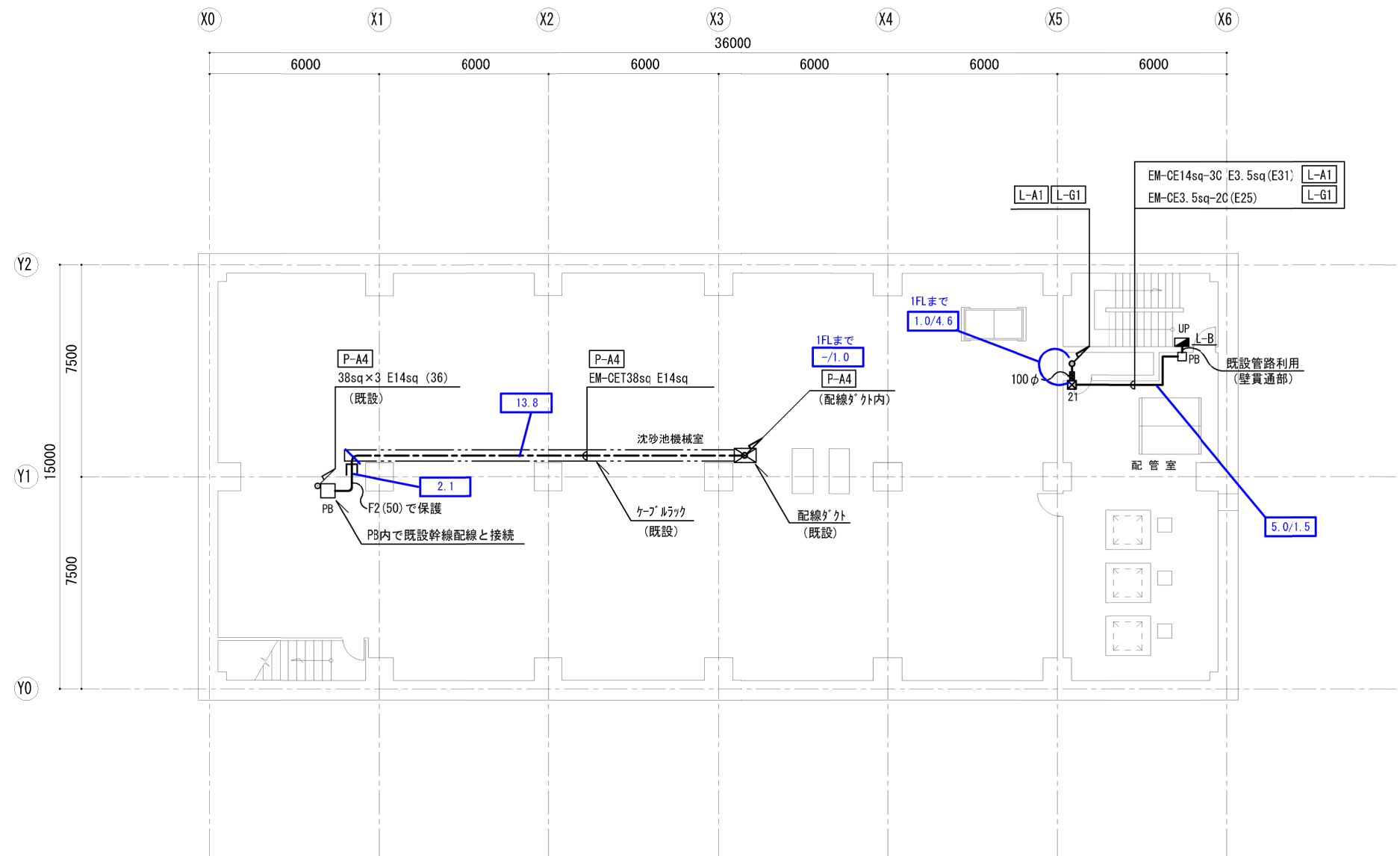
数量拾い書

[illegible]

記 号	名 称	備 考
	主開閉器盤	新設
	動力制御盤	既設
	電灯分電盤	〃
	配管配線（露出配管）	新設
	ケーブル配線（ビット内）	〃
	ブルボックス（鋼製）	〃
	はつり補修（壁・床貫通）	〃
	配管配線	既設
	ブルボックス	〃
	幹線番号	

1. 特記なき配線は系統図（改修）参照
2. 特記なきプルボックスは下記による。

- | | | | |
|---|----|---|-----------------------------|
|  | 21 | : | $200 \times 200 \times 150$ |
|  | 32 | : | $300 \times 300 \times 200$ |
|  | 42 | : | $400 \times 400 \times 200$ |

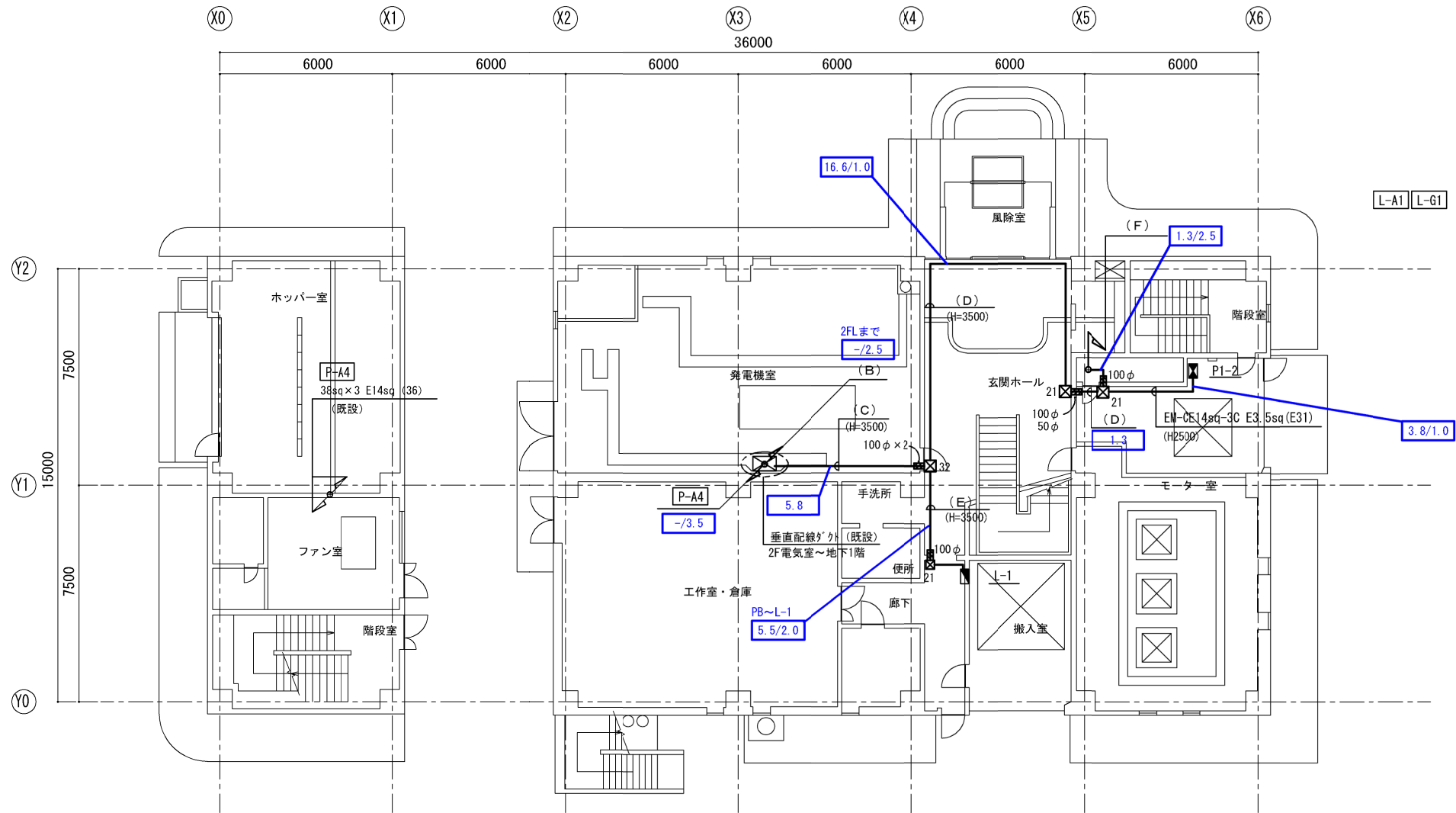


数量図

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	幹線設備地下1階平面図（改修）		
作成年月日	令和8年3月		
縮尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	E-00
会社名	株式会社 日建技術コンサルタント		
事業者名	埼玉県 上尾市		

配線表

記号	盤名	配管配線		
(B)	P2-4	EM-CET38sq	E14sq	P-A4
	P1-2	EM-CE14sq-3C		P-G1
	L-B	EM-CE14sq-3C	(配線ダクト)	L-A1
	L-B	EM-CE3.5sq-2C		L-G1
	L-1	EM-CE8sq-3C		L-A2
	L-1	EM-CE3.5sq-3C		L-G2
(C)	P1-2	EM-CE14sq-3C	E5.5sq	P-G1
	L-B	EM-CE14sq-3C		L-A1
	L-B	EM-CE3.5sq-2C	(E63) × 2	L-G1
	L-1	EM-CE8sq-3C		L-A2
	L-1	EM-CE3.5sq-3C		L-G2
(D)	P1-2	EM-CE14sq-3C	E3.5sq (E31)	P-G1
	L-B	EM-CE14sq-3C	(E31)	L-A1
	L-B	EM-CE3.5sq-2C	(E25)	L-G1
(E)	L-1	EM-CE8sq-3C	E3.5sq (E31)	L-A2
	L-1	EM-CE3.5sq-3C	(E25)	L-G2
(F)	L-B	EM-CE14sq-3C	E3.5sq (E31)	L-A1
	L-B	EM-CE3.5sq-2C	(E25)	L-G1

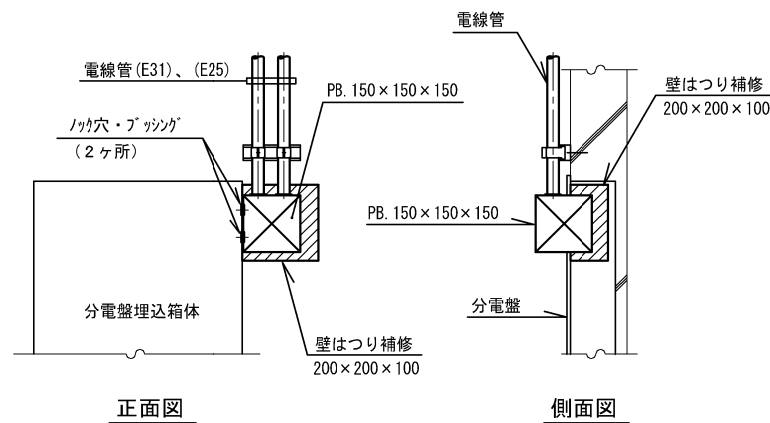


1階 平面図 [改修後]

数量図

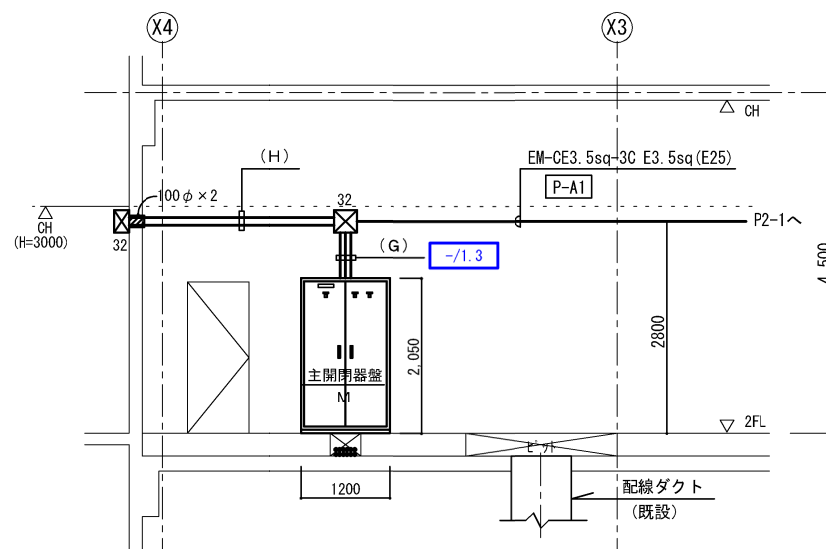
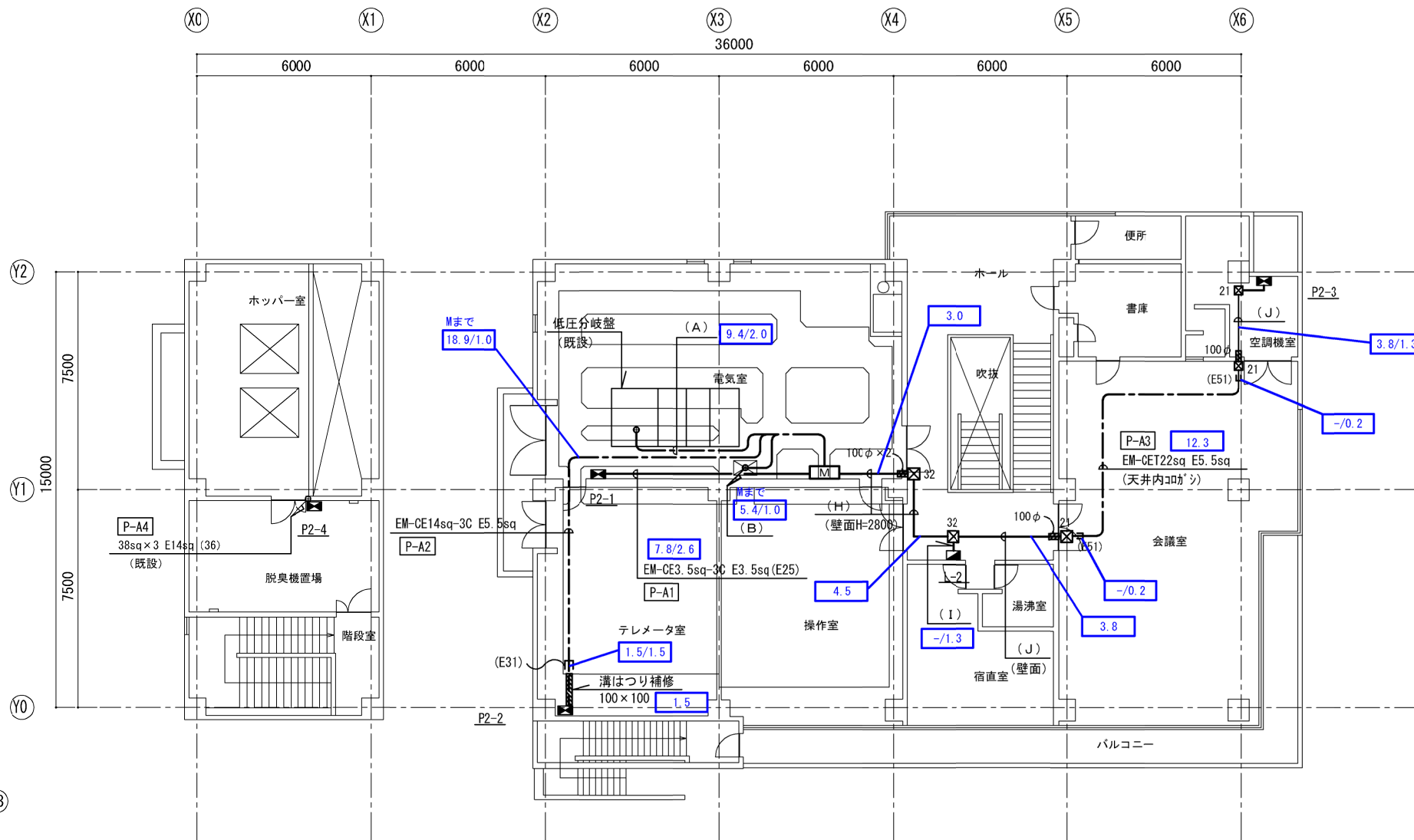
工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	幹線設備 1階平面図 (改修)		
作成年月日	令和8年3月		
縮尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	E-00
会社名	株式会社 日建技術コンサルタント		
事業者名	埼玉県 上尾市		

電灯分電盤 電線管接続図 (参考)





記号	盤名	配管配線		
(A)		EM-CET150sq	E22sq	AC3φ3W200V
		EM-CE14sq-3C		AC/GC3φ3W200V
		EM-CET60sq		(トクト) AC1φ3W200-105V
		EM-CET22sq		AC/GC1φ3W200-105V
(B)	P2-4	EM-CET38sq	E14sq	[P-A4]
	P1-2	EM-CE14sq-3C		[P-G1]
	L-B	EM-CE14sq-3C		(配線ダクト) [L-A1]
	L-B	EM-CE3.5sq-2C		[L-G1]
	L-1	EM-CE8sq-3C		[L-A2]
	L-1	EM-CE3.5sq-3C		[L-G2]
(G)	P2-3	EM-CET22sq	E5.5sq	(E51) [P-A3]
	L-2	EM-CE14sq-3C		(E51) [L-A3]
	L-2	EM-CE3.5sq-3C		[L-G3]
	P2-1	EM-CE3.5sq-3C		(E25) [P-A1]
(H)	P2-3	EM-CET22sq	E5.5sq	(E51) [P-A3]
	L-2	EM-CE14sq-3C		(E51) [L-A3]
	L-2	EM-CE3.5sq-3C		[L-G3]
(I)	L-2	EM-CE14sq-3C	E3.5sq	(E31) [L-A3]
	L-2	EM-CE3.5sq-3C		(E25) [L-G3]
(J)	P2-3	EM-CET22sq	E5.5sq	(E51) [P-A3]



主開閉器盤 正面図

S=1/50 (A1)
S=1/100 (A3)

2階 平面図 [改修後]

数量関

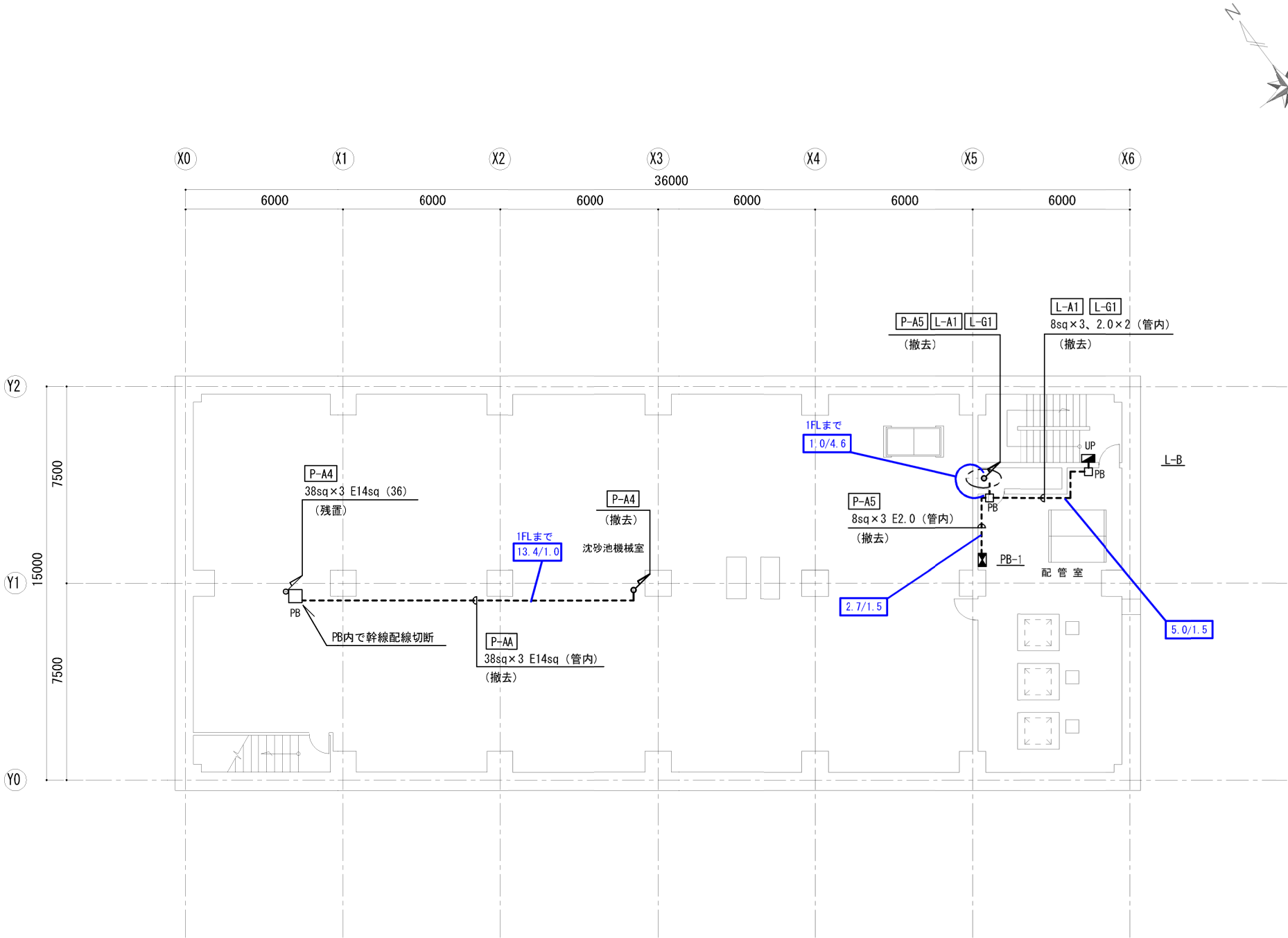
工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	幹線設備2階平面図（改修）		
作成年月日	令和8年3月		
縮尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	E-00
会社名	株式会社 日建技術コンサルタント		
事業者名	埼玉県 上尾市		

凡 例（撤去）

記 号	名 称	備 考
M	主開閉器盤	撤去
	動力制御盤	残置
	電灯分電盤	〃
	配管配線（埋込配管）	撤去
	配管配線（露出配管）	
	ケーブル配線	〃
	プルボックス	〃
	配管配線	残置
PB	プルボックス	〃
No	幹線番号	

（注記）

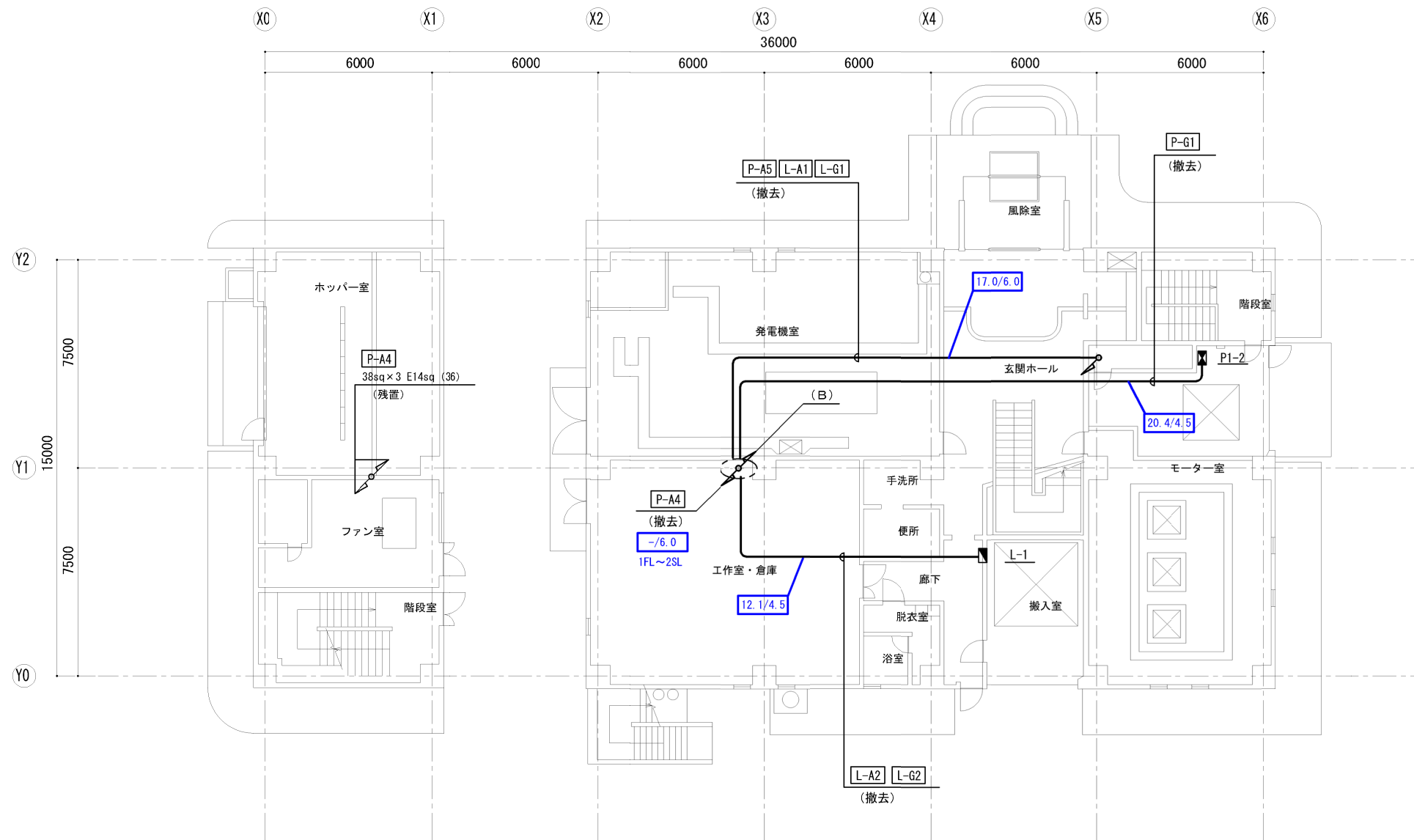
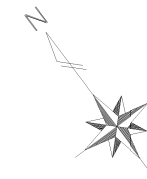
1. 特記なき撤去配線は系統図（撤去）参照
2. 撤去記載のない電線管はすべて残置とする。



地下1階 平面図〔改修前〕

数量図

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	幹線設備地下1階平面図（撤去）		
作成年月日	令和8年3月		
縮尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	E-00
会社名	株式会社 日建技術コンサルタント		
事業者名	埼玉県 上尾市		



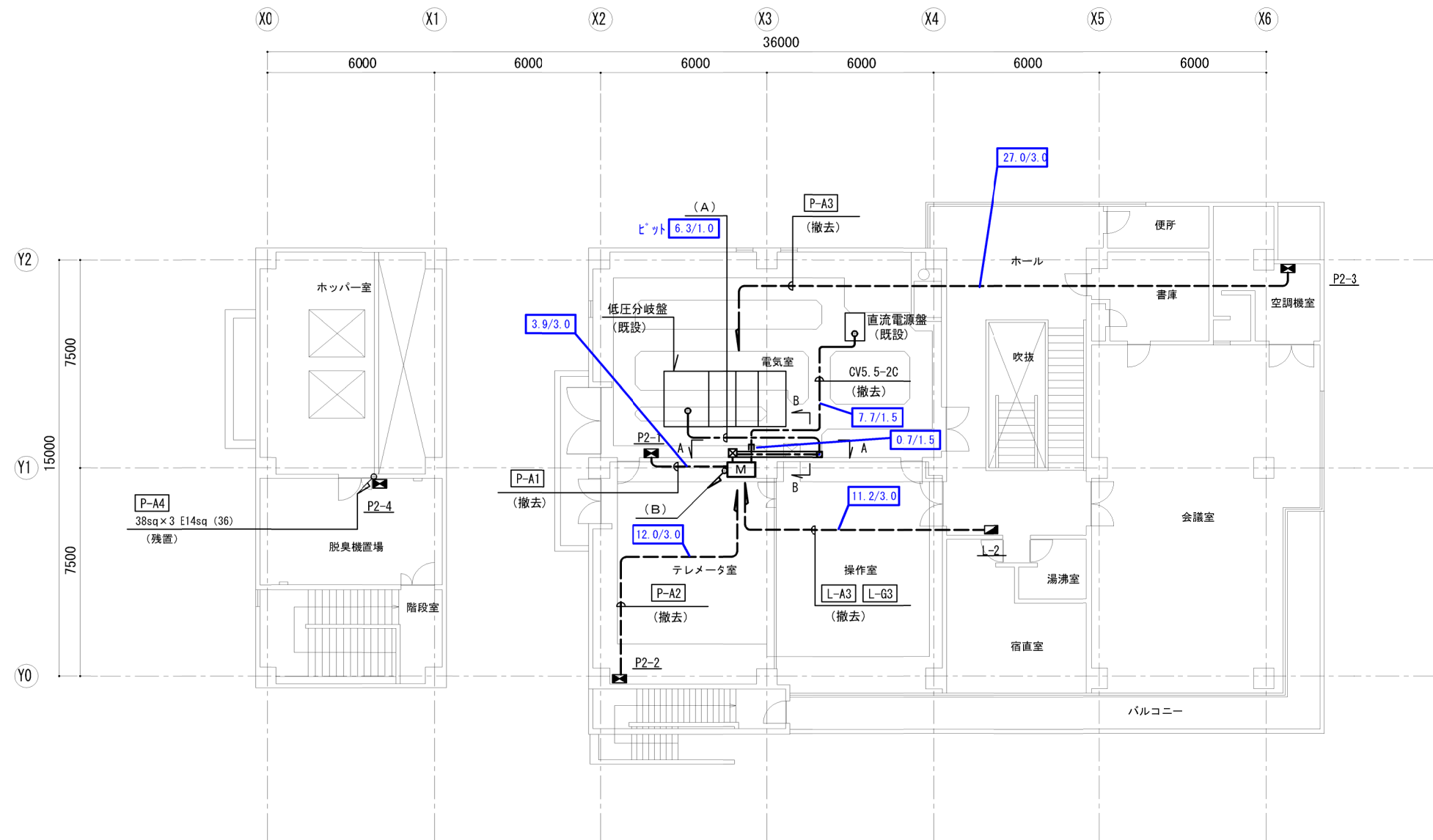
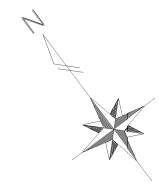
1階 平面図 [改修前]

撤去配線表

記号	盤名	配 線
(B)	P2-4	38sq x 3 E14sq (管内) P-A4
	PB-1	8sq x 3 E2.0 (管内) P-A5
	P1-2	2.0 x 3 E2.0 (管内) P-G1
	L-B	8sq x 3、2.0 x 2 (管内) L-A1 L-G1
	L-1	8sq x 3、2.0 x 3 (管内) L-A2 L-G2

数量図

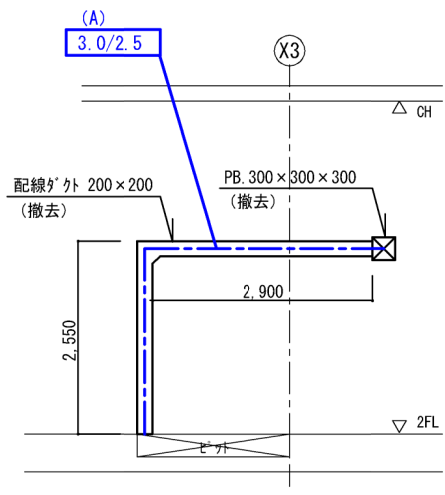
工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	幹線設備 1階平面図 (撤去)		
作成年月日	令和8年3月		
縮尺	A1: 1/100 A3: 1/200	図面番号	E-00
会社名	株式会社 日建技術コンサルタント		
事業者名	埼玉県 上尾市		



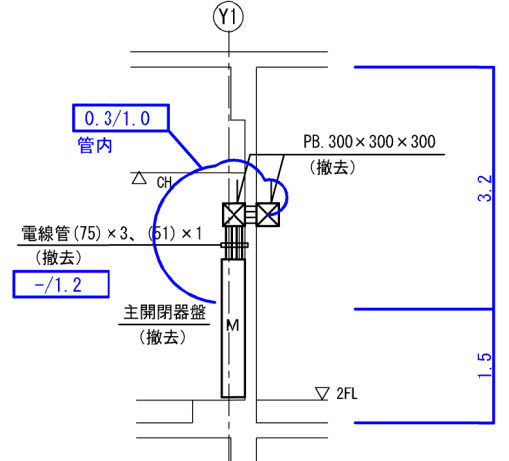
2階 平面図 [改修前]

撤去配線表

記号	電源種別	配線
(A)	AC3 φ3W200V	CVT150sq x 2 (ピット、配線ダクト、管内)
	AC/GC3 φ3W200V	CV 8sq-3C (")
	AC1 φ3W200-105V	CVT 60sq (")
	AC/GC1 φ3W200-105V	CVT 38sq (")



A-A 矢視図



B-B 矢視図

撤去詳細図
S=1/50 (A1)
S=1/100 (A3)

数量図

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	幹線設備 2階平面図 (撤去)		
作成年月日	令和8年3月		
縮尺	A1: 1/100 A3: 1/200	図面番号	E-00
会社名	株式会社 日建技術コンサルタント		
事業者名	埼玉県 上尾市		

凡 例 (改修)

記 号	名 称	摘 要
	水銀灯 HF200W 安定器共	再使用
	蛍光灯 FL40W×1 壁付	〃
	手元開閉器	新設
	LEDダウンライト	〃 LRS1-08 LN
	埋込スイッチ 1P15A	〃 新金プレート
	埋込PLスイッチ 1P4A	〃 〃
	埋込浴室換気用スイッチ 5～50W	〃 〃 30分・15分
	埋込コンセント 2P15A×2	〃 〃
	埋込コンセント 2P15AE×2	〃 〃
	埋込コンセント 2P15AE×1 250V	〃 〃 プラグ共
	ELB付コンセント ELB2P1E15A	〃 ケースレタ (防雨型 抜止コンセント付)
	有圧扇 350φ 1φ200V 80W	再使用
	配管配線 (露出配管)	新設
	ケーブル配線 (いんべい)	〃
	ケーブル配線 (メタル)	〃 M: A型、MB: B型
	プルボックス	〃
	露出丸ボックス	〃
	アウトレットボックス	〃 天井内いんべい
	接地極 ED	〃 接地銅棒 L=1500×1本
	躯体貫通はつり補修	〃 ▲: 耐震壁新設部
	電灯分電盤	既設
	水銀灯 HF200W	〃
	蛍光灯 FL40W×1	〃
	蛍光灯 FL20W×2	〃
	天井換気扇	〃
	配管配線 (埋込配管)	〃
	位置ボックス	〃 アウトレットボックス
	回路番号 (1φ200V)	AC回路: 1～ GC回路: A～
	回路番号 (1φ100V)	〃 〃

(注記)

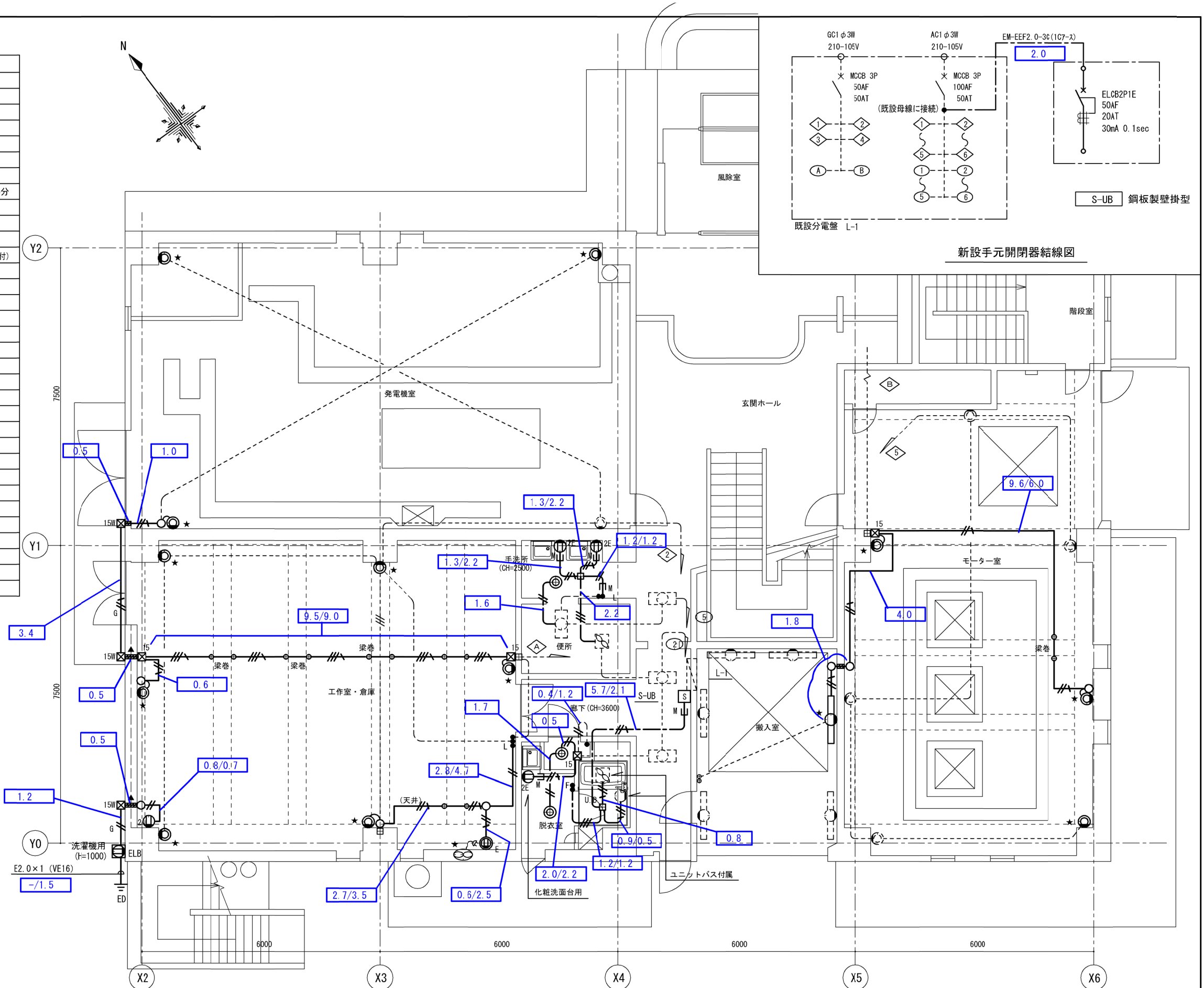
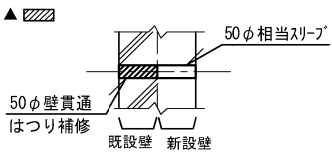
1. 特記なき配管配線は下記による。

	EM-IE2.0×2	(E19)
	EM-IE2.0×2 E2.0	(E19)
	EM-IE2.0×3 E2.0	(E25)
	EM-IE2.0×2	(G16)
	EM-IE2.0×2 E2.0	(G16)
	EM-IE2.0×2	(既設管路)
	EM-EEF2.0-2C	
	EM-EEF2.0-3C	
	EM-EEF2.0-3C (1C7-s)	
	EM-EEF2.0-3C (1C7-s) 保護部 (E25)	
	EM-EEF2.0-2C 立下げ部 (MM-A)	
	EM-EEF2.0-3C 立下げ部 (MM-A)	
	EM-EEF2.0-3C (1C7-s) 立下げ部 (MM-A)	
	EM-EEF2.0-2C	(MM-A型)
	EM-EEF2.0-3C (1C7-s)	(MM-A型)

2. 特記なきプルボックスのサイズは下記による。

	15	: 150×150×100
	15W	: 150×150×100 (防水型: 溶融垂鉛メッキ仕上)

3. 耐震壁新設部分の壁貫通は下記を参考とする。

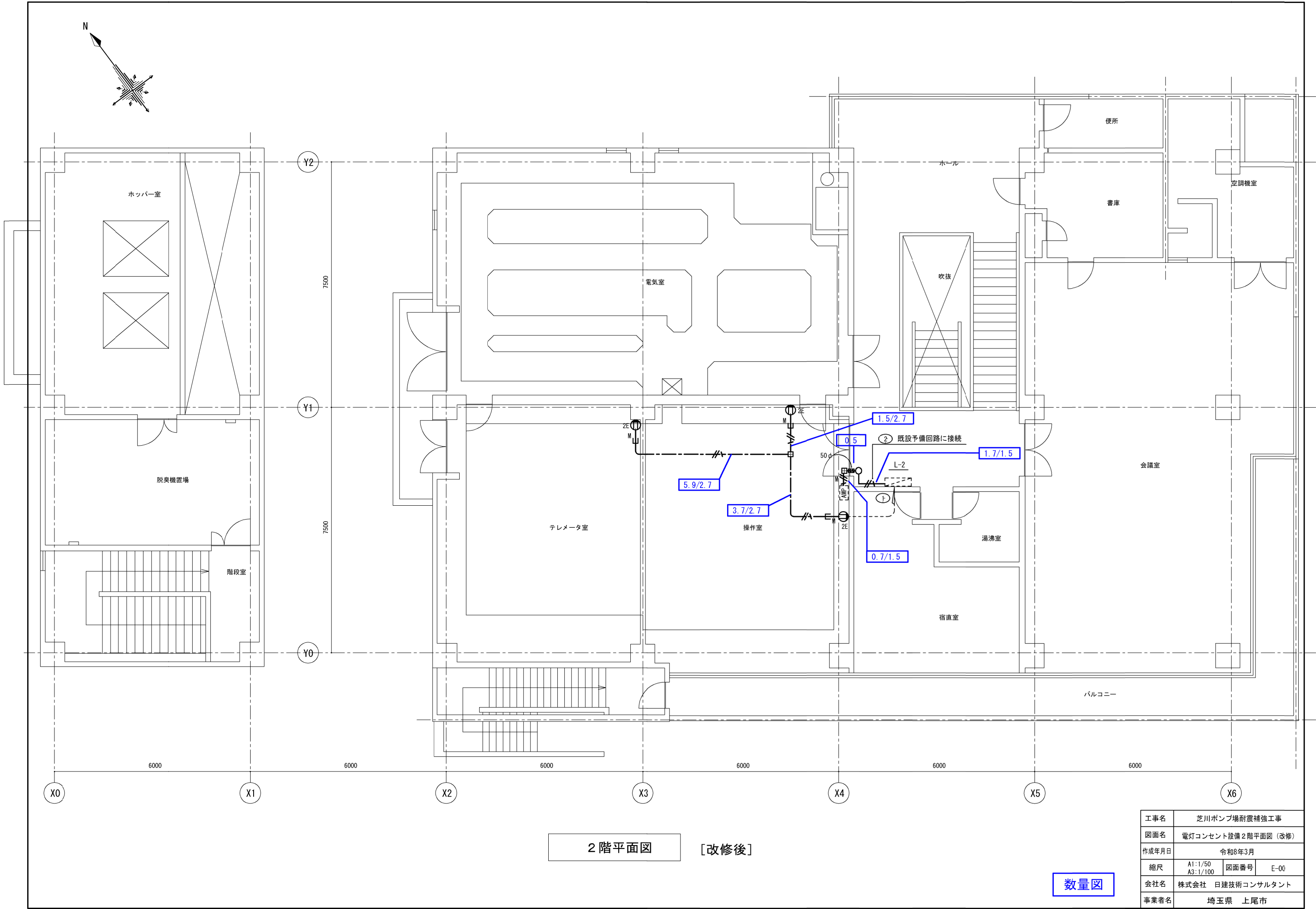


1 階平面図

[改修後]

数量図

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	電灯コンセント設備1階平面図 (改修)		
作成年月日	令和8年3月		
縮尺	A1:1/50 A3:1/100	図面番号	E-00
会社名	株式会社 日建技術コンサルタント		
事業者名	埼玉県 上尾市		



2 階平面図 [改修後]

数量図

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	電灯コンセント設備 2 階平面図 (改修)		
作成年月日	令和8年3月		
縮尺	A1:1/50 A3:1/100	図面番号	E-00
会社名	株式会社 日建技術コンサルタント		
事業者名	埼玉県 上尾市		

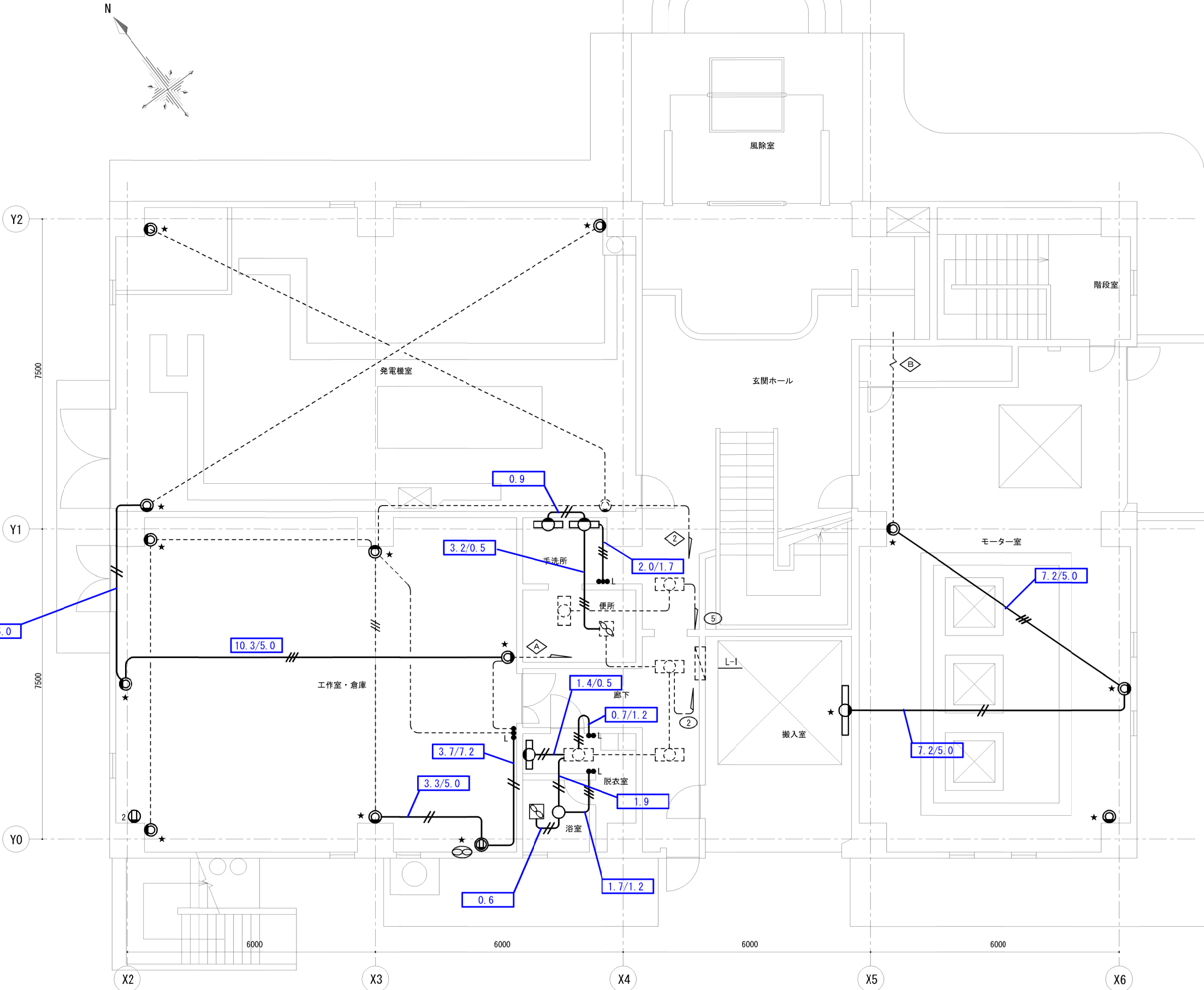
凡 例（撤去）

記 号	名 称	摘 要	
 ★	水銀灯 HF200W 安定器共	撤去	再使用
 ★	蛍光灯 FL20W×1 壁付	〃	〃
 ★	蛍光灯 FL40W×1 壁付	〃	〃
 ★	蛍光灯 FL20W×1 壁付	〃	
	白熱灯 1L60W×1 直付	〃	
	埋込スイッチ 1P15A	〃	
	埋込PLスイッチ 1P4A	〃	
	埋込コンセント 2P15A×2	〃	
	埋込コンセント 2P15AE×1 250V	〃	
	露出コンセント 2P15A×3	〃	
 ★	有圧扇 350φ 1φ200V 80W	〃	再使用
	配管配線（埋込配管）	撤去	配線撤去
	配管配線（床埋込配管）	〃	〃
	電灯分電盤	既設	
	水銀灯 HF200W	〃	
	蛍光灯 FL40W×1	〃	
	蛍光灯 FL20W×2	〃	
	天井換気扇	〃	
	配管配線（埋込配管）	〃	
	回路番号 (1φ200V)	AC回路:1～	GC回路:A～
	回路番号 (1φ100V)	〃	〃

（注記）

1. 特記なき撤去配線は下記による。

-  IV2.0×2 (管内)
-  IV2.0×3 (管内)
-  VVF2.0-2C (ビニルケーブル)

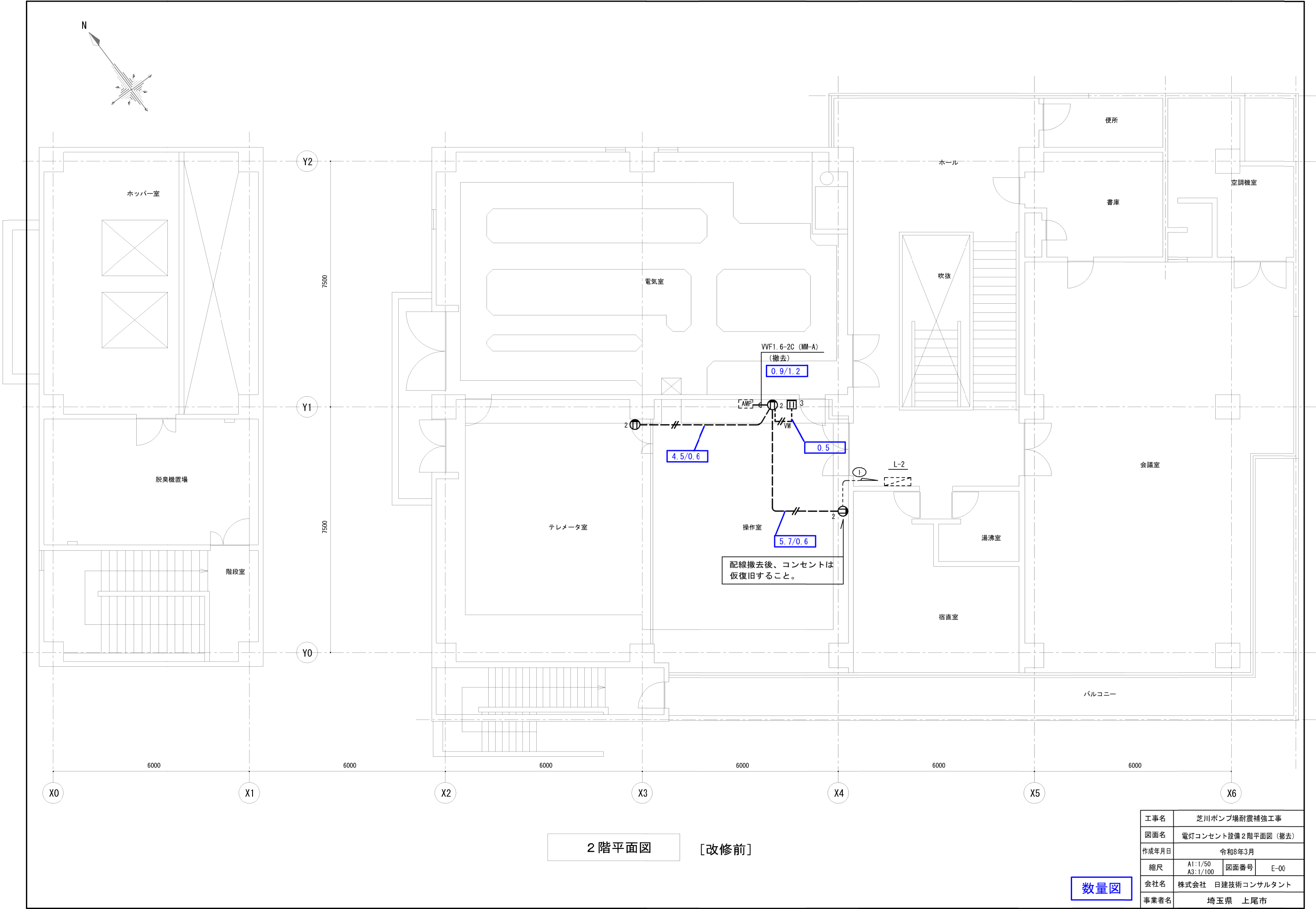


1 階平面図

〔改修前〕

数量図

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	電灯コンセント設備 1 階平面図（撤去）		
作成年月日	令和8年3月		
縮尺	A1:1/50 A3:1/100	図面番号	E-00
会社名	株式会社 日建技術コンサルタント		
事業者名	埼玉県 上尾市		

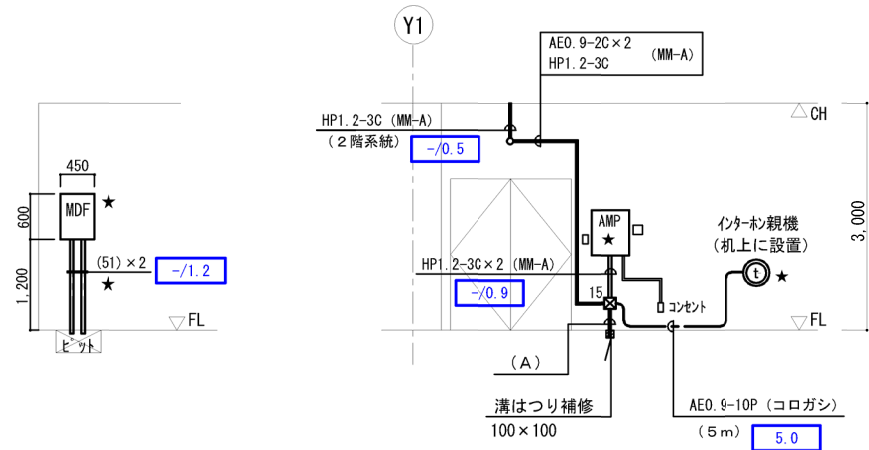


2 階平面図 [改修前]

数量図

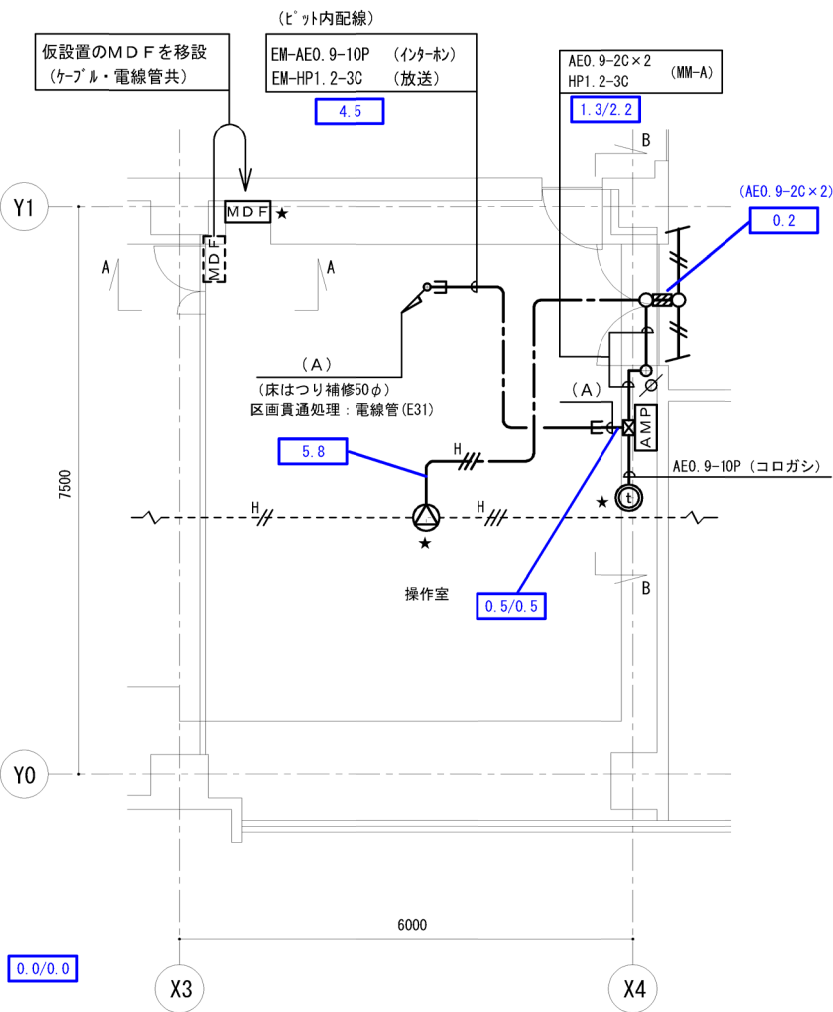
工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	電灯コンセント設備 2 階平面図 (撤去)		
作成年月日	令和8年3月		
縮尺	A1:1/50 A3:1/100	図面番号	E-00
会社名	株式会社 日建技術コンサルタント		
事業者名	埼玉県 上尾市		

記 号	名 称	摘 要
★	業務・非常放送アンプ	10局 再使用
★	ホーン型スピーカ	10W "
★	天井埋込スピーカ	3W "
★		
★	インターホン親機	10局 再使用
★	インターホン子機	"
★	玄関子機アダプタ	"
★	MDF 壁掛露出型	"
★	定温式スポット型感知器	"
	配管配線（露出配管）	新設
	配管配線（いんべい配管）	"
	配管配線（床埋込配管）	"
	ケーブル配線（ビット内）	"
MM-A	メタルモール A型	"
	ブルボックス（銅製）	"
	はつり補修（壁・床貫通）	"
	露出ボックス	"
	トランペットスピーカ	10W 既設
	天井埋込スピーカ	3W "
	アッテネータ	"
	インターホン子機	"
	インターホン玄関子機	"
	配管配線	既設
PB	ブルボックス	"



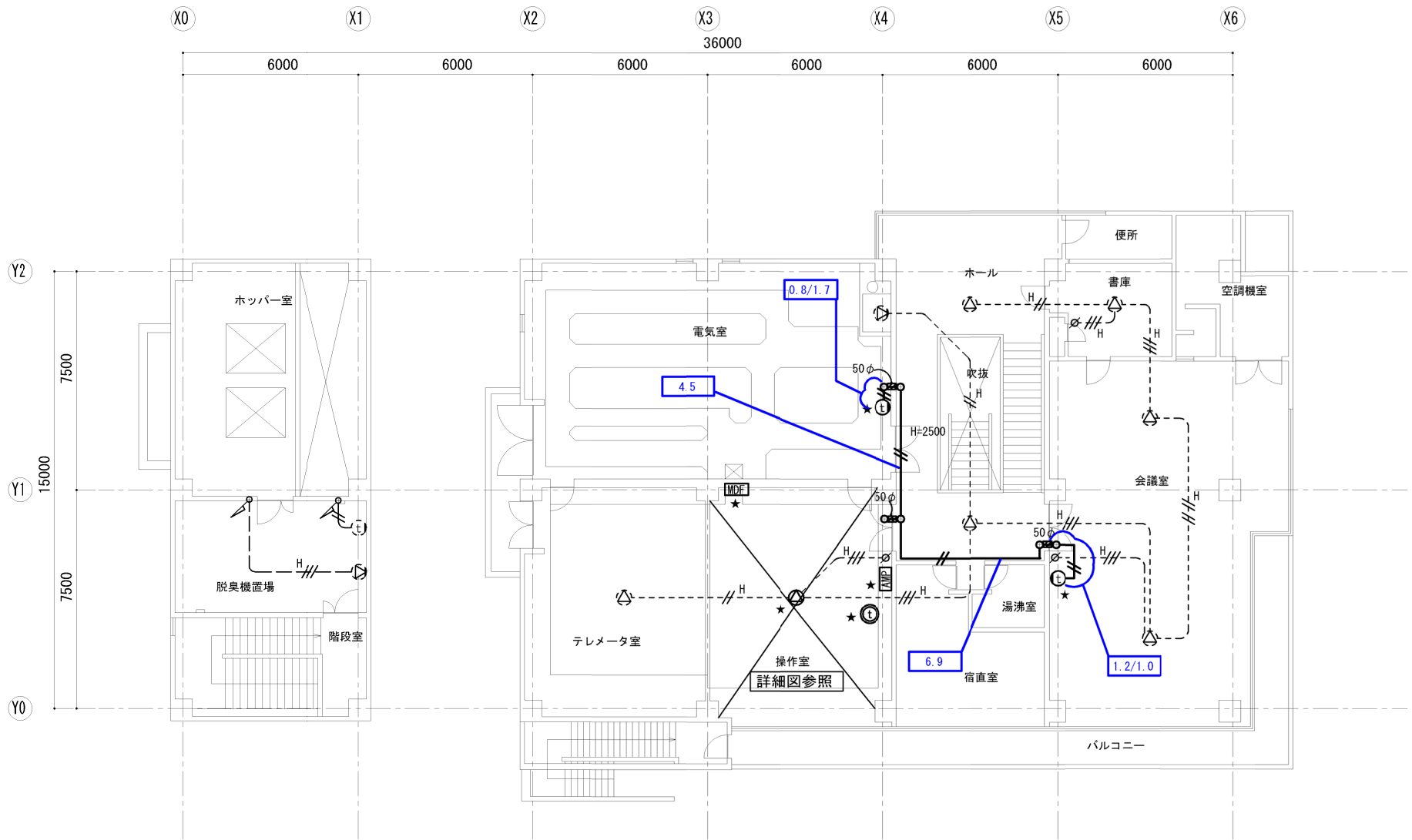
A-A矢視図

B-B矢視図



操作室詳細図

S=1/50 (A1)
S=1/100 (A3)



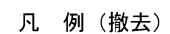
2階 平面図 [改修後]

配線表

記号	配管	配線
(A)	EM-AEO. 9-10P EM-HP1. 2-3C	(E31) インターホン 放送

数量図

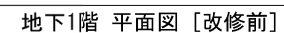
工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	弱電設備2階平面図(改修)		
作成年月日	令和8年3月		
縮尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	E-00
会社名	株式会社 日建技術コンサルタント		
事業者名	埼玉県 上尾市		



(注記)

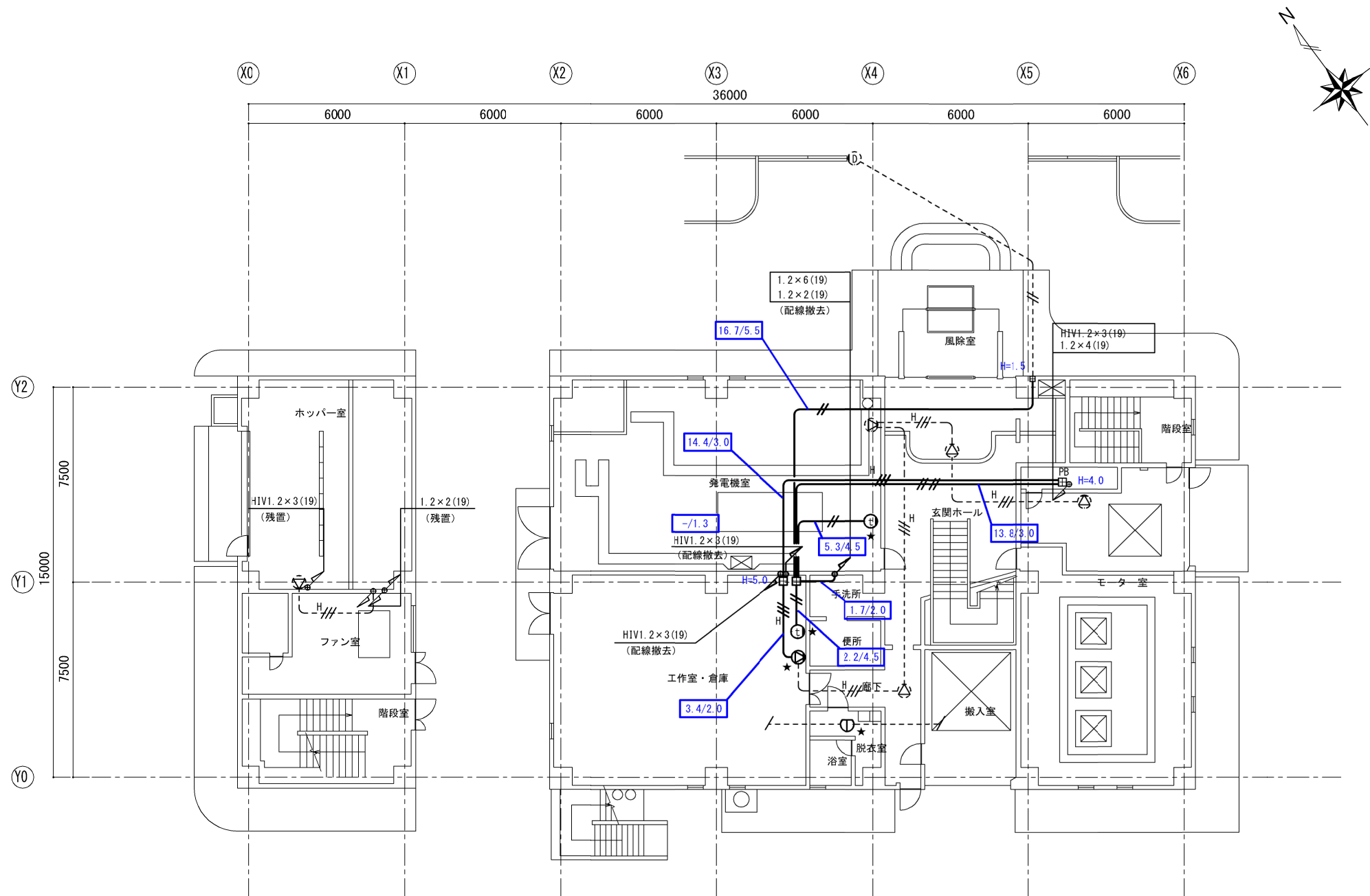
1. 特記なき撤去配線は下記による。

	IV1. 2×2	(管内)
	IV1. 2×4	(管内)
	HIV1. 2×2	(管内)
	HIV1. 2×3	(管内)
	HIV1. 2×4	(管内)



数量图

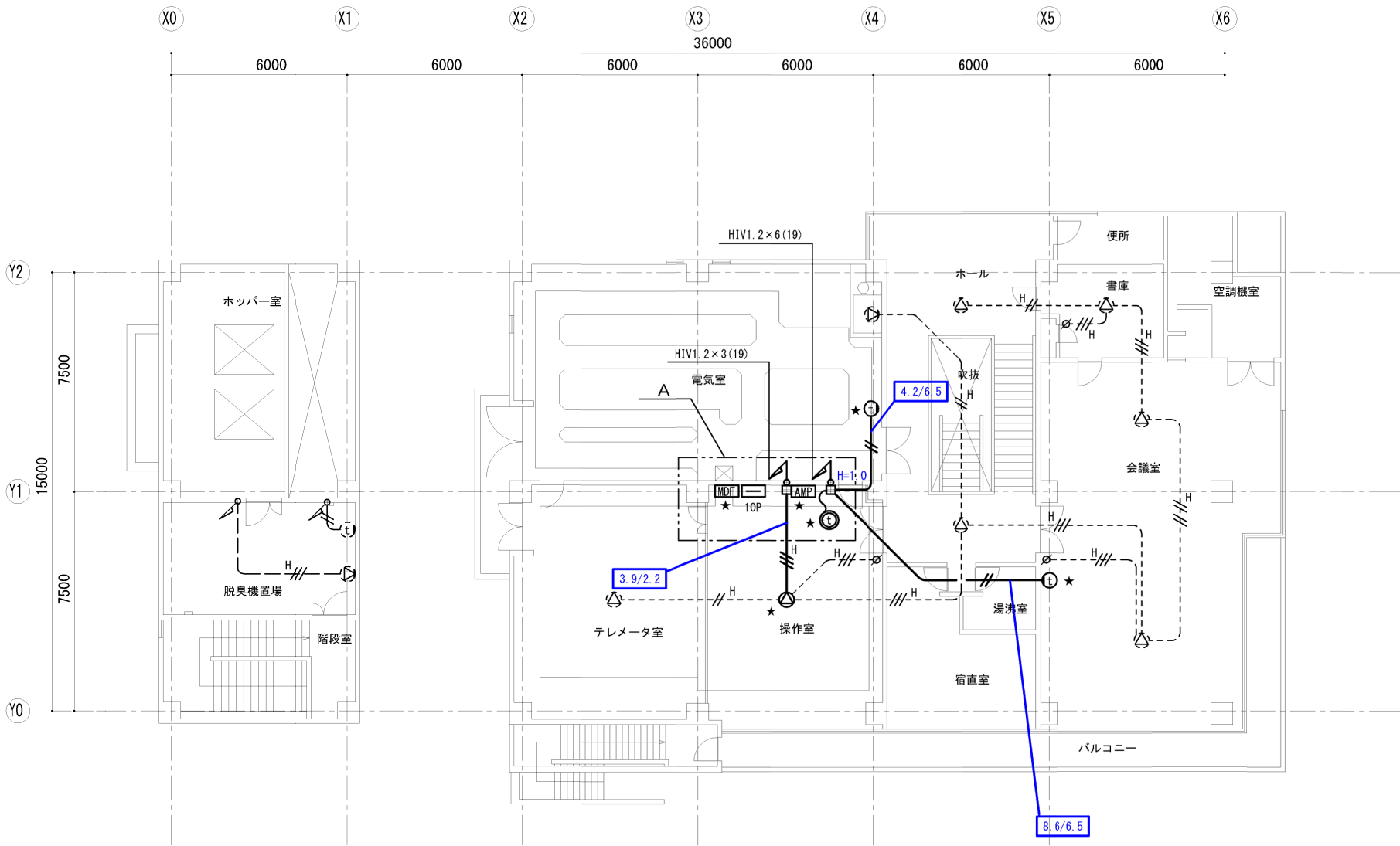
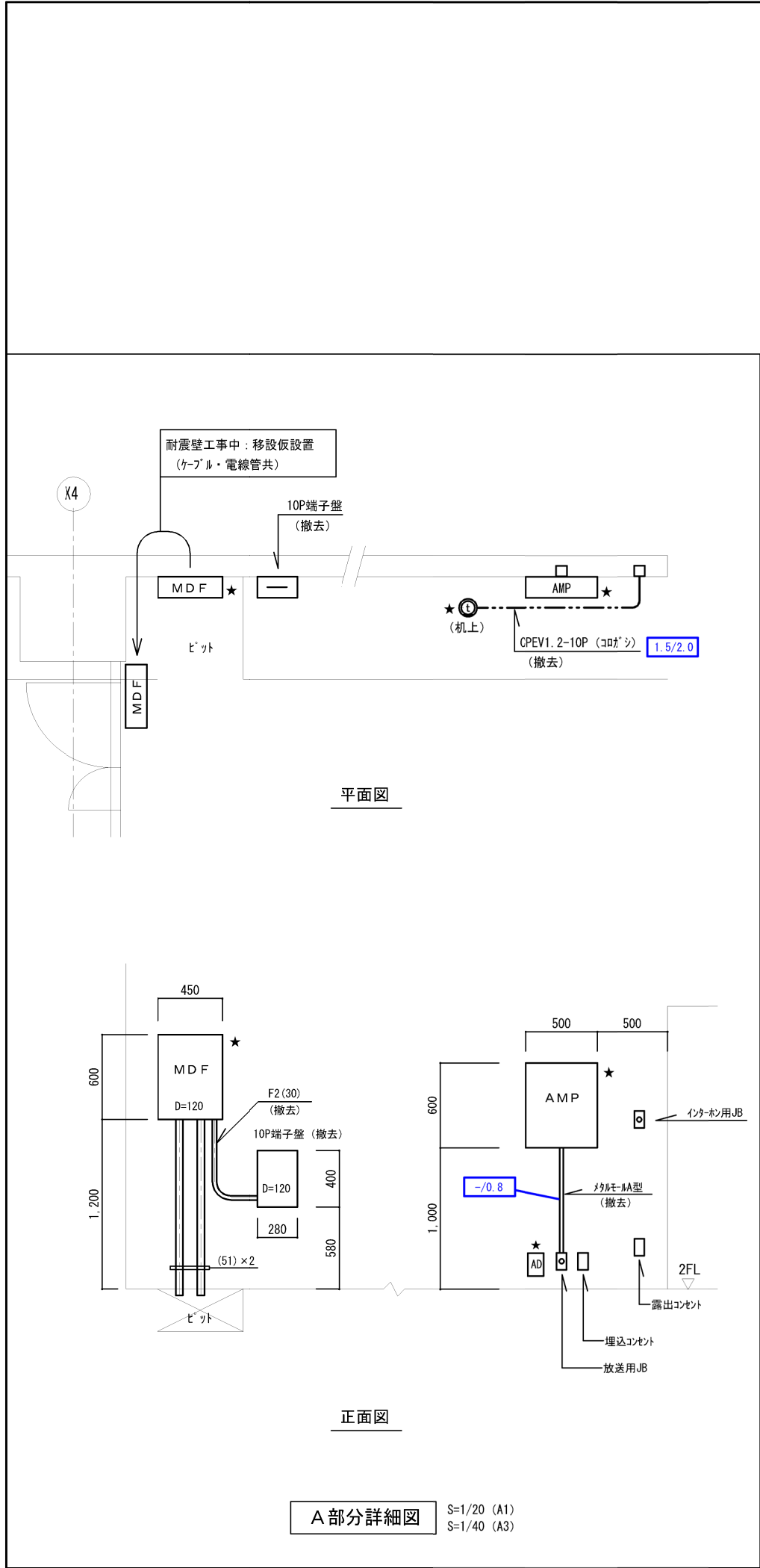
工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	弱電設備地下1階平面図（撤去）		
作成年月日	令和8年3月		
縮尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	E-00
会社名	株式会社 日建技術コンサルティング		
事業者名	埼玉県 上尾市		



1階 平面図 [改修前]

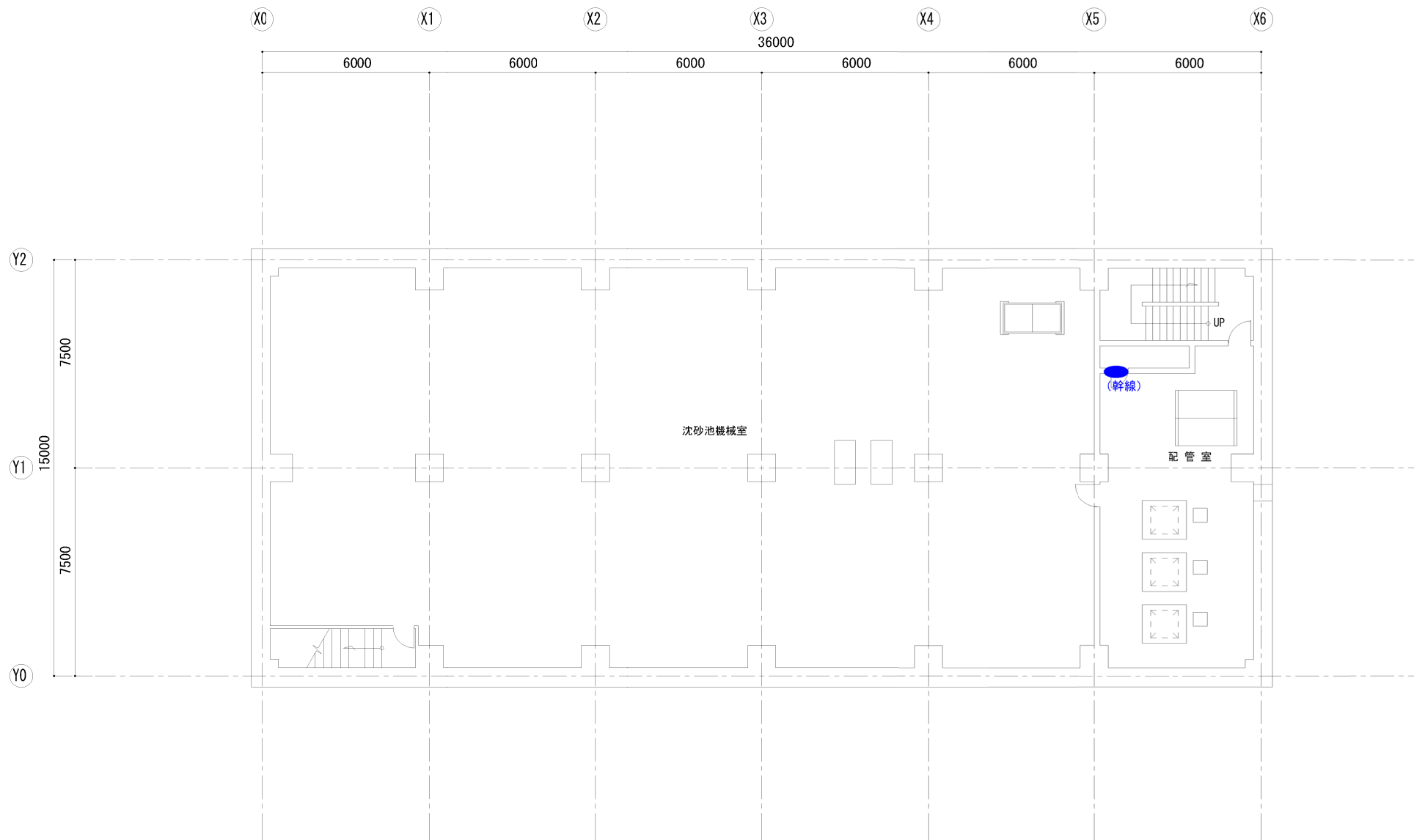
数量図

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	弱電設備 1 階平面図 (撤去)		
作成年月日	令和8年3月		
縮尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	E-00
会社名	株式会社 日建技術コンサルタント		
事業者名	埼玉県 上尾市		



数量図

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	弱電設備2階平面図(撤去)		
作成年月日	令和8年3月		
縮尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	E-00
会社名	株式会社 日建技術コンサルタント		
事業者名	埼玉県 上尾市		



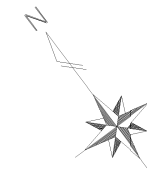
1階 平面図 [改修前]

凡例

X線鉄筋探査ヶ所 (0.5m x 0.5m) : (幹線) (床)

数量図

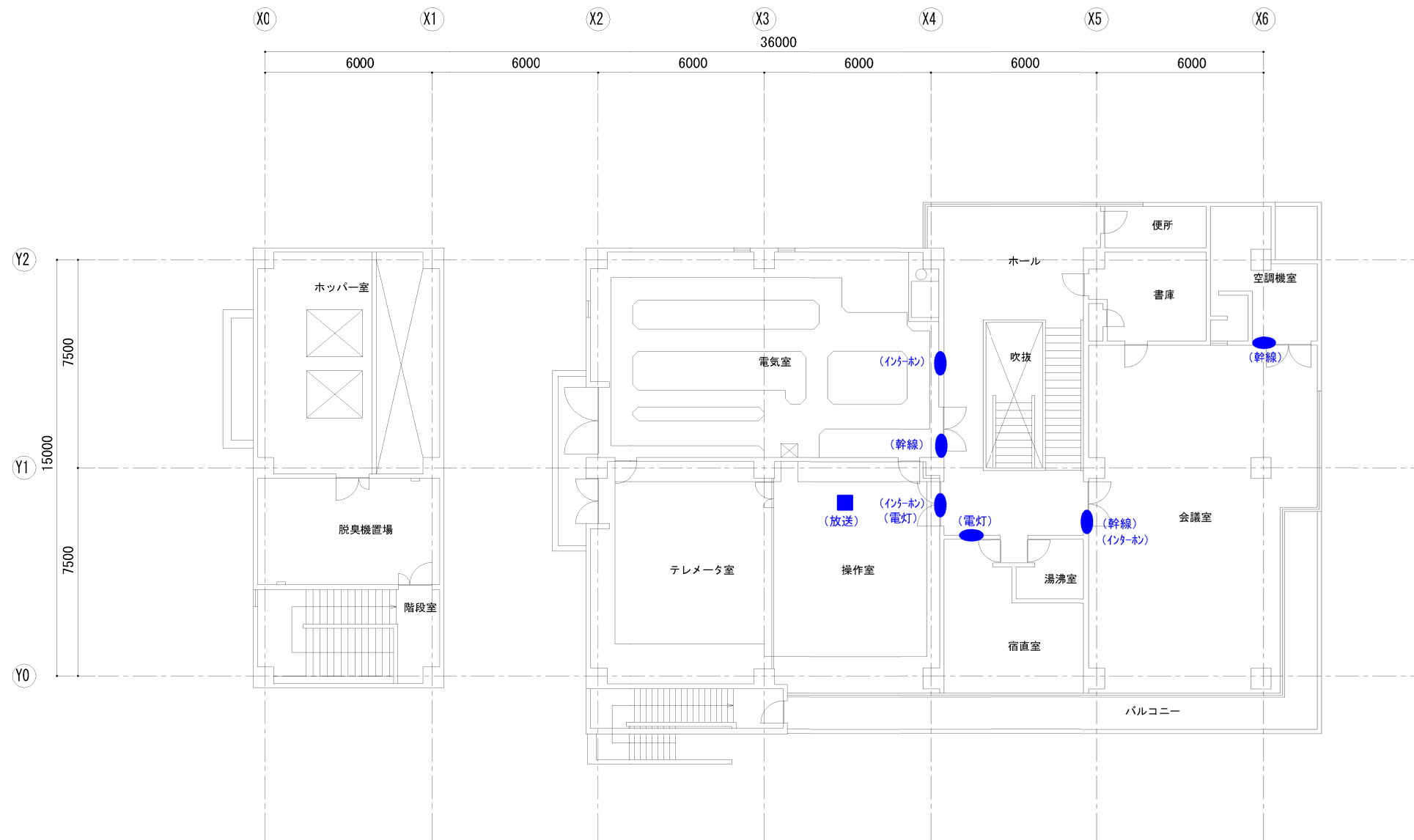
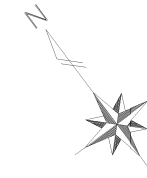
工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	地下1階平面図 [改修前]		
作成年月日	令和8年3月		
縮尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	A-01
会社名	株式会社 日建技術コンサルタント		
事業者名	埼玉県 上尾市		



1階 平面図 [改修前]

数量図

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	1 階平面図 [改修前]		
作成年月日	令和8年3月		
縮尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	A-01
会社名	株式会社 日建技術コンサルタント		
事業者名	埼玉県 上尾市		



2階 平面図 [改修前]

数量図

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	2 階平面図 [改修前]		
作成年月日	令和8年3月		
縮尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	A-01
会社名	株式会社 日建技術コンサルタント		
事業者名	埼玉県 上尾市		

電気設備工(PE)仕様書

本工事費内訳書（総括）

本工事費内訳書（総括）				
費 目	工 種	種 別	金 額	摘 要
本 工 事 費 (補 助)				
	電 気 設 備 工			
		機 器 費		
		直 接 工 事 費		
		間 接 工 事 費		
		設 計 技 術 費		
		一 般 管 理 費 等		
工 事 価 格				
消 費 税				
相 当 額				
本 工 事 費 計				

[illegible]

本工事費内訳書

費 目	工 種	種 別	細 別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
本工事費 (補助)								
	電気設備工							
		機器費						
			ラジエータ排風消音器	式	1			排風ダクト再製作
			監視用補助継電器	〃	1			扉改造
			計					機器費
		直接工事費						
			輸 送 費	式	1			第 1 号明細書
			小 計					[輸送費]
			一 般 労 務 費	式	1			第 2 号明細書
			技 術 労 務 費	〃	1			第 3 号明細書

費 目	工 種	種 別	細 別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
			計					[労務費]
			複 合 工 費	式	1			第 4 号明細書
			小 計					[複合工費]
			仮 設 費 (率)	式	1			電気設備工事
			仮 設 費 (積 上 げ)	〃	1			第 5 号明細書
			小 計					[仮設費]
			計					直接工事費

費 目	工 種	種 別	細 別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
			間接工事費					
			共 通 仮 設 費 (率)	式	1			電気設備工事 完全週休2日(土日)補正係数1.02
			小 計					[共通仮設費]
			現 場 管 理 費	式	1			電気設備工事 完全週休2日(土日)補正係数1.03
			小 計					[現場管理費]
			据付(技術者)間接費	式	1			電気設備工事
			据付(機器)間接費	式	1			電気設備工事
			小 計					[据付間接費]
			計					間接工事費

費 目	工 種	種 別	細 別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
			据付工事原価					
			設計技術費					
			設 計 技 術 費	式	1			電気設備工事
			計					設計技術費
			計 (工事原価)					
			一般管理費等					
			一 般 管 理 費 等	式	1			電気設備工事
			計					一般管理費等
工事価格								
消費税 相当額				式	1			10%
本工事費 計								

第1号明細書 輸送費

[illegible]

第2号明細書 一般労務費

[illegible]

第3号明細書 技術労務費

[illegible]

第4号明細書 複合工費

[illegible]

第 5 号明細書 仮設費(積上)

名 称	形 状	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
600V CVT	200 sq	m	45			
小計						
600V CV	5.5 sq- 3 c	m	22			
小計						
同上付属材料		式	1			
小計						
計						

第 5 号明細書 仮設費(積上)

名 称	形 状	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
CVV	3.5 sq- 2 c	m	84			
〃	2 sq- 20 c	〃	22			
〃	2 sq- 4 c	〃	43			
〃	2 sq- 2 c	〃	22			
小計						
同上付属材料		式	1			
小計						
計						

第5号明細書 仮設費(積上)

[illegible][illegible]

第5号明細書 仮設費(積上)

[illegible]

第5号明細書 仮設費(積上)

[illegible]

第 5 号明細書 仮設費(積上)						
名 称	形 状	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
GP	22mm	本	10.1			$37m \div 3.66m = 10.1$ 本
小計						
同上付属材料		式	1			
小計						
計						

第 5 号明細書 仮設費(積上)						
名 称	形 状	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
消火器	10号(ABC)	本	1			
仮設発電機	200kVA	基	1			3か月
仮設燃料小出槽	950	L	1			3か月
防音パネル	24m ²	式	1			3か月
計						
合計						

目 次

1. 人工集計表-----	1
[本工事]	
2. 据付工集計表-----	2
3. 材料集計表-----	3
4. 材料内訳表-----	4
[仮設工事]	
5. 据付工集計表-----	5
6. 材料集計表-----	6
7. 材料内訳表-----	11
8. 拾い出し根拠表-----	14
[移設工事]	
9. 据付工集計表-----	16
10. 材料集計表-----	18
11. 材料内訳表-----	23
12. 拾い出し根拠表-----	28
[再利用]	
13. 据付工集計表-----	34
14. 材料集計表-----	36
15. 材料内訳表-----	37
16. 拾い出し根拠表-----	38

機 器 数 量 数量は機器金額入力欄の数量とします [Aグループ]

数量は機器金額入力欄の数量とします [Aグループ]

(1)	機 器	ラジエータ排風消音器	式	1
-------	-----	------------	---	---

ラジエータ排風消音器 式 1

式 1

(2) 機 器 監視用補助継電器盤 式 1

監視用補助继电器盤 式 1

式 1

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

人 工 集 計 表

[Aグループ]

[illegible]

芝川ポンプ場（改修）（ 1/ 1）

据 付 工 集 計 表

[Aグループ]

機 器 名 称	形 状	単位	数量	技術者		電 工		技術者単体調整				歩 掛 ページ	機器重量(t)		備 考
				単位工量	工量	単位工量	工量	単位工量	工量	単位工量	工量		単位重量	重量	
ラジエータ排風消音器		式	1											3	
監視用補助継電器盤		式	1												
計 (S-301)													3		

[Aグループ]

$$Z-1 / 1$$

材 料 内 訳 表

4

芝川ポンプ場（仮設）（ 1/ 1）

（仮 設）据 付 工 集 計 表

[Aグループ]

機 器 名 称	形 状	単位	数量	技術者		電 工		技術者単体調整				歩 掛 ページ	機器重量(t)		備 考
				単位工量	工量	単位工量	工量	単位工量	工量	単位工量	工量		単位重量	重量	
仮設ディーゼル発電機		式	1												金属閉鎖形スイッチア1 VCT等収納
屋外用仮設燃料小出槽		台	1											0.6	
計 (S-501)													0.6		

[Aグループ]

C- 2 / 4 (K= 1.0) 電工量小計=

[Aグループ]

C- 3 / 4 (K= 1.0)

[Aグループ]

C- 4 / 4 (K= 1.0)

電工量小計=

(仮 設) 材 料 内 訳 表

(仮 設) 材 料 内 訳 表

12

芝川ポンプ場（仮設）

(仮 設) 材 料 内 訳 表

NO	区分	消火器	防音パネル						
			防音パネル						
		10号 ABC							
		本	m ²						
T	屋外	1	24						
	(1/1)	ZTK (5- 1)	1	24					

芝川ポンプ場（仮設）（ 1/ 2）

拾い出し根拠表

[Aグループ]

N o	自	至	種別・サイズ・本数	経路	合計	計 算
T 1	仮設ディーゼル発電機	LP-2 低圧分岐盤	600V CVT 200 sq x 2 端末屋外 x 2 端末屋内 x 2	P&D	5.8	0.6 + 2.2 + 2.2 + 0.8
				RACK		
				CP		
				FEP	14.7	1.0 + 1.9 + 0.4 + (7.0)+ (1.0)+ 1.2 + 2.2
			EM-IE 60 sq	CP		
				露出		
				埋込		
T 2	仮設ディーゼル発電機	LP-2 低圧分岐盤	600V CV 5.5 sq - 3 c	P&D	5.8	0.6 + 2.2 + 2.2 + 0.8
				RACK		
				CP		
				FEP	14.7	1.0 + 1.9 + 0.4 + (7.0)+ (1.0)+ 1.2 + 2.2
				CP		
				露出		
				埋込		
T 3	仮設ディーゼル発電機	LP-2 低圧分岐盤	CVV 2 sq - 2 c	P&D	5.8	0.6 + 2.2 + 2.2 + 0.8
				RACK		
				CP		
				FEP	14.7	1.0 + 1.9 + 0.4 + (7.0)+ (1.0)+ 1.2 + 2.2
				CP		
				露出		
				埋込		
T 4	仮設ディーゼル発電機	HP-2 受電盤	CVV 2 sq - 4 c	P&D	3.6	0.6 + 2.2 + 0.8
				RACK		
				CP		
				FEP	14.7	1.0 + 1.9 + 0.4 + (7.0)+ (1.0)+ 1.2 + 2.2
				CP		
				露出		
				埋込		
T 5	仮設ディーゼル発電機	RC-1 監視用補助継電器盤	CVV 2 sq - 4 c	P&D	6.2	0.6 + 3.5 + 1.3 + 0.8
				RACK		
				CP		
				FEP	14.7	1.0 + 1.9 + 0.4 + (7.0)+ (1.0)+ 1.2 + 2.2
				CP		
				露出		
				埋込		

芝川ポンプ場（仮設）（ 2/ 2）

拾い出し根拠表

[Aグループ]

N o	自	至	種別・サイズ・本数	経路	合計	計 算
T 6	仮設ディーゼル発電機	RC-1 監視用補助継電器盤	CVV 2 sq - 20 c	P&D	6.2	0.6 + 3.5 + 1.3 + 0.8
				RACK		
				CP		
				FEP	14.7	1.0 + 1.9 + 0.4 + (7.0)+ (1.0)+ 1.2 + 2.2
				CP		
				露出		
T 7	仮設ディーゼル発電機	1H 変換器盤	CVV 3.5 sq - 2 c x 3	P&D	7.0	0.6 + 3.5 + 1.3 + 0.8 + 0.8
				RACK		
				CP		
				FEP	14.7	1.0 + 1.9 + 0.4 + (7.0)+ (1.0)+ 1.2 + 2.2
				CP		
				露出		
T 8	ポンプ井超音波式水位計変換器	ポンプ井超音波式水位計	専用ケーブル	P&D		
				RACK		
				CP	11.3	3.8 + 0.9 + 0.6 + 4.2 + 1.1 + 0.7
				FEP		
				CP		
			GP 22 mm	露出	11.3	3.8 + 0.9 + 0.6 + 4.2 + 1.1 + 0.7
T	ポンプ井超音波式水位計変換器	ポンプ井超音波式水位計	CVV 3.5 sq - 2 c	P&D		
				RACK		
				CP	11.3	3.8 + 0.9 + 0.6 + 4.2 + 1.1 + 0.7
				FEP		
				CP		
			GP 22 mm	露出	11.3	3.8 + 0.9 + 0.6 + 4.2 + 1.1 + 0.7
T	ポンプ井超音波式水位計変換器	ポンプ井超音波式水位計	CVV-S 2 sq - 2 c	P&D		
				RACK		
				CP	11.3	3.8 + 0.9 + 0.6 + 4.2 + 1.1 + 0.7
				FEP		
				CP		
			GP 22 mm	露出	11.3	3.8 + 0.9 + 0.6 + 4.2 + 1.1 + 0.7
T	ポンプ井超音波式水位計変換器	ポンプ井超音波式水位計	CVV-S 2 sq - 2 c	P&D		
				RACK		
				CP	11.3	3.8 + 0.9 + 0.6 + 4.2 + 1.1 + 0.7
				FEP		
				CP		
			GP 22 mm	露出	11.3	3.8 + 0.9 + 0.6 + 4.2 + 1.1 + 0.7
T	ポンプ井超音波式水位計変換器	ポンプ井超音波式水位計	CVV-S 2 sq - 2 c	P&D		
				RACK		
				CP	11.3	3.8 + 0.9 + 0.6 + 4.2 + 1.1 + 0.7
				FEP		
				CP		
			GP 22 mm	露出	11.3	3.8 + 0.9 + 0.6 + 4.2 + 1.1 + 0.7
T	ポンプ井超音波式水位計変換器	ポンプ井超音波式水位計	CVV-S 2 sq - 2 c	P&D		
				RACK		
				CP	11.3	3.8 + 0.9 + 0.6 + 4.2 + 1.1 + 0.7
				FEP		
				CP		
			GP 22 mm	露出	11.3	3.8 + 0.9 + 0.6 + 4.2 + 1.1 + 0.7
T	ポンプ井超音波式水位計変換器	ポンプ井超音波式水位計	CVV-S 2 sq - 2 c	P&D		
				RACK		
				CP	11.3	3.8 + 0.9 + 0.6 + 4.2 + 1.1 + 0.7
				FEP		
				CP		
			GP 22 mm	露出	11.3	3.8 + 0.9 + 0.6 + 4.2 + 1.1 + 0.7

芝川ポンプ場（改修）（ 1/ 1）

（移 設）据 付 工 集 計 表

[Aグループ]

機 器 名 称	形 状	単位	数量	技術者		電 工		技術者単体調整				歩 掛 ページ	機器重量(t)		備 考
				単位工量	工量	単位工量	工量	単位工量	工量	単位工量	工量		単位重量	重量	
床排水ポンプ操作盤		面	1												
緊急遮断弁操作盤		面	1												
ポンプ室床排水操作盤		台	1												
ポンプ井超音波水位計		台	1												
中継端子盤		面	2												
汚水送水流量計変換器		台	1												
燃料小出槽		台	1											0.5	
計（S-301）													0.5		

芝川ポンプ場（仮設）（ 1/ 1）

（移 設）据 付 工 集 計 表

[Aグループ]

機 器 名 称	形 状	単位	数量	技術者		電 工		技術者単体調整				歩 掛 ページ	機器重量(t)		備 考
				単位工量	工量	単位工量	工量	単位工量	工量	単位工量	工量		単位重量	重量	
ポンプ井超音波水位計		台	1												
計（S-501）															

[Aグループ]

C- 2 / 4 (K= 1.0) 電工量小計=

[Aグループ]

C- 3 / 4 (K= 1.0)

電工量小計=

(移 設) 材 料 内 訳 表

(1/4)	CMK (3- 1)			12.6			54.6			8.2			12.6			12.6
---------	--------------	--	--	------	--	--	------	--	--	-----	--	--	------	--	--	------

(移 設) 材 料 内 訳 表

24

(移 設) 材 料 内 訳 表

(3/4)	CMK (3- 3)
--------	-------------

(移 設) 材 料 内 訳 表

26

N o	自	至	種別・サイズ・本数	経路	合計	計 算
M 1	LCB-9 緊急しゃ断弁 操作盤	引き戻し点A	CVV-S 2 sq - 2 c	P&D		
				RACK		
				CP	5.8	(2.2)+ 1.5 + 0.9 + 1.2
				FEP		
			GP 36 mm	CP		
				露出	5.8	(2.2)+ 1.5 + 0.9 + 1.2
M 2	LCB-9 緊急しゃ断弁 操作盤	引き戻し点A	CVV 2 sq - 15 c	P&D		
				RACK		
				CP	5.8	(2.2)+ 1.5 + 0.9 + 1.2
				FEP		
				CP		
				露出		
M 3	LCB-9 緊急しゃ断弁 操作盤	引き戻し点A	CVV 2 sq - 10 c	P&D		
				RACK		
				CP	5.8	(2.2)+ 1.5 + 0.9 + 1.2
				FEP		
				CP		
				露出		
M 4	LCB-9 緊急しゃ断弁 操作盤	緊急遮断弁	CVV-S 2 sq - 2 c	P&D		
				RACK		
				CP	6.8	0.8 + (2.2)+ 1.6 + (2.2)
				FEP		
				CP		
				露出		
M 5	LCB-9 緊急しゃ断弁 操作盤	引き戻し点A	600V CV 3.5 sq - 2 c	P&D		
				RACK		
				CP	5.8	(2.2)+ 1.5 + 0.9 + 1.2
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		

芝川ポンプ場（改修）（ 2/ 6）

拾い出し根拠表

[Aグループ]

N o	自	至	種別・サイズ・本数	経路	合計	計 算
M 6	LCB-9 緊急しゃ断弁 操作盤	LCB-8 床排水ポンプ 操作盤	600V CV 3.5 sq - 2 c	P&D		
				RACK		
				CP	12.1	(2.2)+ 1.5 + 0.9 + 1.2 + 0.9 + 3.2 + (2.2)
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		
M 7	緊急遮断弁	引き戻し点A	600V CV 3.5 sq - 1 c	P&D		
				RACK		
				CP	8.2	0.8 + (2.2)+ 1.6 + 1.5 + 0.9 + 1.2
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		
M 8	LCB-9 緊急しゃ断弁 操作盤	引き戻し点A	CVV 2 sq - 15 c	P&D		
				RACK		
				CP	5.8	(2.2)+ 1.5 + 0.9 + 1.2
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		
M 9	LCB-9 緊急しゃ断弁 操作盤	引き戻し点A	CVV 2 sq - 10 c	P&D		
				RACK		
				CP	5.8	(2.2)+ 1.5 + 0.9 + 1.2
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		
M 10	緊急遮断弁(L S)	引き戻し点A	CVV 2 sq - 2 c	P&D		
				RACK		
				CP	8.2	0.8 + (2.2)+ 1.6 + 1.5 + 0.9 + 1.2
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		

N o	自	至	種別・サイズ・本数	経路	合計	計 算
M 11	LCB-9 緊急しゃ断弁 操作盤	引き戻し点A	600V CV 3.5 sq - 2 c	P&D		
				RACK		
				CP	5.8	(2.2)+ 1.5 + 0.9 + 1.2
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		
M 12	緊急遮断弁開 度計	引き戻し点A	600V CV 3.5 sq - 2 c	P&D		
				RACK		
				CP	8.2	0.8 + (2.2)+ 1.6 + 1.5 + 0.9 + 1.2
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		
M 13	LCB-9 緊急しゃ断弁 操作盤	引き戻し点A	CVV-S 2 sq - 2 c	P&D		
				RACK		
				CP	5.9	(2.2)+ 1.6 + 0.9 + 1.2
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		
M 14	M-17	引き戻し点A	600V CV 3.5 sq - 2 c	P&D		
				RACK		
				CP	8.2	0.8 + (2.2)+ 1.6 + 1.5 + 0.9 + 1.2
				FEP		
			GP 22 mm	CP		
				露出	8.2	0.8 + (2.2)+ 1.6 + 1.5 + 0.9 + 1.2
				埋込		
M 15	M-17	LCB-9 緊急しゃ断弁 操作盤	CVV-S 2 sq - 2 c	P&D		
				RACK		
				CP	8.2	0.8 + (2.2)+ 1.6 + 1.5 + 0.9 + 1.2
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		

N o	自	至	種別・サイズ・本数	経路	合計	計 算
M 16	M-17	引き戻し点A	CVV 2 sq - 12 c	P&D		
				RACK		
				CP	8.2	0.8 + (2.2)+ 1.6 + 1.5 + 0.9 + 1.2
				FEP		
			GP 54 mm	CP		
				露出	8.2	0.8 + (2.2)+ 1.6 + 1.5 + 0.9 + 1.2
M 17	LCB-9 緊急しや断弁 操作盤	LCB-8 床排水ポンプ 操作盤	600V CV 3.5 sq - 2 c	P&D		
				RACK		
				CP	14.5	0.8 + (2.2)+ 1.6 + 1.5 + 0.9 + 1.2 + 0.9 + 3.2 + (2.2)
				FEP		
				CP		
				露出		
M 18	LCB-8 床排水ポンプ 操作盤	引き戻し点A	CVV 3.5 sq - 4 c	P&D		
				RACK		
				CP	6.3	0.9 + 3.2 + (2.2)
				FEP		
			GP 70 mm	CP		
				露出	6.3	0.9 + 3.2 + (2.2)
M 19	LCB-8 床排水ポンプ 操作盤	引き戻し点A	CVV 2 sq - 20 c	P&D		
				RACK		
				CP	6.3	0.9 + 3.2 + (2.2)
				FEP		
				CP		
				露出		
M 20	LCB-8 床排水ポンプ 操作盤	引き戻し点A	CVV 2 sq - 15 c	P&D		
				RACK		
				CP	6.3	0.9 + 3.2 + (2.2)
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		

N o	自	至	種別・サイズ・本数	経路	合計	計 算
M 21	LCB-8 床排水ポンプ 操作盤	引き戻し点A	CVV 2 sq - 20 c	P&D		
				RACK		
				CP	6.3	0.9 + 3.2 + (2.2)
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		
M 22	LCB-8 床排水ポンプ 操作盤	引き戻し点A	CVV 2 sq - 15 c	P&D		
				RACK		
				CP	6.3	0.9 + 3.2 + (2.2)
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		
M 23	LCB-8 床排水ポンプ 操作盤	引き戻し点A	CVV 3.5 sq - 4 c	P&D		
				RACK		
				CP	6.3	0.9 + 3.2 + (2.2)
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		
M 24	M-13A	引き戻し点A	600V CV 3.5 sq - 3 c	P&D		
				RACK		
				CP	6.3	0.9 + 3.2 + (2.2)
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		
M 25	M-13A	引き戻し点A	IV 3.5 sq	P&D		
				RACK		
				CP	6.3	0.9 + 3.2 + (2.2)
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		

N o	自	至	種別・サイズ・本数	経路	合計	計 算
M 26	M-13B	引き戻し点A	600V CV 3.5 sq - 3 c	P&D		
				RACK		
				CP	6.3	0.9 + 3.2 + (2.2)
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		
M 27	M-13B	引き戻し点A	IV 3.5 sq	P&D		
				RACK		
				CP	6.3	0.9 + 3.2 + (2.2)
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		
M 28	M-13	引き戻し点A	CVV 2 sq - 6 c	P&D		
				RACK		
				CP	6.3	0.9 + 3.2 + (2.2)
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		

芝川ポンプ場（仮設）（ 1/ 1）

（再利用）据 付 工 集 計 表

[Aグループ]

機 器 名 称	形 状	単位	数量	技術者		電 工		技術者単体調整				歩 掛 ページ	機器重量(t)		備 考
				単位工量	工量	単位工量	工量	単位工量	工量	単位工量	工量		単位重量	重量	
ポンプ井超音波水位計		台	1												
計（S-501）															

芝川ポンプ場（撤去）（ 1/ 1）

（再利用）据 付 工 集 計 表

[Aグループ]

機 器 名 称	形 状	単位	数量	技術者		電 工		技術者単体調整				歩 掛 ページ	機器重量(t)		備 考
				単位工量	工量	単位工量	工量	単位工量	工量	単位工量	工量		単位重量	重量	
床排水ポンプ操作盤		面	1												
緊急遮断弁操作盤		面	1												
ポンプ室床排水操作盤		台	1												
ポンプ井超音波水位計		台	1												
中継端子盤		面	2												
汚水送水流量計変換器		台	1												
ラジエータ排風消音器		式	1											3	
燃料小出槽		台	1											0.5	
計（S-601）													3.5		

芝川ポンプ場（撤去）

(再利用) 材 料 内 訳 表

[illegible]

芝川ポンプ場（撤去）（ 1/ 6）

拾い出し根拠表

[Aグループ]

N o	自	至	種別・サイズ・本数	経路	合計	計 算
S 1	LCB-9 緊急しゃ断弁 操作盤	引き戻し点A	CVV-S 2 sq - 2 c	P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
			GP 36 mm	CP		
				露出		
				埋込		
S 2	LCB-9 緊急しゃ断弁 操作盤	引き戻し点A	CVV 2 sq - 15 c	P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		
S 3	LCB-9 緊急しゃ断弁 操作盤	引き戻し点A	CVV 2 sq - 10 c	P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		
S 4	LCB-9 緊急しゃ断弁 操作盤	緊急遮断弁	CVV-S 2 sq - 2 c	P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		
S 5	LCB-9 緊急しゃ断弁 操作盤	引き戻し点A	600V CV 3.5 sq - 2 c	P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		

芝川ポンプ場（撤去）（ 2/ 6）

拾い出し根拠表

[Aグループ]

N o	自	至	種別・サイズ・本数	経路	合計	計 算
S 6	LCB-9 緊急しゃ断弁 操作盤	LCB-8 床排水ポンプ 操作盤	600V CV 3.5 sq - 2 c	P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		
S 7	緊急遮断弁	引き戻し点A	600V CV 3.5 sq - 1 c	P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		
S 8	LCB-9 緊急しゃ断弁 操作盤	引き戻し点A	CVV 2 sq - 15 c	P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		
S 9	LCB-9 緊急しゃ断弁 操作盤	引き戻し点A	CVV 2 sq - 10 c	P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		
S 10	緊急遮断弁 (L S)	引き戻し点A	CVV 2 sq - 2 c	P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		

芝川ポンプ場（撤去）（ 3/ 6）

拾い出し根拠表

[Aグループ]

N o	自	至	種別・サイズ・本数	経路	合計	計 算
S 11	LCB-9 緊急しゃ断弁 操作盤	引き戻し点A	600V CV 3.5 sq - 2 c	P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		
S 12	緊急遮断弁開 度計	引き戻し点A	600V CV 3.5 sq - 2 c	P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		
S 13	LCB-9 緊急しゃ断弁 操作盤	引き戻し点A	CVV-S 2 sq - 2 c	P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		
S 14	M-17	引き戻し点A	600V CV 3.5 sq - 2 c	P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
				CP		
			GP 22 mm	露出		
				埋込		
S 15	M-17	LCB-9 緊急しゃ断弁 操作盤	CVV-S 2 sq - 2 c	P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		

芝川ポンプ場（撤去）（ 4/ 6）

拾い出し根拠表

[Aグループ]

N o	自	至	種別・サイズ・本数	経路	合計	計 算
S 16	M-17	引き戻し点A	CVV 2 sq - 12 c	P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
			GP 54 mm	CP		
				露出		
				埋込		
S 17	LCB-9 緊急しゃ断弁 操作盤	LCB-8 床排水ポンプ 操作盤	600V CV 3.5 sq - 2 c	P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		
S 18	LCB-8 床排水ポンプ 操作盤	引き戻し点A	CVV 3.5 sq - 4 c	P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
			GP 70 mm	CP		
				露出		
				埋込		
S 19	LCB-8 床排水ポンプ 操作盤	引き戻し点A	CVV 2 sq - 20 c	P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		
S 20	LCB-8 床排水ポンプ 操作盤	引き戻し点A	CVV 2 sq - 15 c	P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		

芝川ポンプ場（撤去）（ 5/ 6）

拾い出し根拠表

[Aグループ]

N o	自	至	種別・サイズ・本数	経路	合計	計 算
S 21	LCB-8 床排水ポンプ 操作盤	引き戻し点A	CVV 2 sq - 20 c	P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		
S 22	LCB-8 床排水ポンプ 操作盤	引き戻し点A	CVV 2 sq - 15 c	P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		
S 23	LCB-8 床排水ポンプ 操作盤	引き戻し点A	CVV 3.5 sq - 4 c	P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		
S 24	M-13A	引き戻し点A	600V CV 3.5 sq - 3 c	P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		
S 25	M-13A	引き戻し点A	IV 3.5 sq	P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		

芝川ポンプ場（撤去）（ 6/ 6）

拾い出し根拠表

[Aグループ]

N o	自	至	種別・サイズ・本数	経路	合計	計 算
S 26	M-13B	引き戻し点A	600V CV 3.5 sq - 3 c	P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		
S 27	M-13B	引き戻し点A	IV 3.5 sq	P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		
S 28	M-13	引き戻し点A	CVV 2 sq - 6 c	P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		

建築機械設備工(AM) 仕様書

費目	工種	種別	細別・規格	数量	単位	単価	金額	摘要
建築機械設備	衛生器具設備	(据付)						
		衛生器具設備工事	洗面化粧台幅600mm 壁掛洗面器L410	1	式			
		(撤去)						
		衛生器具設備工事	壁掛洗面器L410	1	式			
	給水設備	(据付)						
		通気管 給排水管	50Aカス用塩化ビニル被覆銅管 32Aカス用塩化ビニル被覆銅管 20A、40A	1	式			
		(撤去)						
		通気管 給排水管	50Aカス用塩化ビニル被覆銅管 32Aカス用塩化ビニル被覆銅管 20A、40A	1	式			
	換気設備	(据付)						
		ダクト工事	消音ボックス500×400×1500 ユニットバス換気	1	式			
		(撤去)						
		ダクト工事	消音ボックス500×400×1500	1	式			
直接工事費	(建築機械設備:改修)			1	式			

建築機械設備工(AM) 仕様書

費目	工種	種別	細別・規格	数量	単位	単価	金額	摘要
	共通仮設費率							改修機械設備工事
	共通仮設費			1	式			
純工事費	(直接工事費＋共通仮設費)			1	式			
	現場管理費率							改修機械設備工事 完全週休2日(土日) 補正係数1.01
	現場管理費			1	式			
工事原価	(純工事費＋現場管理費)			1	式			
	一般管理費等率							機械設備工事
	一般管理費等			1	式			
工事価格	(工事原価＋一般管理費等)			1	式			
	消費税相当額			1	式			10%
本工事費計			建築機械設備(消費税含む)					

費目	工種	種別	細別・規格	数量	単位	単価	金額	摘要
衛生器具設備	(据付)							
	衛生器具設備工事	材	洗面化粧台幅600mm	3	組			
		手間	洗面器ユニット	3	組			
		材	壁掛洗面器L410	1	組			再利用
		手間	大自動水栓 L410	1	組			
	合計							
	(撤去)							
	衛生器具設備工事	手間	壁掛洗面器L410	3	組			第1代価表
		手間 (再)	壁掛洗面器L410 (2F トイレ)	1	組			第2代価表
	合計							
給水設備	(据付)							
	(配管設備)							
	配管工事	材	通気管 50A	5.7	m			
		手間	屋内一般配管	5.7	m			
		材	通気管 32A	5.7	m			
		手間	屋内一般配管	5.7	m			
		材	給水管 20A水道配水用 ポリエチレン管(PE)	12.7	m			
		手間	屋内一般配管	12.7	m			
		材	排水管 40A水道配水用 ポリエチレン管(PE)	3.0	m			
		手間	屋内一般配管	3.0	m			
	合計							
	(撤去)							

費目	工種	種別	細別・規格	数量	単位	単価	金額	摘要
	(配管設備)							
	配管工事	手間	通気管 50A	5.7	m			
		手間	通気管 32A	5.7	m			
		手間	給水管 20A水道配水用 ポリエチレン管(PE)	4.8	m			
		手間	排水管 40A水道配水用 ポリエチレン管(PE)	2.1	m			
	合計							
換気設備	(据付)							
	ダクト工	手間	消音ボックス500×400×1500	2.7	m ²			第3代価表
	ユニットバス換気	材工共	φ100 スパイラルダクト	3.2	m			
	ユニットバス換気	材工共	100A保温RW屋内隠蔽	3.2	m			
	ユニットバス換気	材料	100AベンドキャップSUS	1.0	個			
	ユニットバス換気	手間	100Aベンドキャップ	1.0	個			
	合計							
	(撤去)							
	ダクト工	手間(再)	消音ボックス500×400×1500	2.7	m ²			
※労務費(手間)は完全週休二日制×1.02、(保温×1.15、ダクト×1.15、ダクト付属品×1.22、衛生器具×1.22)								

費目	工種	種別	細別・規格	数量	単位	単価	金額	摘要
衛生器具設備工事	(撤去)	壁掛洗面器L410	配管工		人			
			その他	1	式			
		鏡	配管工		人			
			その他	1	式			
				1	組			第1代価表
衛生器具設備工事	(撤去)	壁掛洗面器L410 (2F トイレ)	配管工		人			
			その他	1	式			
			再利用	1	式			
				1	組			第2代価表
ダクト工事	アングルフランジ	消音ボックス 500×400×1500	ダクト工		人			
			その他	1	式			
				1	m2			第3代価表

衛生設備更新工事
数量計算書

工事名 【上尾芝川ポンプ場 衛生・換気設備】

	工事種目		衛生器具設備、配管、換気設備 集計表																				
項目・品名			仕様・摘要		単位	AM-04			AM-05			AM-06			AM-07							小計	内訳数量
(据付)																							
1	1F トイレ/浴室																						
	洗面化粧台	幅600mm	メーキングキャビネット共		組	3														3	3		
	給水管	20A	水道配水用ポリエチレン管 (PE)		m	4.0	1.5													5.5	5.5		
	給湯管	20A	水道配水用ポリエチレン管 (PE)		m	5.7	1.5													7.2	7.2		
	排水管	40A	水道配水用ポリエチレン管 (PE)		m	1.5	1.5													3.0	3.0		
	換気ダクト	100A	スパイラルダクト		m	2.2	1.0													3.2	3.2		
	ダクト保温	100A	RW 屋内隠蔽		m	2.2	1.0													3.2	3.2		
	ベンドキャップ	100A			個	1														1	1		
																				0	0		
2	2F トイレ																						
	壁掛洗面器	L410	自動混合水栓		組					1										1	1		
3	1F 自家発室		屋内																				
	通気管	50A	ガス用塩化ビニル被覆鋼管		m			5.0	0.2	0.5										5.7	5.7		
	通気管	32A	ガス用塩化ビニル被覆鋼管		m			5.0	0.2	0.5										5.7	5.7		
	消音ボックス	消音ボックス500×400×1500			個							1								1	1		
(撤去)																							
1	1F トイレ/浴室																						
	壁掛洗面器	L410	自動混合水栓		組	3														3	3		
	化粧鏡	450×600			組	3														3	3		
	給水管	20A			m	4.0	0.8													4.8	4.8		
	排水管	40A			m	1.5	0.6													2.1	2.1		
2	2F トイレ																						
	壁掛洗面器	L410	自動混合水栓		組					1										1	1		
3	1F 自家発室		屋内																				
	通気管	50A	SGP		m			5.0	0.7											5.7	5.7		
	通気管	32A	SGP		m			5.0	0.7											5.7	5.7		
	消音ボックス	消音ボックス500×400×1500			m ²							2.70	((0.5+0.4) × 2 × 1.5)						2.70	2.70			
	アングルフランジ工法																						

上尾市土木工事特記仕様書

(趣旨)

第 1 条 この特記仕様書は、埼玉県土木工事共通仕様書に定めるもののほか、工事に関し必要な事項を定めるものとする。

(適用)

第 2 条 この特記仕様書は、上尾市土木工事に適用する。

(共通事項)

第 3 条 受注者は、「資源の有効な利用の促進に関する法律（平成 3 年法律第 48 号。以下「資源有効利用促進法」という。）等の規定により、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」の作成を要する工事については、原則、COBRIS での入力を行い、以下の書類を提出するとともにこれらの記録を保存する。

(1) 施工計画作成時

「再生資源利用計画書」、「再生資源利用促進計画書」及び「工事登録証明書」（COBRIS で入力したことの証明）

(2) 工事完了時

「再生資源利用実施書」、「再生資源利用促進実施書」及び「工事登録証明書」（COBRIS で入力したことの証明）

2 受注者は、工事の施工前に前項第 1 号に掲げる「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」の内容について、発注者へ説明しなければならない。

3 受注者は前項の説明を実施した後、当該計画を公衆の見えやすい場所へ掲示するものとする。

4 受注者は、施工計画書に建設廃棄物の処理計画を添付するものとする。
なお、建設廃棄物の処分にあたり、排出事業者は処分業者と建設廃棄物処理委託契約を締結し、同契約書の写しを処理計画に添付するものとする。
また、収集運搬業務を収集運搬業者に委託する場合は、別に収集運搬業者と建設廃棄物処理委託契約を締結するものとする。

5 排出事業者が建設廃棄物の処理を委託する場合には、産業廃棄物管理票（紙マニフェスト）または電子マニフェストにより管理しなければならない。

ア 紙マニフェストの場合は、建設系廃棄物マニフェスト A 票、B 2 票、D 票、E 票を監督員に提示し、確認を受けるとともに、D 票、E 票の写しを提出する。また、工事検査時には原本を提示しなければならない。

イ 電子マニフェストの場合は、マニフェスト情報登録証明、受渡確認票を監督員に提示し、確認を受ける。また、工事検査時には受渡確認票及び一覧表を提示しなければならない。

6 受注者は、工事の完成後に発注者から請求があったときは、第1項第2号に掲げる「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」に基づき、当該実施状況を報告しなければならない。

（受領書の交付）

第4条 受注者は、土砂を再生資源利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、法令等に基づき、速やかに受領書を搬入元に交付しなければならない。

（再生資源利用促進計画を作成する上での確認事項）

第5条 受注者は、再生資源利用促進計画の作成に当たり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、工事現場内の土地の掘削その他の形質の変更に関して発注者等が行った土壌汚染対策法等の手続き状況や、搬出先が宅地造成及び特定盛土等規制法の許可地等であるなど適正であることについて、法令等に基づき確認しなければならない。

また、確認結果は再生資源利用促進計画に添付するとともに、工事現場において公衆の見やすい場所に掲げなければならない。

（建設発生土の運搬を行う者に対する通知）

第6条 受注者は、建設現場等から土砂搬出を他の者に委託しようとするときは、「再生資源利用促進計画」に記載した事項（搬出先の名称及び所在地、搬出量、その他法令に基づく事項）と「第5条再生資源利用促進計画を作成する上での確認事項」等で行った確認結果を、委託した搬出者に対して、法令等に基づいて通知しなければならない。

（建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求等）

第7条 受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、法令等に基づき、速やかに搬出先の管理者に受領書の交付を求め、受領書に記載された事項が再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認するとともに、監督職員から請求があった場合は、受領書の写しを提出しなければならない。

（建設発生土の搬出）

第8条 建設発生土は、（別添1）に記載した土質改良プラントのいずれかにおいて処分するものとする。

2 受注者は、規定様式により搬出前に搬出先市町村の建設発生土担当窓口

あてに建設発生土の搬出情報を郵送・FAX等で提供し、その写しを監督員に提出するものとする。

- 3 第1項の規定にかかわらず、事前に発注者の承諾を得た場合にあっては、（別添1）に記載した土質改良プラント以外の施設において、建設発生土を処分することができる。
- 4 いずれの処分地を選定した場合にであっても、設計変更は行わない。ただし、現場条件や搬出先の事情等、不可効力により、受注者が遠方の処分地を選定したと発注者が認めたときは、設計変更を行うものとする。

（建設廃棄物の再資源化等）

第9条 受注者は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）に基づいて、特定建設資材廃棄物を再資源化のための施設に搬入する場合は、適切な施設に搬入しなければならない。なお、特定建設資材廃棄物とは、特定建設資材（コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト・コンクリート）が廃棄物となったものである。

- 2 受注者は、契約前に作成した「分別解体等の計画等」を施工計画書に添付して提出するものとする。
- 3 受注者は、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条第1項に基づき、以下の事項等を別紙「再資源化等報告書」に記載し、発注者に報告しなければならない。

- ・ 特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了した年月日
- ・ 特定建設資材廃棄物の再資源化等をした施設の名称及び所在地
- ・ 特定建設資材廃棄物の再資源化等に要した費用

また、同条第1項に基づき、特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施状況に関する記録を作成し、保存しなければならない。

なお、資源有効利用促進法等に基づく再生資源利用[促進]実施書を作成している場合は、その写しを参考資料として報告に添付するものとする。

- 4 受注者は、工事の施工に当たっては、「彩の国建設リサイクル実施指針」を遵守し、建設資材廃棄物の再資源化等に努め、廃棄物の減量を図らなければならない。

（再資源の利用）

第10条 下記の再生資材を、備考欄の部分に利用すること。

資 材 名	規 格	備 考
再 生 ア ス コ ン	(13)-50, (20)-50	表 層 及 び 基 層 等
再 生 粒 調 砕 石	40mm 以下	車 道 路 盤 等
再 生 切 込 砕 石	40mm 以下	車道及び歩道路盤等
再 生 砂	細粒分 含有率 50%未満	歩 道 等
再生骨材生コンクリート	L 18-10-20BB	均 し コ ン ク リ ー ト 等

なお、現場から40kmの範囲の再資源化のための施設から供給が困難な

場合は、新材への設計変更の対象とする。

（ゼロ・エミッション工事の推進）

第 1 1 条 工事の施工にあたっては、ゼロエミッション工事の推進に努めることとする。

（CORINS 登録）

第 1 2 条 工事請負額 500 万円以上の工事については、CORINS 登録すること。

（法定外の労災保険の付保）

第 1 3 条 受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

（管路埋戻土の運搬距離）

第 1 4 条 受注者は、工事箇所から管路埋戻に使用する発生土の仮置き場までの運搬経路及び距離を示した書類を提出すること。また、仮置き場を変更した場合は、速やかに変更後の書類を提出すること。

2 選定した仮置き場までの距離が設計距離を超える場合にあっては、設計変更は行わない。ただし、設計距離を下回る場合は、設計変更の対象とする。

（公道上の施工）

第 1 5 条 受注者は、第 1 条の規定によらず、公道上で工事を施工するにあたり、国道にあっては道路占用工事共通指示書（平成 21 年 10 月 1 日付け国関東道政第 254 号関東地方整備局長通達）、県道にあっては道路占用工事標準条件書、市道にあっては道路占用工事施行に関する標準条件書を準拠して施工すること。

（週休 2 日制適用工事）

第 1 6 条 本工事は、上尾市「週休 2 日制適用工事（現場閉所型）」の試行対象工事である。

試行の実施は、上尾市「週休 2 日制適用工事」試行要領によるものとする。

試行要領は、上尾市役所ホームページで確認のこと。

上尾市役所ホームページ

(<https://www.city.ageo.lg.jp/page/355165.html>)

工事の施工管理に関する特記仕様書

本工事の施工管理については、上尾市工事請負契約約款、その他関係法規を遵守すること。

また、埼玉県土木工事实務要覧の仕様書編、施工編についても、埼玉県を上尾市に読み替えて工事の施工管理にあたること。

(占有物件切回し工事等の施工管理)

受注者は、本工事に伴い道路内の既存占有物件切回し工事等を施工する必要が生じた場合、発注者と協議を行うこと。

電子納品に関する特記仕様書

(適用)

第 1 条 本工事は、電子納品対象工事とする。電子納品とは、測量、調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子データで納品することをいう。

(電子成果品の作成)

第 2 条 成果品は、国土交通省の各電子納品要領・基準及び、「上尾市電子納品運用ガイドライン」に示された内容に基づいて作成する。

(電子成果品の提出)

第 3 条 成果品は、「上尾市電子納品運用ガイドライン」に基づいて作成した電子データを電子媒体（CD-R）で 2 部提出する。なお、電子納品対象外の書類は紙媒体により 1 部提出する。

(電子成果品の確認)

第 4 条 成果品の提出の際には、国土交通省作成の「電子納品チェックシステム」によるチェックを行い、エラーがないことを確認する。また、最新の定義データに更新したウイルス対策ソフトを用いてウイルスチェックを実施したうえで提出する。

舗装版切断時に発生する濁水の処理にかかる特記仕様書

(趣旨)

第 1 条 この特記仕様書は、埼玉県土木工事共通仕様書に定めるもののほか、舗装版切断時に発生する濁水の処理に関し必要な事項を定めるものとする。ただし、濁水を生じないなど環境に配慮した工法があり、発注者が認めた場合は、この特記仕様書によらなくてよい。

(適用)

第 2 条 この特記仕様書は、上尾市土木工事に適用する。

(処理方法)

第 3 条 受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を吸引のうえタンクに貯留し、作業後速やかに、排水を処理施設へ運搬し処分する。

(条件)

第 4 条 受注者は、濁水を搬入する業者は、産業廃棄物の汚泥の中間処分量の許可を受けている事業者で、搬入業者が産業廃棄物管理票（マニフェスト）にて管理できるものから選定する。

- 2 濁水の運搬は、受注者が行うこととする。ただし、やむを得ない理由があると監督員が認めた場合は、濁水の運搬を、産業廃棄物の汚泥の運搬許可のある業者に委託することができる。

(提出書類)

第 5 条 受注者は、施工計画書に舗装版切断時に発生する濁水の収集・運搬・処理に関する計画書、受注者と処分業者との契約書の写し及び処分業者の許可証の写しを添付すること。

また、受注者は、濁水の運搬を、産業廃棄物の汚泥の運搬許可のある業者に委託した場合は、受注者と運搬業者との契約書の写し及び運搬業者の許可証の写しを添付すること。

- 2 受注者は、工事完了後速やかに産業廃棄物管理票（マニフェスト）の D 票及び E 票の写しを監督員に提出すること。

また、受注者は、濁水の運搬を、産業廃棄物の汚泥の運搬許可のある業者に委託した場合は、B2 票の写しも監督員に提出すること。

(別添 1)

指定処分先一覧

※積算条件に用いる運搬距離は、当該現場から最短距離に位置する処分地を選定し算出しており、受注者が下記一覧より選定した処分地に応じて設計変更するものではない。

プラント会社名	処分地
(株)サンエコセンター	さいたま市見沼区片柳 1 - 3 6 8 - 4
(株)オザワ 天沼プラント	さいたま市大宮区天沼町 2 - 1 2 5 8
(株)関根商店 三橋改良土センター	さいたま市西区三橋 5 - 1 7 6 8
五葉建材(株) エコプラザさいたま	戸田市笹目 5 - 1 - 7
土リサイクルセンター(株) 川口プラント	川口市西新井宿 1 3 7 4
関口工業(株)・三立建設(株)共同企業体 朝霞リサイクルステーション	朝霞市上内間木 5 0 3 - 6
(株)祥和コーポレーション 埼玉改良土センター	新座市野火止 3 - 2 - 3 3
(株)ウィンテック・関口工業(株)共同企業体 和光リサイクルステーション	和光市新倉 8 - 2 2 - 1 6
柳沢コンクリート工業(株) 埼玉中央改良土プラント	桶川市川田谷 7 9 3
野崎興業(株) エコリサイクルプラント	北足立郡伊奈町小室 4 8 3 0 - 1
木村建材工業(株) リサイクルセンター	川越市中福 9 1 8 - 1
(株)ホートー 川越リサイクルプラント	川越市下赤坂 1 8 0 0 - 3
リコ・スタイル(株) 三芳改良土プラント	入間郡三芳町上富 1 9 6 - 2
(株)加藤建設工業 武蔵プラント	日高市上鹿山 7 9 5 - 3
(株)春日部資材 彩の国改良土プラント	春日部市下大増新田 2 8 1 - 1

(有)彩光 草加市プラント	草加市柿木町 1 0 9 6 - 1
須合建設(株) ミサト改良土センター	三郷市インター南 1 - 2 - 2 0
(株)埼玉車輛 改良土プラント	草加市長栄 1 - 6 3 0 - 1
(有)荻宿興業 蓮田土質改良プラント	蓮田市閨戸 5 7 6 - 1

芝川ポンプ場耐震補強工事

工事特記仕様書 (土木)

令和 8 年

埼 玉 県 上 尾 市

施工編

第 1 条 工事概要

対象：芝川ポンプ場

目的：所定の耐震性能を有さない、上記構造物を耐震化する補強工事を行う。

工事の主要内容は次のとおりである。

工 事 箇 所	芝川ポンプ場
工 事 概 要	耐震補強工事 あと施工せん断補強筋工法 Ccb 工法（両端先端型） D13 72 本 D16 22 本 D22 524 本 D25 198 本 D29 72 本

第 2 条 事前調査

1. 受注者は工事着手前、本工事の工事対象施設について十分な調査確認を行い、その結果について監督職員へ報告すると共に、設計図書との錯誤等が認められる場合は、必要に応じて協議すること。
2. 受注者は、工事着手前に本工事による影響を想定し、影響下にある構造物、配管等の調査を行うことで、現場条件の把握に努めること。
3. 事前調査の結果は要約した上、監督職員へ報告し、内容を共有すること。

第 3 条 準備工

1. 工事後の下水処理に支障をきたさぬよう、関係機関と密な調整を図ること。
2. 施工中に配管を傷つけないよう、必要に応じて配管に養生を行うこと。
3. 工事に先立ち、施工箇所が水槽部である場合は排水（揚水）作業を行うこと。作業は揚水ポンプにより、沈砂池に排水すること。

第 4 条 あと施工せん断補強筋工法

（１）共通

1. あと施工アンカー工における既設躯体の削孔に先立ち、鉄筋探査及び竣工図により躯体内の配筋状況を確認し、設計図書との差異について確認を行うこと。また、鉄筋の挿入位置について墨出しを行うこと。結果を監督職員に書面報告した後現地立会にて承諾を得ること。
2. 確認の結果、設計図書に示す補強筋設置位置での施工に不都合が生じた場合、各部での必要本数から配置位置の変更を検討し、補強筋の配置計画図を作成し、監督職員の承諾を得ること。位置の変更を含めた結果については、施工後の竣工書類にて明らかにするものとする。
3. 設計図書に示された削孔径で構造体に損傷を与えないように留意して削孔すること。
4. あと施工せん断補強鉄筋は、建設技術審査証明書第 811 号「セラミックキャップバー（Ccb）」工法における両端先端型で実施する。

5. 既設配筋等との接触により所定深度までの削孔が不能となった場合、削孔長を計測した後速やかに監督職員へ報告すると共に、削孔位置の変更について検討を行い、検討結果をもって協議を行うこと。
6. 削孔不能箇所において、削孔位置が配置計画図と整合していること、且つ鉄筋探査機器の探査可能深度より深い位置で鉄筋等に干渉したことが確認できる場合について、削孔不能となった孔の削孔及び充填費用の設計変更の協議をすることができる。

(2) 敷地内道路

1. 建物間の敷地内道路に際しては、道路下の梁の補強のため、一時的に車両が通行止めとなる。本工事については、事前に協議等の場を設けて維持管理や別途建築・設備工事との調整を行うこと。

(3) 1F 発電機室、工作室・倉庫

1. 本工事の時期については、事前に協議等の場を設けて別途建築・設備工事の支障とならないよう調整を行うこと。

(4) M1F 配管室

1. 本工事期間中は当該部分の通行に支障が出るため、時期については維持管理上問題ないよう調整を行うこと。

(5) B1F 沈砂池機械室

1. 本工事期間中は当該部分の通行に支障が出るため、時期については維持管理上問題ないよう調整を行うこと。
2. 補強工事を行うにあたり、進入困難箇所内の補強のため、階段室との中壁の一部を撤去して仮設の進入口とする。撤去はコア削孔＋ワイヤーソーによる切断撤去とする。
3. 補強工事を行うにあたり、支障となる設備の取外し及び再設置を行うこと。
なお、取外し及び再設置はプラント電気が担当する。

①床排水ポンプ操作盤、緊急しゃ断弁操作盤、プルボックス（中継端子盤）

各操作盤及びプルボックスが壁部の耐震補強工事を行う際の支障物となるため、耐震補強前に取外し、耐震補強完了後に再設置を行う。

4. B2F の進入困難箇所の補強のため、沈砂池機械室のスラブの一部を撤去して仮設の進入口とする。撤去は移動式門型クレーン（1.0 t 吊）等で固定したうえで、ワイヤーソーで切断して吊上げ撤去とする。（下層階へのコンクリート落下を防止する）

(6) B2F 沈砂池

1. 本工事期間中は沈砂池内で作業を行うため、期間中の沈砂池は片槽運転となる。（2号沈砂池）
あらかじめポンプ場の運転管理に支障が出ないように、維持管理者と実施時期、工事期間について調整を行うこと。
2. 沈砂池内の残水は揚水ポンプにより、2号沈砂池に排水すること。

(7) B2F 湧水槽

1. 湧水槽内へ既設の進入口はないため、上部のスラブを一部撤去して仮設の進入口とする。撤去は移動式門型クレーン（1.0 t 吊）等で固定し、ワイヤーソーで切断して吊上げ撤去とする。（下層階へのコンクリート落下を防止する）
2. 本工事期間中は仮設進入口箇所の通行に支障が出るため、時期については維持管理上問題ないよう調整を行うこと。
3. 本工事期間中は湧水槽へ送水する設備を停止とし、残水は揚水ポンプにより、沈砂池もしくは場内雨水側溝に排水すること。

(8) B2F 水槽

1. 本工事期間中は水槽へ送水する設備を停止とし、残水は揚水ポンプにより、沈砂池もしくは場内雨水側溝に排水すること。

(9) B2F ポンプ井

1. 仮壁を設け、補強箇所である壁部をドライ化すること。
2. 仮壁設置のため、上部のスラブの一部を撤去して資機材搬入口とする。撤去は 1F 搬入室の搬入用吊上機等で固定し、ワイヤーソーで切断して吊上げ撤去とする。
3. 仮壁の設置・撤去作業は、送水停止実績のある 0:00~6:00 の 6 時間を利用し、安全管理を徹底しながら段階的に行うこと。
4. 送水停止後のポンプ井内の残水（汚水）は揚水ポンプにより、沈砂池に排水すること。
5. 1F 搬入室の搬入用吊上機の揚程が不足しているため、B1F から B2F への資機材搬入には門型クレーンを用いること。
6. 仮壁設置期間中は仮壁が支障となるため、期間中の沈砂池は片系運転となる。（1 号沈砂池）あらかじめポンプ場の運転管理に支障が出ないよう、維持管理者と実施時期、工事期間について調整を行うこと。
7. 仮壁設置後はポンプ井が縮小して運用されるため、縮小側の設備の移設及び復旧を行うこと。
なお、移設及び復旧はプラント電気が担当する。

① ポンプ井超音波式水位計

ポンプ井超音波式水位計を仮壁設置期間も使用するため、仮壁設置前に移設し、仮壁撤去後に復旧を行う。

(10) B2F 階段室、ポンプ室

1. 本工事期間中は当該部分の通行に支障が出るため、時期については維持管理上問題ないよう調整を行うこと。
2. 補強工事を行うにあたり、支障となる設備の取外し及び再設置を行うこと。
なお、取外し及び再設置はプラント電気が担当する。

① ポンプ室床排水ポンプ操作盤

ポンプ室床排水ポンプ操作盤が壁部の耐震補強工事を行う際の支障物となるため、耐震補強前に取外し、耐震補強完了後に再設置を行う。

第 5 条 段階確認

1. あと施工せん断補強筋工法

受注者は、下記の種別の施工段階においては、段階確認を受けなければならない。この際、受注者は、工種、細別、確認の予定時期を、所定の書式により監督職員に提出しなければならない。

ただし、段階確認の実施時期及び実施箇所は監督職員が定めるものとする。

種別	細別	確認時期
耐震補強工	あと施工せん断補強筋工法	各施工区間の完了時

2. 段階確認の協議

受注者の判断で施工後不可視になると思われる箇所が想定される場合、監督職員に内容を報告し、必要に応じて段階確認を受けること。

第 6 条 安全対策

1. 工事中の安全確保

(1) 本工事の施工にあたっては、「土木工事安全施工技術指針」に基づき、常に工事の安全に留意し現場管理を行い災害の防止を図らなければならない。ただし、これらの指針は当該工事の契約事項を超えて請負者を拘束するものではない。

(2) 工事中看板、工事情報看板及び工事説明看板の記載内容及び設置箇所については、監督職員の承諾を得るものとする。

(3) 工事箇所は作業エリアを明確にし、工事関係者以外の者が立ち入ることのないよう留意すること。

(4) 工事箇所周辺は供用中の施設に面しているため十分注意して施工すること。

(5) 工事現場における事故防止

(ア) 工事は、各工種に適した工法に従って施工し、設備の不備又は不完全な施工等によって事故を起こすことがないように十分注意すること。

(イ) 工事現場においては、常に危険に対する認識を十分に示して、作業の手違い、従事者の不注意等のないよう厳に戒めること。

(ウ) 工事に用いる建設機材の取扱いには、熟練者を配置し、常に機械の点検、設備を完全に行い、運転にあたっては使用条件を守り、操作を誤らないようにすること。

(エ) 落差のある箇所での作業が含まれるため、作業員の転落防止の対策を講ずること。

2. 受注者は、工事中事故があったときには、直ちに所要の措置を講ずるとともに、事故発生の原因、経過及び事故による被害の内容について、直ちに監督職員に報告書を提出すること。

報告書の様式については「土木工事書類作成マニュアル」記載の様式を使用する。

3. 工事の施工にあたり、「建設工事公衆災害防止対策要綱」に従い行わなければならない。なお、発注者が指示する時は、請負者は即座に指示された安全対策を講じること。

4. 安全・訓練等の実施

本工事の施工に際し、現場に即した安全・訓練等について工事着手後に、原則として作業員全員の参加により1ヶ月あたり半日以上時間を割当て、下記の項目から実施内容を選択し、安全・訓練等を実施すること。

- (1) 安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育。
- (2) 本工事内容等の周知徹底。
- (3) 土木工事安全施工技術指針等の周知徹底。
- (4) 本工事における災害対策訓練。
- (5) 本工事現場での予想される事故対策。
- (6) その他、安全・訓練等として必要な事項。

5. 安全・訓練等に関する施工計画書の作成

訓練に先立ち、施工計画書に本工事の内容に応じたあらゆる段階における安全・訓練等の具体的な計画を作成し、監督職員に提出しなければならない。

6. 安全・訓練等の実施状況報告

施工計画書の安全対策・訓練等の実施状況をビデオ等または報告書に写真を添付して実施後、遅滞無く監督職員に提出しなければならない。

7. 熱中症対策チェックリストの作成と報告

夏季の屋外工事において、WEGT 値や気温（30℃以上）を指標とし、休憩所設置、飲料・塩飴の準備、冷風機導入等の具体的な熱中症予防策を講じ、あらかじめチェックリストを作成して適切に運用すること。監督員から要求があった際は直ちにリストの提出を行うとともに、工事完成時にも提出すること。

第7条 現場確認

現場代理人は、設計図書の照査を行い、設計図書を十分理解した後、現地調査をすること。現場調査後、現場代理人は監督職員と打合せを行い、施工位置、施工方法等について了解を得ること。本設計と現場が異なる場合は、工事前に必ず監督職員に報告し、工事打合せ簿をもって協議すること。

第8条 交通安全管理

1. 請負者は工事の施工にあたり、次項を遵守するものとする。

- (1) 積載重量制限を超えて資機材を積込まず、また積込ませないこと。それを証明できるような書類(現場写真等)準備しておくこと。
- (2) 不法・違法無線局（不法パーソナル無線）を設置したトラック等を工事現場内に立入らせないこと。
- (3) 車両ガラスに違法フィルム等を添付した車両は、工事現場内に立入らせないこと。
- (4) 以上のことにつき下請業者にも十分指導すること。

第 9 条 環境保全対策

1. 一般

- (1) 工事を行う地域に対しては環境の保全に十分配慮し、適切に対処するよう、努めなければならない。
- (2) 公害防止のため環境阻害要因を十分に把握し、適切な対策を講じなければならない。

2. 工事施工上の留意点

- (1) 工事施工にあたっては、関係者に対し十分な事前説明を行い、協力を得られるよう対処しなければならない。
- (2) 工事に伴う騒音については、法律及び関係法令、同指導等を尊重し、その防止に努めなければならない。
- (3) 振動の少ない施工法を採用する等、公害防止の概念を尊重し、その対策には十分注意しなければならない。

3. 公害防止に関連する各種調査及び試験

受注者は、県が公害防止に関連する各種調査及び試験を必要と認めた場合は、関連法規に従い調査し結果を報告しなければならない。なお、そのために要する費用については、発注者と協議すること。

4. 産業廃棄物

工事により発生した産業廃棄物は、県条例等に従って措置しなければならない。

第 10 条 創意工夫・社会性等に関する実施報告

受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時までに所定の様式により提出することができる。

第 11 条 その他

本工事は既存施設の運用を継続しながら実施するため、事前に施設管理者と十分に調整を行い、施設の運用に支障をきたさないよう配慮すること。なお、調整の結果、工事工程に遅れが生じる場合には、速やかに協議を行うものとする。

また、資機材等の需給環境の変化により、工期の遅れが予見される場合についても、適宜協議を行うこと。

芝川ポンプ場耐震補強工事

特記仕様書 (電気設備)

令和8年

埼玉県上尾市

目 次

第 1 章	総 則	
第 1 節	一 般 事 項	1 ～ 3
第 2 章	耐震補強工事に伴う電気設備改修工事	
第 1 節	概 要	4
第 2 節	対 象 機 器	4
第 3 節	工 事 範 囲	4
第 3 章	仮 設 工 事	
第 1 節	概 要	5
第 2 節	設 備 機 器	5
第 3 節	工 事 範 囲	5
第 4 節	特 記 仕 様	5

第1章 総 則

第1節 一般事項

(1) 概 要

本仕様書は、芝川ポンプ場耐震補強工事に伴う、電気設備改修工事に適用するものであって、法令その他特別に定めるものの他はすべて本仕様書に準拠し監督員の指示により工事の施工にあたらなければならない。

また、本仕様書に特に定めのない事項については、設計図および下水道機械・電気設備工事一般仕様書(以下一般仕様書)に準拠する。

(2) 規則および契約等

受注者は、本市における規則、契約等およびその他本市の定める規定に準拠して施工する他、電気設備に関する技術基準およびその他関連規定に従って施工する。

(3) 製作の着手

受注者は、契約後速やかに仕様書および設計図に基づき製作・仕様の打合せを行い、承諾図を作成し、監督員の承諾を得ること。この承諾を得た後でなければ製作に着手してはならない。

また、本仕様書の機器が製作者固有の設計による製品で、仕様書および設計図と異なるときは事前に理由を申し出て監督員の承諾を得なければならない。

(4) 官公庁への手続き

本工事で監督官庁その他への手続きを必要とするものは、受注者がこれに要する申請書、届出書等を作成し、手続きの一切の代行をすること。

なお、これらに要する費用はすべて受注者の負担とする。

(5) 高圧回路の開閉操作

本工事で高圧回路の開閉操作を必要とするものは、操作を必要とする事業場で選任された電気主任技術者の指導のもと、開閉操作を行うこと。

なお、これらに要する費用はすべて受注者の負担とする。

(6) 施 工

仕様書および設計図に明記されていないものでも本設備の目的並びに工事施工上必要なものは監督員の指示に従い、受注者の負担で整備または施工しなければならない。

(7) 現場代理人

受注者は、現場代理人および工事現場における工事施工上の監理技術者を定め、書面にて本市の承諾を得なければならない。

(8) 試 験

本工事の施工にあたっては、監督員の指示のもとで設備の絶縁抵抗並びに絶縁耐圧試験を行い、これに合格後作動試験を行うものとする。

(9) 提出書類

本工事において受注者は、一般仕様書に記載した書類について市と協議を行い、必要なものを提出すること。

(10) 工事立会検査

受注者は工場で機器が完成した際に性能試験及び立会検査を実施する。
また、発注者の担当監督員又は主任監督員による工場立会検査実施の有無については、発注者との協議とする。

(11) 設備の養生

搬入された機器および既存施設部分等については、汚損しないよう適切な養生を行う。

(12) 誤接続等の防止

配線・配管等電路工事は施工計画書に基づき、施工（工事）承諾図面に照らし合わせて確認する。

(13) 切替方法

設備の更新にあたっては、接続不良等によって現場操作員の作業を発生させないように細心の注意を払うとともに、データの欠落をはかり、施設の運用に支障がないようにすること。

(14) 緊急時の対応

受注者は、切替工事中の休日・夜間の緊急時についても遅滞なく対応すること。「遅滞なく」とは、緊急事態の発生から2時間以内に当該事業場に到達可能であることを示す。

(15) 完成図書

受注者は、完成検査までに完成図書を金文字黒表紙製本及び電子データ化し提出すること。

設計計算書及び竣工図（発注図を施工に合致した修正図）の電子データは、汎用ソフトを用い、編集可能なデータとし、その他のデータを含む全ての完成図書をP D F 等イメージデータ化すること。

また、本工事施工にあたり、製作した製作図面、詳細仕様書等、機器の修理、維持管理に必要な一切の図書は、当該機器を撤去するまでの間、適切に保管すること。

(16) 契約不適合

本工事において、種類又は品質に関して契約に適合しないものの補修又は損害賠償の請求ができる期間は、引渡し完了実稼働から2年以内とし、期間満了前に性能・機能の維持が確認できる検査を実施すること。ただし、その内容が受注者の故意または重大な過失により生じた場合には、その期間は10年とする。

(17) 建設副産物の分別解体・再資源化等

本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（通称「建設リサイクル法」）に基づき、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

第2章 耐震補強工事に伴う電気設備改修工事

第1節 概 要

本工事は、芝川ポンプ場の耐震補強に際し、電気設備の干渉を避けるための改修を行う。

第2節 対象機器

移設、機能増設および取外し再取付を行う機器は以下のとおりである。

- | | |
|----------------|-----|
| 1. 発電機室 | |
| 1) 燃料小出槽(950L) | 1基 |
| 2) ラジエータ排風消音器 | 1式 |
| 2. モータ室 | |
| 1) 汚水送水流量計変換器 | 1台 |
| 3. 操作室 | |
| 1) 監視用補助継電器盤 | 1面 |
| 4. 沈砂池機械室 | |
| 1) 床排水ポンプ操作盤 | 1面 |
| 2) 緊急遮断弁操作盤 | 1面 |
| 3) ポンプ井超音波式水位計 | 1台 |
| 4) ポンプ井投込式水位計 | 1台 |
| 5) プルボックス | 5箇所 |
| 5. ポンプ室 | |
| 1) 床排水ポンプ操作盤 | 1面 |

第3節 工事範囲

本工事の工事範囲は下記のとおりとし、工事の進捗に支障がないようにすること。

1. 第2節記載機器の移設、機能増設および取外し再取付工事
2. 第2節記載機器に関する配線・配管工事
3. その他、上記に伴う諸工事

第3章 仮設工事

第1節 概 要

本工事は、仮設自家発電機装置を屋外に設置し機能維持を行う。

第2節 設備機器

- | | |
|---------------------|-----|
| 1. 自家発電設備 [仮設] | 1 式 |
| 2. 小出槽用タンクボックス [仮設] | 1 式 |

第3節 工事範囲

本工事の工事範囲は下記のとおりとし、工事の進捗に支障がないようにすること。

1. 第2節記載機器の製作（調達）および据付工事
2. 第2節記載機器に関する配線・配管工事
3. その他、上記に伴う諸工事

第4節 特記仕様

- | | |
|----------------|-----------------------------------|
| 1. 自家発電設備 [仮設] | |
| 1) 数 量 | 1 基 |
| 2) 形 式 | 共通台床搭載形ディーゼル発電装置
自動起動装置を有すること。 |
| 3) 寸 法 | 寸法及び形状は、承諾図により決定する。 |
| 4) ディーゼル機関 | |
| (1) 出 力 | 160kW以上 |
| (2) 回 転 数 | 1500rpm |
| (3) 始動方式 | セルモータ始動 |
| (4) 始動時間 | 40秒以下 |
| (5) 使用燃料 | 軽油 |
| 5) 発電機 | |
| (1) 形 式 | 3 相同期発電機 |
| (2) 回 転 子 | 回転磁界形 |
| (3) 界磁の形状 | 突極形又は円筒形 |
| (4) 冷 却 | 自冷式 |
| (5) 定格出力 | 200kVA |

(6) 定格電圧	210V
(7) 周 波 数	50Hz
(8) 相数及び線数	3相3線式
(9) 力 率	0.8 (遅れ)
(10) 定 格	連 続
(11) 回 転 数	1500rpm
(12) 極 数	4 極
(13) 絶 縁	F 種

3. 小出槽用タンクボックス [仮設]

- 1) 数 量 1 式
- 2) 形 式 950L燃料小出槽
- 3) 寸 法 寸法及び形状は、承諾図により決定する。
- 4) 燃料小出槽
 - (1) 容 量 950L (軽油用)
 - (2) 付 属 品 ウイングポンプ・配管・弁類
- 5) タンクボックス
 - (1) 形 式 屋外自立形自然換気式
 - (2) 付 属 品 オイルパン・換気口・換気配管類・フィルタ等

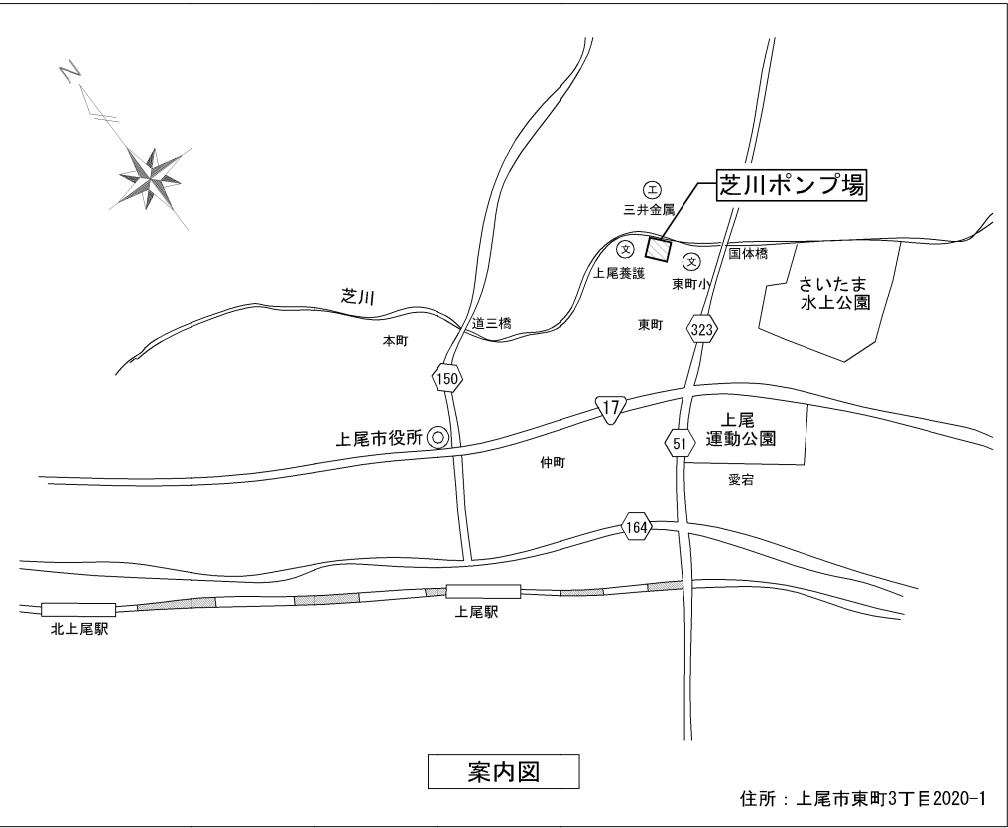
芝川ポンプ場耐震補強工事

実 施 設 計 図

令和 8 年

上 尾 市 上 下 水 道 部 下 水 道 施 設 課

図 面 目 録											
図 番	図 面 名 称	縮 尺	図 番	図 面 名 称	縮 尺	図 番	図 面 名 称	縮 尺	図 番	図 面 名 称	縮 尺
A-01	一般平面図・案内図	1/200	S-11	耐震改修詳細図(2)	1/30	AE-15	電灯コンセント設備1階平面図（撤去）	1/50	C-10	芝川ポンプ場補強配筋図 梁(5)	1/50
A-02	建築改修工事特記仕様書(1)	—	S-12	耐震改修詳細図(3)	1/30	AE-16	電灯コンセント設備2階平面図（撤去）	1/50	C-11	芝川ポンプ場補強配筋図 梁(6)	1/50
A-03	建築改修工事特記仕様書(2)	—	S-13	耐震改修詳細図(4)	1/30	AE-17	弱電設備系統図（改修）	—	C-12	芝川ポンプ場補強配筋図 梁(7)	1/50
A-04	建築改修工事特記仕様書(3)	—	S-14	耐震改修詳細図(5)	1/30	AE-18	弱電設備地下1階平面図（改修）	1/100	C-13	芝川ポンプ場補強配筋図 梁(8)	1/50
A-05	建築改修工事特記仕様書(4)	—	S-15	耐震改修詳細図(6)	1/30	AE-19	弱電設備1階平面図（改修）	図示	C-14	芝川ポンプ場補強配筋図 梁(9)	1/50
A-06	建築改修工事特記仕様書(5)	—	S-16	耐震改修詳細図(7)	1/30	AE-20	弱電設備2階平面図（改修）	図示	C-15	芝川ポンプ場補強配筋図 柱(1)	1/50
A-07	建築改修工事特記仕様書(6)	—	S-17	耐震改修詳細図(8)	1/30	AE-21	弱電設備系統図（撤去）	—	C-16	芝川ポンプ場補強配筋図 柱(2)	1/50
A-08	仕上表〔改修前・後〕	—	S-18	耐震改修詳細図(9)	1/30	AE-22	弱電設備地下1階平面図（撤去）	1/100	C-17	芝川ポンプ場補強配筋図 壁(1)	1/50
A-09	1階 平面図〔改修前〕	図示	S-19	耐震改修詳細図(10)	1/30	AE-23	弱電設備1階平面図（撤去）	1/100	C-18	芝川ポンプ場補強配筋図 壁(2)	1/50
A-10	1階 平面図〔改修後〕	図示	AM-01	建築機械設備改修工事特記仕様書(1)	—	AE-24	弱電設備2階平面図（撤去）	図示	C-19	芝川ポンプ場補強配筋図 壁(3)	1/50
A-11	2階 平面図〔改修前〕	1/100	AM-02	建築機械設備改修工事特記仕様書(2)	—	AE-25	幹線切替手順図（参考）	—	C-20	芝川ポンプ場補強配筋図 壁(4)	1/50
A-12	2階 平面図〔改修後〕	1/100	AM-03	建築機械設備改修工事特記仕様書(3)	—	PE-01	1階・2階平面図(改修前)	1/100	C-21	仮設開口配置図	1/100
A-13	立面図(1)〔改修前・後〕	1/100	AM-04	1階トイレ・浴室展開図〔改修前・後〕	1/25	PE-02	1階・2階平面図(改修後)	1/100	C-22	仮設開口設置詳細図	1/30
A-14	立面図(2)〔改修前・後〕	1/100	AM-05	2階トイレ展開図〔改修前・後〕	1/25	PE-03	1階発電機室平面図(改修前)	1/50	C-23	仮設開口閉塞詳細図	1/30
A-15	建具表・キープラン〔改修前・後〕	図示	AM-06	1階自家発電室〔改修前・後〕（通気管）	1/50	PE-04	1階発電機室平面図(改修後)	1/50	C-24	仮設支保工設置図	1/30
A-16	1階 展開図(1)〔改修前・後〕	1/50	AM-07	1階自家発電室〔改修前・後〕（換気）	1/50	PE-05	2階電気室・操作室平面図(改修前)	1/50	C-25	仮壁詳細図(1)	1/50
A-17	1階 展開図(2)〔改修前・後〕	1/50	AE-01	電気設備工事特記仕様書(1)	—	PE-06	2階電気室・操作室平面図(改修後)	1/50	C-26	仮壁詳細図(2)	1/20
A-18	2階 展開図〔改修前・後〕	1/50	AE-02	電気設備工事特記仕様書(2)	—	PE-07	地下1階・地下2階平面図(取外し再取付)	1/100			
A-19	1階 仮設計画平面図【参考】	1/100	AE-03	幹線系統図（改修）	—	PE-08	1階・2階平面図(仮設図)	1/100			
A-20	2階 仮設計画平面図【参考】	1/100	AE-04	主開閉器盤単線結線図（改修）	—	PE-09	地下1階平面図(仮設図)	1/100			
S-01	構造関係共通事項(1)	—	AE-05	幹線設備地下1階平面図（改修）	1/100	PE-10	配線表	—			
S-02	構造関係共通事項(2)	—	AE-06	幹線設備1階平面図（改修）	1/100	C-01	一般平面図・案内図	1/200			
S-03	構造関係共通事項(3)	—	AE-07	幹線設備2階平面図（改修）	図示	C-02	現況平面図(1)	1/100			
S-04	構造関係共通事項(4)	—	AE-08	幹線系統図（撤去）	—	C-03	現況平面図(2)	1/100			
S-05	耐震改修工事特記仕様書	—	AE-09	主開閉器盤結線図（撤去）	図示	C-04	現況断面図(1)	1/100			
S-06	1階 伏図〔改修前・後〕	1/100	AE-10	幹線設備地下1階平面図（撤去）	1/100	C-05	現況断面図(2)	1/100			
S-07	2階 伏図〔改修前・後〕	1/100	AE-11	幹線設備1階平面図（撤去）	1/100	C-06	芝川ポンプ場補強配筋図 梁(1)	1/50			
S-08	軸組図(1)〔改修前・後〕	1/200	AE-12	幹線設備2階平面図（撤去）	図示	C-07	芝川ポンプ場補強配筋図 梁(2)	1/50			
S-09	軸組図(2)〔改修前・後〕	1/200	AE-13	電灯コンセント設備1階平面図（改修）	1/50	C-08	芝川ポンプ場補強配筋図 梁(3)	1/50			
S-10	耐震改修詳細図(1)	1/30	AE-14	電灯コンセント設備2階平面図（改修）	1/50	C-09	芝川ポンプ場補強配筋図 梁(4)	1/50			



住所：上尾市東町3丁目2020-1

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	一般平面図・案内図		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	1/200	図面番号	A-01
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		

9

0

1. アスファルト防水

防

水

工

事

・防水層の工法による種別：
屋根保護防水密着工法

種 別	施工箇所	絶縁用シート	立上り部の保護
○ A-1		※ ポリステレンフィルム	○ 乾式保護材
○ A-2		厚さ0.15mm以上	○ コンクリート押え
○ A-3		○	○ れんが

屋根保護防水絶縁工法

種 別	施工箇所	絶縁用シート	立上り部の保護
○ B-1		※ ポリステレンフィルム	○ 乾式保護材
○ B-2		厚さ0.15mm以上	○ コンクリート押え
○ B-3		○	○ れんが

屋根保護防水密着断熱工法

種 別	施工箇所	絶縁用シート	立上り部の保護
○ AI-1		※ フラットヤーンクロス	○ 乾式保護材
○ AI-2		70g/㎡程度	○ コンクリート押え
○ AI-3		○	○ れんが

屋根保護防水絶縁断熱工法

種 別	施工箇所	絶縁用シート	立上り部の保護
○ BI-1		※ フラットヤーンクロス	○ 乾式保護材
○ BI-2		70g/㎡程度	○ コンクリート押え
○ BI-3		○	○ れんが

・AI及びUB1に用いる断熱材 Ⅱ：
種類 JIS A 9521に基づく押出法ポリエチレンフォーム断熱材3種A（スキャン層付き）
厚さ ○ 25mm、○ 50mm

・改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ：
※ 標準仕様書表9.2.3から表9.2.6による
○ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ○（ ）
材料構成による区分 ○ R種（ ）mm以上

・部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ：
※ 標準仕様書表9.2.5から表9.2.6による
○ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ○（ ）
材料構成による区分 ○（ ）mm以上

・平場の保護用コンクリートの厚さ：
こて仕上げ ※ 水下 80mm以上、○（ ）
床タイル張り ※ 水下 80mm以上、○（ ）

・立上り部の保護方法：
○ 乾式工法
※ 商業パネル ※ 無石綿の軽質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレープ養生したもの。
※ 金属板 ※ 金属板と樹脂を積層一体化したもの。
（品質・性能及び試験方法） 建築材料等品質性能表による

・防水層の種別：
屋根露出防水密着工法

種 別	施工箇所	仕上塗料
○ D-1		種類：○ アスファルトルーフィング類の製造所の仕様
○ D-2		
○ D-3		使用量：※ アスファルトルーフィング類の製造所の仕様
○ D-4		○

屋根露出防水絶縁断熱工法

種 別	施工箇所	仕上塗料
○ DI-1		種類：○ アスファルトルーフィング類の製造所の仕様
○ DI-2		使用量：※ アスファルトルーフィング類の製造所の仕様

・DI-1、DI-2における断熱材 Ⅱ：
材質 ※ 標準仕様書表 2.2(9)による
種類 ○（ ）
厚さ ○ 25mm、○ 50mm、○（ ）

・高日射反射率防水の適用 Ⅱ：※ 適用する、○ 適用しない

・改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ：
※ 標準仕様書表9.2.7から表9.2.8による
○ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ○（ ）
材料構成による区分 ○ R種（ ）mm以上

・部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ：
※ 標準仕様書表9.2.7から表9.2.8による
○ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ○（ ）
材料構成による区分 ○ R種（ ）mm以上

・絶縁断熱工法のルーフトレイン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置：
※ Ⅱ、○（ ）

・絶縁工法及び絶縁断熱工法の防気装置の種類及び設置数量：
種類 ※ アスファルトルーフィング類の製造所の指定、○（ ）
設置数量 ※ アスファルトルーフィング類の製造所の指定、○（ ）個

・防水層の種別：
○ E-1
○ E-2

・保護層：○ 設ける（※ Ⅱ、○（ ））、○ 設けない

・防水層の下地の立上り
※ コンクリート打放し仕上げ 標準仕様書表6.2.4（打放し仕上げ種別）B種
○（ ）

・立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法：
※ アルミニウム製 L=30×15×2.0mm程度、○（ メーカー仕様による ）

・防水層の下地のモルタル塗り：
○ 適用する（施工範囲）※ Ⅱ、○（ ））、○ 適用しない

・屋根排水溝：※ Ⅱ、○（ ）

9

0

2. 改質アスファルトシート防水

防

水

工

事

・防水層の種別：
屋根露出防水密着工法

種 別	施工箇所	仕上塗料
○ AS-T1		種類：○ 改質アスファルトシートの製造所の仕様
○ AS-T2		使用量：※ 改質アスファルトシートの製造所の仕様

屋根露出防水絶縁工法

種 別	施工箇所	仕上塗料
○ AS-T3		種類：○ 改質アスファルトシートの製造所の仕様
○ AS-T4		使用量：※ 改質アスファルトシートの製造所の仕様

屋根露出防水絶縁断熱工法

種 別	施工箇所	仕上塗料
○ ASI-T1		種類：○ 改質アスファルトシートの製造所の仕様
○ ASI-J1		使用量：※ 改質アスファルトシートの製造所の仕様

・AS1における防漏用シート：○（ ）
※ 改質アスファルトシート（ ）の製造所の仕様、○（ ）

・AS1における断熱材 Ⅱ：
材質 ※ 標準仕様書9.3.2(3) (a)による
種類 ○（ ）
厚さ ○ 25mm、○ 50mm、○（ ）

・高日射反射率防水の適用 Ⅱ：※ 適用する、○ 適用しない

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 標準仕様書表9.3.3から表9.3.3による
○ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ○（ ）
材料構成による区分 ○ R種（ ）mm以上

・粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ：
※ 標準仕様書表9.3.3から表9.3.3による
○ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ○（ ）
材料構成による区分 ○ R種（ ）mm以上

・部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ：
※ 標準仕様書表9.3.3から表9.3.3による
○ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ○（ ）
材料構成による区分 ○ R種（ ）

・防水層の下地のモルタル塗り
○ 適用する（施工範囲）※ Ⅱ、○ 適用しない

・絶縁工法及び絶縁断熱工法の防気装置の種類及び設置数量：
種類 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定、○（ ）
設置数量 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定、○（ ）個

・防水層の種別：
屋根露出防水密着工法

種 別	施工箇所	仕上塗料
○ S-F1	○ プレキャストコンクリート下地	種類：○ ルーフィング類の製造所の仕様 使用量：※ ルーフィング類の製造所の仕様
○ S-F2	○	
○ S-M1		種類：○ ルーフィング類の製造所の仕様 使用量：※ ルーフィング類の製造所の仕様
○ S-M2		
○ S-M3		

合成高分子系ルーフィングシート防水（断熱工法）

種 別	施工箇所	仕上塗料
○ SI-F1	○ プレキャストコンクリート下地	種類：○ ルーフィング類の製造所の仕様 使用量：※ ルーフィング類の製造所の仕様
○ SI-F2	○	
○ SI-M1		種類：○ ルーフィング類の製造所の仕様 使用量：※ ルーフィング類の製造所の仕様
○ SI-M2		

・高日射反射率防水の適用 Ⅱ：※ 適用する、○ 適用しない

・SI1における断熱材 Ⅱ：
※ SI-F1、SI-F2の場合、標準仕様書9.4.2(3) (a) (b)による
※ SI-M1、SI-M2の場合、標準仕様書9.4.2(3) (a) (a)による
種類 ○（ ）
厚さ ○ 25mm、○ 50mm、○（ ）

・SI-F1、SI-F2、SI-M1及びSI-M2における防漏用フィルム（断熱工法）の設置：
○ 設置する、○ 設置しない

・S-M2又はSI-M2の場合立上り部の工法：
○ 接合工法：立上り面のシート厚さ ※ 1.5mm、○（ ）
○ 機械式固定方法

・固定金具の材質及び寸法形状：
※ 厚さ4.0mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板及びそれらの片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの
○（ ）

・接着工法の場合の防気装置の種類及び設置数量：
※ ルーフィング類の製造所の仕様
○ 種類（ ））、設置装置（ ）個

・接着工法の場合のPCコンクリート部材下地の目地処理
○ 行う（○ Ⅱ、○ Ⅱ、○ Ⅱ）
○ 行わない（○ Ⅱ、○ Ⅱ、○ Ⅱ）

・PCコンクリート下地の入隅部の増張り（種別 S-F1、SI-F1の場合）：
○ 行う（○ Ⅱ、○ Ⅱ、○ Ⅱ）
○ 行わない（○ Ⅱ、○ Ⅱ、○ Ⅱ）

・機械式固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け：
建築基準法に基づき定まる風圧力の ○ 1、○ 1.15、○ 1.3 倍の風圧力に対応した工法

・防水層の種類：
種別 施工箇所 平場のモルタル塗り厚 立上り部の保護モルタル塗り厚

○ S-G1		mm	※ 7mm以下、○
--------	--	----	-----------

・平場のモルタル床塗りにおける目地の目地削ぎ及び種類：
目地削ぎ ※ 目地削ぎ2mm程度、最大目地間隔3mm程度、○ Ⅱ、○ Ⅱ
目地の種類 ※ 押し目地、○（ ）

・合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ：
※ 標準仕様書表9.4.4、表9.4.2、及び表9.4.3による
JIS A 6008に基づく種類及び厚さ

9

0

4. 塗膜防水

防

水

工

事

・防水層の種別：
種別 施工箇所 仕上塗料

○ X-1		種類：○ 主材料の製造所の仕様 使用量：○ 主材料の製造所の仕様
○ X-2		種類：○ 主材料の製造所の仕様 使用量：○ 主材料の製造所の仕様
○ Y-1	※ 地下外壁防水	○ 適用する、○ 適用しない
○ Y-2	※ 屋内防水	○ 適用する、○ 適用しない

・X-1、X-2 高日射反射率防水の適用 Ⅱ：※ 適用する、○ 適用しない

・ウレタンゴム系塗膜防水X-1の防気装置の種類及び設置数量：
種類 ※ 主材料の製造所の指定、○（ ）
設置数量 ※ 主材料の製造所の指定、○（ ）個

・ゴムアスファルト系塗膜防水Y-1、Y-2の工数及び各工工程の使用量：
※ 主材料の製造所の仕様
○（ ）

・防水層の種別：
種別 施工箇所 備考

○ C-UI		
○ C-UP		

・防水層の下地：
壁：※ コンクリート打放し仕上げ（表6.2.4 B種）、○（ ）
天井部：※ コンクリート打放し仕上げ（表6.2.4 B種）、○（ ）

・下地処理
コンクリートの打継ぎ箇所の処理：
※ 打継ぎ部分に対し、幅30mm及び深さ30mmにV形にはつり、水洗い清掃した後、防水材の製造所の指定する材料を充填
○ Ⅱ、○（ ）
※ 型枠補付け材にコーンが使用されている部位及び防水材の塗布面以外の下地処理：○ Ⅱ、○（ ）

・シーリングの種類

下表以外は、標準仕様書表 9.7.1による。
ただし、外壁タイル接着剤張りの場合のシーリングは11章に、カーテンウォールの場合のシーリングは17章による。

建築期	施工箇所	シーリング材の種類（記号）
		MS-2

・シーリング材の目地寸法：
※ 標準仕様書9.7.3(1) (7)～(9)による、○ Ⅱ、○（ ）
・接着試験：※ 簡易接着性試験、○ 引張接着性試験

10

0

1. 施工

石

工

事

・石材の割付け：※ Ⅱ、○（ ）
・粗面仕上げの場合のみ込み部分の仕上げ：※ Ⅱ、○（ ）
・屋内の床を本層とする場合のフックスがけ：○（ ）
○ 行う（適用箇所）○ すべて、○（ ））、○ 行わない

・天然石：
施工箇所 岩石の種類 等級 形状及び寸法(mm) 厚さ 表面仕上げ 備考

○ 床石		※ 2等品	※ 正方形に近い形状（石材1枚の面積が0.8㎡以下）			
------	--	-------	----------------------------	--	--	--

・テラズブロック
施工箇所 種石の種類 種石の大きさ(mm) 形状による区分 仕上り面による区分 寸法 表面仕上げ 備考

○ 大石	※ 大石	※ 1.5～12	○ 平もの	○ 片面		
○ 花こう岩	○ 花こう岩	○	○ 段もの	○ 両面		

・テラズタイル：
施工箇所 種石の種類 種石の大きさ(mm) 寸法による区分 表面仕上げの種類 備考

○ 大石	※ 大石	※ 1.5～12	○ 300型			
○ 花こう岩	○ 花こう岩	○	○ 400型			

・取付け用モルタル、既設面の目地モルタル、石裏面処理材、裏打ち処理材、金物の固定に使用する埋め込み材等
※ 専門工事業者の指定する製品、○（ ）

3. 外壁湿式工法

受金物 材質 形状及び寸法

※ SUS304、○（ ）	形状及び寸法	※ L=75×75×6(mm)の加工 L=100mm ※ L=75×75×6(mm)の加工 L=150mm
---------------	--------	--

・アンカーの材質及び径：※ SS400 W12、○（ ）

・あと施工アンカーの材質、寸法等：○（ ）

・ドレインパイプの材質：○ 樹脂ネット製パイプ クロスメッシュ巻き 25～35φ

・石裏面処理：○ 適用する、○ 適用しない

・裏打ち処理：○ 適用する、○ 適用しない

・下地ごしらえ：※ 流し筋工法
○ あと施工アンカー工法
○ あと施工アンカー 横筋流し工法

・目地：
一般目地 目地幅(mm) ※ 6mm以上、○（ ）
シーリング材 ※ 適用する、○ 適用しない

伸縮調整目地 位置 ※ 標準仕様書表11.1.1による。○ Ⅱ、○ Ⅱ
シーリング材の目地寸法 ※ 標準仕様書9.7.3(1)による。○ Ⅱ、○ Ⅱ

4. 内壁空積工法

受金物 材質 形状及び寸法

※ SUS304、○（ ）	形状及び寸法	※ L=75×75×6(mm)の加工 L=100mm ※ L=75×75×6(mm)の加工 L=150mm
---------------	--------	--

・アンカーの材質及び径：※ SS400 W12、○（ ）

・あと施工アンカーの材質、寸法等：○（ ）

・石裏面処理：○ 適用する、○ 適用しない

・裏打ち処理：○ 適用する、○ 適用しない

・下地ごしらえ：※ あと施工アンカー 横筋流し工法
○ あと施工アンカー工法

・目地：
一般目地 目地幅(mm) ※ 6mm以上、○（ ）
シーリング材 ※ 適用する、○ 適用しない

伸縮調整目地 位置 ※ 6mm程度以上、○ Ⅱ、○ Ⅱ
シーリング材の目地寸法 ※ 幅、深さとも10mm以上、○ Ⅱ、○ Ⅱ

10

0

5. 乾式工法

石

工

事

・乾式工法的方式による金物の種類、形状、寸法等：
※ 標準仕様書 表10.2.4による（方式 ○スライド方式、○ ロッキング方式）
○ Ⅱ、○ Ⅱ
・アンカーの材質及び形状：※ ステンレス（SUS304）M10、○（ ）
・あと施工アンカーの材質及び寸法等：○（ ）
・だばの穴の位置：※ 標準仕様書10.5.2(2) (7)による、○（ ）
・石裏面処理：○ 適用する、○ 適用しない
・裏打ち処理：○ 適用する、○ 適用しない
・外壁の工法：
建築基準法に基づき定まる風圧力の ○ 1、○ 1.15、○ 1.3 倍の風圧力に対応した工法
・目地：目地幅(mm) ※ 8以上、○（ ）
シーリング材 ※ 標準仕様書9.7による、○ Ⅱ、○ Ⅱ

・床及び階段の石張り

・取付け工法：○ 内壁空積工法、○ 乾式工法

・特殊部位用金物：
材質 ※ ステンレス（SUS304）
寸法等 引金物 ※ 標準仕様書10.2.2(3)による、○（ ）
だば ※ 標準仕様書10.2.2(3)による、○（ ）
かすがい ※ 標準仕様書10.2.2(3)による、○（ ）
受け金物 ※ 標準仕様書10.2.2(1) (4)による、○（ ）

・乾式工法的方式による金物の種類、形状、寸法等：
※ 標準仕様書表10.2.4に準ずる（方式 ○スライド方式、○ ロッキング方式）、○ Ⅱ、○ Ⅱ
・金物及び化粧金物
○ Ⅱ、○ Ⅱ
・金物 ※ ステンレス（SUS304）径6mm長さ80mm（加工物）
○（ ）
・金物 ※ ステンレス（SUS304）M10化粧ナット付き
○（ ）
・あと施工アンカーの材質、寸法等：○（ ）
・アンカーの材質及び径：○ SS400（○ M12、○ M10、○ M8）
・石裏面処理：○ 適用する、○ 適用しない
・裏打ち処理：○ 適用する、○ 適用しない
・目地：一般目地 目地幅(mm) ※ 6以上、○（ ）
伸縮調整目地 位置 ※ 他の部位との取り合い部、○ Ⅱ、○ Ⅱ
シーリング材の目地寸法 ※ 幅・深さとも10mm、○ Ⅱ、○ Ⅱ

・取付け工法：○ 外壁湿式工法、○ 乾式工法

・特殊部位用金物：
材質 ※ ステンレス（SUS304）
寸法等 引金物 ※ 標準仕様書10.2.2(3)による、○（ ）
だば ※ 標準仕様書10.2.2(3)による、○（ ）
かすがい ※ 標準仕様書10.2.2(3)による、○（ ）
受け金物 ※ 標準仕様書10.2.2(1) (4)による、○（ ）

・乾式工法的方式による金物の種類、形状、寸法等：
※ 標準仕様書表10.2.4に準ずる（方式 ○スライド方式、○ ロッキング方式）、○ Ⅱ、○ Ⅱ
・あと施工アンカーの材質、寸法等：○（ ）
・石裏面処理：○ 適用する、○ 適用しない
・アンカーの材質及び径：○ SS400（○ M12、○ M10、○ M8）
・乾式工法の場合の取付け代：○ 70mm程度、○（ ）
・石裏の補強用モルタル：○ 適用する、○ 適用しない
・目地：外壁湿式工法の場合
一般目地 目地幅(mm) ※ 6mm以上、○（ ）
伸縮調整目地 位置 ※ 標準仕様書表11.1.1による、○ Ⅱ、○ Ⅱ
シーリング材の目地寸法 ※ 幅、深さとも10mm以上、○ Ⅱ、○ Ⅱ

乾式工法の場合

目地材 ※ 8mm以上、○（ ）
シーリング材 ※ 標準仕様書9.7による、○（ ）

10

0

8. 柱、甲板等の石張り

石

工

事

・取付け工法：○ 外壁湿式工法、○ 乾式工法

・特殊部位用金物：
材質 ※ ステンレス（SUS304）
寸法等 引金物 ※ 標準仕様書10.2.2(3)による、○（ ）
だば ※ 標準仕様書10.2.2(3)による、○（ ）
かすがい ※ 標準仕様書10.2.2(3)による、○（ ）
受け金物 ※ 標準仕様書10.2.2(1) (4)による、○（ ）

・乾式工法的方式による金物の種類、形状、寸法等：
※ 標準仕様書表10.2.4に準ずる（方式 ○スライド方式、○ ロッキング方式）、○ Ⅱ、○ Ⅱ
・あと施工アンカーの材質、寸法等：○（ ）
・石裏面処理：○ 適用する、○ 適用しない
・アンカーの材質及び径：○ SS400（○ M12、○ M10、○ M8）
・乾式工法の場合の取付け代：○ 70mm程度、○（ ）
・石裏の補強用モルタル：○ 適用する、○ 適用しない
・目地：外壁湿式工法の場合
一般目地 目地幅(mm) ※ 6mm以上、○（ ）
伸縮調整目地 位置 ※ 標準仕様書表11.1.1による、○ Ⅱ、○ Ⅱ
シーリング材の目地寸法 ※ 幅、深さとも10mm以上、○ Ⅱ、○ Ⅱ

乾式工法の場合

目地材 ※ 8mm以上、○（ ）
シーリング材 ※ 標準仕様書9.7による、○（ ）

工事名

芝川ポンプ場耐震補強工事

図面名

建築改修工事特記仕様書(2)

作成年月

令和8年3月

縮尺

—

図面番号

A-03

設計者

株式会社 日建技術コンサルタント

発注者

埼玉県 上尾市

[illegible]

14

金属工事

○ 1. ステンレスの表面仕上げ

種類

HL程度

鏡面仕上げ程度

No. 2B程度

施工箇所 (手すり、タラップ、建具以外)

種類

色合い等

施工箇所 (成形板、笠木、建具以外)

○ AB-1種

○ AB-2種

○ AC-1種

○ AC-2種

○ BA-1種

○ BA-2種

○ BB-1種

○ BB-2種

○ BC-1種

○ BC-2種

○ C種

色合い等 (シルバー、アンバー、ブロンズ、ブラック系、ステンカラー、特注色)

陽極酸化皮膜の着色方法 : ○ 二次電解着色、○ 三次電解着色

表面処理方法

種類

施工箇所 (手すり、タラップ以外)

○ 溶融亜鉛めっき

○ A種

○ E種

○ 電気亜鉛めっき

○ E種

○ F種

● 4. 軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類

屋外 (○ 25形、○ 19形)

屋内 (○ 19形、○ 25形)

屋外の軒天井、ピロティ天井等の工法

建築基準法に基づき定まる風圧力の ○ 1.、○ 1.15、○ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法

野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 ○ 図示、○ ()

周辺の端からの間隔 ○ 図示、○ ()

野縁の間隔 ○ 図示、○ ()

吊りボルトの間隔が900mmを超える場合 :

補強方法 ○ 図示、○ ()

天井のふところ高が1.5m以上3.0m以下の場合 :

補強方法 ○ 標準仕様書14.4.4(8)による、○ 図示

天井のふところ高が3.0mを超える場合 :

補強方法 ○ 図示、○ ()

天井下地材における耐震性を考慮した補強 :

補強箇所 ○ 図示、○ ()

補強方法 ○ 図示、○ ()

特定天井 :

図示、○ ()

特定天井の設計用震度及びクリアランス

特定天井告示 (平成25年国土交通省告示第771号) による特定天井の設計用震度

検照ルート ()

室名

階

設計用水平震度 (K_h)

設計用鉛直震度 (K_v)

クリアランス (mm)

特定天井以外の在工工法による吊り天井のうち天井材の落下により著しい影響があるもの (緊結吊天井) :

範囲 ○ 図示、○ ()

補強方法

標準仕様書14.4.1~14.4.4に加えて、天井下地材における耐震性を考慮した補強は、以下の1)~4)のとおりとする

1) 野縁受けは、相互にジョイントを差し込んだ上でねじ留め、

野縁と野縁受けの張り合うジョイントの位置は、互いに1m以上離し、

千鳥状に配置、

野縁受けと吊ボルトの接合に用いるハンガーは、ねじ留め等の措置 (開き止め) を要する。

2) 野縁と野縁受けの接合に用いるクリップは、特定天井告示第3第3項に適合する天井に用いられるもの、または、耐風圧クリップ相当の緊結度を「新たな特定天井の技術基準 (天井と周囲の壁等との間に隙間を設けない仕様追加) の解説 (平成28年7月版)」(国土交通省国土技術政策総合研究所他) の「付録1 クリップの接合部の希望試験」により確認されたものを使用する。

なお、当該クリップは、JIS A 6617によらなくてもよいものとする。

システム天井 :

範囲 ○ 図示、○ ()

種類 ○ グリッドタイプ

耐震性

以下の設計用震度の地震力及び層間変形角に対して、脱落しないものとする。

なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。

設計用水平震度 (K_h) ○ 1.0、○ ()

設計用鉛直震度 (K_v) ○ 0.5、○ ()

層間変形角 ○ 1/100、○ 1/200、○ ()

● 5. 軽量鉄骨壁下地

スタッド、ランナーの種類 :

● 標準仕様書14.5.1.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類、○ 図示

スタッドの高さが9.0mを超える場合 : ○ 図示、○ ()

出入口及びこれに接する開口部の補強 :

● 標準仕様書14.5.4(5)による、○ ()

○ 6. 金属成形板張り

種類 :

○ 図示、○ ()

表面処理 :

○ 図示、○ ()

取付付用下地 :

○ 標準仕様書14.4による、○ 図示

伸縮調整機手 :

○ 図ける (施工箇所 ○ 図示、○ ())

○ 図けない

○ 7. アルミニウム製笠木

種類 :

○ 250形、○ 300形、○ 350形、○ 図示

表面処理 :

○ 種類 () 種

色合い等 :

○ 標準色 (○ アンバー、○ ブロンズ、○ ブラック系、○ ステンカラー)

○ 特注色 ()

笠木の固定金具の工法等

建築基準法に基づき定まる風圧力の (○ 1.、○ 1.15、○ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法

○ 8. 手すり及びタラップ

手すり :

○ ステンレス製 SUS304 (表面処理 HL程度、○ ())

○ 鋼製 (表面処理 ○ 溶融亜鉛めっき種別 ())

タラップ :

○ ステンレス製 SUS304 (表面処理 HL程度、○ ())

○ 鋼製 (表面処理 ○ 溶融亜鉛めっき種別、○ ())

15

左管工事

● 1. モルタル塗り

既製目地材 :

○ 図ける (施工箇所 (), 形状 (○ 図示、())

○ 図けない

モルタル :

○ 現場調合材料、○ 既調合材料 ()

床目地 :

○ 図ける (目地割り ○ 2m程度 (最大目地間隔3m程度)、○ ())

○ 図けない (種類 ○ 押し目地、○ ())

外装タイル張り下地等下地モルタル等塗り及び下地調整塗材塗りの接着剤力試験 :

○ 適用する、○ 適用しない

防水剤 :

品質・性能及び試験方法は建築材料等品質性能表による

○ 2. セルフレベリング材塗り

種類 :

○ セっこう系、○ セメント系

● 3. 仕上塗材仕上げ

建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 :

○ 規制対象外、○ ()

仕上塗材の種類 :

○ 図示、○ ()

種類 (呼び名)

防火材料

仕上げる形状及び工法等

○ 外装塗材 S1

○

仕上げの形状

○ 可とう形外装塗材 S1

○

○ 形壁

○ 外装塗材 E

○

○ 巾す狀 (○ 吹付け、○ ローラー塗り)

○ 可とう形外装塗材 E

○

○ さざ状

○ 防水形外装塗材 E

○

○ 平たん状

○ 外装塗材 S

○

○ 凹凸状 (○ 吹付け、○ こて塗り)

○ 内装塗材 C

○

○ 着色骨材砂壁状 (○ 吹付け、○ こて塗り)

○ 内装塗材 L

○

○ 砂壁状じゅらく

○ 内装塗材 S1

○

○ 京壁状じゅらく

○ 内装塗材 E

○

工法

○ 内装塗材 W

○

吸放湿性 ○ 適用する、○ 適用しない

厚付け仕上塗材

種類 (呼び名)

防火材料

仕上げる形状及び工法等

○ 外装塗材 C

○

仕上げの形状

○ 外装塗材 S1

○

○ 吹出し、○ 凸凹処理、○ 平たん状

○ 外装塗材 E

○

○ 凹凸状、○ ひき起し、○ かき落とし

○ 内装塗材 L

○

工法等

○ 内装塗材 G

○

○ 吸放湿性 ○ 適用する、○ 適用しない

○ 内装塗材 S1

○

上塗材 ○ 適用する、○ 適用しない

○ 内装塗材 E

○

上塗材 ○ 適用する、○ 適用しない

軽量骨材仕上塗材

種類 (呼び名)

防火材料

仕上げる形状及び工法等

○ 複層塗材 CE

○

仕上げの形状

○ 可とう形複層塗材 CE

○

● ゆず狀 (0-ラ塗り)、○ 凹凸処理、○ 凹凸状

○ 複層塗材 E

○

工法等

○ 複層塗材 E

○

耐火性 ○ 耐火形3種、○

● 複層塗材 RE

○

上塗材

○ 防水形複層塗材 CE

○

溶媒 ○ 水系、○ 溶剤系、○ 弱溶剤系

○ 防水形複層塗材 E

○

樹脂 ○ アクリル系、● アクリルシリコン系

○ 防水形複層塗材 RE

○

外観 ○ つやあり、● つやなし、○ メタリック

○ 防水形複層塗材 RS

○

○

○ 4. ALD/バネルの場合の下地処理

内壁目地の形状 :

○ 図 V形目地付き、○ ()

○ 5. マスチック塗料

○ 6. ロックウール吹付け

ロックウールのホルムアルデヒド放散量 :

○ 規制対象外、○ ()

接着剤のホルムアルデヒド放散量 :

○ 規制対象外、○ ()

吹付け厚さ (mm) : ○ 図示、○ 25、○ ()

○ 7. ラス系下地

施工箇所 :

○ 図示 ○ ()

ラス系下地のホルムアルデヒド放散量 :

○ 規制対象外、○ ()

○ 8. こまい下地

施工箇所 :

○ 図示 ○ ()

こまい下地のホルムアルデヒド放散量 :

○ 規制対象外、○ ()

○ 9. 木ずり下地

施工箇所 :

○ 図示 ○ ()

○ 10. ドロマイトプラスター塗り

施工箇所 :

○ 図示 ○ ()

○ 11. しっくい塗り

施工箇所 :

○ 図示 ○ ()

16

建具工事

○ 1. 防火性能

建具表による、○ ()

○ 2. 京床の製作等

建具見本の製作 :

○ 行う (建具符号:), ○ 行わない

建具見本の程度 :

○ 工事に使用する場合、あらかじめ製作する

納まり等が分かる程度のもの

特殊な建具の仮組 :

○ 行う (建具符号: 図示)

○ 行わない

○ 3. 防犯建物部品

○ 適用する (○ 建具表による、○ 図示)、○ 適用しない

16

建具工事

○ 4. アルミニウム製建具

性能値等 :

耐風圧性の等級 (○), 建具符号 (○ 建具表による、○)

気密性の等級 (○), 建具符号 (○ 建具表による、○)

水密性の等級 (○), 建具符号 (○ 建具表による、○)

外部に面する建具の種別 :

○ A種 (建具符号 ○ 建具表による、○)

○ B種 (建具符号 ○ 建具表による、○)

○ C種 (建具符号 ○ 建具表による、○)

○ D種 (建具符号 ○ 建具表による、○)

○ E種 (建具符号 ○ 建具表による、○)

防音ドア、防音サッシとする場合

○ 遮音性の等級 (), 建具符号 (○ 建具表による、○)

断熱ドア、断熱サッシとする場合

○ 断熱性の等級 (), 建具符号 (○ 建具表による、○)

耐震性能 (特定室等及び避難経路の扉) :

RC壁に設置する特定室等及び避難経路の扉

○ 耐震ドア (面内変形追随性の等級), 建具符号 (○ 建具表による、○)

重量がある扉

以下の設計用震度の地震力及び層間変形角に対して、脱落しないものとする。

なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。

設計用水平震度 (K_h) ○ 1.0、○ ()

設計用鉛直震度 (K_v) ○ 0.5、○ ()

建具符号 (○ 建具表による、○)

大型建具 :

○ 適用しない (表16.4.2による)

○ 適用する (建具符号、枠の見込み寸法: 建具表による)

材料、形状及び仕上げ

ステンレス鋼板 ○ SUS304・SUS430JL・SUS443J1、○ ()

鋼板の厚さ ○ 標準仕様書表16.4.2Cによる (使用箇所)

ステンレス製のくつずりの仕上げ HL程度、○ No. 2B程度、○ ()

○ 5. 網戸等

種類

材質

網径

網目

○ 防虫網

○ ガラス繊維入り合成樹脂製

○ 0.25mm以上

○ 16~18メッシュ

○ 防風網

○ ステンレス (SUS316) 製

1.5mm

網目寸法15mm

○ 6. 樹脂製建具

性能値等 :

耐風圧性の等級 (○), 建具符号 (○ 建具表による、○)

気密性の等級 (○), 建具符号 (○ 建具表による、○)

水密性の等級 (○), 建具符号 (○ 建具表による、○)

外部に面する建具の種別 :

○ A種 (建具符号 ○ 建具表による、○)

○ B種 (建具符号 ○ 建具表による、○)

○ C種 (建具符号 ○ 建具表による、○)

○ D種 (建具符号 ○ 建具表による、○)

○ E種 (建具符号 ○ 建具表による、○)

防音ドア、防音サッシとする場合

○ 遮音性の等級 (), 建具符号 (○ 建具表による、○)

断熱ドア、断熱サッシとする場合

○ 断熱性の等級 (), 建具符号 (○ 建具表による、○)

材料、形状及び仕上げ

ガラス ○ 複層ガラス、○ ()

枠の見込み寸法 ○ 建具表による、○ ()

表面色 ○ 標準色、○ 特注色

ステンレス製のくつずりの仕上げ HL程度、○ No. 2B程度、○ ()

水切り板、ぜん板 ○ 図示、○ ()

○ 7. 鋼製建具

性能値等 :

簡易気密型ドアセット ○ 適用する (建具符号 ○ 建具表による、○)

○ 適用しない

外部に面する建具の耐風圧性

● S-4、建具符号 (○ 建具表による、○)

○ S-5、建具符号 (○ 建具表による、○)

○ S-6、建具符号 (○ 建具表による、○)

耐震性能 (特定室等及び避難経路の扉) :

RC壁に設置する特定室等及び避難経路の扉

○ 耐震ドア (面内変形追随性の等級), 建具符号 (○ 建具表による、○)

重量がある扉

以下の設計用震度の地震力及び層間変形角に対して、脱落しないものとする。

なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。

設計用水平震度 (K_h) ○ 1.0、○ ()

設計用鉛直震度 (K_v) ○ 0.5、○ ()

建具符号 (○ 建具表による、○)

材料、形状及び仕上げ

ステンレス鋼板 ○ SUS304・SUS430JL・SUS443J1、○ ()

鋼板の厚さ ○ 標準仕様書表16.4.2Cによる (使用箇所)

ステンレス製のくつずりの仕上げ HL程度、○ No. 2B程度、○ ()

○ 8. 鋼製軽量建具

性能値等 :

簡易気密型ドアセット ○ 適用する (建具符号 ○ 建具表による、○)

○ 適用しない

防音ドア、防音サッシとする場合

○ 遮音性の等級 (), 建具符号 (○ 建具表による、○)

断熱ドア、断熱サッシとする場合

○ 断熱性の等級 (), 建具符号 (○ 建具表による、○)

耐震性能 (特定室等及び避難経路の扉) :

RC壁に設置する特定室等及び避難経路の扉

○ 耐震ドア (面内変形追随性の等級), 建具符号 (○ 建具表による、○)

重量がある扉

以下の設計用震度の地震力及び層間変形角に対して、脱落しないものとする。

なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。

設計用水平震度 (K_h) ○ 1.0、○ ()

設計用鉛直震度 (K_v) ○ 0.5、○ ()

建具符号 (○ 建具表による、○)

材料、形状及び仕上げ

鋼板 ○ 亜鉛めっき鋼板、○ ビニル被膜鋼板、○ カラー鋼板

○ ステンレス鋼板 (○ SUS304、SUS430J1又はSUS443J1、○)

召合せ、縦小口包み板の材質 ○ 鋼板、○ 建具表による

鋼板の厚さ ○ 標準仕様書表16.4.2Cによる (使用箇所)

ステンレス製のくつずりの仕上げ HL程度、○ No. 2B程度、○ ()

16

建具工事

○ 9. ステンレス製建具

性能値等 :

簡易気密型ドアセット ○ 適用する (建具符号 (○ 建具表による、○)

○ 適用しない

外部に面する建具の耐風圧性

○ S-4、建具符号 (○ 建具表による、○)

○ S-5、建具符号 (○ 建具表による、○)

○ S-6、建具符号 (○ 建具表による、○)

耐震性能 (特定室等及び避難経路の扉) :

RC壁に設置する特定室等及び避難経路の扉

○ 耐震ドア (面内変形追随性の等級), 建具符号 (○ 建具表による、○)

重量がある扉

以下の設計用震度の地震力及び層間変形角に対して、脱落しないものとする。

なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。

設計用水平震度 (K_h) ○ 1.0、○ ()

設計用鉛直震度 (K_v) ○ 0.5、○ ()

建具符号 (○ 建具表による、○)

材料、形状及び仕上げ

鋼板 ○ 亜鉛めっき鋼板、○ ビニル被膜鋼板、○ カラー鋼板

○ ステンレス鋼板 (○ SUS304、SUS430J1又はSUS443J1、○)

召合せ、縦小口包み板の材質 ○ 鋼板、○ 建具表による

鋼板の厚さ ○ 標準仕様書表16.4.2Cによる (使用箇所)

ステンレス製のくつずりの仕上げ HL程度、○ No. 2B程度、○ ()

○ 10. 木製建具

建具材の加工、組立時の含水率 : ○ B種、○ ()

建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 :

○ 規制対象外、○ ()

フラッシュ戸 :

表面材の合板の種類

合板の種類

規格等

備考

○ 普通合板

表面の積層

生地、透明塗料塗度、○ ()

不透明塗料塗り (○ 仕上げ合板程度、○)

板面の品質 (○ 仕上げ合板程度、○)

接合の程度 ○ 1類、○ 2類

防虫処理 ○ 行う

○ 天然木化粧合板

樹種名 ()

接合の程度 ○ 1類、○ 2類

防虫処理 ○ 行う

○ 特殊加工化粧合板

化粧加工の方法 (○ オーバーレイ、○ プリント、○ 塗装)

表面性能 () タイプ

接合の程度 ○ 1類、○ 2類

防虫処理 ○ 行う

表面材の厚さ : ○ 表16.7.6による、○ ()

かまち戸

かまち仕様 ○ (), 縁板仕様 ○ ()

見込み寸法 ○ 36mm、○ 建具表による、○ ()

ふすま :

張りの種別 (○ I型、○ II型)

上張り (押入等の裏側以外、○ 鳥の子、○ 新鳥の子又はビニル紙程度

上張り (押入等の表側) (○ 窓枠程度

縁仕上 ○ 塗り縁、○ 生地縁 (帯地)、○ 生地縁 (ウレタンクリヤー塗装)

見込み寸法 ○ 19.5mm、○ 建具表による、○ ()

戸ふすま :

見込み寸法 ○ 30.0mm、○ 建具表による、○ ()

紙張り厚子

見込み寸法 ○ 30.0mm、○ 建具表による、○ ()

枠、くつずりの材料 : ○ 建具表による、○ ()

○ 11. 建具用金物

金物の種類・見え掛り部の材質等

○ 標準仕様書表16.8.1及び適用は建具表による、○ ()

金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ :

○ 標準仕様書表16.8.2及び適用は建具表による、○ ()

樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ :

○ 標準仕様書表16.8.3による、○ 建具表による

木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ :

○ 標準仕様書表16.8.4による、○ 建具表による

木製建具に使用する戸車及びレール :

○ 標準仕様書表16.8.5による、○ 建具表による

握り玉、レバーハンドル、押板、クレセントの取付位置 :

○ 建具表による、○ 図示

錠前類 (シリンダ錠及びパッキング錠)

(品質・性能及び試験方法) 建築材料等品質性能表による

クローザ類 :

(品質・性能及び試験方法) 建築材料等品質性能表による

○ 12. 鍵

マスターキー : ○ 製作する (), ○ 製作しない ()

その他の鍵 : ○ 各室 3本1組 (室名名札付き)、○ ()

鍵箱 : ○ 有り、○ 無し

○ 13. 自動ドア開閉機構

性能 :

引き戸用駆動装置

性能値 ○ 標準仕様書表16.9.1による、○ 以下による

種類・開閉方式

耐電圧

温度上昇

耐久性 (サイクル)

防錆

電源

多機能トイレ出入口引き戸用駆動装置 :

性能値 ○ 標準仕様書表16.9.2による、○ 以下による

耐電圧

温度上昇

耐久性 (サイクル)

防錆

電源

電源

引き戸用駆動装置

性能値 ○ 標準仕様書表16.9.3による、○ 以下による

放射熱線用波数電磁波耐性

防錆

耐電圧

電源

防漏

機構 :

戸の開閉方式 ○ 図示、○ ()

引き戸用駆動装置

○ 光線反射センサー、○ 熱線センサー、○ 音波センサー、○ 光電センサー、○ 電圧センサー、○ タッチスイッチ、○ 押しボタンスイッチ、○ 多機能トイレスイッチ

連動防止装置 ○ 適用する (建具表による)、○ 適用しない

○ 14. 自閉式上り引戸装置

引き戸用駆動装置の性能 :

性能値 ○ 表16.10.1による、○ 以下による

手動開き力

手動閉じ力

閉じ速度の調整

制動区間

開閉繰返し

耐衝撃性

試験方法 :

建築材料等品質性能表による

工事名

芝川ポンプ場耐震補強工事

図面名

建築改修工事特記仕様書 (4)

作成年月

令和8年3月

縮尺

—

図面番号

A-05

設計者

株式会社 日建技術コンサルタント

発注者

埼玉県 上尾市

16 建築工事

○ 15. 重量シャッター (16. 11. 2, 3)

・シャッターの種類 :
○ 管理用シャッター (耐風圧強度 (600) Pa)
○ 外壁用防火シャッター (耐風圧強度 () N/m)
○ 屋内用防火シャッター
○ 防煙シャッター

・二重チェーン、急降下制動装置、急降下停止装置を設けた電動シャッターの設置箇所 :
○ 建具表による、○ ()

・障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所 :
○ 建具表による、○ ()

・急降下制動装置を設ける屋内用防火シャッターもしくは防煙シャッター :
○ 設置箇所、○ 建具表による、○ ()

・機構 a) 危険防止装置
b) 「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」(昭和48年12月28日建設省告示第250号)に定める基準に適合するもの

・管理用シャッターのシャッターケース :
○ 設ける、○ 設けない

ただし、外壁用防火シャッター、屋内用防火シャッター及び防火シャッターには設けること

・スラット及びシャッターケース用鋼板
鋼板の種類 ○ JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板)
○ JIS G 3312 (溶融亜鉛めっき鋼板)
めっきの付着量 ○ Z12 または F12、○ ()

・スライドレール、まぐさ、滑車に用いる座板及び座板のカバー、両掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質
ステンレス鋼板 ○ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1L、○ ()

○ 16. 軽量シャッター (16. 12. 2~4)

・開閉形式による種類 :
○ 手動式、○ 上部電動式 (手動併用)

・耐風圧強度 :
○ (600) N/m

・障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所 :
○ 建具表による、○ ()

・スラットの材質 :
○ JIS G 3312 (溶融亜鉛めっき鋼板)
○ JIS G 3322 (溶融亜鉛5%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板)
めっき付着量 (※ A29C
○ 50

・スラットの形状 :
○ インターロック形、○ オーバーラッピング形

○ 17. オーバーヘッドドア (16. 13. 2, 3)

・セクション材料による区分
○ スチールタイプ
○ アルミニウムタイプ
○ ファイバーグラスタイプ
○ 50

・耐風圧性能
○ 125
○ 100
○ 75

・開閉形式による区分
○ バランス式
○ チェーン式
○ 電動式

・収容形式による区分
○ スタンダード形
○ ローヘッド形
○ ハイリフト形
○ パネルカルル形

・ガイドレールの材質
○ 溶融亜鉛めっき鋼板

・ステンレス鋼板 ○ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1L、○ ()

・障害物感知装置を設けたオーバーヘッドドアの設置場所 :
○ 建具表による、○ ()

● 18. ガラス (9. 7) (16. 14. 2~4) (表16. 14. 1)

・適用は以下によるほか、ガラスの種類・長さ(建具表及び図面による)。
○ 図示

・型枠ガラスの品質、厚さの呼びによる種類
○ 図示

・建具表による、○ 図示

・網入板ガラス、網入板ガラスの網、網の形状、板の表面の状況、厚さの呼びによる種類
○ 図示

・合わせガラス :
材料板ガラスの種類、厚さの組合せ、
合わせガラスの合計厚さ
形状による種類
落球衝撃は、耐衝撃性及び
ショットバック衝撃特性による種類

● 建具表による、○ 図示

● 平面合わせガラス、○ 曲面合わせガラス

○ 1 類、○ II-1 類、○ II-2 類、○ III 類

・強化ガラス :
材料板ガラスの種類、
材料板ガラスの種類による名称
破片の形状及び
ショットバック衝撃特性による種類

○ 図示

○ 1 類、○ III 類

・熱線吸収ガラス :
板ガラスの種類、厚さによる種類
性能による種類

○ 建具表による、○ 図示

○ 1 類、○ 2 類

・複層ガラス :
材料板ガラスによる種類及び厚さの組合せ、並びに複層ガラスの厚さ
断熱性による区分
日射取得性、日射遮蔽性
気密気体の種類

● 建具表による、○ 図示

○ TI、○ T2、○ T3、○ T4、○ T5、○ T6

○ G、○ S

● 空気、○ アルゴン

・熱線反射ガラス :
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
日射熱遮蔽性能による区分
耐久性による区分 (日射熱遮蔽率が2種の場合)
試験調整

○ 建具表による、○ 図示

○ 1 類、○ 2 類、○ 3 類

○ A 類、○ B 類

○ 行わない、○ 行う

・倍強度ガラス :
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類

○ 建具表による、○ 図示

・ガラスの留め材及び溝の大きさ :
建具の種類
ガラス留め材
ガラス溝の大きさ(mm)

● アルミニウム製

○ シーリング材
○ ガスケット
○ グレージングチャンネル材

○ 図示

○ シーリング材
○ ガスケット
○ グレージングチャンネル材

○ 図示

○ 建具の製造所の仕様による

○ 建具の製造所の仕様による

○ 図示

・構造体の層間変形角に対する追従性 :
以下の構造体の層間変形角に対して、破壊、脱落が生じないよう取り付けられているものとする。
○ 1/100、● 1/200、○ ()

17 カテンウォール工事

○ 19. ガラスブロック (16. 14. 5)

・表面形状
呼び寸法
厚さ
色調
目地幅(mm)
平積み
曲面積み
伸縮調整
防火性能

○ 8 以下
○ 10
○ 15
○ 20
○ 25
○ 30
○ 35
○ 40
○ 45
○ 50
○ 55
○ 60
○ 65
○ 70
○ 75
○ 80
○ 85
○ 90
○ 95
○ 100
○ 105
○ 110
○ 115
○ 120
○ 125
○ 130
○ 135
○ 140
○ 145
○ 150
○ 155
○ 160
○ 165
○ 170
○ 175
○ 180
○ 185
○ 190
○ 195
○ 200
○ 205
○ 210
○ 215
○ 220
○ 225
○ 230
○ 235
○ 240
○ 245
○ 250
○ 255
○ 260
○ 265
○ 270
○ 275
○ 280
○ 285
○ 290
○ 295
○ 300
○ 305
○ 310
○ 315
○ 320
○ 325
○ 330
○ 335
○ 340
○ 345
○ 350
○ 355
○ 360
○ 365
○ 370
○ 375
○ 380
○ 385
○ 390
○ 395
○ 400
○ 405
○ 410
○ 415
○ 420
○ 425
○ 430
○ 435
○ 440
○ 445
○ 450
○ 455
○ 460
○ 465
○ 470
○ 475
○ 480
○ 485
○ 490
○ 495
○ 500
○ 505
○ 510
○ 515
○ 520
○ 525
○ 530
○ 535
○ 540
○ 545
○ 550
○ 555
○ 560
○ 565
○ 570
○ 575
○ 580
○ 585
○ 590
○ 595
○ 600
○ 605
○ 610
○ 615
○ 620
○ 625
○ 630
○ 635
○ 640
○ 645
○ 650
○ 655
○ 660
○ 665
○ 670
○ 675
○ 680
○ 685
○ 690
○ 695
○ 700
○ 705
○ 710
○ 715
○ 720
○ 725
○ 730
○ 735
○ 740
○ 745
○ 750
○ 755
○ 760
○ 765
○ 770
○ 775
○ 780
○ 785
○ 790
○ 795
○ 800
○ 805
○ 810
○ 815
○ 820
○ 825
○ 830
○ 835
○ 840
○ 845
○ 850
○ 855
○ 860
○ 865
○ 870
○ 875
○ 880
○ 885
○ 890
○ 895
○ 900
○ 905
○ 910
○ 915
○ 920
○ 925
○ 930
○ 935
○ 940
○ 945
○ 950
○ 955
○ 960
○ 965
○ 970
○ 975
○ 980
○ 985
○ 990
○ 995
○ 1000
○ 1005
○ 1010
○ 1015
○ 1020
○ 1025
○ 1030
○ 1035
○ 1040
○ 1045
○ 1050
○ 1055
○ 1060
○ 1065
○ 1070
○ 1075
○ 1080
○ 1085
○ 1090
○ 1095
○ 1100
○ 1105
○ 1110
○ 1115
○ 1120
○ 1125
○ 1130
○ 1135
○ 1140
○ 1145
○ 1150
○ 1155
○ 1160
○ 1165
○ 1170
○ 1175
○ 1180
○ 1185
○ 1190
○ 1195
○ 1200
○ 1205
○ 1210
○ 1215
○ 1220
○ 1225
○ 1230
○ 1235
○ 1240
○ 1245
○ 1250
○ 1255
○ 1260
○ 1265
○ 1270
○ 1275
○ 1280
○ 1285
○ 1290
○ 1295
○ 1300
○ 1305
○ 1310
○ 1315
○ 1320
○ 1325
○ 1330
○ 1335
○ 1340
○ 1345
○ 1350
○ 1355
○ 1360
○ 1365
○ 1370
○ 1375
○ 1380
○ 1385
○ 1390
○ 1395
○ 1400
○ 1405
○ 1410
○ 1415
○ 1420
○ 1425
○ 1430
○ 1435
○ 1440
○ 1445
○ 1450
○ 1455
○ 1460
○ 1465
○ 1470
○ 1475
○ 1480
○ 1485
○ 1490
○ 1495
○ 1500
○ 1505
○ 1510
○ 1515
○ 1520
○ 1525
○ 1530
○ 1535
○ 1540
○ 1545
○ 1550
○ 1555
○ 1560
○ 1565
○ 1570
○ 1575
○ 1580
○ 1585
○ 1590
○ 1595
○ 1600
○ 1605
○ 1610
○ 1615
○ 1620
○ 1625
○ 1630
○ 1635
○ 1640
○ 1645
○ 1650
○ 1655
○ 1660
○ 1665
○ 1670
○ 1675
○ 1680
○ 1685
○ 1690
○ 1695
○ 1700
○ 1705
○ 1710
○ 1715
○ 1720
○ 1725
○ 1730
○ 1735
○ 1740
○ 1745
○ 1750
○ 1755
○ 1760
○ 1765
○ 1770
○ 1775
○ 1780
○ 1785
○ 1790
○ 1795
○ 1800
○ 1805
○ 1810
○ 1815
○ 1820
○ 1825
○ 1830
○ 1835
○ 1840
○ 1845
○ 1850
○ 1855
○ 1860
○ 1865
○ 1870
○ 1875
○ 1880
○ 1885
○ 1890
○ 1895
○ 1900
○ 1905
○ 1910
○ 1915
○ 1920
○ 1925
○ 1930
○ 1935
○ 1940
○ 1945
○ 1950
○ 1955
○ 1960
○ 1965
○ 1970
○ 1975
○ 1980
○ 1985
○ 1990
○ 1995
○ 2000
○ 2005
○ 2010
○ 2015
○ 2020
○ 2025
○ 2030
○ 2035
○ 2040
○ 2045
○ 2050
○ 2055
○ 2060
○ 2065
○ 2070
○ 2075
○ 2080
○ 2085
○ 2090
○ 2095
○ 2100
○ 2105
○ 2110
○ 2115
○ 2120
○ 2125
○ 2130
○ 2135
○ 2140
○ 2145
○ 2150
○ 2155
○ 2160
○ 2165
○ 2170
○ 2175
○ 2180
○ 2185
○ 2190
○ 2195
○ 2200
○ 2205
○ 2210
○ 2215
○ 2220
○ 2225
○ 2230
○ 2235
○ 2240
○ 2245
○ 2250
○ 2255
○ 2260
○ 2265
○ 2270
○ 2275
○ 2280
○ 2285
○ 2290
○ 2295
○ 2300
○ 2305
○ 2310
○ 2315
○ 2320
○ 2325
○ 2330
○ 2335
○ 2340
○ 2345
○ 2350
○ 2355
○ 2360
○ 2365
○ 2370
○ 2375
○ 2380
○ 2385
○ 2390
○ 2395
○ 2400
○ 2405
○ 2410
○ 2415
○ 2420
○ 2425
○ 2430
○ 2435
○ 2440
○ 2445
○ 2450
○ 2455
○ 2460
○ 2465
○ 2470
○ 2475
○ 2480
○ 2485
○ 2490
○ 2495
○ 2500
○ 2505
○ 2510
○ 2515
○ 2520
○ 2525
○ 2530
○ 2535
○ 2540
○ 2545
○ 2550
○ 2555
○ 2560
○ 2565
○ 2570
○ 2575
○ 2580
○ 2585
○ 2590
○ 2595
○ 2600
○ 2605
○ 2610
○ 2615
○ 2620
○ 2625
○ 2630
○ 2635
○ 2640
○ 2645
○ 2650
○ 2655
○ 2660
○ 2665
○ 2670
○ 2675
○ 2680
○ 2685
○ 2690
○ 2695
○ 2700
○ 2705
○ 2710
○ 2715
○ 2720
○ 2725
○ 2730
○ 2735
○ 2740
○ 2745
○ 2750
○ 2755
○ 2760
○ 2765
○ 2770
○ 2775
○ 2780
○ 2785
○ 2790
○ 2795
○ 2800
○ 2805
○ 2810
○ 2815
○ 2820
○ 2825
○ 2830
○ 2835
○ 2840
○ 2845
○ 2850
○ 2855
○ 2860
○ 2865
○ 2870
○ 2875
○ 2880
○ 2885
○ 2890
○ 2895
○ 2900
○ 2905
○ 2910
○ 2915
○ 2920
○ 2925
○ 2930
○ 2935
○ 2940
○ 2945
○ 2950
○ 2955
○ 2960
○ 2965
○ 2970
○ 2975
○ 2980
○ 2985
○ 2990
○ 2995
○ 3000
○ 3005
○ 3010
○ 3015
○ 3020
○ 3025
○ 3030
○ 3035
○ 3040
○ 3045
○ 3050
○ 3055
○ 3060
○ 3065
○ 3070
○ 3075
○ 3080
○ 3085
○ 3090
○ 3095
○ 3100
○ 3105
○ 3110
○ 3115
○ 3120
○ 3125
○ 3130
○ 3135
○ 3140
○ 3145
○ 3150
○ 3155
○ 3160
○ 3165
○ 3170
○ 3175
○ 3180
○ 3185
○ 3190
○ 3195
○ 3200
○ 3205
○ 3210
○ 3215
○ 3220
○ 3225
○ 3230
○ 3235
○ 3240
○ 3245
○ 3250
○ 3255
○ 3260
○ 3265
○ 3270
○ 3275
○ 3280
○ 3285
○ 3290
○ 3295
○ 3300
○ 3305
○ 3310
○ 3315
○ 3320
○ 3325
○ 3330
○ 3335
○ 3340
○ 3345
○ 3350
○ 3355
○ 3360
○ 3365
○ 3370
○ 3375
○ 3380
○ 3385
○ 3390
○ 3395
○ 3400
○ 3405
○ 3410
○ 3415
○ 3420
○ 3425
○ 3430
○ 3435
○ 3440
○ 3445
○ 3450
○ 3455
○ 3460
○ 3465
○ 3470
○ 3475
○ 3480
○ 3485
○ 3490
○ 3495
○ 3500
○ 3505
○ 3510
○ 3515
○ 3520
○ 3525
○ 3530
○ 3535
○ 3540
○ 3545
○ 3550
○ 3555
○ 3560
○ 3565
○ 3570
○ 3575
○ 3580
○ 3585
○ 3590
○ 3595
○ 3600
○ 3605
○ 3610
○ 3615
○ 3620
○ 3625
○ 3630
○ 3635
○ 3640
○ 3645
○ 3650
○ 3655
○ 3660
○ 3665
○ 3670
○ 3675
○ 3680
○ 3685
○ 3690
○ 3695
○ 3700
○ 3705
○ 3710
○ 3715
○ 3720
○ 3725
○ 3730
○ 3735
○ 3740
○ 3745
○ 3750
○ 3755
○ 3760
○ 3765
○ 3770
○ 3775
○ 3780
○ 3785
○ 3790
○ 3795
○ 3800
○ 3805
○ 3810
○ 3815
○ 3820
○ 3825
○ 3830
○ 3835
○ 3840
○ 3845
○ 3850
○ 3855
○ 3860
○ 3865
○ 3870
○ 3875
○ 3880
○ 3885
○ 3890
○ 3895
○ 3900
○ 3905
○ 3910
○ 3915
○ 3920
○ 3925
○ 3930
○ 3935
○ 3940
○ 3945
○ 3950
○ 3955
○ 3960
○ 3965
○ 3970
○ 3975
○ 3980
○ 3985
○ 3990
○ 3995
○ 4000
○ 4005
○ 4010
○ 4015
○ 4020
○ 4025
○ 4030
○ 4035
○ 4040
○ 4045
○ 4050
○ 4055
○ 4060
○ 4065
○ 4070
○ 4075
○ 4080
○ 4085
○ 4090
○ 4095
○ 4100
○ 4105
○ 4110
○ 4115
○ 4120
○ 4125
○ 4130
○ 4135
○ 4140
○ 4145
○ 4150
○ 4155
○ 4160
○ 4165
○ 4170
○ 4175
○ 4180
○ 4185
○ 4190
○ 4195
○ 4200
○ 4205
○ 4210
○ 4215
○ 4220
○ 4225
○ 4230
○ 4235
○ 4240
○ 4245
○ 4250
○ 4255
○ 4260
○ 4265
○ 4270
○ 4275
○ 4280
○ 4285
○ 4290
○ 4295
○ 4300
○ 4305
○ 4310
○ 4315
○ 4320
○ 4325
○ 4330
○ 4335
○ 4340
○ 4345
○ 4350
○ 4355
○ 4360
○ 4365
○ 4370
○ 4375
○ 4380
○ 4385
○ 4390
○ 4395
○ 4400
○ 4405
○ 4410
○ 4415
○ 4420
○ 4425
○ 4430
○ 4435
○ 4440
○ 4445
○ 4450
○ 4455
○ 4460
○ 4465
○ 4470
○ 4475
○ 4480
○ 4485
○ 4490
○ 4495
○ 4500
○ 4505
○ 4510
○ 4515
○ 4520
○ 4525
○ 4530
○ 4535
○ 4540
○ 4545
○ 4550
○ 4555
○ 4560
○ 4565
○ 4570
○ 4575
○ 4580
○ 4585
○ 4590
○ 4595
○ 4600
○ 4605
○ 4610
○ 4615
○ 4620
○ 4625
○ 4630
○ 4635
○ 4640
○ 4645
○ 4650
○ 4655
○ 4660
○ 4665
○ 4670
○ 4675
○ 4680
○ 4685
○ 4690
○ 4695
○ 4700
○ 4705
○ 4710
○ 4715
○ 4720
○ 4725
○ 4730
○ 4735
○ 4740
○ 4745
○ 4750
○ 4755
○ 4760
○ 4765
○ 4770
○ 4775
○ 4780
○ 4785
○ 4790
○ 4795
○ 4800
○ 4805
○ 4810
○ 4815
○ 4820
○ 4825
○ 4830
○ 4835
○ 4840
○ 4845
○ 4850
○ 4855
○ 4860
○ 4865
○ 4870
○ 4875
○ 4880
○ 4885
○ 4890
○ 4895
○ 4900
○ 4905
○ 4910
○ 4915
○ 4920
○ 4925
○ 4930
○ 4935
○ 4940
○ 4945
○ 4950
○ 4955
○ 4960
○ 4965
○ 4970
○ 4975
○ 4980
○ 4985
○ 4990
○ 4995
○ 5000
○ 5005
○ 5010
○ 5015
○ 5020
○ 5025
○ 5030
○ 5035
○ 5040
○ 5045
○ 5050
○ 5055
○ 5060
○ 5065
○ 5070
○ 5075
○ 5080
○ 5085
○ 5090
○ 5095
○ 5100
○ 5105
○ 5110
○ 5115
○ 5120
○ 5125
○ 5130
○ 5135
○ 5140
○ 5145
○ 5150
○ 5155
○ 5160
○ 5165
○ 5170
○ 5175
○ 5180
○ 5185
○ 5190
○ 5195
○ 5200
○ 5205
○ 5210
○ 5215
○ 5220
○ 5225
○ 5230
○ 5235
○ 5240
○ 5245
○ 5250
○ 5255
○ 5260
○ 5265
○ 5270
○ 5275
○ 5280
○ 5285
○ 5290
○ 5295
○ 5300
○ 5305
○ 5310
○ 5315
○ 5320
○ 5325
○ 5330
○ 5335
○ 5340
○ 5345
○ 5350
○ 5355
○ 5360
○ 5365
○ 5370
○ 5375
○ 5380
○ 5385
○ 5390
○ 5395
○ 5400
○ 5405
○ 5410
○ 5415
○ 5420
○ 5425
○ 5430
○ 5435
○ 5440
○ 5445
○ 5450
○ 5455
○ 5460
○ 5465
○ 5470
○ 5475
○ 5480
○ 5485
○ 5490
○ 5495
○ 5500
○ 5505
○ 5510
○ 5515
○ 5520
○ 5525
○ 5530
○ 5535
○ 5540
○ 5545
○ 5550
○ 5555
○ 5560
○ 5565
○ 5570
○ 5575
○ 5580
○ 5585
○ 5590
○ 5595
○ 5600
○ 5605
○ 5610
○ 5615
○ 5620
○ 5625
○ 5630
○ 5635
○ 5640
○ 5645
○ 5650
○ 5655
○ 5660
○ 5665
○ 5670
○ 5675
○ 5680
○ 5685
○ 5690
○ 5695
○ 5700
○ 5705
○ 5710
○ 5715
○ 5720
○ 5725
○ 5730
○ 5735
○ 5740
○ 5745
○ 5750
○ 5755
○ 5760
○ 5765
○ 5770
○ 5775
○ 5780
○ 5785
○ 5790
○ 5795
○ 5800
○ 5805
○ 5810
○ 5815
○ 5820
○ 5825
○ 5830
○ 5835
○ 5840
○ 5845
○ 5850
○ 5855
○ 5860
○ 5865
○ 5870
○ 5875
○ 5880
○ 5885
○ 5890
○ 5895
○ 5900
○ 5905
○ 5910
○ 5915
○ 5920
○ 5925
○ 5930
○ 5935
○ 5940
○ 5945
○ 5950
○ 5955
○ 5960
○ 5965
○ 5970
○ 5975
○ 5980
○ 5985
○ 5990
○ 5995
○ 6000
○ 6005
○ 6010
○ 6015
○ 6020
○ 6025
○ 6030
○ 6035
○ 6040
○ 6045
○ 6050
○ 6055
○ 6060
○ 6065
○ 6070
○ 6075
○ 6080
○ 6085
○ 6090
○ 6095
○ 6100
○ 6105
○ 6110
○ 6115
○ 6120
○ 6125
○ 6130
○ 6135
○ 6140
○ 6145
○ 6150
○ 6155
○ 6160
○ 6165
○ 6170
○ 6175
○ 6180
○ 6185
○ 6190
○ 6195
○ 6200
○ 6205
○ 6210
○ 6215
○ 6220
○ 6225
○ 6230
○ 6235
○ 6240
○ 6245
○ 6250
○ 6255
○ 6260
○ 6265
○ 6270
○ 6275
○ 6280
○ 6285
○ 6290
○ 6295
○ 6300
○ 6305
○ 6310
○ 6315
○ 6320
○ 6325
○ 6330
○ 6335
○ 6340
○ 6345
○ 6350
○ 6355
○ 6360
○ 6365
○ 6370
○ 6375
○ 6380
○ 6385
○ 6390
○ 6395
○ 6400
○ 6405
○ 6410
○ 6415
○ 6420
○ 6425
○ 6430
○ 6435
○ 6440
○ 6445
○ 6450
○ 6455
○ 6460
○ 6465
○ 6470
○ 6475
○ 6480
○ 6485
○ 6490
○ 6495
○ 6500
○ 6505
○ 6510
○ 6515
○ 6520
○ 6525
○ 6530
○ 6535
○ 6540
○ 6545
○ 6550
○ 6555
○ 6560
○ 6565
○ 6570
○ 6575
○ 6580
○ 6585
○ 6590
○ 6595
○ 6600
○ 6605
○ 6610
○ 6615
○ 6620
○ 6625
○ 6630
○ 6635
○ 6640
○ 6645
○ 6650
○

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
19	内装工事	○ 9. フローリング張り 図	内装工事	○ 12. 壁紙張り	・ホルムアルデヒド放散量：○ 規制対象外、○ () 施工箇所 壁紙の種類 ○ 紙、○ 繊維、○ プラスチック、○ 不燃、○ 準不燃 ○ 無機質、○ その他 ○ 難燃、○ 不燃、○ 準不燃 ○ 紙、○ 繊維、○ プラスチック、○ 不燃、○ 準不燃 ○ 無機質、○ その他 ○ 難燃、○ 準不燃 ・モルタル、メススターⅡの素地ごしらえ：○ B種、○ A種 ・コンクリート面の素地ごしらえ：○ B種、○ A種 ・せっこうボード面の素地ごしらえ：○ B種、○ A種	表示	・衝突防止表示：○ 30φ、○ () 形状、寸法 ○ ステンレス製、○ () 材質 ○ JIS Z 8210による ・案内用記号：○ 適用する、○ 適用しない ・非常用出入口：○ 適用する、○ 適用しない ○ 誘導標識、非常用出入口等の表示：○ 消防法に適合する市販品、○ () ・色、書体、印刷等の種別、取付け形式等：図示による ○ その他の表示：● 壁札・位置は図示 <8-43-1> W 300 × H 60 縦書き シラ文字	
		・単層フローリング：(19. 5. 2~6) (表 19. 5. 1~5) ○ フローリングボード等 工法 ○ 釘留め工法 (○ 根太張り、○ 直張り)、○ 接着工法 仕様 ○ なら 厚さ、大きさ ○ 標準仕様書表19. 5. 1による、○ 仕上塗装 ○ 塗装品、○ 無塗装品 間伐材等の適用 ○ 適用する、○ 適用しない ○ フローリングブロック 1等 工法 ○ 接着工法 仕様 ○ なら 厚さ、大きさ ○ 標準仕様書表19. 5. 1による、○ 仕上塗装 ○ 塗装品、○ 無塗装品 間伐材等の適用 ○ 適用する、○ 適用しない ・複合フローリング ○ 天然木化粧複合フローリング 工法 ○ 釘留め工法 (○ 根太張り、○ 直張り)、○ 接着工法 仕様 ○ なら 種別 (表19. 5. 2) ○ A種、○ B種、○ C種 仕上塗装 ○ 塗装品、○ 無塗装品 間伐材等の適用 ○ 適用する、○ 適用しない ・フローリング及び接着剤のホルムアルデヒド放散量：○ 規制対象外、○ () ・接着工法の場合の表面繊維材：○ 合成樹脂発泡シート、○ () ・現場塗装仕上げ：施工箇所 ○ ウレタン樹脂ワニス塗り ○ オイルステインの上、ワックス塗り ○ 生地のおまツクス塗り		○ 10. 表示 (20. 2. 10) ・適用安全使用温度 (上限温度)：○ 400℃、○ 650℃、○ () ・適用安全使用温度 (下限温度)：○ () ・煙突成形ライン工材料：(品質・性能及び試験方法) 建築材料等品質性能表による				
19	内装工事	○ 10. 畳敷き	断熱材 図	○ 13. 断熱材 図	・フェノールフォームを使用した断熱材のホルムアルデヒド放散量：○ 規制対象外、○ () 断熱材打込み方法 種類 厚さ (mm) ○ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材 ○ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (※) ○ 硬質ウレタンフォーム断熱材 ○ フェノールフォーム断熱材 ○ 断熱材現場発泡工法：断熱材の種類 ○ A種、○ A種H 厚さ (mm) ○ 25、○ 30、○ () 施工箇所 ○ 図示、○ () ○ 現場発泡断熱材：(品質・性能及び試験方法) 建築材料等品質性能表による ○ ※ 複合板 (新SI工法)	○ 11. 煙突ライン工 (20. 2. 11) ・適用安全使用温度 (上限温度)：○ 400℃、○ 650℃、○ () ・適用安全使用温度 (下限温度)：○ () ・煙突成形ライン工材料：(品質・性能及び試験方法) 建築材料等品質性能表による	ユニット及びその他の工事	○ 25. 流し台ユニット ・ユニットの形状、寸法：○ 図示、○ ()
		・種別：○ A種、○ B種、○ C種、○ D種 (畳床：○ KT-I、○ KT-II、○ KT-III、○ KT-K、○ KT-N) ・下地の種類：○ 標準仕様書表12. 6. 1による床組 ○ ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロロ 図) ○ () ・畳表及び畳床：ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びヒステレンを放散しないが、 発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 (19. 7. 2. 3) (表 19. 7. 1) ・適用：以下によるほか、図示による。 ・合板類、MDF及びパーティクルボード、接着剤のホルムアルデヒド放散量：○ 規制対象外、○ () ・木質系セメント板：種類 厚さ (mm)、規格等 ○ 硬質木毛セメント板 図 ○ 15、○ 20、○ 25、 ○ 中質木毛セメント板 図 ○ 15、○ 20、○ 25、 ○ 普通木毛セメント板 図 ○ 15、○ 20、○ 25、 ○ 硬質木片セメント板 図 ○ 12、○ 15、○ 18、○ 21、○ ○ 普通木片セメント板 図 ○ 30、○ ・繊維強化セメント板：種類 厚さ (mm)、規格等 ○ けい酸カルシウム板 タイプ 2 (無石棉) ○ 6、○ 8 ・火山性ガラス質複層板：種類 厚さ (mm)、規格等 ○ 火山性ガラス質複層板 ・繊維板：種類 厚さ (mm)、規格等 ○ ハードボード (素地) ○ 未研磨板 (○ スタンダード、○ テンバード) RN ○ 研磨板 (○ スタンダード、○ テンバード) RS ○ ハードボード (化粧) ○ 内装用H、○ 外装用H ○ 2. 5、○ 3. 5、○ 5、○ 7 ○ ミディアムデンシティファイバーボード 図 ○ 3、○ 7、○ 9、○ 12 ○ インシュレーションボード 図 A級 (○ 天井仕上、○ 内装仕上、○ ボード 図 ○ 9、○ 12、○ 15、○ 18 ・パーティクルボード：種類 厚さ (mm)、規格等 ○ 単板張り 図 ○ 無研磨板 VN、○ 研磨板 VS ○ 10、○ 12、○ 15、○ 18、○ ○ 化粧パーティクルボード 図 ○ 単板オーバーレイ DV ○ プラスチックオーバーレイ D0 ○ 塗装 DC ○ 10 (難燃)、○ 12 (難燃)、○ ・吸音材料：種類 厚さ (mm)、規格等 ○ ロックウール化粧吸音板 ○ フラットタイプ (○ 9 (不燃)、○ 12 (不燃)、○ ○ 凹凸タイプ (○ 12 (不燃)、○ 15 (不燃)、○ ○ ロックウール吸音ボード1号 ○ 25、○ ● グラスウール吸音ボード32K ● 25 (ガラスクロス系)、○ ・せっこうボード製品：種類 厚さ (mm)、規格等 ● セっこうボード (※) ● 12. 5 (不燃)、○ 15 (不燃)、○ ○ 不燃積層セっこうボード ○ 9. 5 (不燃)、○ ● シージングセっこうボード ● 12. 5 (○ 不燃、○ 準不燃) ○ 強化セっこうボード ○ 12. 5 (不燃)、○ 15 (不燃) ○ セっこうラスボード ○ 9. 5 ○ 化粧セっこうボード ○ 12. 5 (不燃) 幅40mm程度 仕様 (○ 柱目、○ 板目、専用下地材有り 目目) ● 化粧セっこうボード ○ 9. 5 (準不燃) ● 9. 5 (不燃) ・合板、化粧板：種類 厚さ (mm)、規格等 表面の樹種 生地 透明塗料塗り (○ ラワン程度、○ 不透明塗料塗り (○ しな程度、○ ○ 普通合板 図 板面の品質 (○ 1類、○ 2類) 接着の程度 (○ する、○ しない) 厚さ (mm) (○ する、○ しない) 防火処理 (○ する、○ しない) 化粧板の樹種名 () 接着の程度 (○ 1類、○ 2類) 厚さ (mm) () 防火処理 (○ する、○ しない) ○ 天然木化粧合板 図 化粧板の樹種名 () 接着の程度 (○ 1類、○ 2類) 厚さ (mm) () 防火処理 (○ する、○ しない) 化粧加工の方法 (○ オーバーレイ、○ プリント、○ 塗装) 表面性能 () タイプ 接着の程度 (○ 1類、○ 2類) 厚さ (mm) () 防火処理 (○ する、○ しない) ○ メラミン樹脂化粧板 JIS K 6903 による厚さ (○ 1. 2、○ ○ ポリエステル樹脂化粧板 ・せっこうボード等の下地：○ 図示、○ () ・遮音シール材：○ 適用する ○ シーリング材、○ ジョイントコンパウンド) ○ 適用しない ○ B種、○ A種 ・せっこうボードの目地工法：○ 仕上げ表による、○ (目隠し工法) ○ ※ 複合板 (新SI工法)		○ 13. ロールスクリーン 図 操作方式 ○ スプリング式、○ コード式、○ 電動式 幅、高さ ○ 図示、○ 材質 ○ ガラス繊維製、○ 合成・天然繊維製、○ 木製 品質等 その他の材料 ○ ロールスクリーンの製造所の仕様、○ (20. 2. 16) 形式 ○ シングル、○ ダブル 片引き ○ 片引き、○ 引分け 開閉操作 ○ 手引き、○ ひも引き ○ 電動 ひだの種類 ○ フランスひだ ○ 箱ひだ、つまみひだ ○ プレーンひだ、片ひだ まれの種類、品質、特殊加工等 取付箇所 ○ 図示、○ ○ 図示、○ 備考 (縦書き) ・ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は、図とする ・縦溝カーテンの両端、上部及び召合せの重なり：○ 300mm以上、○ () (20. 2. 16) 材料による区分 ○ アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材 ○ ステンレス製 区分による区分 ○ アルミ、○ 仕上げ ○ アルミ、○ 形状 ○ 角形、○ 横幅×深さ (mm) ○ 90×150、○ 120×80、○ 120×150、○ 150×80、○ 図示 集成材 (仕上げ) ○ アルミニウム製 押出し型材 (市販品) 種別 (標準仕様書 表14. 2. 1) ○ BC-1種、○ BC-2種 色合い ○ 標準色 ()、○ 特注色 () ○ 鋼製 (仕上げ) 材料 寸法 形式 備考 ○ アルミニウム製 ○ 450×450 ○ 一般形 ○ 屋内外用 ○ 縦溝タイプ ○ 600×600 ○ 一般形 ○ 屋内外用 ○ 縦溝タイプ ○ 窓密閉 ○ 窓密閉 ○ 窓密閉 ○ 窓密閉 (品質・性能及び試験方法) 建築材料等品質性能表による 材料 寸法 形式 備考 ○ アルミニウム製 ● 300×300 ● 一般形 ○ 屋内外用 ○ 鍵付き ○ ステンレス製 ○ 450×450 ○ 窓密閉 ● 屋内用 ○ ● 鍵付き ○ 600×600 ○ 窓密閉 ○ 密閉形とはボルト、ナット等メカニカル構造にバックキンを装着したものとする (品質・性能及び試験方法) 建築材料等品質性能表による 材料 寸法 形式 備考 ○ アルミニウム製 ○ 450×450 ○ 一般形 ○ 屋内外用 ○ 鍵付き ○ ステンレス製 ○ 600×600 ○ 窓密閉 ○ 屋内用 ○ ○ 鋼製 ○ (品質・性能及び試験方法) 建築材料等品質性能表による 方向 タイプ 耐火性能 防水性能 備考 ○ 垂直方向 ○ 完全 (全貫通型) ○ 耐火型 ○ 有り ○ 水平方向 ○ ○ 非耐火型 ○ 無し ・目地：目地 内壁 外壁 目地材 ○ シーリング材 (見え掛かりのみ) ○ シーリング材 (見え掛かりのみ) 目地寸法 ○ シーリング材 (内外とも) 幅 (mm) 20×10 ○ 20×10 幅 (mm) 20×10 ○ 目地材の材質は標準仕様書表9. 7. 1による 形状 ○ 差込式、● 掘置き、○ 壁張り式 施工箇所 ○ 図示、○ ○ 22. エキスパンションジョイント金物 ○ 施工箇所 材質 ○ アルミニウム製、○ ステンレス製 建築物間のクリアランス (mm) ○ 50、○ 100、○ 150、○ 変位追従量 (mm) 避難経路の床等 以上、その他 以上 耐火性能 ○ 有り、()、○ 無し 断熱性能 ○ 有り、()、○ 無し 備考 ○ 施工箇所 材質 ○ アルミニウム製、○ ステンレス製 建築物間のクリアランス (mm) ○ 50、○ 100、○ 150、○ 変位追従量 (mm) 避難経路の床等 以上、その他 以上 耐火性能 ○ 有り、()、○ 無し 断熱性能 ○ 有り、()、○ 無し 備考 外部に設置するものは防水型とする エキスパンションジョイントカバーには脱落防止措置を講ずる 材料 受け枠 備考 ○ 強化ビニル又はゴム製 ○ ステンレス鋼 (SUS304) ○ 硬質アルミニウム合金製 ○ 硬質アルミニウム合金 ○ ステンレス鋼 (SUS304) 製 ○ ・タラップ：○ ステンレス製 SUS314 (表面処理 ○ 研削なし、○ HL程度) (表面処理 ○ 溶融亜鉛めっきC種、○ ()) (20. 2. 12)	○ 26. 旗竿 ○ 27. 旗竿受金物 ○ 28. 車止め支柱 ○ 29. フェンス ○ 30. プレキャストコンクリート ・コンクリートの設計基準強度：○ 水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m ³ を満足する設計強度 ○ 図示 ・配筋：○ 配筋を定めた計算書を監督職員に提出する、○ 図示 ・取付け方法：○ 図示、○ () (20. 4. 2、3) ・材料：○ アルミニウム製、○ () ・表面の材質：○ 塩化亜鉛シート張り、○ () ・材料：○ メラミン樹脂化粧板張り (心材：集成材)、○ 人工大理石 ・奥行き (mm)：○ 約 450、○ 約 600 ・固定式：材質 厚さ (mm) 高さ (mm) アルミ製 備考 ○ 網入り樹脂ガラス ○ 6. 8 ○ 500 アルミ製 取り付け ○ 網入り樹脂ガラス ○ ○ ・可動式：種類 材質 高さ (mm) 備考 ○ 垂直降下式 (巻取り型) 不燃布 (不燃認定品) ○ 500 ガイドレール ○ 可動式 (天井収納型) ○ 500 ○ 回転降下式 鋼板製又はアルミ製 ○ 800 ○ 天井材張り 降下機構 検知器連動及び手動開放装置 (埋込型) ・照明器具：○ 有り、○ 無し ・施設：○ 有り、○ 無し ・材質、形状、寸法：○ 図示、○ () ・合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量：○ 規制対象外、○ () ・壁等に固定する家具：家具名称 設置場所 固定方法 備考 ○ 壁固定 (図示) ○ 床固定 (図示) ○ 壁固定 (図示) ○ 床固定 (図示) ○ 壁固定 (図示) ○ 床固定 (図示) ○ 壁固定 (図示) ○ 床固定 (図示) 軽量鉄骨壁下地等への補強 ○ 図示、○ () 収納物の散乱防止措置 (ラッチ機構、ロック機構等) 講ずる 地震力に対する安全性 設計用震度 性能 設計用水平震度 (K _h) 設計用震度の地震による引抜き力に對して、固定金具に生じる応力度が所定の応力度内にあり、有害な残留ひずみが生じないものとする。 ただし、所定の耐力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震力に對して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。 設計用鉛直震度 (K _v) 所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基準 (製造者等により構成される協会等が定める指針等を参照) が定める値とする。 ○			
20	内装工事	○ 11. セっこうボード その他のボード及び合板張り	○ 1. フリーアクセスフロア (20. 2. 2) 施工箇所 構造 ○ 宙置き ○ 支柱調整式 ○ 宙置き ○ 支柱調整式 寸法 (mm) ○ 500×500 ○ 500×500 ○ 500×500 高さ (mm) ○ 1. 02、○ 0. 66 ○ 1. 05、○ 0. 66 ○ 1. 06、○ 0. 66 耐震性能 ○ 3. 000N、○ 5. 000N ○ 3. 000N、○ 5. 000N ○ 3. 000N、○ 5. 000N 所定荷重 ○ 普通型止床タイプ ○ 普通型止床タイプ ○ 普通型止床タイプ 表面仕上材 ○ タイルカーペット ○ タイルカーペット ○ タイルカーペット 備考 (品質・性能及び試験方法) 建築材料等品質性能表による ・寸法精度：○ 標準仕様書20. 2. 2 (2) (a) (b) (c) による ○ 以下による パネルの長さ () パネルの平面形状 (角度) () フリーアクセスフロアの高さ () (20. 2. 3) 構造形式 ○ スタッド式 (内蔵)、○ スタッド式 (露出)、○ パネル式 構造基材の種類 ○ スタッド ○ パネル 表面仕上げ材 (パネル表面仕上げ) ○ メラミン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付、○ 壁紙張り 遮音性 (dB 500Hz) ○ 0、○ 12、○ 20、○ 28、○ 36 防火性能 ○ 不燃、○ ・パネル内に取付ける建具：○ あり (○ 図示、○ ・ドアクローザー、丁番、錠前、上げ落とし：○ 標準仕様書16章8節の建具用金物に対応する材質 ・表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能：標準仕様書19章による ・パネル材のホルムアルデヒド放散量：○ JIS A 6512によりF☆☆☆☆以上、 () (20. 2. 4) 走行方法 ○ 平行方向移動式、○ 二方向移動式 操作方法による種類 ○ 手動式、○ 電動式、○ 部分電動式 は接合部の操作方法 ○ フリクション式、○ ハンドル式、○ 構造厚さ (mm) パネル裏面材 材質 ○ 鋼板、○ 仕上げ ○ 焼付塗装、○ 壁紙張り、○ 遮音性 (dB 500Hz) ○ 36未満、○ 36以上 (品質・性能及び試験方法) 建築材料等品質性能表による ・パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能：標準仕様書19章による ハンガーレールの取付け下地の構造 ○ 取付け全重量の倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように構造する ○ 図示 ・ハンガーレール：○ ランナーを取り付けた状態で、パネル重量の5倍以上の荷重を、パネル1枚に使用するランナー数で除した値に對して、耐力及び変形量が使用上支障のないものとする () ○ () ○ ランナー：○ パネル重量の5倍以上の荷重を、パネル1枚に使用するランナー数で除した値に對して、耐力及び変形量が使用上支障のないものとする () ○ () ○ 4. トイレブース (20. 2. 5) 表面材の種類 ○ メラミン樹脂系化粧板、○ ポリエステル樹脂系化粧板 脚部 形状 ○ 幅木タイプ、○ 材質 ○ アルミニウム製、○ ステンレス製、 ドアエッジ 表面材と同材、○ 製造所の仕様 形状 ○ 標準、○ R (品質・性能及び試験方法) 建築材料等品質性能表による ・パネル材のホルムアルデヒド放散量：○ JIS A 6512によりF☆☆☆☆以上 () (10. 7. 4) ・材料：○ 石 (厚さ ○ 40、○ 図示)、○ 図示 (20. 2. 6) 材料 ○ ステンレス製、○ 黄銅製押出型材、○ アルミニウム製押出型材、 () 清り止め材 形状 ○ ひも型、○ タイヤ型 材質 ○ ゴム、○ 合成樹脂、○ () 工法 ○ 接着工法、○ 埋込み工法 取付け 幅 (mm) ○ 図示、○ 端部フラットエンド ○ あり、○ なし (20. 2. 6) 材料 表面仕上げ サイズ (mm) 取付箇所 備考 ○ 集成材 ○ クリアラッカー ○ 35、○ 45、 ○ ビニル製ハンドレール ○ アルミ製 BB-1種 (表14. 2. 1) 図示 ○ アルミ製 BB-1種 (表14. 2. 1) ※ BL認定品、65型汎手摺 (300型) とする (20. 2. 8) ○ 区分 ○ 焼付け、○ () ○ 黒板 種類 ○ ほうろう黒板、○ () 色 ○ 緑、○ () ○ ホワイトボード ○ 機械設備 (衛生) 工事 (20. 2. 9) 取付箇所 寸法 (mm) ○ 図示、○ 厚さ (mm) ○ 5、○	○ 2. 可動間仕切 (20. 2. 3) 構造形式 ○ スタッド式 (内蔵)、○ スタッド式 (露出)、○ パネル式 構造基材の種類 ○ スタッド ○ パネル 表面仕上げ材 (パネル表面仕上げ) ○ メラミン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付、○ 壁紙張り 遮音性 (dB 500Hz) ○ 0、○ 12、○ 20、○ 28、○ 36 防火性能 ○ 不燃、○ ・パネル内に取付ける建具：○ あり (○ 図示、○ ・ドアクローザー、丁番、錠前、上げ落とし：○ 標準仕様書16章8節の建具用金物に対応する材質 ・表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能：標準仕様書19章による ・パネル材のホルムアルデヒド放散量：○ JIS A 6512によりF☆☆☆☆以上、 () (20. 2. 4) 走行方法 ○ 平行方向移動式、○ 二方向移動式 操作方法による種類 ○ 手動式、○ 電動式、○ 部分電動式 は接合部の操作方法 ○ フリクション式、○ ハンドル式、○ 構造厚さ (mm) パネル裏面材 材質 ○ 鋼板、○ 仕上げ ○ 焼付塗装、○ 壁紙張り、○ 遮音性 (dB 500Hz) ○ 36未満、○ 36以上 (品質・性能及び試験方法) 建築材料等品質性能表による ・パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能：標準仕様書19章による ハンガーレールの取付け下地の構造 ○ 取付け全重量の倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように構造する ○ 図示 ・ハンガーレール：○ ランナーを取り付けた状態で、パネル重量の5倍以上の荷重を、パネル1枚に使用するランナー数で除した値に對して、耐力及び変形量が使用上支障のないものとする () ○ () ○ ランナー：○ パネル重量の5倍以上の荷重を、パネル1枚に使用するランナー数で除した値に對して、耐力及び変形量が使用上支障のないものとする () ○ () ○ 4. トイレブース (20. 2. 5) 表面材の種類 ○ メラミン樹脂系化粧板、○ ポリエステル樹脂系化粧板 脚部 形状 ○ 幅木タイプ、○ 材質 ○ アルミニウム製、○ ステンレス製、 ドアエッジ 表面材と同材、○ 製造所の仕様 形状 ○ 標準、○ R (品質・性能及び試験方法) 建築材料等品質性能表による ・パネル材のホルムアルデヒド放散量：○ JIS A 6512によりF☆☆☆☆以上 () (10. 7. 4) ・材料：○ 石 (厚さ ○ 40、○ 図示)、○ 図示 (20. 2. 6) 材料 ○ ステンレス製、○ 黄銅製押出型材、○ アルミニウム製押出型材、 () 清り止め材 形状 ○ ひも型、○ タイヤ型 材質 ○ ゴム、○ 合成樹脂、○ () 工法 ○ 接着工法、○ 埋込み工法 取付け 幅 (mm) ○ 図示、○ 端部フラットエンド ○ あり、○ なし (20. 2. 6) 材料 表面仕上げ サイズ (mm) 取付箇所 備考 ○ 集成材 ○ クリアラッカー ○ 35、○ 45、 ○ ビニル製ハンドレール ○ アルミ製 BB-1種 (表14. 2. 1) 図示 ○ アルミ製 BB-1種 (表14. 2. 1) ※ BL認定品、65型汎手摺 (300型) とする (20. 2. 8) ○ 区分 ○ 焼付け、○ () ○ 黒板 種類 ○ ほうろう黒板、○ () 色 ○ 緑、○ () ○ ホワイトボード ○ 機械設備 (衛生) 工事 (20. 2. 9) 取付箇所 寸法 (mm) ○ 図示、○ 厚さ (mm) ○ 5、○	○ 13. ロールスクリーン 図 操作方式 ○ スプリング式、○ コード式、○ 電動式 幅、高さ ○ 図示、○ 材質 ○ ガラス繊維製、○ 合成・天然繊維製、○ 木製 品質等 その他の材料 ○ ロールスクリーンの製造所の仕様、○ (20. 2. 16) 形式 ○ シングル、○ ダブル 片引き ○ 片引き、○ 引分け 開閉操作 ○ 手引き、○ ひも引き ○ 電動 ひだの種類 ○ フランスひだ ○ 箱ひだ、つまみひだ ○ プレーンひだ、片ひだ まれの種類、品質、特殊加工等 取付箇所 ○ 図示、○ ○ 図示、○ 備考 (縦書き) ・ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は、図とする ・縦溝カーテンの両端、上部及び召合せの重なり：○ 300mm以上、○ () (20. 2. 16) 材料による区分 ○ アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材 ○ ステンレス製 区分による区分 ○ アルミ、○ 仕上げ ○ アルミ、○ 形状 ○ 角形、○ 横幅×深さ (mm) ○ 90×150、○ 120×80、○ 120×150、○ 150×80、○ 図示 集成材 (仕上げ) ○ アルミニウム製 押出し型材 (市販品) 種別 (標準仕様書 表14. 2. 1) ○ BC-1種、○ BC-2種 色合い ○ 標準色 ()、○ 特注色 () ○ 鋼製 (仕上げ) 材料 寸法 形式 備考 ○ アルミニウム製 ○ 450×450 ○ 一般形 ○ 屋内外用 ○ 縦溝タイプ ○ 600×600 ○ 一般形 ○ 屋内外用 ○ 縦溝タイプ ○ 窓密閉 ○ 窓密閉 ○ 窓密閉 ○ 窓密閉 (品質・性能及び試験方法) 建築材料等品質性能表による 材料 寸法 形式 備考 ○ アルミニウム製 ● 300×300 ● 一般形 ○ 屋内外用 ○ 鍵付き ○ ステンレス製 ○ 450×450 ○ 窓密閉 ● 屋内用 ○ ● 鍵付き ○ 600×600 ○ 窓密閉 ○ 密閉形とはボルト、ナット等メカニカル構造にバックキンを装着したものとする (品質・性能及び試験方法) 建築材料等品質性能表による 材料 寸法 形式 備考 ○ アルミニウム製 ○ 450×450 ○ 一般形 ○ 屋内外用 ○ 鍵付き ○ ステンレス製 ○ 600×600 ○ 窓密閉 ○ 屋内用 ○ ○ 鋼製 ○ (品質・性能及び試験方法) 建築材料等品質性能表による 方向 タイプ 耐火性能 防水性能 備考 ○ 垂直方向 ○ 完全 (全貫通型) ○ 耐火型 ○ 有り ○ 水平方向 ○ ○ 非耐火型 ○ 無し ・目地：目地 内壁 外壁 目地材 ○ シーリング材 (見え掛かりのみ) ○ シーリング材 (見え掛かりのみ) 目地寸法 ○ シーリング材 (内外とも) 幅 (mm) 20×10 ○ 20×10 幅 (mm) 20×10 ○ 目地材の材質は標準仕様書表9. 7. 1による 形状 ○ 差込式、● 掘置き、○ 壁張り式 施工箇所 ○ 図示、○ ○ 22. エキスパンションジョイント金物 ○ 施工箇所 材質 ○ アルミニウム製、○ ステンレス製 建築物間のクリアランス (mm) ○ 50、○ 100、○ 150、○ 変位追従量 (mm) 避難経路の床等 以上、その他 以上 耐火性能 ○ 有り、()、○ 無し 断熱性能 ○ 有り、()、○ 無し 備考 ○ 施工箇所 材質 ○ アルミニウム製、○ ステンレス製 建築物間のクリアランス (mm) ○ 50、○ 100、○ 150、○ 変位追従量 (mm) 避難経路の床等 以上、その他 以上 耐火性能 ○ 有り、()、○ 無し 断熱性能 ○ 有り、()、○ 無し 備考 外部に設置するものは防水型とする エキスパンションジョイントカバーには脱落防止措置を講ずる 材料 受け枠 備考 ○ 強化ビニル又はゴム製 ○ ステンレス鋼 (SUS304) ○ 硬質アルミニウム合金製 ○ 硬質アルミニウム合金 ○ ステンレス鋼 (SUS304) 製 ○ ・タラップ：○ ステンレス製 SUS314 (表面処理 ○ 研削なし、○ HL程度) (表面処理 ○ 溶融亜鉛めっきC種、○ ()) (20. 2. 12)	○ 21. 止水板 形状 ○ 差込式、● 掘置き、○ 壁張り式 施工箇所 ○ 図示、○ ○ 22. エキスパンションジョイント金物 ○ 施工箇所 材質 ○ アルミニウム製、○ ステンレス製 建築物間のクリアランス (mm) ○ 50、○ 100、○ 150、○ 変位追従量 (mm) 避難経路の床等 以上、その他 以上 耐火性能 ○ 有り、()、○ 無し 断熱性能 ○ 有り、()、○ 無し 備考 ○ 施工箇所 材質 ○ アルミニウム製、○ ステンレス製 建築物間のクリアランス (mm) ○ 50、○ 100、○ 150、○ 変位追従量 (mm) 避難経路の床等 以上、その他 以上 耐火性能 ○ 有り、()、○ 無し 断熱性能 ○ 有り、()、○ 無し 備考 外部に設置するものは防水型とする エキスパンションジョイントカバーには脱落防止措置を講ずる 材料 受け枠 備考 ○ 強化ビニル又はゴム製 ○ ステンレス鋼 (SUS304) ○ 硬質アルミニウム合金製 ○ 硬質アルミニウム合金 ○ ステンレス鋼 (SUS304) 製 ○ ・タラップ：○ ステンレス製 SUS314 (表面処理 ○ 研削なし、○ HL程度) (表面処理 ○ 溶融亜鉛めっきC種、○ ()) (20. 2. 12)	○ 23. くつみきマット 材料 受け枠 備考 ○ 強化ビニル又はゴム製 ○ ステンレス鋼 (SUS304) ○ 硬質アルミニウム合金製 ○ 硬質アルミニウム合金 ○ ステンレス鋼 (SUS304) 製 ○ ・タラップ：○ ステンレス製 SUS314 (表面処理 ○ 研削なし、○ HL程度) (表面処理 ○ 溶融亜鉛めっきC種、○ ()) (20. 2. 12)	○ 24. タラップ ・タラップ：○ ステンレス製 SUS314 (表面処理 ○ 研削なし、○ HL程度) (表面処理 ○ 溶融亜鉛めっきC種、○ ()) (20. 2. 12)

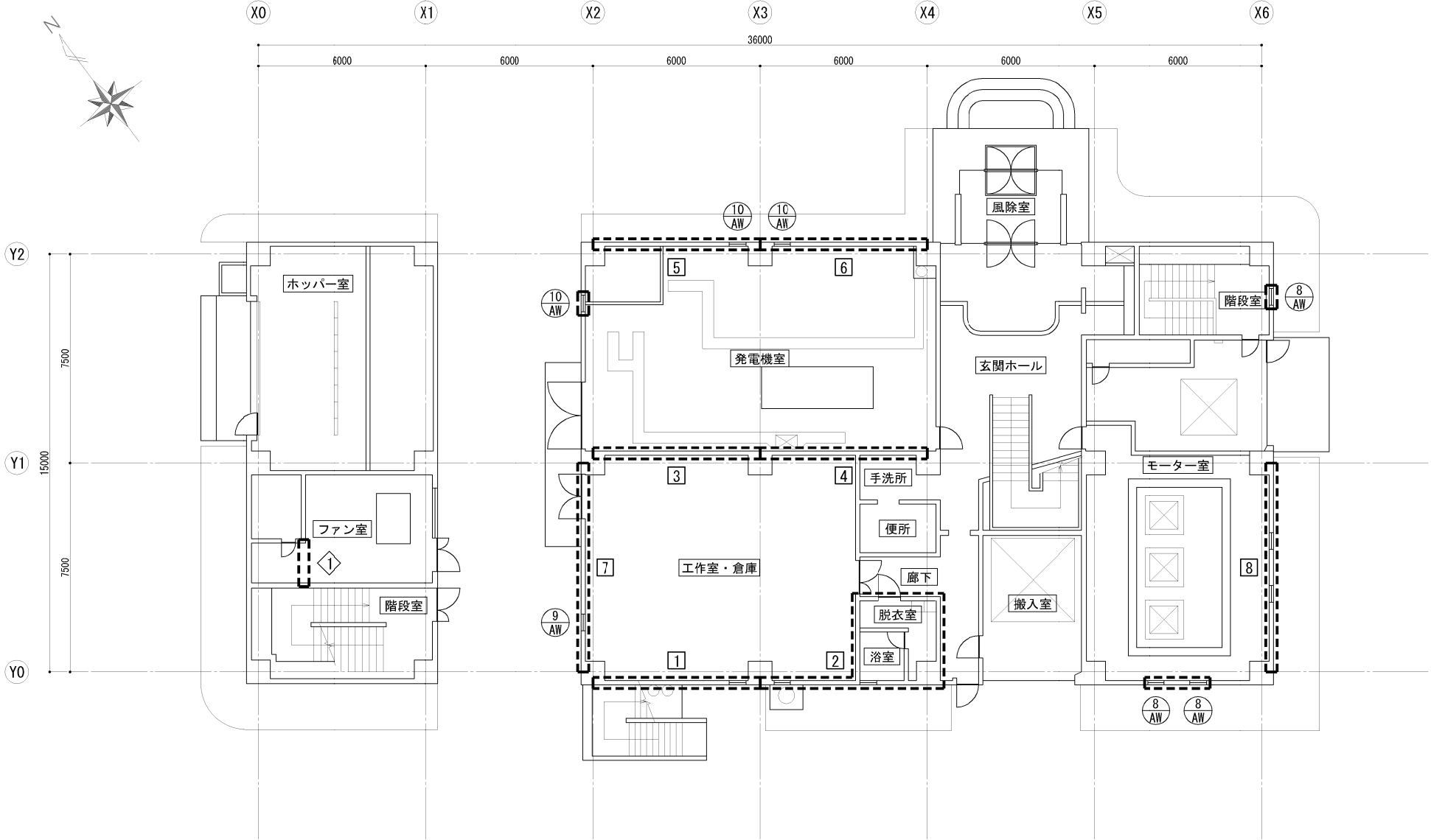
外部仕上表	
屋根	コンクリート金ゴテ打放し、アスファルト防水A-2、ポリエチレンフィルム厚0.15、豆砂利コンクリート金ゴテ厚90(伸縮目地：軟質塩ビ製 巾＝25)
パラペット	立上り、コンクリート金ゴテ、アスファルト防水A-2、防水モルタル金ゴテ仕上、笠木：アルミ自然発色厚2.0
外壁	コンクリート打放し（増打ち20mm）、吹付タイル
巾木(腰)	防水モルタル刷毛引き
庇	屋根：着色耐酸被膜鋼板厚0.5、庇鼻・庇脇：アルミ厚2.0、アクリル樹脂焼付塗装
玄関ポーチ	床：磁器質床タイル張り 200×100
足洗場	内部防水モルタル金ゴテ
排水溝	内部防水モルタル金ゴテ、グレーチング(亜鉛メッキ)

内部仕上表																
階	室名	床		巾木		腰			壁			天井				
		下地	仕上	仕上	高さ	下地	仕上	高さ	下地	仕上	柱型	下地	仕上	梁型	廻縁	天井高
B2階	沈砂池湧水槽		コンクリート金ゴテ							コンクリート打放し	コンクリート打放し		コンクリート打放し	コンクリート打放し		
	ポンプ室		軽量コンクリート金ゴテ厚100							コンクリート打放し	コンクリート打放し		コンクリート打放し	コンクリート打放し		
	水槽		無機質浸透性塗布防水							無機質浸透性塗布防水	無機質浸透性塗布防水		コンクリート打放し	コンクリート打放し		
B1階	沈砂池機械室		軽量コンクリート金ゴテ厚100	モルタル金ゴテ	200					コンクリート打放し	コンクリート打放し		コンクリート打放し	コンクリート打放し		
	配管室		モルタル金ゴテ	モルタル金ゴテ	200					コンクリート打放し	コンクリート打放し		コンクリート打放し	コンクリート打放し		
中1階	配管室		モルタル金ゴテ	モルタル金ゴテ	200					コンクリート打放し	コンクリート打放し		コンクリート打放し	コンクリート打放し		
1階	風除室	モルタル	磁器質床タイル張り200×100	ステンレス厚1.5	100					アルミ厚2.0 アクリル樹脂塗装パネル		L.G.S	アルミ厚2.0 アクリル樹脂塗装パネル			2.500
	玄関ホール	モルタル	ビニール系タイル張り 一部磁器質床タイル張り	小口タイル縦張り(役物)	100				コンクリート打放し	吹付タイル		L.G.S	岩綿吸音板張り厚12		アルミ製	5.000
	モーター室		軽量コンクリート金ゴテ厚300	モルタル金ゴテ	200	コンクリート	パーライト金ゴテ厚5	2.000	コンクリート打放し	パーライト吹付厚5	パーライト吹付厚5	コンクリート	パーライト吹付厚5	パーライト吹付厚5		
	搬入室		モルタル金ゴテ	モルタル金ゴテ	200	コンクリート	パーライト金ゴテ厚5	2.000	コンクリート打放し	パーライト吹付厚5	パーライト吹付厚5	コンクリート	パーライト吹付厚5	パーライト吹付厚5		
	発電機室		軽量コンクリート金ゴテ厚300	モルタル金ゴテ	200				コンクリート打放し	グラスウール厚50 ガラスクロス(ピン止)		コンクリート	グラスウール厚50 ガラスクロス(ピン止)			
	工作室・倉庫		コンクリート金ゴテ	モルタル金ゴテ	200				コンクリート打放し	アクリル系リシン吹付	アクリル系リシン吹付	コンクリート打放し	アクリル系リシン吹付	アクリル系リシン吹付		
	1Fファン室		コンクリート金ゴテ	モルタル金ゴテ	200				コンクリート打放し	アクリル系リシン吹付	アクリル系リシン吹付	コンクリート打放し	アクリル系リシン吹付	アクリル系リシン吹付		
	1Fホッパー室	アスファルト防水 E-2モルタル	クリンカータイル (152角)	モルタル金ゴテ	200				コンクリート打放し	アクリル系リシン吹付	アクリル系リシン吹付	コンクリート打放し	アクリル系リシン吹付	アクリル系リシン吹付		
	手洗所	アスファルト防水 E-2モルタル	ビニール系タイル張り						モルタル	一部吹付タイル 半磁器質色タイル張り (100角)		L.G.S	フレキシブルボード厚4目 透し張り V.Pステップル仕上		アルミ製	2.500
	1F便所	アスファルト防水 E-2モルタル	磁器質モザイクタイル張り (25角)						モルタル	半磁器質色タイル張り (100角)		L.G.S	フレキシブルボード 厚4目透し張り V.Pステップル仕上		アルミ製	2.500
	廊下	モルタル金ゴテ	ビニール系タイル張り	塩ビ製ソフト巾木	100				モルタル金ゴテ	E.P		L.G.S	フレキシブルボード厚4目 透し張り V.Pステップル仕上		アルミ製	3.700
	脱衣室	木床組み	木質複合板張り厚13	ツガ 0.S	100				モルタル金ゴテ	V.P		L.G.S	フレキシブルボード厚4目 透し張り V.Pステップル仕上		ツガ V.P	2.500
	浴室		フロアーパン(腰付)						モルタル	半磁器質色タイル張り (100角)		L.G.S	フレキシブルボード厚4目 透し張り V.Pステップル仕上		桧 V.P	3.000
中2階	M2Fファン室		コンクリート金ゴテ	モルタル金ゴテ	200				コンクリート打放し	パーライト吹付厚5	パーライト吹付厚5	コンクリート打放し	パーライト吹付厚5	パーライト吹付厚5		
2階	ホール	モルタル金ゴテ	ビニール系タイル張り	小口タイル縦張り(役物)	100				コンクリート打放し	吹付タイル		L.G.S	岩綿吸音板張り厚12		アルミ製	3.000
	電気室		軽量コンクリート金ゴテ厚300	モルタル金ゴテ	200	コンクリート	パーライト金ゴテ厚5	2.000	コンクリート	パーライト吹付厚5	パーライト吹付厚5	木毛セメント板 厚25打込み	パーライト吹付厚5	パーライト吹付厚5		
	操作盤室	モルタル金ゴテ	ビニール系タイル張り (帯電防止)一部ﾌﾘｰﾌｵｰﾑｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ (帯電防止タイル張り)	塩ビ製ソフト巾木	100				モルタル金ゴテ	E.P		L.G.S	化粧石こうボード張り厚9		アルミ製	3.000
	会議室	モルタル金ゴテ	ビニール系タイル張り	塩ビ製ソフト巾木	100				モルタル金ゴテ	E.P		L.G.S	岩綿吸音板張り厚12		アルミ製	3.000
	書庫	モルタル金ゴテ	ビニール系タイル張り	塩ビ製ソフト巾木	100				モルタル金ゴテ	E.P		L.G.S	化粧石こうボード張り厚9		塩ビ製	3.000
	空調機室		コンクリート金ゴテ	モルタル金ゴテ	200				コンクリート打放し	グラスウール厚50 ガラスクロス(ピン止)	グラスウール厚50 ガラスクロス(ピン止)	木毛セメント板 厚25打込み	グラスウール厚50 ガラスクロス(ピン止)	グラスウール厚50 ガラスクロス(ピン止)		
	宿直室	木床組み	タタミ敷き	タタミ敷寄せ								木造	難燃杉柱合板目透し張り		桧 素地	2.400
	湯沸室	モルタル金ゴテ	ビニール系タイル張り	塩ビ製ソフト巾木	100				モルタル金ゴテ	V.P 半磁器質色タイル張り (100角)		L.G.S	フレキシブルボード厚4目 透し張り V.Pステップル仕上		桧 V.P	2.500
	2Fホッパー室		コンクリート金ゴテ	モルタル金ゴテ	200				コンクリート打放し	アクリル系リシン吹付	アクリル系リシン吹付	木毛セメント板 厚25打込み	アクリル系リシン吹付	アクリル系リシン吹付		
	2F便所	アスファルト防水 E-2モルタル	磁器質モザイクタイル張り (25角)						モルタル	半磁器質色タイル張り (100角)		L.G.S	フレキシブルボード厚4目 透し張り V.Pステップル仕上		ツガ V.P	3.100
	階段A	モルタル金ゴテ	ビニール系タイル張り	モルタル金ゴテE.P	100					吹付タイル		木毛セメント板 厚25打込み	パーライト吹付厚5			
	階段B	コンクリート	モルタル金ゴテ	モルタル金ゴテ	100					コンクリート打放し	コンクリート打放し		コンクリート打放し	コンクリート打放し		
	階段C	コンクリート	モルタル金ゴテ	防水モルタル金ゴテ	100					コンクリート打放し	コンクリート打放し		コンクリート打放し	コンクリート打放し		
	外部階段	モルタル金ゴテ	磁器質ノンスリップタイル						コンクリート打放し	アクリル系リシン吹付		コンクリート打放し	アクリル系リシン吹付			

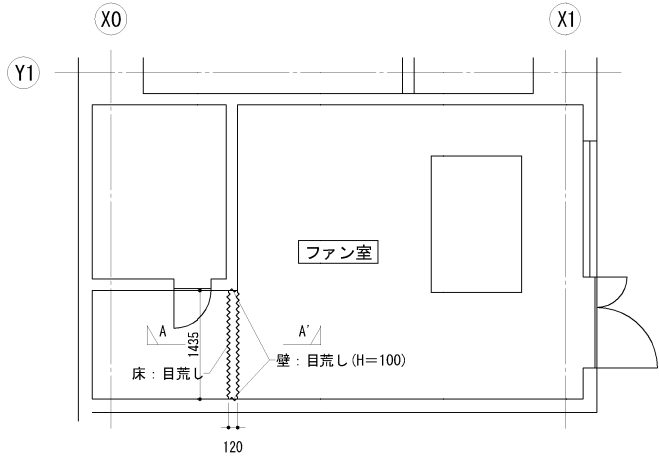
工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	仕上表【改修前・後】		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	—	図面番号	A-03
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		

【1F：撤去工事概要表】

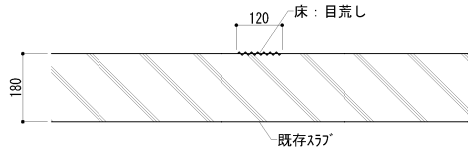
項目	No.	工 事 概 要	詳細図面番号
耐水化	①	床　：目荒し	A-09
耐震補強 (構造部材)	①	柱・壁：目荒し 床　：一部撤去（コンクリート金ゴテ） 天井：一部撤去（アクリル系リシン吹付）	S-10
	②	柱・壁：目荒し・袖壁部分撤去 床　：一部撤去 ：工作室・倉庫（コンクリート金ゴテ） ：浴室（フロアパッド） 天井：一部撤去 ：工作室・倉庫（アクリル系リシン吹付） ：浴室（フレキシブルボード） その他：浴室部分撤去	A-17 S-11
	③	柱・壁：目荒し 床　：一部撤去（コンクリート金ゴテ） 天井：一部撤去（アクリル系リシン吹付）	S-12
	④	柱・壁：目荒し・袖壁部分撤去 床　：一部撤去 ：工作室・倉庫（コンクリート金ゴテ） ：手洗所（ビニル系タイル張り） 天井：一部撤去 ：工作室・倉庫（アクリル系リシン吹付） ：手洗所（フレキシブルボード） その他：手洗所部分撤去	A-16 S-13
	⑤	柱・壁：目荒し 床　：一部撤去（軽量コンクリート金ゴテ） 天井：一部撤去（グラスウール） その他：防液堤部分撤去	S-14
	⑥	柱・壁：目荒し 床　：一部撤去（軽量コンクリート金ゴテ） 天井：一部撤去（グラスウール）	S-15
	⑦	柱・壁：目荒し 床　：一部撤去（コンクリート金ゴテ） 天井：一部撤去（アクリル系リシン吹付）	S-16
	⑧	柱・壁：目荒し 床　：一部撤去（軽量コンクリート金ゴテ） 天井：一部撤去（パーライト吹付）	S-17
耐震補強 (非構造部材)	⑧AW	建具　：アルミ製建具撤去（FIXガラスのみ）×3	A-15
	⑨AW	建具　：アルミ製建具撤去 壁　　：はつり	
	⑩AW	建具　：アルミ製建具撤去（FIXガラスのみ）×3	



1階 平面図 [改修前] (1/100)



平面詳細図 [改修前] (1/50)

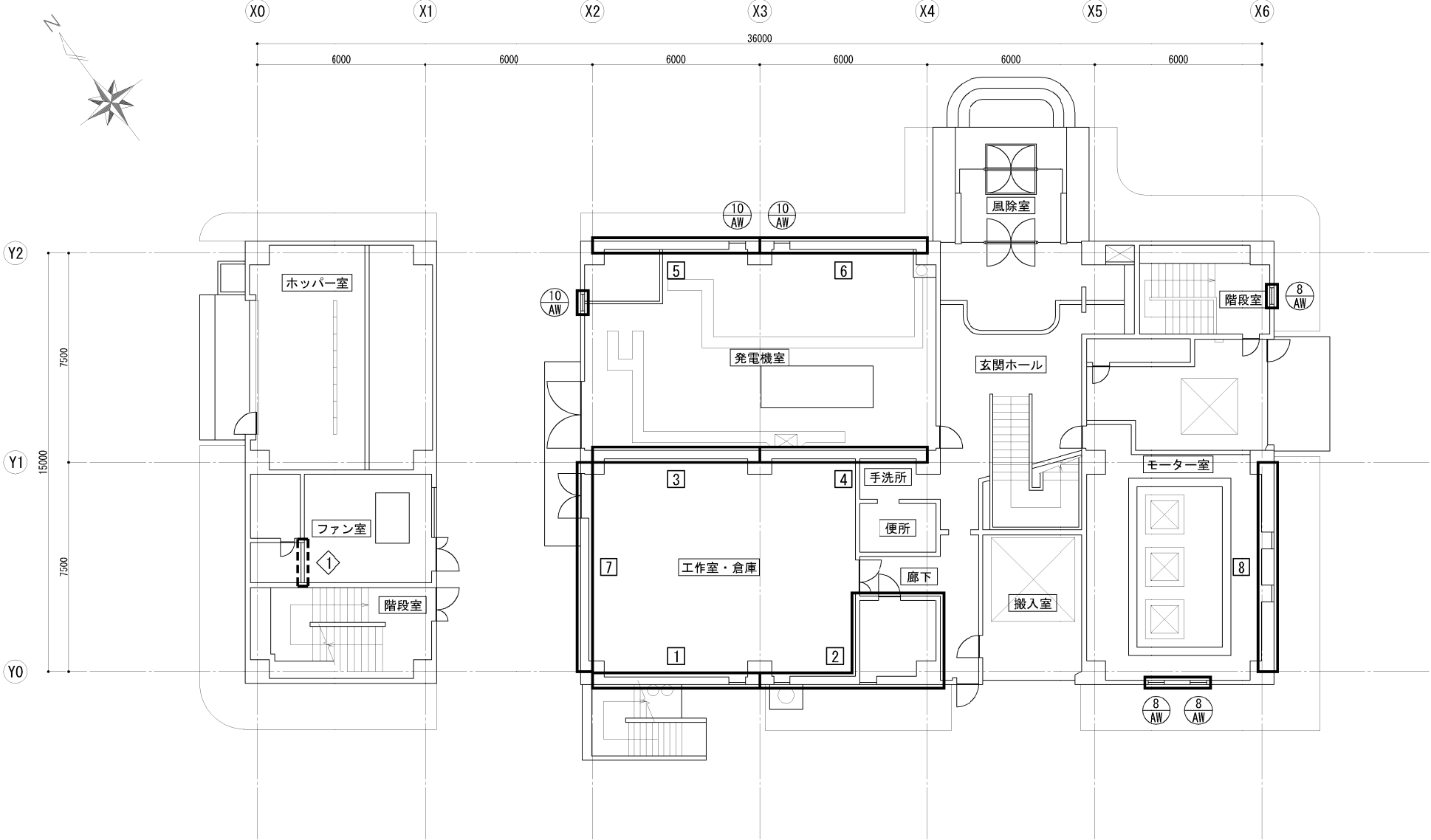


A-A' 断面詳細図 [改修前] (1/10)

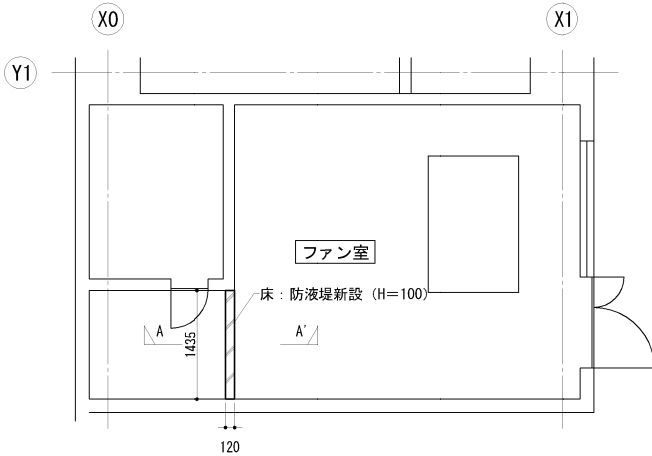
【凡例】 ◆*：耐水化工事箇所を示す (***)：建具工事箇所を示す（非構造部材の耐震化） ✱：耐震補強工事箇所を示す ---：撤去工事箇所を示す ▭：改修工事箇所を示す				工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
				図面名	1階 平面図 [改修前]		
				作成年月	令和8年3月		
				縮尺	図示	図面番号	A-09
				設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
				発注者	埼玉県 上尾市		

【1F：改修工事概要表】

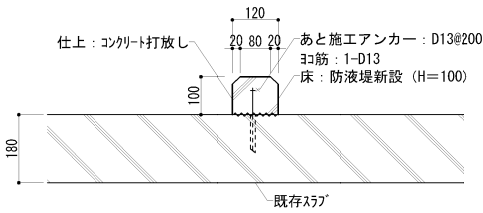
項目	No.	工 事 概 要	詳細図面番号
耐水化	①	床：防液堤新設（H＝100）	A-10
耐震補強 （構造部材）	①	壁：既存EW18＋増壁EW12 床：復旧（コンクリート金ゴテ） 天井：復旧（アクリル系リシン吹付）	S-10
	②	壁：既存EW15＋増壁EW15・袖壁復旧 床：復旧 工作室・倉庫（コンクリート金ゴテ） 浴室（フロアパッド） 天井：復旧 工作室・倉庫（アクリル系リシン吹付） 浴室（フレキシブルボード） その他：浴室改修	A-17 S-11
	③	壁：既存EW15＋増壁EW15 床：復旧（コンクリート金ゴテ） 天井：復旧（アクリル系リシン吹付）	S-12
	④	壁：既存EW15＋増壁EW15・袖壁復旧 床：一部撤去 工作室・倉庫（コンクリート金ゴテ） 手洗所（ビニル系タイル張り） 天井：一部撤去 工作室・倉庫（アクリル系リシン吹付） 手洗所（フレキシブルボード） その他：手洗所改修	A-16 S-13
	⑤	壁：既存EW15＋増壁EW15 床：復旧（軽量コンクリート金ゴテ） 天井：復旧（グラスウール） その他：防液堤復旧	S-14
	⑥	壁：既存EW15＋増壁EW15 床：復旧（軽量コンクリート金ゴテ） 天井：復旧（グラスウール）	S-15
	⑦	壁：既存EW15＋増壁EW15 床：復旧（コンクリート金ゴテ） 天井：復旧（アクリル系リシン吹付）	S-16
	⑧	壁：既存EW15＋増壁EW30 床：復旧（軽量コンクリート金ゴテ） 天井：復旧（ハーフライト吹付）	S-17
耐震補強 （非構造部材）	⑧ AW	建具：アルミ製建具（合わせガラス新設）×3	A-15
	⑨ AW	壁：閉塞	
	⑩ AW	建具：アルミ製建具（複層合わせガラス新設）×3	



1階 平面図 [改修後] (1/100)



平面詳細図 [改修後] (1/50)

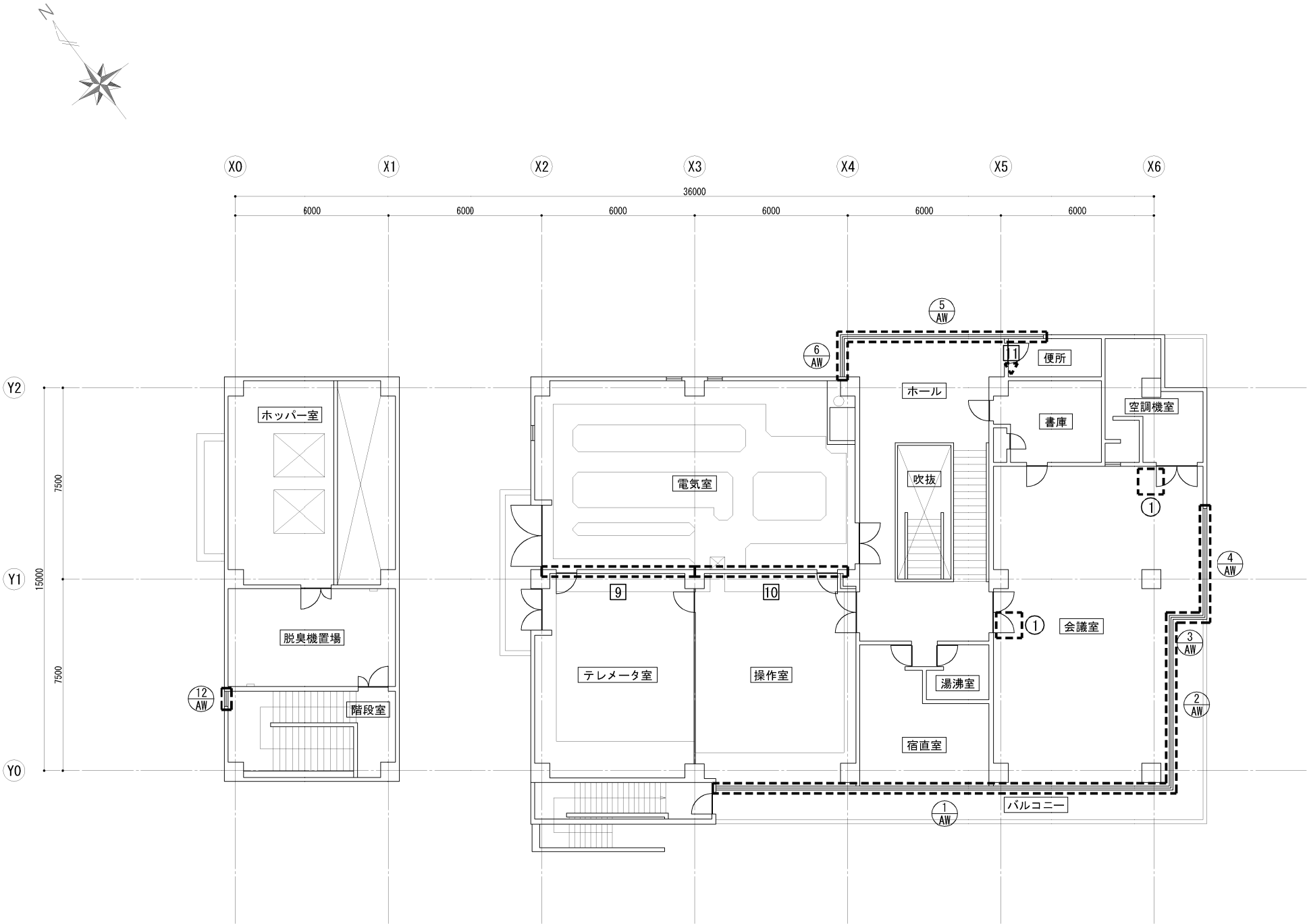


A-A' 断面詳細図 [改修後] (1/10)

【凡例】 ◆*：耐水化工事箇所を示す (***)：建具工事箇所を示す（非構造部材の耐震化） ✱：耐震補強工事箇所を示す [---]：撤去工事箇所を示す []：改修工事箇所を示す				工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
				図面名	1階 平面図 [改修後]		
				作成年月	令和8年3月		
				縮尺	図示	図面番号	A-10
				設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
				発注者	埼玉県 上尾市		

【2F：撤去工事概要表】

項目	No.	工 事 概 要	詳細図面番号
耐震補強 (構造部材)	9	柱・壁：目荒し 床：一部撤去(ビニール床タイル・フリーアクセスフロア) 天井：一部撤去(化粧石膏ボード)	S-18
	10	柱・壁：目荒し 床：一部撤去(ビニール床タイル・フリーアクセスフロア) 天井：一部撤去(化粧石膏ボード)	S-19
	11	壁：耐震スリット新設工事	A-18
耐震補強 (非構造部材)	1AW	建具：アルミ製建具撤去 (FIXガラスのみ)	A-15
	2AW	建具：アルミ製建具撤去 (FIXガラスのみ)	
	3AW	建具：アルミ製建具撤去 (FIXガラスのみ)	
	4AW	建具：アルミ製建具撤去 (FIXガラスのみ)	
	5AW	建具：アルミ製建具撤去 (FIXガラスのみ)	
	6AW	建具：アルミ製建具撤去 (FIXガラスのみ)	
	12AW	建具：アルミ製建具撤去 (FIXガラスのみ)	
配線ケーブル 敷設付帯工	1	天井：一部撤去(岩綿吸音板張り)	A-11

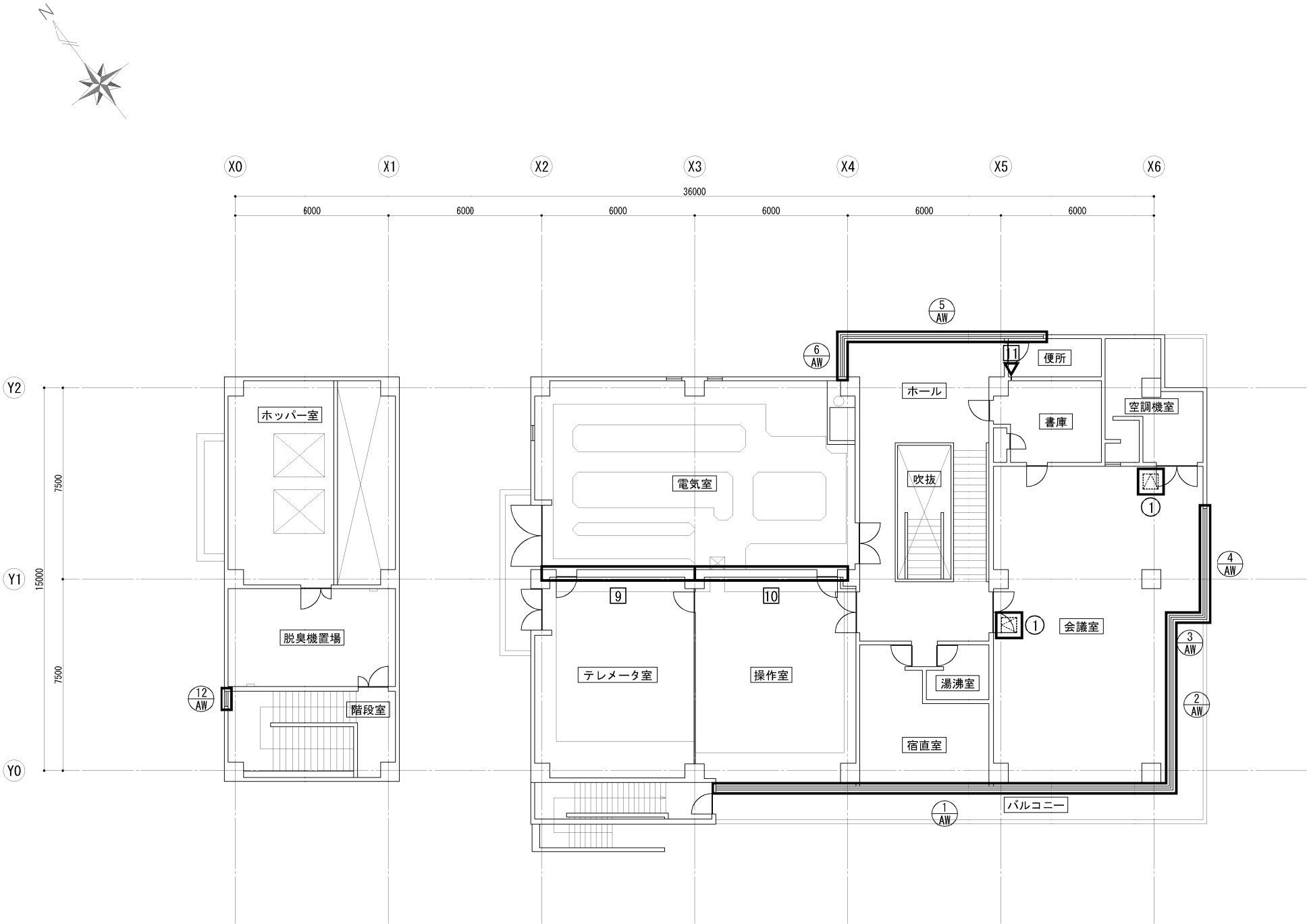


2階 平面図 [改修前]

【凡例】 ◆*：耐水化工事箇所を示す (***)：建具工事箇所を示す（非構造部材の耐震化） ✱：耐震補強工事箇所を示す ---：撤去工事箇所を示す ▭：改修工事箇所を示す				工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
				図面名	2階 平面図 [改修前]		
				作成年月	令和8年3月		
				縮尺	1/100	図面番号	A-11
				設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
				発注者	埼玉県 上尾市		

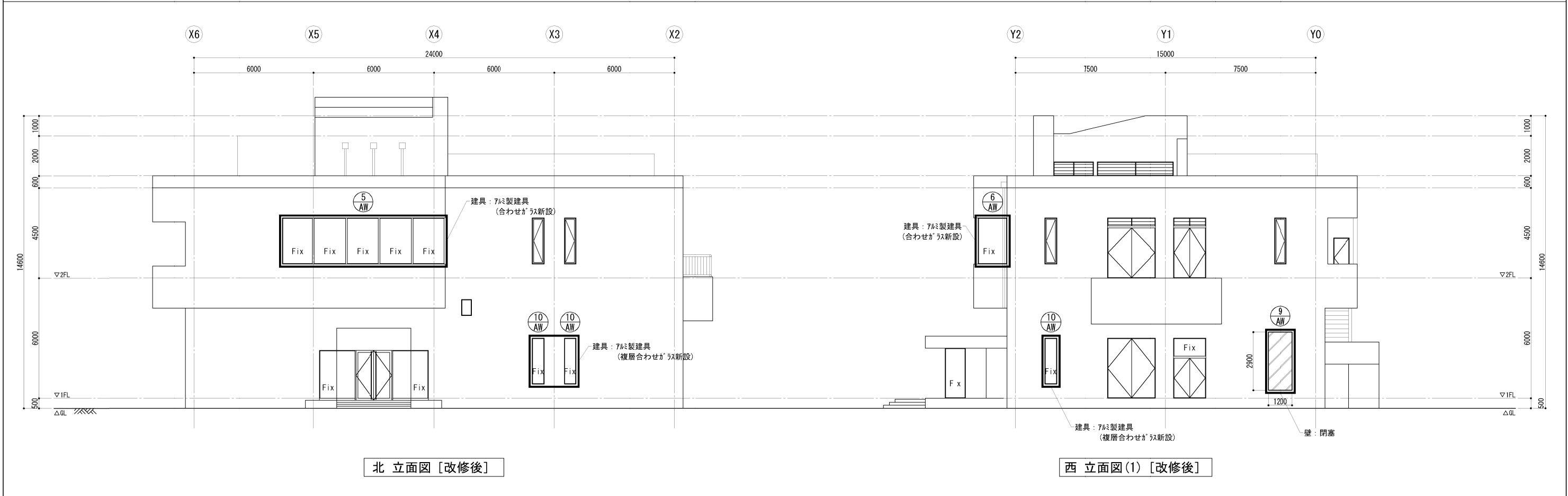
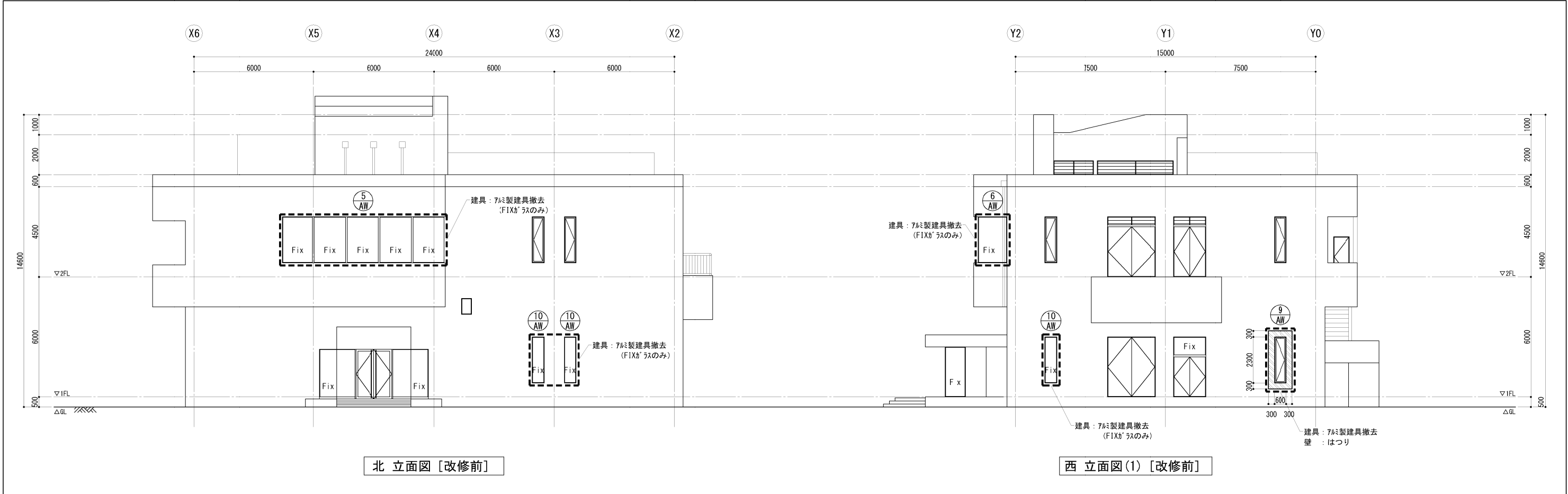
【2F：改修工事概要表】

項目	No.	工 事 概 要	詳細図面番号
耐震補強 (構造部材)	9	壁：既存EW15＋増壁EW15 床：復旧（ビニル床タイル・フリーアクセスフロア） 天井：復旧（化粧石こうボード）	S-18
	10	壁：既存EW15＋増壁EW15 床：復旧（ビニル床タイル・フリーアクセスフロア） 天井：復旧（化粧石こうボード）	S-19
	11	壁：スリット材設置	A-18
耐震補強 (非構造部材)	1AW	建具：アルミ製建具（合わせガラス新設）	A-15
	2AW	建具：アルミ製建具（合わせガラス新設）	
	3AW	建具：アルミ製建具（合わせガラス新設）	
	4AW	建具：アルミ製建具（合わせガラス新設）	
	5AW	建具：アルミ製建具（合わせガラス新設）	
	6AW	建具：アルミ製建具（合わせガラス新設）	
	12AW	建具：アルミ製建具（合わせガラス新設）	
配線ケーブル敷設付帯工	1	天井：天井点検口新設（□600）×2	A-12

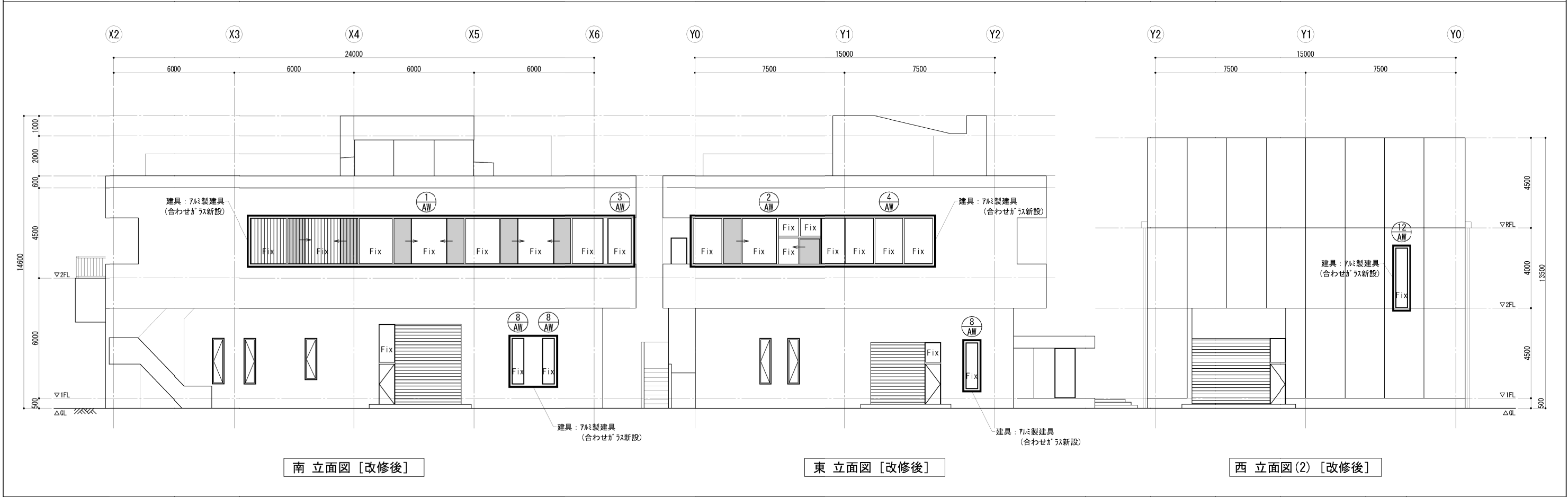
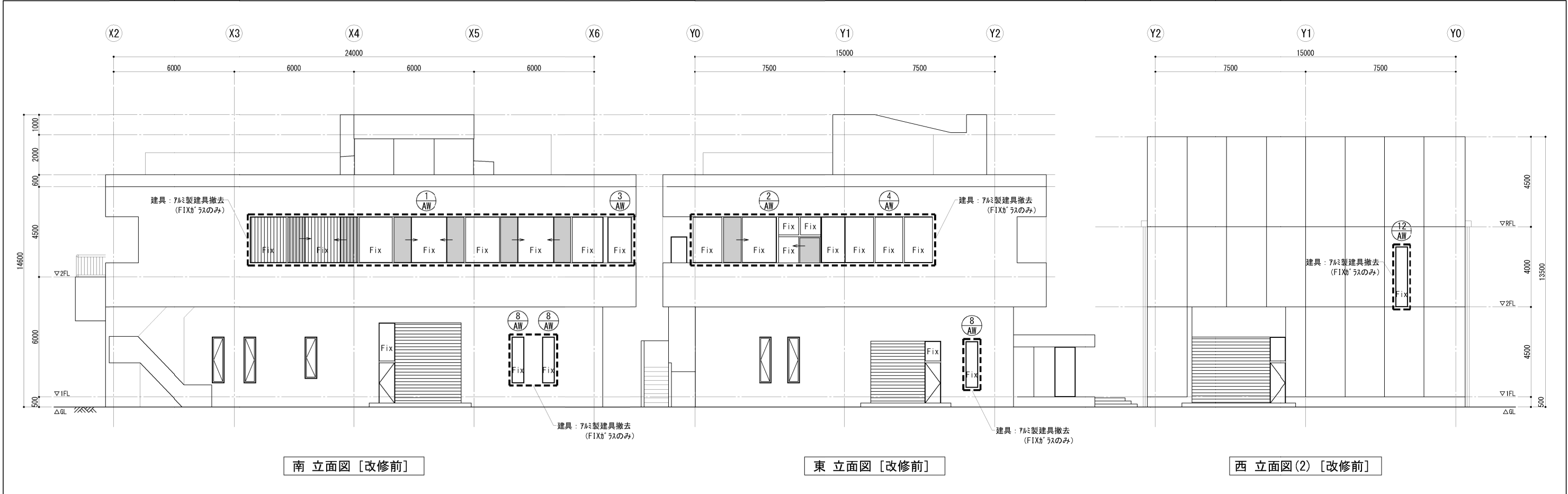


2階 平面図 [改修後]

【凡例】 ◆*：耐水化工事箇所を示す (***)：建具工事箇所を示す（非構造部材の耐震化） ✱：耐震補強工事箇所を示す ---：撤去工事箇所を示す ▭：改修工事箇所を示す	工事名		芝川ポンプ場耐震補強工事	
	図面名		2階 平面図 [改修後]	
	作成年月		令和8年3月	
	縮尺	1/100	図面番号	A-12
	設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
	発注者	埼玉県 上尾市		



【凡例】				工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
[Dashed Box] : 撤去工事箇所を示す				図面名	立面図(1) [改修前・後]		
[Solid Box] : 改修工事箇所を示す				作成年月	令和8年3月		
[Grey Box] : 工事対象外				縮尺	1/100	図面番号	A-13
				設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
				発注者	埼玉県 上尾市		



【凡例】 ----：撤去工事箇所を示す ▬：改修工事箇所を示す ■：工事対象外	工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
	図面名	立面図(2) [改修前・後]		
	作成年月	令和8年3月		
	縮尺	1/100	図面番号	A-14
	設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
	発注者	埼玉県 上尾市		

記号・位置・数量		① AW宿直室 会議室（1箇所）		(1/50)	
姿図					
型式		アルミニウム製 中央片引き窓			
見込		100			
材質仕上		無着色陽極酸化被膜			
ガラス	改修前	透明ブロンズ t5 t8, t10 透明ブロンズ線入りガラス t6.8			
	改修後	合わせガラス t5			
記号・位置・数量		② AW会議室（1箇所）		(1/50)	
姿図					
型式		アルミニウム製 片引き窓・FIX窓			
見込		100			
材質仕上		無着色陽極酸化被膜			
ガラス	改修前	透明ブロンズ t5, t8			
	改修後	合わせガラス			
記号・位置・数量		③ AW会議室（1箇所）		(1/50)	
姿図					
型式		アルミニウム製 FIX窓			
見込		100			
材質仕上		無着色陽極酸化被膜			
ガラス	改修前	透明ブロンズ t8			
	改修後	合わせガラス			
記号・位置・数量		④ AW会議室（1箇所）		(1/50)	
姿図					
型式		アルミニウム製 FIX窓 (3連窓)			
見込		100			
材質仕上		無着色陽極酸化被膜			
ガラス	改修前	透明ブロンズ t8			
	改修後	合わせガラス			
記号・位置・数量		⑤ AW2階ホール 便所（1箇所）		(1/50)	
姿図					
型式		アルミニウム製 FIX窓 (5連窓)			
見込		100			
材質仕上		無着色陽極酸化被膜			
ガラス	改修前	透明ブロンズ t8			
	改修後	合わせガラス			
記号・位置・数量		⑥ AW2階ホール（1箇所）		(1/50)	
姿図					
型式		アルミニウム製 FIX窓			
見込		100			
材質仕上		無着色陽極酸化被膜			
ガラス	改修前	透明ブロンズ t8			
	改修後	合わせガラス			
記号・位置・数量		⑦ AWモーター室 1階階段室（3箇所）		(1/50)	
姿図					
型式		アルミニウム製 FIX窓			
見込		100			
材質仕上		無着色陽極酸化被膜			
ガラス	改修前	透明ブロンズ線入り t6.8			
	改修後	合わせガラス			
記号・位置・数量		⑧ AW工作室・倉庫（1箇所）		(1/50)	
姿図					
型式		アルミニウム製 片開き窓			
見込		100			
材質仕上		無着色陽極酸化被膜			
ガラス	改修前	透明ブロンズ線入り t5			
	改修後	閉塞			
記号・位置・数量		⑨ AW発電機室（3箇所）		(1/50)	
姿図					
型式		アルミニウム製 FIX窓			
見込		70			
材質仕上		無着色陽極酸化被膜			
ガラス	改修前	複層線入りガラス (t6.8 + 6 + t5)			
	改修後	複層合わせガラス			
記号・位置・数量		⑩ AW2階階段室（1箇所）		(1/50)	
姿図					
型式		アルミニウム製 FIX窓			
見込		70			
材質仕上		無着色陽極酸化被膜			
ガラス	改修前	透明ブロンズ t5			
	改修後	合わせガラス			

【凡例】

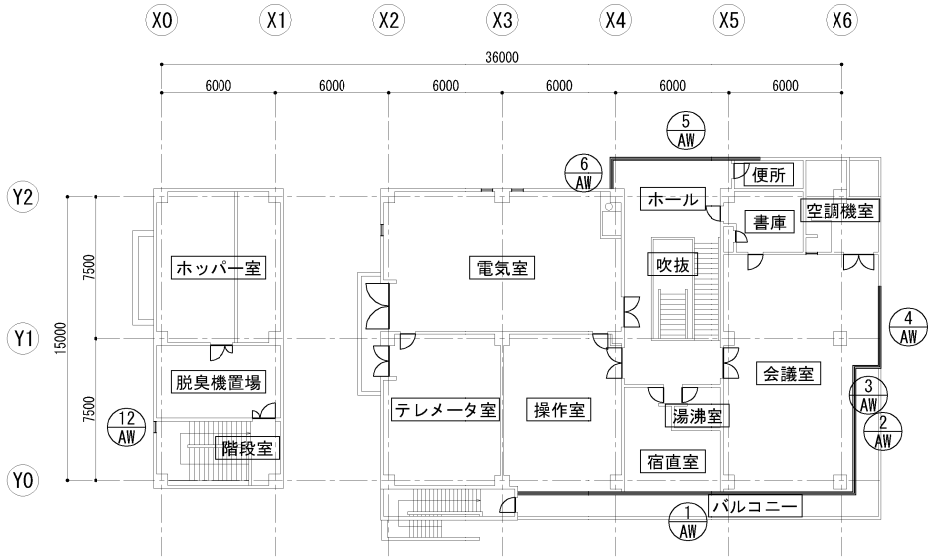
：FIXガラスのみ交換

：工事対象外

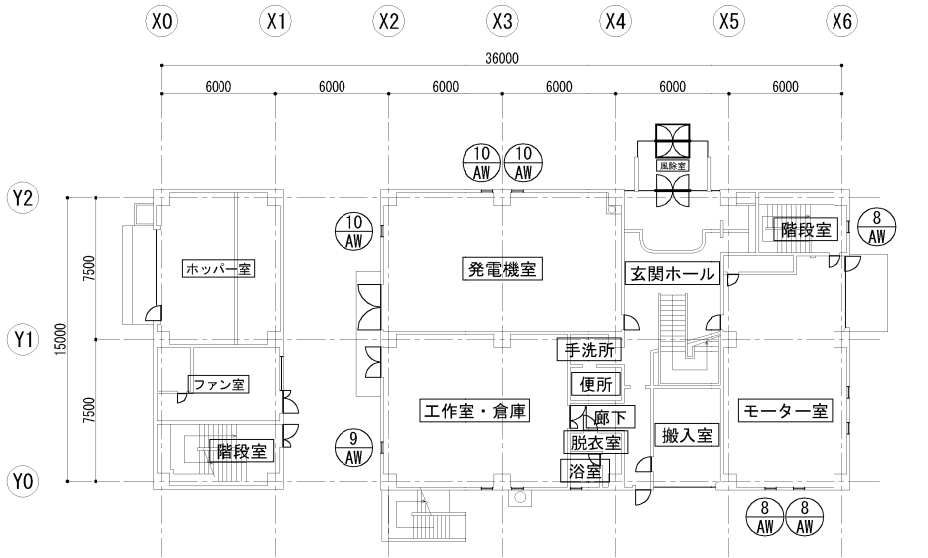
【凡例】

□：FIXガラスのみ交換

■：工事対象外

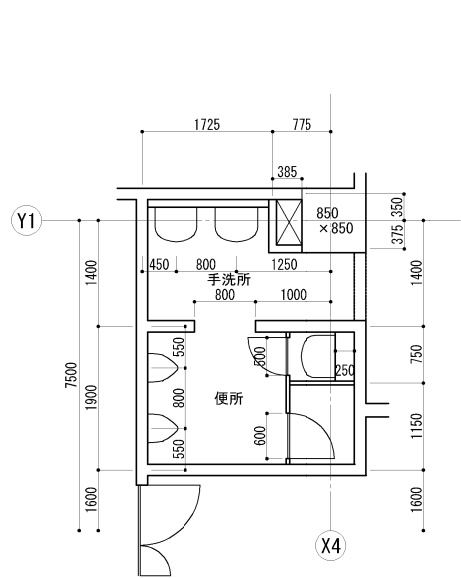


2階 KEY PLAN（1/200）

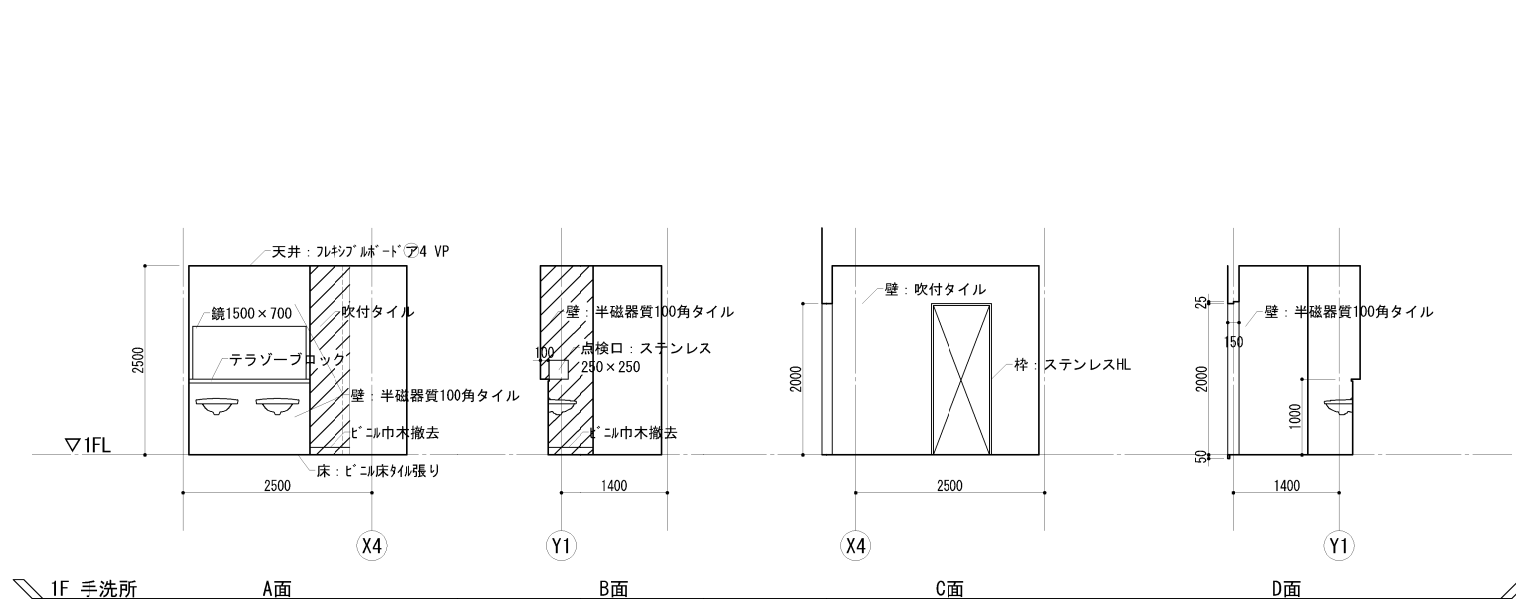


1階 KEY PLAN（1/200）

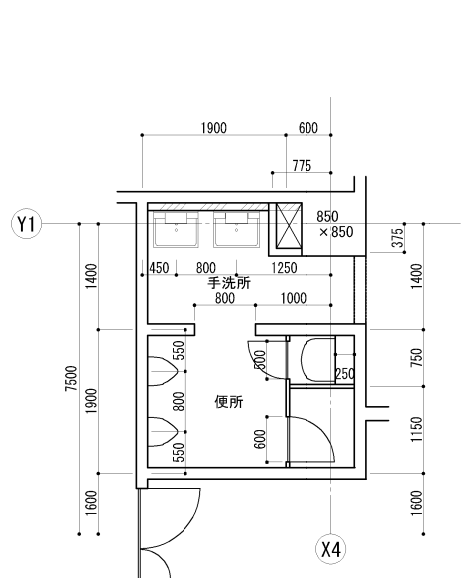
工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	建具表・キープラン〔改修前・後〕		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	図示	図面番号	A-15
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		



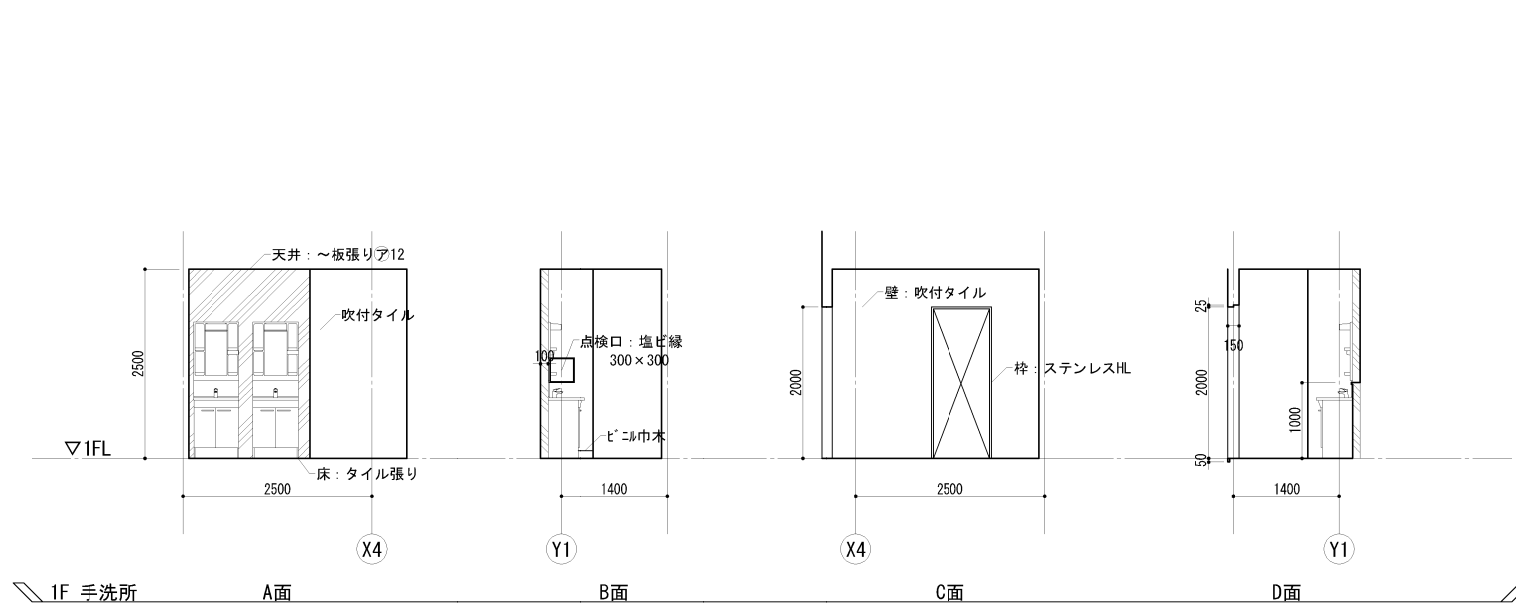
平面詳細図



1階 展開図 [改修前]

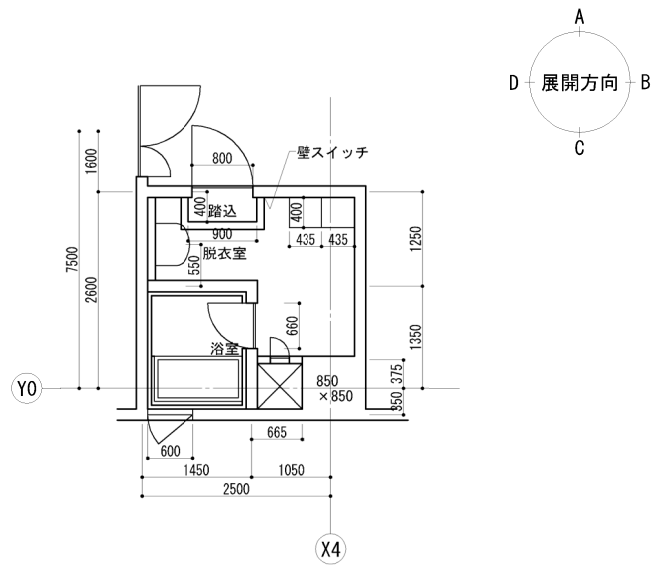


平面詳細図

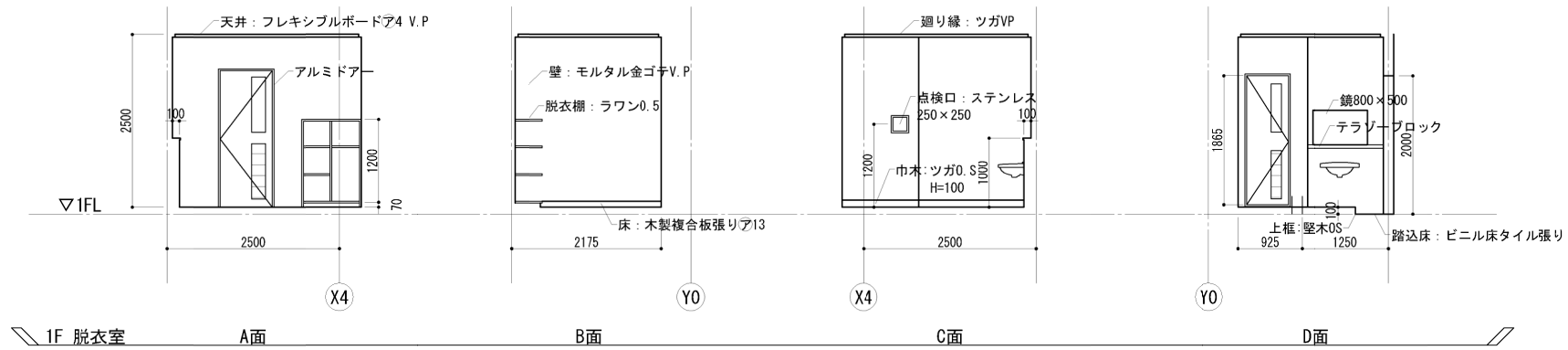


1階 展開図 [改修後]

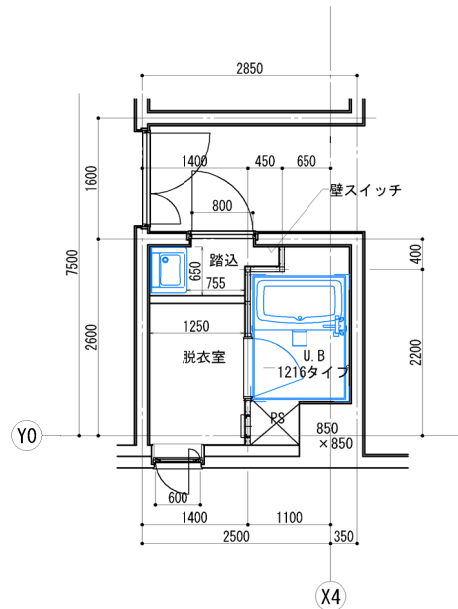
工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	1階 展開図(1) [改修前・後]		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	1/50	図面番号	A-13
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		



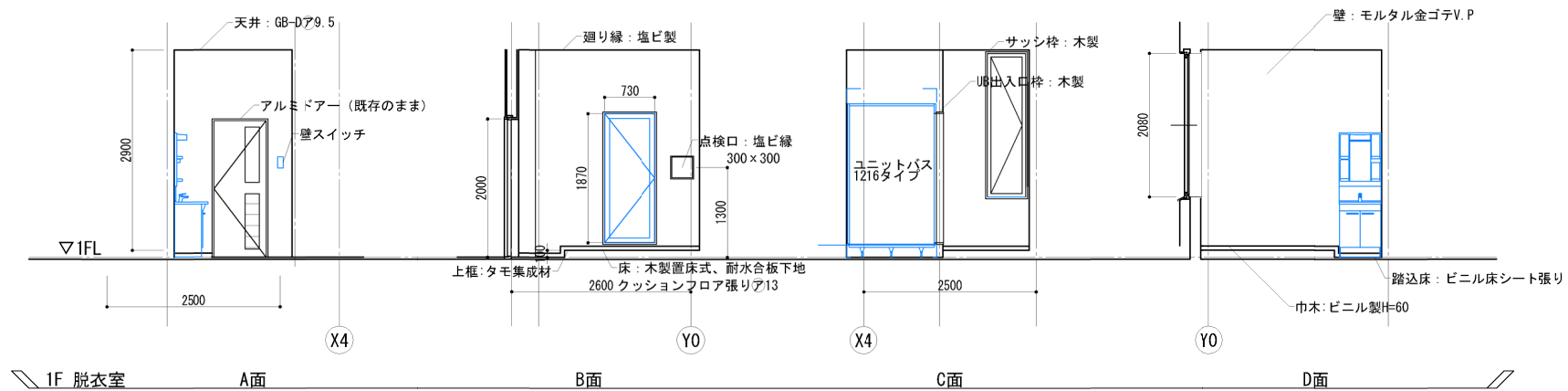
平面詳細図



1階 展開図 [改修前]

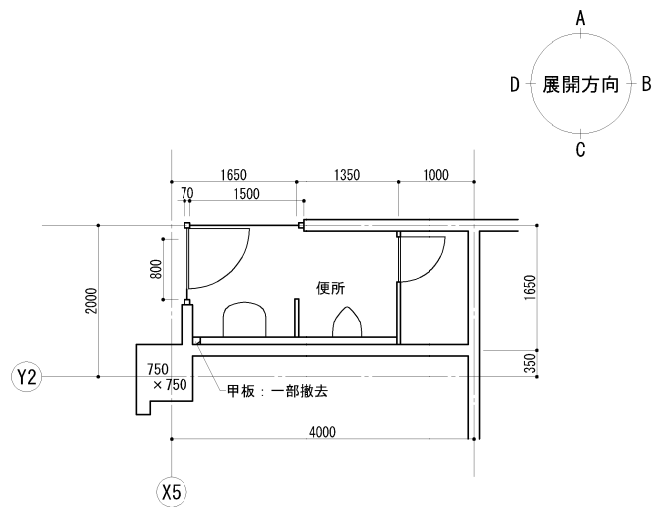


平面詳細図

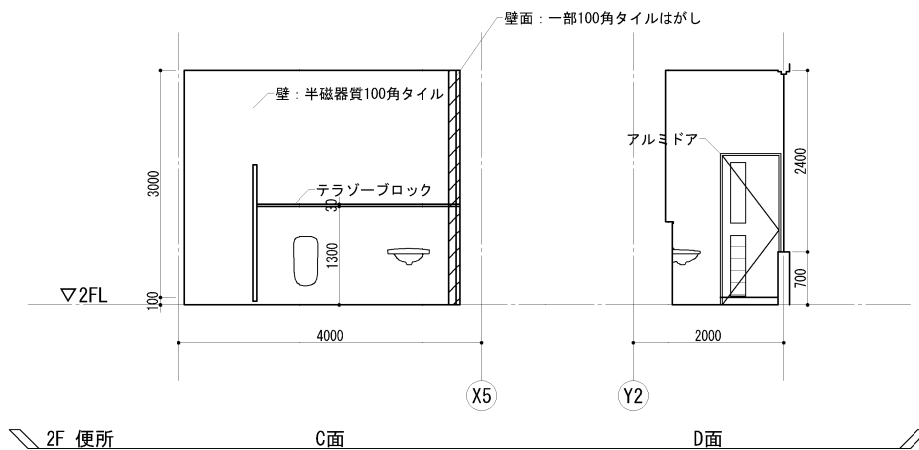


1階 展開図 [改修後]

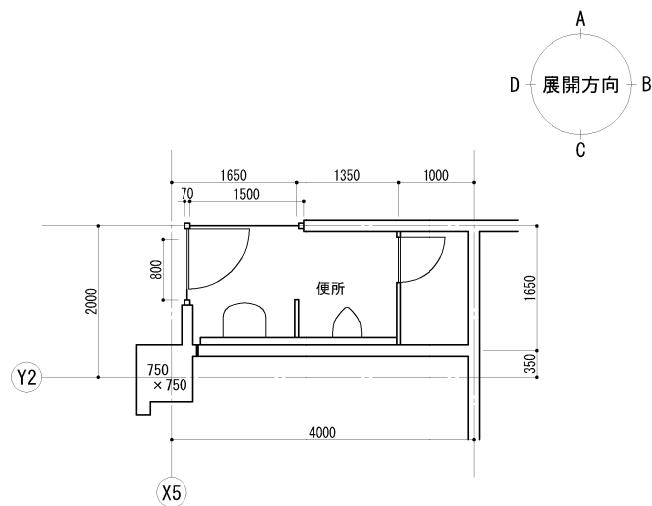
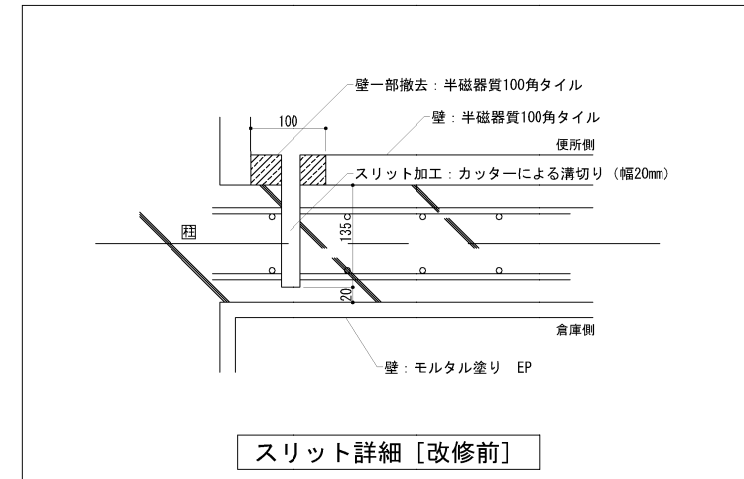
工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	1階 展開図 (2) [改修前・後]		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	1/50	図面番号	A-17
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		



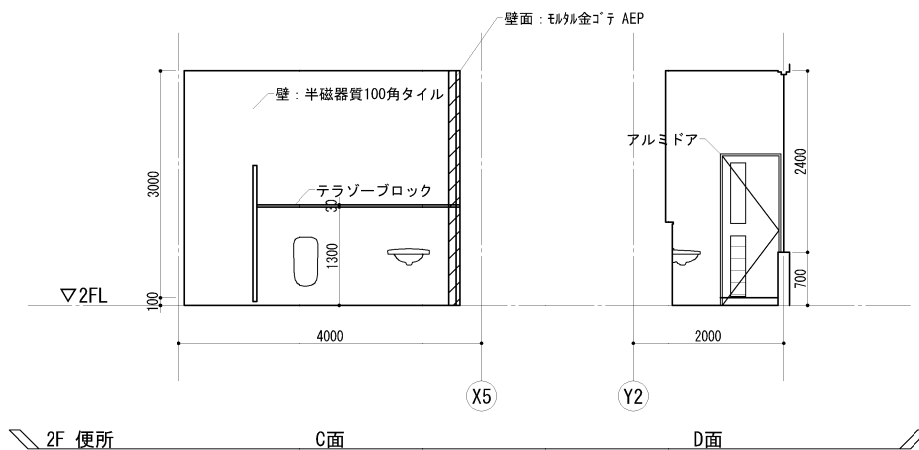
平面詳細図



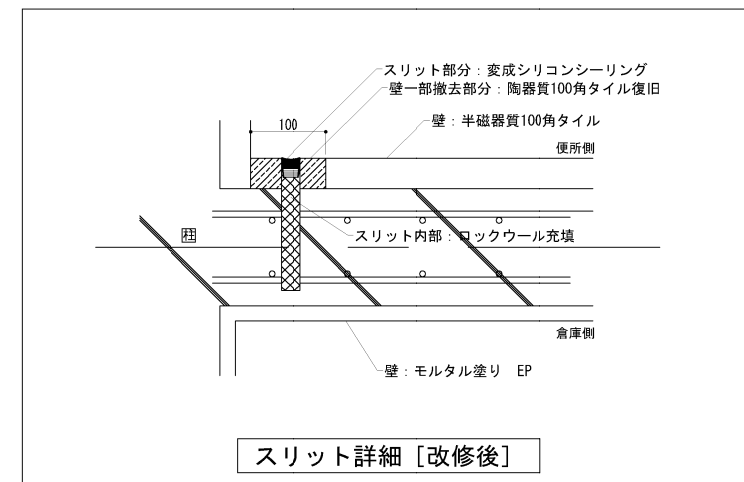
2階 展開図 [改修前]



平面詳細図



2階 展開図 [改修後]



工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	2階 展開図 [改修前・後]		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	1/50	図面番号	A-13
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		

【1F：改修工事概要表】

項目	No.	工 事 概 要	詳細図面番号
耐水化	①	床　：目荒し	A-09
耐震補強 (構造部材)	①	柱・壁：目荒し 床　：一部撤去（コンクリート金ゴテ） 天井　：一部撤去（アクリル系リシン吹付）	S-10
	②	柱・壁：目荒し・袖壁部分撤去 床　：一部撤去 ：工作室・倉庫（コンクリート金ゴテ） ：浴室（707-パン） 天井　：一部撤去 ：工作室・倉庫（アクリル系リシン吹付） ：浴室（フレキシブルボード） その他：浴室部分撤去	A-17 S-11
	③	柱・壁：目荒し 床　：一部撤去（コンクリート金ゴテ） 天井　：一部撤去（アクリル系リシン吹付）	S-12
	④	柱・壁：目荒し・袖壁部分撤去 床　：一部撤去 ：工作室・倉庫（コンクリート金ゴテ） ：手洗所（ビニル系タイル張り） 天井　：一部撤去 ：工作室・倉庫（アクリル系リシン吹付） ：手洗所（フレキシブルボード） その他：手洗所部分撤去	A-16 S-13
	⑤	柱・壁：目荒し 床　：一部撤去（軽量コンクリート金ゴテ） 天井　：一部撤去（グラスウール） その他：防液堤部分撤去	S-14
	⑥	柱・壁：目荒し 床　：一部撤去（軽量コンクリート金ゴテ） 天井　：一部撤去（グラスウール）	S-15
	⑦	柱・壁：目荒し 床　：一部撤去（コンクリート金ゴテ） 天井　：一部撤去（アクリル系リシン吹付）	S-16
	⑧	柱・壁：目荒し 床　：一部撤去（軽量コンクリート金ゴテ） 天井　：一部撤去（パライト吹付）	S-17
耐震補強 (非構造部材)	⑧AW	建具　：アルミ製建具撤去（FIXガラスのみ）×3	A-15
	⑨AW	建具　：アルミ製建具撤去 壁　　：はつり	
	⑩AW	建具　：アルミ製建具撤去（FIXガラスのみ）×3	

【凡例】

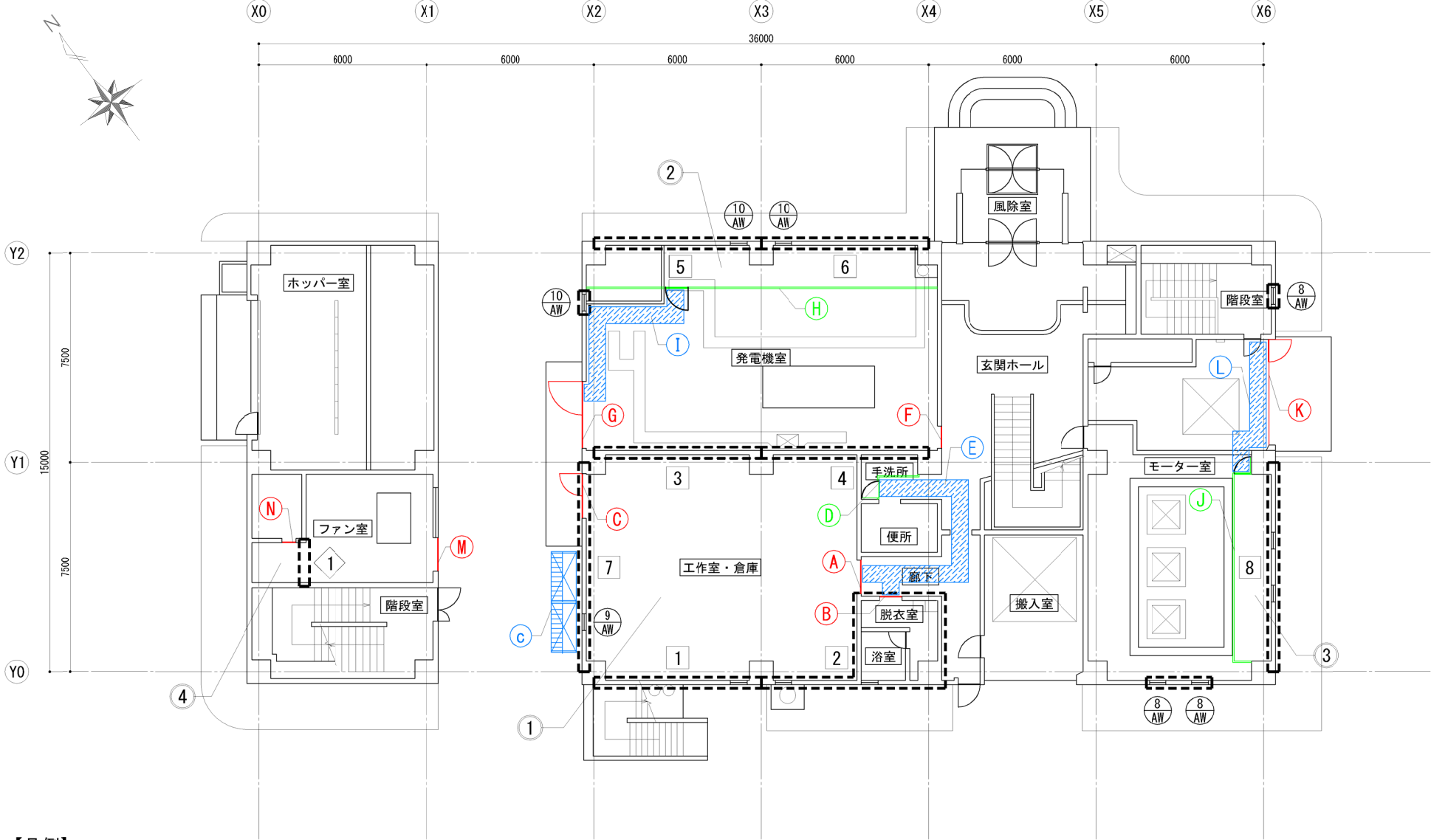
◆：耐水化工事箇所を示す

✱：耐震補強工事箇所を示す

---：撤去工事箇所を示す

▭：改修工事箇所を示す

⊙
⊙：建具工事箇所を示す（非構造部材の耐震化）



1階 平面図 [改修前]

【凡例】

—：仮設間仕切壁(木製片側ボード張)

▨：作業員通路(巾600、養生シート床張)

⊠：仮設外部足場(昇降階段含む)

—：区画用開口部(現況利用)

【参考】1階仮設計画平面図

工事場所	工事概要	区画	作業員動線				備考
			出入口	通路	資材搬入	撤去材搬出	
①	① ② ③ ④ ⑦	Ⓐ Ⓑ Ⓒ Ⓓ	Ⓒ	Ⓔ	Ⓒ	Ⓒ	② の脱衣室・浴室における工事は Ⓐ～Ⓑ の区画を通る。 ④ の手洗所における工事は Ⓐ～Ⓓ の区画を通る。
②	⑤ ⑥	Ⓕ Ⓖ Ⓗ	Ⓖ	Ⓘ	Ⓖ	Ⓖ	Ⓘ の通路を通り ⑤ ⑥ へ出入する。
③	⑧	Ⓙ Ⓚ	Ⓚ	Ⓛ	Ⓚ	Ⓚ	Ⓛ の通路を通り ⑧ へ出入する。
④	①	Ⓜ Ⓝ	Ⓜ	-	Ⓜ	Ⓜ	① のファン室における工事は Ⓜ Ⓝ を区画して行う。

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	1階 仮設計画平面図【参考】		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	1/100	図面番号	A-13
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		

【2F：改修工事概要表】

項目	No.	工 事 概 要	詳細図面番号
耐震補強 (構造部材)	9	柱・壁：目荒し 床：一部撤去(ビニール床タイル・フリーアクセスフロア) 天井：一部撤去(化粧石こうボード)	S-18
	10	柱・壁：目荒し 床：一部撤去(ビニール床タイル・フリーアクセスフロア) 天井：一部撤去(化粧石こうボード)	S-19
	11	壁：耐震スリット新設工事	A-18
耐震補強 (非構造部材)	1AW	建具：アルミ製建具撤去 (FIXカラスのみ)	A-15
	2AW	建具：アルミ製建具撤去 (FIXカラスのみ)	
	3AW	建具：アルミ製建具撤去 (FIXカラスのみ)	
	4AW	建具：アルミ製建具撤去 (FIXカラスのみ)	
	5AW	建具：アルミ製建具撤去 (FIXカラスのみ)	
	6AW	建具：アルミ製建具撤去 (FIXカラスのみ)	
	12AW	建具：アルミ製建具撤去 (FIXカラスのみ)	
配線ケーブル敷設付帯工	1	天井：一部撤去(岩綿吸音板張り)	A-11

【凡例】

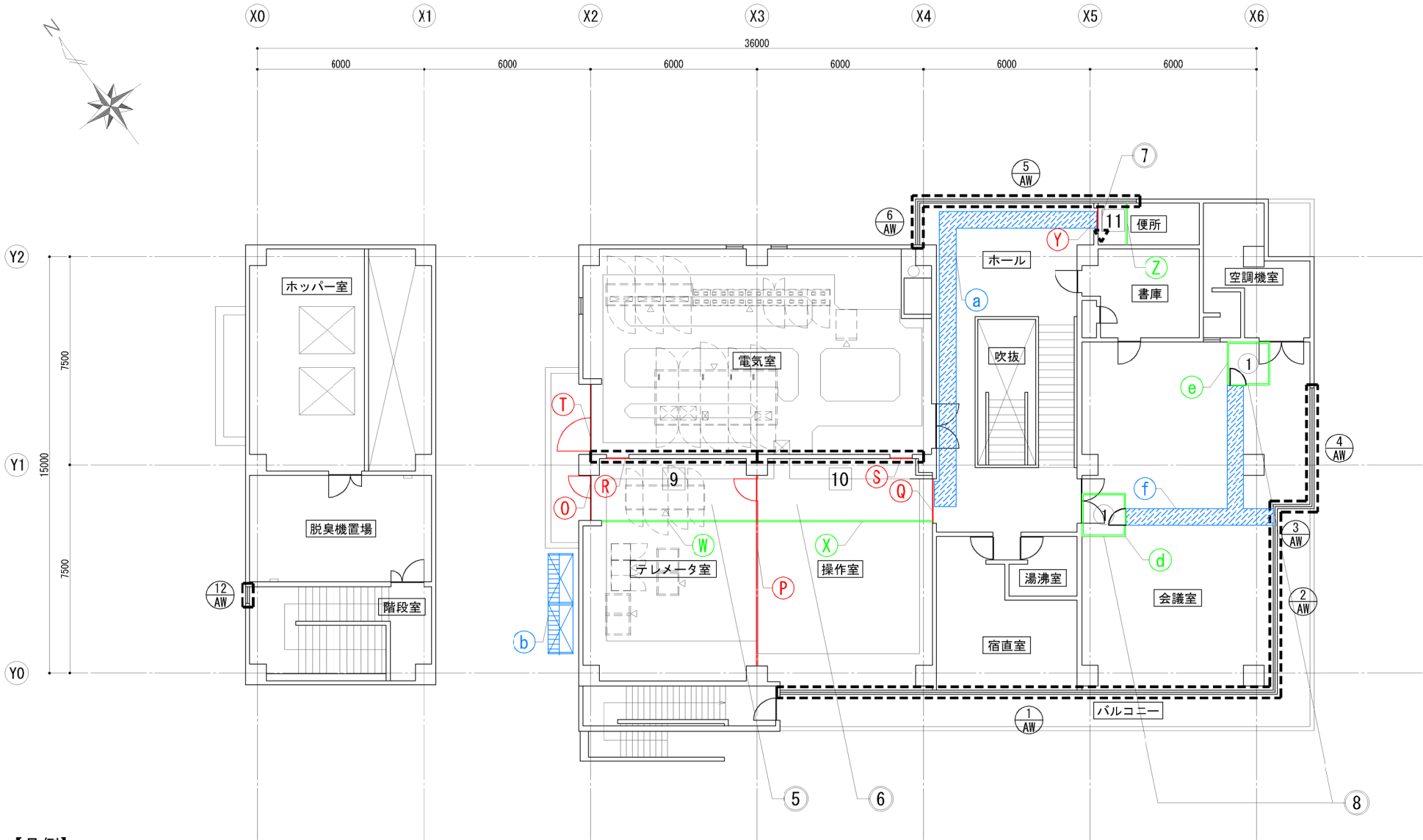
◇＊：耐水化工事箇所を示す

□＊：耐震補強工事箇所を示す

┌─┐：撤去工事箇所を示す

▭：改修工事箇所を示す

◎**◎：建具工事箇所を示す（非構造部材の耐震化）



【凡例】

—：仮設間仕切壁(木製片側ボード張)

▨：作業員通路(巾600、養生シート床張)

▨：仮設外部足場(昇降階段含む)

- - -：区画用開口部(現況利用)

【参考】2階仮設計画平面図

工事場所	工事概要	区画	作業員動線				備考
			出入口	通路	資材搬入	撤去材搬出	
5 6	9 10	① P Q R S W X	①	b (1F c)	①	①	作業員の出入を含め、原則として1階 c ～2階 b の仮設外部足場から出入する。
7	11	Y Z	Y (経由 ① P Q)	a	Y	Y	7 までの通路は 5 6 を通過する。
8	1	d e	3 AW	屋外階段 バルコニー f	3 AW	3 AW	8 までの通路は屋外階段・バルコニー f を通過する。

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	2階 仮設計画平面図【参考】		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	1/100	図面番号	A-20
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		

構造関係共通事項

1. 総 則

1.1 適用範囲

- (1) 構造関係共通事項は、総則、構造関係共通図（配筋標準図）から構成される。
- (2) 構造関係共通図（配筋標準図）は、鉄筋コンクリート及び鉄骨鉄筋コンクリート造等における鉄筋の加工、組立等の一般的な標準図とする。
- (3) 構造関係共通図（配筋標準図）以外について、図面及び監督職員の指示による。

1.2 優先順位

- (1) 設計図書間で配筋方法等に相違がある場合の優先順位は以下のとおりとする。
 1. 特記仕様書
 2. 設計図
 3. 構造関係共通図（配筋標準図、鉄骨標準図）
 4. 標準仕様書及び改修標準仕様書

1.3 用語の定義

- (1) 設計図とは、建築構造図のうち特記仕様書、構造関係共通図以外の図面をいう。
- (2) 異形鉄筋の径（本文、図、表において「d」で示す）は、呼び名に用いた数値とする。
- (3) 長さ、厚さ等の単位は、特記なき限りmmとする。

1.4 記号等

図面で使用する記号等は、表1.1～表1.8、図1.1を標準とする。

表1.1 異形鉄筋の断面表示記号

区分	径	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
建築		●	×	◇	●	○	◎	⊗	⊙

表1.2 各階伏図における記号

記号	説明	記号	説明
S=	スラブの配筋種別	⊙	杭の位置
◇	スラブ厚さ	●	試験杭の位置
○	階段の配筋種別	▨	打増しの範囲
DO	土間コンクリート	⊠	スラブ開口
▨	コンクリートブロック壁（CB壁）	⊙	ボーリング位置
▨	梁・スラブの上がり下がり	（±）	FLからの上がり下がり
EW○○	耐力壁の種別	W○○	一般壁の種別
EKN○○	片持ちスラブを受け、かつ耐力壁の種別	KW○○	片持ちスラブ形階段を受け、かつ一般壁の種別
ERW○○	土圧を受け、かつ耐力壁の種別		

表1.3 梁貫通孔記号

区分	径	50	75	100	125	150	175	200	225	250	275	300	325	350	375	400
建築		○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

表1.4 スリープ材質の凡例

管 名	鋼 管	溶融亜鉛めっき鋼板	硬質塩化ビニル管（薄肉管）	つば付き鋼管（黒管）
記号（建築用）	SP（白管）	GA	VU	RS

※建築用以外のスリープ材質は各工事による。

表1.5 高力ボルト径の記号

区分	径	M12	M16	M20	M22	M24
高力ボルト（F10T、S10T）		●	●	●	●	●
溶融亜鉛めっき高力ボルト（F8T相当）		+	+	+	+	+

表1.6 普通ボルト径の記号

区分	径	M12	M16	M20	M22	M24
普通ボルト	○	○	○	○	○	○

表1.7 溶接継手及び溶接面の分類記号

分	種	記 号
溶 接 継 手	完全溶込み溶接	B
	突合継手	T
	T型継手	L
	かど継手	F
溶 接 面	隅肉溶接	P
	部分溶込み溶接	F L
	重ねアーク溶接（フラア溶接）	1
	片面溶接	2

表1.8 溶接の補助記号

区 分	補助記号
現 場 溶 接	▲
全 周 溶 接	○
全 周 現 場 溶 接	⊙
断続溶接の長さ及び間隔	L-P

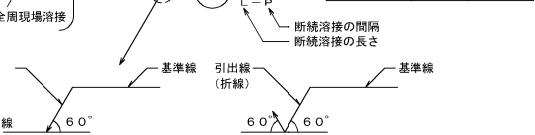


図1.1 溶接記号の記載例

※特記なき限り、完全溶込溶接の溶接方法・溶接面は適切な溶接方法等による。

2. 構造関係共通図（配筋標準図）

1 鉄筋の加工

鉄筋の折曲げ内法直径は、表1.1を標準とする。

表1.1 鉄筋の折曲げ内法直径

折曲げ 角 度	折曲げ図 (余長)	鉄筋の 種類	折曲げ内法直径(D)		
			呼び名	D16 以下	D19 ~ D38
180°					
135°					
90°					
135° 及び 90° (幅止め筋)					

1. 片持ちスラブ先端、壁筋の自由端側の先端で90° フックまたは135° フックを用いる場合は、余長は 4d 以上とする。
2. 90° 未満の折曲げの内法直径は構造図による。

2 異形鉄筋の末端部

次の部分に使用する異形鉄筋の末端部にはフックを付ける。

- (1) 柱及び梁（基礎梁を除く）の出隅部

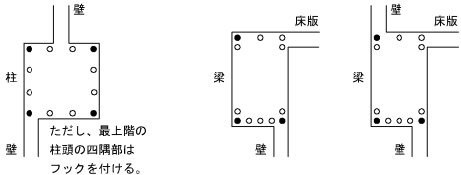


図2.1 末端部にフックを必要とする出隅部の鉄筋（●印）

- (2) 煙突の鉄筋（壁の一部となる場合を含む）
- (3) 杭基礎のベース筋
- (4) 帯筋、あばら筋及び幅止め筋

3 継手及び定着

(1) 鉄筋の重ね継手

- (7) 径が異なる鉄筋の重ね継手の長さは、細い鉄筋の径による。

- (4) 柱及び梁主筋並びに耐力壁を除く鉄筋の重ね継手の長さは、表3.1による。

表3.1 鉄筋の重ね継手の長さ

鉄筋の 種 類	コンクリートの 設計基準強度 F _c (N/mm ²)	L ₁ （フックなし）	L _{1h} （フックあり）
SD295	18	45d	35d
	21	40d	30d
	24, 27	35d	25d
	30, 33, 36	35d	25d
SD345	18	50d	35d
	21	45d	30d
	24, 27	40d	30d
	30, 33, 36	35d	25d
SD390	21	50d	35d
	24, 27	45d	35d
	30, 33, 36	40d	30d

- (注) 1. L₁、L_{1h}：重ね継手の長さ及びフックあり重ね継手の長さ。
2. フックありの場合のL_{1h}は、図3.1に示すようにフック部分Qを含まない。
3. 軽量コンクリートの場合は、表の値に 5d を加えたものとする。

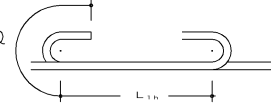


図3.1 フックありの場合の重ね継手の長さ

- (6) 耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さは、フックありなしにかかわらず40d以上（軽量コンクリートの場合は50d）又は表3.1の重ね継手の長さのうち、いずれか大きい値とする。

- (1) 隣り合う継手の位置は、表3.2による。

ただし、スラブ筋で D16 以下の場合及び壁筋の場合は除く。

表3.2 隣り合う継手の位置

重 ね 継 手	フックあり の場合	L _{1h}	
		a=0.5L _{1h}	a≧0.5L _{1h}
フックなし の場合		a=0.5L ₁	a≧0.5L ₁
溶 接 継 手	—	ガス圧接継手・溶接継手 a≧400mm	
機 械 式 継 手	—	カップラー a≧400mm、かつ、s≧(b+40)mm	

(2) 鉄筋の定着

- (7) 鉄筋の定着の長さは、表3.3及び図3.2による。

表3.3 鉄筋の定着の長さ

鉄筋の 種 類	コンクリートの 設計基準強度 F _c (N/mm ²)	直線定着の長さ		フックあり定着の長さ	
		L ₁	L ₂	L _{1h}	L _{2h}
SD295	18	45d	40d	35d	30d
	21	40d	35d	30d	25d
	24, 27	35d	30d	25d	20d
	30, 33, 36	35d	30d	25d	20d
SD345	18	50d	40d	35d	30d
	21	45d	35d	30d	25d
	24, 27	40d	35d	25d	20d
	30, 33, 36	35d	30d	25d	20d
SD390	21	50d	40d	35d	30d
	24, 27	45d	40d	35d	30d
	30, 33, 36	40d	35d	30d	25d

- (注) 1. L₁、L_{2h}：2から4以外の直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ。
2. L₂、L_{2h}：割製破壊のおそれのない箇所への直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ。
3. L₂：小梁及びスラブの下端筋の直線定着の長さ。ただし、基礎耐圧スラブ及びこれを受ける小梁を除く。
4. L_{2h}：小梁の下端筋のフックあり定着の長さ。
5. フックあり定着の場合は、図3.2に示すようにフック部分Qを含まない。また、中間部での折曲げは行わない。
6. 軽量コンクリートの場合は、表の値に 5d を加えたものとする。

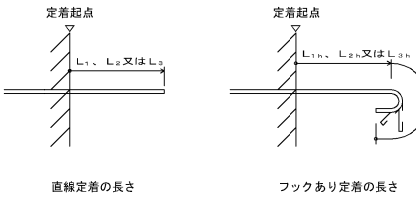


図3.2 直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ

- (4) 梁主筋の柱内折曲げ定着又は小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の方法は、図3.3により、次の(a)、(b)及び(c)をすべて満足するものとする。

- (a) 全長は表3.3に示す直線定着の長さ以上

- (b) 余長は 8d 以上

- (c) 仕口面から鉄筋外面までの投影定着長さLa及びbは表3.4に示す長さとする。

ただし、梁主筋の柱内定着においては、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。

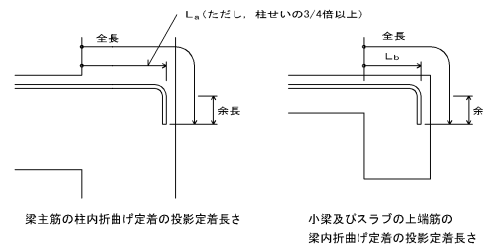


図3.3 折曲げ定着の方法

表3.4 鉄筋の投影定着の長さ

鉄筋の 種 類	コンクリートの 設計基準強度 F _c (N/mm ²)	L _a	L _b
SD295	18	20d	15d
	21	15d	15d
	24, 27	15d	15d
	30, 33, 36	15d	15d
SD345	18	20d	20d
	21	20d	20d
	24, 27	20d	15d
	30, 33, 36	15d	15d
SD390	21	20d	20d
	24, 27	20d	20d
	30, 33, 36	20d	15d

- (注) 1. L_a：梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ。

- (基礎梁、片持ち梁及び片持ちスラブを含む。)

2. L_b：小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ。

- (片持ち小梁及び片持ちスラブを除く。)

3. 軽量コンクリートの場合は、表の値に 5 d を加えたものとする。

- (6) 溶接金網の継手及び定着は、図3.4による。

なお、L₁は表3.1に、L₂及びL₃は表3.3による。

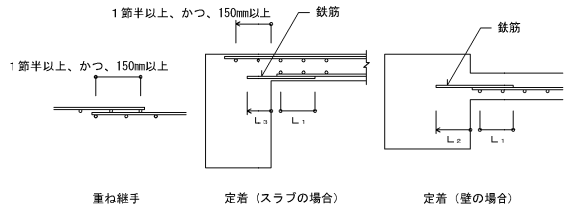


図3.4 溶接金網の継手及び定着

- (1) スパイラル筋の継手及び定着は、図3.5による

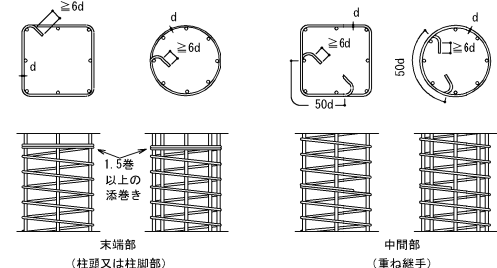


図3.5 スパイラル筋の継手及び定着

4 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔

- (1) 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは、表4.1による。

ただし、柱及び梁の主筋に D29 以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保するように最小かぶり厚さを定める。

表4.1 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ(単位：mm)

構造部分の種別		最小かぶり厚さ
土に接しない部分	スラブ、耐力壁以外の壁	仕上げあり 20
		仕上げなし 30
	柱、梁、耐力壁	屋内 仕上げあり 30
		仕上げなし 30
		屋外 仕上げあり 30
		仕上げなし 40
土に接する部分	擁壁、耐圧スラブ	40
	柱、梁、スラブ、壁	40
	基礎、擁壁、耐圧スラブ	60
煙突等高温を受ける部分		60

- (注) 1. この表は、普通コンクリートに適用し、軽量コンクリートには適用しない。
- また、塩害を受けるおそれのある部分等耐久性上不利な箇所には適用しない。
2. 「仕上げあり」とは、モルタル塗り等の仕上げのあるものとし、鉄筋の耐久性上有効でない仕上げ（仕上塗材、塗装等）のものを除く。
3. スラブ、梁、基礎及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、捨コンクリートの厚さを含まない。
4. 杭基礎の骨合のかぶり厚さは、杭先端からとする。

- (2) 柱、梁等の鉄筋の加工に用いるかぶり厚さは、最小かぶり厚さに10mmを加えた数値を標準とする。

- (3) 鉄筋組立後のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。

- (4) 鉄筋相互のあきは図4.1により、次の値のうち最大のもの以上とする。

- (7) 粗骨材の最大寸法の1.25倍

- (4) 25mm

- (6) 隣り合う鉄筋の径（呼び名の数値）の平均の1.5倍

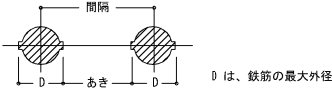


図4.1 鉄筋相互のあき及び間隔

- (5) 鉄骨鉄筋コンクリート造の場合、主筋と平行する鉄骨とのあきは、(4)による。

- (6) 貫通孔に接する鉄筋のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。

5.1 基礎梁

(1) 一般事項

- (7) 梁筋は、連続端で柱に接する梁筋が同数の時は柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合には、図5.1のように反対側の梁に定着する。外端部や隅部では、折り曲げて定着する。
- (4) 梁筋を柱内に定着する場合は、7.1(2)による。

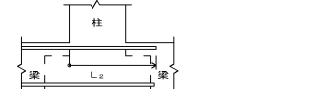
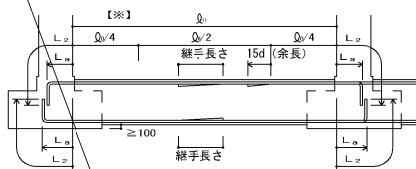


図5.1 梁筋の基礎梁内への定着

- (2) 独立基礎で基礎梁にスラブが付かない場合の主筋の継手、定着及び余長は、図5.2による。



- (注) 1. 図示のない事項は、7.1による。
2. 印は、継手及び余長位置を示す。
3. 破線は、柱内定着の場合を示す。
4. 梁主筋のみ込み長さ（柱せいの3/4倍以上）

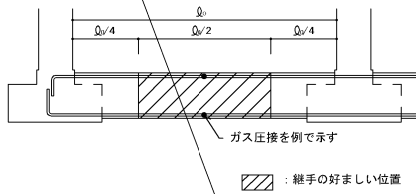
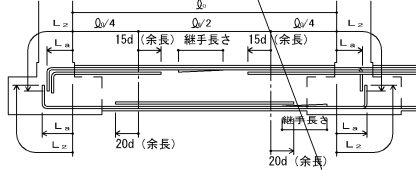


図5.2 主筋の継手、定着及び余長（その1）

- (3) 独立基礎で基礎梁にスラブが付く場合の主筋の継手、定着及び余長は、図5.3による。

ただし、耐圧スラブがすく場合は、(4)による。



- (注) 1. 図示のない事項は、7.1による。
2. 印は、継手及び余長位置を示す。
3. 破線は、柱内定着の場合を示す。
4. 梁主筋のみ込み長さ（柱せいの3/4倍以上）

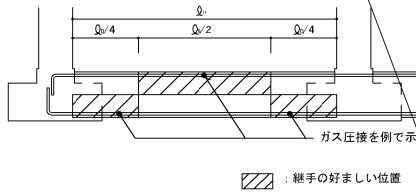
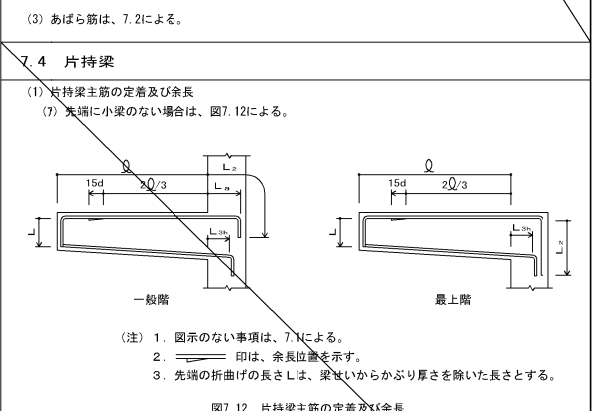
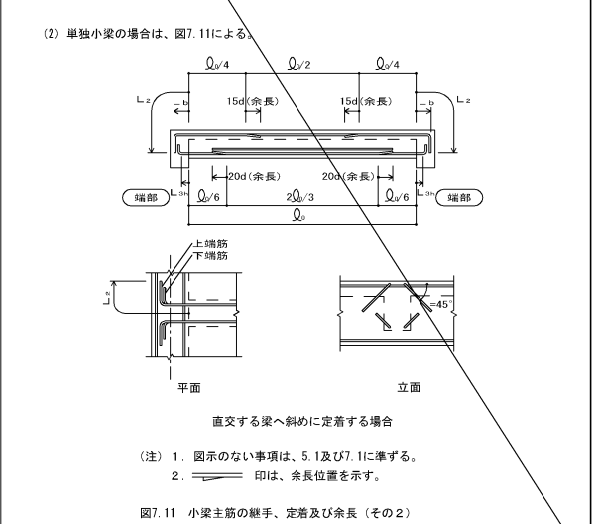
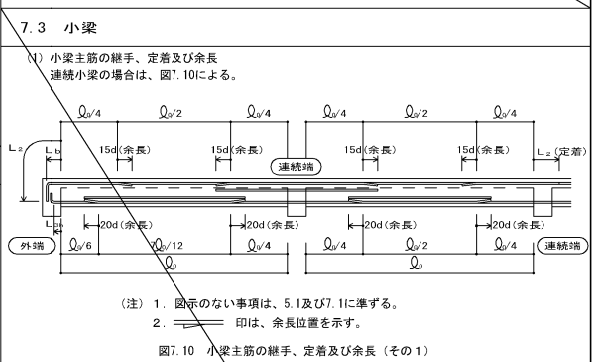
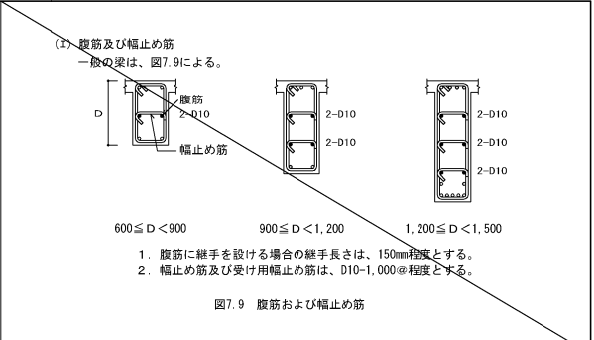
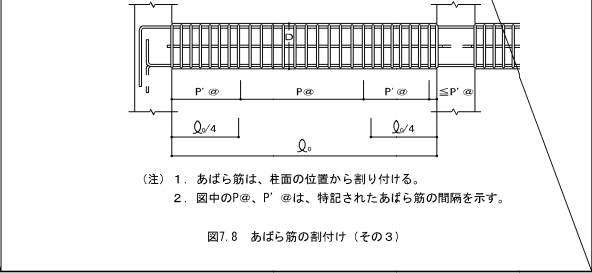
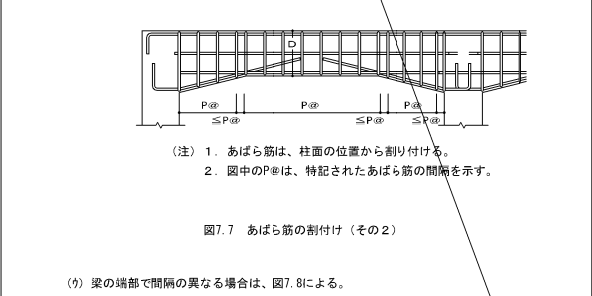
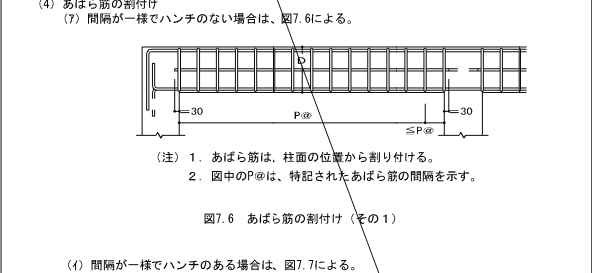
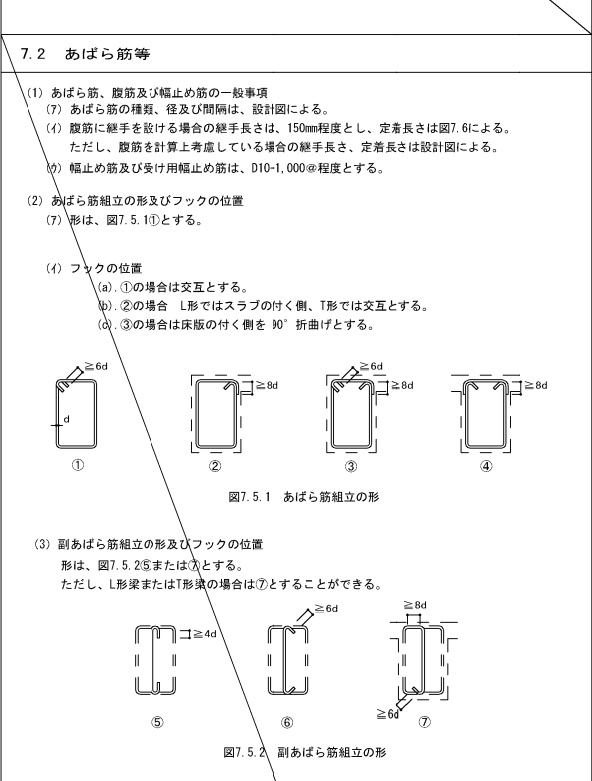
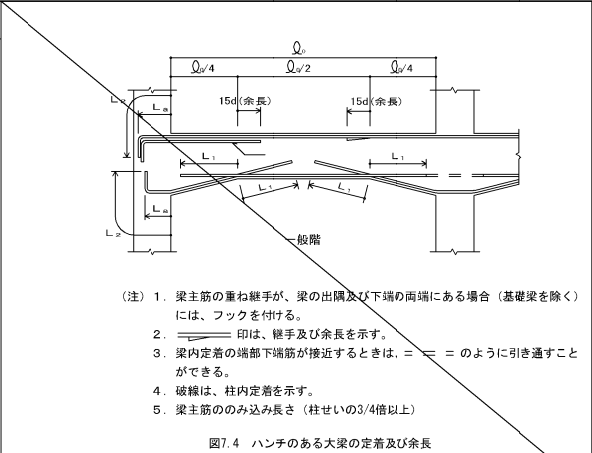
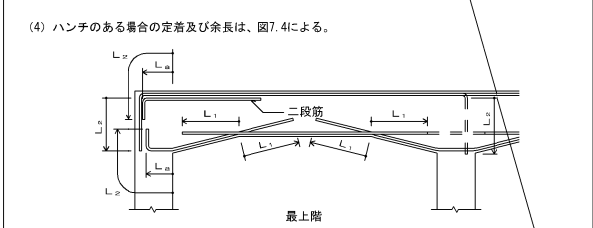
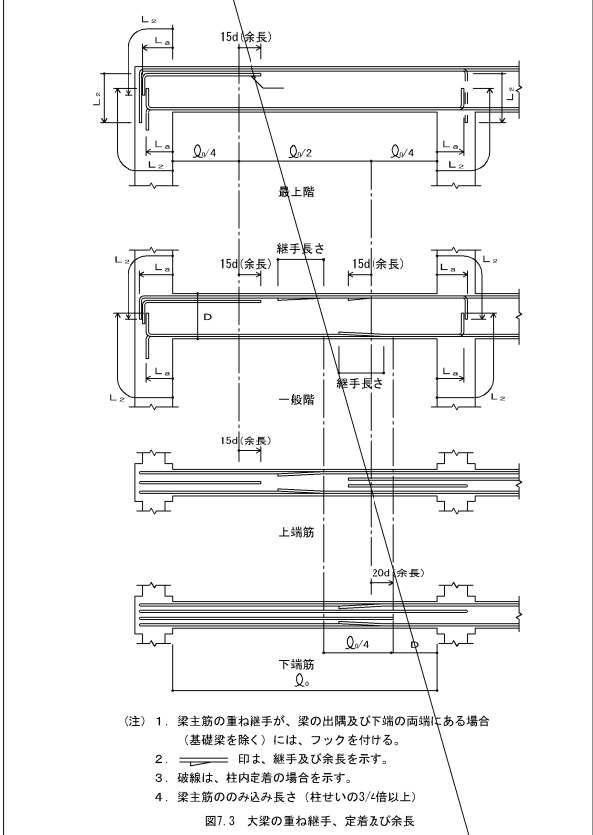
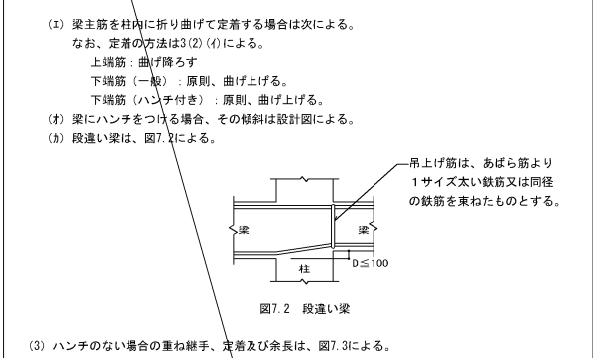
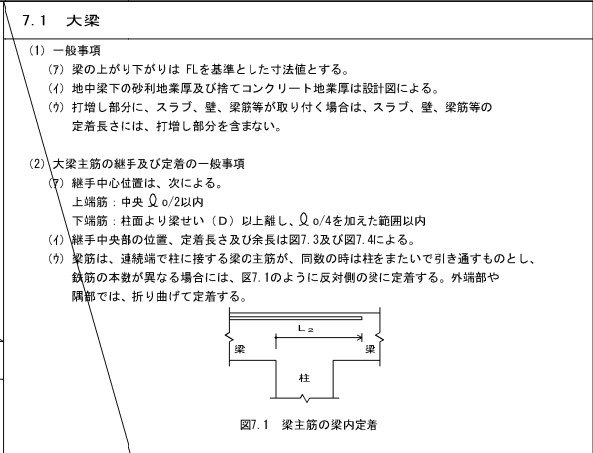
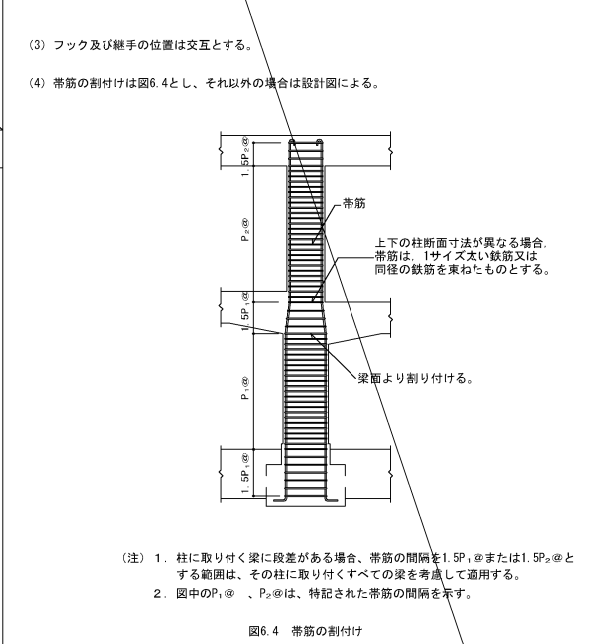
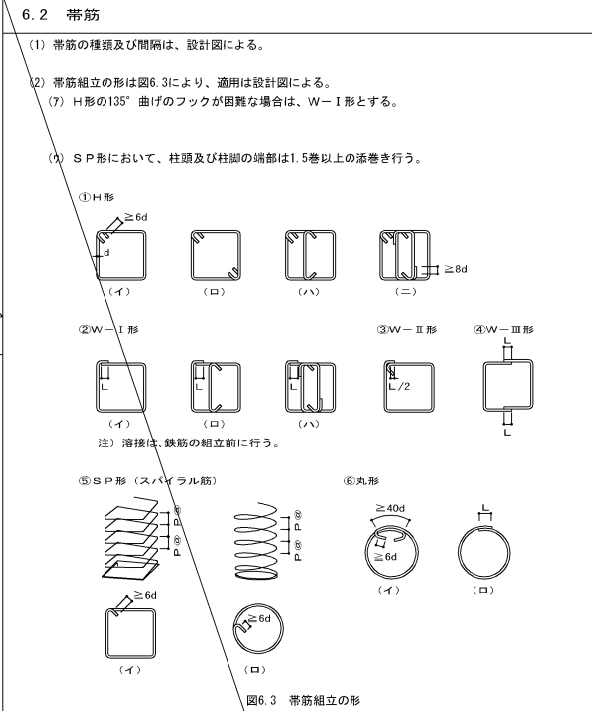
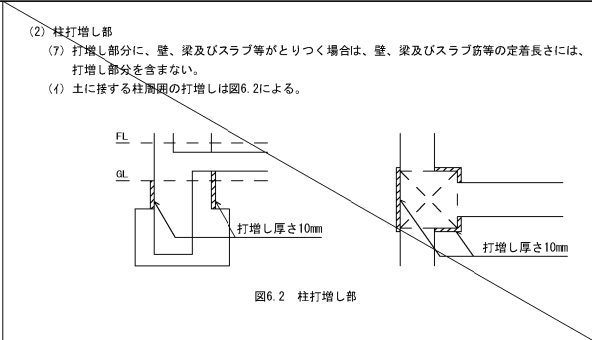
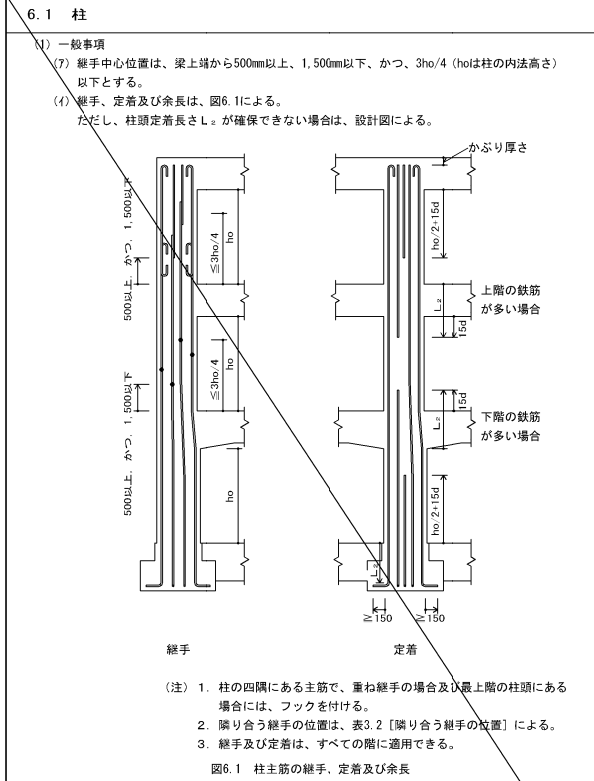
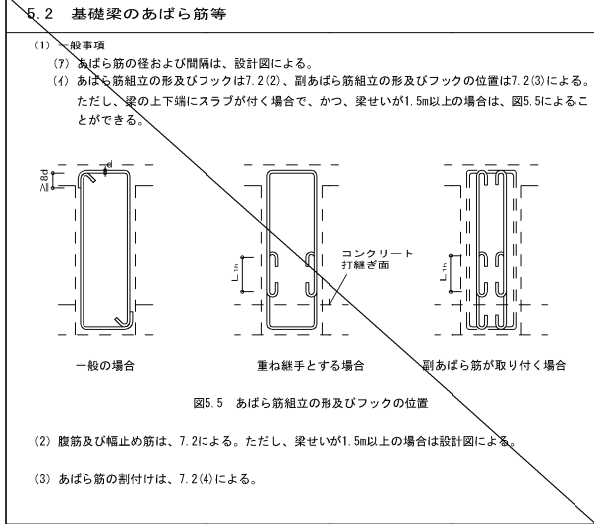
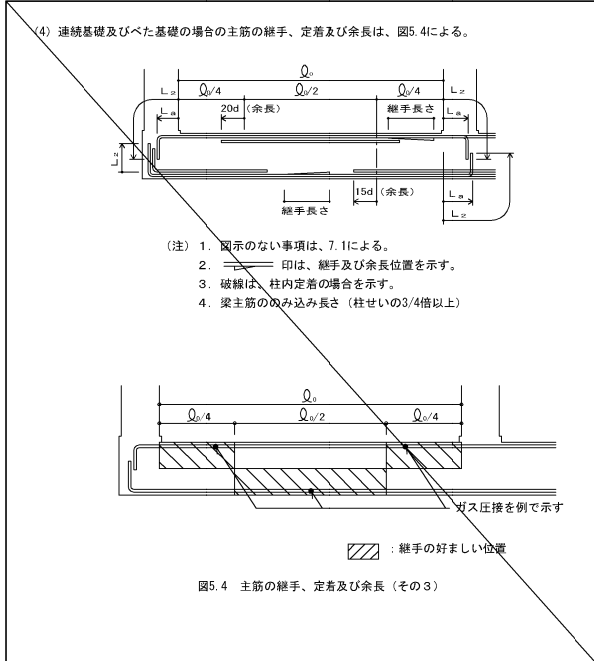


図5.3 主筋の継手、定着及び余長（その2）

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	構造関係共通事項（1）		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	—	図面番号	S-01
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		



工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	構造関係共通事項 (2)		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	—	図面番号	S-02
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		

10.2 二辺固定スラブ形階段

二辺固定スラブ形階段は、プレキャストコンクリート部材または現場打ちコンクリート部材とする。プレキャストコンクリート部材とする場合の取付け方法は構造図による。

二辺固定スラブ形階段の配筋は表10.2並びに図10.2及び図10.3により、寸法及び配筋種別は、構造図による。

配筋種別	上端筋、下端筋とも（全域）
KB1	D13-200@
KB2	D13-150@
KB3	D13-100@
KB4	D13、D16-150@
KB5	D16-150@
KB6	D16-125@
KB7	D16-100@

図10.2 二辺固定スラブ形階段配筋（その1）

図10.3 二辺固定スラブ形階段配筋（その2）

（注）下図の場合にも二辺固定スラブ形階段配筋を準用する。

11.1 梁貫通孔

(1) 梁貫通孔は、次による。

(7) 梁貫通孔補強筋の名称等は、図11.1による。

(4) 孔の径は、梁せいの1/3以下とする。

(9) 孔の上下方向の位置は、梁せいの中心付近とし、梁中央部下端は梁下端より0/3（Dは梁せいの範囲には設けてはならない。

(2) 孔は、柱面から原則として、1.5D以上離す。ただし、基礎梁及び壁付帯梁は除く。

(8) 孔が並列する場合の中心間隔は、孔の径の平均値の3倍以上とする。

(3) 縦筋及び上下縦筋は、あばら筋の形に配筋する。

(5) 補強筋は、主筋の内側とする。また、鉄筋の定着長さは、図11.2による。

(6) 孔の径が梁せいの1/10以下、かつ、150mm未満のものは、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋でき、補強を省略することができる。

(7) 溶接金網の余長は、1倍以上とし、突出しは10mm以上とする。

(3) 溶接金網の貫通孔部分には、鉄筋 1-13φのリング筋を取り付ける。

なお、リング筋は、溶接金網に4箇所以上溶接する。

(9) 溶接金網の割付け始点は、横筋ではあばら筋の下側とし、縦筋では貫通孔の中心とする。

(2) 他の開孔を設けない範囲は、図11.3による。

図11.1 梁貫通孔補強筋の名称等

図11.2 補強筋の定着長さ

図11.3 他の開孔を設けない範囲

(2) 梁貫通孔の補強形式は表11.1～表11.2により、配筋種別は設計図による。

配筋種別	斜め筋	縦筋	横筋	上下縦筋	配筋図
H1	2-2-D13	なし	なし	なし	
H2	2-2-D13	2-2-D13	なし	なし	
H3	4-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
H4	4-2-D16	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
H5	4-2-D16	4-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	
H6	4-2-D19	4-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	
H7	4-2-D22	4-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	

（注）――は、一般部分のあばら筋を示す。

11.2 壁貫通孔

(1) 壁貫通孔は、次による。

(7) 壁貫通孔補強筋の名称等は、設計図による。

(4) 配筋は、図11.4による。

図11.4 壁貫通孔の配筋（水平、垂直とも）

(2) 壁貫通孔が土間コンクリート上に設置される場合の補強は、図11.5による。

図11.5 壁貫通孔が土間コンクリート上に設置される場合の補強

11.3 バラベットの先端補強

バラベットの先端補強筋は図11.6により、コンクリート厚さ及び配筋は構造図による。

図11.6 バラベットの先端補強筋

12.1 擁壁

宅地造成等規制区域外での高さ2m以下の擁壁の鉄筋の定着長さは図12.1により、コンクリートの厚さ及び配筋は構造図による。

図12.1 擁壁の鉄筋の定着長さ

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	構造関係共通事項（4）		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	—	図面番号	S-04
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		

耐震改修工事特記仕様書

1適用範囲

◎各工事は、本特記仕様書及び設計図に基づくものとし、これらに記載のない場合は、公共建築改修工事標準仕様書（最新版）及び、公共建築工事標準仕様書（最新版）による。
◎設計図と本構造特記仕様書の内容に疑義が生じたり、現場の納まり等で設計図によることが困難な場合が生じた時は監督職員と協議を行う。
◎本工事における設計図書等の優先順位は、下記による。
1. 現場説明書及び現場説明に対する質問回答書
2. 図面
3. 本構造特記仕様書
4. 公共建築改修工事標準仕様書（最新版）
5. 公共建築工事標準仕様書（最新版）

2構造使用材料（項目は、番号に○印のついたものを使用する。）

1. コンクリート

○コンクリートの種別 J I S 表示許可工場にて製造された、レディーミクストコンクリート

○設計基準強度 Fc＝24N/mm2

○スランブ 18cm 以下

○粗骨材最大径 20mm 程度

○単位セメント量 270kg/m3 以上

○単位水量 185kg/m3 以下

○水セメント比 65% 以下

2. 鉄筋

○全般 SD295 JIS規格品 (D13以下)

SD345 JIS規格品 (D16以上)

○スパイラル筋 SR235 (6φ) 設計図による。

○鉄筋継手 重ね継ぎ手を原則とする。

3. 接合部アンカー（柱、梁面）

○接着系アンカー 有機系(カプセル型)

○アンカー筋 SD295 JIS規格品 (D13以下)

SD345 JIS規格品 (D16以上)

4. 無収縮モルタル

○グラウト材 プレミックスタイプの早強型特殊セメント系無収縮グラウト材

○設計基準強度 Fm＝30N/mm2以上

○コンシステンシー J14ロート試験方法による。

5. 鉄骨

・鋼材 JIS規格品 ・SS400 ・SM490A ・SM490B ・STK400 ・STKR400

・高力ボルト ・S10T 認定品（または、F10T JIS規格品）

・溶融亜鉛メッキボルト (F8T 大臣認定品)

・頭付きスタッド JIS規格品

3材料試験（項目は、番号に○印のついたものを使用する。）

1. 規格品でJ I S 表示のあるもの、もしくはメーカーが保証する検査証明書のある材料、またはあらかじめ監督職員の承認を受けた場合は材料検査を省略することができる。

2. 下記の材料は、関連仕様書に基づき試験を行い、報告書を提出すること。
試験回数は施工計画書を提出し監督職員との協議の上、決定する。
○コンクリート :圧縮強度試験 (8.5による)

:品質検査 (8.5による)

○あと施工アンカー :張力確認 (7.8による)

○無収縮モルタル :圧縮強度試験及び流下速度 (9.8による)

・鉄骨 :超音波探傷試験（完全溶け込み溶接部） (10.4による)

4施工計画

・補強工事は、既存の構造体に対して部材を増設する事によって耐震性の向上及び構造の改善を図るもので、既存躯体との接合がきわめて重要である。
また、この工法は、限られた場所で行なわれるもので、一般の建築工事とは施工方法などが相当異なる面がある。よって、設計の主旨が充分に実現される様な工法を選び、工事着手に先だち施工計画書を作成し、監督職員の承諾を得てから実施する。
特に次の点には充分注意する。
(1) 既存寸法、階高寸法その他は、実測による。
(2) 補強部材と既存躯体との一体化を図る。

5改修工事の主な施工内容（項目は、番号に○印のついたものを使用する。）

1. 鉄骨ブレース新設

1) 既存躯体の実測と墨出し
(既存鉄筋を鉄筋探査器により確認)

2) 原寸図の作成と加工

3) 部材組立て（工場溶接）

4) 既存躯体表面の目荒し

5) 既存躯体への接合接着系アンカー設置

6) 現場搬入、建て入れ、本接合

7) 鉄筋の加工及び組立て

8) 清掃

9) 型枠組立、コーキング

10) 無収縮モルタル等圧入、養生

11) 型枠撤去及び清掃

2. 鉄筋コンクリート耐震壁増設

1) 既存躯体の実測と墨出し
(既存鉄筋を鉄筋探査器により確認)

2) 既存躯体表面の目荒し

3) 既存躯体への接合接着系アンカー設置

4) 鉄筋の加工及び組立て

5) 清掃

6) 型枠組立、コーキング及び水湿し

7) コンクリート打設、養生

8) 型枠撤去及び清掃

9) 無収縮モルタル等圧入、養生

10) 型枠撤去及び清掃

3. 本工事における各耐震改修工法について、施工手順及び施工計画書を作成し監督職員の承認を得ること。

6解体・撤去

1. 仮設足場等は、作業に応じて設けるものとし、施工性の向上と安全性を確保すること。

2. コンクリート及び塗り仕上げを部分的に撤去する場合は、カッター等で切込みを付け既存部分の保護を図ること。既存コンクリートの撤去は、原則として油圧式のハンドクラッシャーを用いること。又、既存躯体面の目荒しは、主に電動ピック等を用いて、平均深さで2～5mm(最大で5～7mm)程度の凹面を、合計が打継ぎ面の15～30%程度の面積となるように全体にわたってつける。（増打ち壁増設の場合の既存壁には、打継ぎ面の10～15%程度を目安として目荒しを行う。）

3. 接合部の粉塵及びはつり殻は、入念な清掃及び水洗いを行うこと。躯体コンクリート面が、ジャンカや著しく脆弱な場合には、監督職員に報告し対応について指示を受けること。

4. 仕上げ、躯体コンクリート及び設備配管などの撤去に際しては必要最小限の範囲とし、残りの部分をいためない様に充分注意すること。

7アンカー工事

1. アンカー打設は、社団法人 日本建築あと施工アンカー協会(JCAA)の有資格者とする。

2. 接着系アンカーは、使用実績も多く信頼性の高いものを用いること。又、コンクリートドリル径は、アンカー径に適合したものとする。

3. 接着系アンカーのピッチ及び配置の最小値は下表による。

単位 (mm)					
外径 da	ピッチ	はしあき	へりあき	ゲージ(ナリ)	ゲージ(ダブ)
10	75	50	25	40	55
13	97.5	65	32.5	52	71.5
16	120	80	40	64	88
19	142.5	95	47.5	76	104.5
22	165	110	55	88	121

はしあき (5da以上)

ピッチ (7.5da以上かつ30cm以下)

へりあき (2.5da以上かつ主筋の内側)

ゲージ (ナドリ：4da以上)

(ダブル：5.5da以上)

4. アンカー筋の有効埋込み長さは一般部:7da、開口補強筋用:12da、また穿孔長さは一般部:8da、開口補強筋用:13daとし、定着長さは図示とする。

5. 本工事に用いる接着系アンカーは、有機系カプセル型とし、D13以下 SD295規格品、D16以上 SD345規格品とする。
※埋め込み深さが10da以上の場合は、樹脂容量が適合するカプセルを選定する。

6. 穴開けに先立ち、増設部分の既存柱・梁において、主筋、筋筋及び帯筋の位置を鉄筋探査機等を用いて確認すること。鉄筋等に当り埋込み長さが不足したものは、不良孔とし無収縮性のモルタル、もしくはポリマーセメントモルタルにて補修すること。

7. 1階部分では、土間スラブと基礎梁が一体化されていないことが予想される。このため、既存躯体を部分的に新り補強筋などにより、土間スラブと基礎梁との一体化が図られていることを確認すること。

8. アンカー試験

・接着系アンカー筋 ……全数打音確認

・張力確認 ……1日に施工されたものの各径ごとを1ロットとし、この中から3本を確認張力まで引張り、強度及び引張剛性を測定する。

・確認張力は、下表の値以上とする。

単位 (kN/本)			
径	材質	確認張力	備考
D13	SD295	20.4 kN	Le＝7da
D16	SD345	26.4 kN	Le＝7da
D16	SD345	45.8 kN	Le＝10da

※ ディスクシアキー用アンカーはディスクシアキー工法特記仕様書に記載する。

9無収縮モルタル圧入工事

1. モルタル圧入工事は、アンカーの打設と同様に本工事の重要な作業工程であるため、打設には充分注意すること。型枠撤去後は、施工箇所をの全周について検査を行ない、打設が完全であることを確認し監督職員の承認を受けること。万一、不良箇所が生じた場合は、ただちに監督職員に報告し施工業者の責任において、補修（再圧入）を行なう。

2. コンクリート打設面のレイタンス等は、ワイヤーブラシ又は、圧縮空気により除去し水湿しを行なうこと。

3. 圧入用型枠の施工及び各部のコーキングは、圧入業者の施工とする。

4. 型枠は、普通合板 厚12 を原則とし、圧入の圧力に対して十分に抵抗できる剛性を持つものとする。セパレーターを用いて両側より締めつけ、モルタルの漏出のないように組立ること。

5. 圧入は、適切な圧力で中断しないように行うこと。

6. 空気抜き（確認孔）を設け、グラウトモルタルが空気抜き（確認孔）に出てくる事を確認すること。圧入位置及び空気抜き（確認孔）の位置は下図による。

空気抜き（確認孔）

圧入口

(1)による普通コンクリート施工後、
(2)により無収縮モルタルを圧入する。

7. 本工事に用いる無収縮モルタルは、セメント系無収縮モルタルとし、増設壁等は、Fm＝30N/mm2以上とする。
標準使用量及び流下速度については、メーカー仕様に基づき、施工計画書に明記して承認を得ること。

8. モルタル試験

・圧縮強度試験については、生コンクリート協同組合にて行う。

・試験は1日に施工する毎に1回以上、かつ打設量が3m3超える場合はモルタル2m3当たり1回を追加し、コンシステンシー試験(J14ロートによる)を行い、供試体採取する。

・モルタル用の供試体は、直径50mm、高さ100mmの大きさとし、材令3日、7日、28日ごとに3本とする。

10鉄骨工事

1. 鉄骨製作工場・建築基準法第68条の26による大臣認定工場とする。
株式会社 日本鉄骨評価センター又は
社団法人 全国鉄鋼工業協会（全構協）：指定なし

2. 施工図

・鉄骨工作原寸図に先立ち、鉄骨加工図を作成し監督職員の承認を受ける。

3. 錆止め塗料

・ブレース枠材及び一般鉄骨材 (ADブレースを除く)
JIS K 5674 (無鉛=ケムフリー)2回塗り

4. 溶接検査

・溶接部の検査は、全体の目視検査と超音波探傷試験を行う。

超音波探傷試験において、工場内での自主検査は100%とし、第三者試験機関による試験は、工場・工事現場溶接共、全数試験とする。なお、試験の規率は、(社)日本建築学会「鋼構造建築溶接部の超音波探傷検査基準」による。第三者試験機関は、監督職員の承諾を受ける。

5. 頭付スタッド

・鉄骨枠に溶接する頭付きスタッドは下表による。又、配置（最小値）は下図による。

呼び名	軸径 d	頭径 D	頭高さ T	溶接後の首下長さ L	単位 (mm)
					形状
					D T L d

※ ディスクシアキー用頭付スタッドはディスクシアキー工法特記仕様書に記載する。

11溶接基準図（参考：鉄骨設計標準図・最新版・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）

※開先形状の各部寸法、溶接姿勢等の表示についてはJASS6 付則 5に従う。

※鉄骨の製作精度については、JASS6 付則 6に従う。

スミ肉溶接

①

記号

板厚

$t \leq 16$

t

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

s

3

4

5

6

6

7

7

8

9

10

10

11

12

t

≤

16mm

● tはt1、t2の小さい方とする。
余盛りは (1+0.1S) 以下とする。

②

記号

板厚

$t \leq 6$

③

6 < t < 16

④

16 ≤ t

裏はつり

t

2

t/2

45°

f

2

0

2

f ≥ 0.5mm, ただし
t ≥ 15mmのときは4mmとする。

裏当金

t

2

t/4

35°

t/4

6

25mm以上

⑤ 部分溶け込み溶接

⑥ 部分溶け込み溶接

板厚が異なるとき

h

4

h

● 溶接表面が薄い方の材から厚い方の材へ滑らかに移行するように溶接する。

5以上

4 < h

h

4 < h

h

スカラップ

r

10

r=35

または、

r

10~20

● スカラップの形状は上図のいずれかとし、監督員の承認を受けて決定する。

● ノンスカラップ工法を採用する場合には施工計画書に明記の上、監督職員の承認を得ること。

エンドタブと裏当金

角度は、溶接標準図参照

エンドタブ

裏あて金

t

L

溶接方法

t

L

手溶接

6

35~50

半自動溶接

9

40~60

自動溶接

12

70~100

12取付き既存柱、梁、スラブの補修

1. ひび割れ等のある柱、梁のエポキシ樹脂注入（低圧注入工法）は、製品の品質・規格・使用方法などをまとめた施工計画書を提出して、監督職員の承認を得ること。

2. 施工にあたっては、材料の保管場所を限定するとともに消火器を設置し、換気及び火気には充分注意すること。

3. 鉄筋コンクリートの壁及び鉄骨ブレースを設置する柱は、これらに先立ち躯体補修等を行うこと。

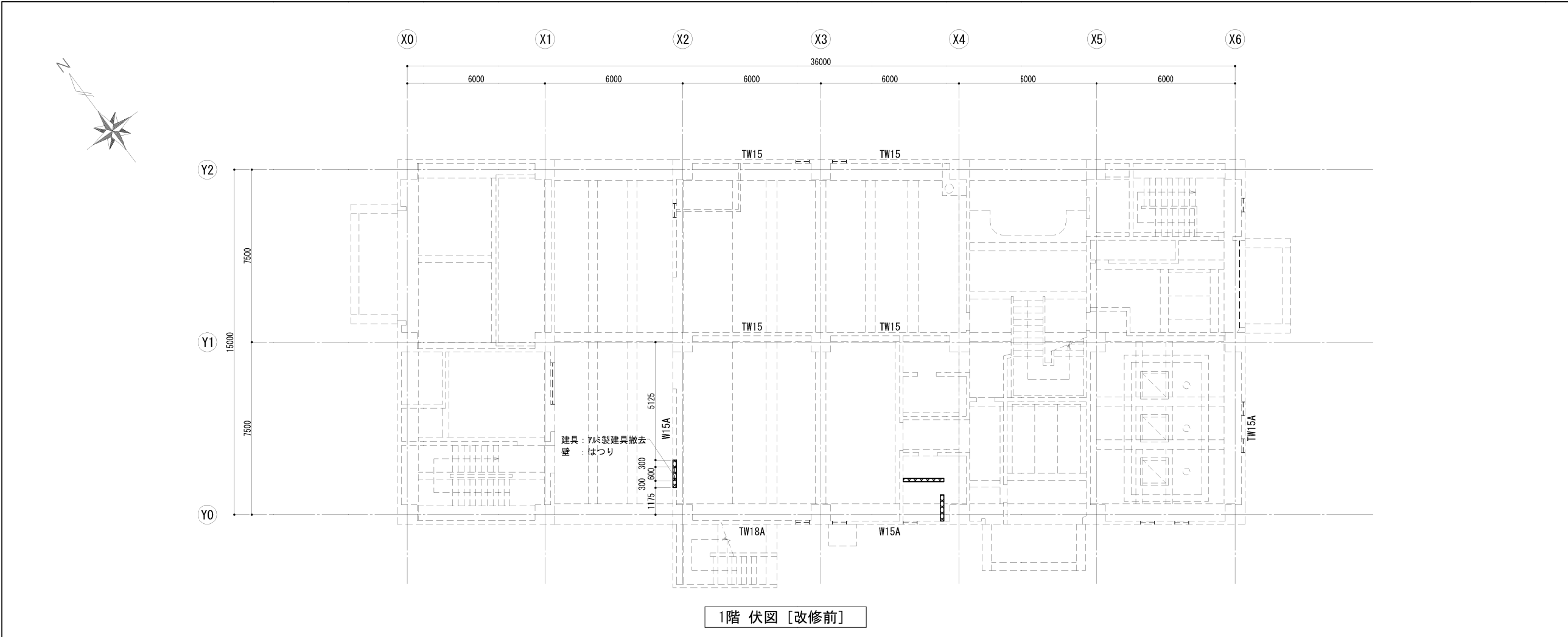
13その他

1. 補強部材の設置によって既存スラブを新った場合は、既存鉄筋を残して鉄骨材設置後に復旧すること。

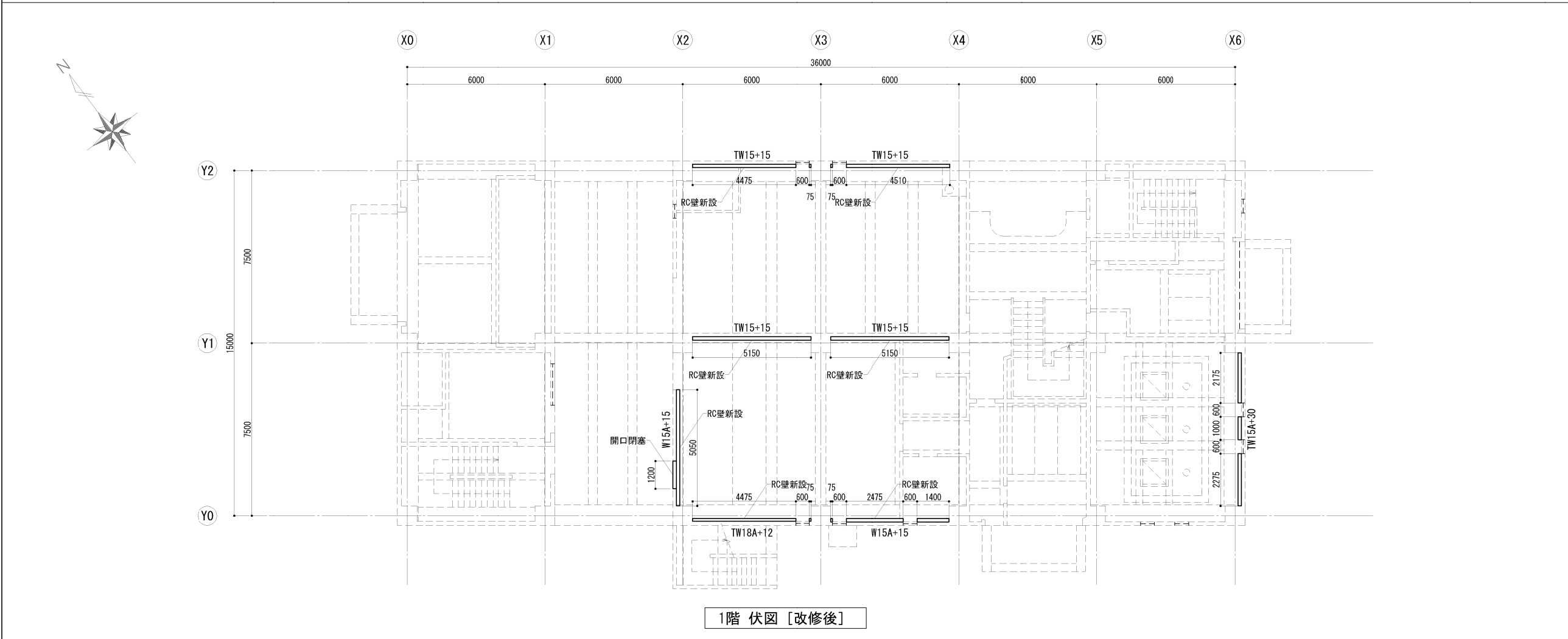
2. 既設スラブジェベル筋は、鉄骨材の設置によって切断された場合は、スタッド及び横筋によって定着させること。

3. 補強部材設置時に仕上げ材が干渉する場合は、施工上必要な範囲について撤去し、補強部材取付け後に既存同等復旧とすること。

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	耐震改修工事特記仕様書		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	—	図面番号	S-05
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		



1階 伏図 [改修前]



1階 伏図 [改修後]

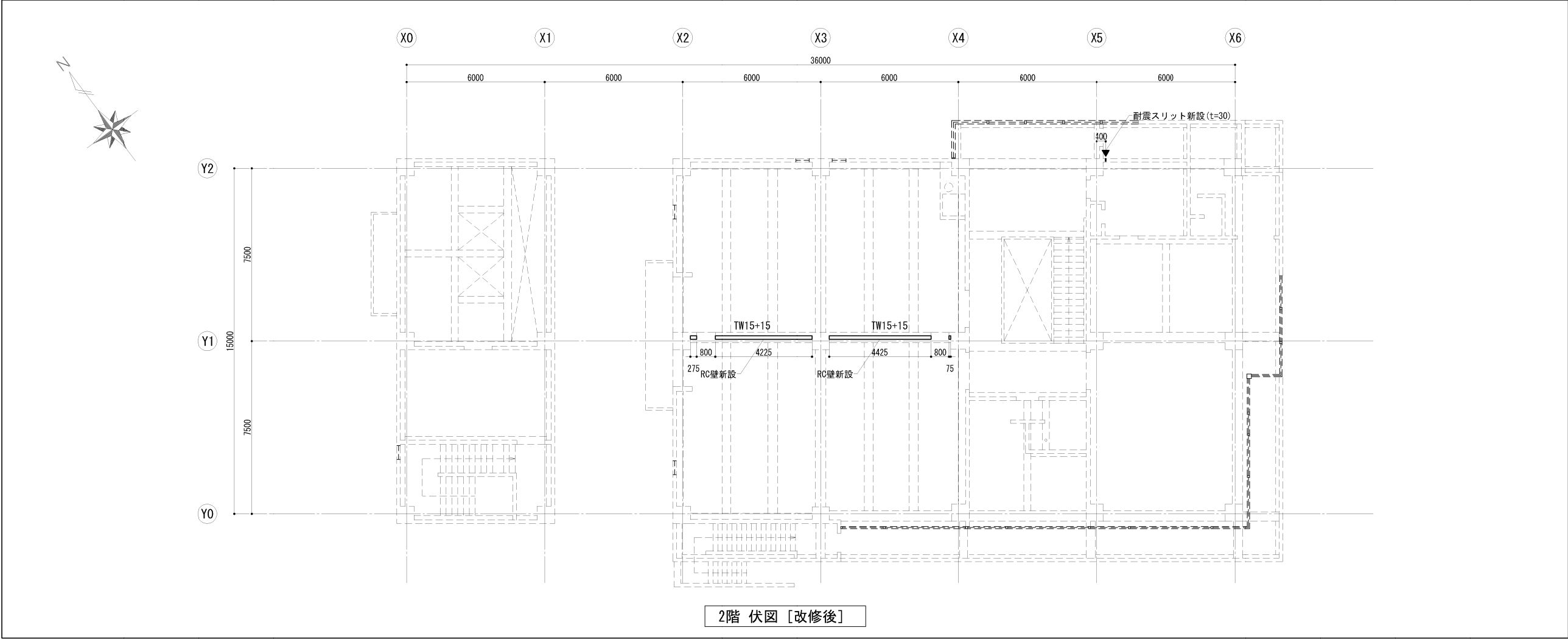
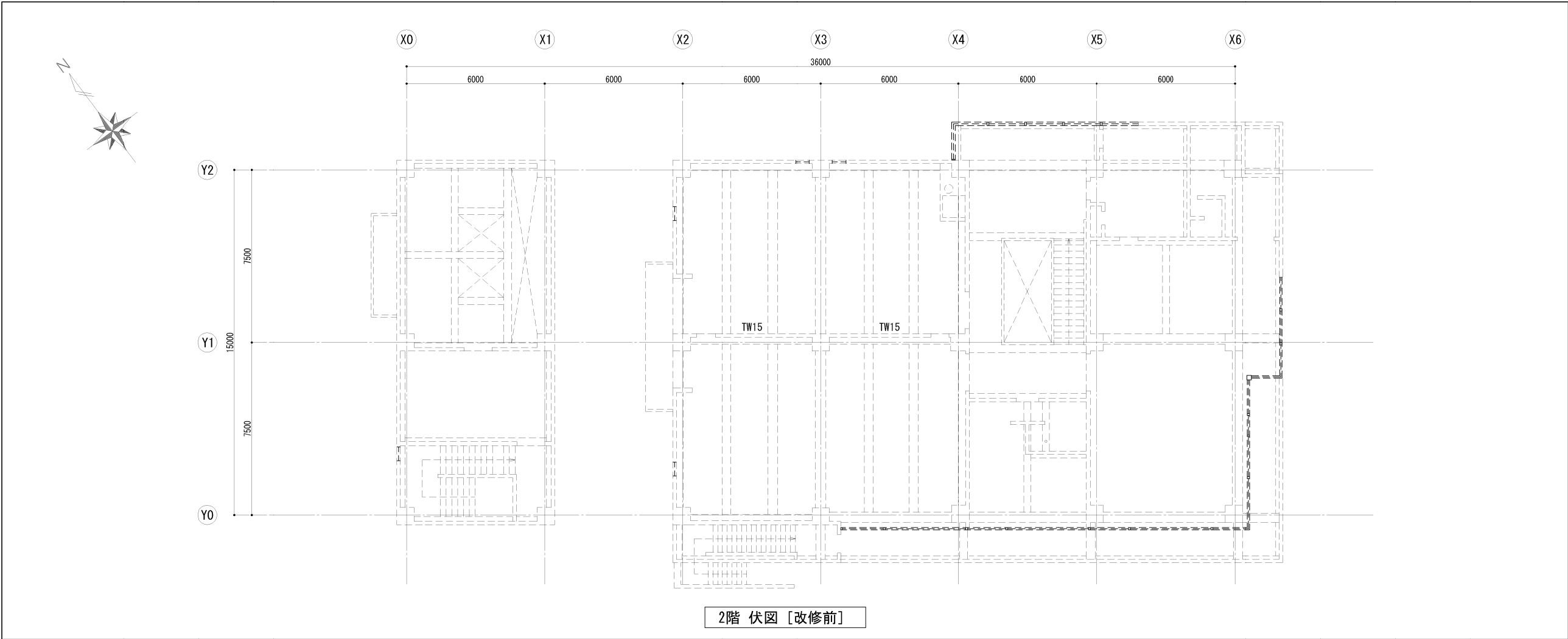
【凡例】

--- : 既存躯体を示す

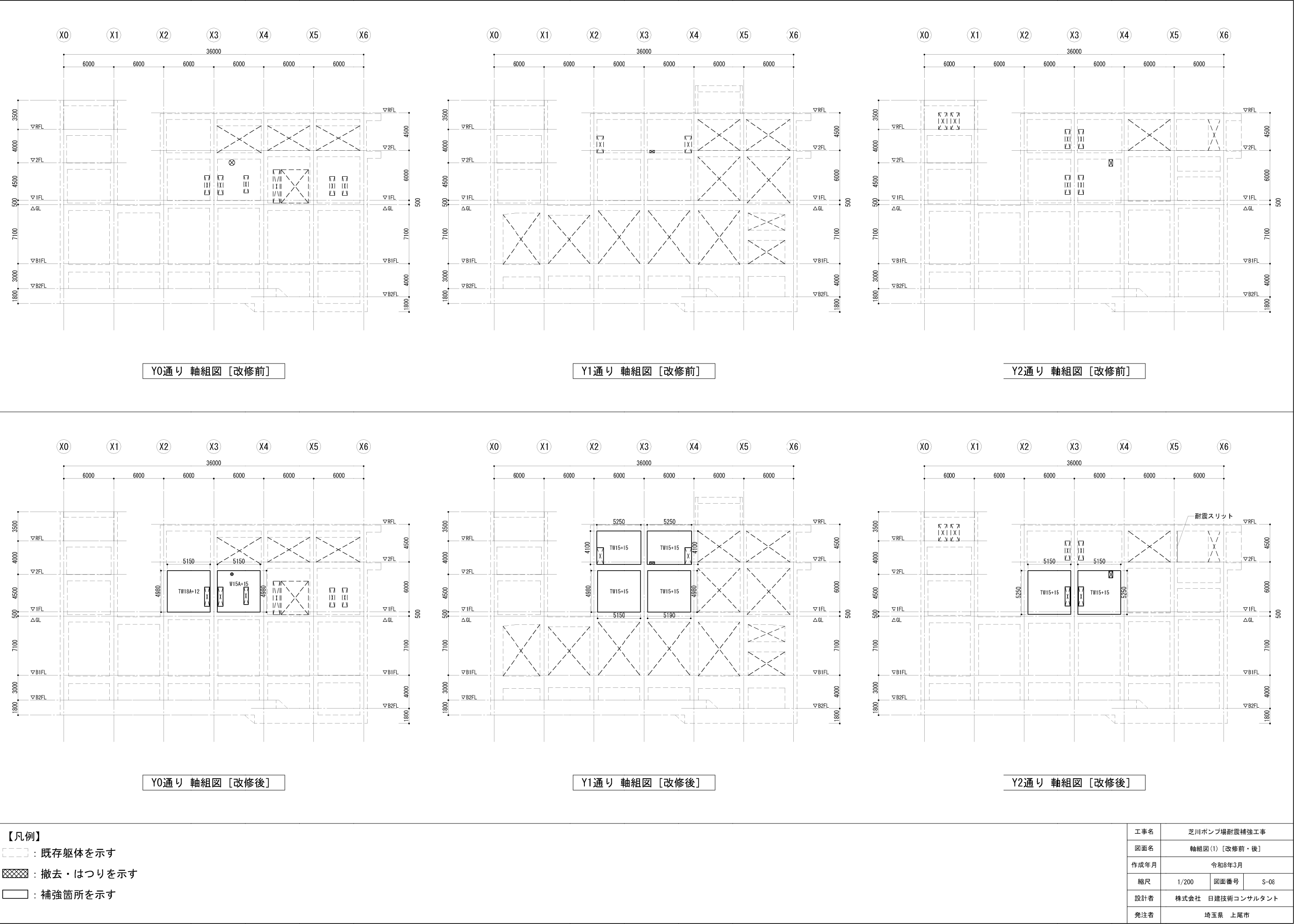
XXXX : 撤去・はつりを示す

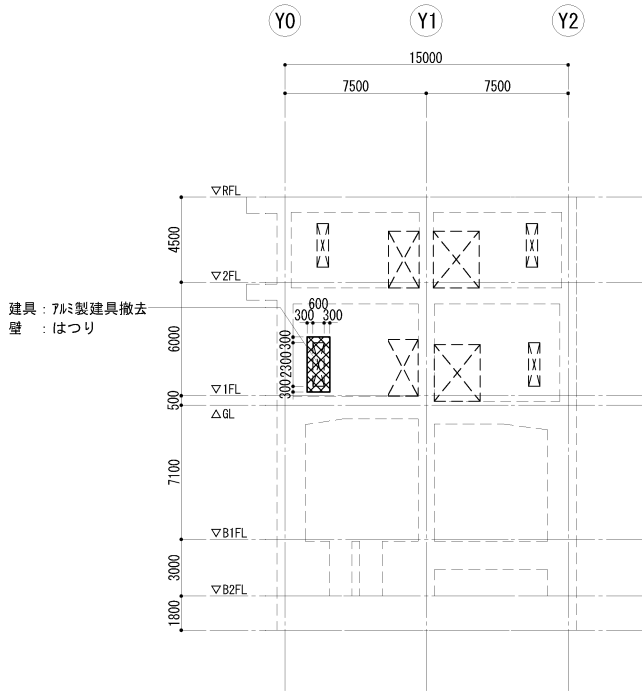
□ : 補強箇所を示す

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	1階 伏図 [改修前・後]		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	1/100	図面番号	S-05
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		

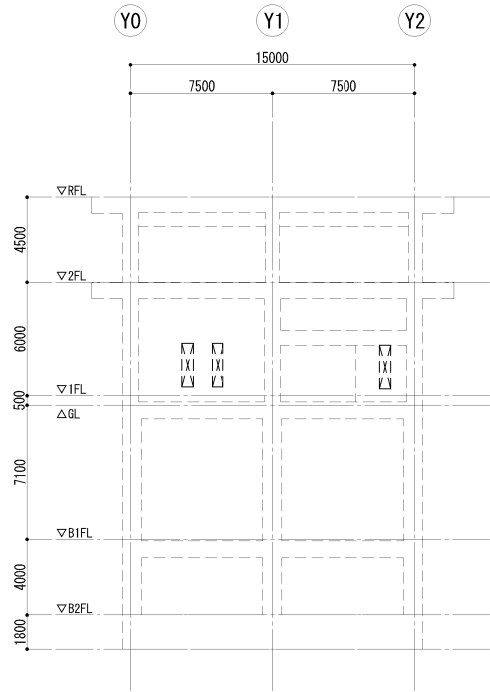


【凡例】			
□□□□：既存躯体を示す			
▣▣▣▣：撤去・はつりを示す			
□□□□：補強箇所を示す			
工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	2階 伏図 [改修前・後]		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	1/100	図面番号	S-07
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		

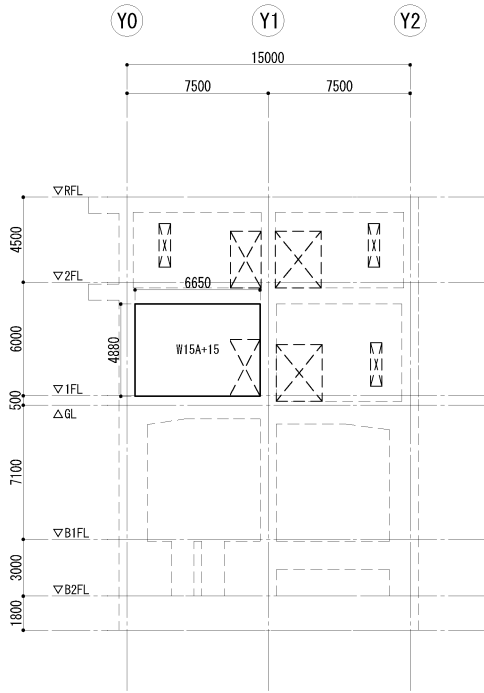




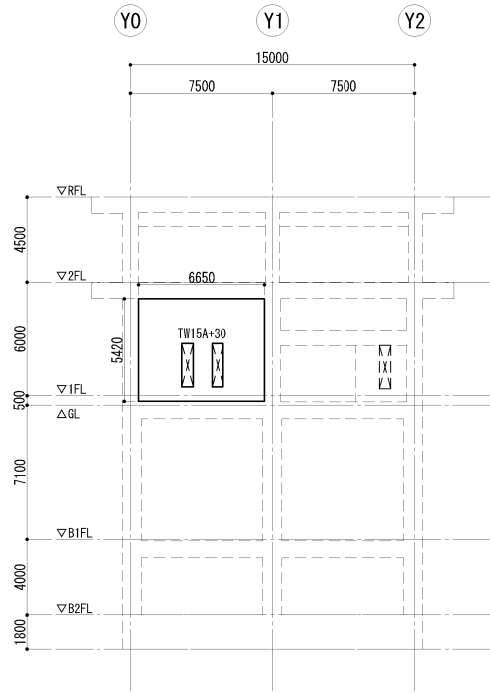
X2通り 軸組図 [改修前]



X6通り 軸組図 [改修前]



X2通り 軸組図 [改修後]

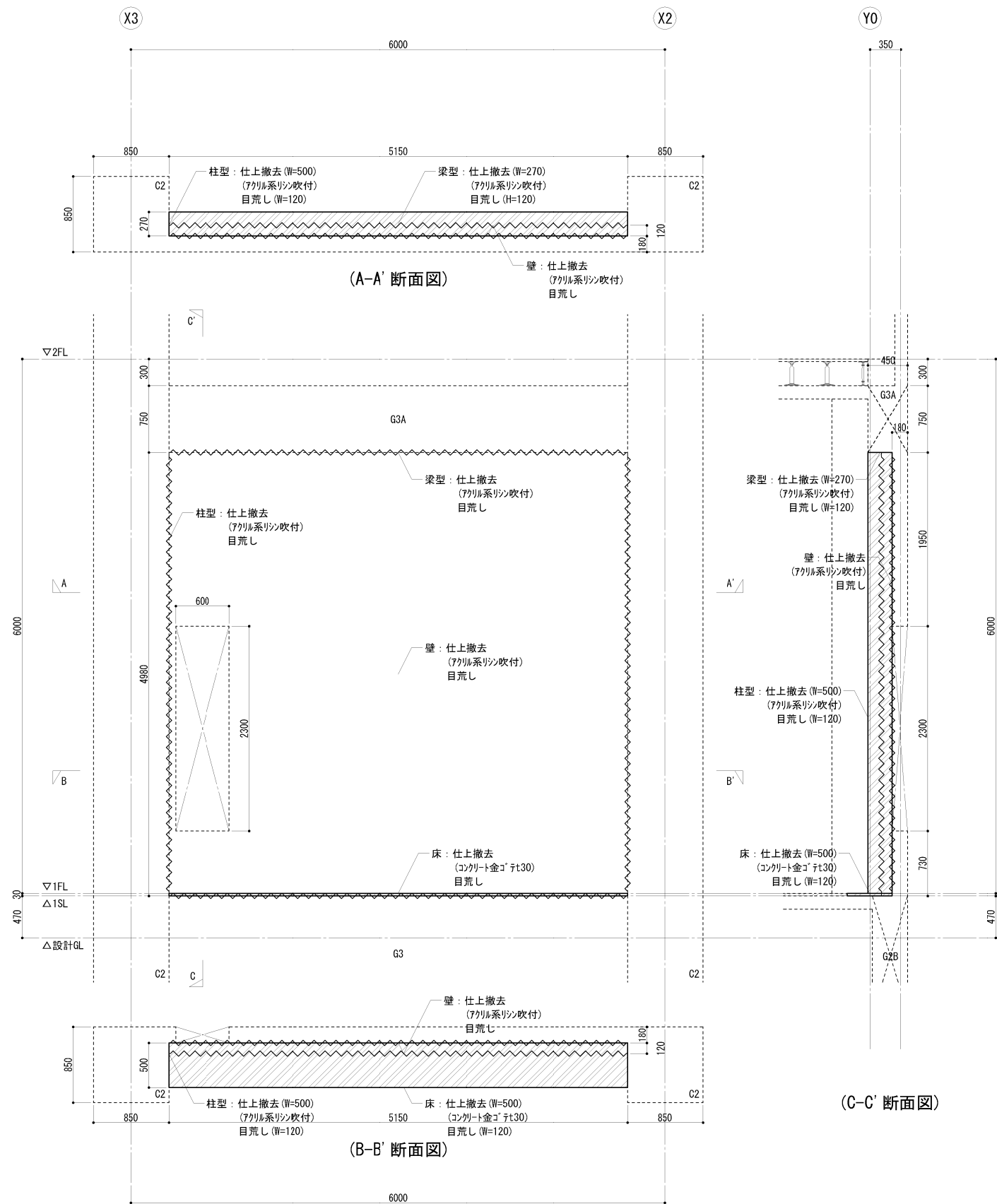


X6通り 軸組図 [改修後]

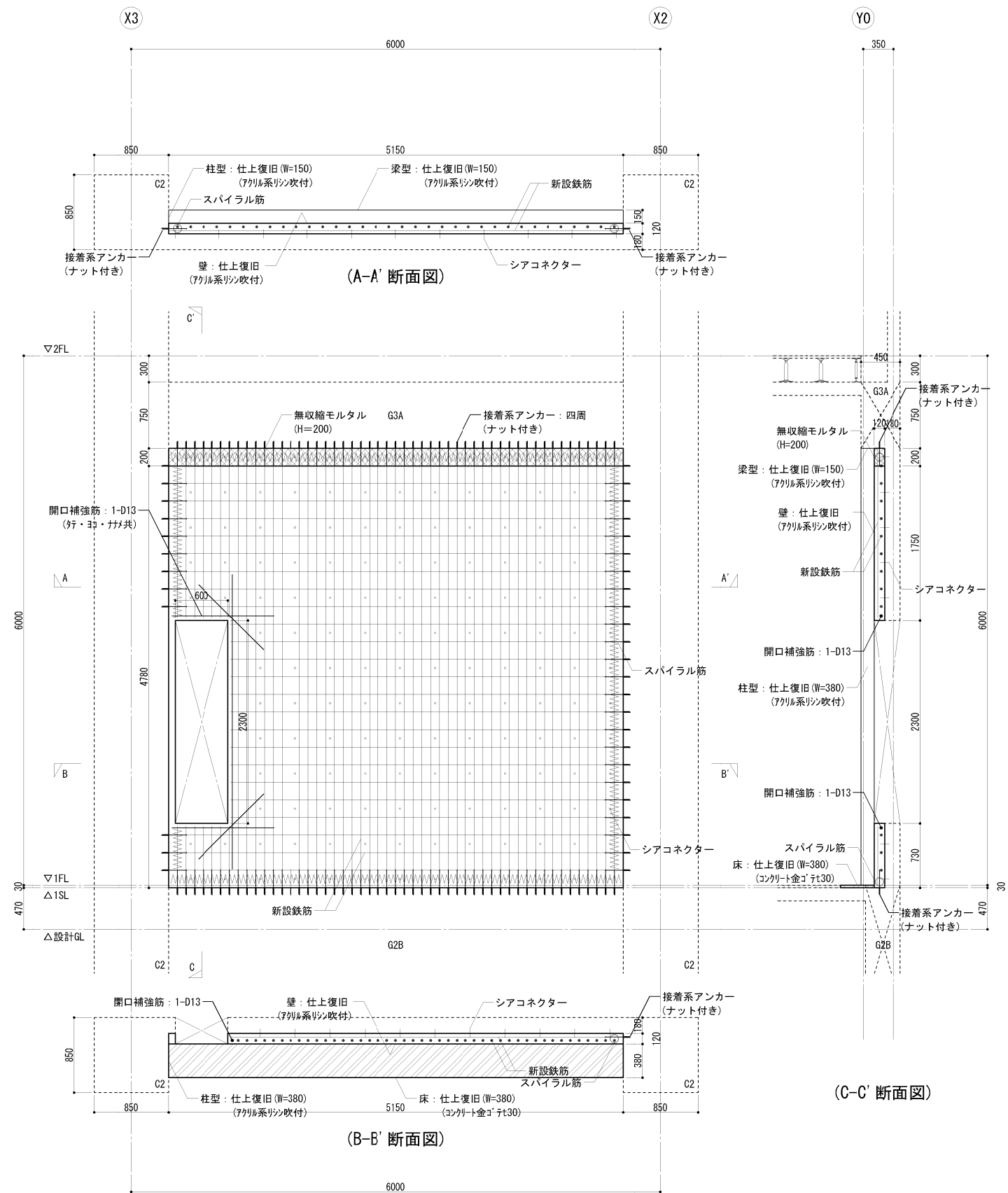
- 【凡例】
- : 既存躯体を示す
 - : 撤去・はつりを示す
 - : 補強箇所を示す

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	軸組図(2) [改修前・後]		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	1/200	図面番号	S-09
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		

③ X3 ~ X2 通り (1F 工作室・倉庫)



Y0 通り 耐震改修詳細図 [改修前]



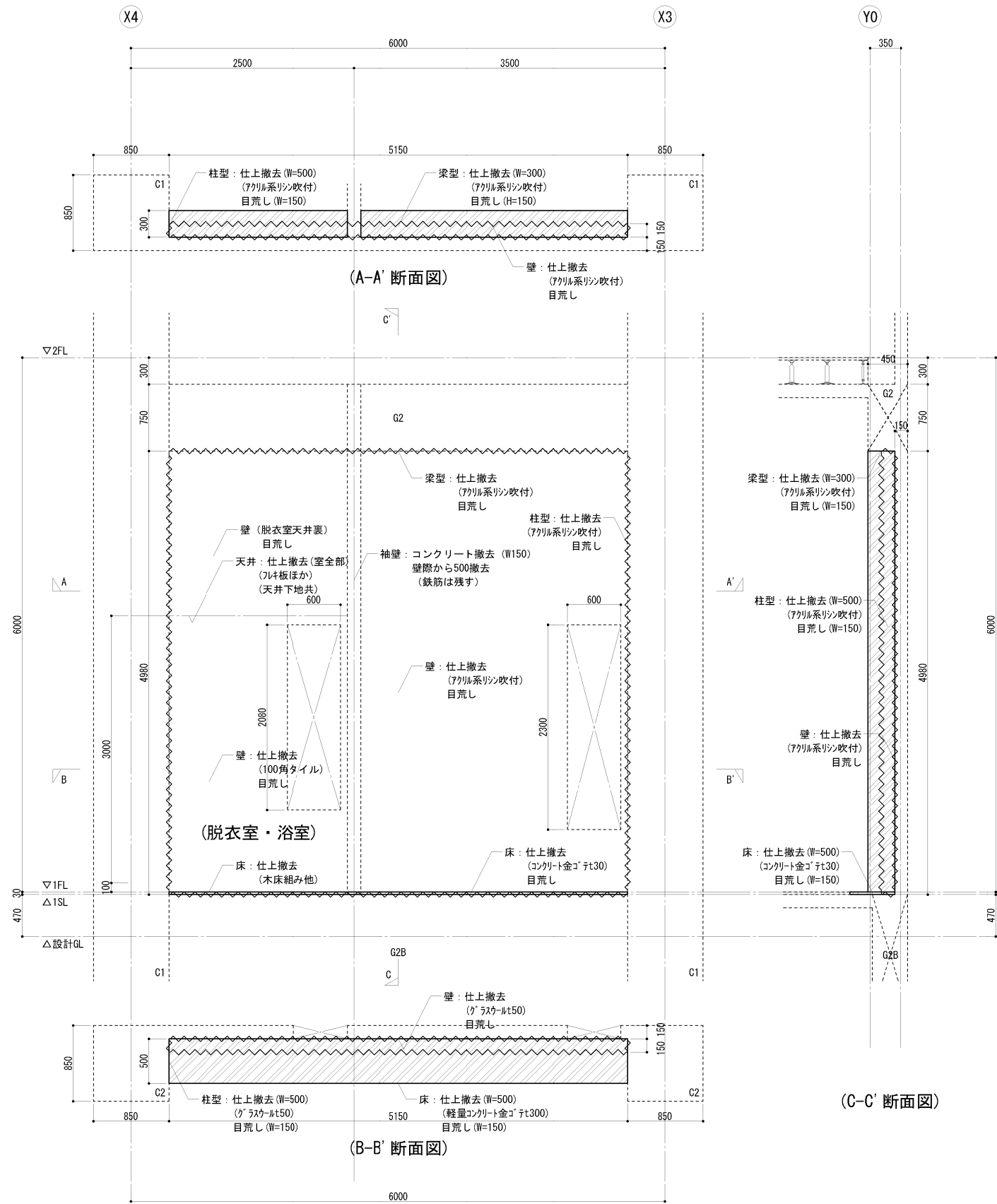
Y0 通り 耐震改修詳細図 [改修後]

各種仕様一覧表

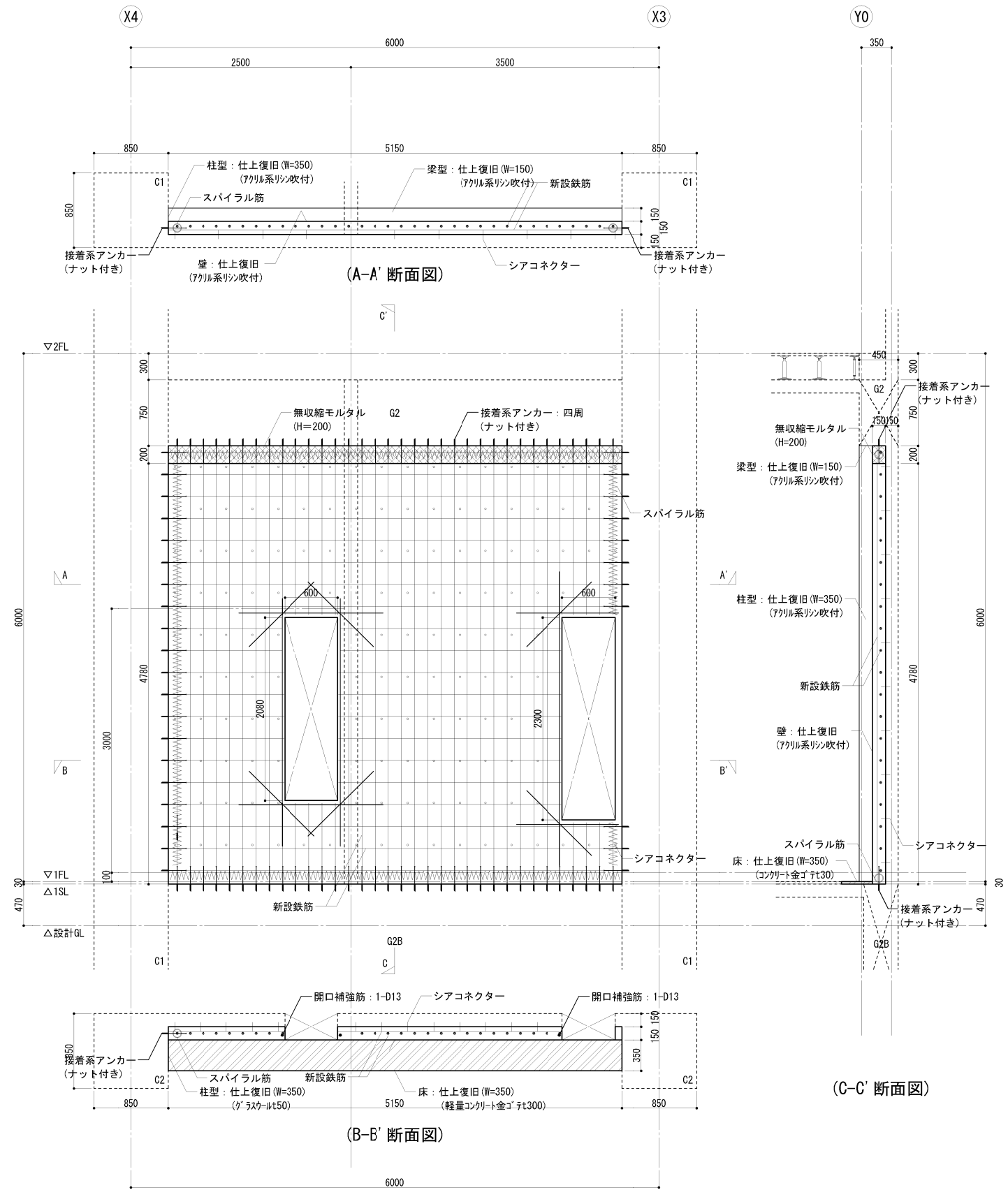
適用/不適用 (■/□)	壁配筋	接着系アンカー		スパイラル筋		シアコネクタ	縮尺	1/30	図面番号	S-10							
		径・ピッチ	有効埋込長	有効定着長	スパイラル径						割製補強筋						
□	好筋: D10@150シングル	上下: D10@150	7da	20da	100φ	6φ@50	D10@500	設計者	株式会社 日建技術コンサルタント								
	3筋: D10@250シングル	横: D10@250															
■	好筋: D13#100シングル	上下: D13#100												D10#400	発注者	埼玉県 上尾市	
	3筋: D10#200シングル	横: D10#200															

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	耐震改修詳細図(1)		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	1/30	図面番号	S-10
設計者	株式会社 日建技術コンサルティング		
発注者	埼玉県 上尾市		

X4 ～ X3 通り (1F 工作室・倉庫、浴室、脱衣室)



Y0 通り 耐震改修詳細図 [改修前]



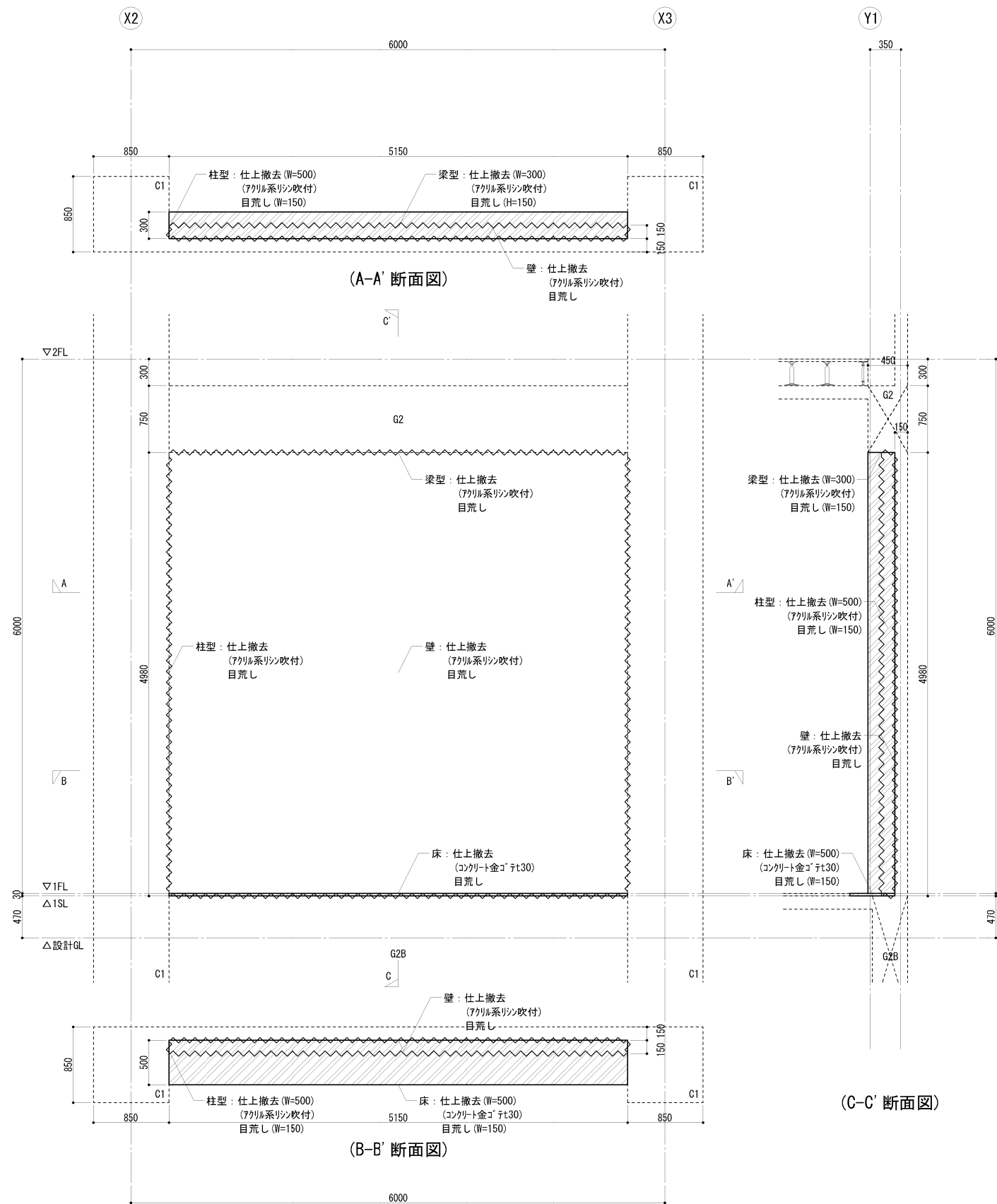
Y0 通り 耐震改修詳細図 [改修後]

各種仕様一覧表

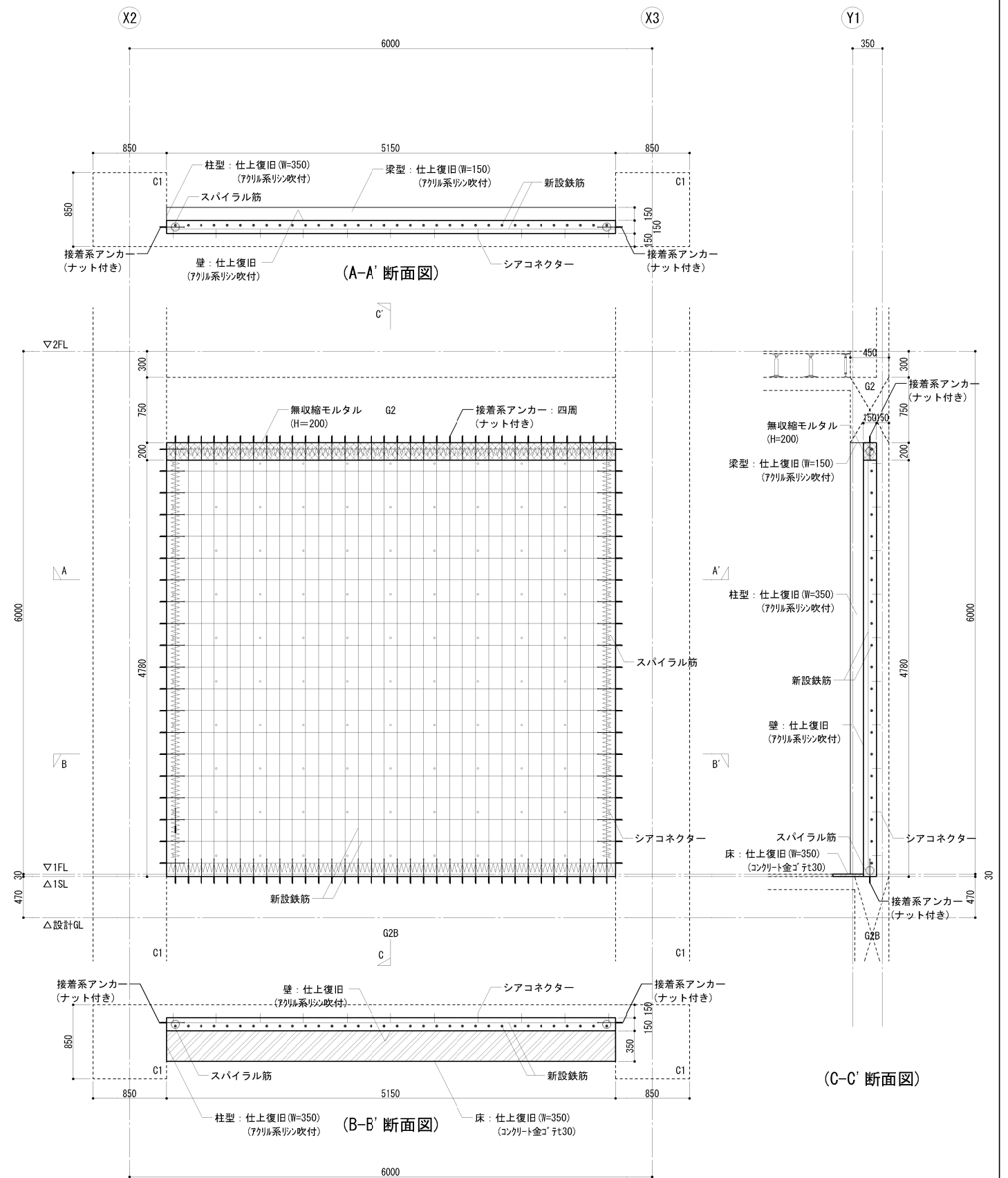
適用/不適用 (■/□)	壁配筋	接着系アンカー			スパイラル筋		シアコネクタ	縮尺	1/30	図面番号	S-11
		径・ピッチ	有効埋込長	有効定着長	スパイラル径	割製補強筋					
■	好筋: D10@150シングル 悪筋: D10@250シングル	上下: D10@150 横: D10@250	7da	20da	100φ	6φ@50	D10@500	設計者	株式会社	日建技術コンサルタント	
□	好筋: D13@100シングル 悪筋: D10@200シングル	上下: D13@100 横: D10@200					D10@400				

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	耐震改修詳細図(2)		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	1/30	図面番号	S-11
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		

①X2 ~ ①X3 通り (1F 工作室・倉庫)



Y1 通り 耐震改修詳細図 [改修前]



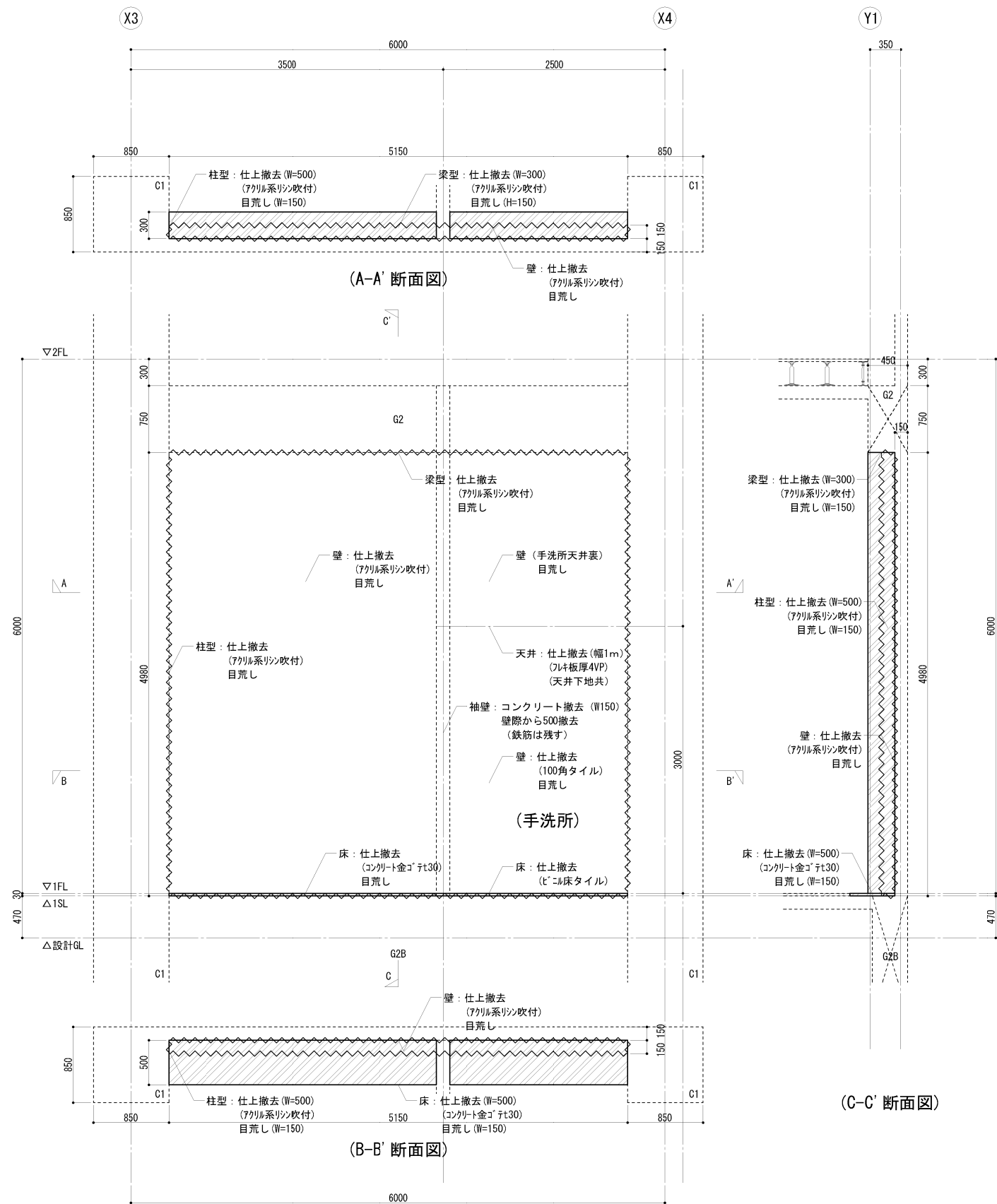
⑪ 通り 耐震改修詳細図 [改修後]

各種仕様一覧表

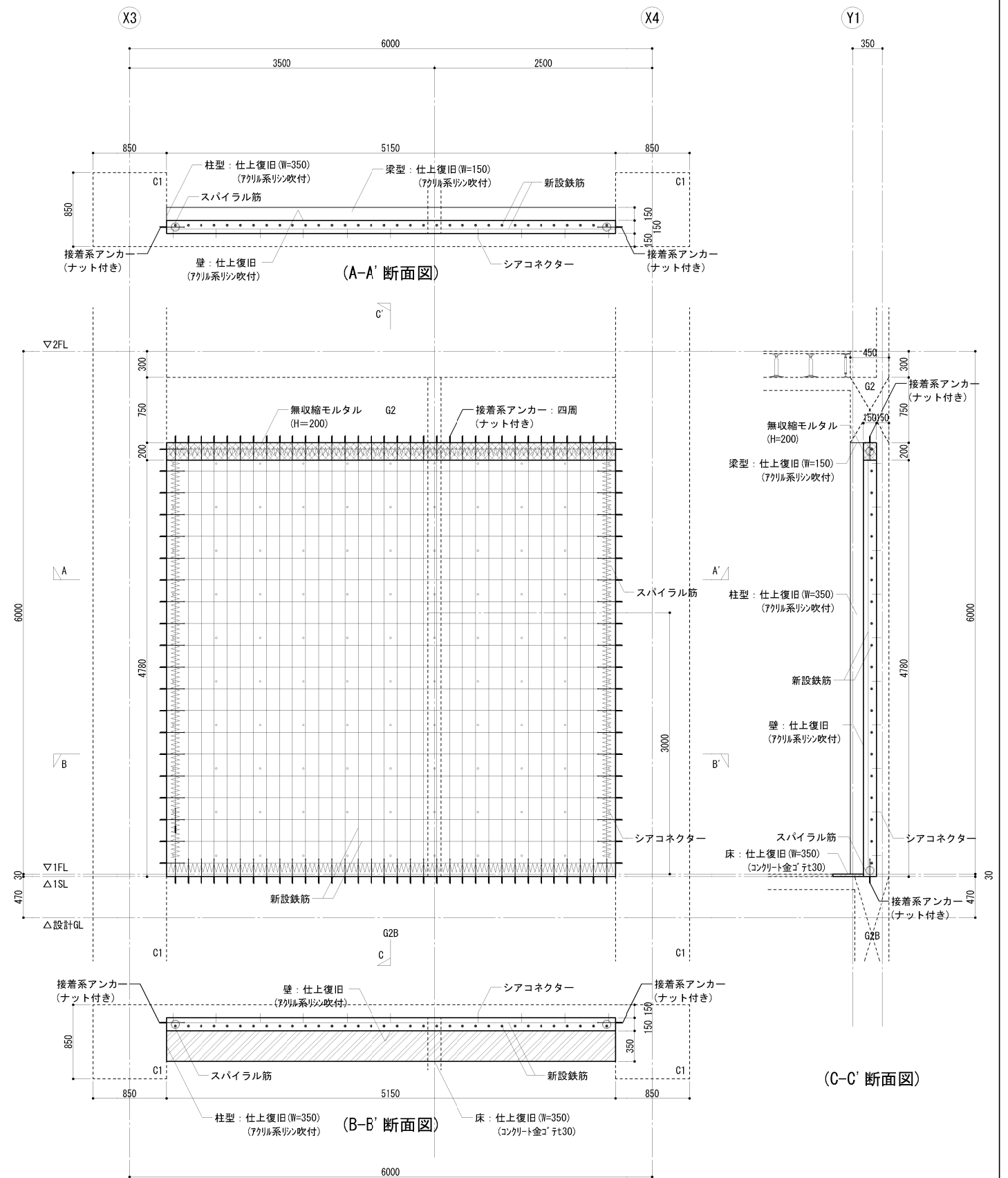
適用/不適用 (■/□)	壁配筋	接着系アンカー			スパイラル筋		シアコネクター	縮尺	1/30	図面番号	S-12
		径・ピッチ	有効埋込長	有効定着長	スパイラル径	割製補強筋					
■	上筋: D10@150シングル	上下: D10@150	7da	20da	100φ	6φ@50	D10@500	設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
	下筋: D10@250シングル	横: D10@250									
□	上筋: D13@100シングル	上下: D13@100					D10@400	発注者	埼玉県 上尾市		
	下筋: D10@200シングル	横: D10@200									

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	耐震改修詳細図(3)		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	1/30	図面番号	S-12
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		

③X3 ~ ④X4 通り (1F 工作室・倉庫、手洗所)



Y1 通り 耐震改修詳細図 [改修前]



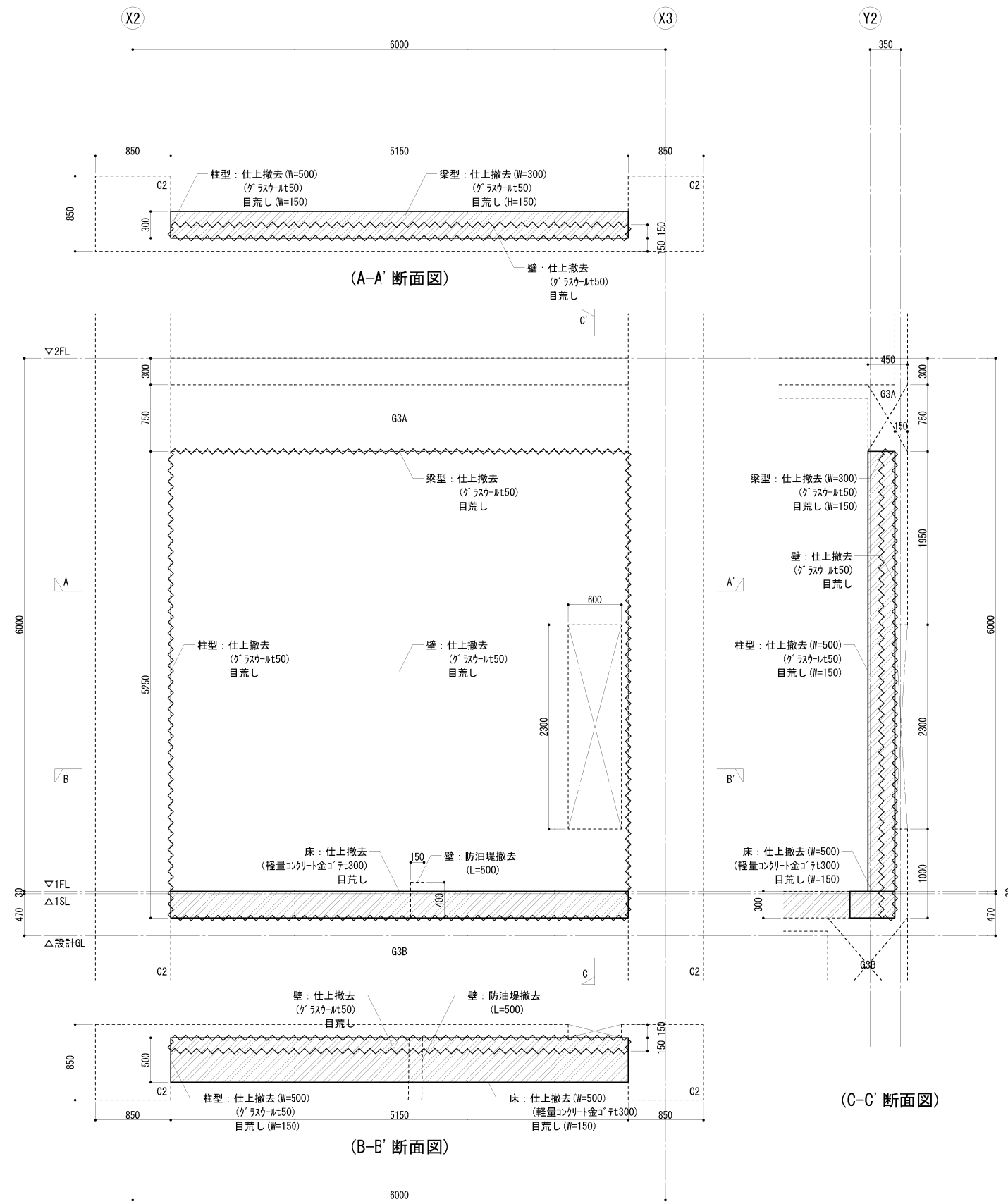
⑪ 通り 耐震改修詳細図 [改修後]

各種仕様一覧表

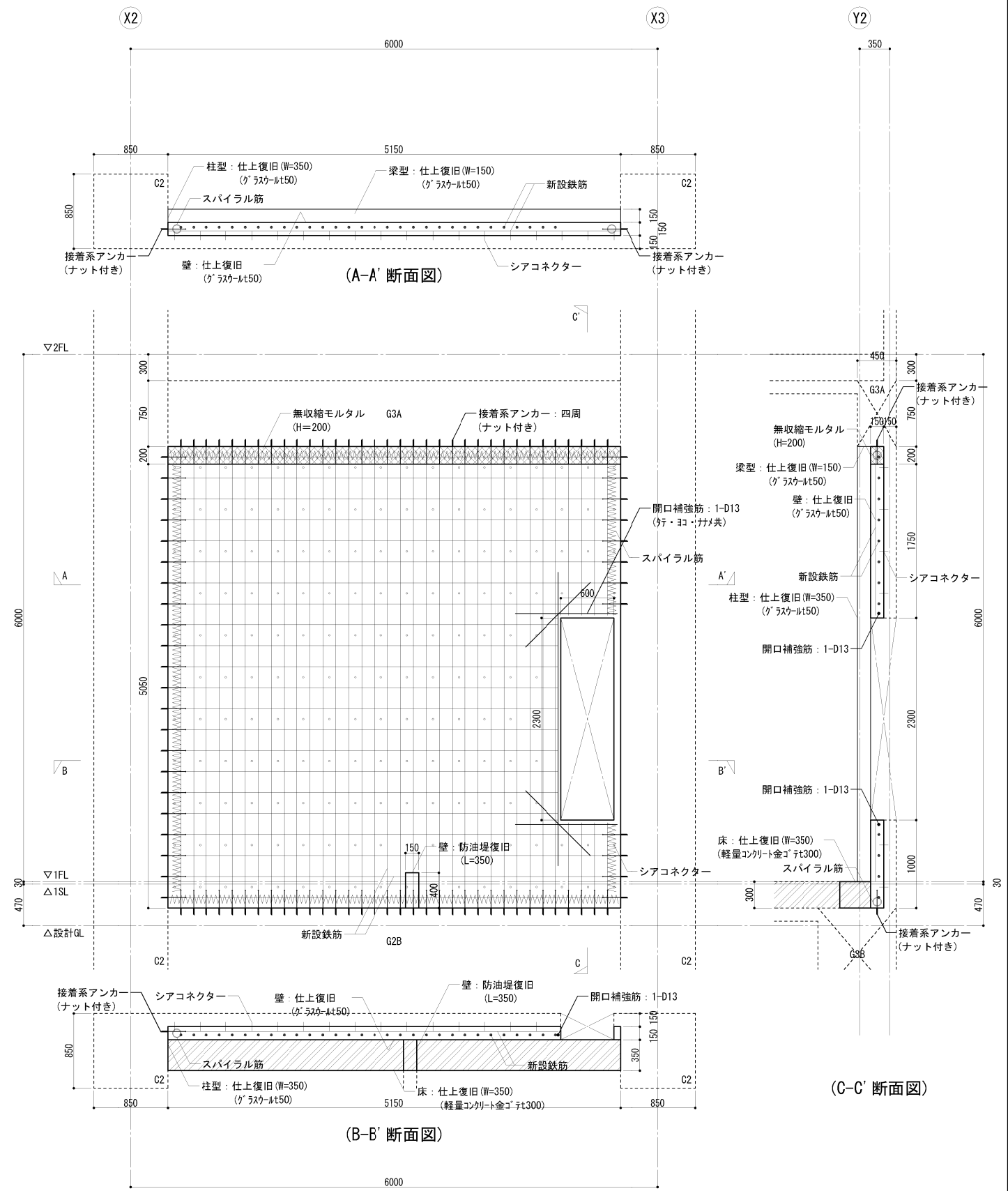
適用/不適用 (■/□)	壁配筋	接着系アンカー			スパイラル筋		シアコネクター	縮尺	1/30	図面番号	S-13
		径・ピッチ	有効埋込長	有効定着長	スパイラル径	割製補強筋					
■	上筋: D10@150シングル	上下: D10@150	7da	20da	100φ	6φ@50	D10@500	設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
	下筋: D10@250シングル	横: D10@250									
□	上筋: D13@100シングル	上下: D13@100					D10@400	発注者			
	下筋: D10@200シングル	横: D10@200						埼玉県 上尾市			

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	耐震改修詳細図(4)		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	1/30	図面番号	S-13
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		

X2 ～ X3 通り (1F 発電機室)



Y2 通り 耐震改修詳細図 [改修前]



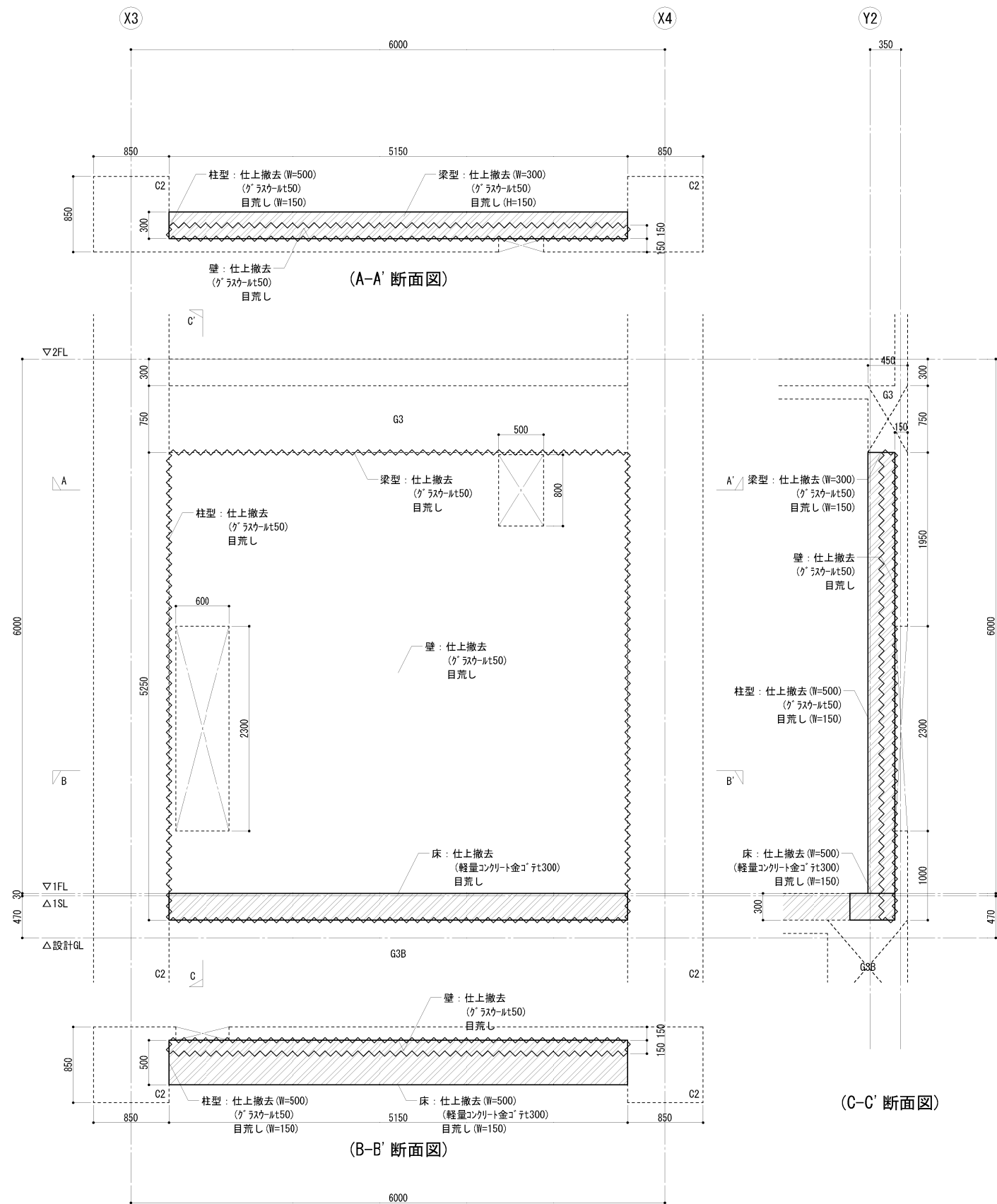
Y2 通り 耐震改修詳細図 [改修後]

各種仕様一覧表

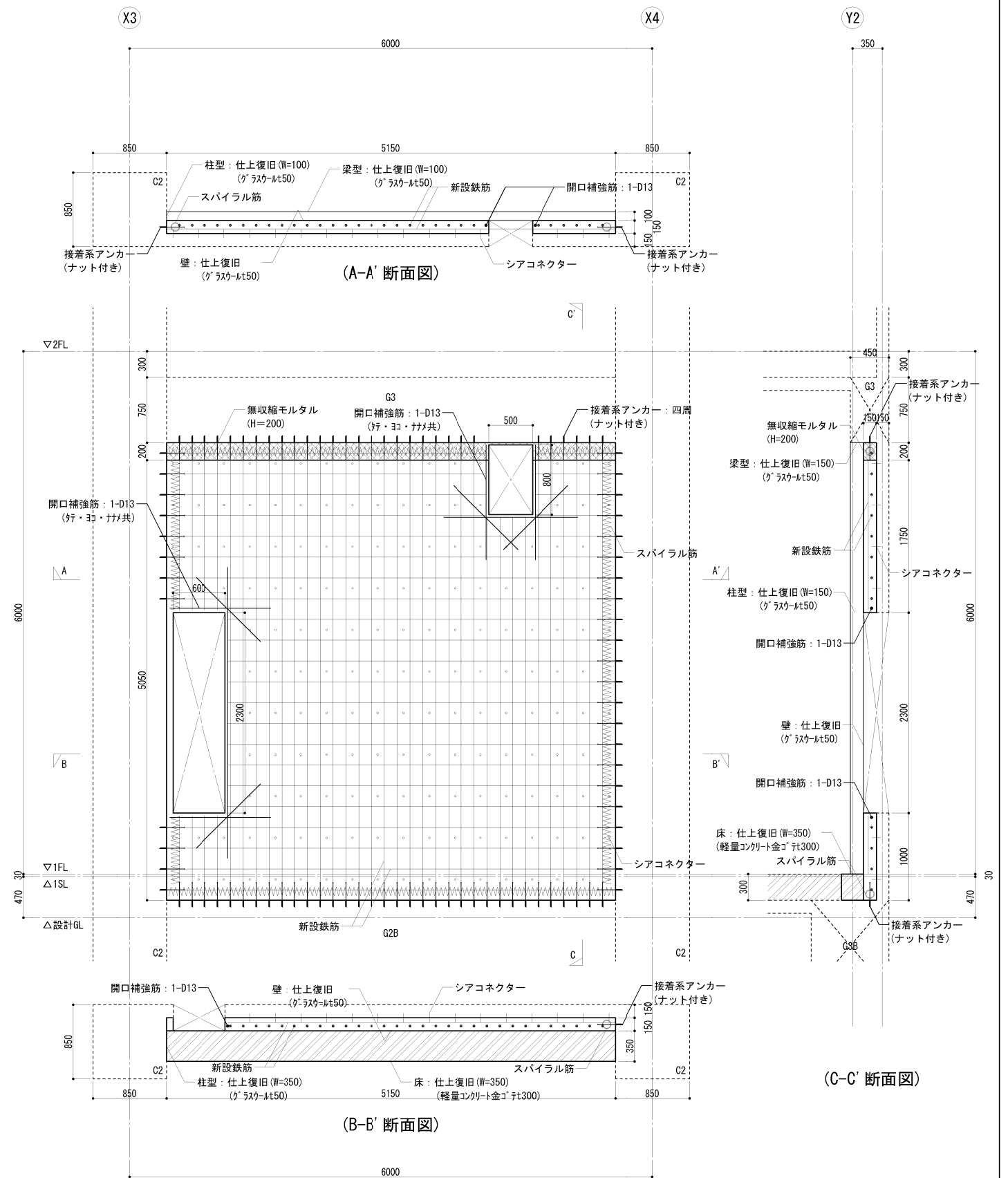
適用/不適用 (■/□)	壁配筋	接着系アンカー			スパイラル筋		シアコネクター	縮尺	1/30	図面番号	S-14
		径・ピッチ	有効埋込長	有効定着長	スパイラル径	割裂補強筋					
■	好筋: D10@150シングル 3筋: D10@250シングル	上下: D10@150 横: D10@250	7da	20da	100φ	6φ@50	D10@500	設計者	株式会社	日建技術コンサルタント	
□	好筋: D13@100シングル 3筋: D10@200シングル	上下: D13@100 横: D10@200					D10@400	発注者	埼玉県	上尾市	

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事
図面名	耐震改修詳細図 (5)
作成年月	令和8年3月

③X3 ~ ④X4 通り (1F 発電機室)



Y2 通り 耐震改修詳細図 [改修前]

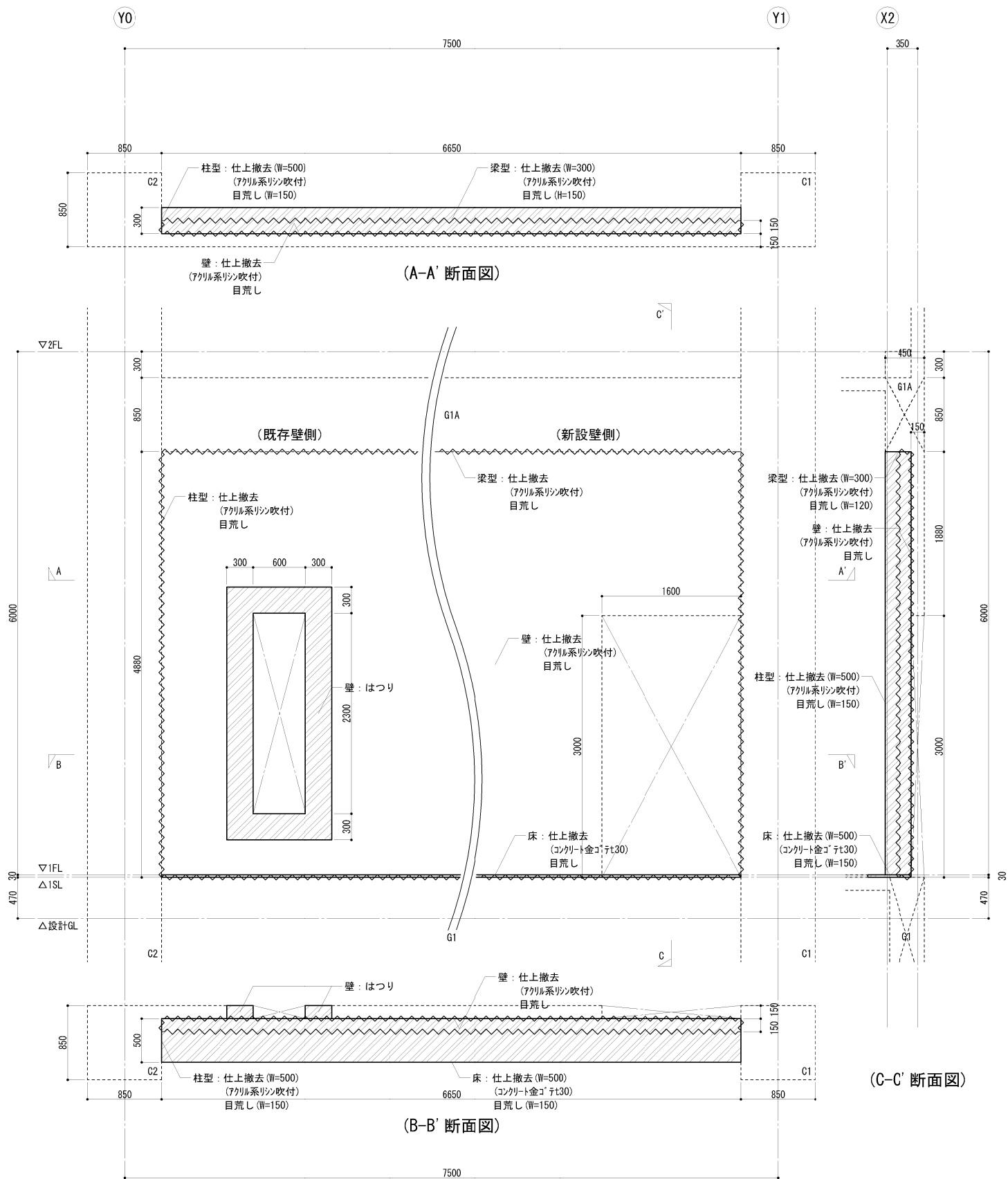


Y2 通り 耐震改修詳細図 [改修後]

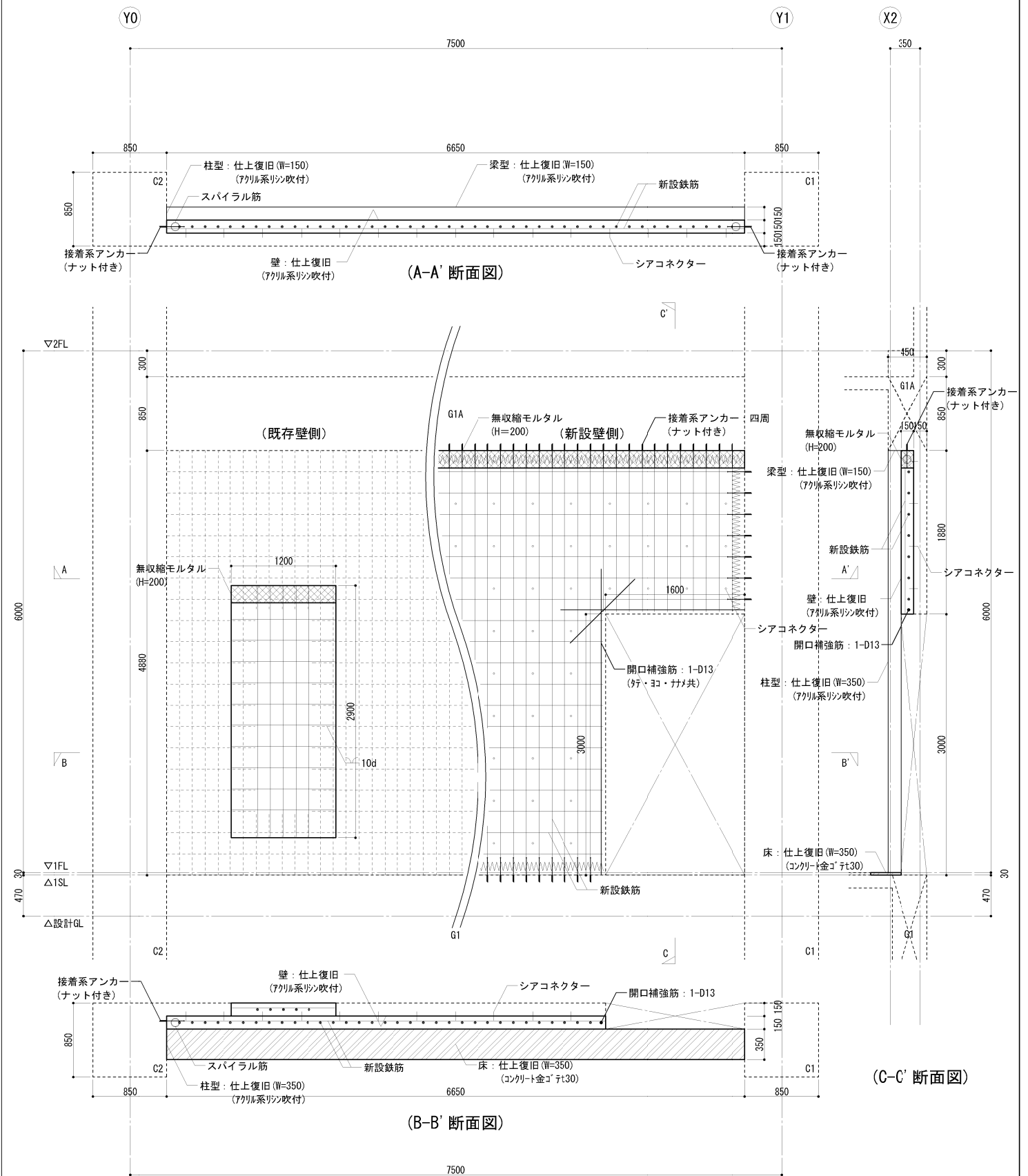
工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	耐震改修詳細図(6)		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	1/30	図面番号	S-15
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		

各種仕様一覧表

適用/不適用 (■/□)	壁配筋	接着系アンカー			スパイラル筋		シアコネクター	縮尺	1/30	図面番号	S-15
		径・ピッチ	有効埋込長	有効定着長	スパイラル径	割製補強筋					
■	上筋: D10@150シングル	上: D10@150	7da	20da	100φ	6φ #50	D10#500	設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
	下筋: D10@250シングル	横: D10@250									
□	上筋: D13@100シングル	上: D13@100					D10#400	発注者	埼玉県 上尾市		
	下筋: D10@200シングル	横: D10@200									



⑪ 通り 耐震改修詳細図 [改修前]



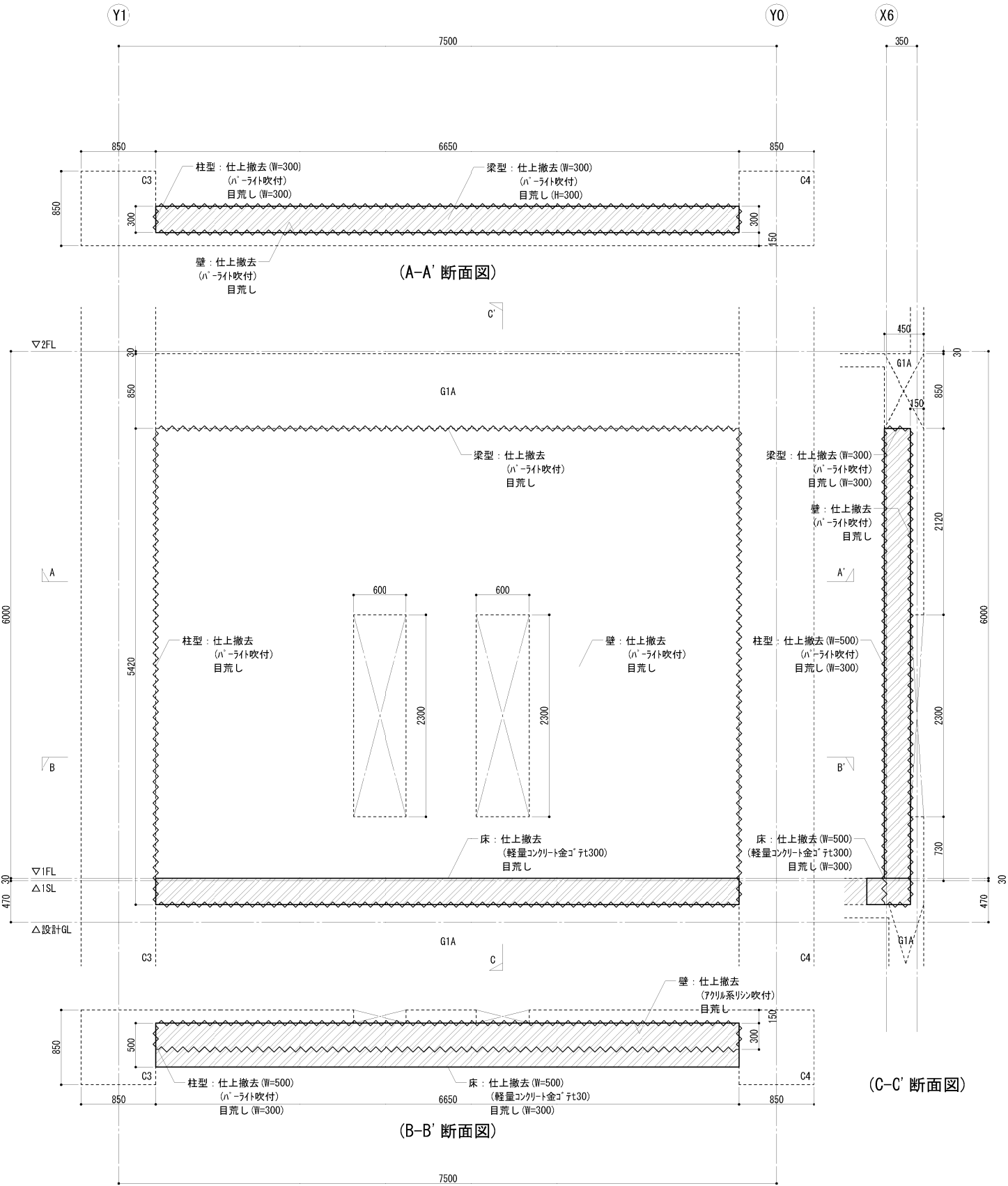
⑪ 通り 耐震改修詳細図 [改修後]

各種仕様一覧表

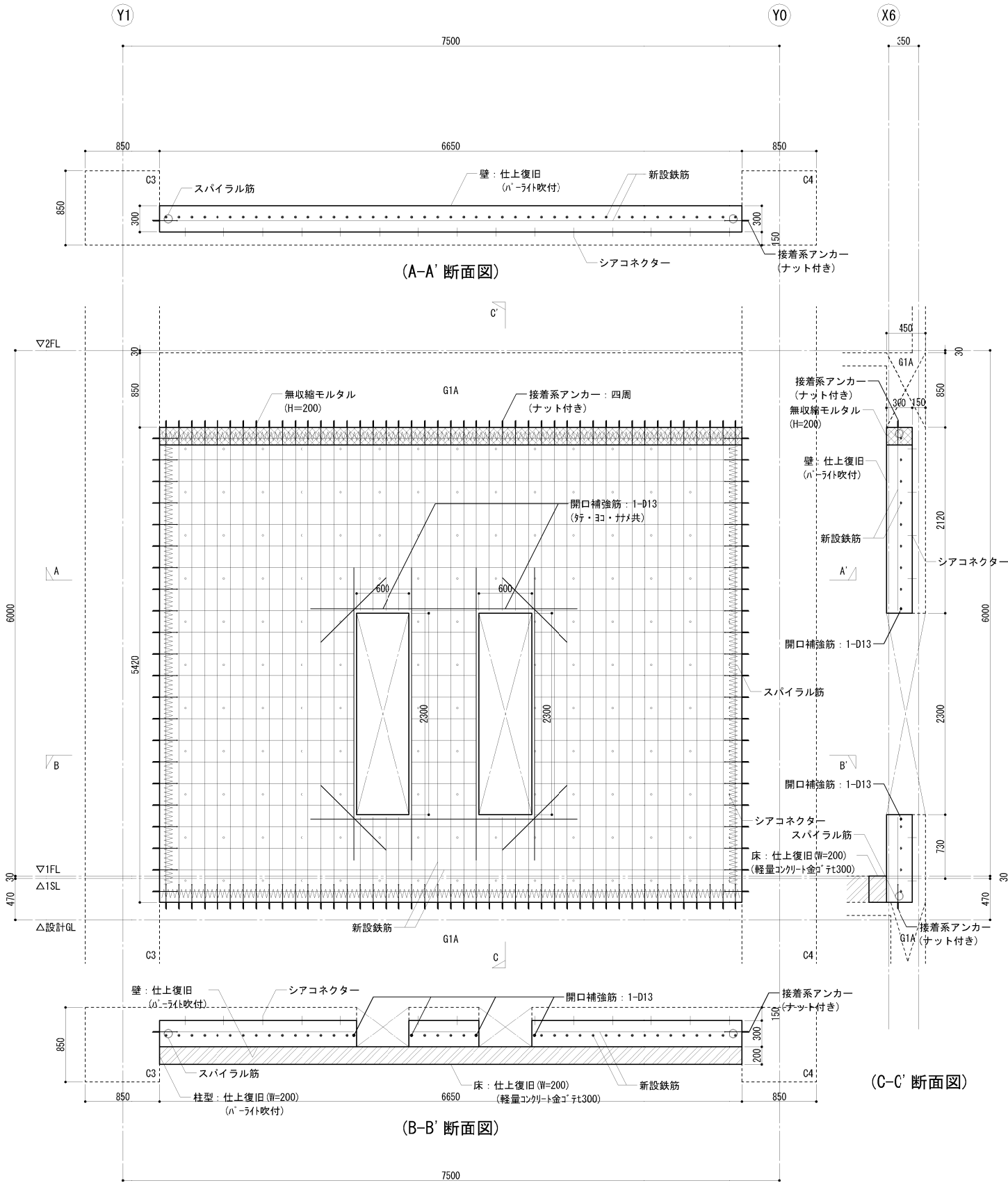
適用/不適用 (■/□)	壁配筋	接着系アンカー			スパイラル筋		シアコネクター	縮尺	1/30	図面番号	S-13
		径・ピッチ	有効埋込長	有効定着長	スパイラル径	割製補強筋					
■	上筋: D10@150シングル	上下: D10@150	7da	20da	100φ	6φ@50	D10@500	設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
	下筋: D10@250シングル	横: D10@250									
□	上筋: D13@100シングル	上下: D13@100					D10@400	発注者	埼玉県 上尾市		
	下筋: D10@200シングル	横: D10@200									

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	耐震改修詳細図(7)		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	1/30	図面番号	S-15
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		

Y1 ～ Y0 通り (1F モーター室)



X6 通り 耐震改修詳細図 [改修前]

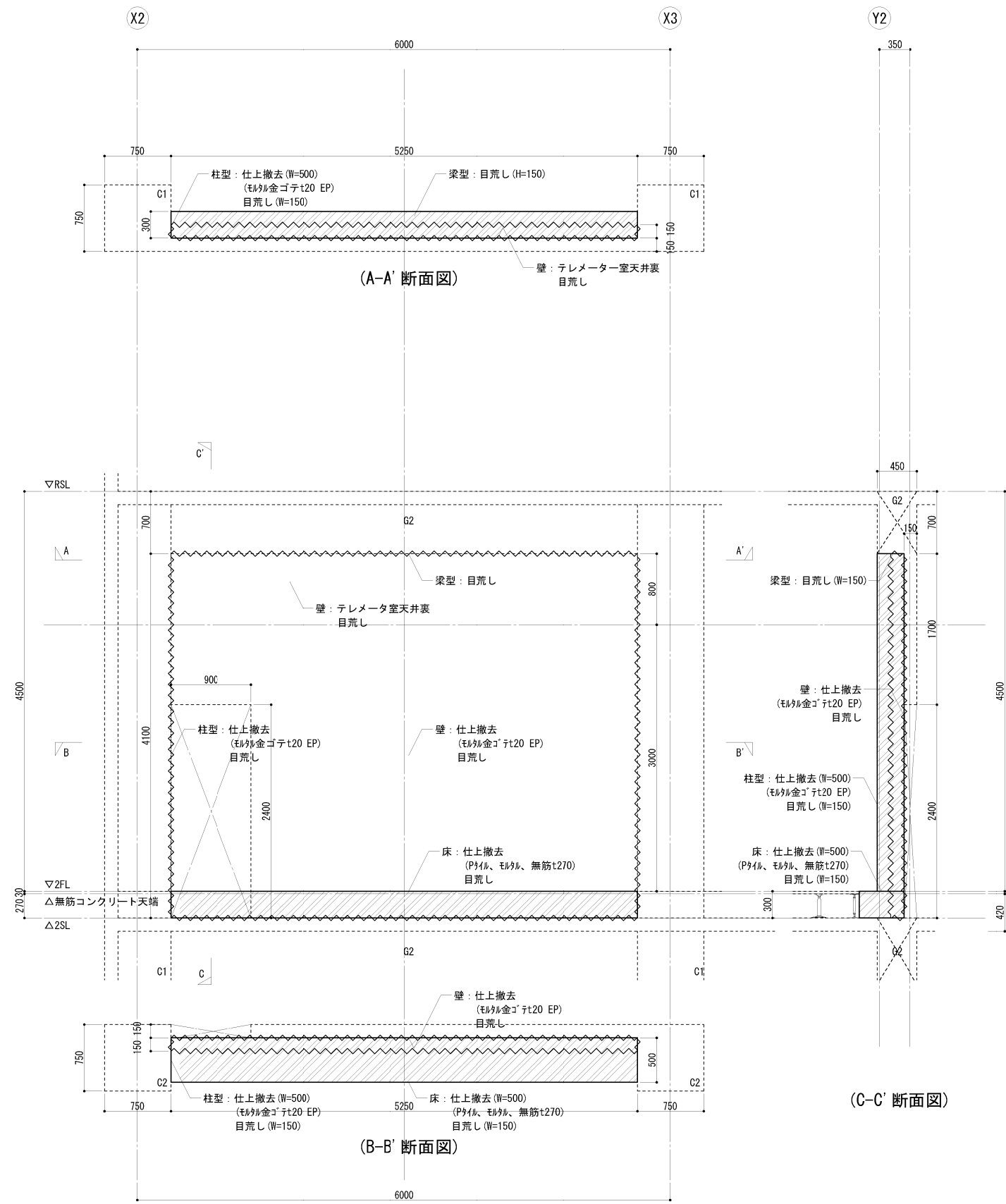


X6 通り 耐震改修詳細図 [改修後]

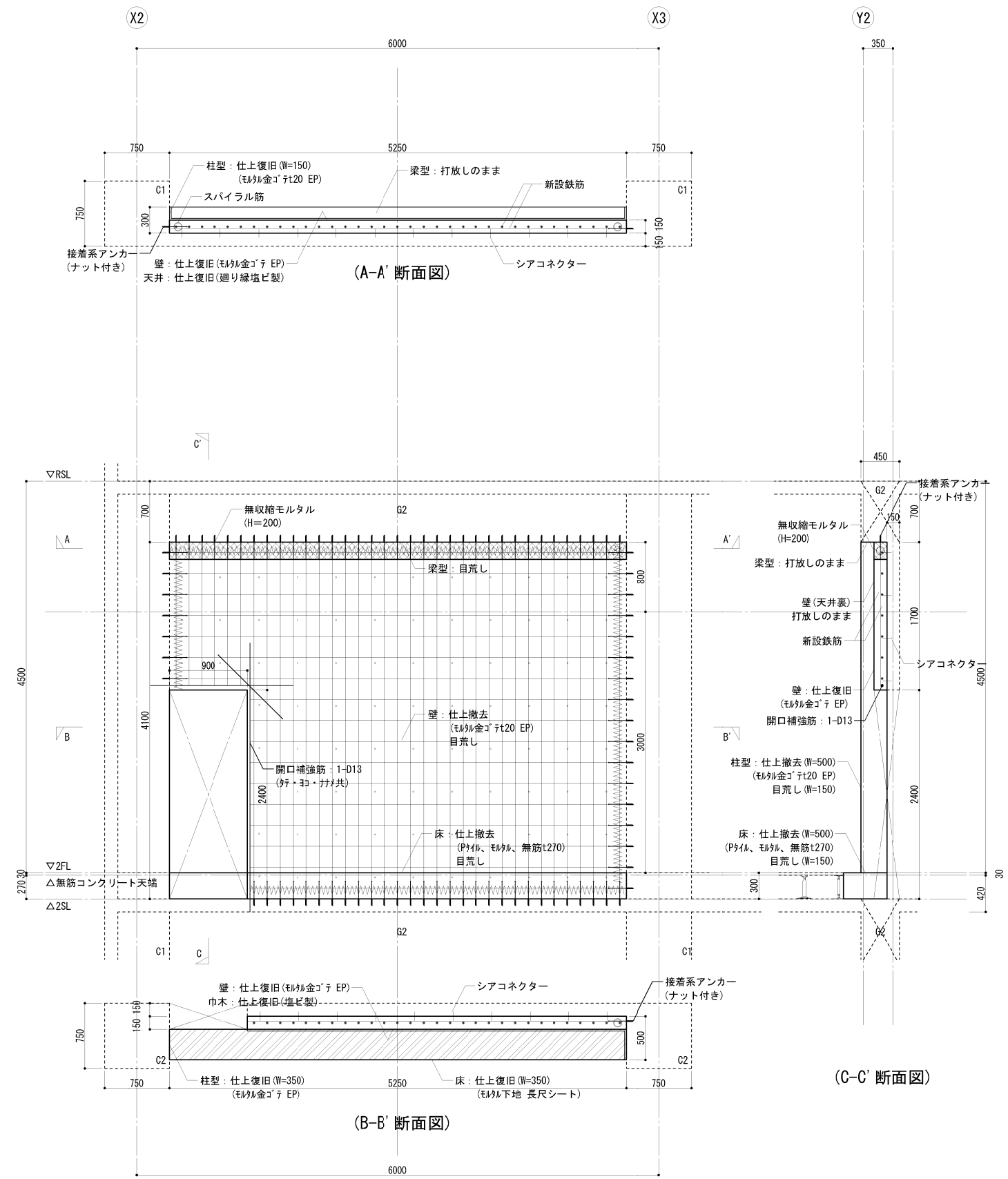
各種仕様一覧表

適用/不適用 (■/□)	壁配筋	接着系アンカー			スパイラル筋		シアコネクタ	縮尺	1/30	図面番号	S-17
		径・ピッチ	有効埋込長	有効定着長	スパイラル径	割裂補強筋					
■	好筋: D10@150シングル 悪筋: D10@250シングル	上下: D10@150 横: D10@250	7da	20da	200φ	6φ@50	D10@500	設計者	株式会社	日建技術コンサルタント	
□	好筋: D13@100シングル 悪筋: D10@200シングル	上下: D13@100 横: D10@200					D10@400	発注者	埼玉県	上尾市	

X2 ～ X3 通り (2F テレメータ室)



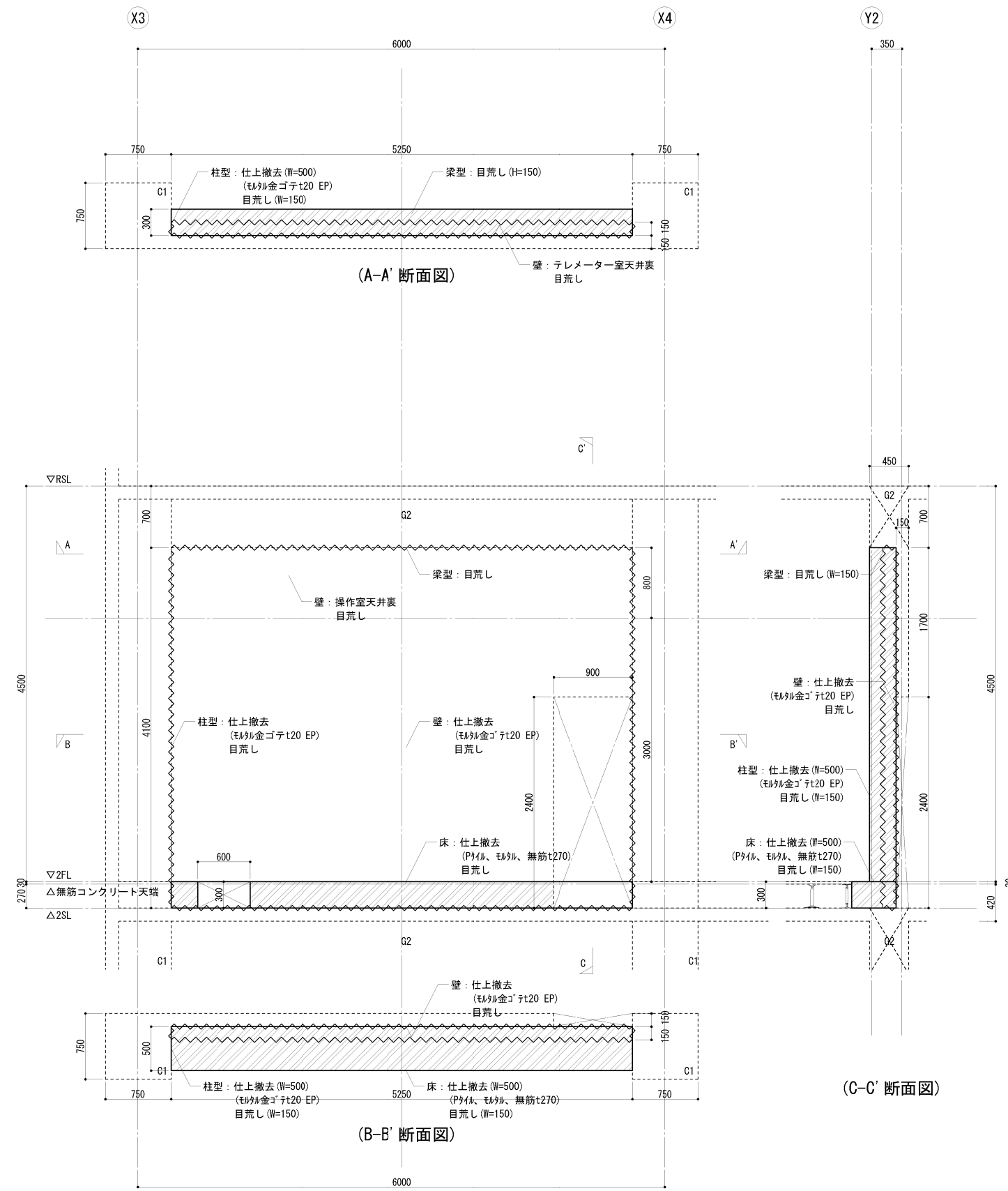
Y1 通り 耐震改修詳細図 [改修前]



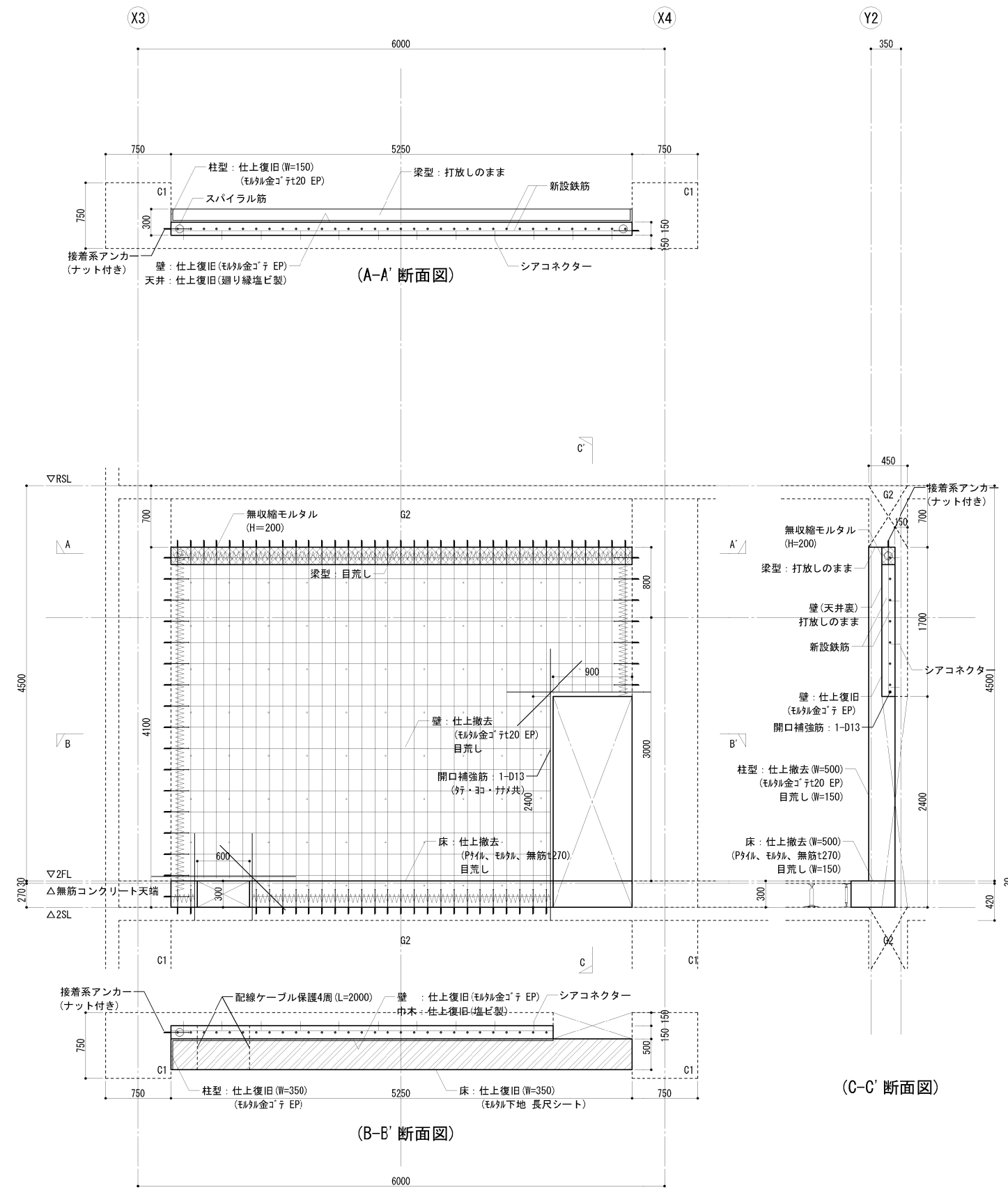
Y1 通り 耐震改修詳細図 [改修後]

各種仕様一覧表

適用/不適用 (■/□)	壁配筋	接着系アンカー			スパイラル筋		シアコネクタ	縮尺	1/30	図面番号	S-13
		径・ピッチ	有効埋込長	有効定着長	スパイラル径	割裂補強筋					
■	好筋: D10@150シングル 3筋: D10@250シングル	上下: D10@150 横: D10@250	7da	20da	100φ	6φ@50	D10@500	設計者	株式会社	日建技術コンサルタント	
□	好筋: D13@100シングル 3筋: D10@200シングル	上下: D13@100 横: D10@200					D10@400	発注者	埼玉県	上尾市	



Y1 通り 耐震改修詳細図 [改修前]



Y1 通り 耐震改修詳細図 [改修後]

各種仕様一覧表

適用/不適用 (■/□)	壁配筋	接着系アンカー			スパイラル筋		シアコネクタ	縮尺	1/30	図面番号	S-13
		径・ピッチ	有効埋込長	有効定着長	スパイラル径	割裂補強筋					
■	好筋: D10@150シングル 悪筋: D10@250シングル	上下: D10@150 横: D10@250	7da	20da	100φ	6φ@50	D10@500	設計者	株式会社	日建技術コンサルタント	
□	好筋: D13@100シングル 悪筋: D10@200シングル	上下: D13@100 横: D10@200					D10@400				

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事	
図面名	耐震改修詳細図 (10)	
作成年月	令和8年3月	
発注者	埼玉県 上尾市	

[illegible]

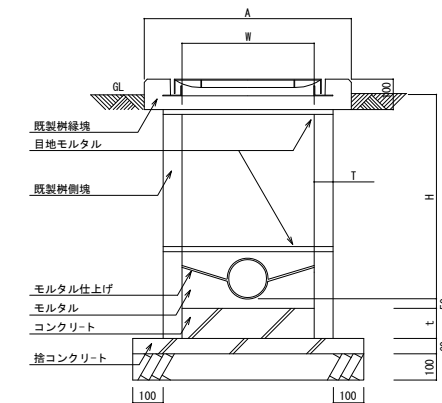
[illegible]

[illegible]

※ 凡例 保温材 GW：グラスウール・保温材 PSF：ポリスチレンフォーム・保温材
外装材 珪：珪藻土系珪砂の珪板 SUS：ステンレス板 AL：溶融アルミニウム・珪鉛板

※ 不燃材以外の配管が建築基準法施行令第112条第20項に規定する耐火火構造等の防火区画を貫通する場合貫通部より1m 以上はロックウール・珪板を使用すること

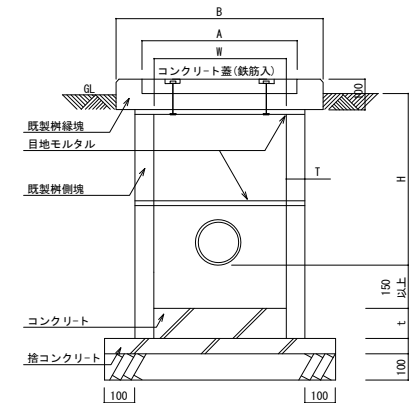
※ 配管の保温は、継手及び弁類を含む。図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、標準仕様書による。

[illegible]インポート表 施工要領図 S-1 ・ S-2

寸法	深さ	H=600以下	H=600超
		S-1	S-2
W		450×450	600×600
T		45	50
t		100	120
A		700	850

1. 蓋は鉄製製防臭蓋とする。
(鎖付き、汚水マーク入り)
2. 既製側塊、縁塊は、すべて鉄筋入りとする。
3. 既製側塊、縁塊は、ズレを防止する構造とする。

ため樹 施工要領図 R-1 ・ R-2



寸法	深さ	H=600以下	H=600超
		R-1	R-2
W		450×450	600×600
A		520×520	670×670
B		650×650	800×800
T		45	50
t		100	120

1. コンクリート蓋は、既製柵用とし、鉄筋とする。
2. 既製柵側塊、縁塊は、すべて鉄筋入りとする。
3. 鉄蓋を使用する場合は汚水柵に準ずる。

別表-1

機 材 等	

冷媒配管支持要領

土間下配管詳細図

土間鉄筋に結束のこと

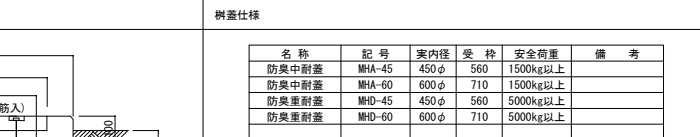
土間下地中配管は、9φ鉄筋（タールエポキシ塗リ）にて、U字型支持のこと。
支持間隔は、仕様による。

土間鉄筋に結束のこと

吊りバンド、棒鋼はステンレス製とする。
棒鋼を土間鉄筋に結束する場合は、直接、接しないよう電蝕防止策を施すこと。
支持間隔は、仕様による。

インサート金物
土間コンクリート中間位置程度

吊りバンド、棒鋼はステンレス製とする。
棒鋼を土間鉄筋に圧止める場合は、直接、接しないよう電蝕防止策を施すこと。
支持間隔は、仕様による。

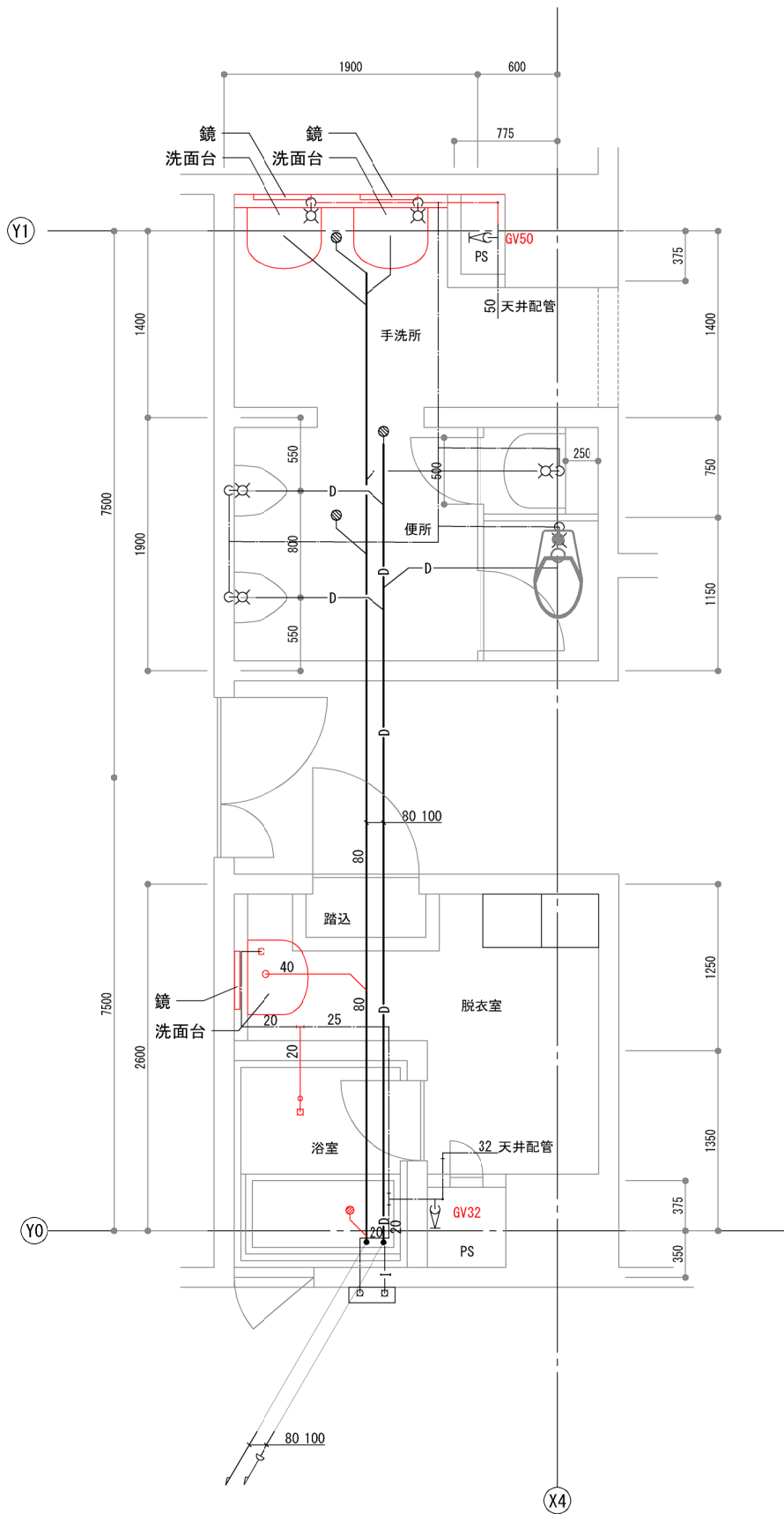


名 称	記 号	実内径	受 枠	安全荷重	備 考
防臭中耐蓋	MHA-45	450φ	560	1500kg以上	
防臭中耐蓋	MHA-60	600φ	710	1500kg以上	
防臭重耐蓋	MHD-45	450φ	560	5000kg以上	
防臭重耐蓋	MHD-60	600φ	710	5000kg以上	

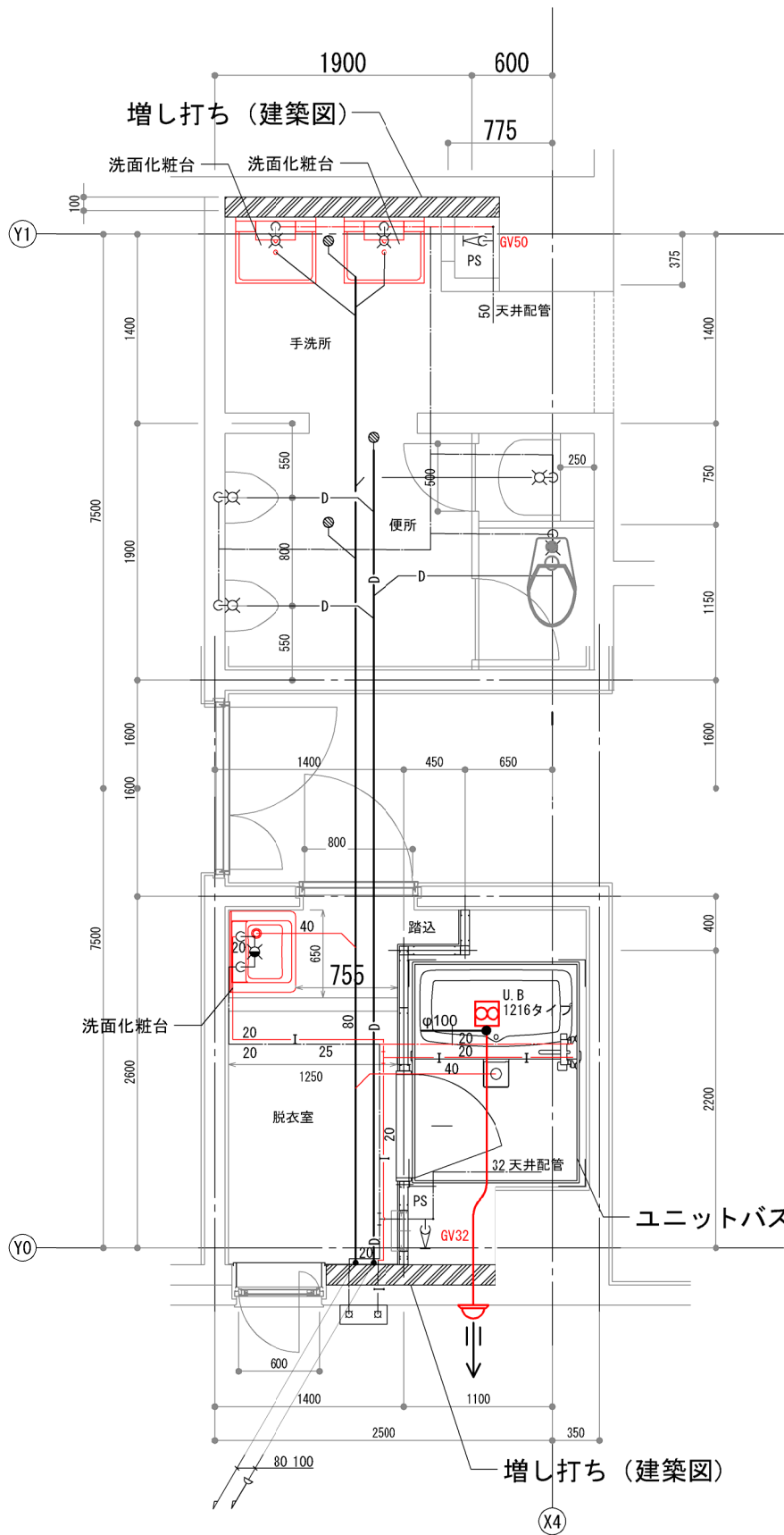
W	H	側 堤			既設 縁石
		150H	300H	450H	
450	250 ~ 400				1
450	400 ~ 550	1			1
450	560 ~ 700		1		1
450	710 ~ 850		1	1	1
600	530 ~ 680		1	1	1
600	690 ~ 830	1	1	1	1
600	840 ~ 980				2
600	990 ~ 1130	1			2
600	1140 ~ 1280		1	1	2
600	1290 ~ 1430	1	1		2

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	建築機械設備改修工事特記仕様書(3)		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	-	図面番号	AM-03
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		

図面名	建築機械設備改修工事特記仕様書(3)		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	-	図面番号	AM-03
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		



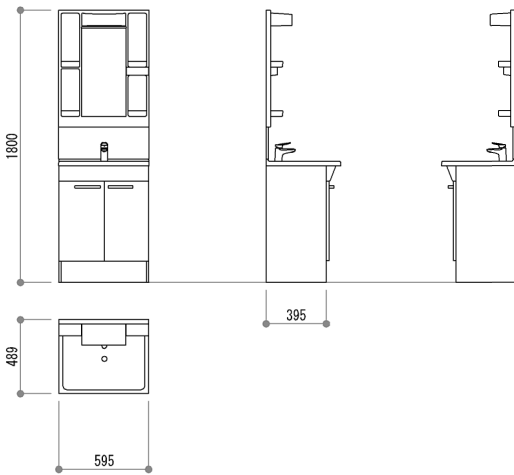
1階 展開図 [改修前]



1階 展開図 [改修後]

器具表 ☐ 衛生器具は、グリーン購入法適合品とする。

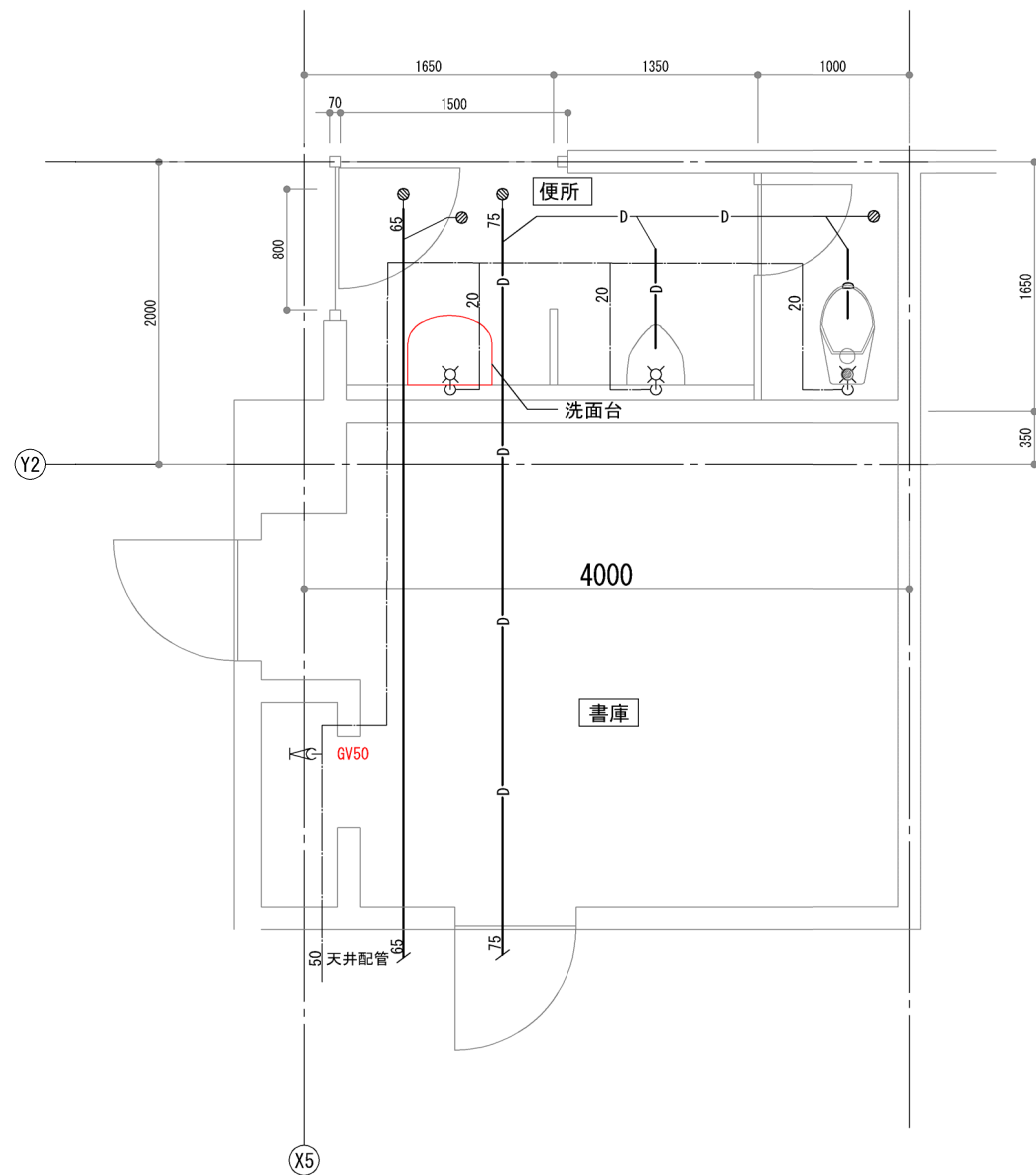
品名	JIS記号 注記	品 番 (参考品番) 上段－既設 下段－更新	管理棟					計
			1階		2階			
			便 所	浴 室	便 所			
洗 面 器	VL520	L220	2	1	1			4
		洗面化粧台（LDPL060） 一面鏡（LMSPL060）	2	1				3
化 粧 鏡	耐食形 450×600	TS119AS1	2	1	1			4
風 呂 釜		SR II	1					1
		U.B 1216タイプ	1					1
換気ダクト								
		φ100 スパイラルダクト ベンドキャップ		1				1



洗面化粧台 (参考)

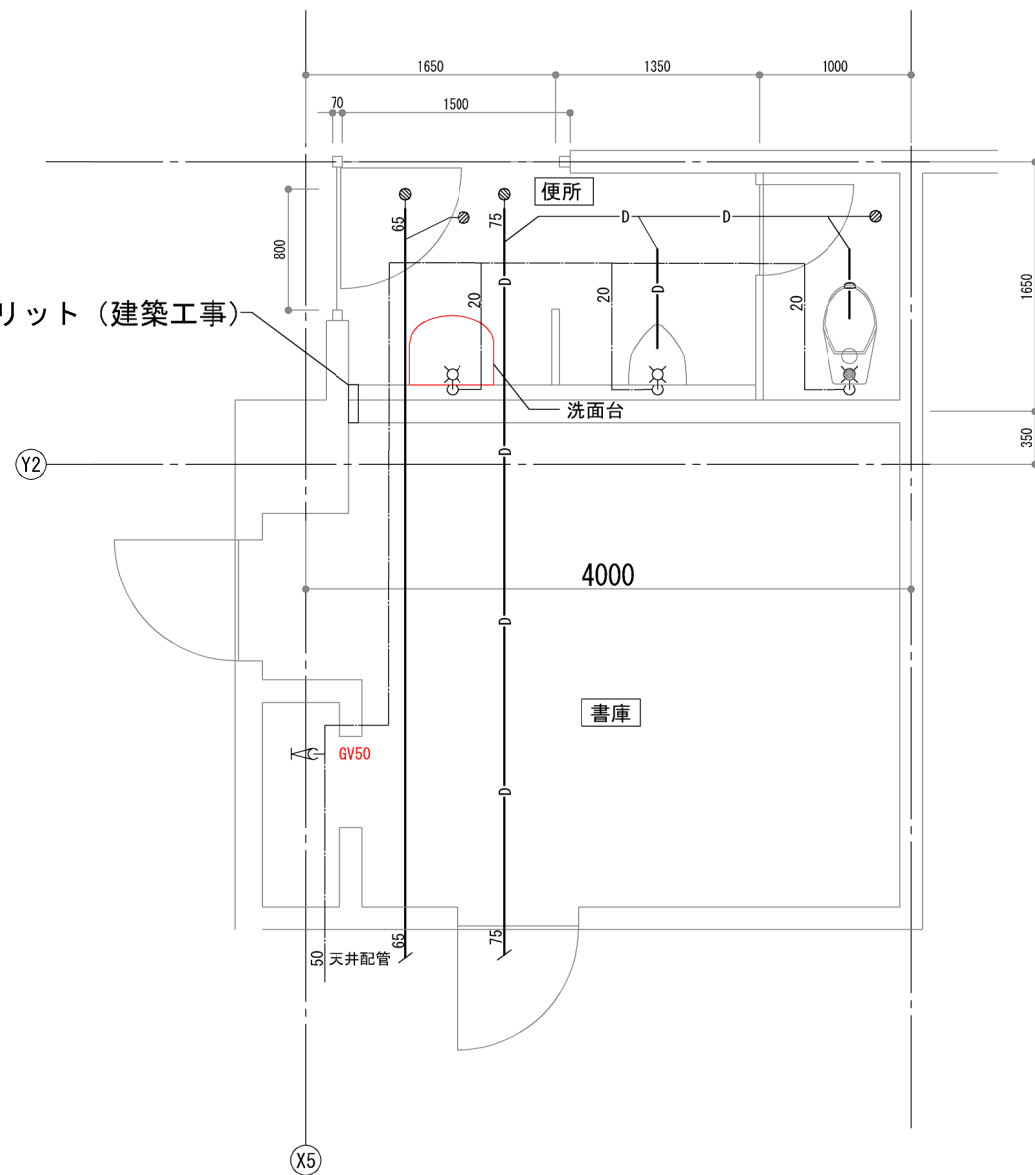
注：工事中はGV50とGV32を閉じる。
☒ 今回工事対象である。

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	1階トイレ・浴室展開図 [改修前・後]		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	1/25	図面番号	AM-04
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		



2階 展開図 [改修前]

耐震スリット（建築工事）

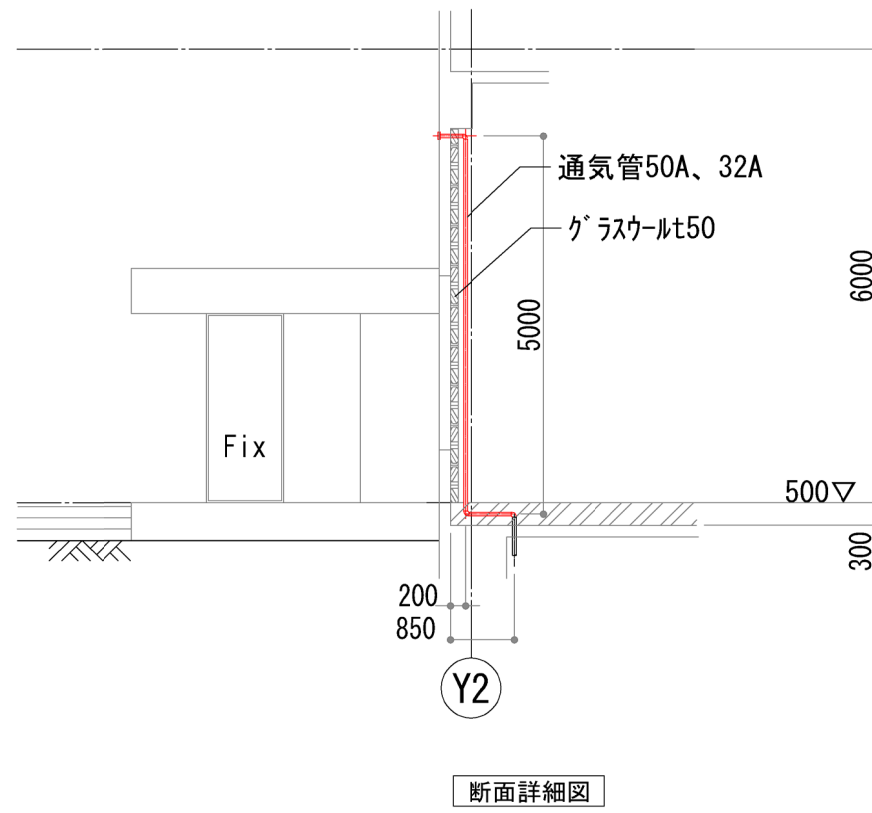
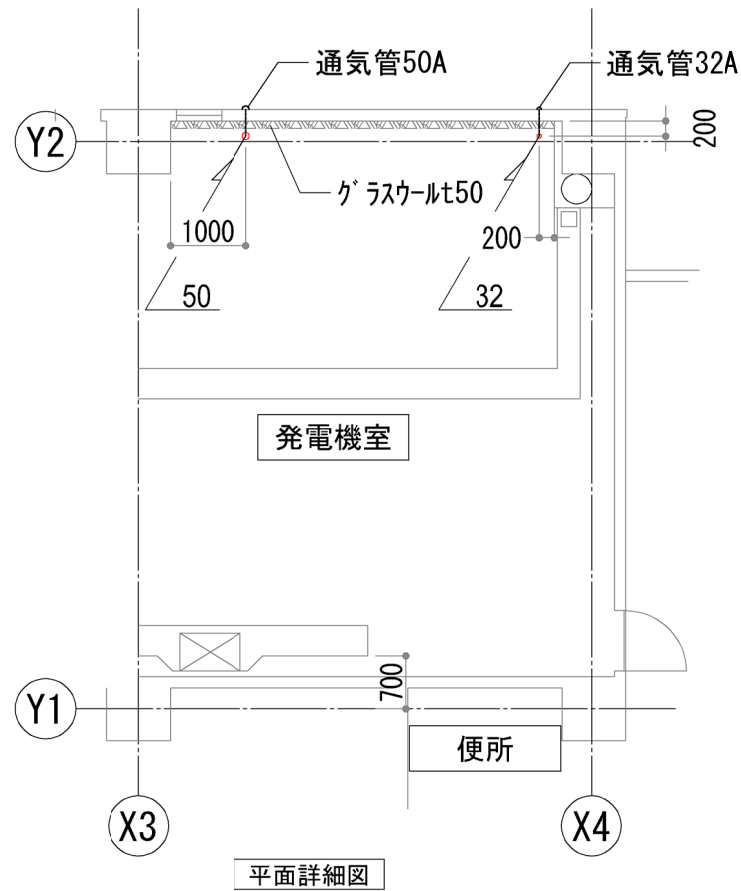


2階 展開図 [改修後]

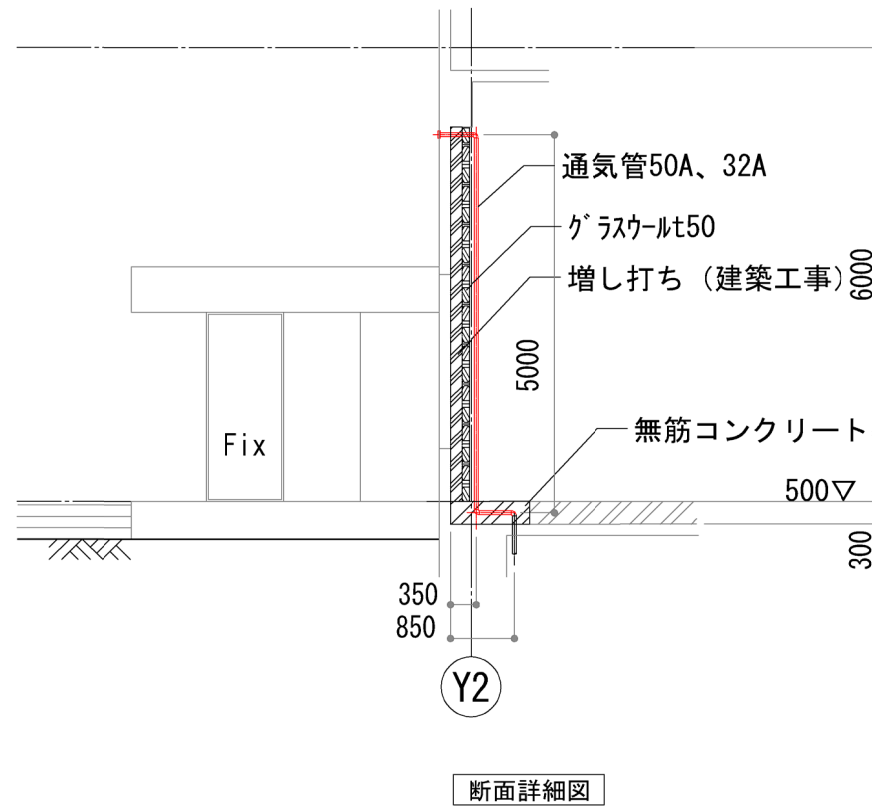
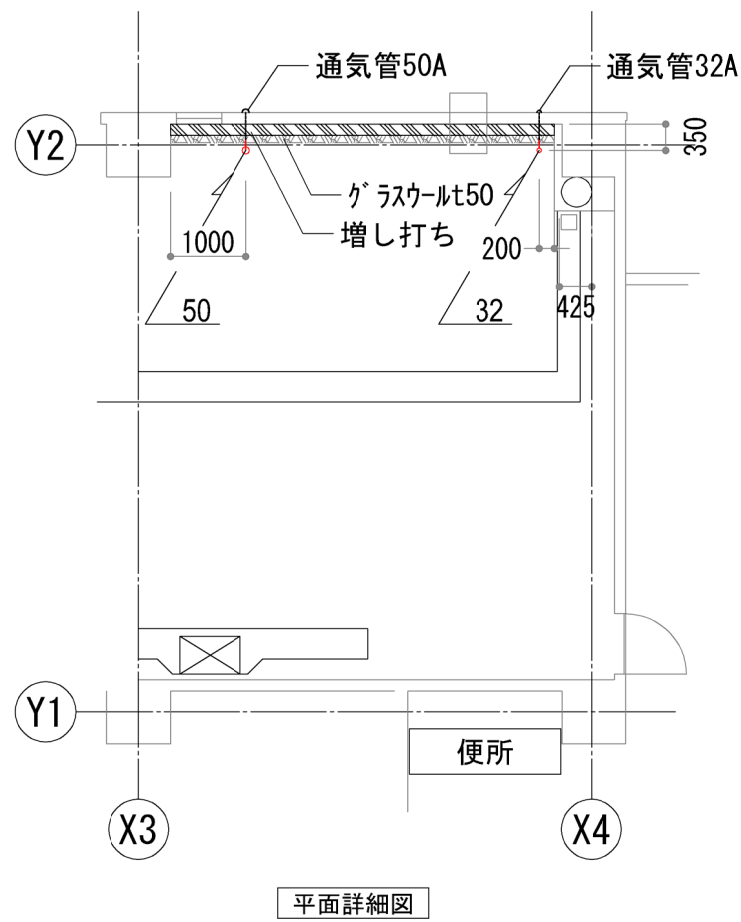
注：工事中はGV50を閉じる。

今回工事対象である。

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	2階トイレ展開図 [改修前・後]		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	1/25	図面番号	AM-05
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		



1階 自家発室 [改修前]



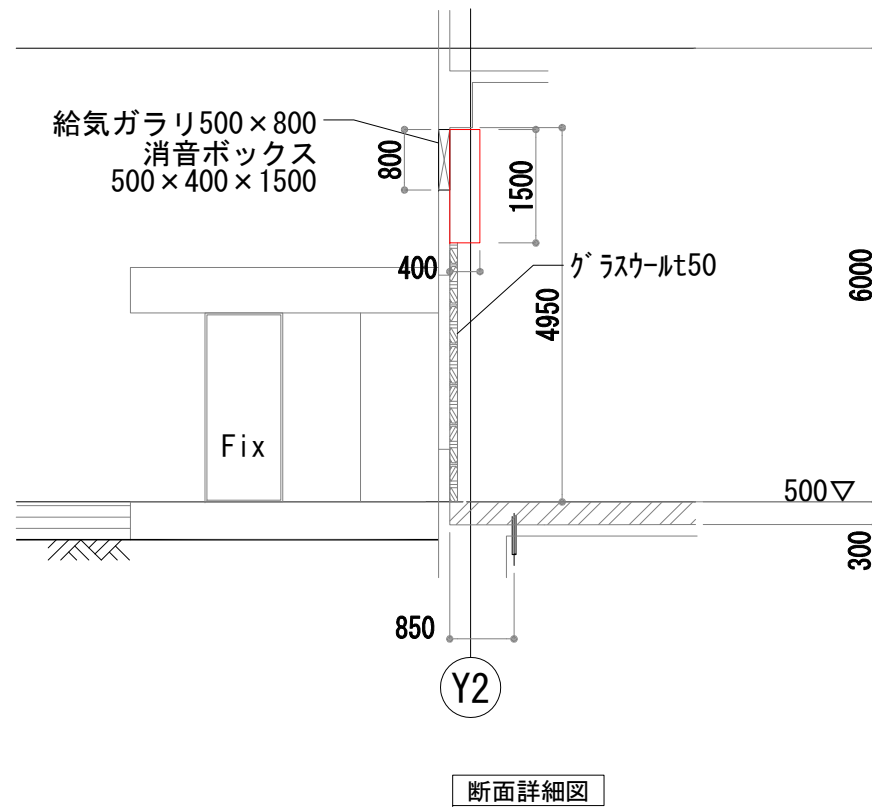
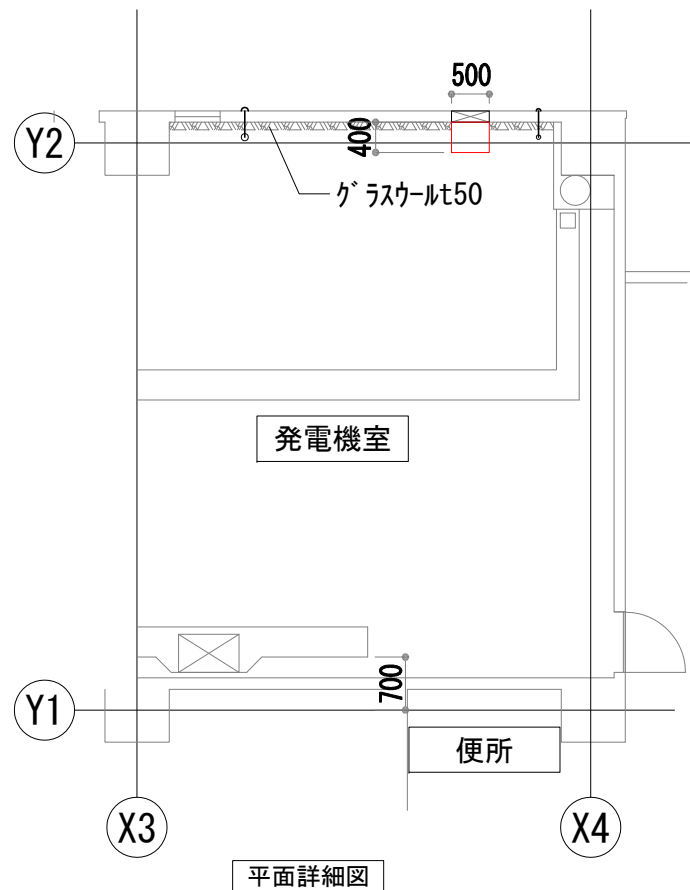
1階 自家発室 [改修後]

注：工事手順は以下のとおりとする。

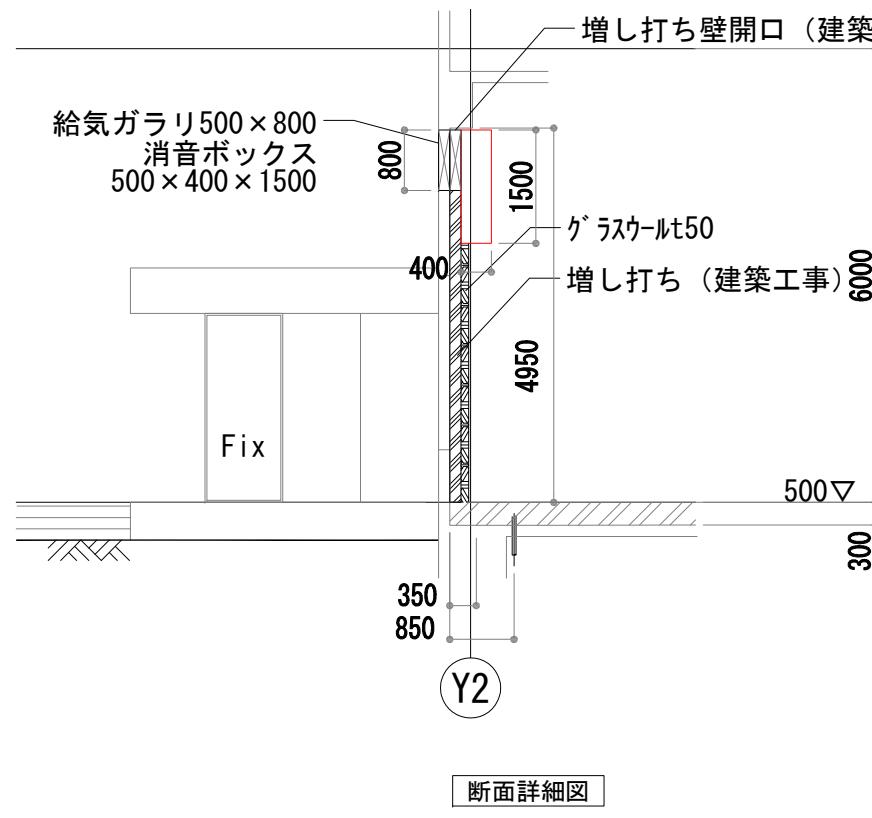
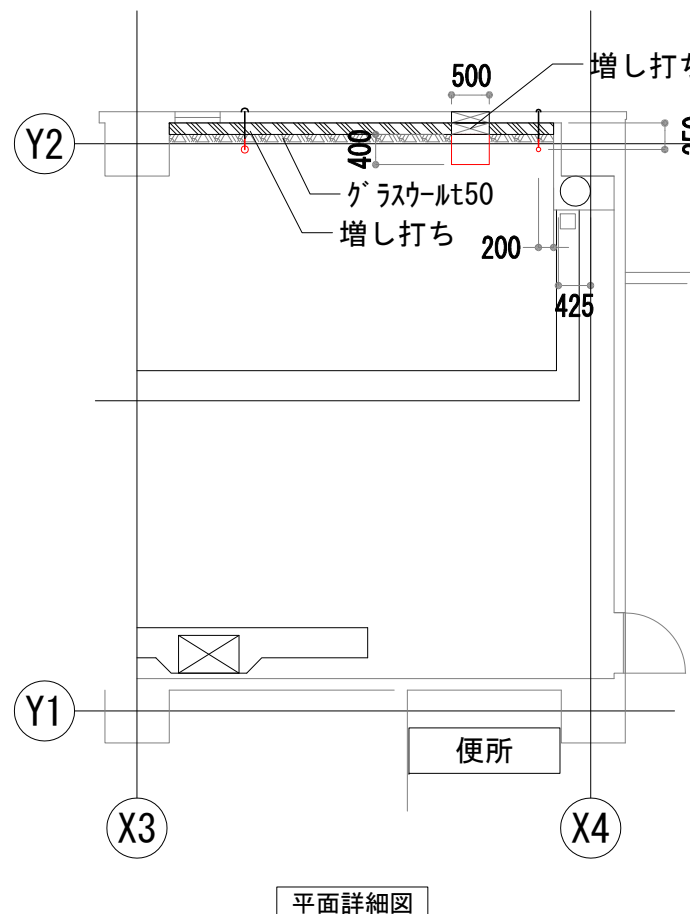
- ① 床コンクリートはつり（建築工事）
- ② 通気管撤去、据付
- ③ 増し打ち（建築工事）
- ④ 壁ガラスウール50 張り（建築工事）

今回工事対象である。

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	1階自家発室 [改修前・後]（通気管）		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	1/50	図面番号	AM-06
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		



1階 自家発電室 [改修前]



1階 自家発電室 [改修後]

注：工事手順は以下のとおりとする。

- ① 消音ボックスを撤去（再利用）
- ② 増し打ち（建築工事）
- ③ 消音ボックス据付
- ④ 壁ガラスウールt50 張り（建築工事）

今回工事対象である。

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	1階自家発電室 [改修前・後]（換気）		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	1/50	図面番号	AM-07
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		

[illegible]

章	項	目	特 記 事 項
● 一般事項	● 電気工作物の種類		● 事業用電気工作物(自家用電気工作物) ○ 一般用電気工作物
	● 電気保安技術者		本工事現場に直く電気保安技術者は、埼玉県自家用電気工作物保安規程第三条に定める工事管理者()の任命する監督職員の職務を補佐し、電気工作物の保安業務を行うものとする。
	● 施工従事者		電気工作物においては法令で定める電気工事士とする。契約電力 500kW以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工を行うものとする。
	○ 化学物質を放散させる建築材料等		1. 本工事の建物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の1)から4)を満たすものとする。 1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、経緯材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを放散しない又は放散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。

項 目	特 記 事 項																																																
● 一般事項	2) 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 3) 接着剤は、可塑剤(フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含むしない難揮発性の可塑剤を除く)が添加されていない材料を使用する。 4) 1)の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、セメタルデヒド及びスチレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用しものとする。 2. 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分においては、「規制対象外」とは、次の1)又は2)に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の3)又は4)に該当する材料を指す。 1) 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 2) 建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 3) 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 4) 建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料																																																
○ 適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には、次の条件を用いる。 ○ 風圧力 風速 (V₀= m/s) 地表面粗度区分 (○Ⅰ ○Ⅱ ○Ⅲ ○Ⅳ) ○ 積雪荷重 建設省告示第1455号における区域 別表 ()																																																
○ 材料・機材の品質等	1. 本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 2. 下記の表に機材名が記載された製造業者等は、次の 1)から 6)までの全ての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、製造業者名等が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。 1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 3) 安定的な供給が可能であること。 4) 法令等で定めがある場合は、その許可、認可、認定又は免許を取得していること。 5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること。 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">機 材 等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>●</td><td>LED照明(一般屋内用に限る。)</td></tr> <tr><td>○</td><td>照明制御装置</td></tr> <tr><td>○</td><td>可変速運転用インバータ装置</td></tr> <tr><td>●</td><td>分電盤</td></tr> <tr><td>○</td><td>制御盤</td></tr> <tr><td>○</td><td>キュービクル式配電盤</td></tr> <tr><td>○</td><td>高圧スイッチギア(W形)</td></tr> <tr><td>○</td><td>高圧スイッチギア(PW形)</td></tr> <tr><td>○</td><td>高圧交流遮断器</td></tr> <tr><td>○</td><td>高圧連相コンデンサ</td></tr> <tr><td>○</td><td>高圧限流ヒューズ</td></tr> <tr><td>○</td><td>高圧負荷開閉器</td></tr> <tr><td>○</td><td>高圧変圧器(特定機器)</td></tr> <tr><td>○</td><td>交流無停電電源装置</td></tr> <tr><td>○</td><td>太陽光発電装置(パワコンディショナ及び系統連系保護装置)</td></tr> <tr><td>○</td><td>監視カメラ装置</td></tr> <tr><td>○</td><td>中央監視制御(監視制御装置)</td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table> (表記以外に品質等の確認が必要な機材がある場合は記載する。)	機 材 等		●	LED照明(一般屋内用に限る。)	○	照明制御装置	○	可変速運転用インバータ装置	●	分電盤	○	制御盤	○	キュービクル式配電盤	○	高圧スイッチギア(W形)	○	高圧スイッチギア(PW形)	○	高圧交流遮断器	○	高圧連相コンデンサ	○	高圧限流ヒューズ	○	高圧負荷開閉器	○	高圧変圧器(特定機器)	○	交流無停電電源装置	○	太陽光発電装置(パワコンディショナ及び系統連系保護装置)	○	監視カメラ装置	○	中央監視制御(監視制御装置)												
機 材 等																																																	
●	LED照明(一般屋内用に限る。)																																																
○	照明制御装置																																																
○	可変速運転用インバータ装置																																																
●	分電盤																																																
○	制御盤																																																
○	キュービクル式配電盤																																																
○	高圧スイッチギア(W形)																																																
○	高圧スイッチギア(PW形)																																																
○	高圧交流遮断器																																																
○	高圧連相コンデンサ																																																
○	高圧限流ヒューズ																																																
○	高圧負荷開閉器																																																
○	高圧変圧器(特定機器)																																																
○	交流無停電電源装置																																																
○	太陽光発電装置(パワコンディショナ及び系統連系保護装置)																																																
○	監視カメラ装置																																																
○	中央監視制御(監視制御装置)																																																
● 工事用水	構内の既存施設 ● 利用できない ○ 利用できる(○ 有償 ○ 無償)																																																
● 工事用電力	構内の既存施設 ● 利用できない ○ 利用できる(○ 有償 ○ 無償)																																																
● 監督職員事務所	○ 設ける ● 設けない																																																
● 工事用仮設物	構内につくることが ● できる ○ できない																																																
● 官公署等への手続	工事に必要な官公署への手続きは受注者が代行し、速やかに行う。																																																
● 足場その他	● 別契約の関係受注者が設置したものは、無償で使用できる。 (○ 機械設備工事 ● 建築工事 で設置する。) ○ 本工事で設置する。 「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等の作業に関する基準」における2の(1)手すり据置き方式又は(2)手すり先行専用足場方式により行う。 ○ 内部足場等(○ 種 ○ 種) ○ 外部足場等(○ 種 ○ 種)																																																
● 総合試運転調整	● 本工事 ○ 別途 調整項目(確認方法等は監督職員の指示による。) ○ 受変電設備設備及び発電設備の停復電による連動動作等の確認 ○ 火災報知設備と連動する防火戸、ダンパー等の連動動作等の確認																																																
● 工事写真	国土交通省大臣官房官庁常務部制定の「営繕工事写真撮影要領(令和5年版)」による。																																																
● 設計図CADデータ	設計図CADデータ : ● 貸与する ○ 貸与しない 貸与する設計図CADデータを当該工事の施工図または完成図の作成以外の目的に使用してはならない。																																																

章	項	目	特 記 事 項
● 一般事項	○ 電子納品	1.	本工事は、電子納品の対象工事である。 電子納品は、「埼玉県電子納品運用ガイドライン 令和7年4月 県土整備部・都市整備部」（以下、「ガイドライン」という。）に基づいて行う。
		2.	工事完成検査時には、（一財）建設技術センター（以下、「センター」という。）から発行される「電子媒体（副本）納品事前受付書」を執行すること。
		3.	工事完成検査後は、速やかに電子媒体1部と「電子媒体（副本）納品事前受付書」をセンターに送付すること。その後、センターから発行される「電子媒体（副本）受領書」を監督職員に提出すること。なお、電子成果品は工事請負契約書第45条の対象とし、電子データに不備が確認された場合は、受注者は修正作業を行わなければならない。
		4.	「ガイドライン」の解釈に疑義がある場合は、監督職員と協議の上で決定すること。
	● 完成時の提出図書等		工事完成時の提出図書等は以下のものとする。
		提出図書等	仕 様 部数
		● 完成図面	○ 図面 (A1版) 折りたたみ製本 ● 図面 (A3版) 見開き製本 サイズ ● A4版 ○ 版 ● 1 部 ○ 部
		● 工事関係図書	本工事中に作成した工事関係書類等をまとめたもの ● 1 部 ○ 部
		● 完成写真	○ キヤビン版 ○ 撮影箇所 ○ 箇所 ● 1 部 ○ 箇所 ○ 部
		● 保全に関する資料	○ 建築物等の利用に関する説明書 ● 機器取扱い説明書 ○ 機器性能試験成績書 ○ 官公署届出書類 ● 総合試運転調整報告書 建築物等の利用に関する説明書は「建築物等の利用に関する説明書作成の手引き」に基づき作成すること。 ● 1 部 ○ 部
		● 電子成果品	電子納品による ● 3 部 ○ 部
	○ 引渡しを要するもの		○ なし ○ あり () 特別管理産業廃棄物 ○ なし ○ あり (PCB使用機器：) PCB使用機器は関係法令により適切に処理し、建物管理者に引き渡す。
		● 建設副産物の処理等	1. 共通事項 1) 「建設リサイクル法関係」に基づき、本工事に係る「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を「建設副産物情報交換システム（コプリス・プラス）」により作成し、施工計画書に各表1部提出すること。 また、計画の実施状況（実績）については、「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」並びに「建設副産物情報交換システム事登録証明書」を同システムにより作成し、各1部提出するとともに、これらの記録を工事完成後一年間保存しておくこと。 ◎作成対象工事 「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」は請負金額が、「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」並びに「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」は最終請負金額が100万円以上の全ての工事について建設資材の利用、建設副産物の発生・搬出の有無にかかわらず作成する。 2) 「建設副産物の処理基準及び再生資材の利用基準」に基づき、建設副産物の処理に先立ち、「建設副産物処理承認申請書」を作成し、監督職員の確認を受け、同申請書を1部提出すること。なお、建設廃棄物の処理を委託する場合は、収集運搬又は処分について許可業種と各々建設廃棄物処理契約を締結し、「建設廃棄物委託契約書」を監督職員に提示するとともに、同契約書の写しを同申請書に添付すること。 建設副産物の処理完了後速やかに、「建設副産物処理調書」を作成し、1部提出するとともに、実際に要した処理費等を証明する資料（受入伝票、写真等）を監督職員に提示し確認を受けること。 3) 建設副産物の処理に当たって、産業廃棄物管理票制度に基づく紙マニフェスト方式による場合は、原則として複写式伝票のD票及びE票を提出すること。 また、電子マニフェスト方式による場合は、原則として廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき指定された情報処理センターが発行する当該工事のマニフェスト情報を提示すること。
			2. 建設発生土 1) 指定 (A) (工事間利用) の場合 本工事により発生する建設発生土のうち、下記に示す建設発生土については、工事間利用を図るものとし、下記指定地に搬出すること。 ア 搬出先 (相手先工事名、場所等) 工事 市 町地先 イ 土質及び処理量 第 種建設発生土 m ³ ウ 搬出時期 年 月 年 月 なお、搬出手続き等は監督職員の指示によること。 2) 指定 (A) (その他) の場合 建設発生土 (m ³) は、 地先に搬出するものとする。 なお、詳細については監督職員の指示によるものとする。 3) 指定 (B) の場合 建設発生土 (m ³) は、片道運搬距離 kmに搬出するものとする。
			3. 路盤廃材 本工事により発生する 路盤廃材 (t) は 市 町地先、片道運搬距離 kmの に運搬し、処理するものとする。
			4. 建設廃棄物 本工事により発生する (1) アスコン塊 (t) は 市 町地先、片道運搬距離 kmの に運搬し、処理するものとする。 (2) コンクリート塊 (t) は 市 町地先、片道運搬距離 kmの に運搬し、処理するものとする。 (3) 建設発生木材 (t) は 市 町地先、片道運搬距離 kmの に運搬し、処理するものとする。 (4) 建設汚泥 (t) は 市 町地先、片道運搬距離 kmの に運搬し、処理するものとする。 5) () は 市 町地先、片道運搬距離 kmの (※ 中間処理場 最終処分場) に運搬し、処理するものとする。 6) () は 市 町地先、片道運搬距離 kmの (※ 中間処理場 最終処分場) に運搬し、処理するものとする。 7) () は 市 町地先、片道運搬距離 kmの (※ 中間処理場 最終処分場) に運搬し、処理するものとする。 なお、運搬に先立ち受け入れ条件等を確認し、監督職員に報告するものとする。 工事発注後、事情により上記の指定処理により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

項 目	特 記 事 項
	5. 再生処理土 1) 指定 (A) (工事間利用) の場合 本工事により再生処理した処理土のうち、下記に示す処理土については、工事間利用を図るものとし、下記指定地に搬出すること。 ア 搬出先 (相手先工事名、場所等) イ 土質及び処理量 ウ 搬出時期 エ 第 〇 建設発生土 オ 年 月 ～ 年 月 なお、搬出手続き等は監督職員の指示によること。また、建設汚泥の再生利用にあたっては、平成18年6月12日付国土交通事務次官通知「建設汚泥の再生利用に関するガイドライン」等に基づき、適正に処理すること。 留意事項 1. 利用先の確保 建設発生土情報交換システム(コブリス・プラス)を活用して、建設発生土と同様、積極的に工事間流用により利用先の確保に努める。 2. 中間処理施設の選定 中間処理施設の選定に当たっては、利用先の品質要件にあう発生処理土を確保するため、他の残土と混ざらないようにいかに再生処理できるかが大きな要素となる。このため、経済性を含めて総合的に判断する必要がある。 また、リサイクル原則化ルールに基づき、建設副産物情報交換システム(コブリス・プラス)の登録処理業者を活用して、500m範囲で検索する。 3. 品質・安全性の確保 処理土の品質・安全性を確認するため、土質試験、土壌分析試験などを行う。 4. 一時保管 利用先との工程調整のため一時保管する場合には、廃棄物処理法等の手続きが必要となるので注意する。
○ 建設発生土の処理	○ 埋め戻し後の建設発生土は、監督職員が指示する構内の場所に敷きならしとする。
● 環境への配慮	○ 埼玉県で定める「環境配慮物品調達方針」に基づき環境に配慮した物品を優先的に使用する。
● 環境対策	2. 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」の特定調達品目判断基準は、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」(令和7年1月28日変更閣議決定)による。 3. 環境物品等の調達の推進に関する基本方針における公共工事の配慮事項(「資材(材料及び構材を含む)の梱包及び容器は、可能な限り簡易であって、再生利用の容易さ及び廃棄時の負荷低減に配慮されていること。」)に留意すること。 建設機械は、排出ガス対策型、低騒音型の建設機械を使用すること。
● 化学物質の濃度測定	○ 施工完了時に室内空気中の揮発性有機化合物の濃度を測定し、報告すること。 ○ ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ステレン ○ パラジクロロベンゼン (用途が学校の場合、上記項目に追加する。) 測定はバッチ型採集機器により行う。 着工前の測定 ○ 行わない ○ 行う 測定対象室 ○ 図示 ○ () 測定箇所数 ○ 図示 ○ () 測定値が厚生労働省指針値を超えた場合は、換気後再測定し報告書を提出すること。
● 保険	本工事については、工事目的物及び工事材料を次に示す内容で火災保険、総合保険その他の保険に附すること。 1) 被保険者 発注者、受注者及びその全下請負人 2) 保険金額 請負代金全額 3) 保険期間 工事着手のときから工事引渡までの期間 なお、保険契約を締結したときは、その証券又はこれに代わるものを直ちに監督職員に提出すること。
● 工事実績情報の登録	本工事の最終請負代金(消費税込)が500万円以上となる場合には、工事実績情報システム(コリス)に基づき、工事実績データを作成する。 また、作成した内容について監督職員の確認を受けた後、以下に示す期間内に(一財)日本建設情報総合センターに所定の手続により登録するとともに、登録内容確認書の写しを提出する。 1) 工事受注時 契約締結後10日以内 2) 登録内容の変更時 契約事項の確定日から10日以内 3) 工事完成時 工事完成後10日以内
● 工事現場管理	受注者は、工事の施工にあたっては、次の事項を遵守すること。 1) 不法・違反無線局(不法パーソナル無線)を設置したトラック、ダンパー等を工事現場に立ち入らせないこと。
● 過積載による違法運行の防止	受注者は、工事の施工にあたっては、次の事項を遵守すること。 1) 積載重量制限を超過して土砂を積み込まず、また積み込ませないこと。 2) さし枠装着車、不表示車等に土砂を積み込まず、また積み込ませないこと。 3) 過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受けるなど、過積載を助長することのないようにすること。 4) 取引関係のあるダンパー事業者が過積載を行い、又はさし枠装着車、不表示車等を土砂運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。 5) 建設発生土の処理及び骨材等の購入にあたって、下請事業者及び骨材等納入者の利益を不当に害することのないようにすること。 6) 以上のことにつき、下請業者にも十分指導すること。
● 創意工夫等の実施	受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫に関する項目、又は地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時までに所定の書式により提出することができる。
● 安全対策	受注者相互の緊密な連絡調整を図り、協力して工事を安全円滑に実施することを目的とする「工事関係者連絡会議」を設置すること。 発注者で組織する安全対策委員会が行う安全審査、施工条件検討、安全点検等に協力すること。
● 他工事との取合い	別表11による。

章		章	
項目		項目	
特記事項		特記事項	
● 一般事項	○ 中間検査	設計用標準水平震度	
	○ 中間検査の対象工事	設置場所	
	○ 条件明示項目	機器種別	
	○ 施設点検	特定の施設	
	○ その他	一般の施設	
○ デジタル工事写真の小黒板情報電子化		重要機器	
		一般機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要機器	
		重要	

項 目		特 記 事 項																																																																																																																																								
● 別表1	● 接地極	接地極の材料は原則として下記による。 なお、接地棒E B (14φ)の長さは1,500mm 以上とする。 接地棒E B (10φ)はW=30mm、L=900mm (測定用は、L=1,000mm)、接地棒E B (14φ)は、W=40mm、L=1,200mm としても差し支えない。 <table><tr><th>接地の種類</th><th>記号</th><th>接地抵抗値</th><th>接 地 極</th></tr><tr><td>○ 共同接地</td><td>E_{A,B}</td><td>10Ω以下</td><td>E B (14φ) × 3 連ー 2 組</td></tr><tr><td>○ 共同接地</td><td>E_{A,C,D}</td><td>10Ω以下</td><td>E B (14φ) × 3 連ー 2 組</td></tr><tr><td>○ A種接地</td><td>E_A</td><td>10Ω以下</td><td>E B (14φ) × 3 連ー 2 組</td></tr><tr><td>○ B種接地</td><td>E_B</td><td>15Ω/12Ω以下</td><td>E B (14φ) × 3 連ー 1 組</td></tr><tr><td>○ C種接地</td><td>E_C</td><td>10Ω以下</td><td>E B (14φ) × 3 連ー 2 組</td></tr><tr><td>● D種接地</td><td>E_D</td><td>100Ω以下</td><td>E B (10φ) × 1 (L=1,500mm)</td></tr><tr><td>○ D種接地</td><td>E_{D,ELR}</td><td>100Ω以下</td><td>E B (10φ) × 1 (L=1,000mm)</td></tr><tr><td>○ 高圧避雷器用</td><td>E_{LA}</td><td>10Ω以下</td><td>E B (14φ) × 3 連ー 2 組</td></tr><tr><td>○ 交換装置用</td><td>E_L</td><td>10Ω以下</td><td>E B (14φ) × 3 連ー 2 組</td></tr><tr><td>○ 通信用(10Ω)</td><td>E_{AL}</td><td>10Ω以下</td><td>E B (14φ) × 3 連ー 2 組</td></tr><tr><td>○ 通信用(100Ω)</td><td>E_{DL}</td><td>100Ω以下</td><td>E B (10φ) × 1 (L=1,000mm)</td></tr><tr><td>○ 電話引込口の保安器用</td><td>E_{LL}</td><td>100Ω以下</td><td>E B (10φ) × 1 (L=1,000mm)</td></tr><tr><td>○ 測定用</td><td>E₀</td><td></td><td>E B (10φ) × 1 (L=1,000mm) 又は(L=900mm、W=30mm)</td></tr></table> ※ 接地抵抗値は、電気事業者と協議のうえ決定すること。		接地の種類	記号	接地抵抗値	接 地 極	○ 共同接地	E _{A,B}	10Ω以下	E B (14φ) × 3 連ー 2 組	○ 共同接地	E _{A,C,D}	10Ω以下	E B (14φ) × 3 連ー 2 組	○ A種接地	E _A	10Ω以下	E B (14φ) × 3 連ー 2 組	○ B種接地	E _B	15Ω/12Ω以下	E B (14φ) × 3 連ー 1 組	○ C種接地	E _C	10Ω以下	E B (14φ) × 3 連ー 2 組	● D種接地	E _D	100Ω以下	E B (10φ) × 1 (L=1,500mm)	○ D種接地	E _{D,ELR}	100Ω以下	E B (10φ) × 1 (L=1,000mm)	○ 高圧避雷器用	E _{LA}	10Ω以下	E B (14φ) × 3 連ー 2 組	○ 交換装置用	E _L	10Ω以下	E B (14φ) × 3 連ー 2 組	○ 通信用(10Ω)	E _{AL}	10Ω以下	E B (14φ) × 3 連ー 2 組	○ 通信用(100Ω)	E _{DL}	100Ω以下	E B (10φ) × 1 (L=1,000mm)	○ 電話引込口の保安器用	E _{LL}	100Ω以下	E B (10φ) × 1 (L=1,000mm)	○ 測定用	E ₀		E B (10φ) × 1 (L=1,000mm) 又は(L=900mm、W=30mm)																																																																															
接地の種類	記号	接地抵抗値	接 地 極																																																																																																																																							
○ 共同接地	E _{A,B}	10Ω以下	E B (14φ) × 3 連ー 2 組																																																																																																																																							
○ 共同接地	E _{A,C,D}	10Ω以下	E B (14φ) × 3 連ー 2 組																																																																																																																																							
○ A種接地	E _A	10Ω以下	E B (14φ) × 3 連ー 2 組																																																																																																																																							
○ B種接地	E _B	15Ω/12Ω以下	E B (14φ) × 3 連ー 1 組																																																																																																																																							
○ C種接地	E _C	10Ω以下	E B (14φ) × 3 連ー 2 組																																																																																																																																							
● D種接地	E _D	100Ω以下	E B (10φ) × 1 (L=1,500mm)																																																																																																																																							
○ D種接地	E _{D,ELR}	100Ω以下	E B (10φ) × 1 (L=1,000mm)																																																																																																																																							
○ 高圧避雷器用	E _{LA}	10Ω以下	E B (14φ) × 3 連ー 2 組																																																																																																																																							
○ 交換装置用	E _L	10Ω以下	E B (14φ) × 3 連ー 2 組																																																																																																																																							
○ 通信用(10Ω)	E _{AL}	10Ω以下	E B (14φ) × 3 連ー 2 組																																																																																																																																							
○ 通信用(100Ω)	E _{DL}	100Ω以下	E B (10φ) × 1 (L=1,000mm)																																																																																																																																							
○ 電話引込口の保安器用	E _{LL}	100Ω以下	E B (10φ) × 1 (L=1,000mm)																																																																																																																																							
○ 測定用	E ₀		E B (10φ) × 1 (L=1,000mm) 又は(L=900mm、W=30mm)																																																																																																																																							
	● 機器取付高	図面に記載のなき場合、機器の取付高さは原則として下記による。 <table><tr><th>名 称</th><th>測 点</th><th>取付高(mm)</th></tr><tr><td>ブラケット (一般)</td><td>床上～中心</td><td>2,100</td></tr><tr><td>〃 (踊場)</td><td>〃</td><td>2,500</td></tr><tr><td>〃 (鏡上)</td><td>鏡上端～中心</td><td>150</td></tr><tr><td>避難口誘導灯</td><td>床上～下端</td><td>1,500以上</td></tr><tr><td>廊下通路誘導灯</td><td>床上～上端</td><td>1,000以下</td></tr><tr><td>スイッチ (一般)</td><td>床上～中心</td><td>1,300</td></tr><tr><td>〃 (バリアフリートイレ)</td><td>〃</td><td>1,100</td></tr><tr><td>コンセント、電話用7A11t、テレビ端子 (一般)</td><td>〃</td><td>300</td></tr><tr><td>〃 (和室)</td><td>〃</td><td>150</td></tr><tr><td>〃 (台所)</td><td>台上～中心</td><td>150</td></tr><tr><td>コンセント (車庫)</td><td>床上～中心</td><td>800～1,300</td></tr><tr><td>コンセント (車椅子用)</td><td>床上～中心</td><td>900</td></tr><tr><td>取引用計器</td><td>地上～窓中心</td><td>1,800～2,000</td></tr><tr><td>引込開閉器箱 (低圧)</td><td>地上～中心</td><td>1,800～2,200</td></tr><tr><td>分電盤、OA盤、制御盤、実験盤</td><td>床上～中心</td><td>1,500</td></tr><tr><td>開閉器箱</td><td>〃</td><td>1,500 (上端1,900以下)</td></tr><tr><td>電磁開閉器用押しボタン</td><td>〃</td><td>1,300</td></tr><tr><td>接地用端子箱</td><td>地上、床上～中心</td><td>500</td></tr><tr><td>雷保護用接地端子箱</td><td>床上～下端</td><td>800</td></tr><tr><td>接地極埋設機</td><td>地上～中心</td><td>600</td></tr><tr><td>給油ボックス (壁掛形)</td><td>地上～給油口</td><td>1,000</td></tr><tr><td>端子盤 (EPS・電気室)</td><td>床上～中心</td><td>1,500</td></tr><tr><td>壁付電話機</td><td>床上～中心</td><td>1,300</td></tr><tr><td>観時計</td><td>〃</td><td>1,500</td></tr><tr><td>子時計、スピーカ</td><td>〃</td><td>(天井高) × 0.9</td></tr><tr><td>アッテネータ</td><td>〃</td><td>1,300</td></tr><tr><td>出退表示盤</td><td>〃</td><td>(天井高) × 0.9</td></tr><tr><td>発信器 (出退表示用)</td><td>〃</td><td>1,300</td></tr><tr><td>インターホン</td><td>〃</td><td>1,300</td></tr><tr><td>外部受付用インターホン子機</td><td>〃</td><td>標準図による</td></tr><tr><td>呼出ボタン (バリアフリートイレ)</td><td>〃</td><td>900、(400)</td></tr><tr><td>復帰ボタン (バリアフリートイレ)</td><td>〃</td><td>1,300</td></tr><tr><td>廊下表示灯 (バリアフリートイレ)</td><td>〃</td><td>2,000</td></tr><tr><td>テレビ機器収容箱 (E P S)</td><td>〃</td><td>1,800</td></tr><tr><td>入退室管理装置 (カードリーダー、暗証番号入力装置、バイオメトリクス照合装置)</td><td>〃</td><td>1,300</td></tr><tr><td>火報受信機 (複合盤)、副受信機</td><td>床上～操作部</td><td>800～1,500</td></tr><tr><td>機器収容箱</td><td>〃</td><td>800～1,500</td></tr><tr><td>発信機</td><td>〃</td><td>800～1,500</td></tr><tr><td>警報ベル</td><td>〃</td><td>(天井高) × 0.9</td></tr><tr><td>表示灯</td><td>〃</td><td>(天井高) × 0.8</td></tr><tr><td>運動制御器</td><td>〃</td><td>1,500</td></tr><tr><td>自動閉鎖装置 (防火戸用)</td><td>床上～中心</td><td>1,500</td></tr><tr><td>ガス漏れ検知器 (液化石油ガス)</td><td>〃</td><td>300</td></tr><tr><td>〃 (都市ガス)</td><td>天井面～中心</td><td>(天井面)～200(壁面取付の場合)</td></tr></table> (備考) (天井高) × 0.9及び (天井高) × 0.8は天井高が2,500～3,000mmの場合に適用する。 注) 天井高3,000mm以上の場合及び上記取付高さでは機器の使用に支障がある場合は、監督職員と協議する。 呼出ボタン (バリアフリートイレ) の取付高さ (400) は床に転倒した時を考慮した高さを示す。		名 称	測 点	取付高(mm)	ブラケット (一般)	床上～中心	2,100	〃 (踊場)	〃	2,500	〃 (鏡上)	鏡上端～中心	150	避難口誘導灯	床上～下端	1,500以上	廊下通路誘導灯	床上～上端	1,000以下	スイッチ (一般)	床上～中心	1,300	〃 (バリアフリートイレ)	〃	1,100	コンセント、電話用7A11t、テレビ端子 (一般)	〃	300	〃 (和室)	〃	150	〃 (台所)	台上～中心	150	コンセント (車庫)	床上～中心	800～1,300	コンセント (車椅子用)	床上～中心	900	取引用計器	地上～窓中心	1,800～2,000	引込開閉器箱 (低圧)	地上～中心	1,800～2,200	分電盤、OA盤、制御盤、実験盤	床上～中心	1,500	開閉器箱	〃	1,500 (上端1,900以下)	電磁開閉器用押しボタン	〃	1,300	接地用端子箱	地上、床上～中心	500	雷保護用接地端子箱	床上～下端	800	接地極埋設機	地上～中心	600	給油ボックス (壁掛形)	地上～給油口	1,000	端子盤 (EPS・電気室)	床上～中心	1,500	壁付電話機	床上～中心	1,300	観時計	〃	1,500	子時計、スピーカ	〃	(天井高) × 0.9	アッテネータ	〃	1,300	出退表示盤	〃	(天井高) × 0.9	発信器 (出退表示用)	〃	1,300	インターホン	〃	1,300	外部受付用インターホン子機	〃	標準図による	呼出ボタン (バリアフリートイレ)	〃	900、(400)	復帰ボタン (バリアフリートイレ)	〃	1,300	廊下表示灯 (バリアフリートイレ)	〃	2,000	テレビ機器収容箱 (E P S)	〃	1,800	入退室管理装置 (カードリーダー、暗証番号入力装置、バイオメトリクス照合装置)	〃	1,300	火報受信機 (複合盤)、副受信機	床上～操作部	800～1,500	機器収容箱	〃	800～1,500	発信機	〃	800～1,500	警報ベル	〃	(天井高) × 0.9	表示灯	〃	(天井高) × 0.8	運動制御器	〃	1,500	自動閉鎖装置 (防火戸用)	床上～中心	1,500	ガス漏れ検知器 (液化石油ガス)	〃	300	〃 (都市ガス)	天井面～中心	(天井面)～200(壁面取付の場合)
名 称	測 点	取付高(mm)																																																																																																																																								
ブラケット (一般)	床上～中心	2,100																																																																																																																																								
〃 (踊場)	〃	2,500																																																																																																																																								
〃 (鏡上)	鏡上端～中心	150																																																																																																																																								
避難口誘導灯	床上～下端	1,500以上																																																																																																																																								
廊下通路誘導灯	床上～上端	1,000以下																																																																																																																																								
スイッチ (一般)	床上～中心	1,300																																																																																																																																								
〃 (バリアフリートイレ)	〃	1,100																																																																																																																																								
コンセント、電話用7A11t、テレビ端子 (一般)	〃	300																																																																																																																																								
〃 (和室)	〃	150																																																																																																																																								
〃 (台所)	台上～中心	150																																																																																																																																								
コンセント (車庫)	床上～中心	800～1,300																																																																																																																																								
コンセント (車椅子用)	床上～中心	900																																																																																																																																								
取引用計器	地上～窓中心	1,800～2,000																																																																																																																																								
引込開閉器箱 (低圧)	地上～中心	1,800～2,200																																																																																																																																								
分電盤、OA盤、制御盤、実験盤	床上～中心	1,500																																																																																																																																								
開閉器箱	〃	1,500 (上端1,900以下)																																																																																																																																								
電磁開閉器用押しボタン	〃	1,300																																																																																																																																								
接地用端子箱	地上、床上～中心	500																																																																																																																																								
雷保護用接地端子箱	床上～下端	800																																																																																																																																								
接地極埋設機	地上～中心	600																																																																																																																																								
給油ボックス (壁掛形)	地上～給油口	1,000																																																																																																																																								
端子盤 (EPS・電気室)	床上～中心	1,500																																																																																																																																								
壁付電話機	床上～中心	1,300																																																																																																																																								
観時計	〃	1,500																																																																																																																																								
子時計、スピーカ	〃	(天井高) × 0.9																																																																																																																																								
アッテネータ	〃	1,300																																																																																																																																								
出退表示盤	〃	(天井高) × 0.9																																																																																																																																								
発信器 (出退表示用)	〃	1,300																																																																																																																																								
インターホン	〃	1,300																																																																																																																																								
外部受付用インターホン子機	〃	標準図による																																																																																																																																								
呼出ボタン (バリアフリートイレ)	〃	900、(400)																																																																																																																																								
復帰ボタン (バリアフリートイレ)	〃	1,300																																																																																																																																								
廊下表示灯 (バリアフリートイレ)	〃	2,000																																																																																																																																								
テレビ機器収容箱 (E P S)	〃	1,800																																																																																																																																								
入退室管理装置 (カードリーダー、暗証番号入力装置、バイオメトリクス照合装置)	〃	1,300																																																																																																																																								
火報受信機 (複合盤)、副受信機	床上～操作部	800～1,500																																																																																																																																								
機器収容箱	〃	800～1,500																																																																																																																																								
発信機	〃	800～1,500																																																																																																																																								
警報ベル	〃	(天井高) × 0.9																																																																																																																																								
表示灯	〃	(天井高) × 0.8																																																																																																																																								
運動制御器	〃	1,500																																																																																																																																								
自動閉鎖装置 (防火戸用)	床上～中心	1,500																																																																																																																																								
ガス漏れ検知器 (液化石油ガス)	〃	300																																																																																																																																								
〃 (都市ガス)	天井面～中心	(天井面)～200(壁面取付の場合)																																																																																																																																								
	○ 電池別置形																																																																																																																																									

項 目	特 記 事 項																																																																																																																																																																																					
● 工事区分表	図面に記載のなき場合、各工事との取り合いは原則として下記による。																																																																																																																																																																																					
	<table><tr><th colspan="2" rowspan="2">工事内容</th><th colspan="3">施工区分</th></tr><tr><th>建築</th><th>電気</th><th>機械</th></tr><tr><td rowspan="10">開口部</td><td>はり、床、壁貫通部</td><td>鉄筋補強</td><td>●</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td></td><td>スリーブ、型枠</td><td>○</td><td>●</td><td>●</td></tr><tr><td>埋込形(分電盤、端子盤、プルボックス)</td><td>鉄筋補強</td><td>●</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>風道、埋込形消火栓ボックス、吹出口、吸込口</td><td>スリーブ、型枠</td><td>○</td><td>●</td><td>●</td></tr><tr><td>換気扇、大便器等</td><td></td><td>○</td><td>●</td><td>●</td></tr><tr><td>軽量鉄骨下地天井、壁ボード類の切り込み</td><td>補強とも</td><td>●</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td></td><td>補強のない場合</td><td>○</td><td>●</td><td>●</td></tr><tr><td>スリーブ穴埋め、型枠穴埋め</td><td></td><td>○</td><td>●</td><td>●</td></tr><tr><td colspan="2">鉄骨、PC板等への穴明け、増強、スリーブ入れ(工場加工)</td><td>●</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td rowspan="5">基礎</td><td>屋 内</td><td>配電盤、制御盤、変電機、キュービクル</td><td>躯体と一体のもの</td><td>●</td><td>●</td></tr><tr><td></td><td>受水槽、サービスタンク</td><td>上記以外</td><td>○</td><td>●</td><td>●</td></tr><tr><td>屋 外</td><td>配電盤、制御盤、キュービクル</td><td>鉄筋基礎</td><td>○</td><td>●</td><td>●</td></tr><tr><td></td><td>受水槽、消化水槽</td><td>無筋基礎</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>屋 上</td><td>テレビアンテナ、避雷針</td><td>躯体と一体のもの</td><td>●</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td></td><td colspan="2">高圧水櫃、クーリングタワー、消火栓給水水櫃</td><td>上記以外</td><td>○</td><td>●</td><td>●</td></tr><tr><td rowspan="2">点検口</td><td>架台、アンカーボルト</td><td></td><td>○</td><td>●</td><td>●</td></tr><tr><td>床、天井、壁</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td></td><td>配線ビット、トレンチビット</td><td></td><td>●</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td rowspan="7">配管配線</td><td></td><td></td><td>○</td><td>●</td><td>○</td></tr><tr><td>機器付属の制御盤(接地共)</td><td>一次側</td><td>○</td><td>●</td><td>○</td></tr><tr><td></td><td>二次側</td><td>○</td><td>●</td><td>●</td></tr><tr><td>制御盤と動力盤の間(接地共)</td><td>電源供給</td><td>○</td><td>●</td><td>○</td></tr><tr><td></td><td>操作 配管</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td></td><td>回路 配線()</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>天井吊り型FUI及び全熱交換形換気(接地共)</td><td>電源供給</td><td>○</td><td>●</td><td>○</td></tr><tr><td></td><td>操作 配管</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td></td><td>回路 配線()</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td></td><td colspan="2">煙感知器から運動制御盤を経て防火ダンパーに至る配管配線</td><td>○</td><td>○</td><td>●</td></tr><tr><td rowspan="4">その他</td><td>防油堤</td><td></td><td>●</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>インサート、吊りボルト</td><td></td><td>○</td><td>●</td><td>●</td></tr><tr><td>換気扇枠</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>外部取り付けギャラリー(ダクト、チャンバー接続フランジを含む)</td><td></td><td>●</td><td>○</td><td>○</td></tr></table>	工事内容		施工区分			建築	電気	機械	開口部	はり、床、壁貫通部	鉄筋補強	●	○	○		スリーブ、型枠	○	●	●	埋込形(分電盤、端子盤、プルボックス)	鉄筋補強	●	○	○	風道、埋込形消火栓ボックス、吹出口、吸込口	スリーブ、型枠	○	●	●	換気扇、大便器等		○	●	●	軽量鉄骨下地天井、壁ボード類の切り込み	補強とも	●	○	○		補強のない場合	○	●	●	スリーブ穴埋め、型枠穴埋め		○	●	●	鉄骨、PC板等への穴明け、増強、スリーブ入れ(工場加工)		●	○	○	基礎	屋 内	配電盤、制御盤、変電機、キュービクル	躯体と一体のもの	●	●		受水槽、サービスタンク	上記以外	○	●	●	屋 外	配電盤、制御盤、キュービクル	鉄筋基礎	○	●	●		受水槽、消化水槽	無筋基礎	○	○	○	屋 上	テレビアンテナ、避雷針	躯体と一体のもの	●	○	○		高圧水櫃、クーリングタワー、消火栓給水水櫃		上記以外	○	●	●	点検口	架台、アンカーボルト		○	●	●	床、天井、壁		○	○	○		配線ビット、トレンチビット		●	○	○	配管配線			○	●	○	機器付属の制御盤(接地共)	一次側	○	●	○		二次側	○	●	●	制御盤と動力盤の間(接地共)	電源供給	○	●	○		操作 配管	○	○	○		回路 配線()	○	○	○	天井吊り型FUI及び全熱交換形換気(接地共)	電源供給	○	●	○		操作 配管	○	○	○		回路 配線()	○	○	○		煙感知器から運動制御盤を経て防火ダンパーに至る配管配線		○	○	●	その他	防油堤		●	○	○	インサート、吊りボルト		○	●	●	換気扇枠		○	○	○	外部取り付けギャラリー(ダクト、チャンバー接続フランジを含む)		●	○	○
工事内容				施工区分																																																																																																																																																																																		
		建築	電気	機械																																																																																																																																																																																		
開口部	はり、床、壁貫通部	鉄筋補強	●	○	○																																																																																																																																																																																	
		スリーブ、型枠	○	●	●																																																																																																																																																																																	
	埋込形(分電盤、端子盤、プルボックス)	鉄筋補強	●	○	○																																																																																																																																																																																	
	風道、埋込形消火栓ボックス、吹出口、吸込口	スリーブ、型枠	○	●	●																																																																																																																																																																																	
	換気扇、大便器等		○	●	●																																																																																																																																																																																	
	軽量鉄骨下地天井、壁ボード類の切り込み	補強とも	●	○	○																																																																																																																																																																																	
		補強のない場合	○	●	●																																																																																																																																																																																	
	スリーブ穴埋め、型枠穴埋め		○	●	●																																																																																																																																																																																	
	鉄骨、PC板等への穴明け、増強、スリーブ入れ(工場加工)		●	○	○																																																																																																																																																																																	
	基礎	屋 内	配電盤、制御盤、変電機、キュービクル	躯体と一体のもの	●	●																																																																																																																																																																																
		受水槽、サービスタンク	上記以外	○	●	●																																																																																																																																																																																
屋 外		配電盤、制御盤、キュービクル	鉄筋基礎	○	●	●																																																																																																																																																																																
		受水槽、消化水槽	無筋基礎	○	○	○																																																																																																																																																																																
屋 上		テレビアンテナ、避雷針	躯体と一体のもの	●	○	○																																																																																																																																																																																
	高圧水櫃、クーリングタワー、消火栓給水水櫃		上記以外	○	●	●																																																																																																																																																																																
点検口	架台、アンカーボルト		○	●	●																																																																																																																																																																																	
	床、天井、壁		○	○	○																																																																																																																																																																																	
	配線ビット、トレンチビット		●	○	○																																																																																																																																																																																	
配管配線			○	●	○																																																																																																																																																																																	
	機器付属の制御盤(接地共)	一次側	○	●	○																																																																																																																																																																																	
		二次側	○	●	●																																																																																																																																																																																	
	制御盤と動力盤の間(接地共)	電源供給	○	●	○																																																																																																																																																																																	
		操作 配管	○	○	○																																																																																																																																																																																	
		回路 配線()	○	○	○																																																																																																																																																																																	
	天井吊り型FUI及び全熱交換形換気(接地共)	電源供給	○	●	○																																																																																																																																																																																	
	操作 配管	○	○	○																																																																																																																																																																																		
	回路 配線()	○	○	○																																																																																																																																																																																		
	煙感知器から運動制御盤を経て防火ダンパーに至る配管配線		○	○	●																																																																																																																																																																																	
その他	防油堤		●	○	○																																																																																																																																																																																	
	インサート、吊りボルト		○	●	●																																																																																																																																																																																	
	換気扇枠		○	○	○																																																																																																																																																																																	
	外部取り付けギャラリー(ダクト、チャンバー接続フランジを含む)		●	○	○																																																																																																																																																																																	
○ 施工図等の取扱い	施工図等の著作権に係る当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。																																																																																																																																																																																					

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	電気設備工事特記仕様書 (2)		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	—	図面番号	AE-02
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		

凡 例（改修）

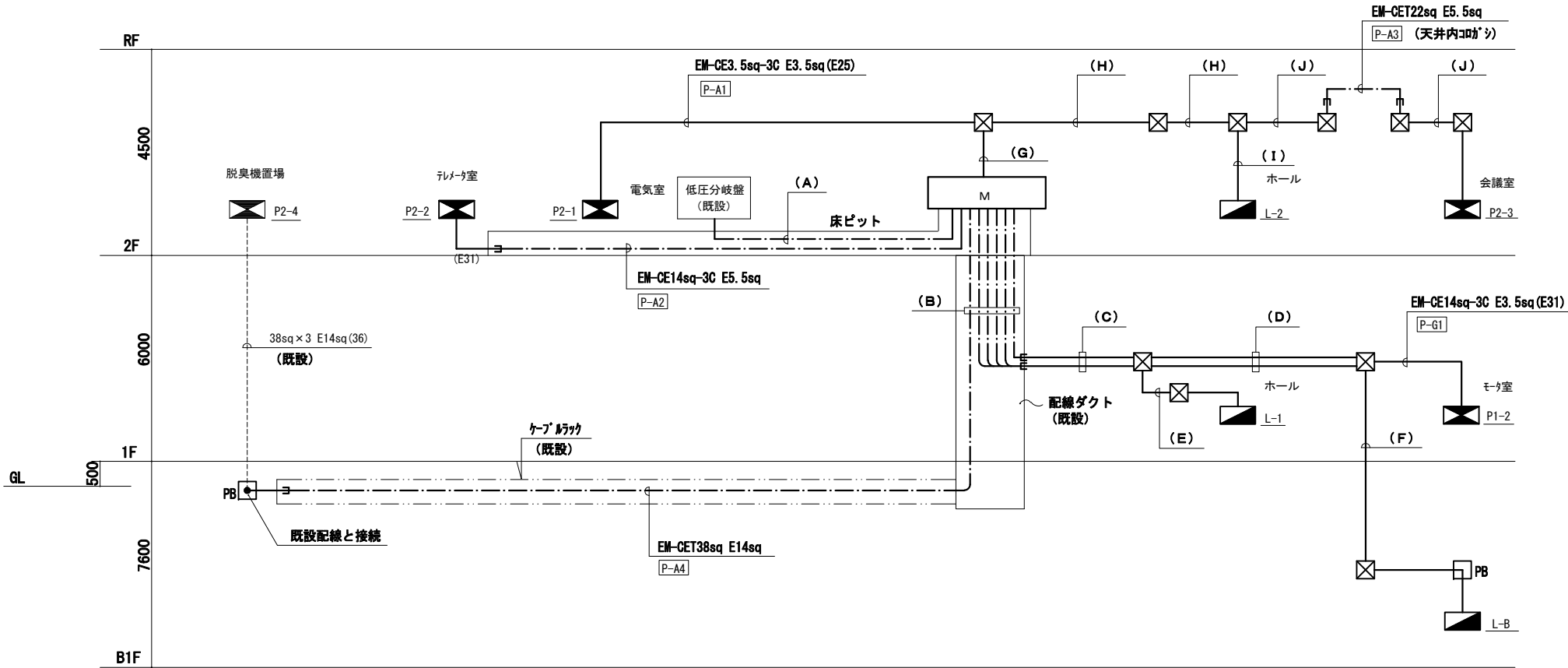
記 号	名 称	備 考	
M	主開閉器盤	新設	盤単線結線図参照
	動力制御盤	既設	
	電灯分電盤	〃	
——	配管配線（電線管）	新設	
—・—	ケーブル配線	〃	
☒	ブルボックス（鋼製）	〃	
-----	配管配線	既設	
□ PB	ブルボックス	〃	
No	幹線番号		

幹線表

盤名	幹線No	幹線サイズ	
P2-1	P-A1	EM-CE3.5sq-3C	E3.5sq
P2-2	P-A2	EM-CE14sq-3C	E5.5sq
P2-3	P-A3	EM-CET22sq	E5.5sq
P2-4	P-A4	EM-CET38sq	E14sq
P1-2	P-G1	EM-CE14sq-3C	E3.5sq
L-B	L-A1	EM-CE14sq-3C	E3.5sq
	L-G1	EM-CE3.5sq-2C	
L-1	L-A2	EM-CE8sq-3C	E3.5sq
	L-G2	EM-CE3.5sq-3C	
L-2	L-A3	EM-CE14sq-3C	E3.5sq
	L-G3	EM-CE3.5sq-3C	

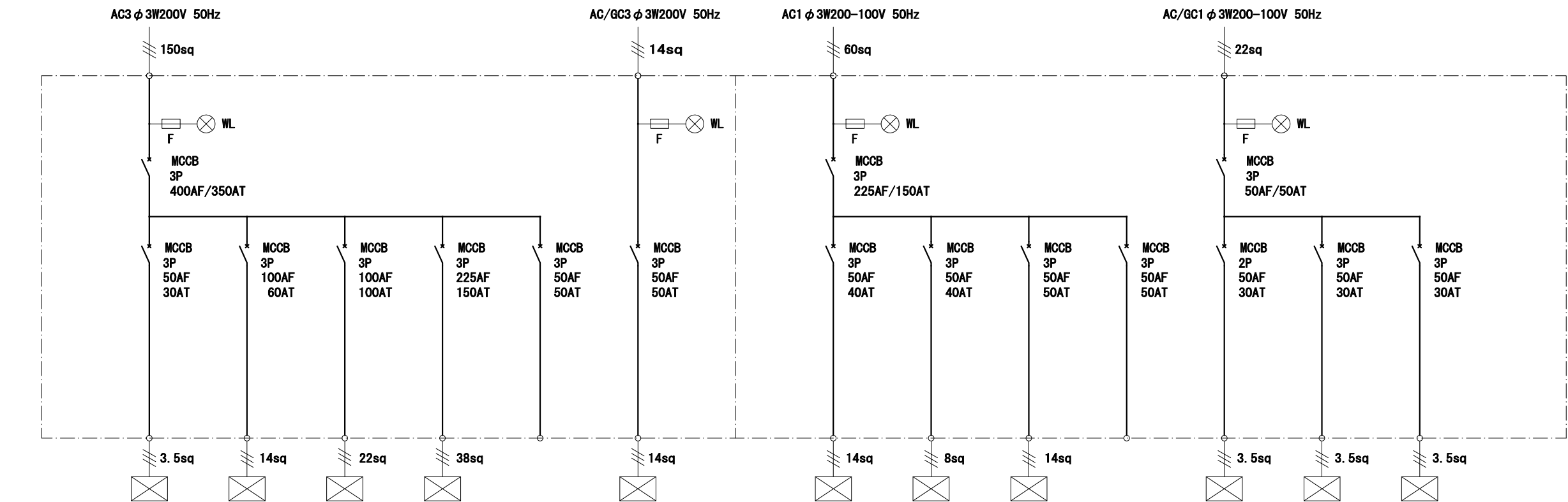
配線表

記号	盤名	配管配線		
(A)		EM-CET150sq	E22sq	AC3φ3W200V
		EM-CE14sq-3C		AC/GC3φ3W200V
		EM-CET60sq	(c' ヲト)	AC1φ3W200-105V
		EM-CET22sq		AC/GC1φ3W200-105V
	P2-2	EM-CE14sq-3C	E5.5sq	P-A2
(B)	P2-4	EM-CET38sq	E14sq	P-A4
	P1-2	EM-CE14sq-3C		P-G1
	L-B	EM-CE14sq-3C	(配線ダクト)	L-A1
	L-B	EM-CE3.5sq-2C		L-G1
	L-1	EM-CE8sq-3C		L-A2
	L-1	EM-CE3.5sq-3C		L-G2
(C)	P1-2	EM-CE14sq-3C	E5.5sq	P-G1
	L-B	EM-CE14sq-3C		L-A1
	L-B	EM-CE3.5sq-2C	(E63) × 2	L-G1
	L-1	EM-CE8sq-3C		L-A2
	L-1	EM-CE3.5sq-3C		L-G2
(D)	P1-2	EM-CE14sq-3C	E3.5sq (E31)	P-G1
	L-B	EM-CE14sq-3C	(E31)	L-A1
	L-B	EM-CE3.5sq-2C	(E25)	L-G1
(E)	L-1	EM-CE8sq-3C	E3.5sq (E31)	L-A2
	L-1	EM-CE3.5sq-3C	(E25)	L-G2
(F)	L-B	EM-CE14sq-3C	E3.5sq (E31)	L-A1
	L-B	EM-CE3.5sq-2C	(E25)	L-G1
(G)	P2-3	EM-CET22sq	E5.5sq (E51)	P-A3
	L-2	EM-CE14sq-3C	(E51)	L-A3
	L-2	EM-CE3.5sq-3C		L-G3
	P2-1	EM-CE3.5sq-3C	(E25)	P-A1
(H)	P2-3	EM-CET22sq	E5.5sq (E51)	P-A3
	L-2	EM-CE14sq-3C	(E51)	L-A3
	L-2	EM-CE3.5sq-3C		L-G3
(I)	L-2	EM-CE14sq-3C	E3.5sq (E31)	L-A3
	L-2	EM-CE3.5sq-3C	(E25)	L-G3
(J)	P2-3	EM-CET22sq	E5.5sq (E51)	P-A3



幹線系統図（改修）

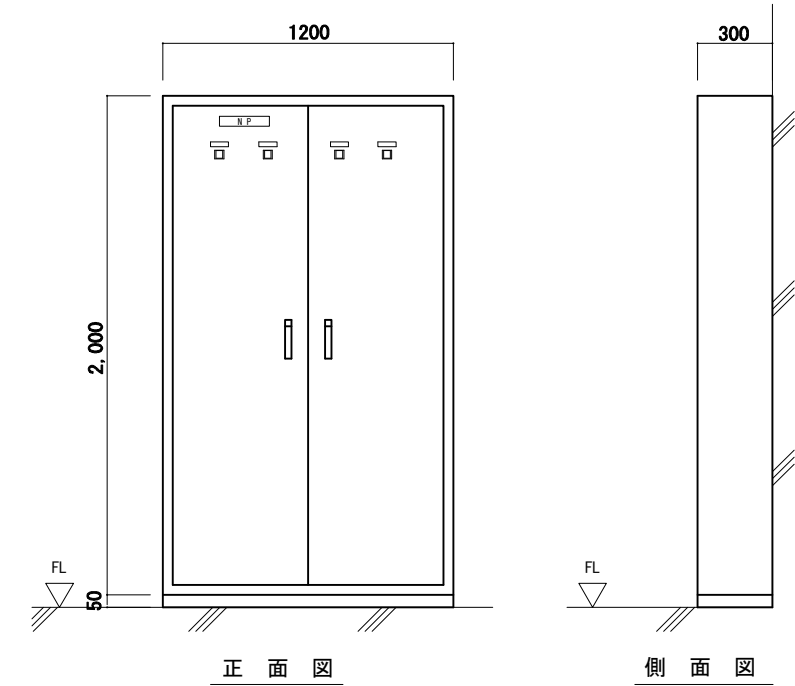
工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	幹線系統図（改修）		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	—	図面番号	AE-03
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		



負荷名称	動力制御盤 (電気室給排気ファン)	動力制御盤 (操作室AC)	動力制御盤 (会議室)	動力制御盤 (ｷｬﾊﾞｰ室動力)	予 備	動力制御盤 (ｷｬﾊﾞｰ室給排気ファン他)		電灯分電盤 (地下1階)	電灯分電盤 (1階)	電灯分電盤 (2階)	予 備	電灯分電盤 (地下1階)	電灯分電盤 (1階)	電灯分電盤 (2階)
幹線No	P-A1	P-A2	P-A3	P-A4		P-G1		L-A1	L-A2	L-A3		L-G1	L-G2	L-G3
盤名称	P2-1	P2-2	P2-3	P2-4		P1-2		L-B	L-1	L-2		L-B	L-1	L-2
負荷容量 (kW)	3.0	5.0	—	21.35		4.5		6.73	7.1	9.4		0.18	2.27	3.0

主開閉器盤 M

形式：V (自立型)



盤姿図 (参考)

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	主開閉器盤単線結線図 (改修)		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	—	図面番号	AE-04
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		

凡 例 (改修)

記 号	名 称	備 考
M	主開閉器盤	新設 盤単線結線図参照
	動力制御盤	既設
	電灯分電盤	〃
	配管配線 (露出配管)	新設
	ケーブル配線 (ピット内)	〃
	プルボックス (鋼製)	〃
	はつり補修 (壁・床貫通)	〃 レントゲン実施のこと
	配管配線	既設
PB	プルボックス	〃
No	幹線番号	

(注記)

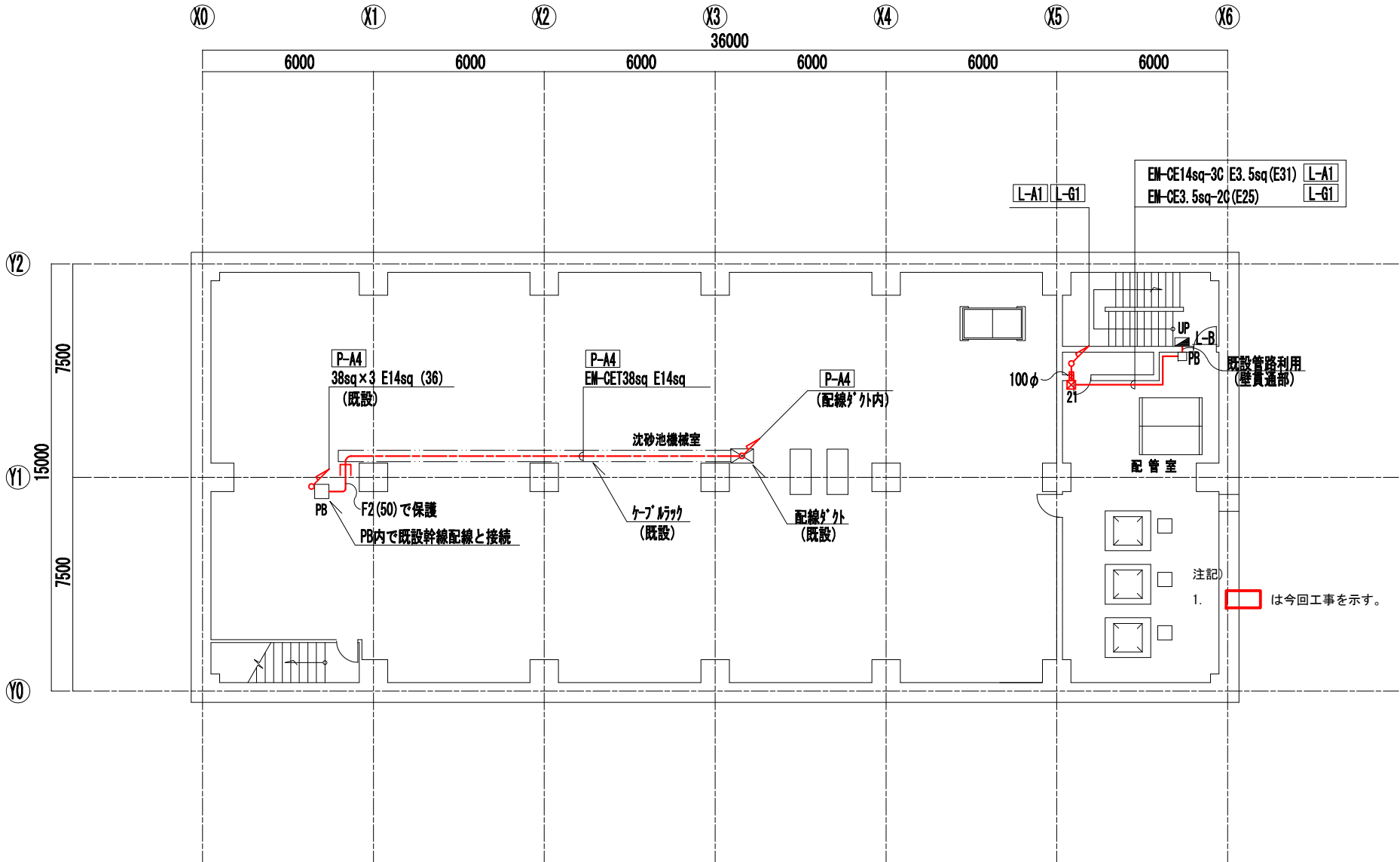
1. 特記なき配線は系統図 (改修) 参照
2. 特記なきプルボックスは下記による。

21

: 200×200×150

32

: 300×300×200



地下1階 平面図 [改修後]

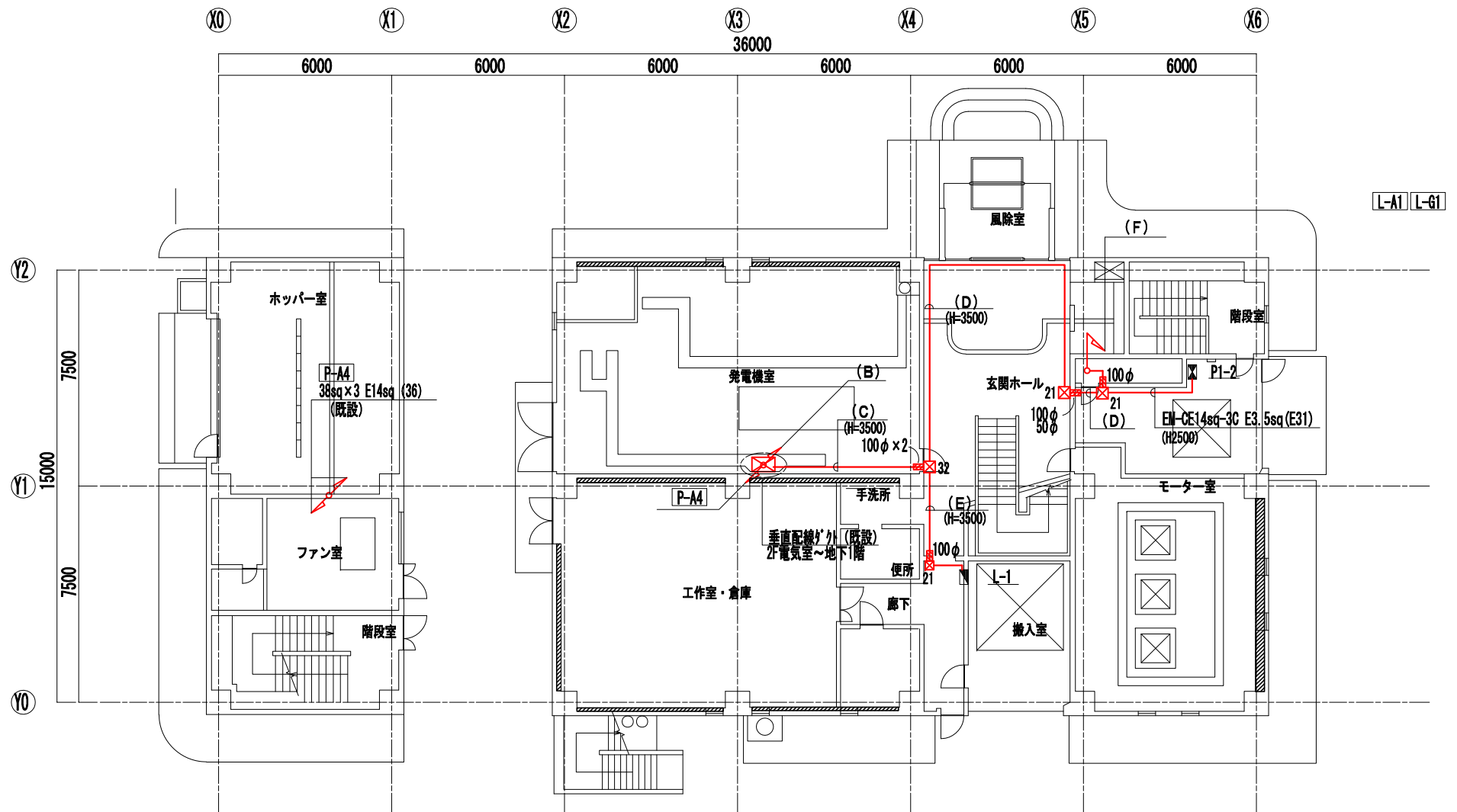
注記)

1. は今回工事を示す。

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	幹線設備地下1階平面図 (改修)		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	1/100	図面番号	AE-05
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		

配線表

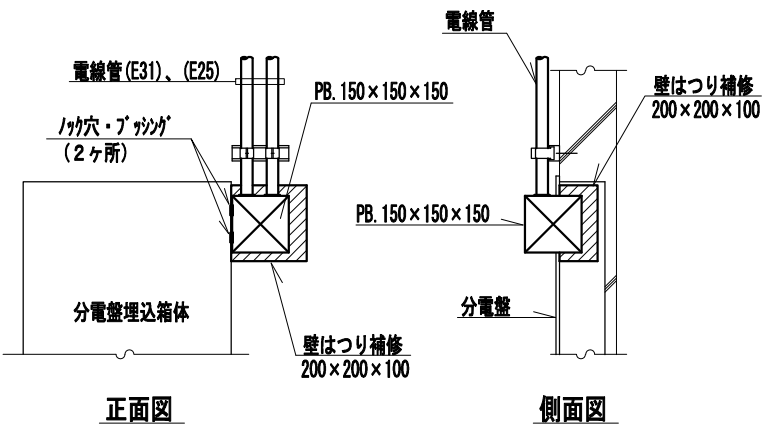
記号	盤名	配管配線		
(B)	P2-4	EM-CE138sq	E14sq	P-A4
	P1-2	EM-CE14sq-3C		P-G1
	L-B	EM-CE14sq-3C	(配線ダクト)	L-A1
	L-B	EM-CE3.5sq-2C		L-G1
	L-1	EM-CE8sq-3C		L-A2
	L-1	EM-CE3.5sq-3C		L-G2
(C)	P1-2	EM-CE14sq-3C	E5.5sq	P-G1
	L-B	EM-CE14sq-3C		L-A1
	L-B	EM-CE3.5sq-2C	(E63) × 2	L-G1
	L-1	EM-CE8sq-3C		L-A2
	L-1	EM-CE3.5sq-3C		L-G2
(D)	P1-2	EM-CE14sq-3C	E3.5sq (E31)	P-G1
	L-B	EM-CE14sq-3C	(E31)	L-A1
	L-B	EM-CE3.5sq-2C	(E25)	L-G1
(E)	L-1	EM-CE8sq-3C	E3.5sq (E31)	L-A2
	L-1	EM-CE3.5sq-3C	(E25)	L-G2
(F)	L-B	EM-CE14sq-3C	E3.5sq (E31)	L-A1
	L-B	EM-CE3.5sq-2C	(E25)	L-G1



1階 平面図 [改修後]

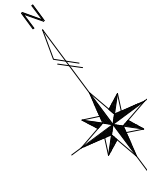
注記)

1. は今回工事を示す。
2. は耐震補強箇所を示す。



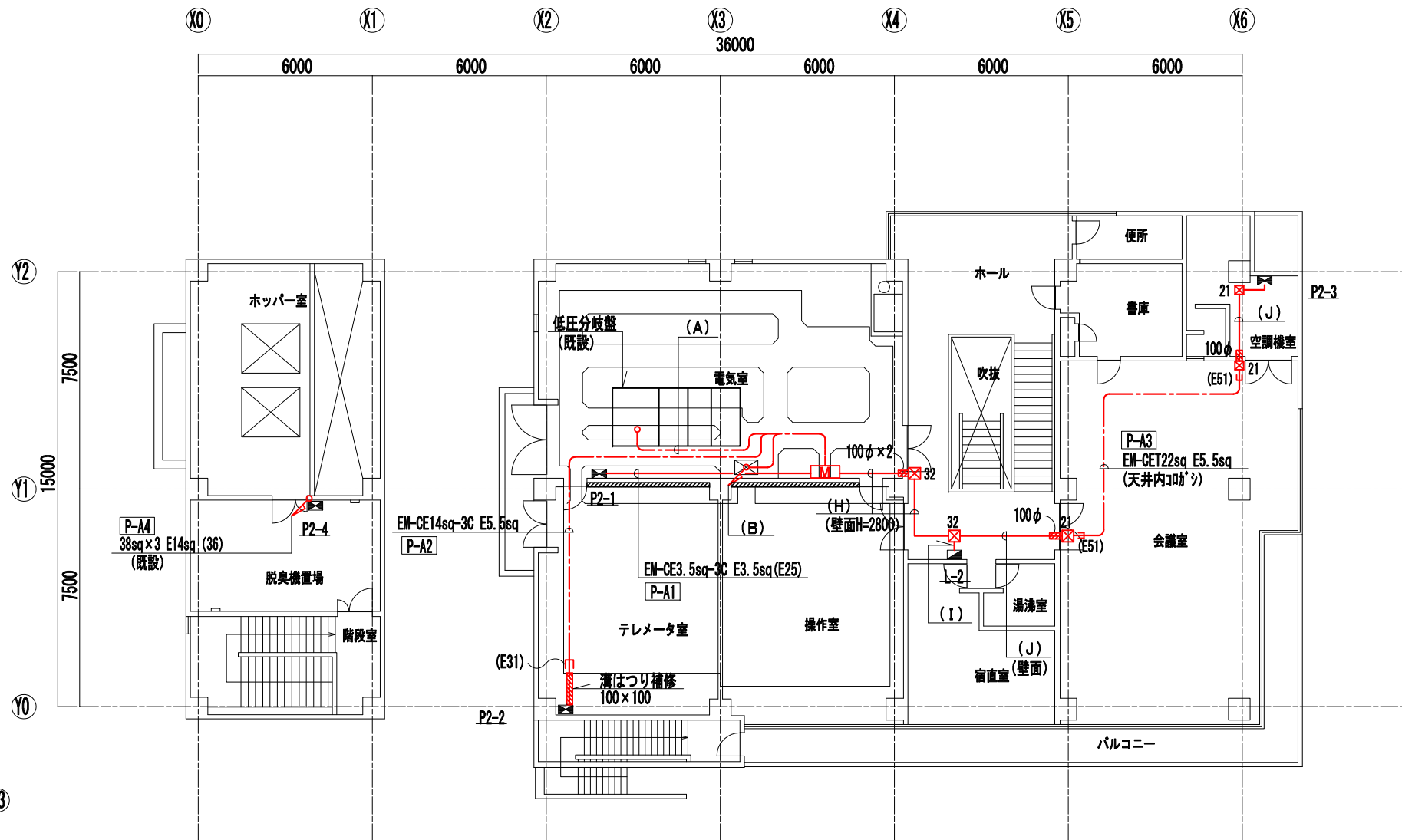
電灯分電盤 電線管接続図 (参考)

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	幹線設備1階平面図 (改修)		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	1/100	図面番号	AE-06
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		

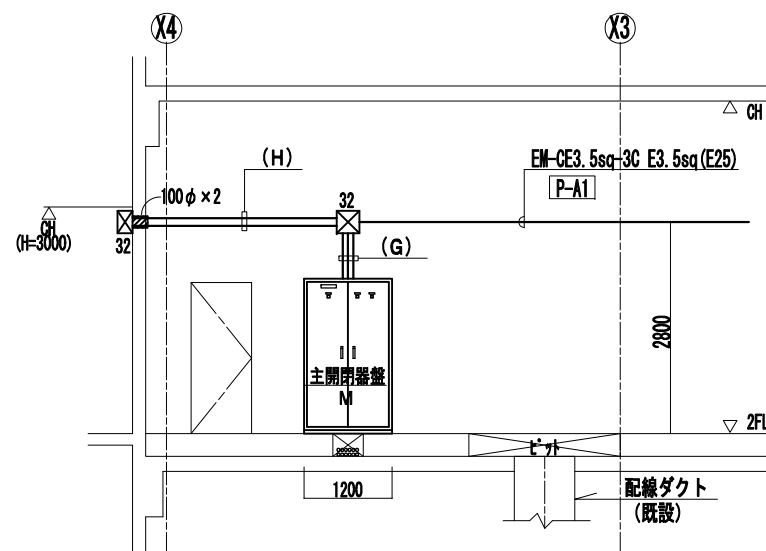


配線表

記号	盤名	配管配線	
(A)		EM-CET150sq E22sq	AC3 φ3W200V
		EM-CE14sq-3C	AC/GC3 φ3W200V
		EM-CET60sq	(ヒット) AC1 φ3W200-105V
		EM-CET22sq	AC/GC1 φ3W200-105V
(B)	P2-4	EM-CET38sq E14sq	P-A4
	P1-2	EM-CE14sq-3C	P-G1
	L-B	EM-CE14sq-3C	(配線ダクト) L-A1
	L-B	EM-CE3.5sq-2C	L-G1
	L-1	EM-CE8sq-3C	L-A2
	L-1	EM-CE3.5sq-3C	L-G2
(G)	P2-3	EM-CET22sq E5.5sq (E51)	P-A3
	L-2	EM-CE14sq-3C	(E51) L-A3
	L-2	EM-CE3.5sq-3C	L-G3
(H)	P2-1	EM-CE3.5sq-3C (E25)	P-A1
	P2-3	EM-CET22sq E5.5sq (E51)	P-A3
	L-2	EM-CE14sq-3C	(E51) L-A3
(I)	L-2	EM-CE3.5sq-3C	L-G3
	L-2	EM-CE14sq-3C E3.5sq (E31)	L-A3
(J)	L-2	EM-CE3.5sq-3C (E25)	L-G3
	P2-3	EM-CET22sq E5.5sq (E51)	P-A3



2階 平面図 [改修後] (1/100)



主開閉器盤 正面図 (1/50)

注記)

1. は今回工事を示す。
2. は耐震補強箇所を示す。

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	幹線設備2階平面図 (改修)		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	図示	図面番号	AE-07
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		

凡 例（撤去）

記 号	名 称	備 考
	主開閉器盤	撤去
	動力制御盤	残置
	電灯分電盤	〃
	配管配線（埋込配管）	撤去
	ケーブル配線	〃
	ブルボックス	〃
	配管配線	残置
	ブルボックス	〃
	幹線番号	

（注記）

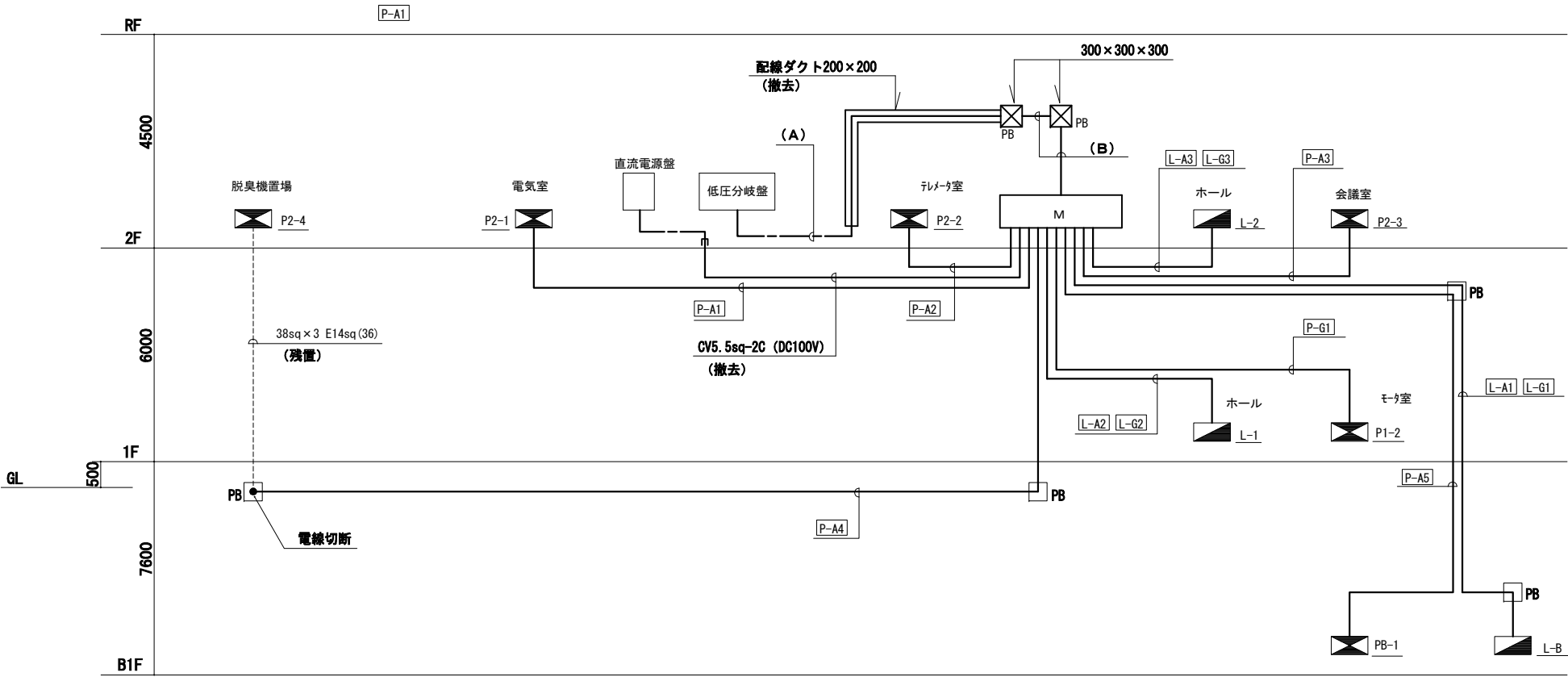
1. 撤去記載のない電線管はすべて残置とする。

撤去幹線表

幹線No	負 荷 名	配管配線		備 考
P-A1	P2-1	2.0×3 E2.0	（管内）配線撤去	
P-A2	P2-2	50sq×3 E14sq	（管内）〃	
P-A3	P2-3	50sq×3 E14sq	（管内）〃	
P-A4	P2-4	38sq×3 E14sq	（管内）〃	
P-A5	PB-1	8sq×3 E2.0	（管内）〃	
P-G1	P1-2	2.0×3 E2.0	（管内）〃	
L-A1	L-B	8sq×3	（管内）〃	
L-G1		2.0×2	（管内）〃	
L-A2	L-1	8sq×3	（管内）〃	
L-G2		2.0×3	（管内）〃	
L-A3	L-2	14sq×3	（管内）〃	
L-G3		2.0×3	（管内）〃	

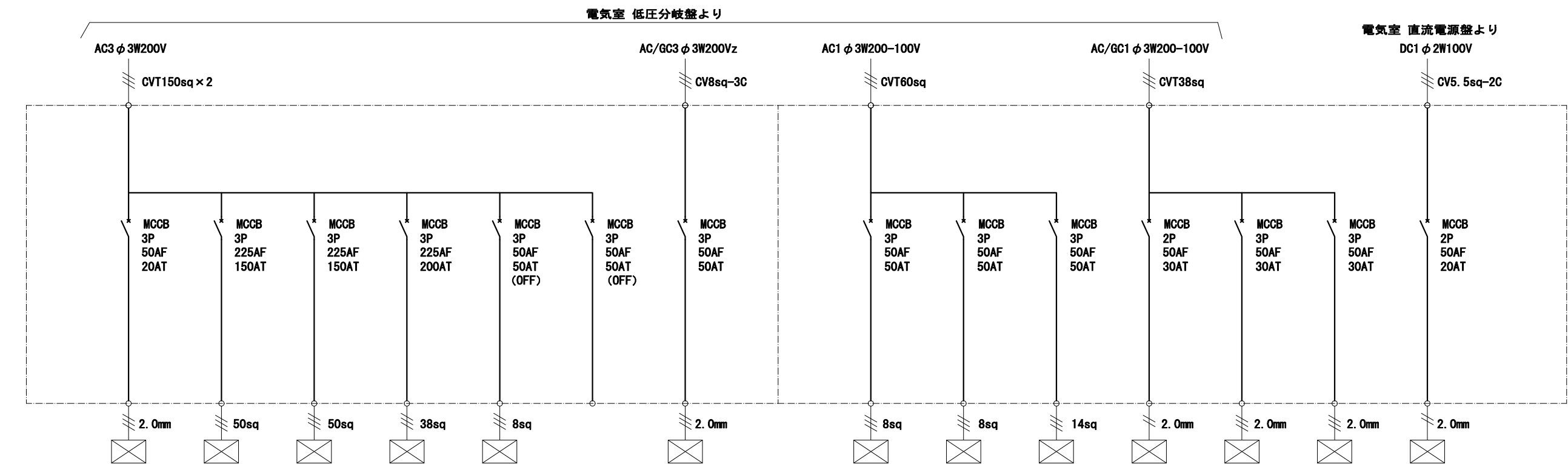
撤去配線表（主開閉器盤一次側電源）

ケーブル	区 間	区間管路	
		（A）	（B）
CVT150sq×2	（撤去）	AC3φ3W200V	ビッド内 ダクト内 （ダクト外撤去）
CV 8sq-3C	（ 〃 ）	AC/GC3φ3W200V	
CVT 60sq	（ 〃 ）	AC1φ3W200-105V	
CVT 38sq	（ 〃 ）	AC/GC1φ3W200-105V	



幹線系統図（撤去）

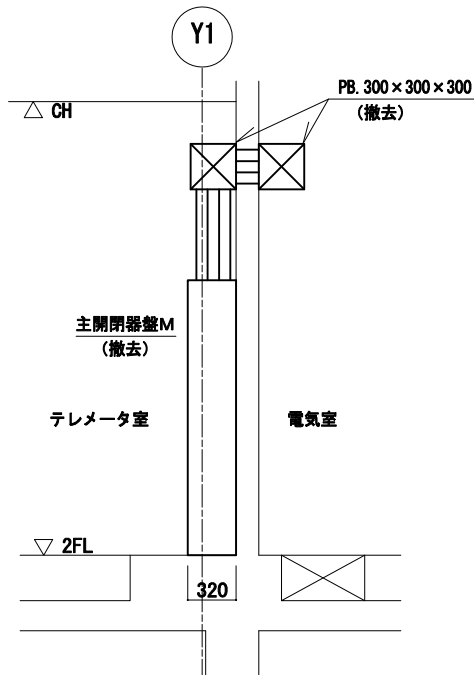
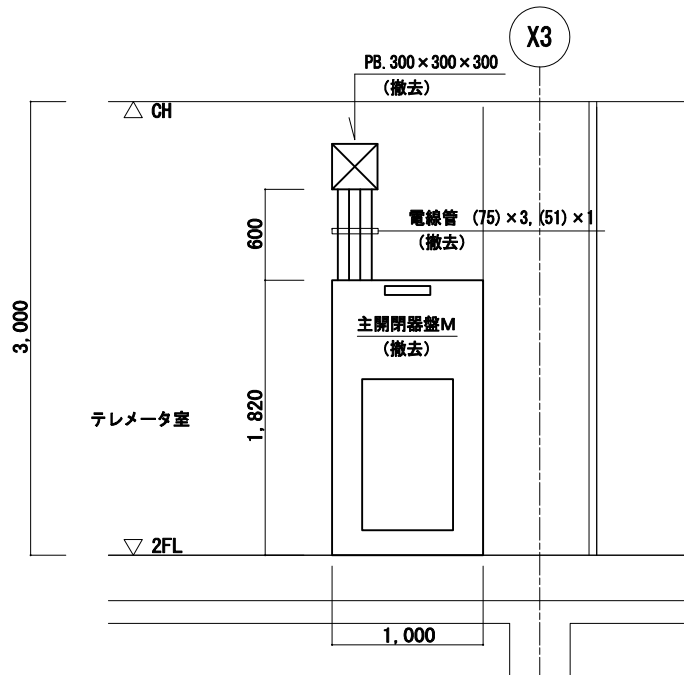
工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	幹線系統図（撤去）		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	—	図面番号	AE-08
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		



負荷名称	動力制御盤 (電気室給排気ファン)	動力制御盤 (操作室AC)	動力制御盤 (会議室AC)	動力制御盤 (ホッパ-室動力)	動力制御盤 (揚水ポンプ)	予 備	動力制御盤 (ポンプ室給排気ファン他)
盤名称	P2-1	P2-2	P2-3	P2-4	PB-1		P1-2
負荷容量 (kW)	3.0	5.0	19.2	21.35	5.2		5.3
			(空調機未使用)	(揚水ポンプ 未使用)			

負荷名称	電灯分電盤 (地下1階)	電灯分電盤 (1階)	電灯分電盤 (2階)	電灯分電盤 (地下1階)	電灯分電盤 (1階)	電灯分電盤 (2階)	電灯DC回路
記 号	L-B	L-1	L-2	L-B	L-1	L-2	
負荷容量 (kVA)	6.73	7.1	9.4	0.18	2.27	3.0	

主開閉器盤 M
(撤去)



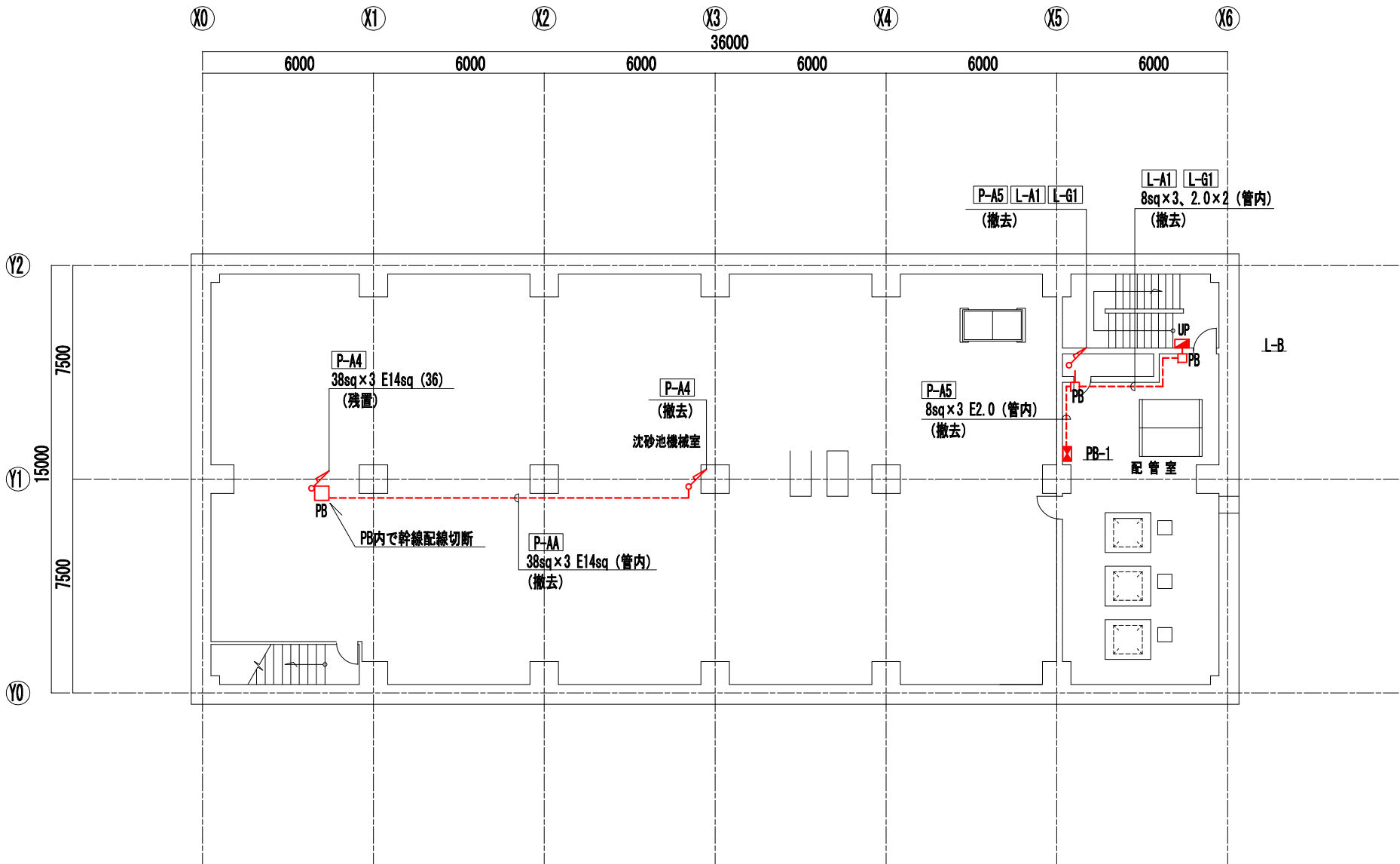
工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	主開閉器盤結線図 (撤去)		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	図示	図面番号	AE-09
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		

凡 例（撤去）

記 号	名 称	備 考
M	主開閉器盤	撤去
	動力制御盤	残置
	電灯分電盤	〃
	配管配線（埋込配管）	撤去
	配管配線（露出配管）	
	ケーブル配線	〃
	プルボックス	〃
	配管配線	残置
PB	プルボックス	〃
No	幹線番号	

（注記）

1. 特記なき撤去配線は系統図（撤去）参照
2. 撤去記載のない電線管はすべて残置とする。

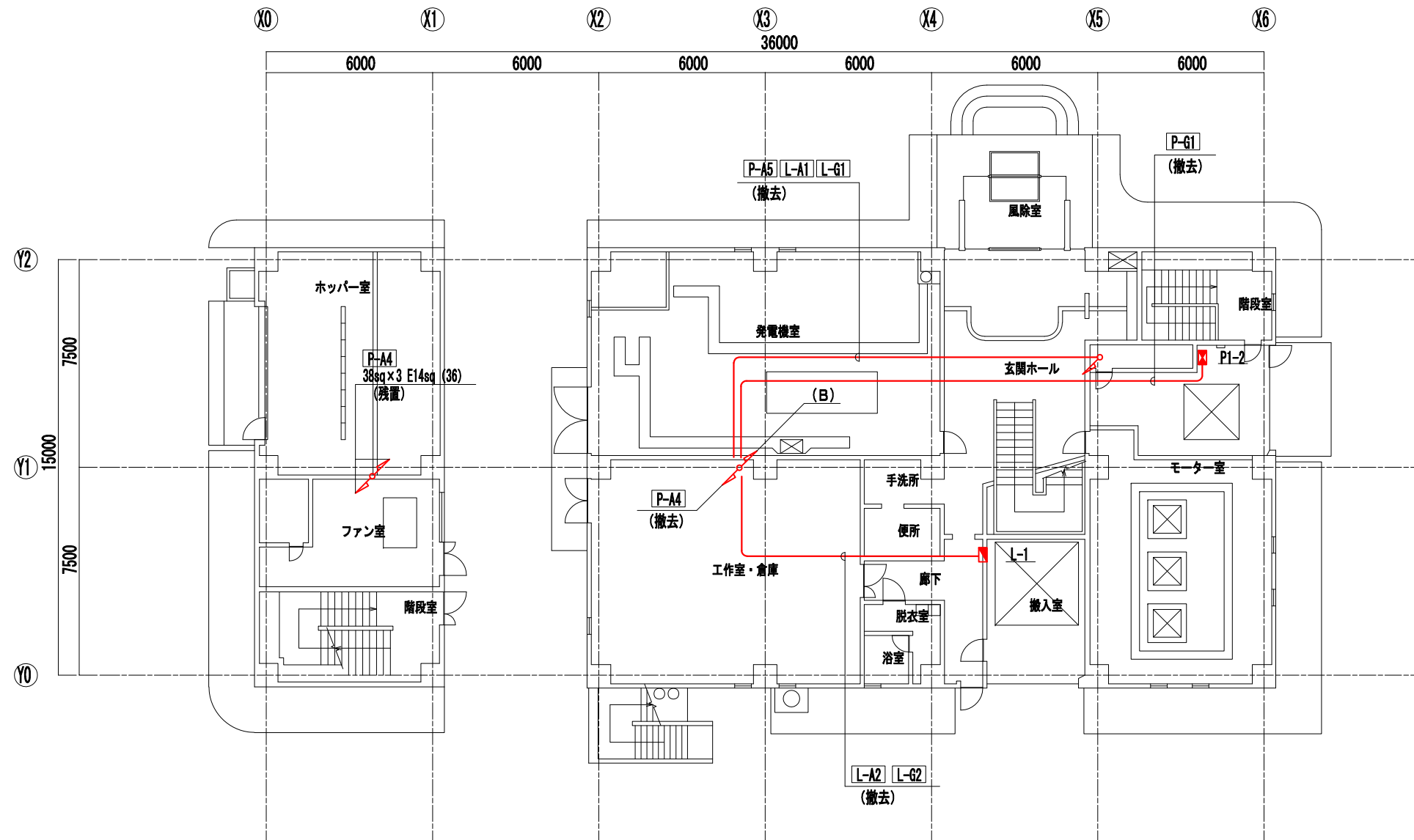
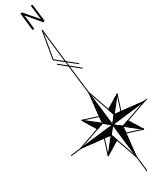


地下1階 平面図〔改修前〕

注記）

1. は今回工事を示す。

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	幹線設備地下1階平面図（撤去）		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	1/100	図面番号	AE-10
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		



1階 平面図 [改修前]

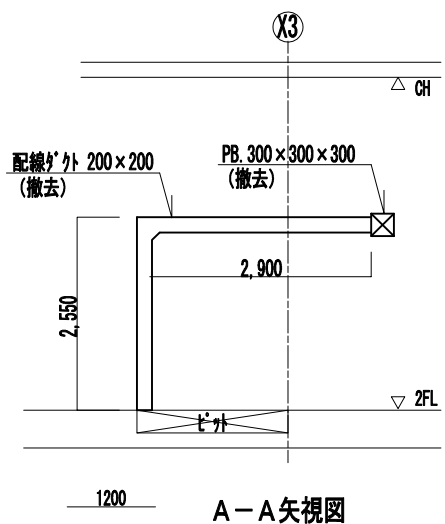
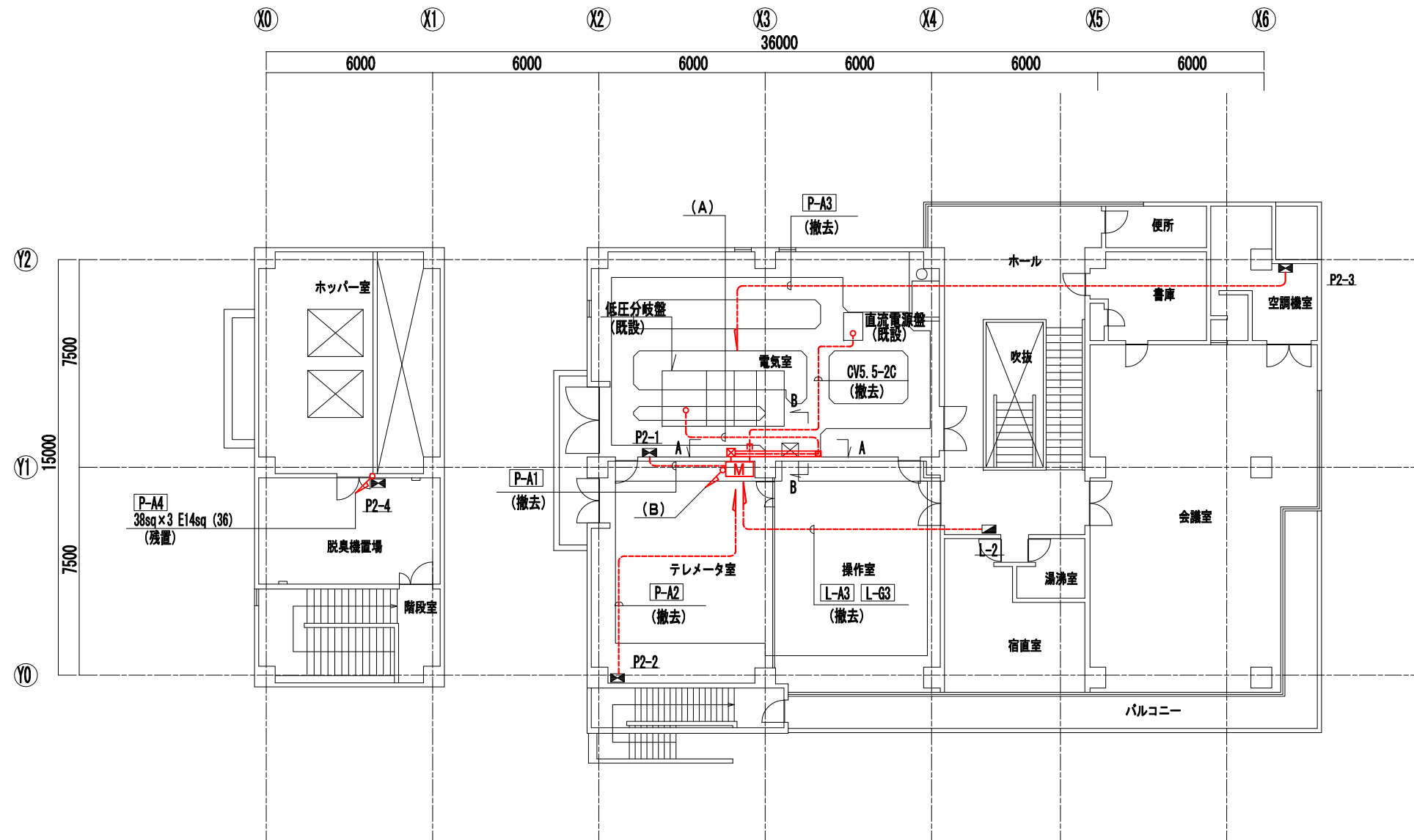
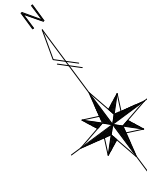
撤去配線表

記号	盤名	配 線
(B)	P2-4	38sq x 3 E14sq (管内) P-A4
	PB-1	8sq x 3 E2.0 (管内) P-A5
	P1-2	2.0 x 3 E2.0 (管内) P-G1
	L-B	8sq x 3, 2.0 x 2 (管内) L-A1 L-G1
	L-1	8sq x 3, 2.0 x 3 (管内) L-A2 L-G2

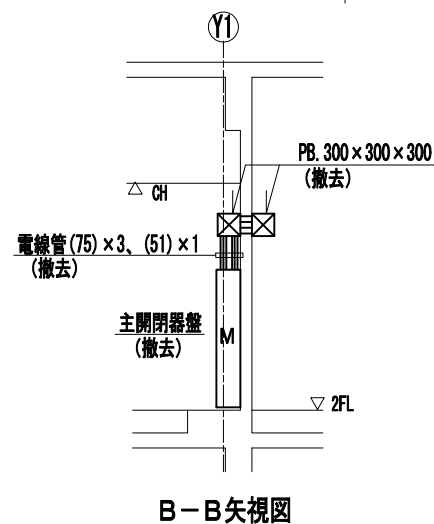
注記)

1. は今回工事を示す。

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	幹線設備1階平面図 (撤去)		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	1/100	図面番号	AE-11
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		



A-A矢視図



B-B矢視図

2階 平面図 [改修前] (1/100)

撤去配線表

記号	電源種別	配線
(A)	AC3 φ3W200V	CVT150sq x 2 (ビッド、配線ダクト、管内)
	AC/GC3 φ3W200V	CV 8sq-3C (")
	AC1 φ3W200-105V	CVT 60sq (")
	AC/GC1 φ3W200-105V	CVT 38sq (")

注記)

1. は今回工事を示す。

撤去詳細図 (1/50)

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	幹線設備2階平面図 (撤去)		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	図示	図面番号	AE-12
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		

凡 例 (改修)

記 号	名 称	摘 要
⊙★	水銀灯 HF200W 安定器共	再使用
○★	蛍光灯 FL40W×1 壁付	〃
□	手元開閉器	新設
⊙	LEDダウンライト	〃 LRS1-08 LN
●	埋込スイッチ 1P15A	〃 新金プレート
●L	埋込PLスイッチ 1P4A	〃 〃
●F	埋込浴室換気用スイッチ 5～50W	〃 〃 30分・15分
Ⓛ2	埋込コンセント 2P15A×2	〃 〃
Ⓛ2E	埋込コンセント 2P15AE×2	〃 〃
ⓁE	埋込コンセント 2P15AE×1 250V	〃 〃 プラグ共
ELB	ELB付コンセント ELB2P1E15A	〃 ケーブル (防雨型 抜止コンセント付)
★	有圧扇 350φ 1φ200V 80W	再使用
—	配管配線 (露出配管)	新設
---	ケーブル配線 (いんべい)	〃
—	ケーブル配線 (メタル)	〃 M: A型、MB: B型
⊠	プルボックス	〃
○	露出丸ボックス	〃
□	アウトレットボックス	〃 天井内いんべい
⊥ ED	接地極 ED	〃 接地銅棒 L=1500×1本
▨	躯体貫通はつり補修	〃 ▲: 耐震壁新設部
電灯分電盤	電灯分電盤	既設
⊙	水銀灯 HF200W	〃
○	蛍光灯 FL40W×1	〃
○	蛍光灯 FL20W×2	〃
扇	天井換気扇	〃
—	配管配線 (埋込配管)	〃
□	位置ボックス	〃 アウトレットボックス
NO	回路番号 (1φ200V)	AC回路: 1～ GC回路: A～
NO	回路番号 (1φ100V)	〃 〃

(注記)

1. 特記なき配管配線は下記による。

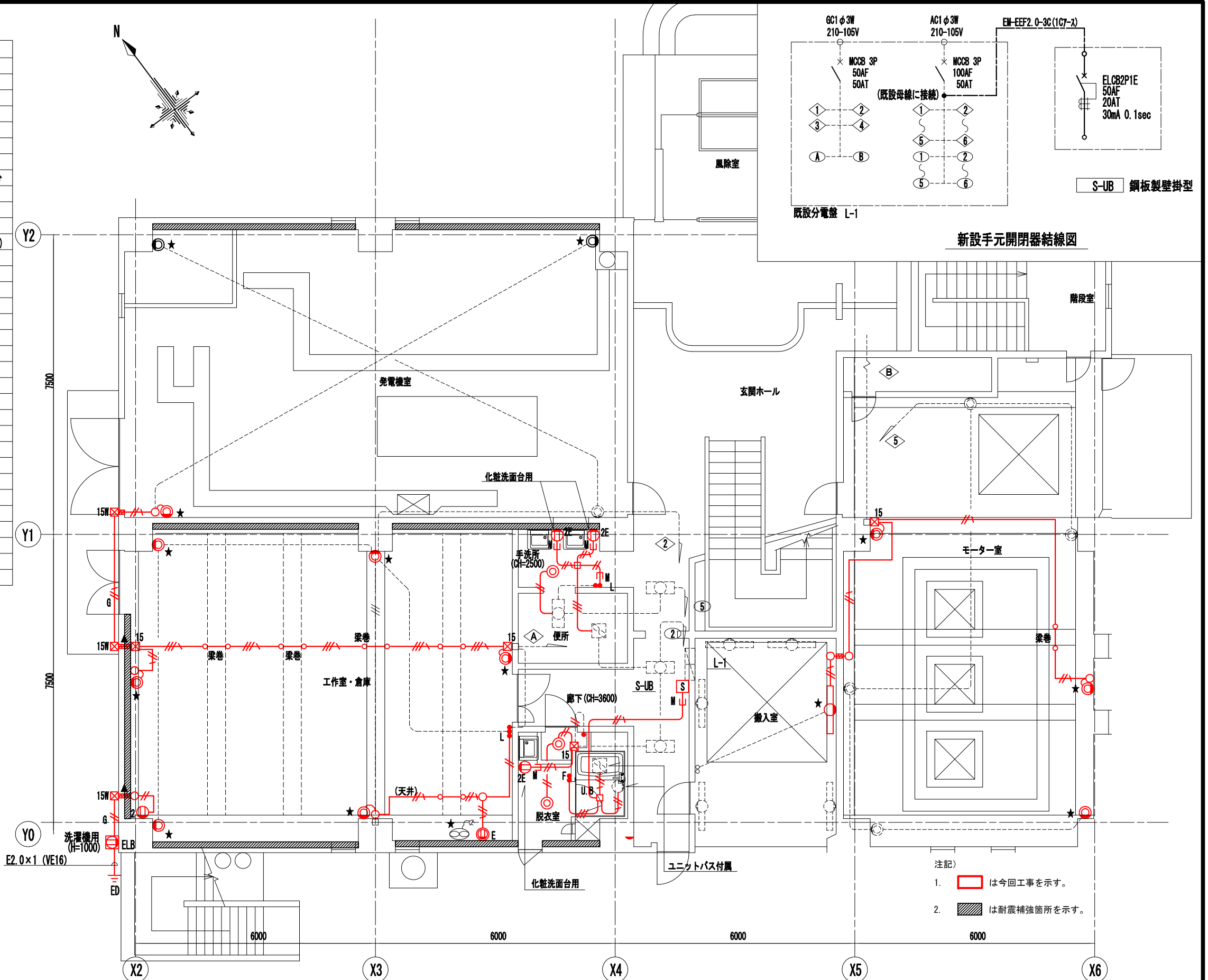
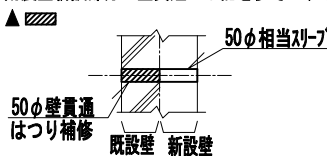
—	EM-IE2.0×2	(E19)
—	EM-IE2.0×2 E2.0	(E19)
—	EM-IE2.0×3 E2.0	(E25)
—	EM-IE2.0×2	(G16)
—	EM-IE2.0×2 E2.0	(G16)
---	EM-IE2.0×2	(既設管路)

—	EM-EEF2.0-2C	
—	EM-EEF2.0-3C	
—	EM-EEF2.0-3C (1C7-ス)	
—	EM-EEF2.0-3C (1C7-ス) 保護部 (E25)	
—	EM-EEF2.0-2C 立下げ部 (MM-A)	
—	EM-EEF2.0-3C 立下げ部 (MM-A)	
—	EM-EEF2.0-3C (1C7-ス) 立下げ部 (MM-A)	
—	EM-EEF2.0-2C (MM-A型)	
—	EM-EEF2.0-3C (1C7-ス) (MM-A型)	

2. 特記なきプルボックスのサイズは下記による。

⊠15	: 150×150×100
⊠15W	: 150×150×100 (防水型: 溶融亜鉛メッキ仕上)

3. 耐震壁新設部分の壁貫通は下記を参考とする。

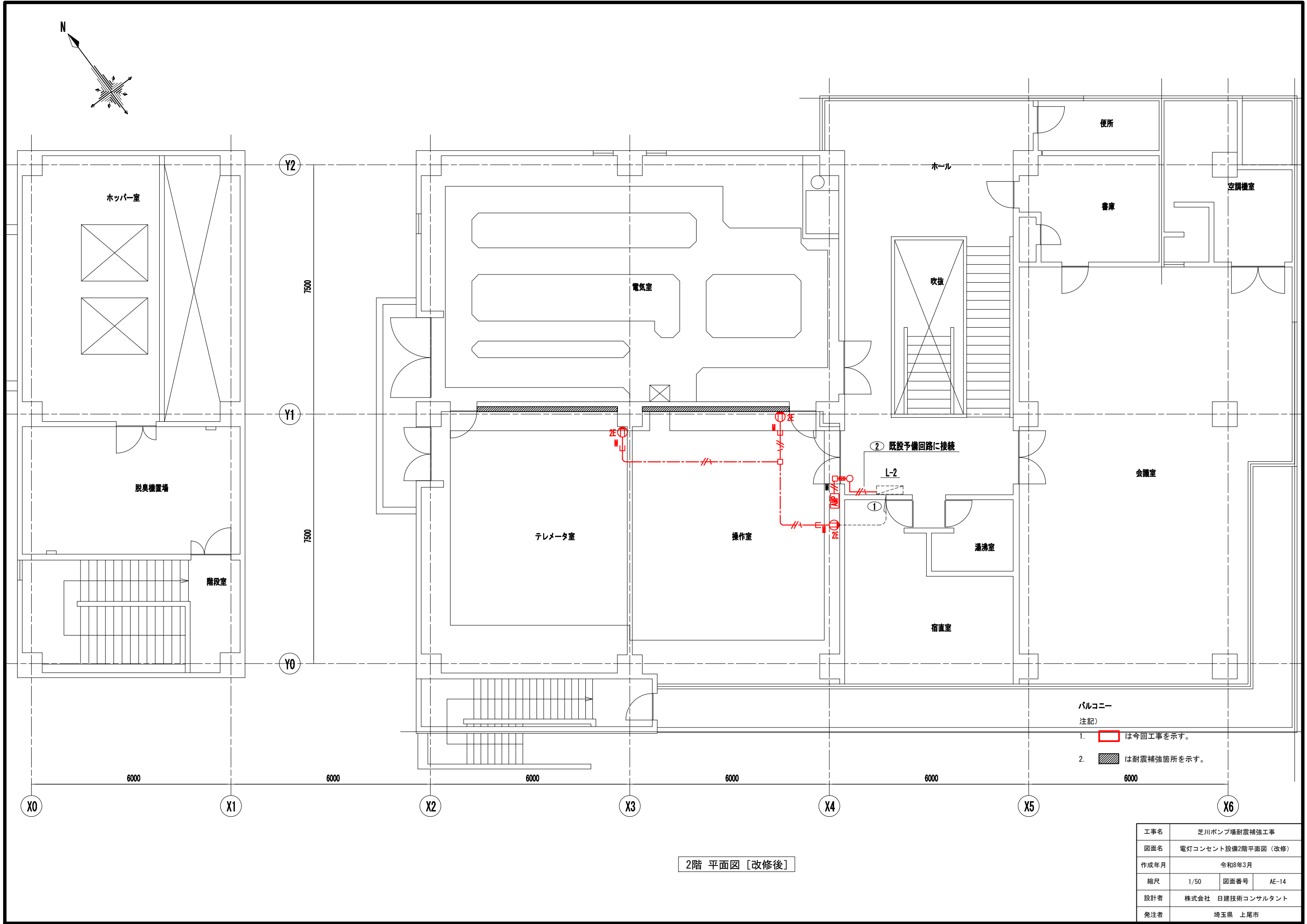


注記)

1. は今回工事を示す。
2. は耐震補強箇所を示す。

1階 平面図 [改修後]

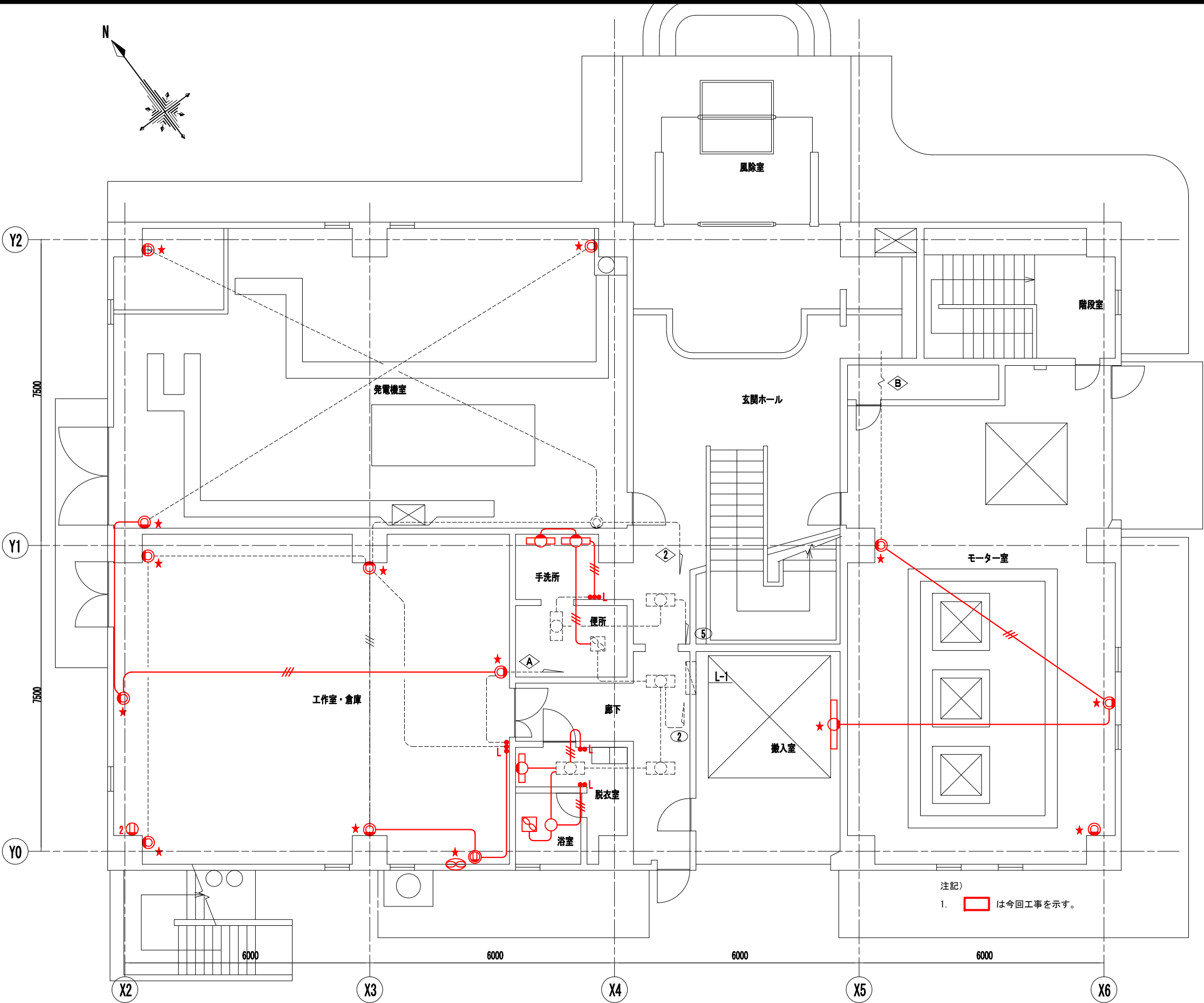
工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	電灯コンセント設備1階平面図 (改修)		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	1/50	図面番号	AE-13
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		



凡 例 (撤去)

記 号	名 称	摘 要	
○★	水銀灯 HF200W 安定器共	撤去	再使用
□★	蛍光灯 FL20W×1 壁付	〃	〃
□★	蛍光灯 FL40W×1 壁付	〃	〃
□★	蛍光灯 FL20W×1 壁付	〃	〃
○	白熱灯 1L60W×1 直付	〃	
●	埋込スイッチ 1P15A	〃	
●L	埋込スイッチ 1P4A	〃	
②	埋込コンセント 2P15A×2	〃	
③	埋込コンセント 2P15AE×1 250V	〃	
③	露出コンセント 2P15A×3	〃	
○★	有圧扇 350φ 1φ200V 80W	〃	再使用
—	配管配線 (埋込配管)	撤去	配線撤去
- - -	配管配線 (床埋込配管)	〃	〃
□	電灯分電盤	既設	
○	水銀灯 HF200W	〃	
□	蛍光灯 FL40W×1	〃	
□	蛍光灯 FL20W×2	〃	
□	天井換気扇	〃	
- - -	配管配線 (埋込配管)	〃	
◇	回路番号 (1φ200V)		AC回路:1~ GC回路:A~
◇	回路番号 (1φ100V)		〃 〃

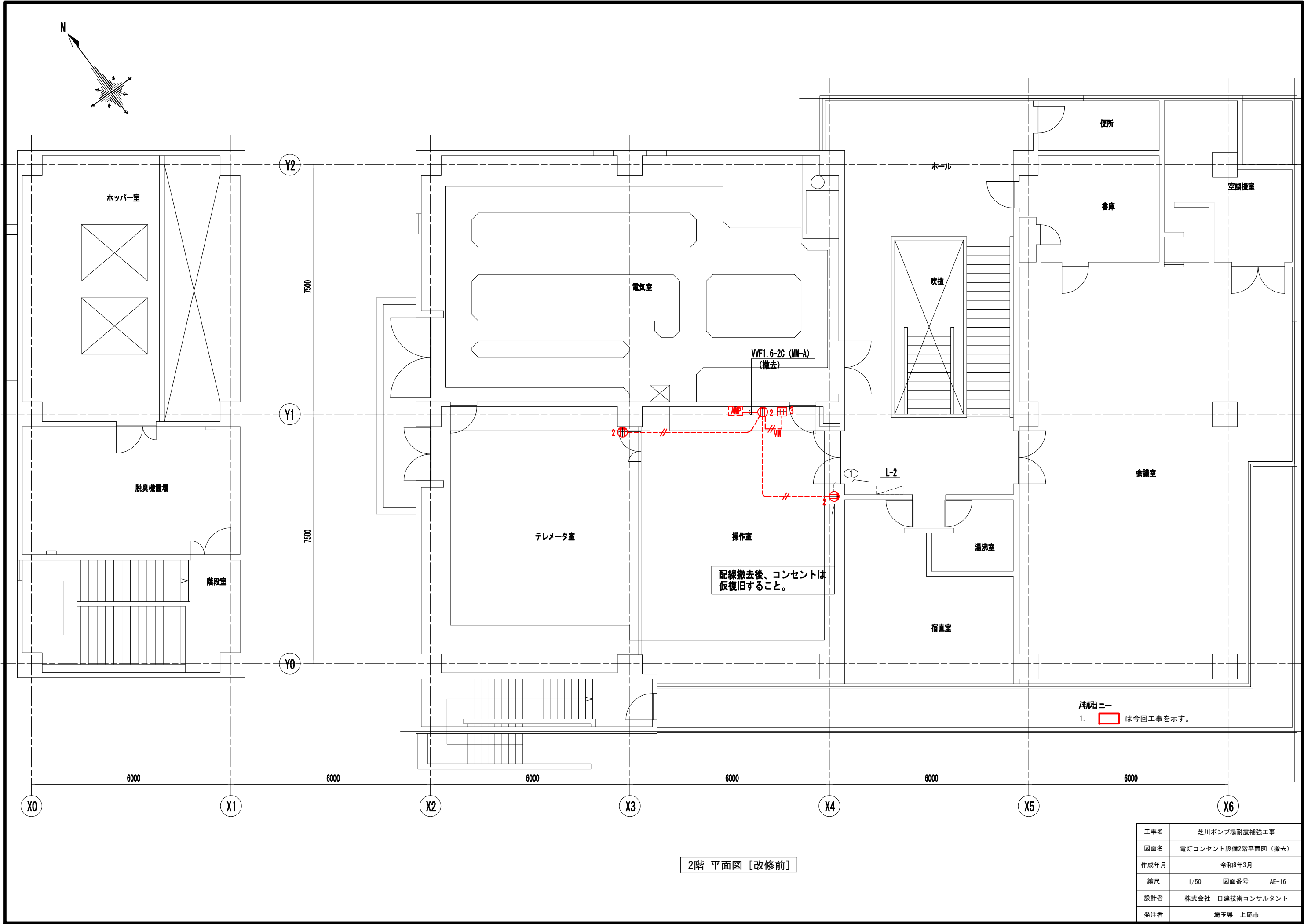
- (注記)
1. 特記なき撤去配線は下記による。
- //— IV2.0×2 (管内)
- ///— IV2.0×3 (管内)
- V///— VVF2.0-2C (ビニル)



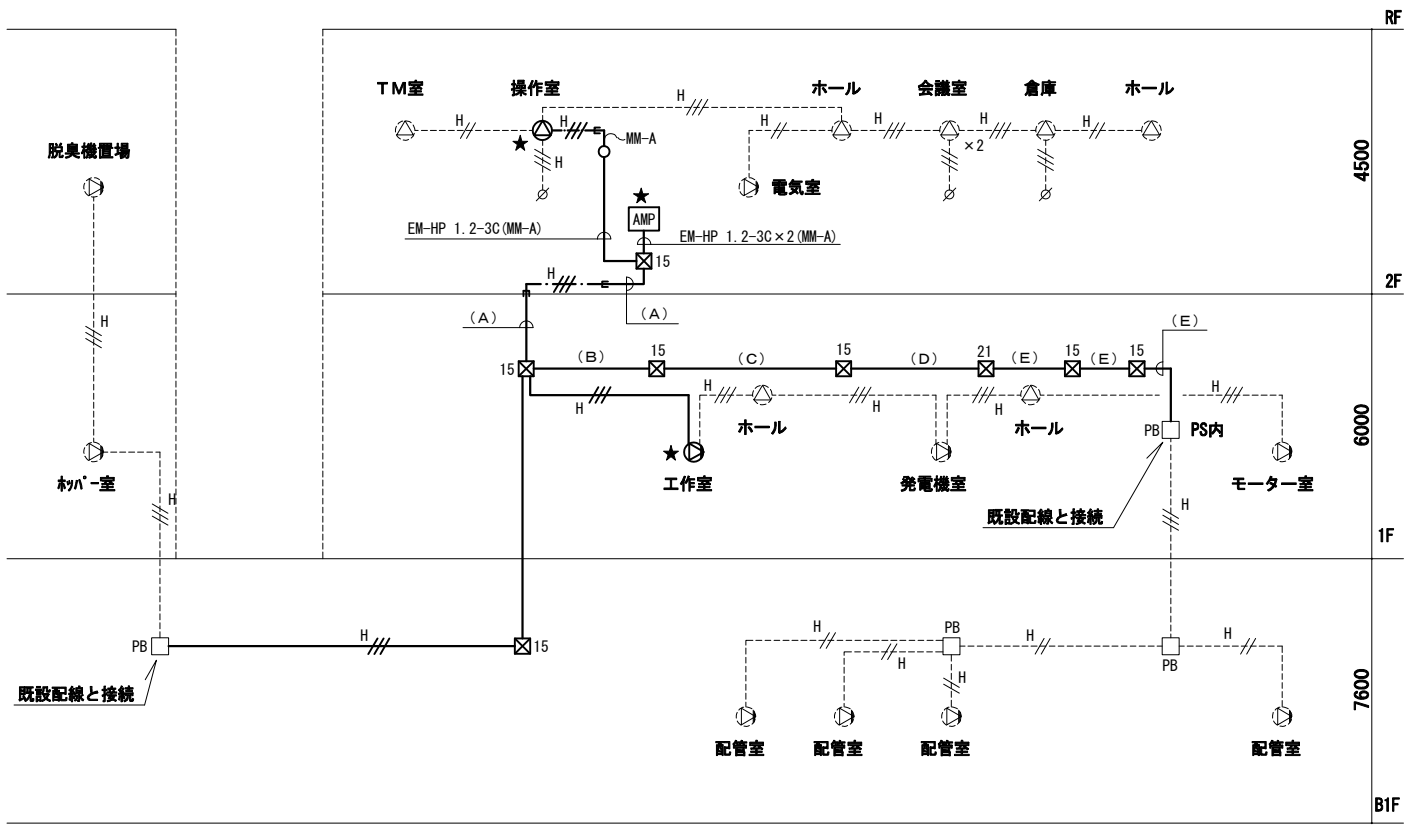
注記)
1. は今回工事を示す。

1階 平面図 [改修前]

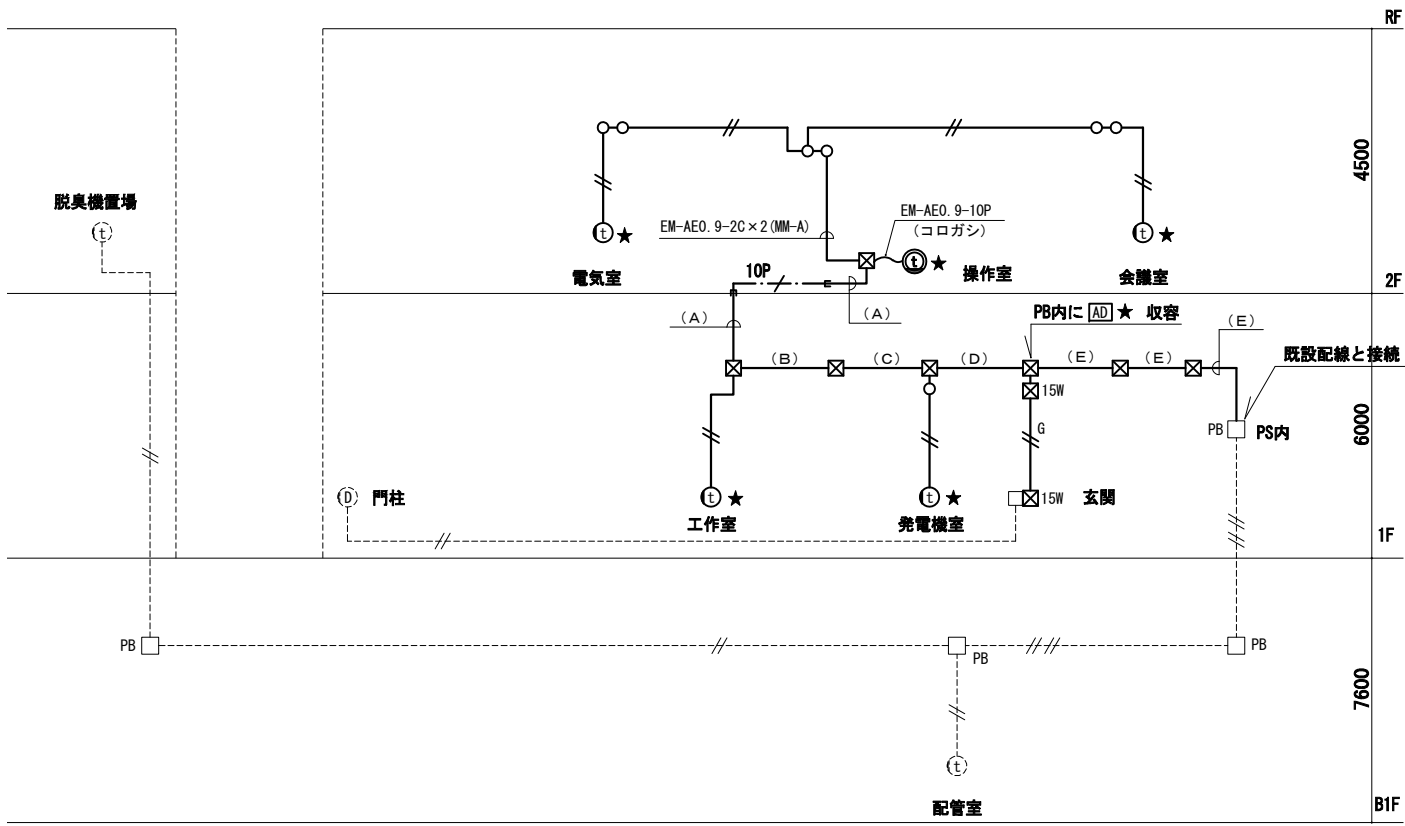
工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	電灯コンセント設備1階平面図 (撤去)		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	1/50	図面番号	AE-15
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		



工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	電灯コンセント設備2階平面図（撤去）		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	1/50	図面番号	AE-16
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		



放送設備設備系統図 (改修)



インターホン設備系統図 (改修)

凡 例 (改修)				
記 号	名 称		摘 要	
AMP ★	業務・非常放送アンプ	10局	再使用	
★	ホーン型スピーカー	10W	〃	
★	天井埋込スピーカー	3W	〃	
① ★	インターホン親機	10局	再使用	卓上型 (アイホン TC-10W)
② ★	インターホン子機		〃	
AD ★	玄関子機アダプタ		〃	
MDF ★	MDF 壁掛露出型		〃	
———	配管配線 (露出配管)		新設	
-----	配管配線 (いんべい配管)		〃	
-----	配管配線 (床埋込配管)		〃	
-----	ケーブル配線 (ピット内)		〃	
MM-A	メタルモール A型		〃	
☒	プルボックス (鋼製)		〃	W: 防水型
▨	はつり補修 (壁・床貫通)		〃	
○	露出ボックス		〃	
⊙	トランスミッター	10W	既設	
⊙	天井埋込スピーカー	3W	〃	
∅	アッテネータ		〃	
③	インターホン子機		〃	
④	インターホン玄関子機		〃	
-----	配管配線			
☐ PB	プルボックス		〃	

(注記)

1. 特記なき配管配線は下記による。

- EM-AE 0.9-2C (E19)
- EM-AE 0.9-2C (G16)
- EM-AE 0.9-10P (コロガシ)
- EM-HP 1.2-3C (E19)
- EM-HP 1.2-3C (コロガシ)

2. 特記なきプルボックスは下記による。

- ☒ 15 : 150×150×100
- ☒ 15W : 150×150×100 (溶融垂鉛メッキ仕上)
- ☒ 21 : 200×200×150

配線表

記号	配 管 配 線	
(A)	EM-AE0.9-10P EM-HP1.2-3C	(E31) インターホン 放送
(B)	EM-AE0.9-2C ×4 EM-HP1.2-3C	(PF28) インターホン 放送
(C)	EM-AE0.9-2C ×4 EM-HP1.2-3C	(E31) インターホン 放送
(D)	EM-AE0.9-2C ×3 EM-HP1.2-3C	(E31) インターホン 放送
(E)	EM-AE0.9-2C ×2 EM-HP1.2-3C	(E25) インターホン 放送

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	弱電設備系統図 (改修)		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	—	図面番号	AE-17
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		

凡 例 (改修)

記 号	名 称	摘 要
AMP★	業務・非常放送アンプ 10局	再使用
①★	ホーン型スピーカー 10W	〃
②★	天井埋込スピーカー 3W	〃
①★		
①★	インターホン親機 10局	再使用 卓上型
①★	インターホン子機	〃
ADJ★	玄関子機アダプタ	〃
MDF★	MDF 壁掛露出型	〃
①★	定温式スポット型検知器	〃 防水型
———	配管配線 (露出配管)	新設
-----	配管配線 (いんべい配管)	〃
-----	配管配線 (床埋込配管)	〃
-----	ケーブル配線 (ビッド内)	〃
MM-A	メタルモール A型	〃
☒	プルボックス (鋼製)	〃 W: 防水型
▨	はつり補修 (壁・床貫通)	〃
○	露出ボックス	〃
①	トランススピーカー 10W	既設
②	天井埋込スピーカー 3W	〃
∅	アッテネータ	〃
①	インターホン子機	〃
①	インターホン玄関子機	〃
-----	配管配線	既設
□ PB	プルボックス	〃

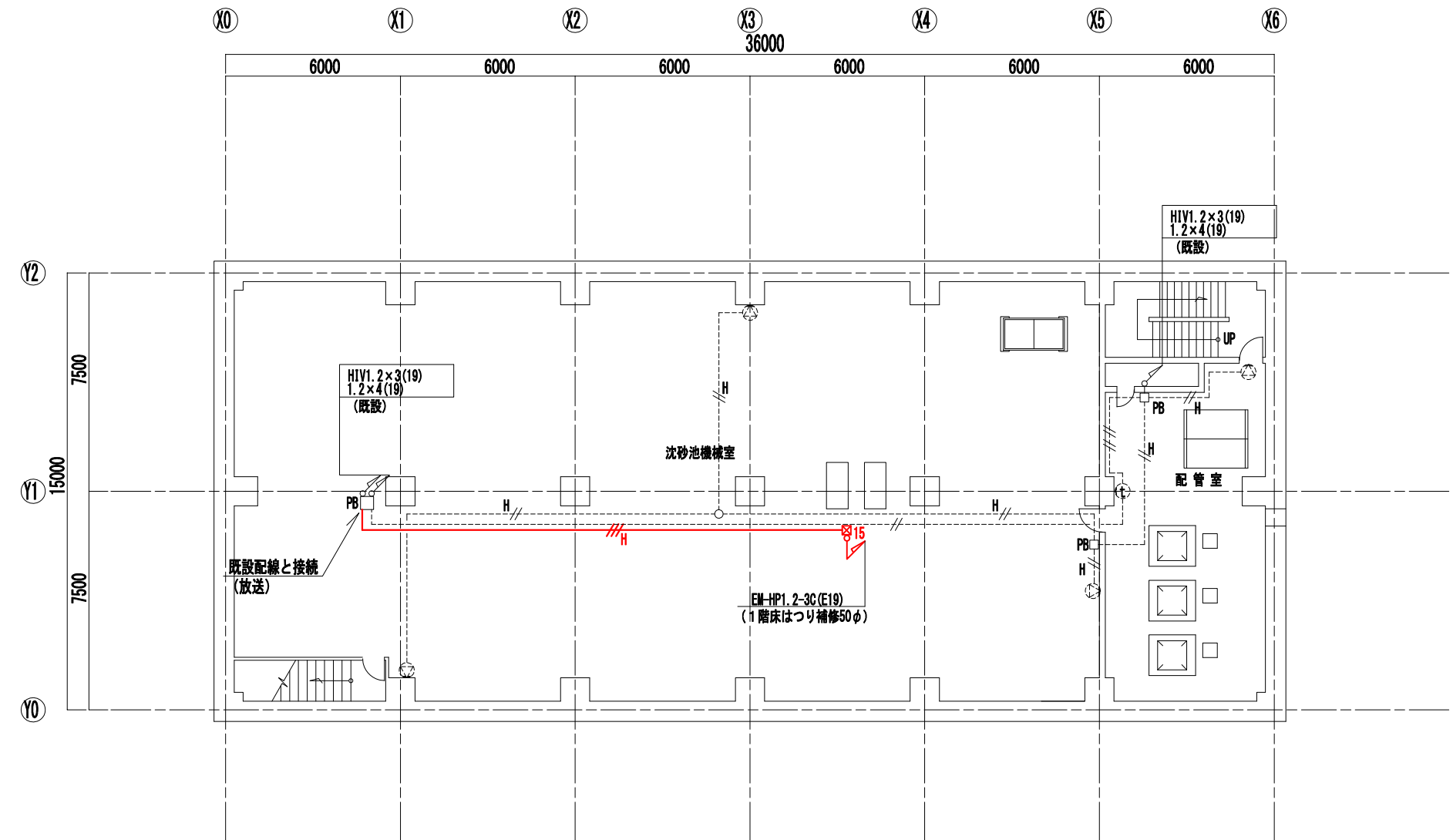
(注記)

1. 特記なき配管配線は下記による。

- EM-AE 0.9-2C (E19)
——— EM-AE 0.9-2C (G16)
——— EM-HP 1.2-3C (E19)
——— EM-HP 1.2-3C (コロガシ)
——— EM-AE 1.2-4C (コロガシ)

2. 特記なきプルボックスは下記による。

- ☒ 15 : 150×150×100
☒ 15W : 150×150×100 (溶融亜鉛メッキ仕上)
☒ 21 : 200×200×150

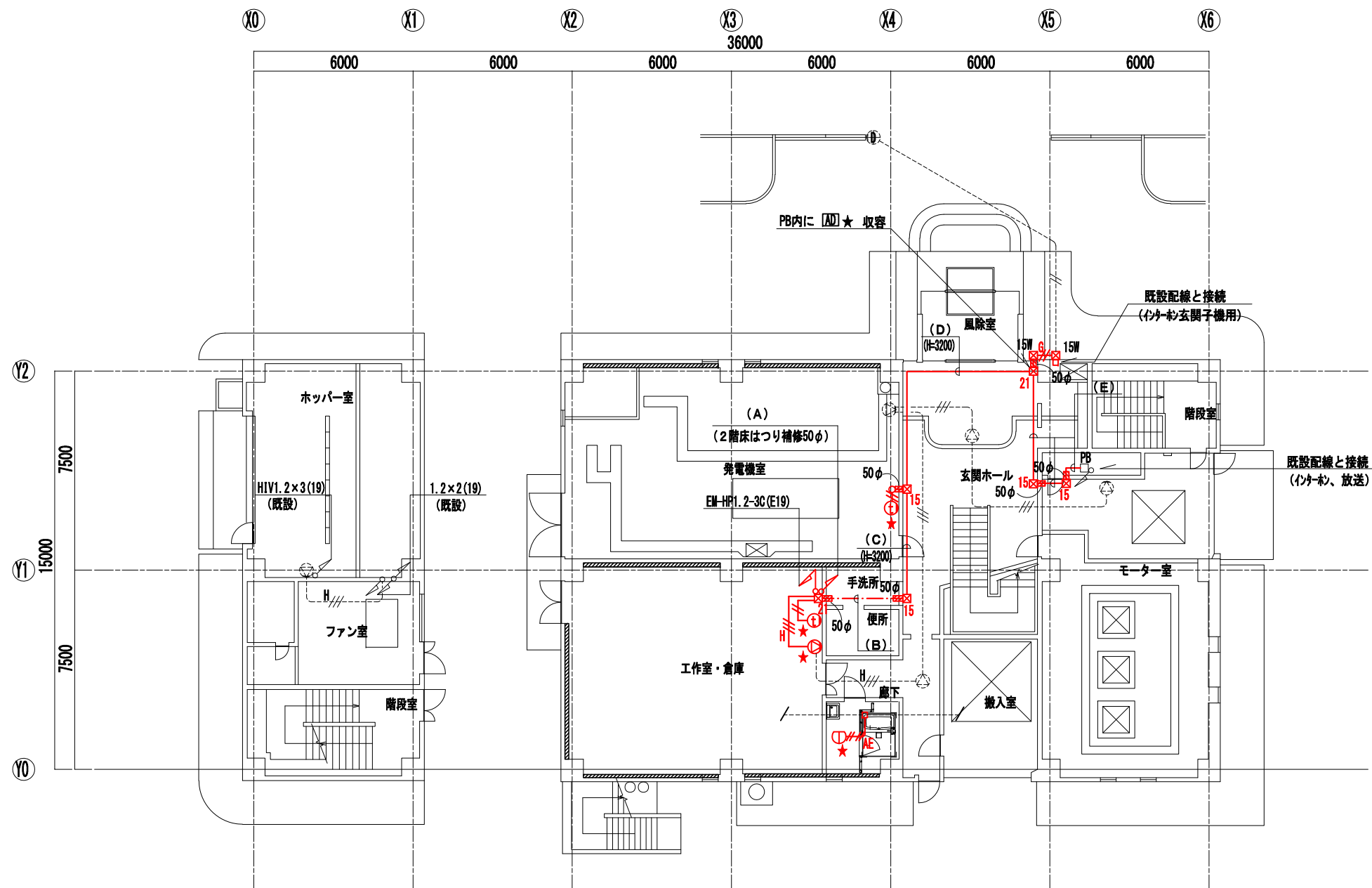


地下1階 平面図 [改修後]

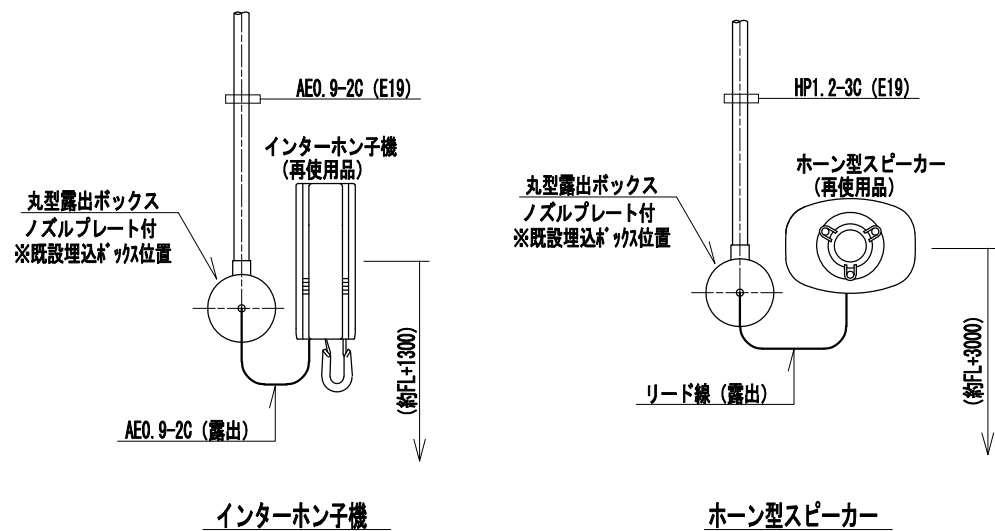
注記)

1. は今回工事を示す。

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	弱電設備地下1階平面図 (改修)		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	1/100	図面番号	AE-18
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		



1階 平面図 [改修後] (1/100)



インターホン機・スピーカー取付参考図 (1/5)

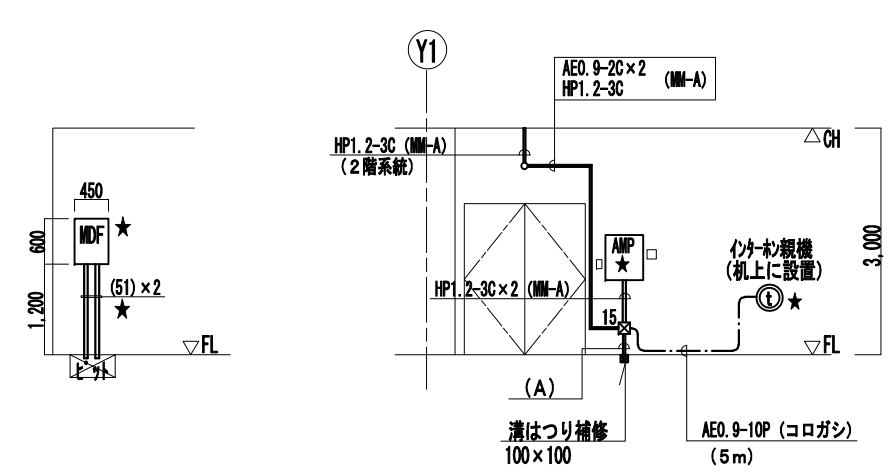
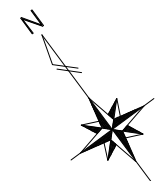
配線表

記号	配管配線	
(A)	EM-AE0.9-10P EM-HP1.2-3C	(E31) インターホン 放送
(B)	EM-AE0.9-2C ×4 EM-HP1.2-3C	(PF28) インターホン 放送
(C)	EM-AE0.9-2C ×4 EM-HP1.2-3C	(E31) インターホン 放送
(D)	EM-AE0.9-2C ×3 EM-HP1.2-3C	(E31) インターホン 放送
(E)	EM-AE0.9-2C ×2 EM-HP1.2-3C	(E25) インターホン 放送

注記)

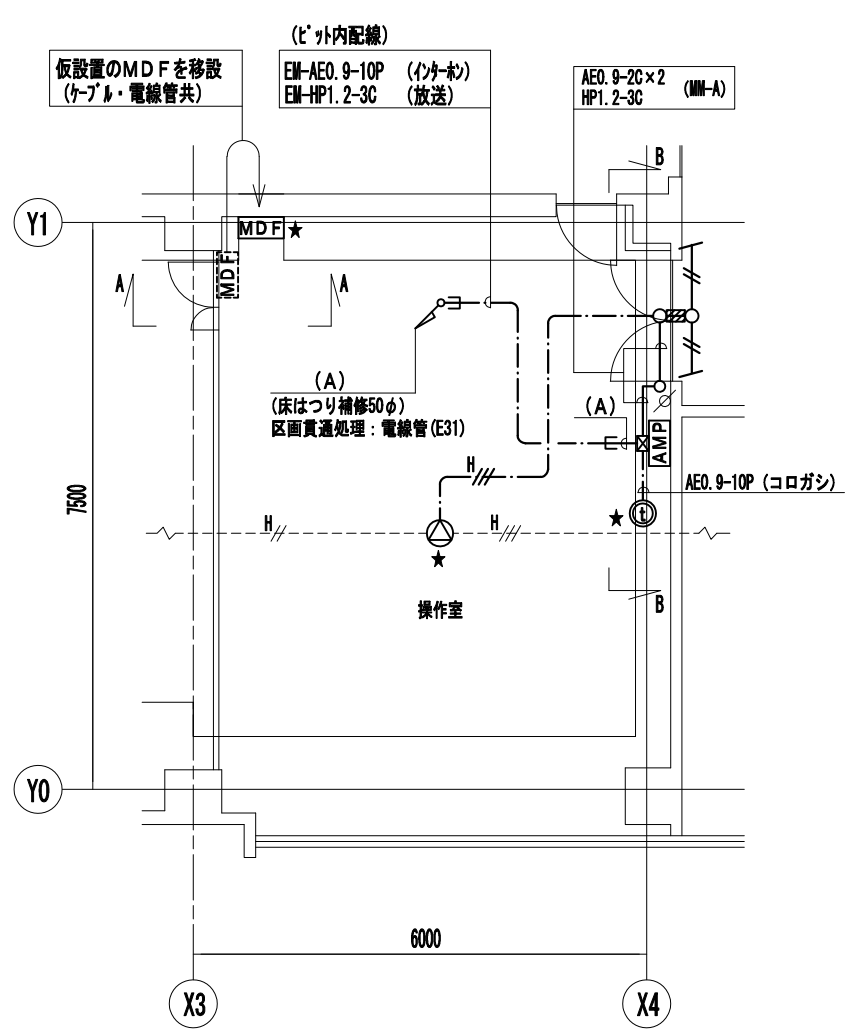
1. は今回工事を示す。
2. は耐震補強箇所を示す。

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	弱電設備1階平面図 (改修)		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	図示	図面番号	AE-19
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		

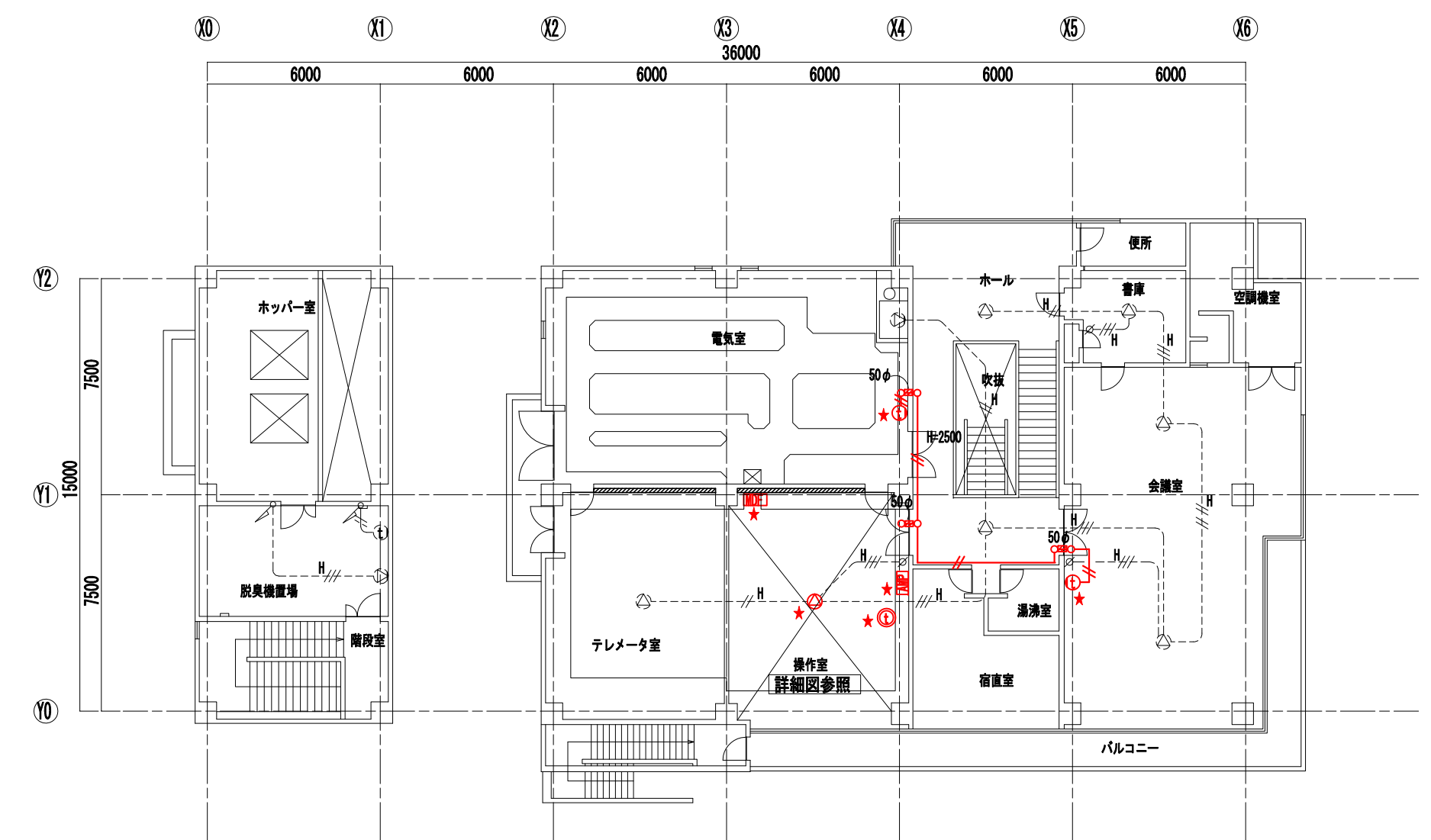


A-A矢視図

B-B矢視図



操作室詳細図 (1/50)



2階 平面図 [改修後] (1/100)

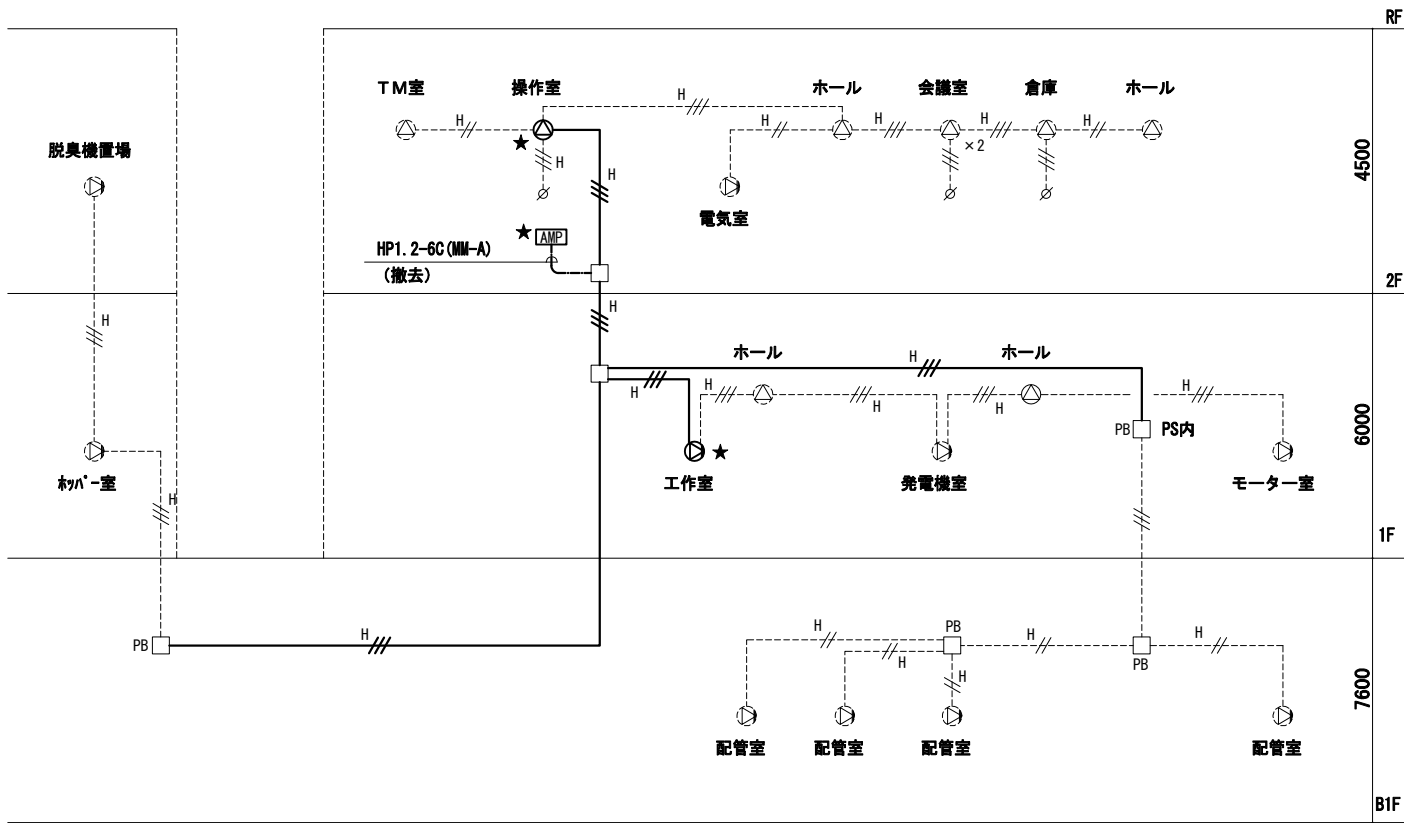
配線表

記号	配管配線	
(A)	EM-AEO. 9-10P EM-HP1. 2-3C	(E31) インターホン 放送

注記)

1. は今回工事を示す。
2. は耐震補強箇所を示す。

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	弱電設備2階平面図（改修）		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	図示	図面番号	AE-20
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		



放送設備設備系統図（撤去）

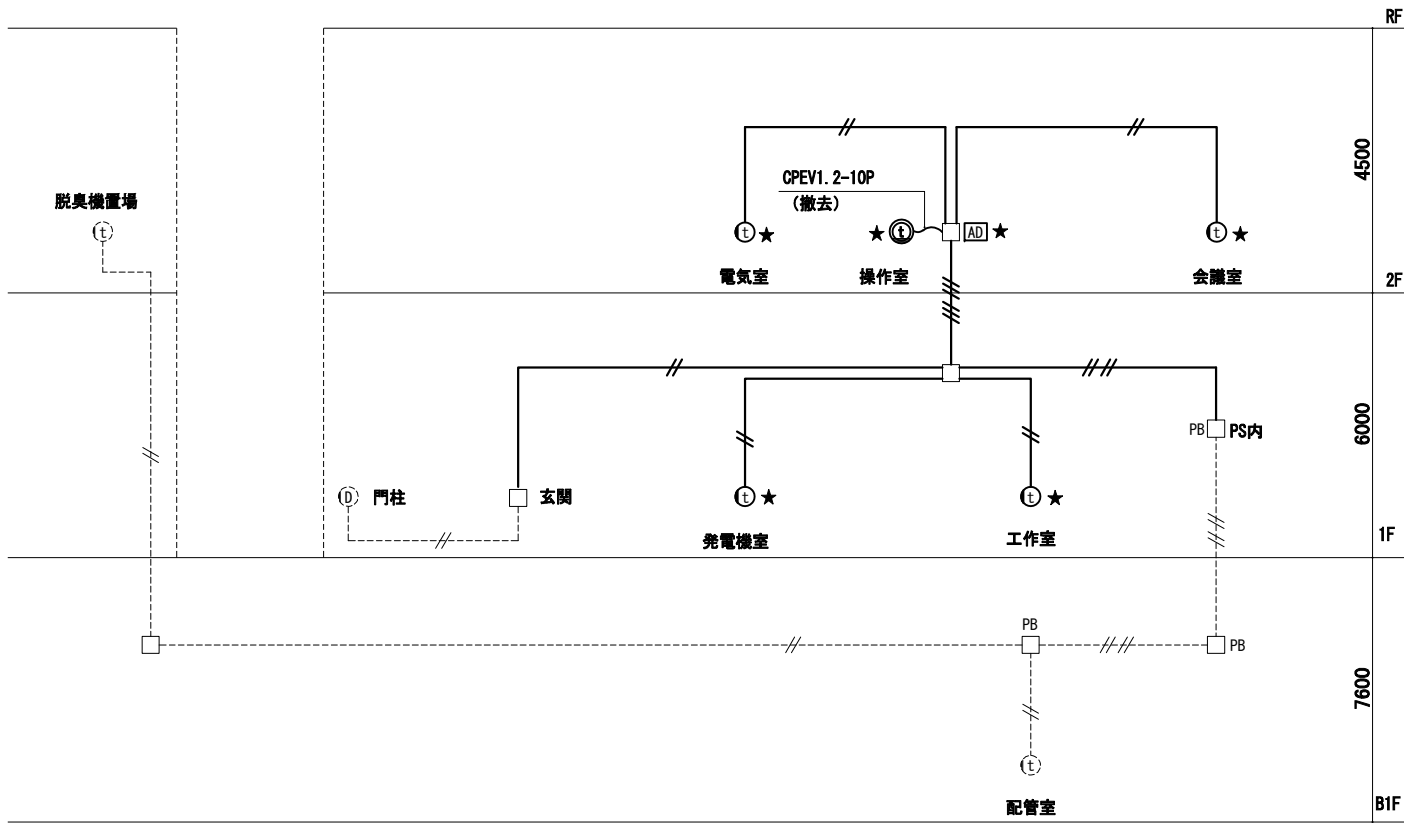
凡 例（撤去）

記 号	名 称		摘 要
AMP ★	業務・非常放送アンプ	10局	撤去 再使用
Ⓢ ★	ホーン型スピーカー	10W	〃 〃
▽ ★	天井埋込スピーカー	3W	〃 〃
Ⓢ ★	インターホン親機	10局	撤去 再使用 卓上型
Ⓢ ★	インターホン子機		〃 〃
AD ★	玄関子機アダプタ		〃 〃
MDF ★	M D F 壁掛露出型		〃 〃
□	端子盤 壁掛露出型10P		〃 〃
——	配管配線	撤去	配線撤去
Ⓢ	トランペットスピーカー	10W	残置
▽	天井埋込スピーカー	3W	〃
Ⓢ	アッテネータ		〃
Ⓢ	インターホン子機		〃
Ⓢ	インターホン玄関子機		〃
-----	配管配線	残置	
□ PB	ブルボックス		〃
□	埋込位置ボックス		〃

（注記）

1. 特記なき撤去配線は下記による。

- //—— IV1.2×2 （管内）
- //—— IV1.2×4 （管内）
- H//—— HIV1.2×2 （管内）
- H//—— HIV1.2×3 （管内）
- H//—— HIV1.2×4 （管内）



インターホン設備系統図（撤去）

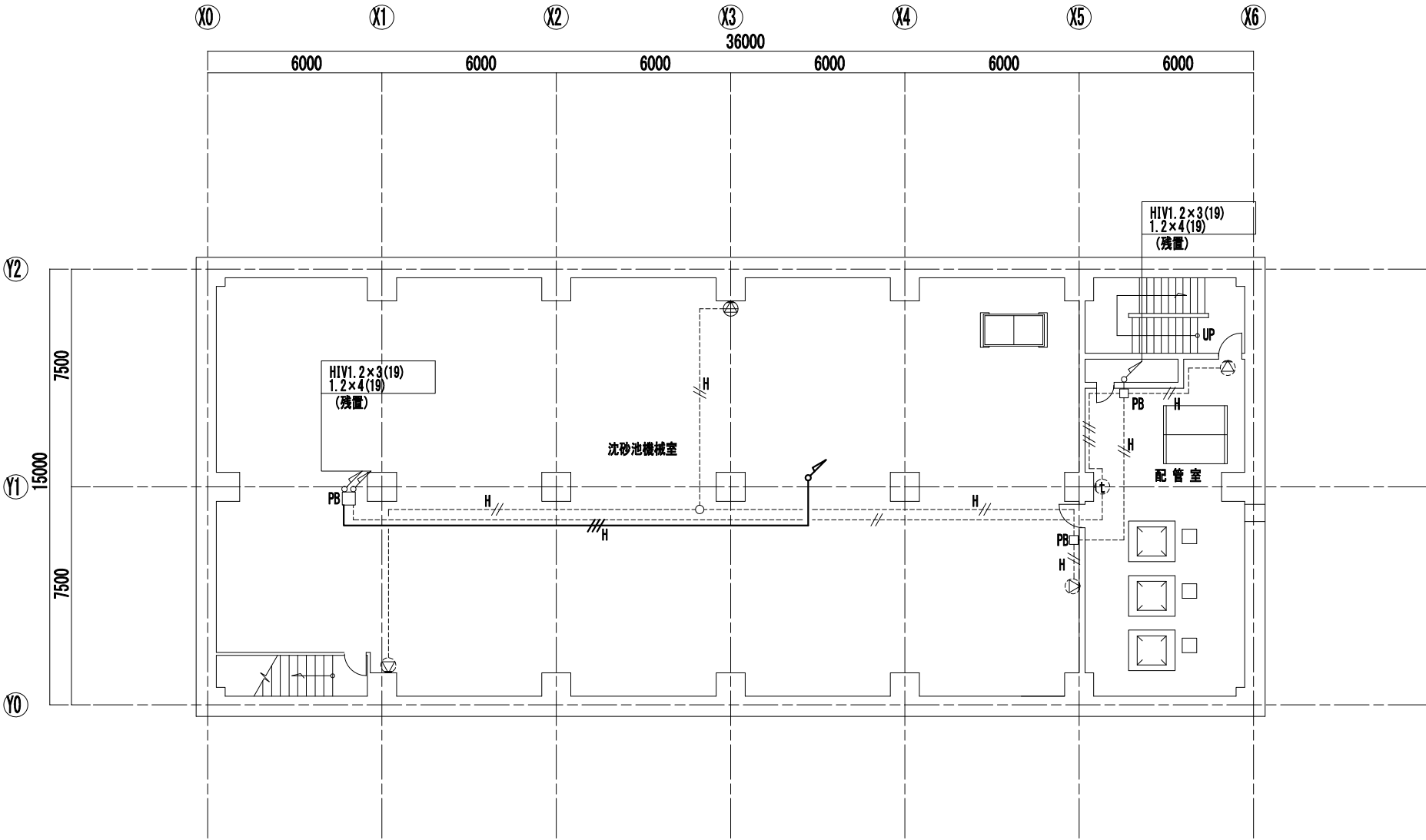
工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	弱電設備系統図（撤去）		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	—	図面番号	AE-21
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		

凡 例（撤去）

記 号	名 称	摘 要	
■ ★	業務・非常放送アンプ	10局	撤去
① ★	ホーン型スピーカー	10W	再使用
② ★	天井埋込スピーカー	3W	再使用
③ ★	インターホン親機	10局	撤去
④ ★	インターホン子機		再使用
AD□ ★	玄関子機アダプタ		再使用
■ ★	MDF 壁掛露出型		再使用
□	端子盤 壁掛露出型10P		再使用
⑤ ★	定温式スポット型検知器		再使用
—	配管配線	撤去	配線撤去
⑥	トランス型スピーカー	10W	残置
⑦	天井埋込スピーカー	3W	残置
∅	アッテネータ		残置
⑧	インターホン子機		残置
⑨	インターホン玄関子機		残置
---	配管配線	残置	残置
□ PB	ブルボックス		残置

（注記）

- //— HIV1.2×2 (管内)
- ///— HIV1.2×4 (管内)
- H— HIV1.2×2 (管内)
- H///— HIV1.2×3 (管内)
- H///— HIV1.2×4 (管内)

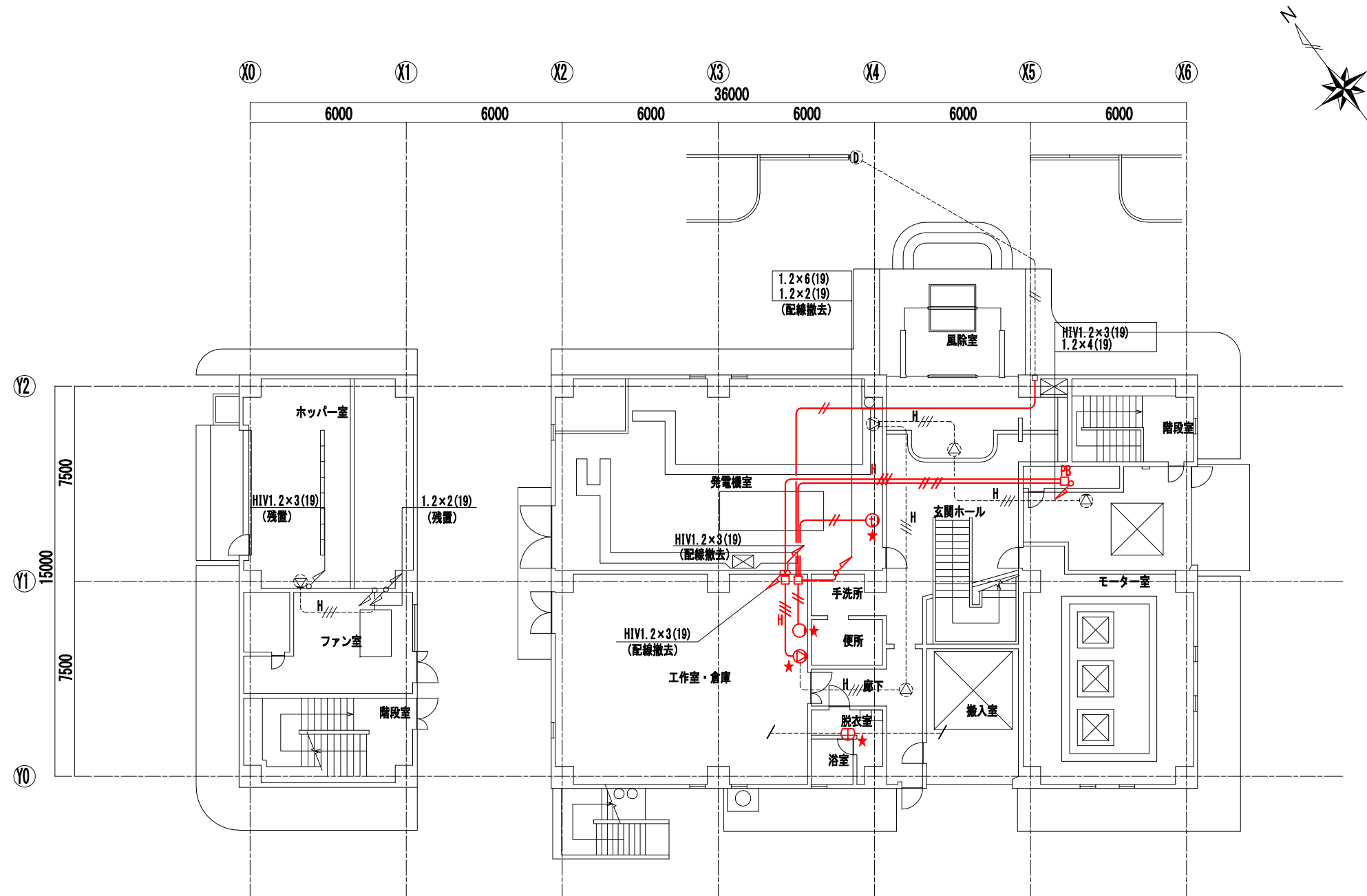


地下1階 平面図 [改修前]

注記

1. は今回工事を示す。

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	弱電設備地下1階平面図（撤去）		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	1/100	図面番号	AE-22
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		

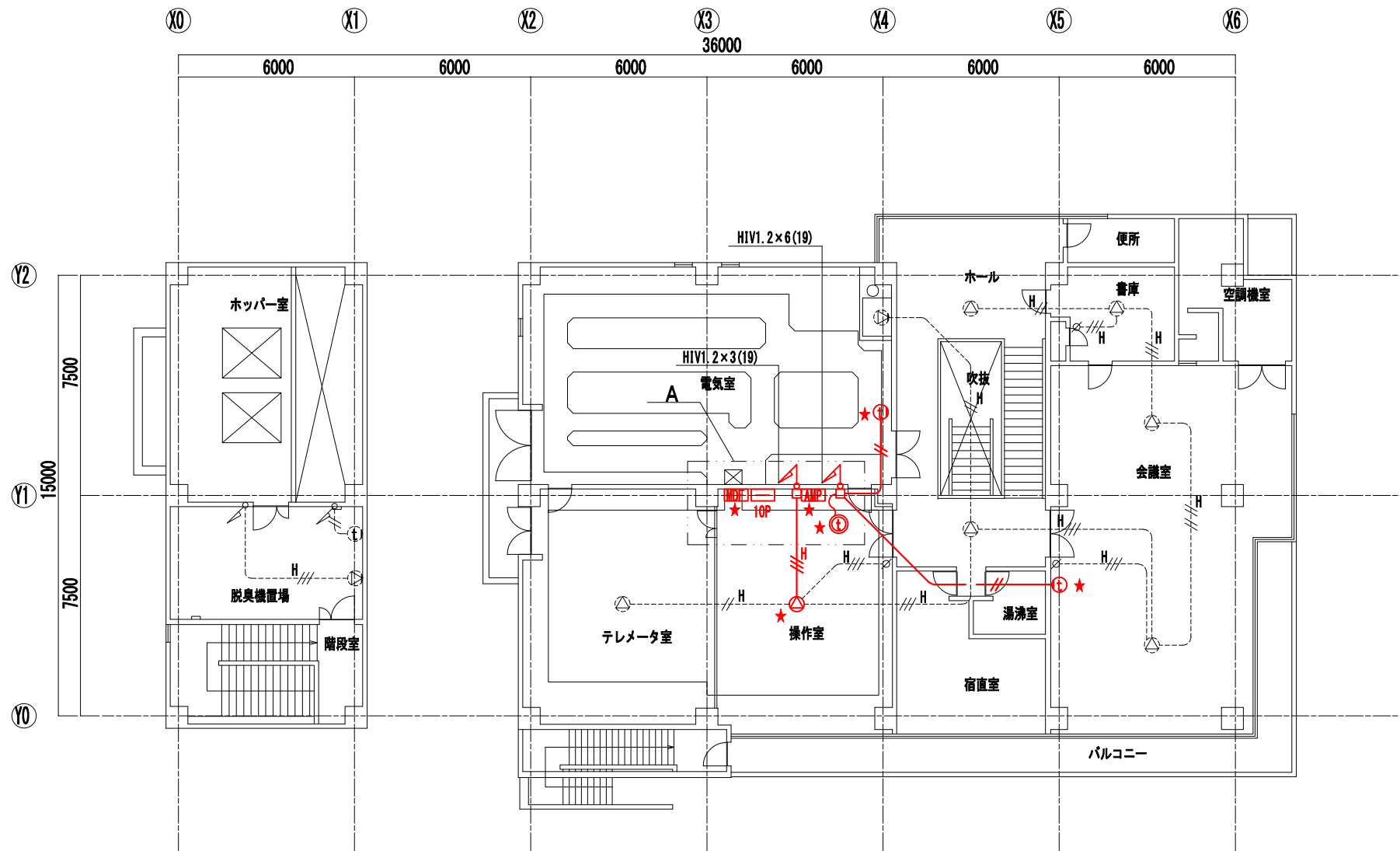
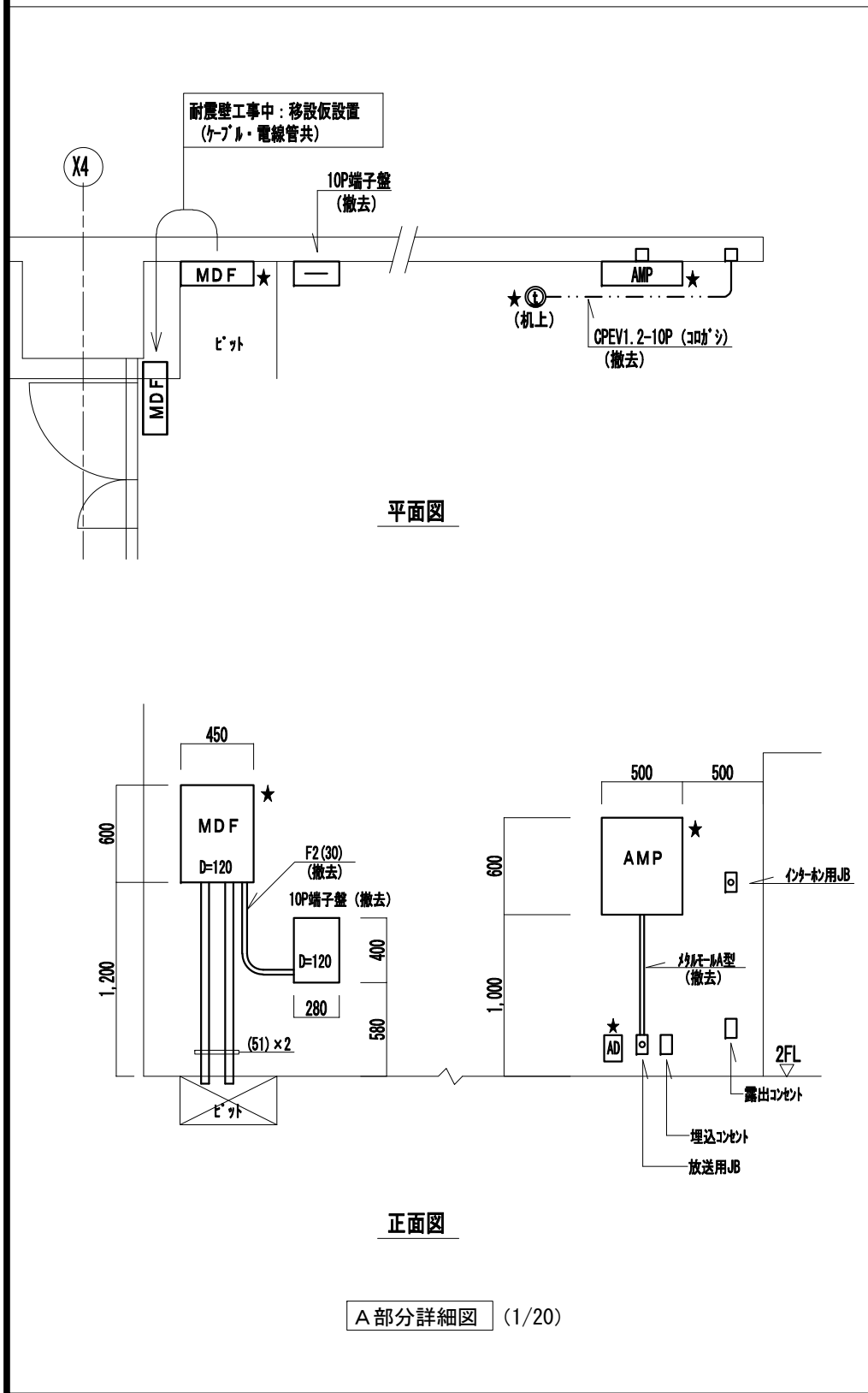
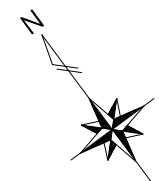


1階 平面図〔改修前〕

注記)

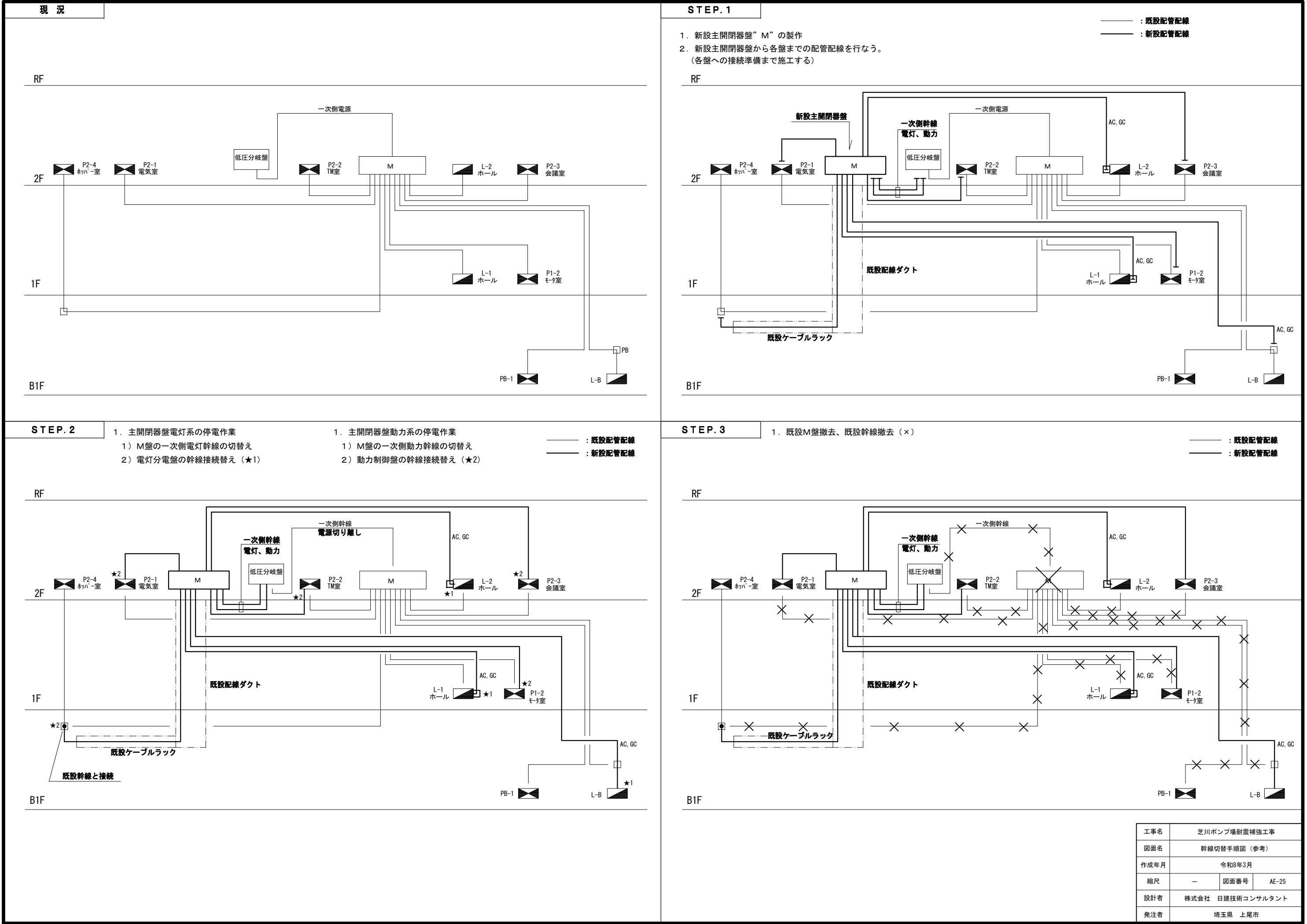
1. は今回工事を示す。

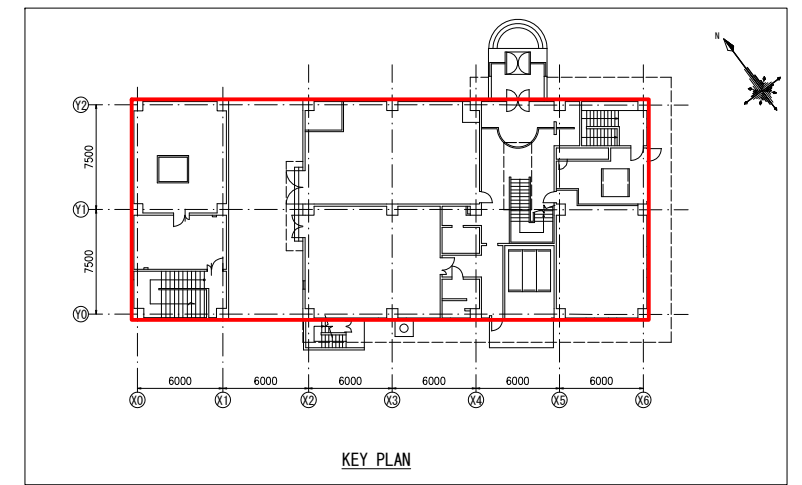
工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	弱電設備1階平面図（撤去）		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	1/100	図面番号	AE-23
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		



注記)
1. は今回工事を示す。

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	弱電設備2階平面図 (撤去)		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	図示	図面番号	AE-24
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		





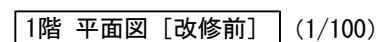
機器一覽表

NO.	名 称	記 号	備 考
①	引込盤	HP-1	既 設
②	受電盤	HP-2	〃
③	主変圧器盤	LP-1	〃
④	低圧分岐盤	LP-2	〃
⑤	コントロールセンタ	C/C	〃
⑥	沈砂池設備 (1) 補助継電器盤	RY-1 (1)	〃
⑦	沈砂池設備 (2) 補助継電器盤	RY-2 (2)	〃
⑧	汚水ポンプ設備補助継電器盤	RY-2	〃
⑨	No. 1汚水ポンプWVF盤	VF-P1	〃
⑩	No. 2汚水ポンプWVF盤	VF-P2	〃
⑪	No. 3汚水ポンプWVF盤	VF-P3	〃
⑫	直流水源盤	DC-1	〃
⑬	遠方制御盤 (鴨川親局)	TM-2	〃
⑭	遠方制御盤 (芝川親局)	TM-1	〃
⑮	入出力装置	SDQ-1	〃
⑯	入出力装置	SDQ-2	〃
⑰	汎用UPS	CV-1	〃
⑱	普通電池盤	CV-2	〃
⑲	操作制御装置	DP-COT	〃
20	監視用補助継電器盤	RC-1	新改造

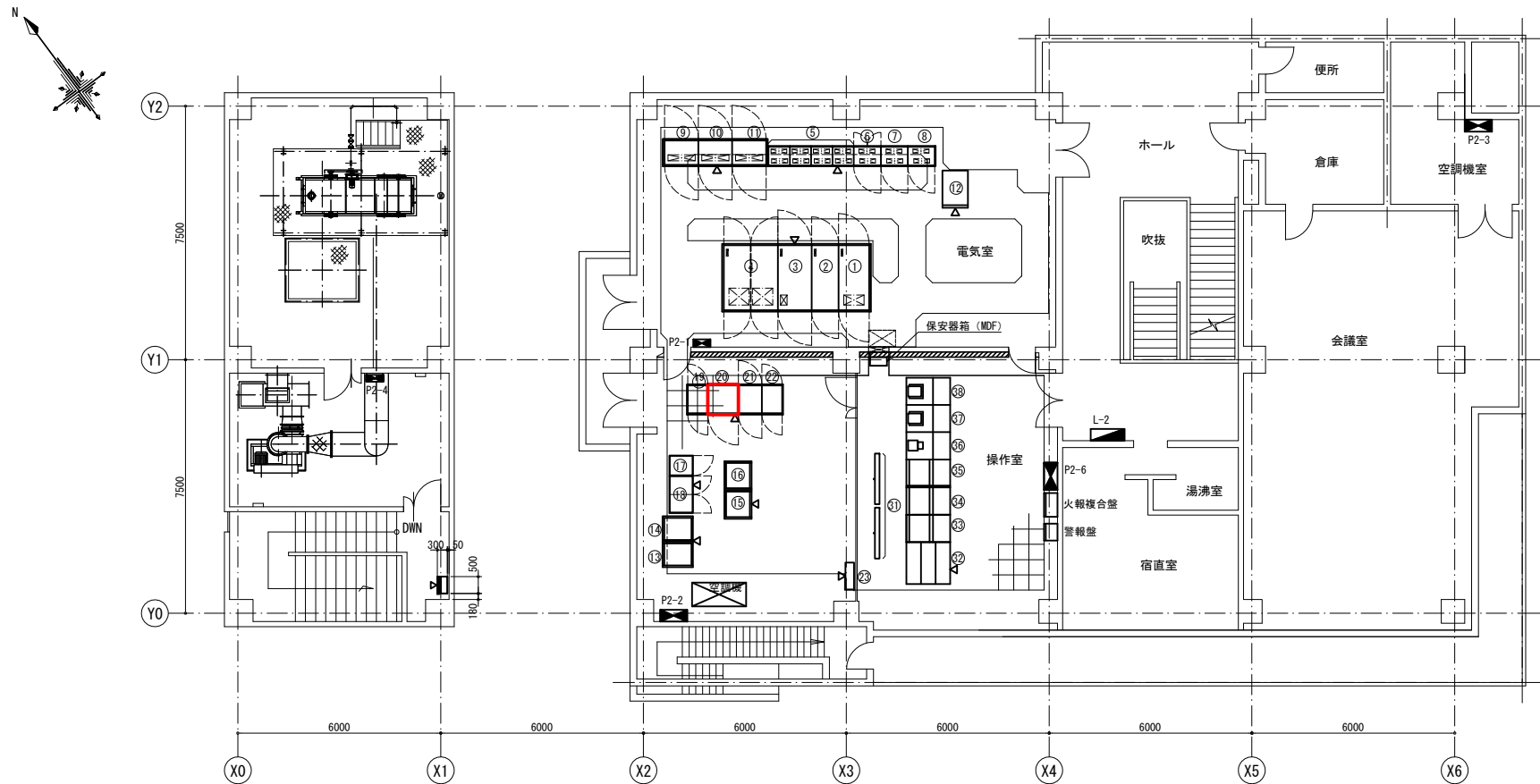
[illegible]

注記)

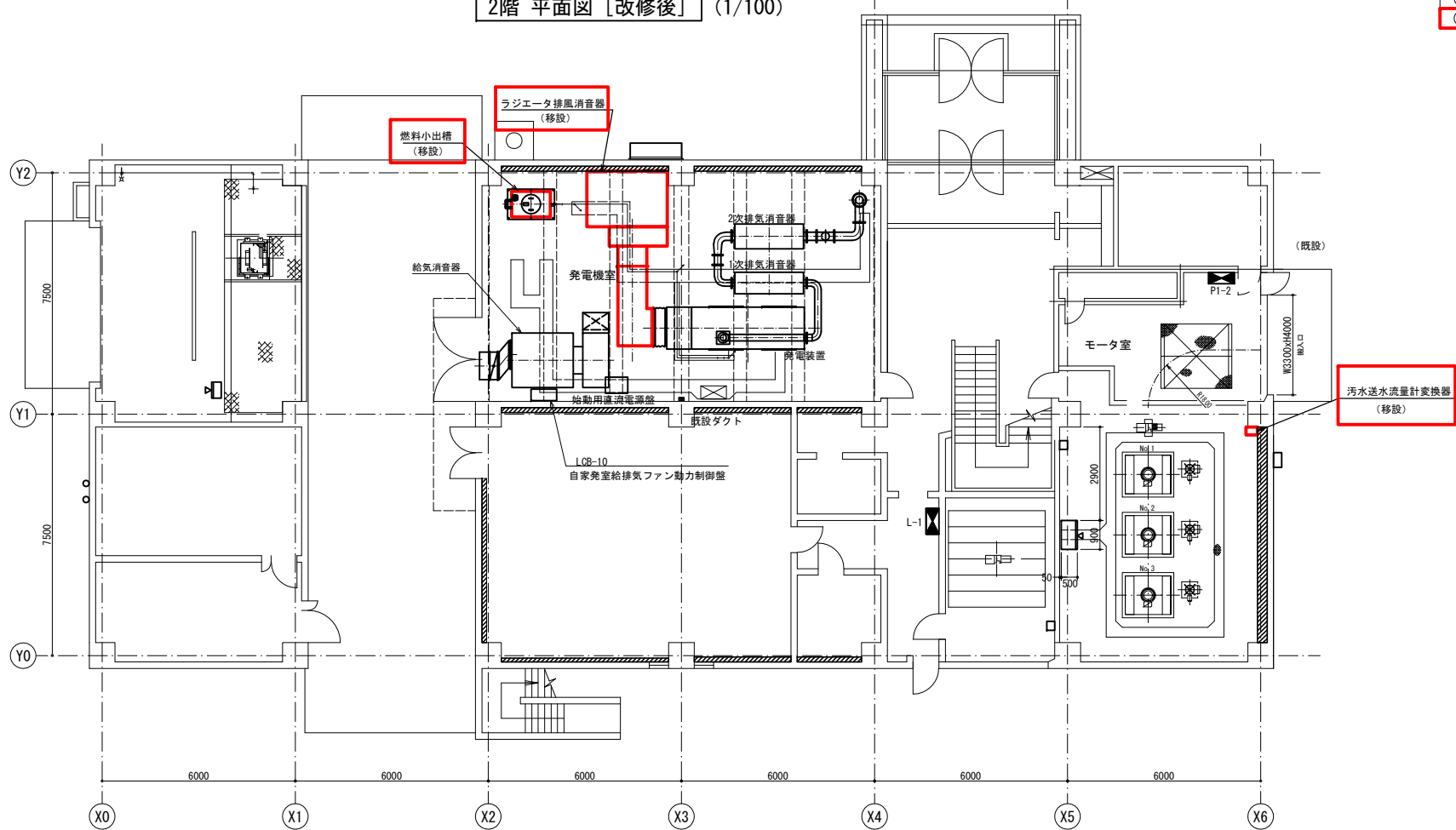
1. ☐ は今回工事を示す。



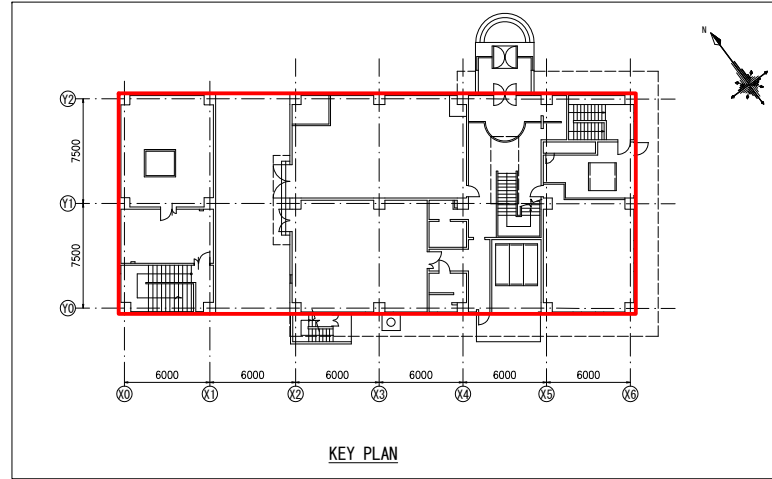
工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	1階・2階平面図（改修前）		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	1/100	図面番号	PE-01
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		



2階 平面図 [改修後] (1/100)



1階 平面図 [改修後] (1/100)



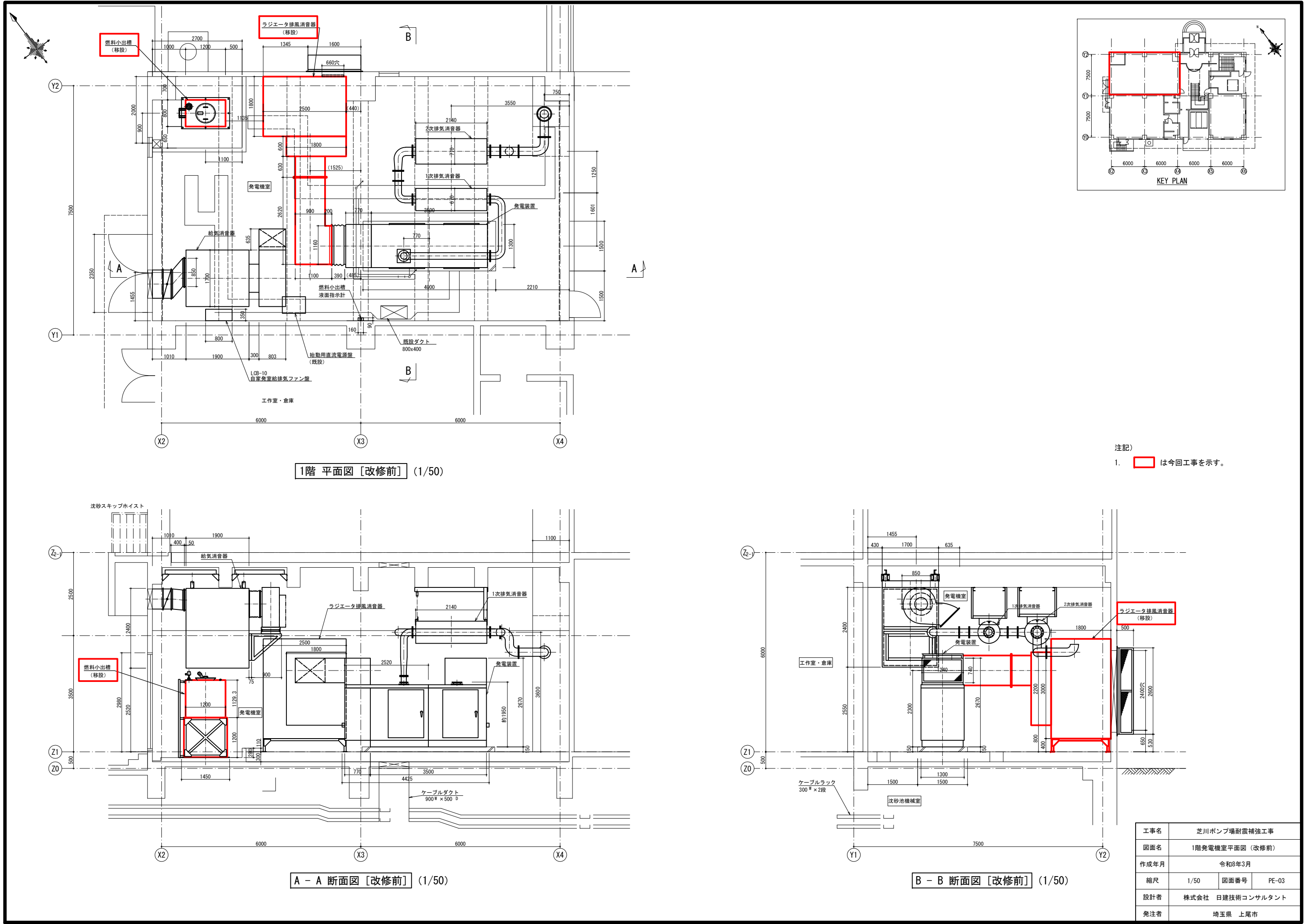
機器一覧表

NO.	名 称	記 号	備 考
①	引込盤	HP-1	既 設
②	受電盤	HP-2	〃
③	主変圧器盤	LP-1	〃
④	低圧分岐盤	LP-2	〃
⑤	コントロールセンタ	C/C	〃
⑥	沈砂池設備 (1) 補助継電器盤	RY-1 (1)	〃
⑦	沈砂池設備 (2) 補助継電器盤	RY-2 (2)	〃
⑧	汚水ポンプ設備補助継電器盤	RY-2	〃
⑨	No. 1汚水ポンプVVVF盤	VF-P1	〃
⑩	No. 2汚水ポンプVVVF盤	VF-P2	〃
⑪	No. 3汚水ポンプVVVF盤	VF-P3	〃
⑫	直流電源盤	DC-1	〃
⑬	遠方制御盤 (鴨川親局)	TM-2	〃
⑭	遠方制御盤 (芝川親局)	TM-1	〃
⑮	入出力装置	SQC-1	〃
⑯	入出力装置	SQC-2	〃
⑰	汎用UPS	CV-1	〃
⑱	蓄電池盤	CV-2	〃
⑲	操作卓制御装置	DP-COT	〃
⑳	監視用補助継電器盤	RC-1	屏改造

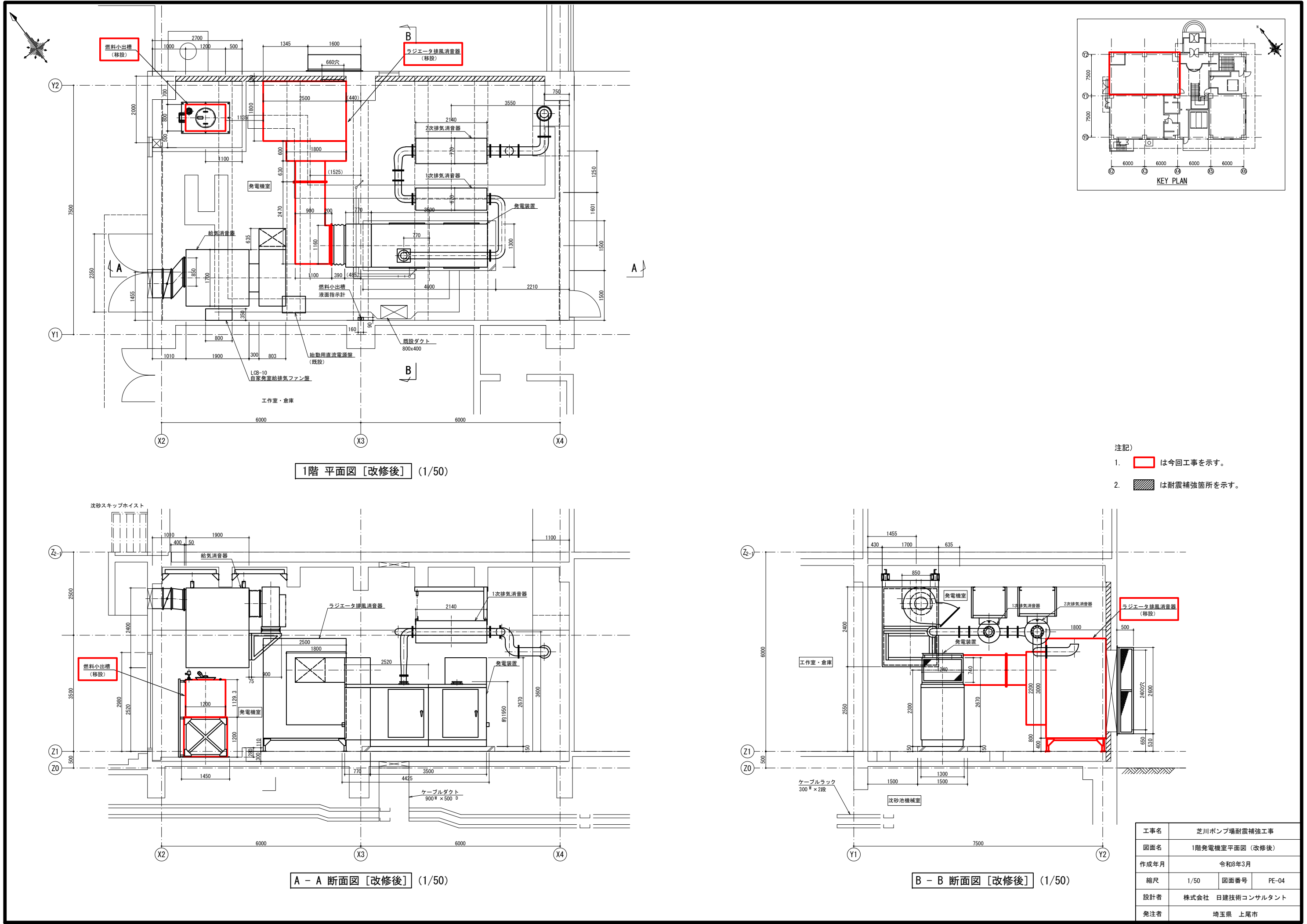
NO.	名 称	記 号	備 考
㉑	変換器盤	1H	既 設
㉒	分電盤	1B	〃
㉓	POD制御箱		〃
㉔			
㉕	大型ディスプレイ		既 設
㉖	芝川用監視操作卓	DP	〃
㉗	データ・CRT装置 (2)	CRT-2	〃
㉘	データ・CRT装置 (3)	LCD-DP	〃
㉙	データ・CRT装置 (1)	CRT-1	〃
㉚	管理用パソコン		〃
㉛	プリンタ	PR-1	〃
㉜	プリンタ	PR-2	〃
㉝			
㉞			
㉟			
㊱			
㊲			
㊳			
㊴			
㊵			
㊶			
㊷			
㊸			
㊹			
㊺			

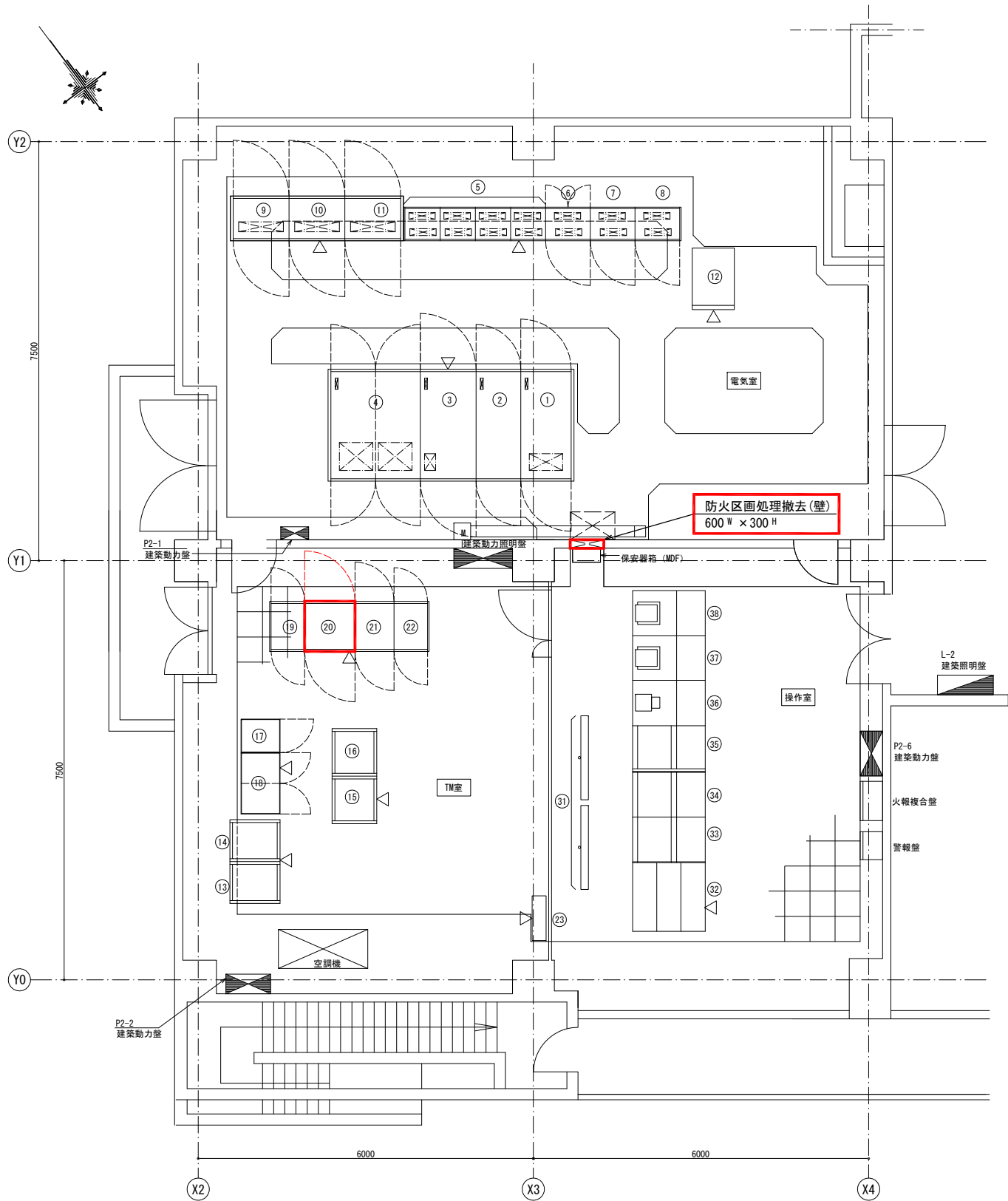
- 注記)
1. は今回工事を示す。
 2. は耐震補強箇所を示す。

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	1階・2階平面図 (改修後)		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	1/100	図面番号	PE-02
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		

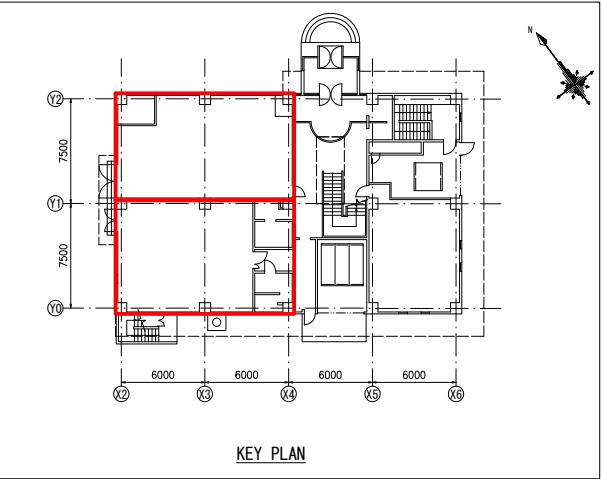


工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	1階発電機室平面図 (改修前)		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	1/50	図面番号	PE-03
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		





2階 平面図 [改修前] (1/50)



KEY PLAN

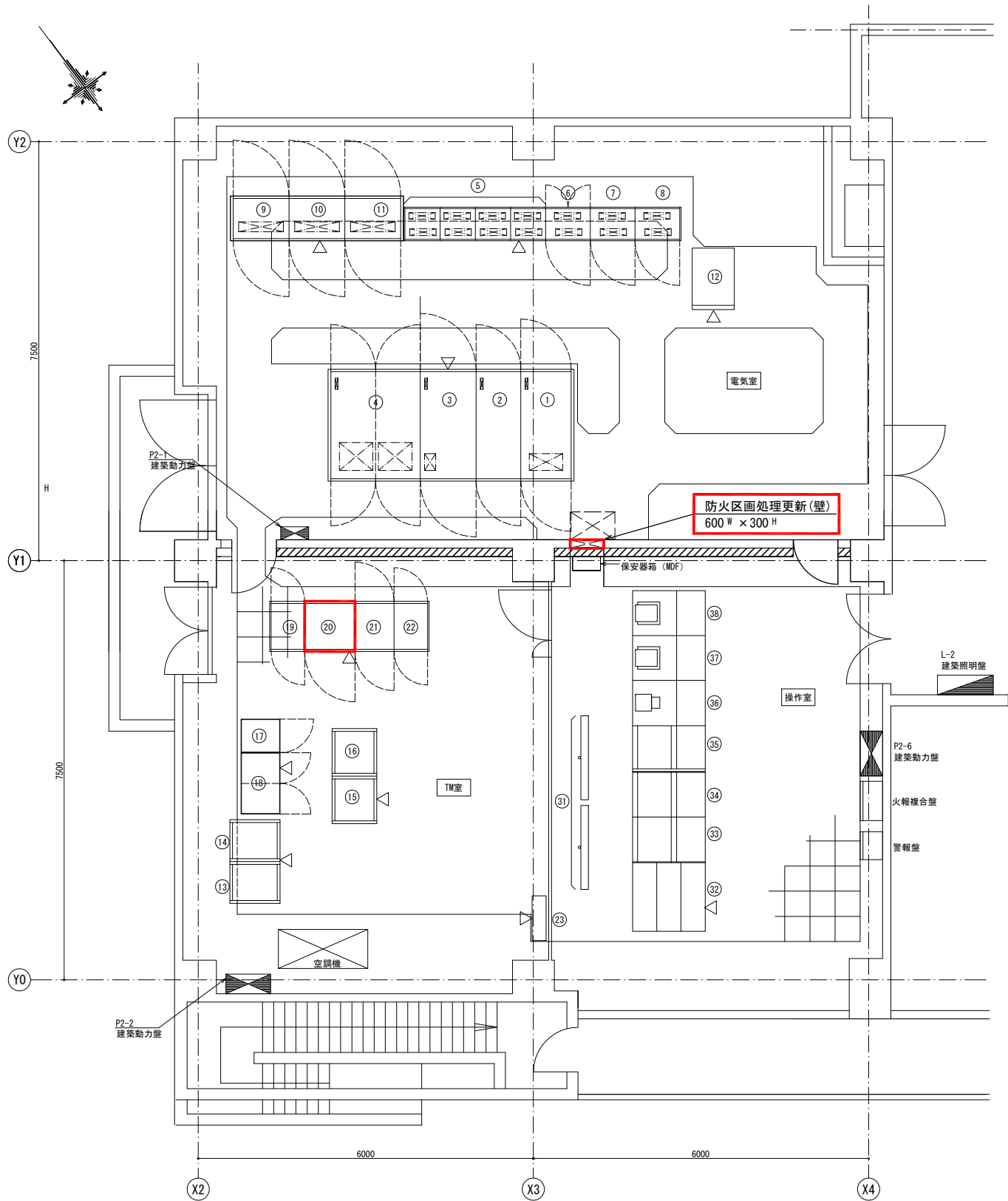
機器一覧表

NO.	名 称	記 号	備 考
①	引込盤	HP-1	既 設
②	受電盤	HP-2	〃
③	主変圧器盤	LP-1	〃
④	低圧分岐盤	LP-2	〃
⑤	コントロールセンタ	C/C	〃
⑥	沈砂池設備 (1) 補助継電器盤	RY-1 (1)	〃
⑦	沈砂池設備 (2) 補助継電器盤	RY-2 (2)	〃
⑧	汚水ポンプ設備補助継電器盤	RY-2	〃
⑨	No. 1汚水ポンプVVVF盤	VF-P1	〃
⑩	No. 2汚水ポンプVVVF盤	VF-P2	〃
⑪	No. 3汚水ポンプVVVF盤	VF-P3	〃
⑫	直流電源盤	DC-1	〃
⑬	遠方制御盤 (鴨川親局)	TM-2	〃
⑭	遠方制御盤 (芝川親局)	TM-1	〃
⑮	入出力装置	SOC-1	〃
⑯	入出力装置	SOC-2	〃
⑰	汎用UPS	CV-1	〃
⑱	蓄電池盤	CV-2	〃
⑲	操作卓制御装置	DP-COT	〃
⑳	監視用補助継電器盤	RC-1	新改造
㉑	変換器盤	1H	既 設
㉒	分電盤	1B	〃
㉓	POD制御箱		〃
①	大型ディスプレイ		既 設
②	芝川用監視操作卓	DP	〃
③	データ・CRT装置 (2)	CRT-2	〃
④	データ・CRT装置 (3)	LCD-DP	〃
⑤	データ・CRT装置 (1)	CRT-1	〃
⑥	管理用パソコン		〃
⑦	プリンタ	PR-1	〃
⑧	プリンタ	PR-2	〃

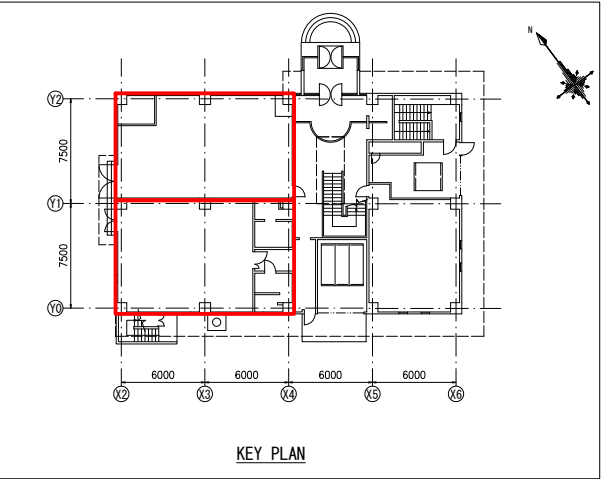
注記)

1. は今回工事を示す。

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	2階電気室・操作室平面図 (改修前)		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	1/50	図面番号	PE-05
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		



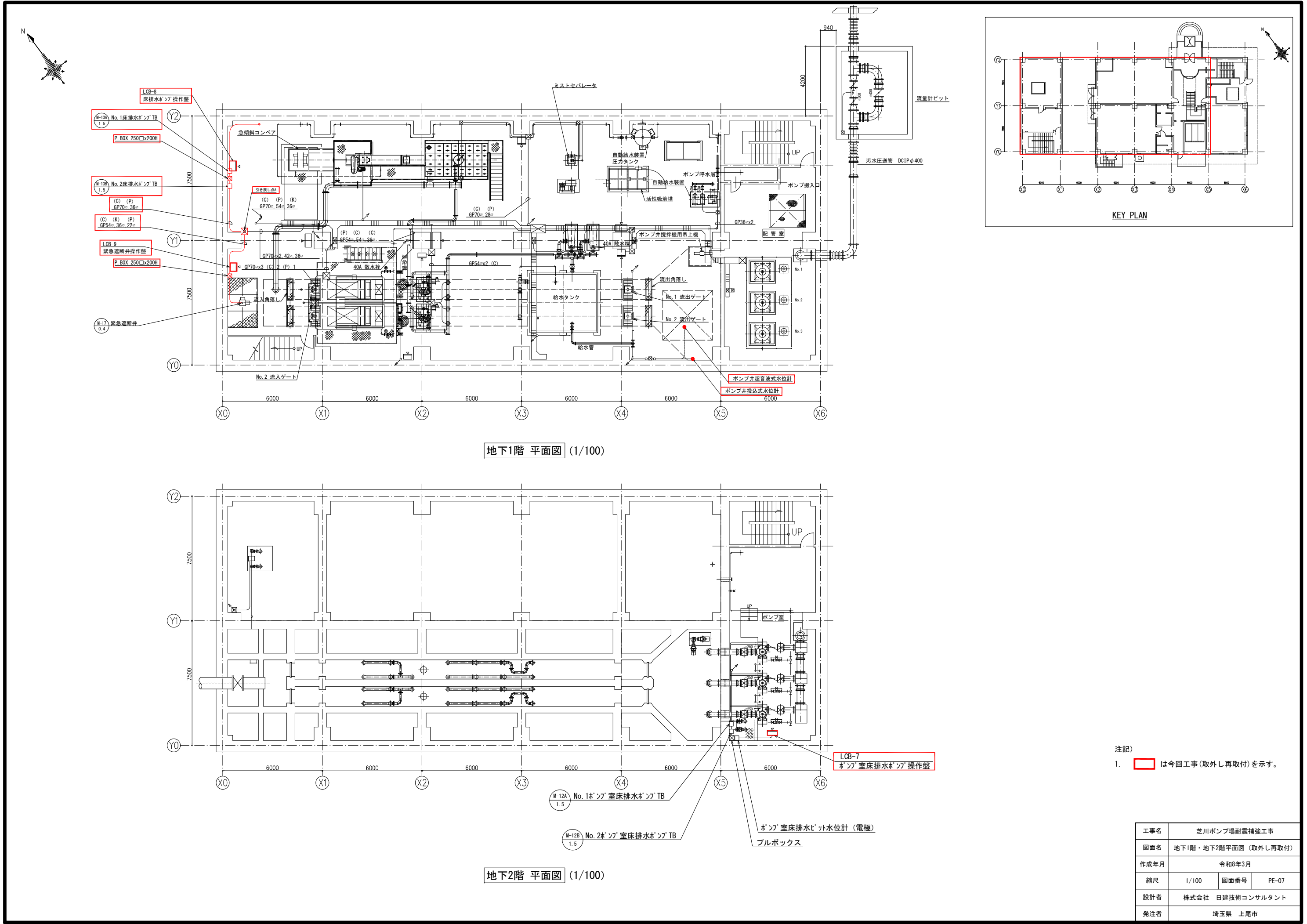
2階 平面図 [改修後] (1/50)



機器一覧表			
NO.	名 称	記 号	備 考
①	引込壁	HP-1	既 設
②	受電壁	HP-2	〃
③	主変圧器壁	LP-1	〃
④	低圧分岐壁	LP-2	〃
⑤	コントロールセンタ	C/C	〃
⑥	沈砂池設備 (1) 補助継電器壁	RY-1 (1)	〃
⑦	沈砂池設備 (2) 補助継電器壁	RY-2 (2)	〃
⑧	汚水ポンプ設備補助継電器壁	RY-2	〃
⑨	No. 1汚水ポンプVVVF壁	VF-P1	〃
⑩	No. 2汚水ポンプVVVF壁	VF-P2	〃
⑪	No. 3汚水ポンプVVVF壁	VF-P3	〃
⑫	直流電源壁	DC-1	〃
⑬	遠方制御壁 (鴨川親局)	TM-2	〃
⑭	遠方制御壁 (芝川親局)	TM-1	〃
⑮	入出力装置	SOC-1	〃
⑯	入出力装置	SOC-2	〃
⑰	汎用UPS	CV-1	〃
⑱	蓄電池壁	CV-2	〃
⑲	操作卓制御装置	DP-COT	〃
⑳	監視用補助継電器壁	RC-1	新改造
㉑	変換器壁	1H	既 設
㉒	分電壁	1B	〃
㉓	POD制御箱		〃
①	大型ディスプレイ		既 設
②	芝川用監視操作卓	DP	〃
③	データ・CRT装置 (2)	CRT-2	〃
④	データ・CRT装置 (3)	LCD-DP	〃
⑤	データ・CRT装置 (1)	CRT-1	〃
⑥	管理用パソコン		〃
⑦	プリンタ	PR-1	〃
⑧	プリンタ	PR-2	〃

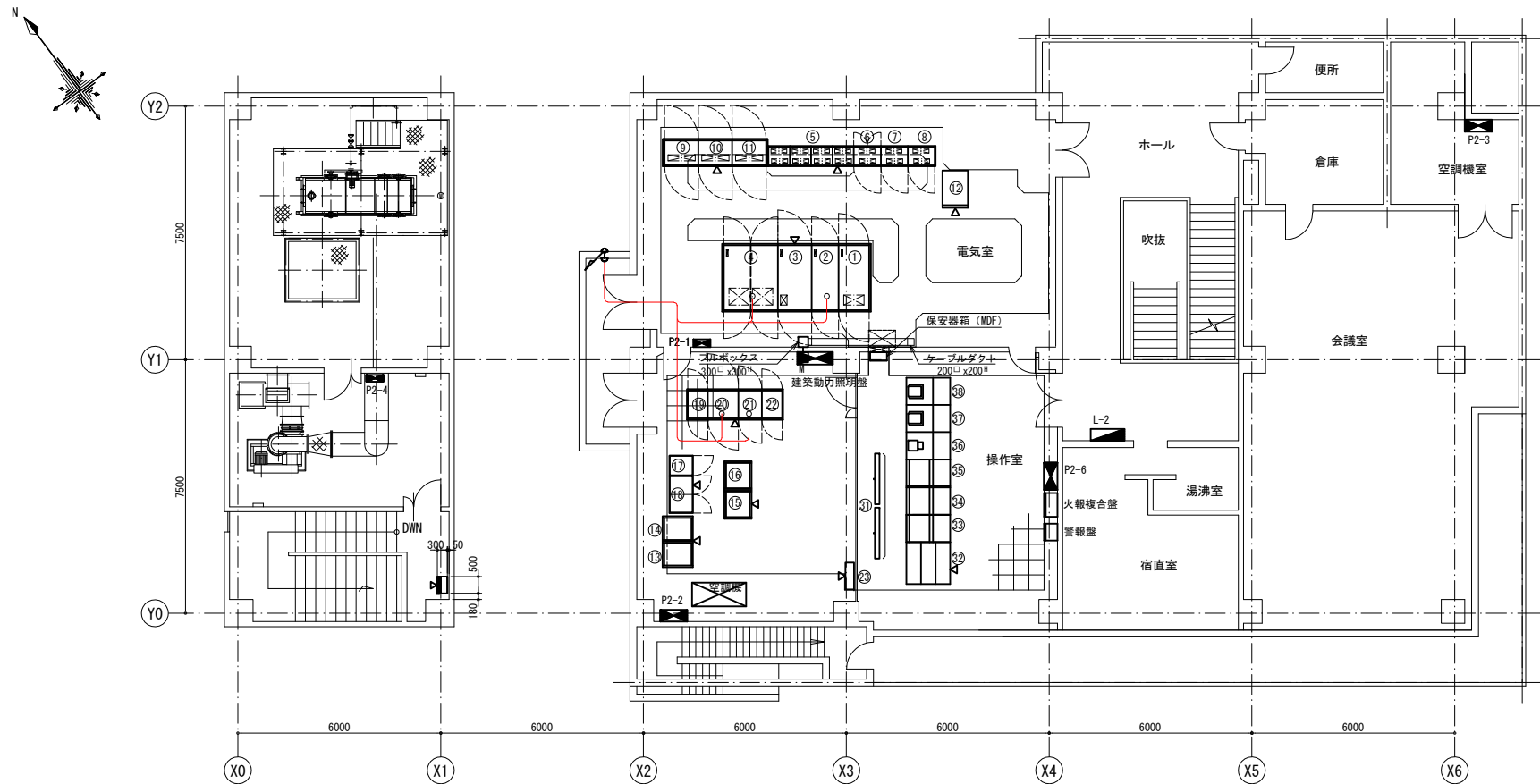
- 注記)
- ① ② ③ は今回工事を示す。
 - ④ ケーブルが不足した場合は直接接続を施すこと。
 - ⑤ ⑥ ⑦ は耐震補強箇所を示す。

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	2階電気室・操作室平面図 (改修後)		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	1/50	図面番号	PE-06
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		

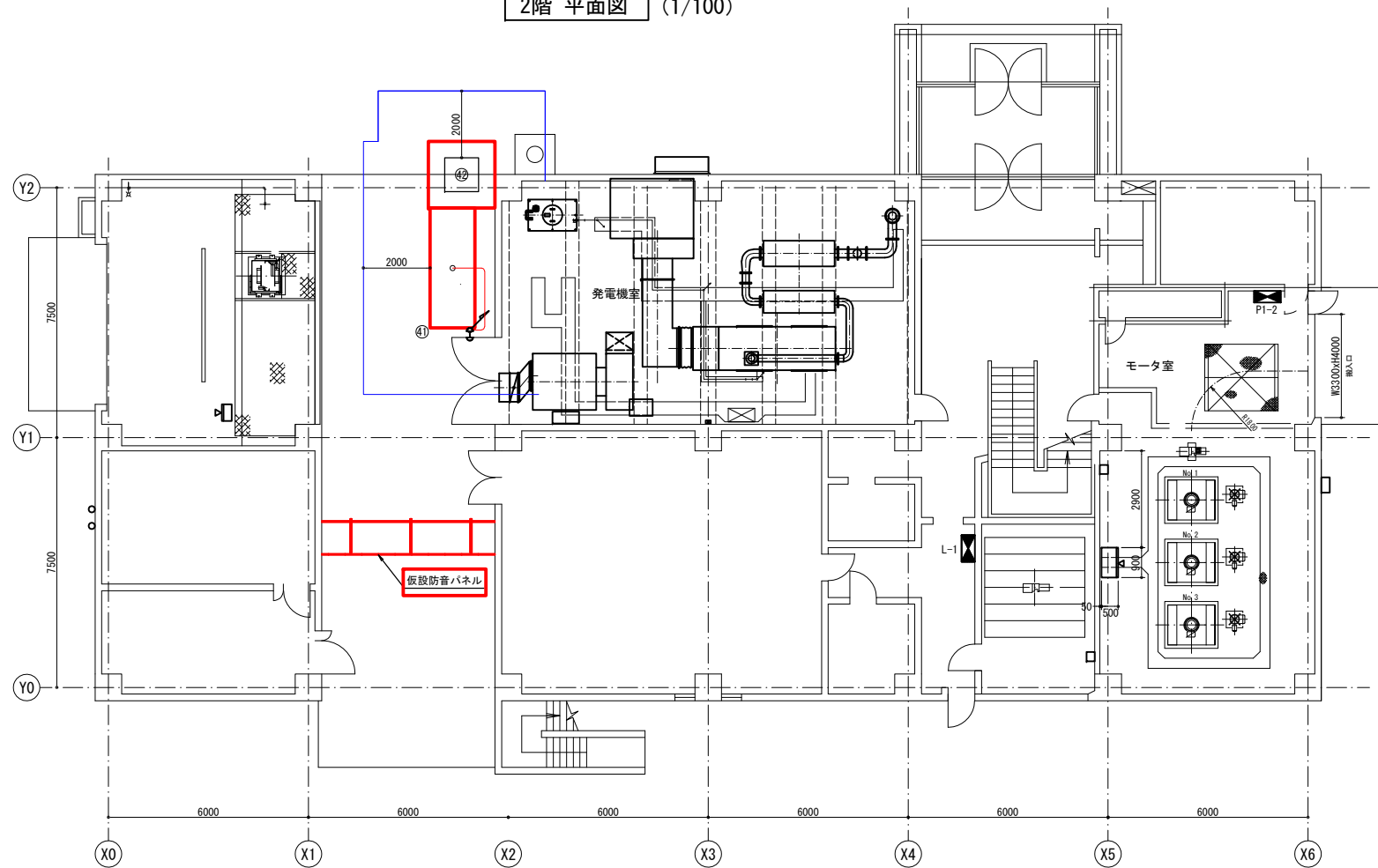


注記)

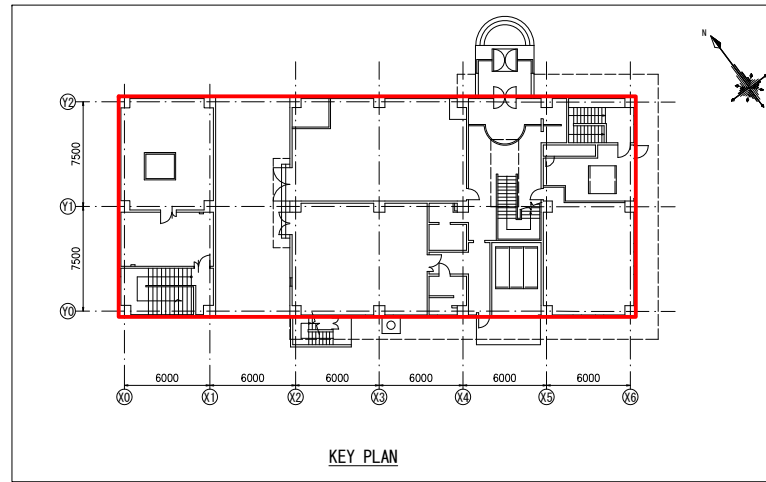
1. は今回工事（取外し再取付）を示す。



2階 平面図 (1/100)



1階 平面図 (1/100)



機器一覧表

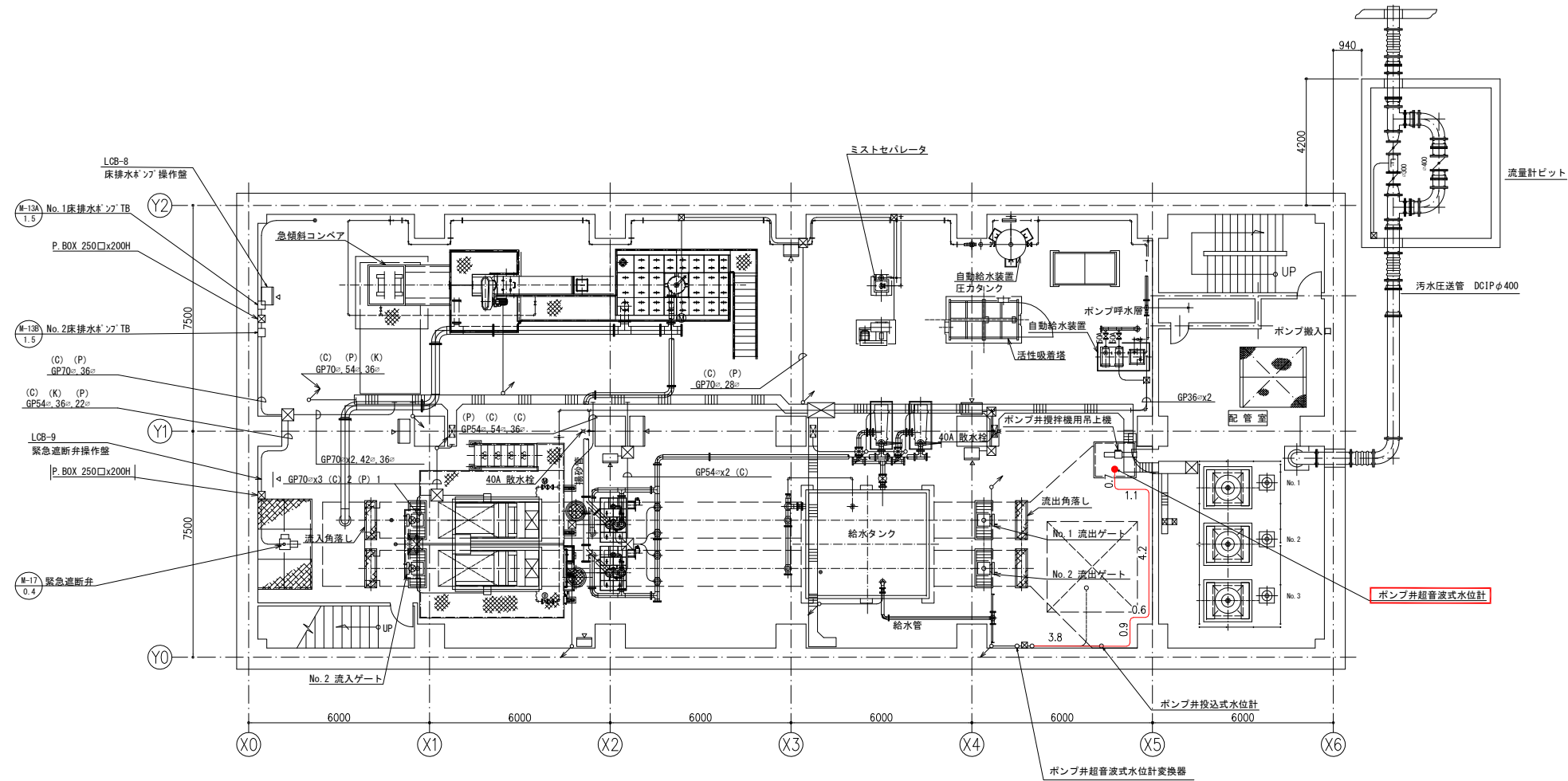
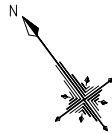
NO.	名 称	記 号	備 考
①	引込盤	HP-1	既 設
②	受電盤	HP-2	〃
③	主変圧器盤	LP-1	〃
④	低圧分岐盤	LP-2	〃
⑤	コントロールセンタ	C/C	〃
⑥	沈砂池設備 (1) 補助継電器盤	RY-1 (1)	〃
⑦	沈砂池設備 (2) 補助継電器盤	RY-2 (2)	〃
⑧	汚水ポンプ設備補助継電器盤	RY-2	〃
⑨	No. 1汚水ポンプVVVF盤	VF-P1	〃
⑩	No. 2汚水ポンプVVVF盤	VF-P2	〃
⑪	No. 3汚水ポンプVVVF盤	VF-P3	〃
⑫	直流電源盤	DC-1	〃
⑬	遠方制御盤 (鴨川親局)	TM-2	〃
⑭	遠方制御盤 (芝川親局)	TM-1	〃
⑮	入出力装置	SQC-1	〃
⑯	入出力装置	SQC-2	〃
⑰	汎用UPS	CV-1	〃
⑱	蓄電池盤	CV-2	〃
⑲	操作卓制御装置	DP-COT	〃
⑳	監視用補助継電器盤	RC-1	〃

NO.	名 称	記 号	備 考
㉑	変換器盤	1H	既 設
㉒	分電盤	1B	〃
㉓	POD制御箱		〃
㉔	大型ディスプレイ		既 設
㉕	芝川用監視操作卓	DP	〃
㉖	データ・CRT装置 (2)	CRT-2	〃
㉗	データ・CRT装置 (3)	LCD-DP	〃
㉘	データ・CRT装置 (1)	CRT-1	〃
㉙	管理用パソコン		〃
㉚	プリンタ	PR-1	〃
㉛	プリンタ	PR-2	〃
㉜	仮設発電機 (200kVA)		仮 設
㉝	仮設燃料小出槽 (950L)		仮 設

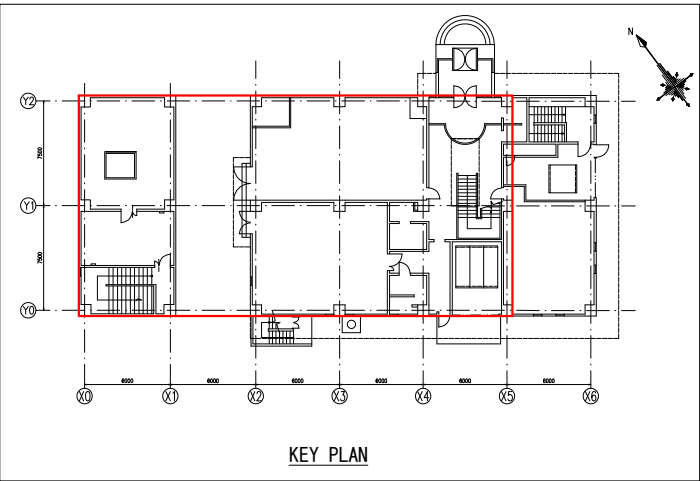
注記)

1. は今回工事 (仮設) を示す。
2. 10号消火器 (ABC) を1本設置すること。

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	1階・2階平面図 (仮設図)		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	1/100	図面番号	PE-08
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		



地下1階 平面図 (1/100)



- 注記)
1. は今回工事(仮設)を示す。
 2. 土木工事期間中のみ既設ポンプ井超音波式水位計の移設を行う。

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	地下1階平面図 (仮設図)		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	1/100	図面番号	PE-09
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		

芝川ポンプ場（改修）（ 1/ 1）

配 線 表

配線番号	自		至		配 線 仕 様	端 末	接 地 線	電 線 管	備 考
	記 号	名 称	記 号	名 称	種別、サイズ、芯数、本数		種別、サイズ	種別、サイズ、本数	
■ 1	LCB-9	緊急しゃ断弁操作盤		引き戻し点A	CVV-S 2 [□] - 2 [○]			GP 36 ^{mm}	
■ 2	"	"		"	CVV 2 [□] - 15 [○]				
■ 3	"	"		"	CVV 2 [□] - 10 [○]				
■ 4	"	"		緊急遮断弁	CVV-S 2 [□] - 2 [○]				
■ 5	"	"		引き戻し点A	600VCV 3.5 [□] - 2 [○]				
■ 6	"	"	LCB-8	床検水ポンプ操作盤	600VCV 3.5 [□] - 2 [○]				
■ 7		緊急遮断弁		引き戻し点A	600VCV 3.5 [□] - 1 [○]				
■ 8	LCB-9	緊急しゃ断弁操作盤		"	CVV 2 [□] - 15 [○]				
■ 9	"	"		"	CVV 2 [□] - 10 [○]				
■ 10		緊急遮断弁(LS)		"	CVV 2 [□] - 2 [○]				
■ 11	LCB-9	緊急しゃ断弁操作盤		"	600VCV 3.5 [□] - 2 [○]				
■ 12		緊急遮断弁開度計		"	600VCV 3.5 [□] - 2 [○]				
■ 13	LCB-9	緊急しゃ断弁操作盤		"	CVV-S 2 [□] - 2 [○]				
■ 14	■-17			"	600VCV 3.5 [□] - 2 [○]			GP 22 ^{mm}	
■ 15	"		LCB-9	緊急しゃ断弁操作盤	CVV-S 2 [□] - 2 [○]				
■ 16	"			引き戻し点A	CVV 2 [□] - 12 [○]			GP 54 ^{mm}	
■ 17	LCB-9	緊急しゃ断弁操作盤	LCB-8	床検水ポンプ操作盤	600VCV 3.5 [□] - 2 [○]				
■ 18	LCB-8	床検水ポンプ操作盤		引き戻し点A	CVV 3.5 [□] - 4 [○]			GP 70 ^{mm}	
■ 19	"	"		"	CVV 2 [□] - 20 [○]				
■ 20	"	"		"	CVV 2 [□] - 15 [○]				
■ 21	"	"		"	CVV 2 [□] - 20 [○]				
■ 22	"	"		"	CVV 2 [□] - 15 [○]				
■ 23	"	"		"	CVV 3.5 [□] - 4 [○]				
■ 24	■-13A			"	600VCV 3.5 [□] - 3 [○]				
■ 25	"			"	IV 3.5 [□]				
■ 26	■-13B			"	600VCV 3.5 [□] - 3 [○]				
■ 27	"			"	IV 3.5 [□]				
■ 28	■-13			"	CVV 2 [□] - 6 [○]				

芝川ポンプ場（撤去）（ 1/ 1）

配 線 表

配線番号	自		至		配 線 仕 様		端 末		接 地 線		電 線 管		備 考
	記 号	名 称	記 号	名 称	種別、サイズ、芯数、本数	屋外/屋内	種別、サイズ	種別、サイズ、本数					
S 1	LOB-9	緊急しゃ断弁操作盤		引き戻し点A	CVV-S 2 ^Φ - 2 ^Φ					GP 36 ^{mm}			
S 2	"	"		"	CVV 2 ^Φ - 15 ^Φ								
S 3	"	"		"	CVV 2 ^Φ - 10 ^Φ								
S 4	"	"		緊急遮断弁	CVV-S 2 ^Φ - 2 ^Φ								
S 5	"	"		引き戻し点A	600VGV 3.5 ^Φ - 2 ^Φ								
S 6	"	"	LOB-8	床排水ポンプ操作盤	600VGV 3.5 ^Φ - 2 ^Φ								
S 7		緊急遮断弁		引き戻し点A	600VGV 3.5 ^Φ - 1 ^Φ								
S 8	LOB-9	緊急しゃ断弁操作盤		"	CVV 2 ^Φ - 15 ^Φ								
S 9	"	"		"	CVV 2 ^Φ - 10 ^Φ								
S 10		緊急遮断弁(LS)		"	CVV 2 ^Φ - 2 ^Φ								
S 11	LOB-9	緊急しゃ断弁操作盤		"	600VGV 3.5 ^Φ - 2 ^Φ								
S 12		緊急遮断弁開度計		"	600VGV 3.5 ^Φ - 2 ^Φ								
S 13	LOB-9	緊急しゃ断弁操作盤		"	CVV-S 2 ^Φ - 2 ^Φ								
S 14	W-17			"	600VGV 3.5 ^Φ - 2 ^Φ					GP 22 ^{mm}			
S 15	"		LOB-9	緊急しゃ断弁操作盤	CVV-S 2 ^Φ - 2 ^Φ								
S 16	"			引き戻し点A	CVV 2 ^Φ - 12 ^Φ					GP 54 ^{mm}			
S 17	LOB-9	緊急しゃ断弁操作盤	LOB-8	床排水ポンプ操作盤	600VGV 3.5 ^Φ - 2 ^Φ								
S 18	LOB-8	床排水ポンプ操作盤		引き戻し点A	CVV 3.5 ^Φ - 4 ^Φ					GP 70 ^{mm}			
S 19	"	"		"	CVV 2 ^Φ - 20 ^Φ								
S 20	"	"		"	CVV 2 ^Φ - 15 ^Φ								
S 21	"	"		"	CVV 2 ^Φ - 20 ^Φ								
S 22	"	"		"	CVV 2 ^Φ - 15 ^Φ								
S 23	"	"		"	CVV 3.5 ^Φ - 4 ^Φ								
S 24	W-13A			"	600VGV 3.5 ^Φ - 3 ^Φ								
S 25	"			"	IV 3.5 ^Φ								
S 26	W-13B			"	600VGV 3.5 ^Φ - 3 ^Φ								
S 27	"			"	IV 3.5 ^Φ								
S 28	W-13			"	CVV 2 ^Φ - 6 ^Φ								

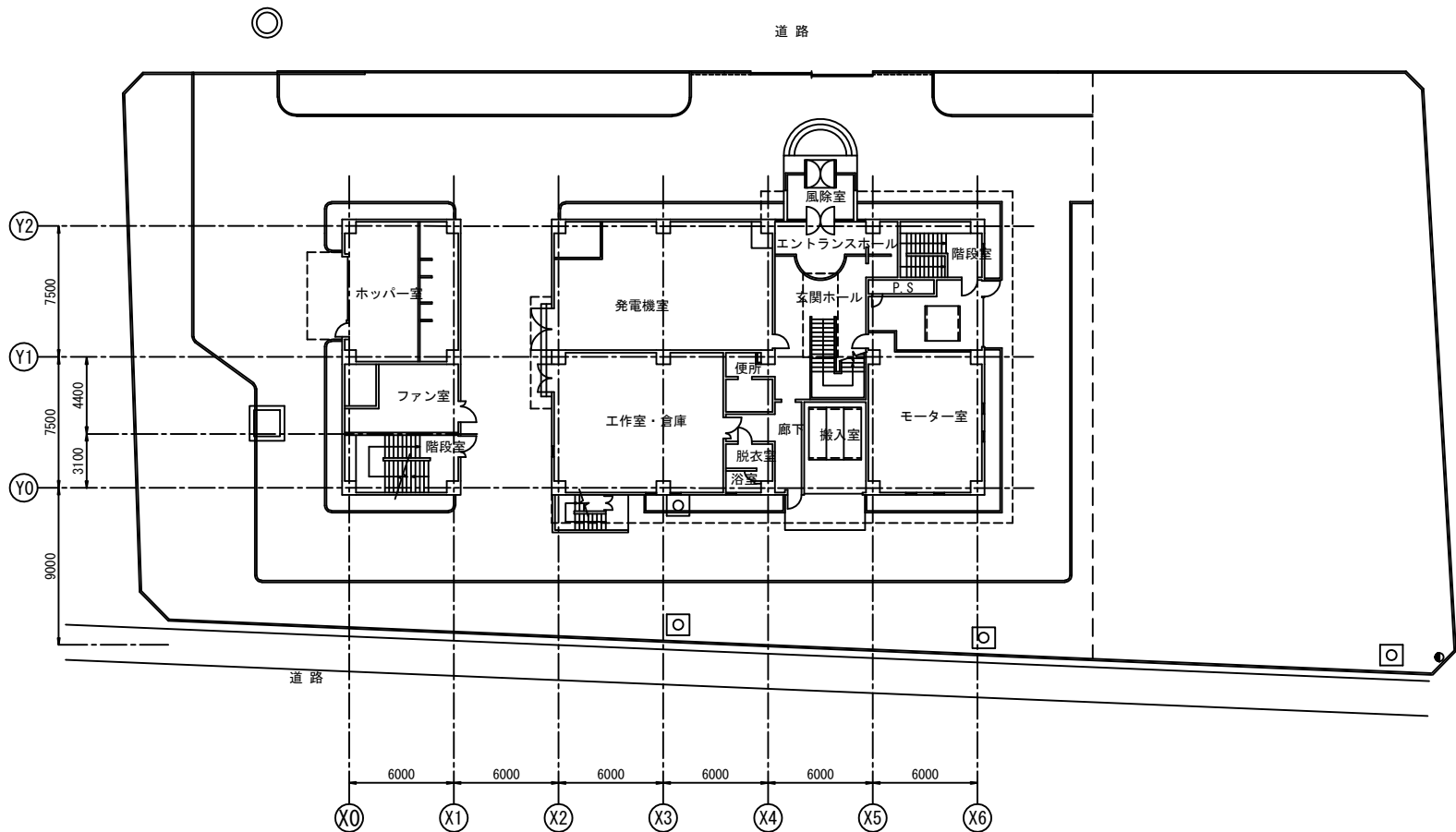
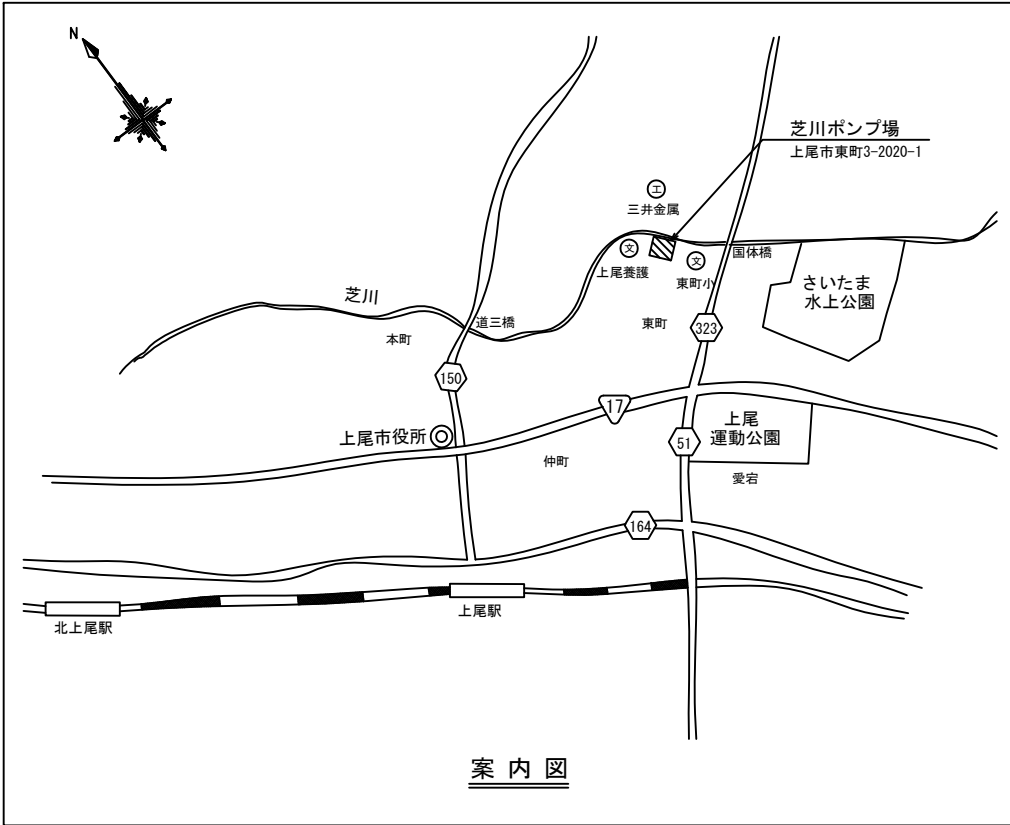
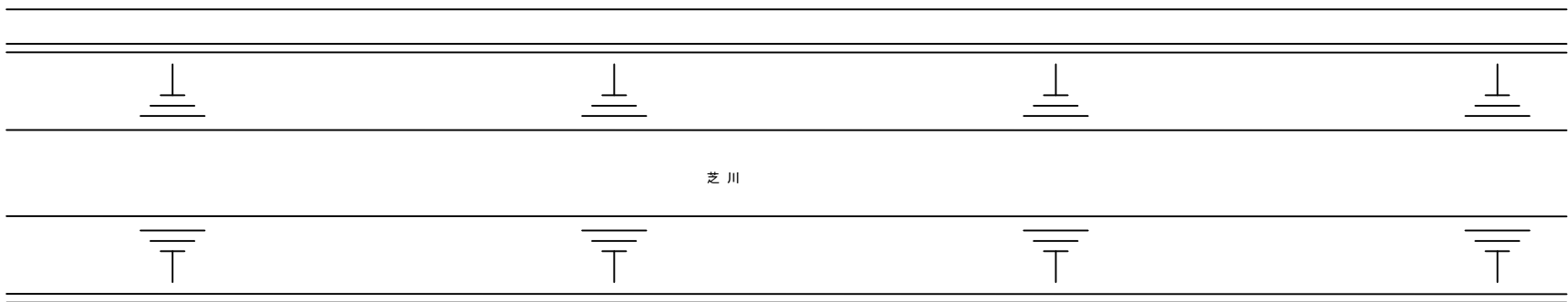
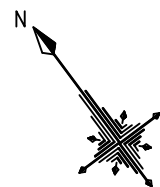
芝川ポンプ場（仮設）（ 1/ 1）

配線表

[illegible]

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	配線表		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	—	図面番号	PE-10
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		

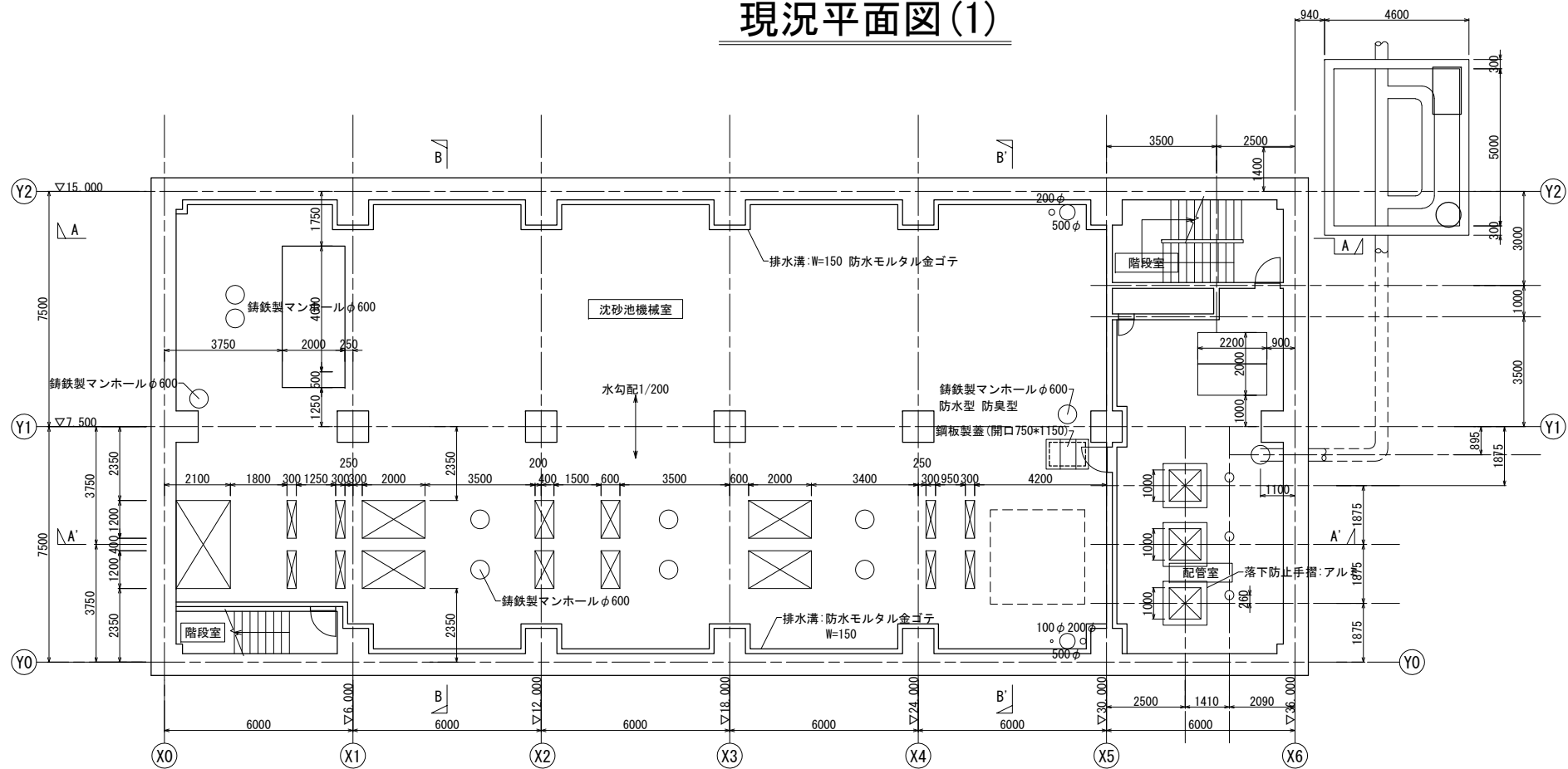
一般平面図・案内図



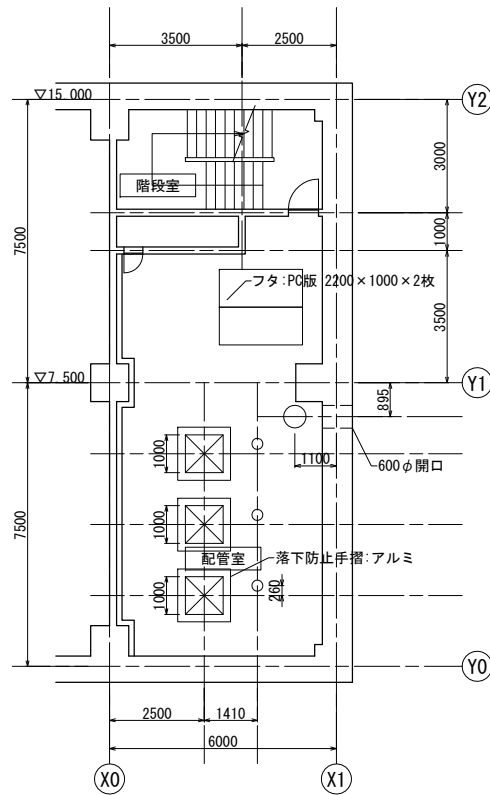
一般平面図 S=1/200

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	一般平面図・案内図		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	1/200	図面番号	C-01
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		

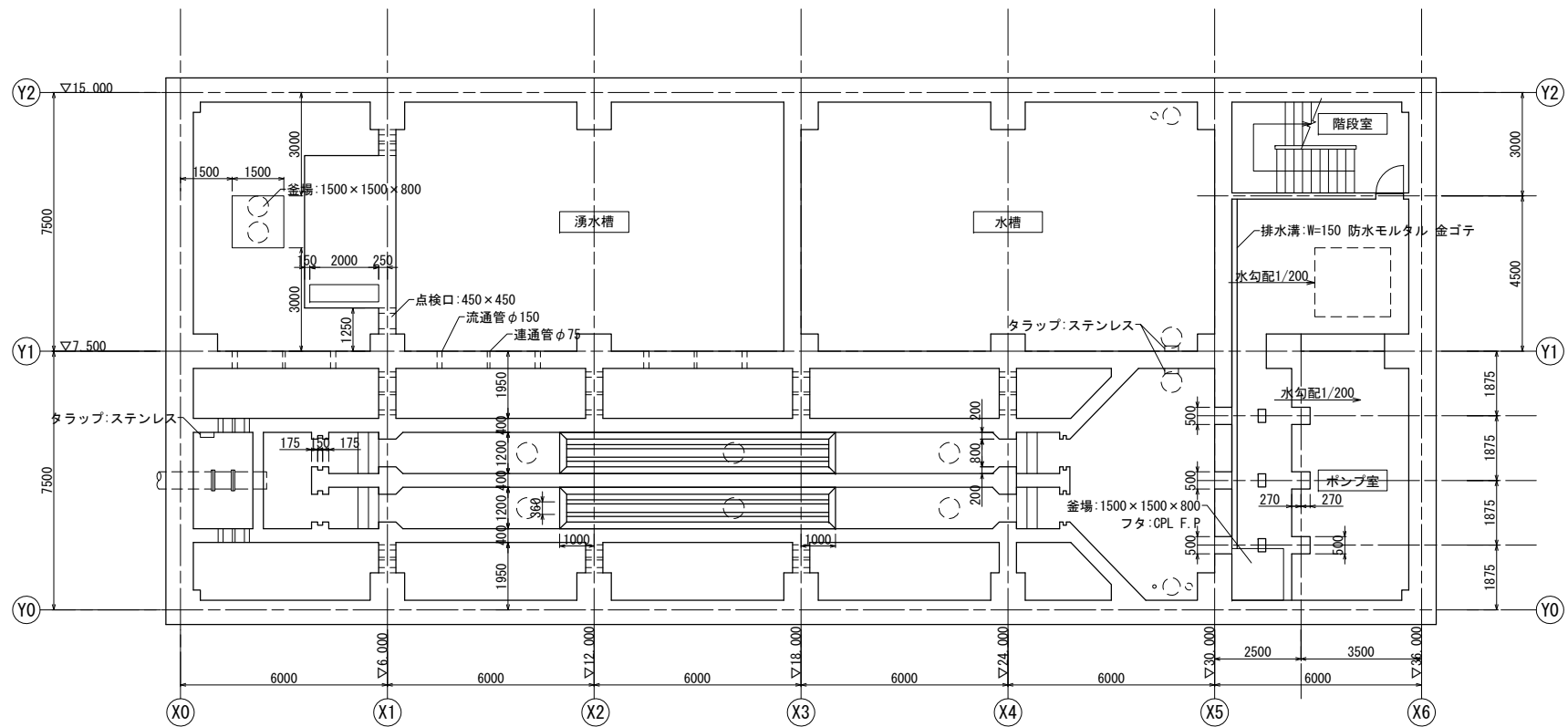
現況平面図(1)



地下1階平面図 1/100



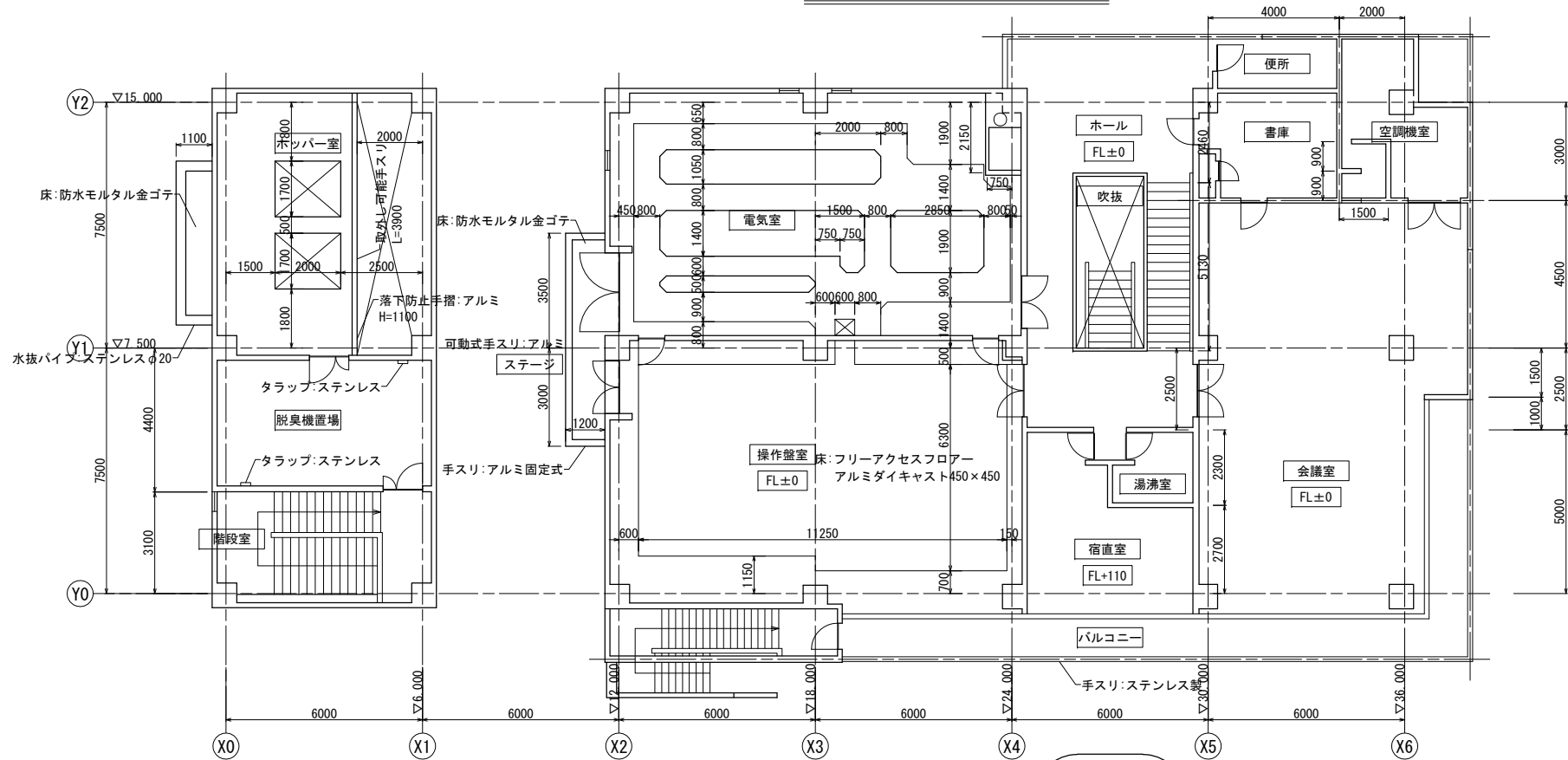
中1階平面図 1/100



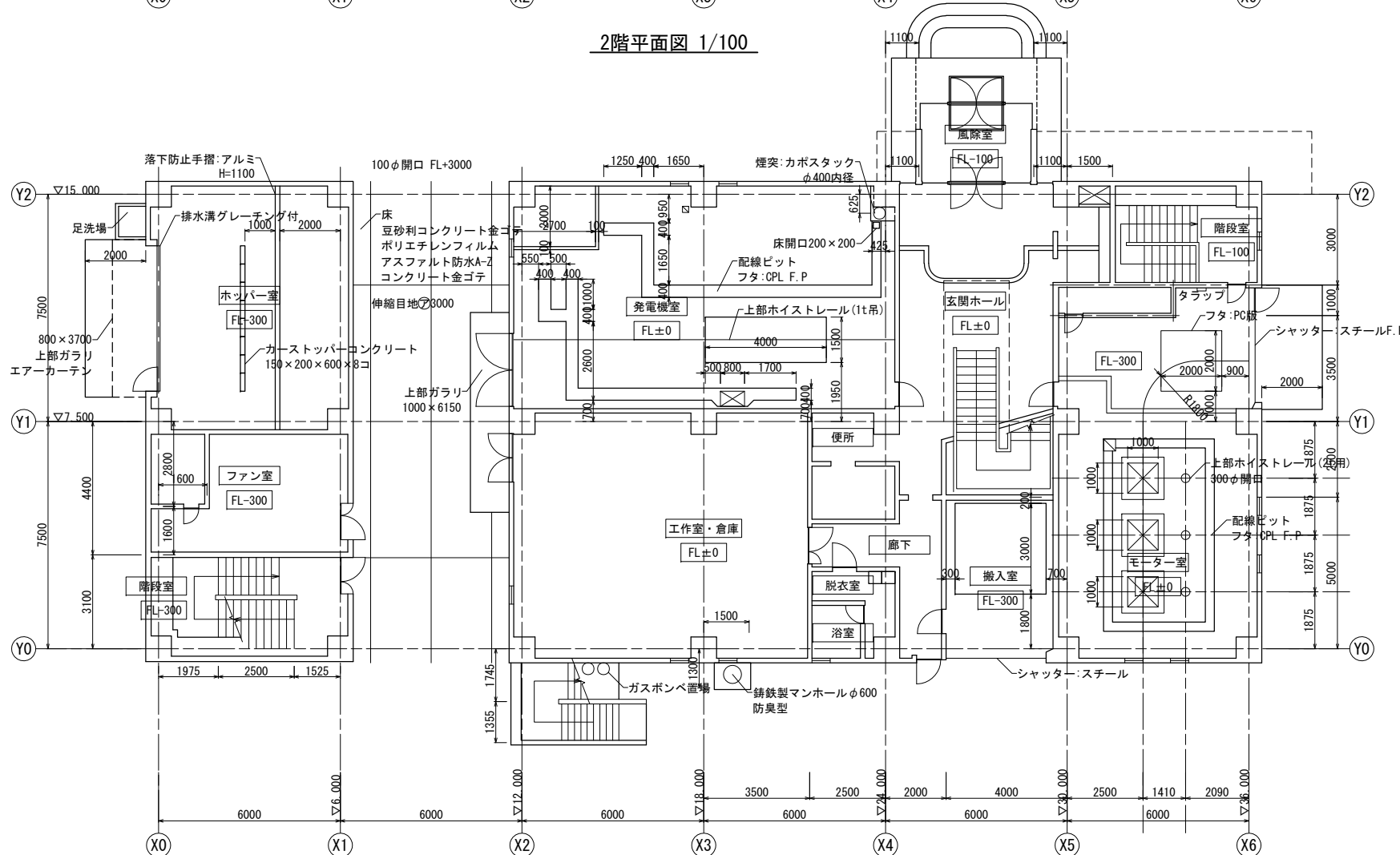
地下2階平面図 1/100

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	現況平面図(1)		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	1/100	図面番号	C-02
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		

現況平面図(2)



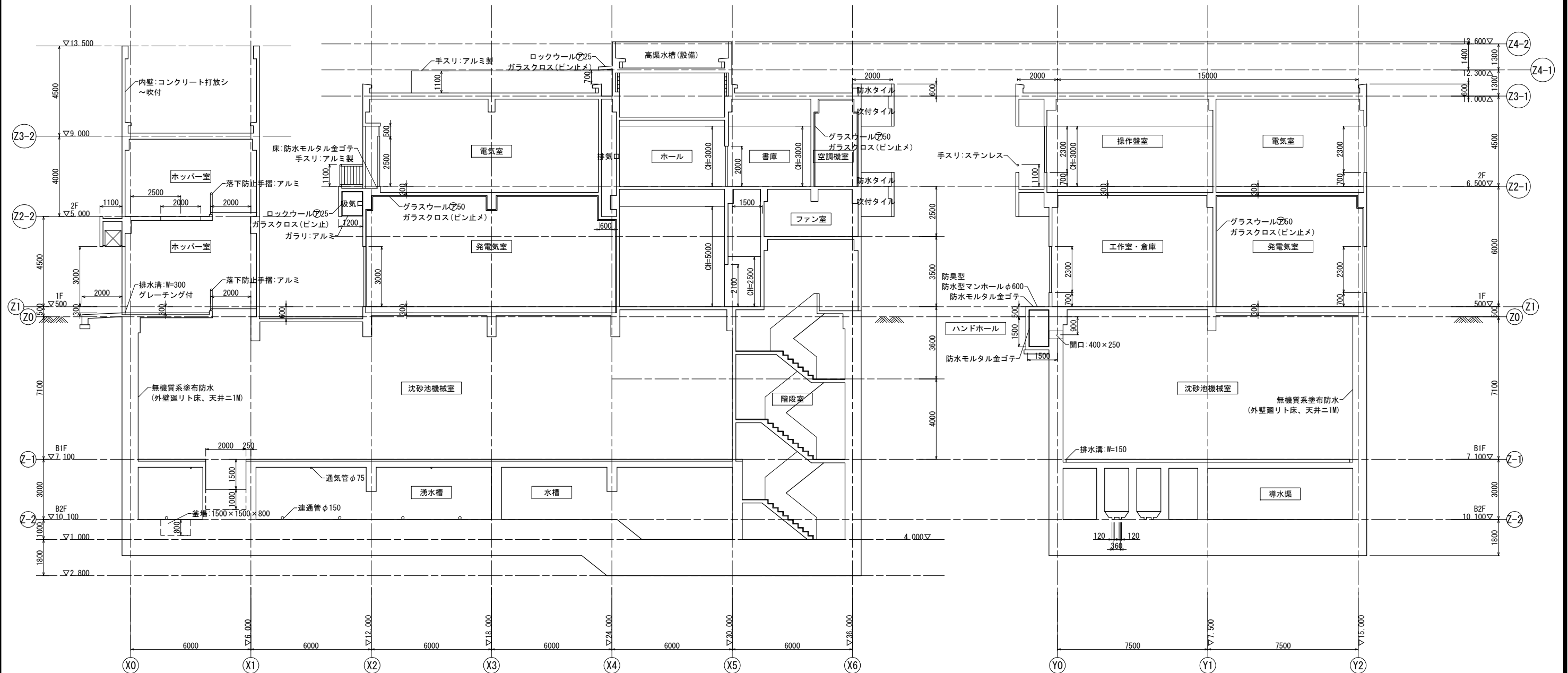
2階平面図 1/100



1階平面図 1/100

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	現況平面図(2)		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	1/100	図面番号	C-03
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		

現況断面図(1)

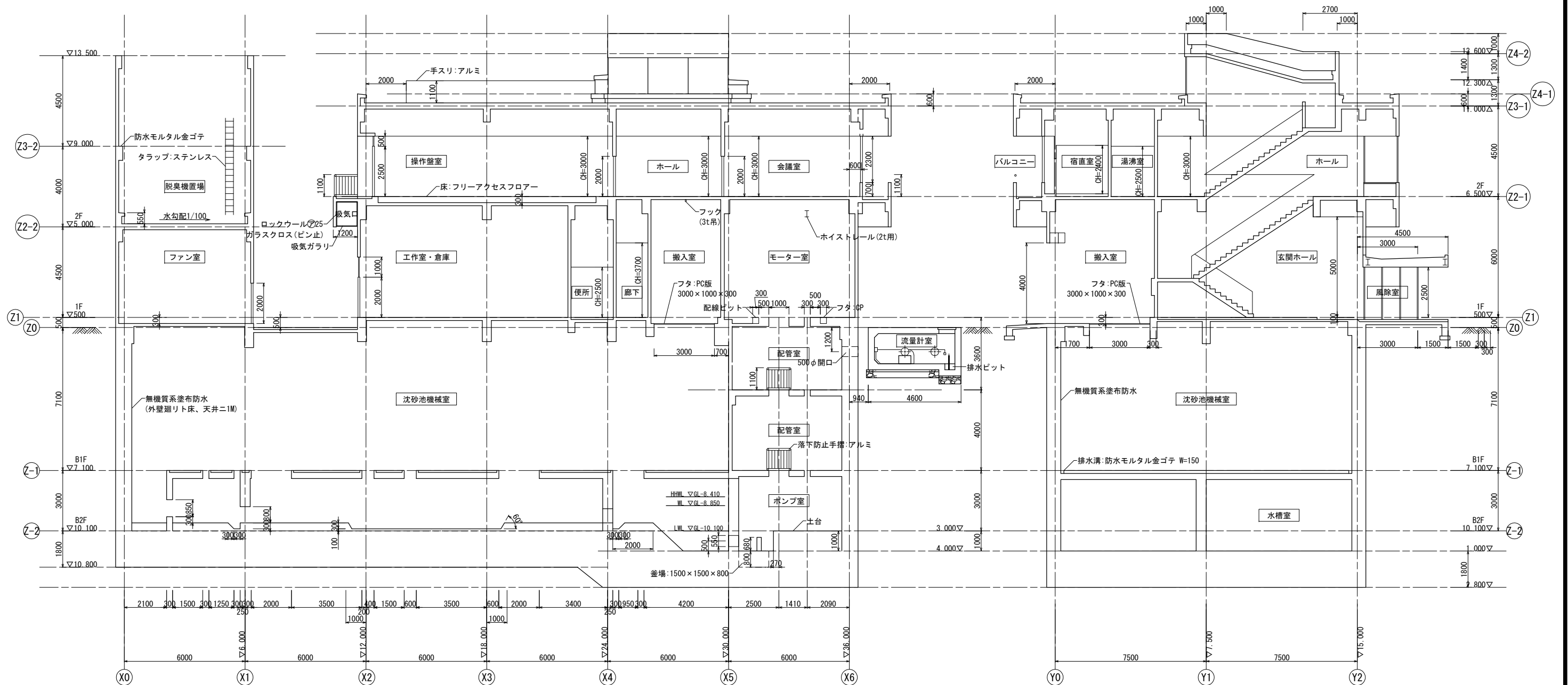


A-A断面図 1/100

B-B断面图 1/100

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	現況断面図(1)		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	1/100	図面番号	C-04
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		

現況断面図(2)

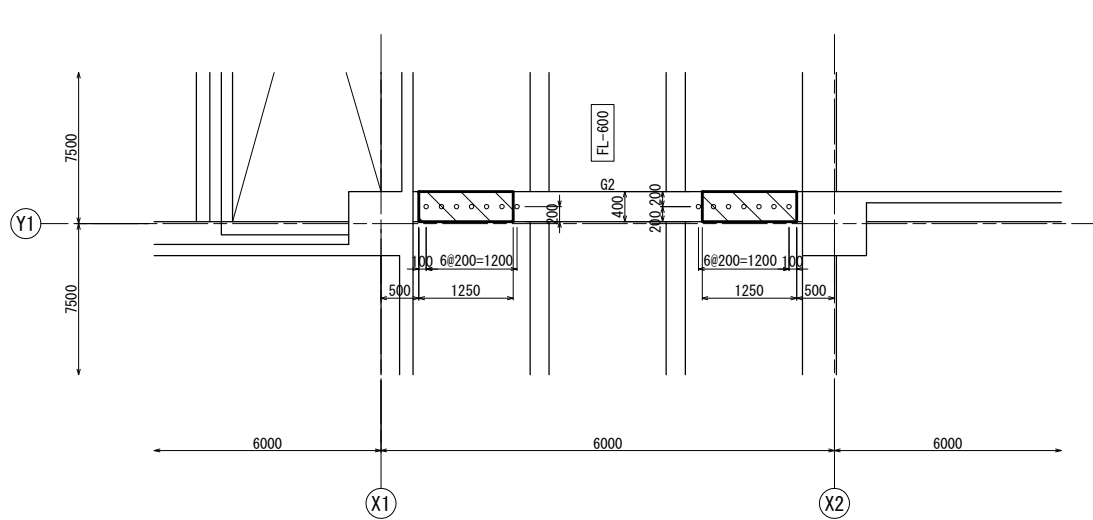


A'-A' 断面图 1/100

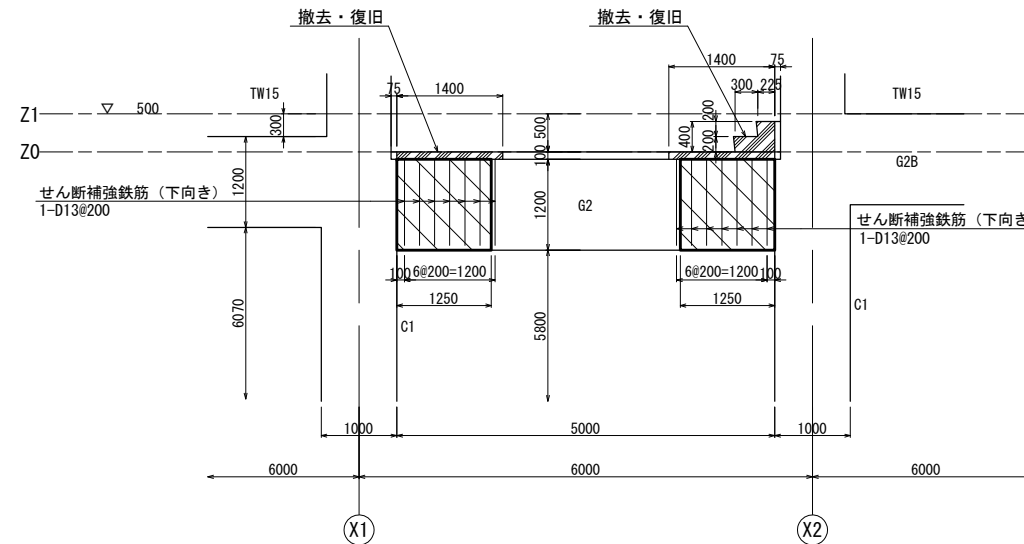
B'-B' 断面图 1/100

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	現況断面図(2)		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	1/100	図面番号	C-05
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		

芝川ポンプ場補強配筋図 梁(1)



平面図 1/50



A-A断面図 1/50

大梁リスト		[注記] 特記外		1. 腹筋	2-D13
				2. スターラップ	□-D13@200
				3. 巾止筋	▽-D10@800

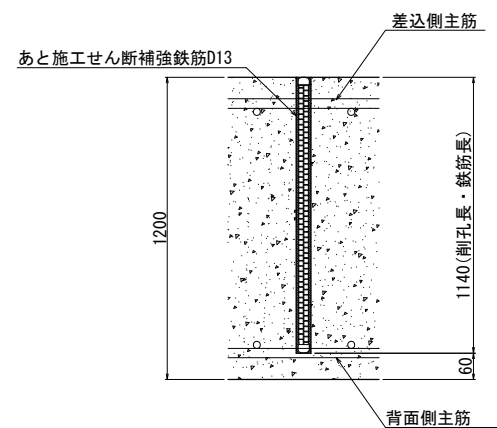
階	符号	G2 (, G2B)	
	位置	中央部	内端部
1	断面		
	上主筋	4-HD25	4-HD25
	下主筋	4-HD25	4-HD25
	腹筋	6-D13	
	スターラップ		

鉄筋補強工法 (X1通り側)

補 強 位 置	芝川ポンプ場
削孔長	1140mm
削孔径	φ30mm
補強鉄筋径・ピッチ	1-D13@200
せん断補強鉄筋長	1140mm
せん断補強鉄筋本数	7本
特記事項	下向き施工

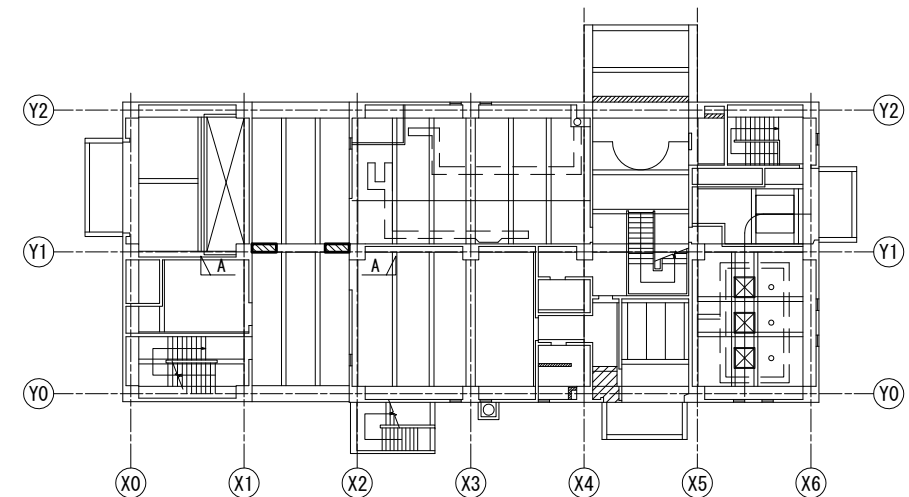
鉄筋補強工法 (X2通り側)

補 強 位 置	芝川ポンプ場
削孔長	1140mm
削孔径	φ30mm
補強鉄筋径・ピッチ	1-D13@200
せん断補強鉄筋長	1140mm
せん断補強鉄筋本数	7本
特記事項	下向き施工



あと施工せん断補強筋詳細図

- 使用鋼材
異形棒鋼SD345とする。
- 注意事項
 - 穿孔前に、既存鉄筋の位置を鉄筋探査等により確認し、既存鉄筋の損傷を極力避ける。
 - 施工に際し、アンカーの径・深さ・位置を確認し、アンカー埋込み前には穿孔内の切り粉等を除去する。
 - アンカーの削孔時に既存鉄筋に当たった場合は、耐力上支障のない部分に削孔位置を変更する。

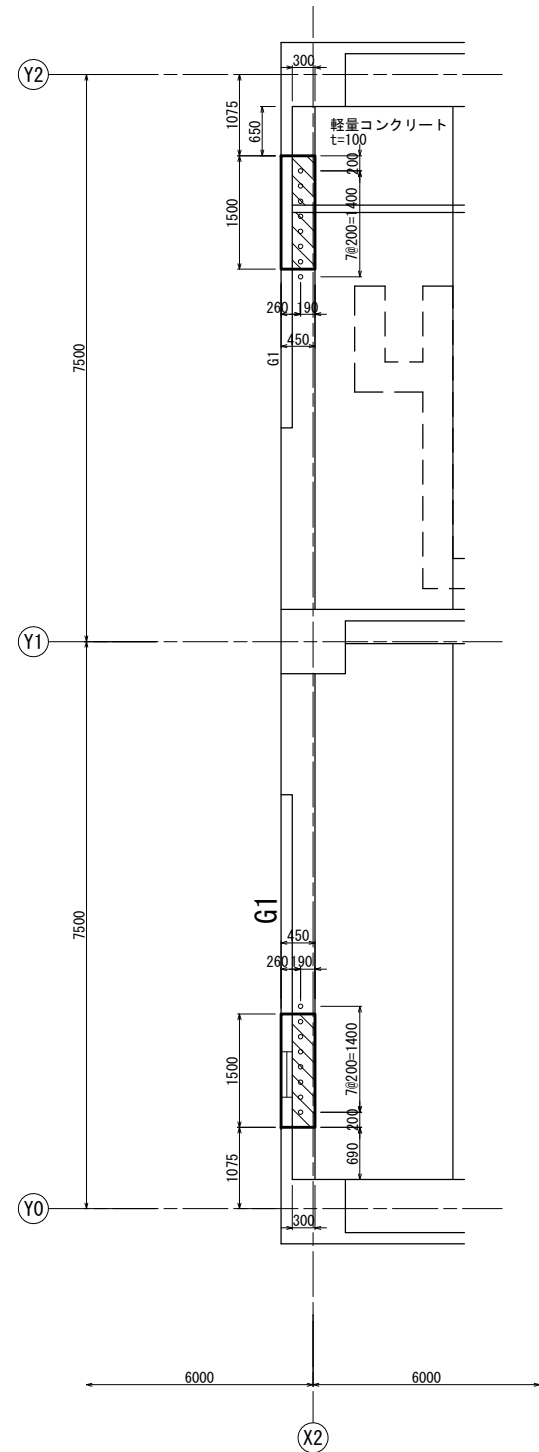


位置図
(1F平面図)

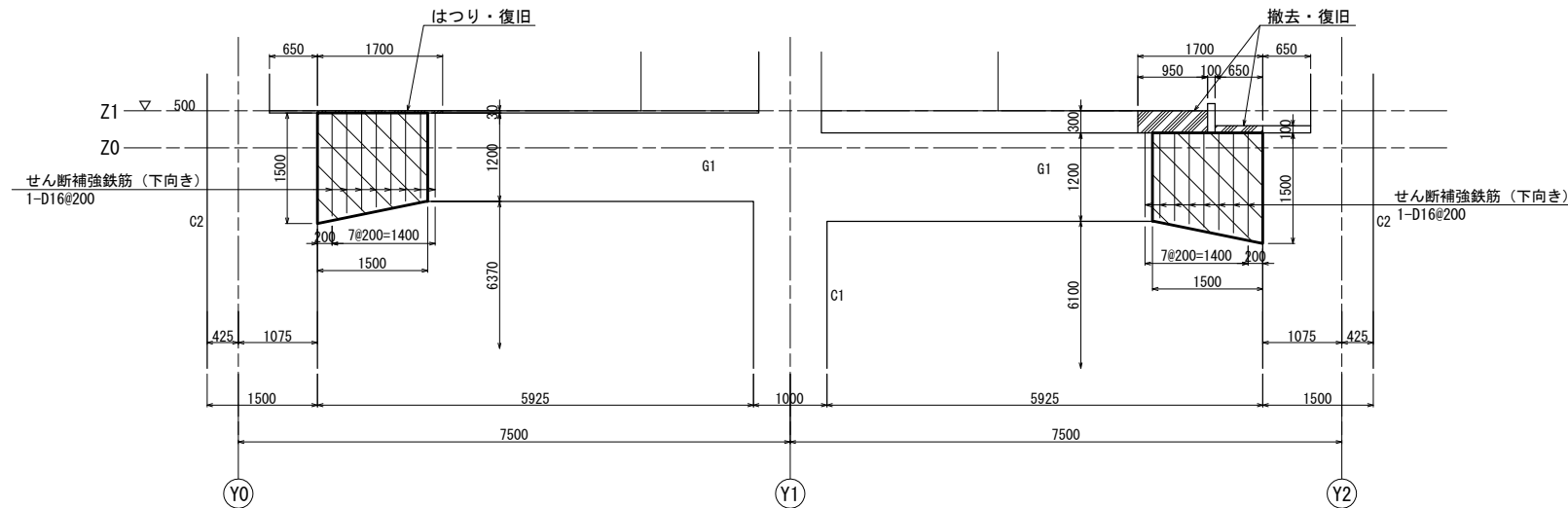
凡例
 : 補強範囲

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	芝川ポンプ場補強配筋図 梁(1)		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	1/50	図面番号	C-06
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		

芝川ポンプ場補強配筋図 梁(2)



平面図 1/50



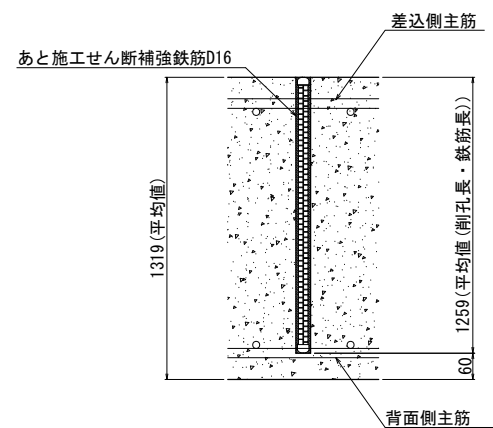
A-A断面図 1/50

鉄筋補強工法 (Y0通り側)

補 強 位 置	芝川ポンプ場 1F梁
削孔長	1259mm (平均値)
削孔径	φ 30mm
補強鉄筋径・ピッチ	1-D16@200
せん断補強鉄筋長	1259mm (平均値)
せん断補強鉄筋本数	8本
特記事項	下向き施工

鉄筋補強工法 (Y2通り側)

補 強 位 置	芝川ポンプ場 1F梁
削孔長	1259mm (平均値)
削孔径	φ 30mm
補強鉄筋径・ピッチ	1-D16@200
せん断補強鉄筋長	1259mm (平均値)
せん断補強鉄筋本数	8本
特記事項	下向き施工

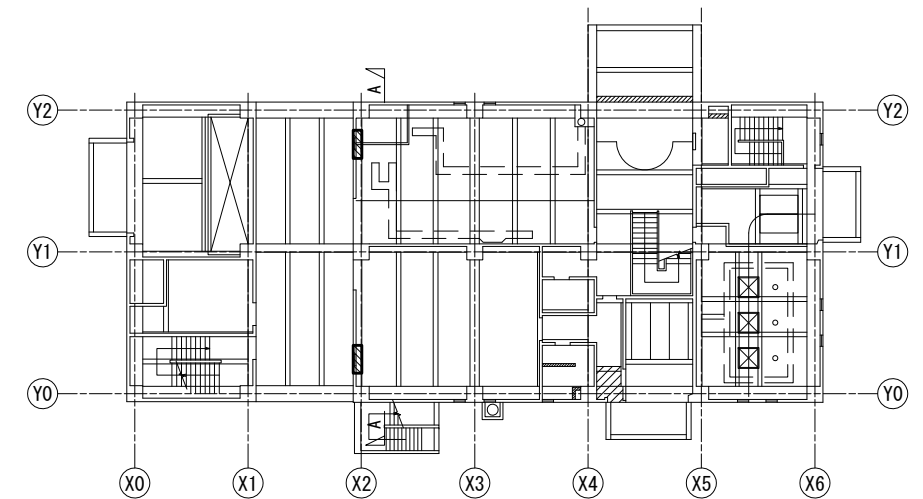


あと施工せん断補強筋詳細図

- 使用鋼材
異形棒鋼SD345とする。
- 注意事項
1) 穿孔前に、既存鉄筋の位置を鉄筋探査器等により確認し、既存鉄筋の損傷を極力避ける。
2) 施工に際し、アンカーの径・深さ・位置を確認し、アンカー埋込み前には穿孔内の切り粉等を除去する。
3) アンカーの削孔時に既存鉄筋に当たった場合は、耐力上支障のない部分に削孔位置を変更する。

大梁リスト	〔注記〕特記外 1. 腹筋 2-D13 2. スターラップ □-D13@200 3. 巾止筋 〓-D10@800
-------	--

階	符号	G1		
	位置	外端部	中央部	内端部
1	断面	1500	1200	1200
	上主筋	7-HD25	4-HD25	4-HD25
	下主筋	4-HD25	4-HD25	4-HD25
	腹筋	6-D13		
	スターラップ			

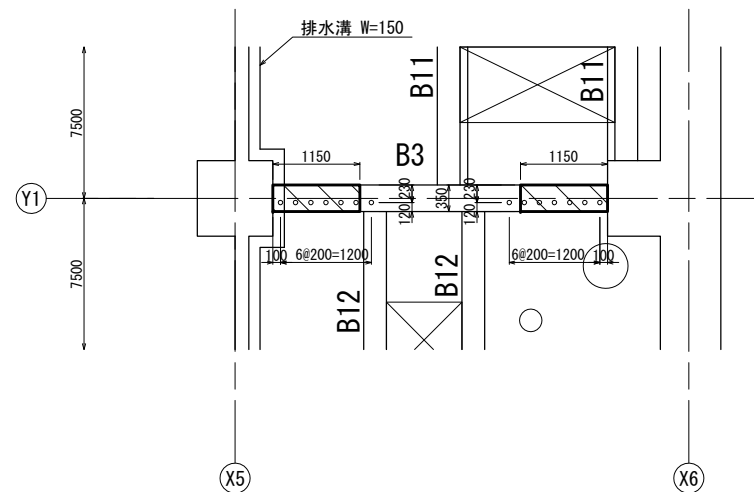


位置図
(1F平面図)

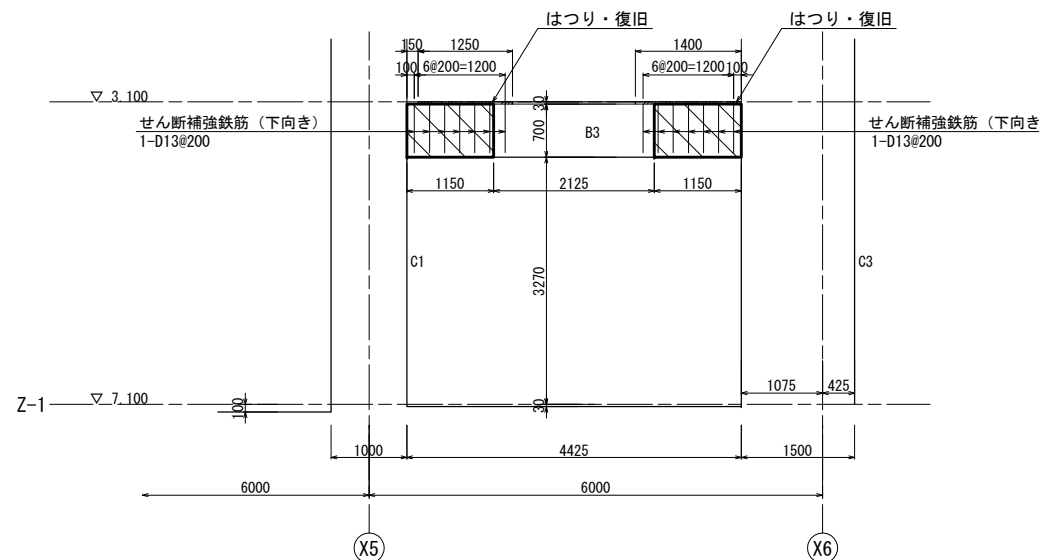
凡例
補強範囲

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	芝川ポンプ場補強配筋図 梁(2)		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	1/50	図面番号	C-07
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		

芝川ポンプ場補強配筋図 梁(3)



平面図 1/50



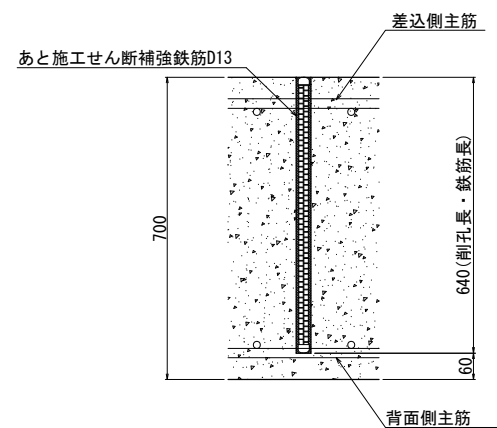
A-A断面図 1/50

小梁リスト		[注記] 特記外	
		1. 腹筋	2-D10 (但 D=600以上)
		2. スターラップ	□-D10@200
		3. 巾止筋	▽-D10@800

階	符号	B3	
	位置	端部	中央部
M1	断面		
	上主筋	3-D22	3-D22
	下主筋	3-D22	5-D22
	腹筋		
	スターラップ		

鉄筋補強工法 (X5通り側)

補 強 位 置	芝川ポンプ場
	M1F梁
削孔長	640mm
削孔径	φ 30mm
補強鉄筋径・ピッチ	1-D13@200
せん断補強鉄筋長	640mm
せん断補強鉄筋本数	7本
特記事項	下向き施工

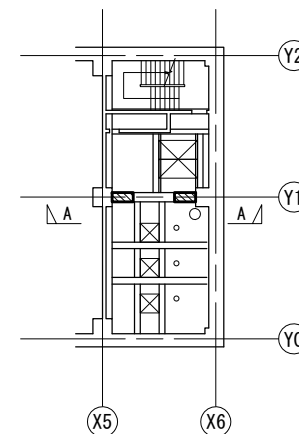


あと施工せん断補強筋詳細図

鉄筋補強工法 (X6通り側)

補 強 位 置	芝川ポンプ場
	M1F梁
削孔長	640mm
削孔径	φ 30mm
補強鉄筋径・ピッチ	1-D13@200
せん断補強鉄筋長	640mm
せん断補強鉄筋本数	7本
特記事項	下向き施工

- 使用鋼材
異形棒鋼SD345とする。
- 注意事項
1) 穿孔前に、既存鉄筋の位置を鉄筋探査等により確認し、既存鉄筋の損傷を極力避ける。
2) 施工に際し、アンカーの径・深さ・位置を確認し、アンカー埋込み前には穿孔内の切り粉等を除去する。
3) アンカーの削孔時に既存鉄筋に当たった場合は、耐力上支障のない部分に削孔位置を変更する。

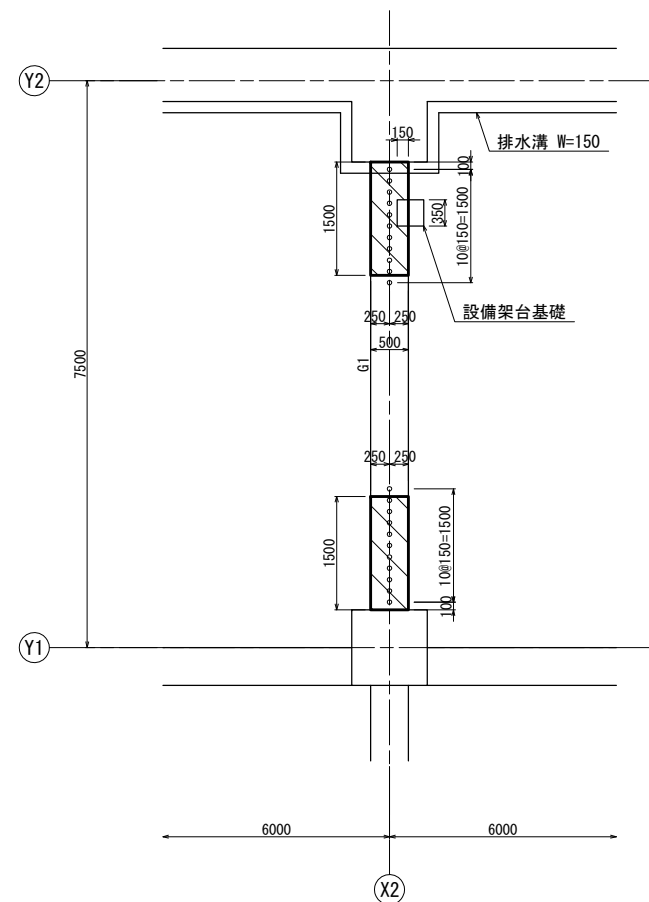


位置図
(M1F平面図)

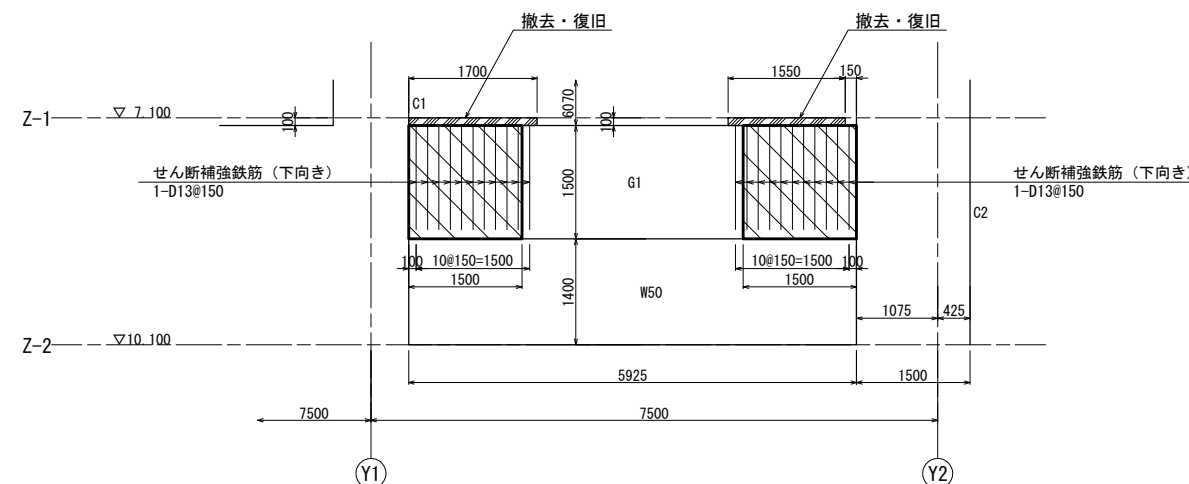
凡例
補強範囲

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	芝川ポンプ場補強配筋図 梁(3)		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	1/50	図面番号	C-08
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		

芝川ポンプ場補強配筋図 梁(4)



平面図 1/50



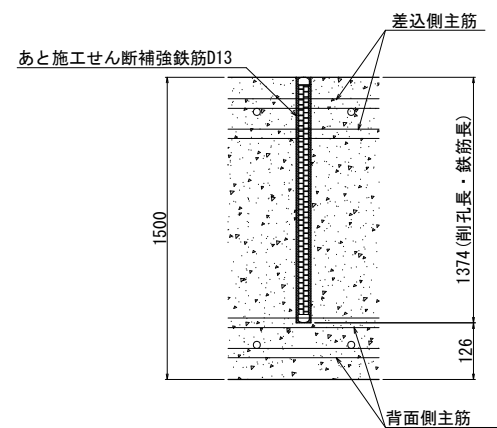
A-A断面図 1/50

大梁リスト		[注記] 特記外		1. 腹筋	2-D13
				2. スターラップ	□-D13@200
				3. 巾止筋	▽-D10@800

階	符号	G1		
	位置	外端部	中央部	内端部
B1	断面			
	上主筋	7-HD25	4-HD25	5-HD25
	下主筋	7-HD25	5-HD25	4-HD25
	腹筋	8-D13		
	スターラップ	-D13@150□		

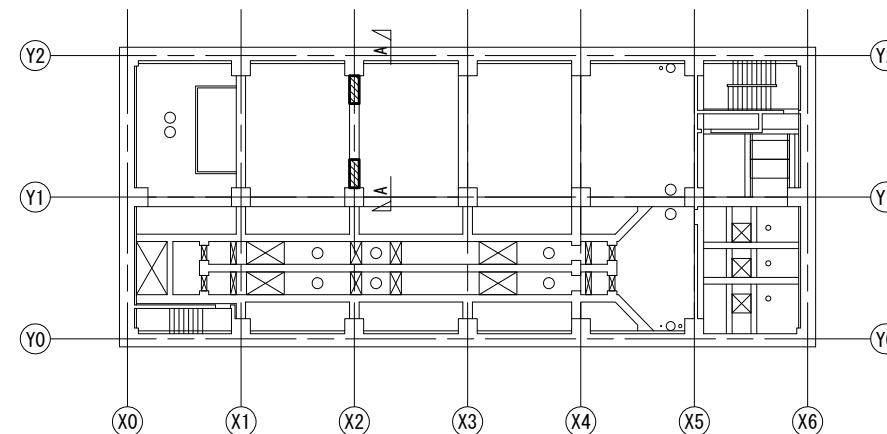
鉄筋補強工法 (Y1通り側)

補 強 位 置	芝川ポンプ場
	B1F梁
削孔長	1374mm
削孔径	φ30mm
補強鉄筋径・ピッチ	1-D13@150
せん断補強鉄筋長	1374mm
せん断補強鉄筋本数	11本
特記事項	下向き施工



あと施工せん断補強筋詳細図

- 使用鋼材
異形棒鋼SD345とする。
- 注意事項
 - 穿孔前に、既存鉄筋の位置を鉄筋探査等により確認し、既存鉄筋の損傷を極力避ける。
 - 施工に際し、アンカーの径・深さ・位置を確認し、アンカー埋込み前には穿孔内の切り粉等を除去する。
 - アンカーの削孔時に既存鉄筋に当たった場合は、耐力上支障のない部分に削孔位置を変更する。

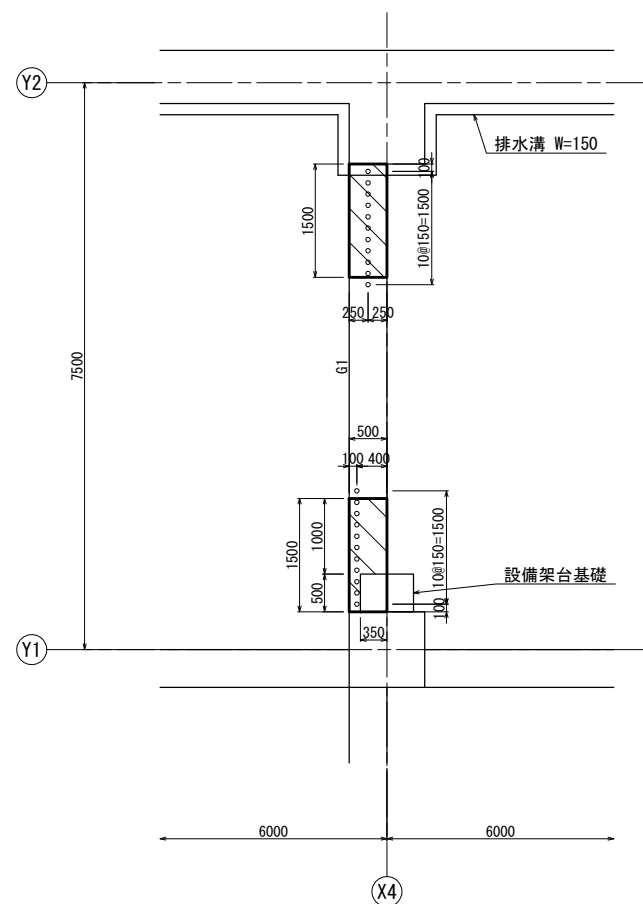


位置図
(B1F平面図)

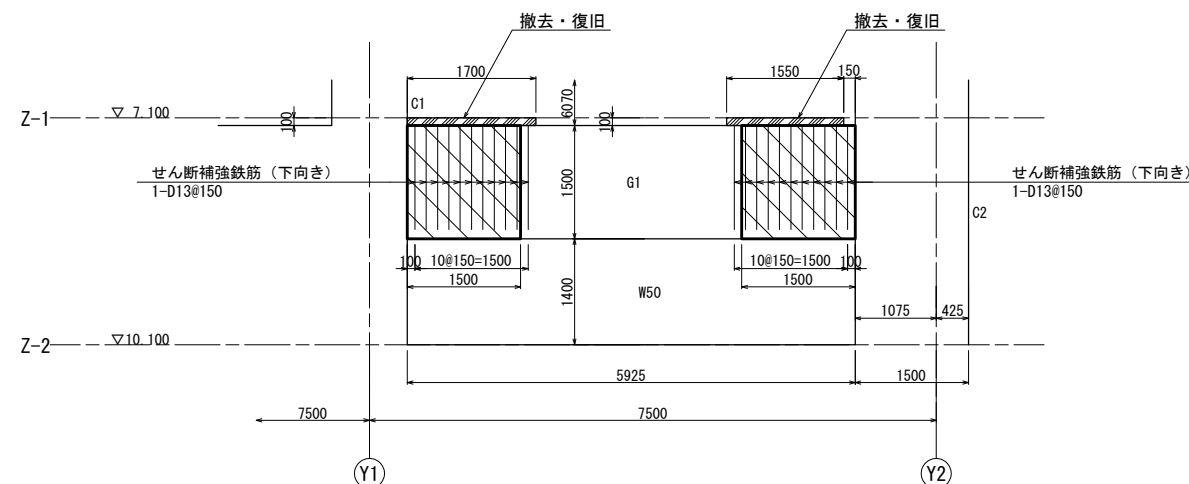
凡例
 : 補強範囲

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	芝川ポンプ場補強配筋図 梁(4)		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	1/50	図面番号	C-09
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		

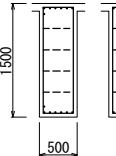
芝川ポンプ場補強配筋図 梁(5)



平面图 1/50

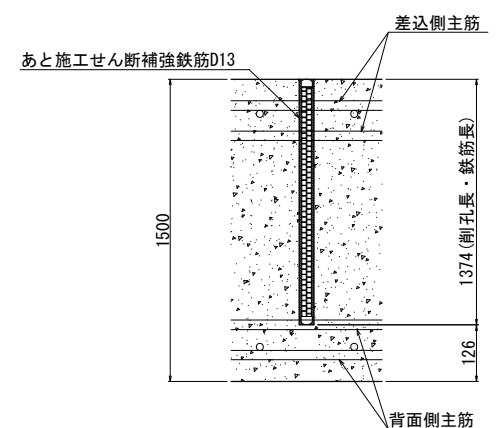


A-A断面図 1/50

大梁リスト		[注記] 特記外 1. 腹筋 2. スターラップ □-D13@200 3. 巾止筋 ワ- D10@800			2-D13
階	符号	G1			
	位置	外端部	中央部	内端部	
B1	断面				
	上主筋	7-HD25	4-HD25	5-HD25	
	下主筋	7-HD25	5-HD25	4-HD25	
	腹筋	8-D13			
	スターラップ	-D13@150□			

鉄筋補強工法(Y1通り側)

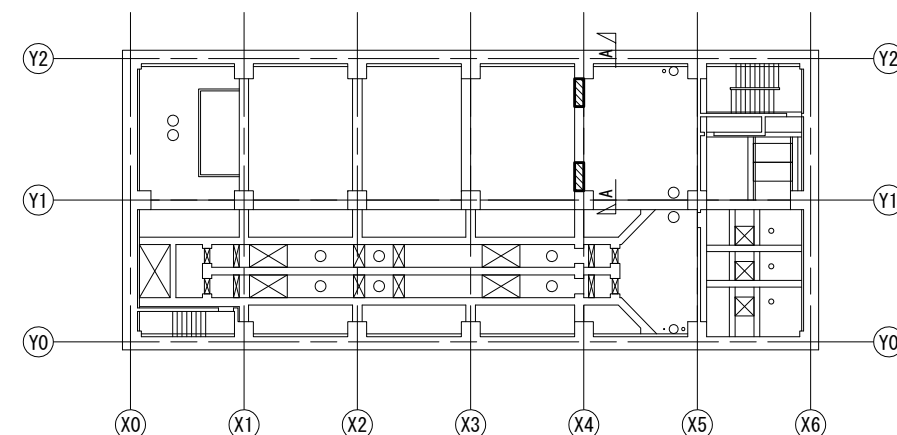
補 強 位 置	芝川ポンプ場
	B1F梁
削孔長	1374mm
削孔径	φ 30mm
補強鉄筋径・ピッチ	1-D13@150
せん断補強鉄筋長	1374mm
せん断補強鉄筋本数	11本
特記事項	下向き施工



あと施工せん断補強筋詳細図

鉄筋補強工法(Y2通り側)

補 強 位 置	芝川ポンプ場
	B1F梁
削孔長	1374mm
削孔径	φ 30mm
補強鉄筋径・ピッチ	1-D13@150
せん断補強鉄筋長	1374mm
せん断補強鉄筋本数	11本
特記事項	下向き施工



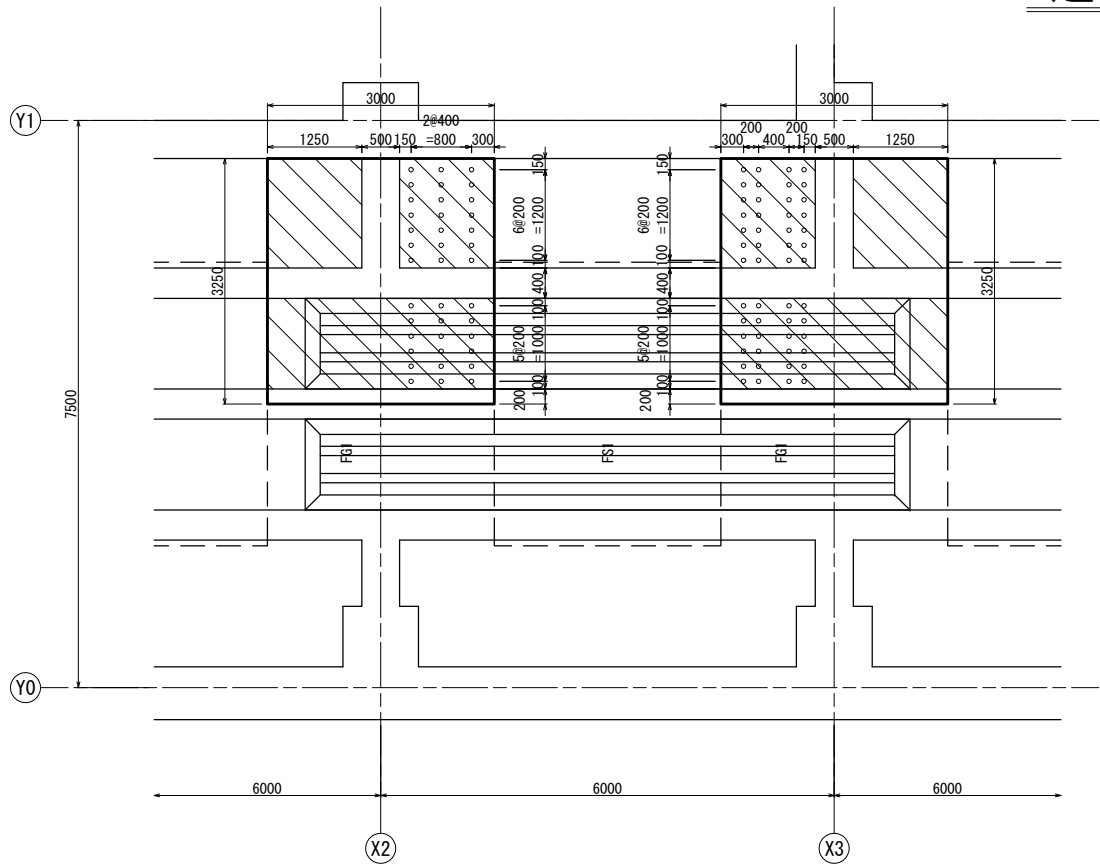
位置図
(B1F平面図)

凡例

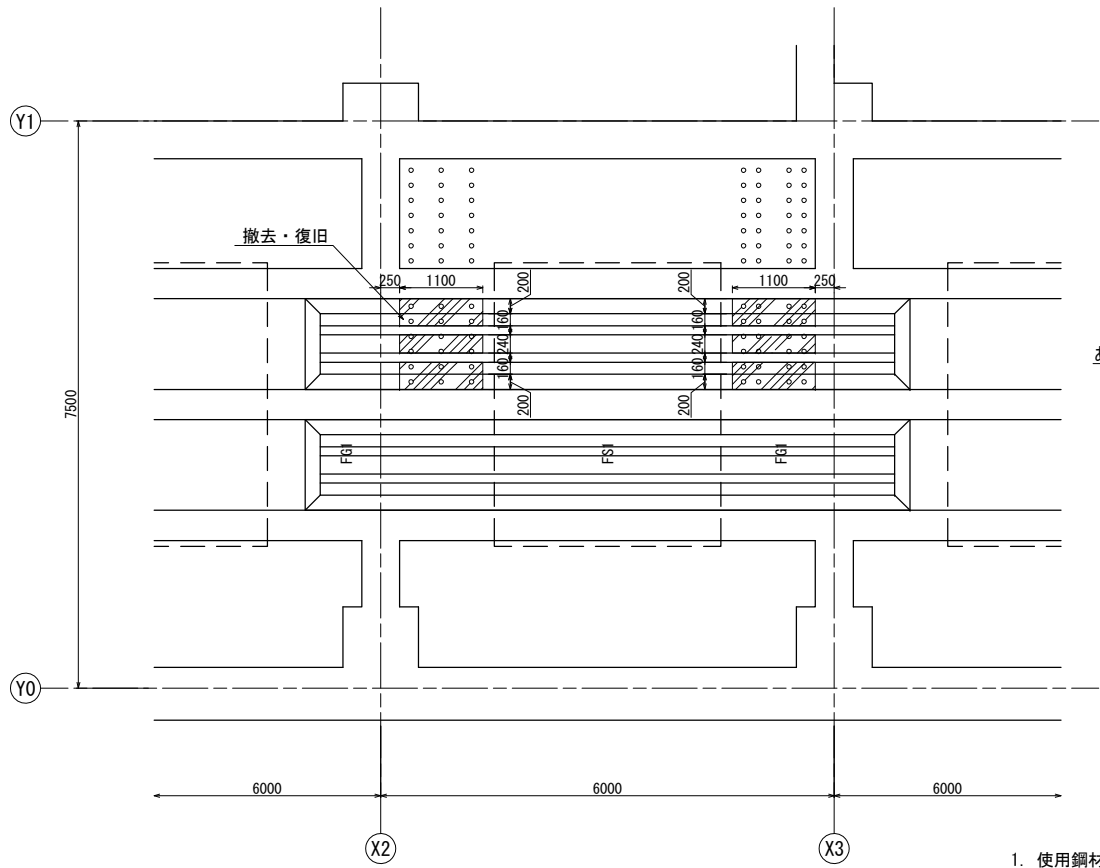
 :補強範圍

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	芝川ポンプ場補強配筋図 梁(5)		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	1/50	図面番号	C-10
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		

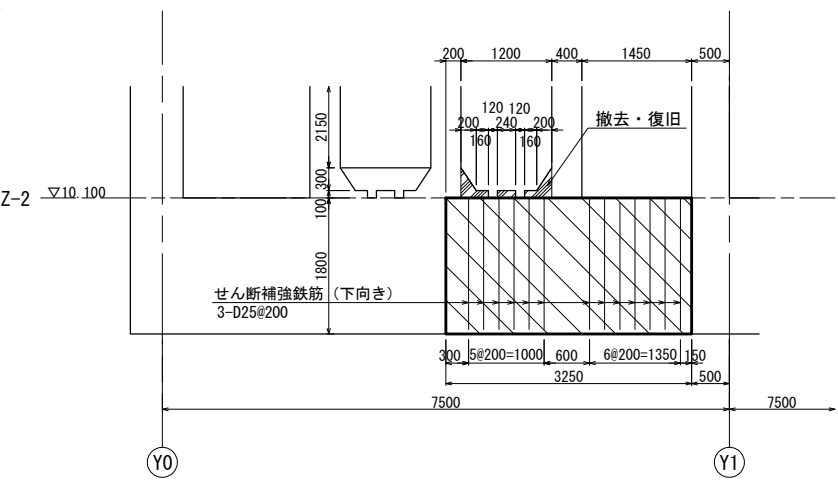
芝川ポンプ場補強配筋図 梁(6)



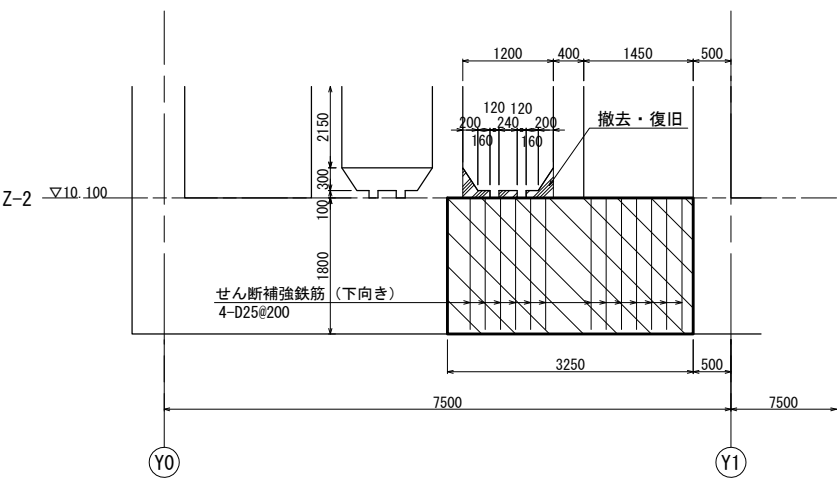
平面図 1/50



撤去・復旧範囲図 1/50



A-A断面図 1/50



B-B断面図 1/50

鉄筋補強工法 (X2通り)

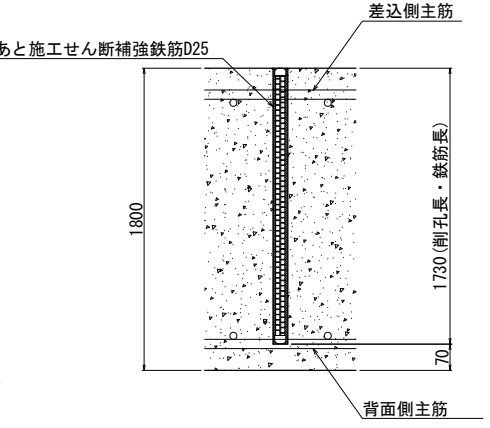
補 強 位 置	芝川ポンプ場
削孔長	1730mm
削孔径	φ46mm
補強鉄筋径・ピッチ	3-D25@200
せん断補強鉄筋長	1730mm
せん断補強鉄筋本数	39本
特記事項	下向き施工

鉄筋補強工法 (X3通り)

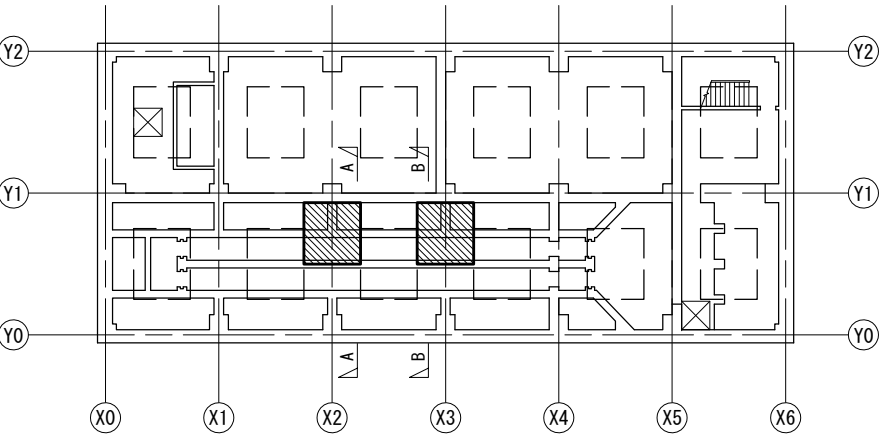
補 強 位 置	芝川ポンプ場
削孔長	1730mm
削孔径	φ46mm
補強鉄筋径・ピッチ	4-D25@200
せん断補強鉄筋長	1730mm
せん断補強鉄筋本数	52本
特記事項	下向き施工

基礎梁リスト

符号	FG1		
位置	外端部	中央部	内端部
断面			
上主筋	16-D22	16-D22	20-D22
下主筋	20-D25	20-D25	31-D25



あと施工せん断補強筋詳細図

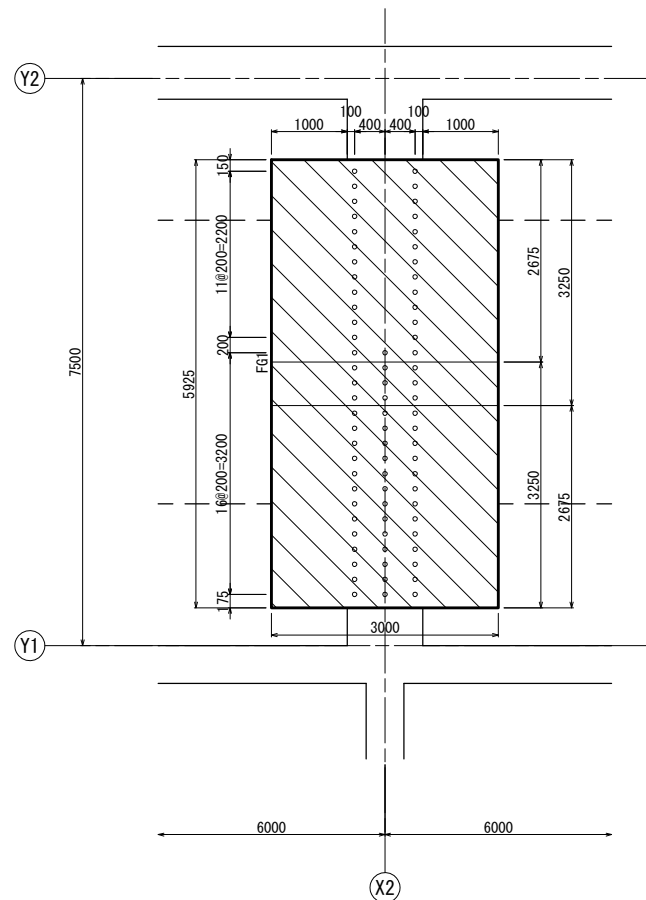


位置図
(B2F平面図)

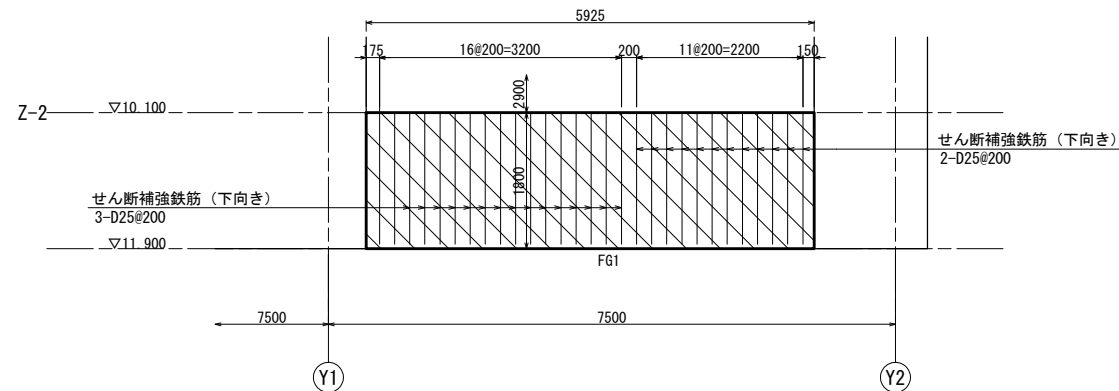
- 使用鋼材
異形棒鋼SD345とする。
- 注意事項
1) 穿孔前に、既存鉄筋の位置を鉄筋探査器等により確認し、既存鉄筋の損傷を極力避ける。
2) 施工に際し、アンカーの径・深さ・位置を確認し、アンカー埋込み前には穿孔内の切り粉等を除去する。
3) アンカーの削孔時に既存鉄筋に当たった場合は、耐力上支障のない部分に削孔位置を変更する。

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	芝川ポンプ場補強配筋図 梁(6)		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	1/50	図面番号	C-11
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		

芝川ポンプ場補強配筋図 梁(7)



平面図 1/50



A-A断面図 1/50

基礎梁リスト

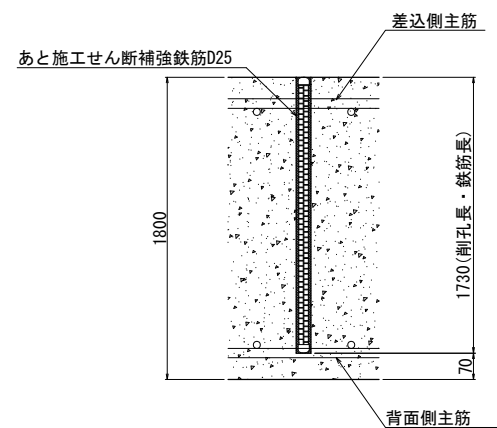
符号	FG1		
位置	外端部	中央部	内端部
断面			
上主筋	16-D22	16-D22	20-D22
下主筋	20-D25	20-D25	31-D25

鉄筋補強工法 (Y1通り側)

補 強 位 置	芝川ポンプ場 B2F梁
削孔長	1730mm
削孔径	φ46mm
補強鉄筋径・ピッチ	3-D25@200
せん断補強鉄筋長	1730mm
せん断補強鉄筋本数	51本
特記事項	下向き施工

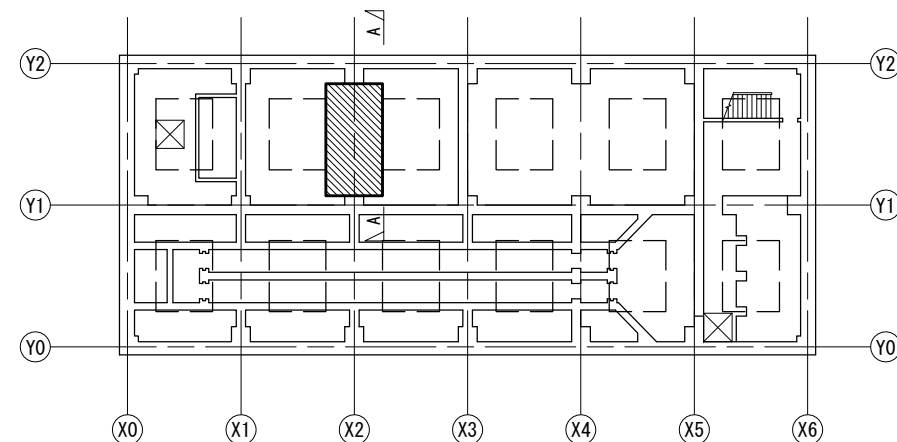
鉄筋補強工法 (Y2通り側)

補 強 位 置	芝川ポンプ場 B2F梁
削孔長	1730mm
削孔径	φ46mm
補強鉄筋径・ピッチ	2-D25@200
せん断補強鉄筋長	1730mm
せん断補強鉄筋本数	24本
特記事項	下向き施工



あと施工せん断補強筋詳細図

- 使用鋼材
異形棒鋼SD345とする。
- 注意事項
1) 穿孔前に、既存鉄筋の位置を鉄筋探査等により確認し、既存鉄筋の損傷を極力避ける。
2) 施工に際し、アンカーの径・深さ・位置を確認し、アンカー埋込み前には穿孔内の切り粉等を除去する。
3) アンカーの削孔時に既存鉄筋に当たった場合は、耐力上支障のない部分に削孔位置を変更する。



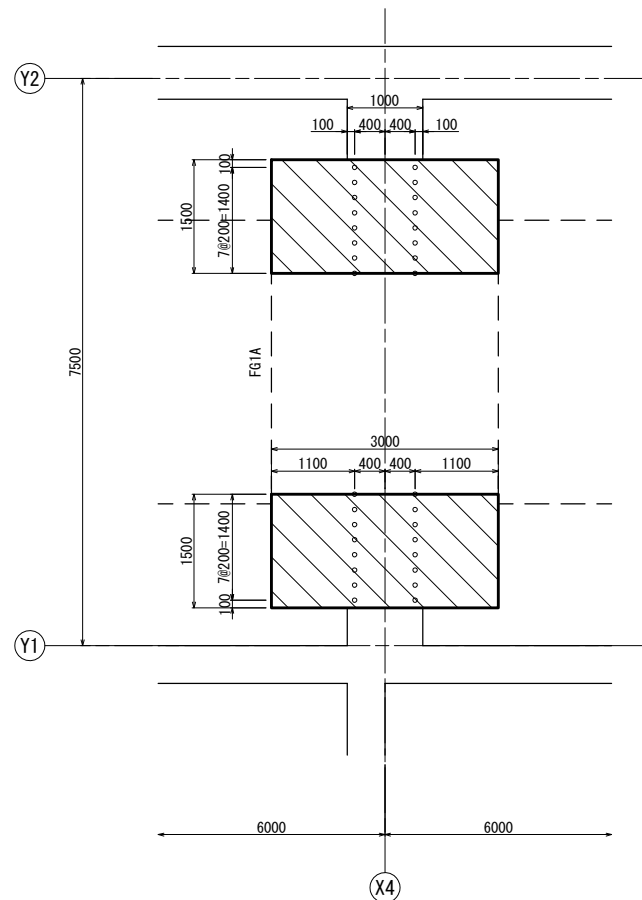
位置図
(B2F平面図)

凡例

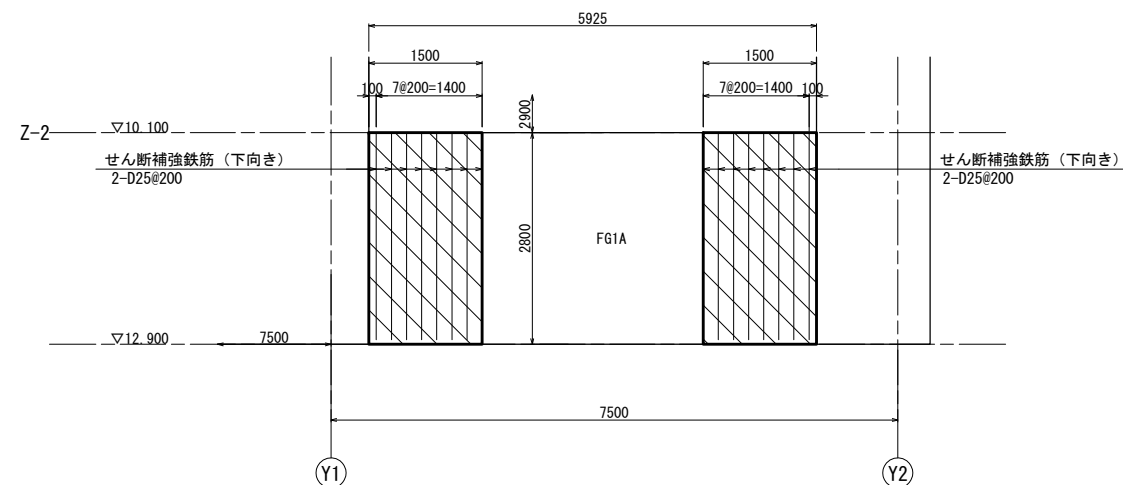
補強範囲

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	芝川ポンプ場補強配筋図 梁(7)		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	1/50	図面番号	C-12
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		

芝川ポンプ場補強配筋図 梁(8)



平面図 1/50



A-A断面図 1/50

基礎梁リスト

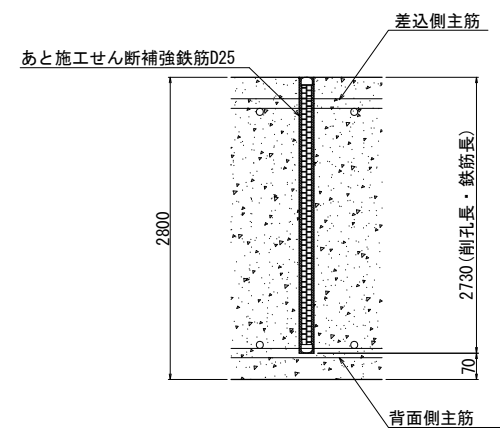
符号	FG1A		
位置	外端部	中央部	内端部
断面			
上主筋	16-D22	16-D22	16-D22
下主筋	20-D25	20-D25	20-D25

鉄筋補強工法(Y1通り側)

補 強 位 置	芝川ポンプ場
	B2F梁
削孔長	2730mm
削孔径	φ 46mm
補強鉄筋径・ピッチ	2-D25@200
せん断補強鉄筋長	2730mm
せん断補強鉄筋本数	16本
特記事項	下向き施工

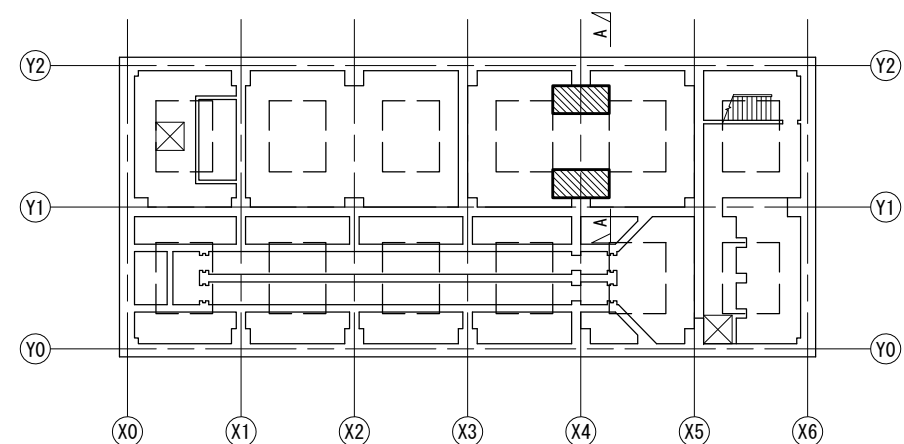
鉄筋補強工法(Y2通り側)

補 強 位 置	芝川ポンプ場
	B2F 梁
削孔長	2730mm
削孔径	φ 46mm
補強鉄筋径・ピッチ	2-D25@200
せん断補強鉄筋長	2730mm
せん断補強鉄筋本数	16本
特記事項	下向き施工



あと施工せん断補強筋詳細図

1. 使用鋼材
異形棒鋼SD345とする。
2. 注意事項
 - 1) 穿孔前に、既存鉄筋の位置を鉄筋探査器等により確認し、既存鉄筋の損傷を極力避ける。
 - 2) 施工に際し、アンカーの径・深さ・位置を確認し、アンカー埋込み前には穿孔内の切り粉等を除去する。
 - 3) アンカーの削れ時に既存鉄筋に当たった場合は、耐力上支障のない部分に穿孔位置を変更する。



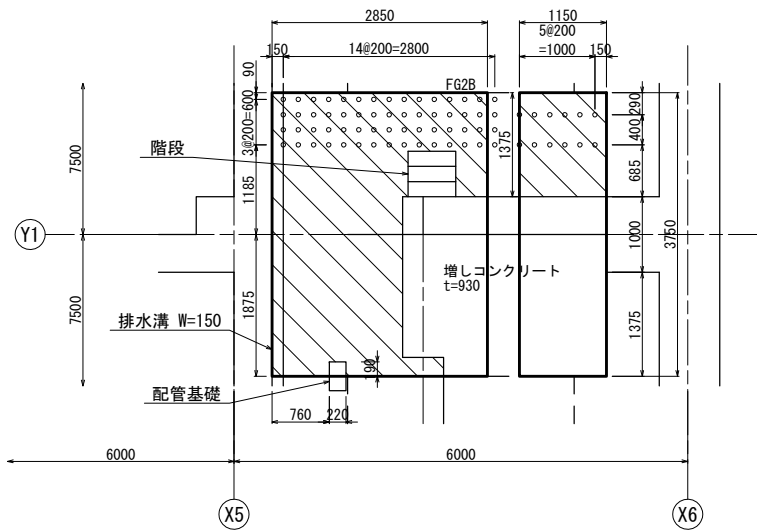
位置図
(B2F平面図)

凡例

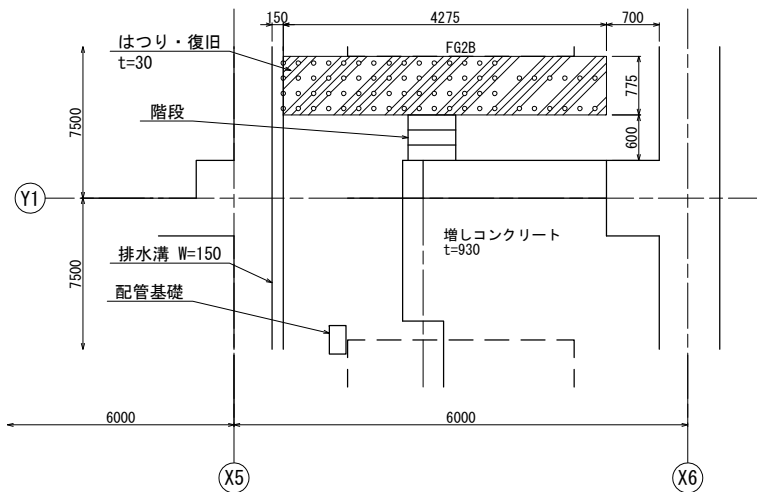
 :補強範圍

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	芝川ポンプ場補強配筋図 梁(8)		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	1/50	図面番号	C-13
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		

芝川ポンプ場補強配筋図 梁(9)



平面図 1/50



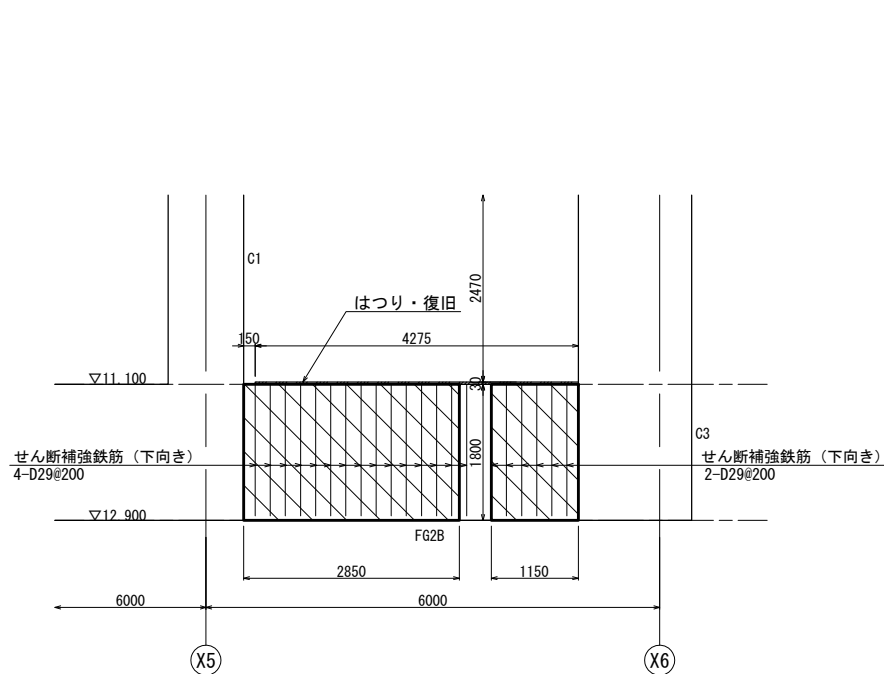
撤去・復旧範囲図 1/50

鉄筋補強工法(X5通り側)

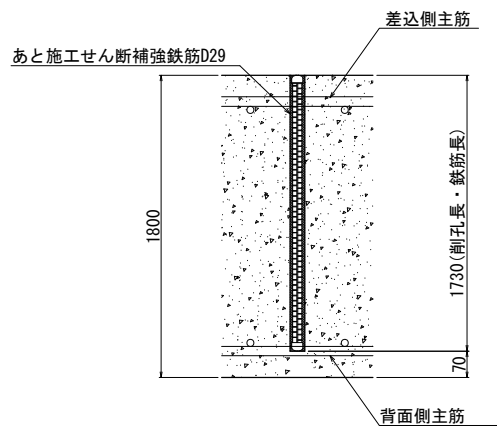
補 強 位 置	芝川ポンプ場 B2F 梁
削孔長	1730mm
削孔径	φ 50mm
補強鉄筋径・ピッチ	4-D29@200
せん断補強鉄筋長	1730mm
せん断補強鉄筋本数	60本
特記事項	下向き施工

鉄筋補強工法(X6通り側)

補 強 位 置	芝川ポンプ場 B2F 梁
削孔長	1730mm
削孔径	φ 50mm
補強鉄筋径・ピッチ	2-D29@200
せん断補強鉄筋長	1730mm
せん断補強鉄筋本数	12本
特記事項	下向き施工



A-A断面図 1/50

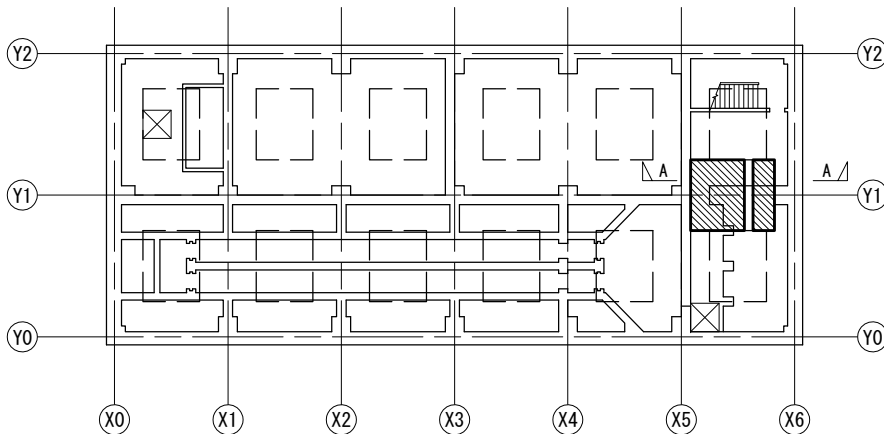


あと施工せん断補強筋詳細図

- 使用鋼材
異形棒鋼SD345とする。
- 注意事項
1) 穿孔前に、既存鉄筋の位置を鉄筋探査器等により確認し、既存鉄筋の損傷を極力避ける。
2) 施工に際し、アンカーの径・深さ・位置を確認し、アンカー埋込み前には穿孔内の切り粉等を除去する。
3) アンカーの削孔時に既存鉄筋に当たった場合は、耐力上支障のない部分に削孔位置を変更する。

基礎梁リスト

符号	FG2B		
位置	外端部	中央部	内端部
断面			
上主筋	20-D22	20-D22	20-D22
下主筋	20-D25	20-D25	22-D25

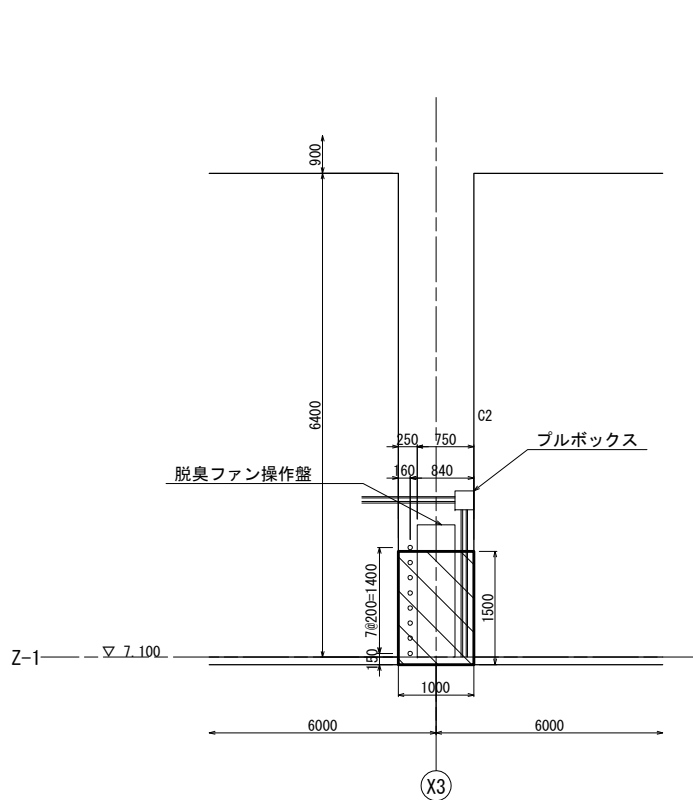


位置図
(B2F平面図)

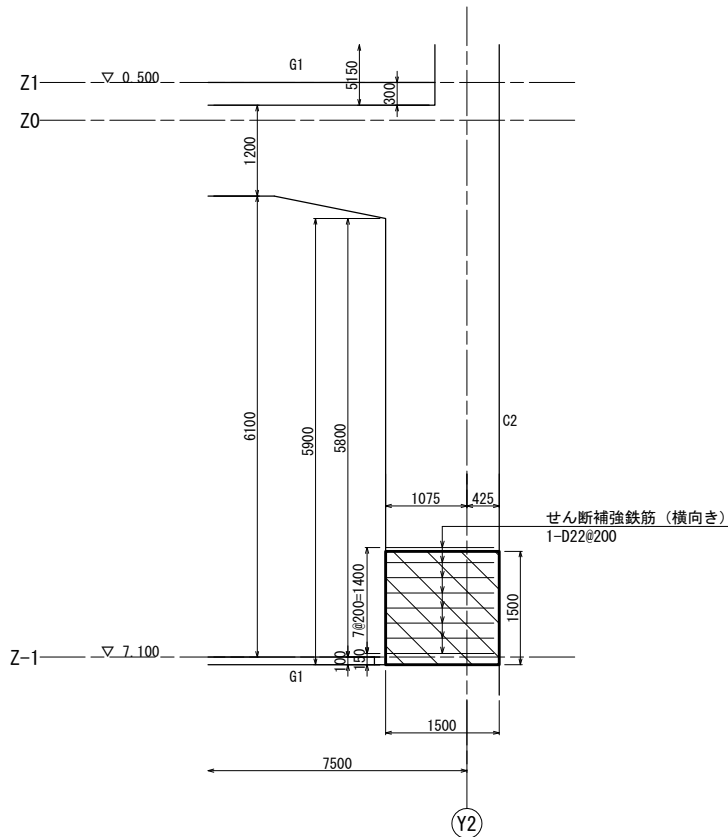
凡例
補強範囲

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	芝川ポンプ場補強配筋図 梁(9)		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	1/50	図面番号	C-14
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		

芝川ポンプ場補強配筋図 柱(1)



A-A断面図 1/50



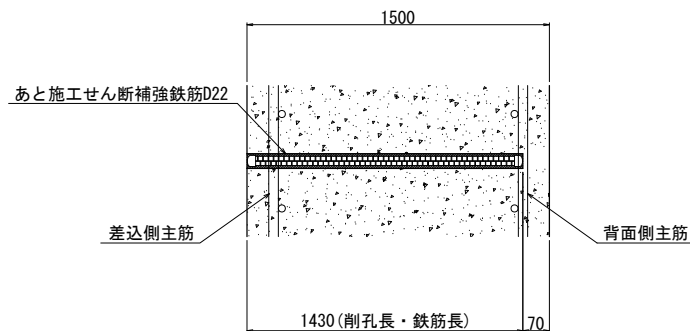
B-B断面図 1/50

柱リスト [注記] 1. 特記外フープ□-D13@100
2. 巾止筋⊕-D13@500

階	符号	C2
B1	断面	1500 1000
	主筋	38-D22
	フープ	⊕-D13@100

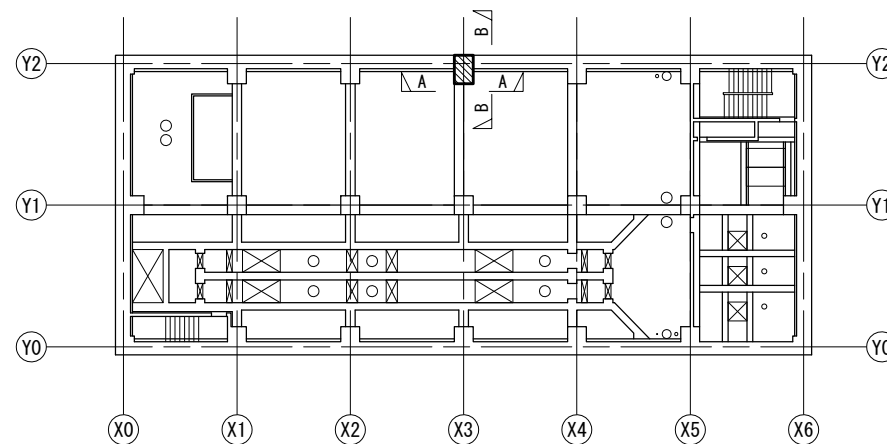
鉄筋補強工法

補 強 位 置	芝川ポンプ場
削孔長	B1F柱
削孔径	1430mm
補強鉄筋径・ピッチ	φ36mm
せん断補強鉄筋長	1-D22@200
せん断補強鉄筋本数	1430mm
特記事項	8本
	横向き施工



あと施工せん断補強筋詳細図

- 使用鋼材
異形棒鋼SD345とする。
- 注意事項
1) 穿孔前に、既存鉄筋の位置を鉄筋探査器等により確認し、既存鉄筋の損傷を極力避ける。
2) 施工に際し、アンカーの径・深さ・位置を確認し、アンカー埋込み前には穿孔内の切り粉等を除去する。
3) アンカーの削孔時に既存鉄筋に当たった場合は、耐力上支障のない部分に削孔位置を変更する。

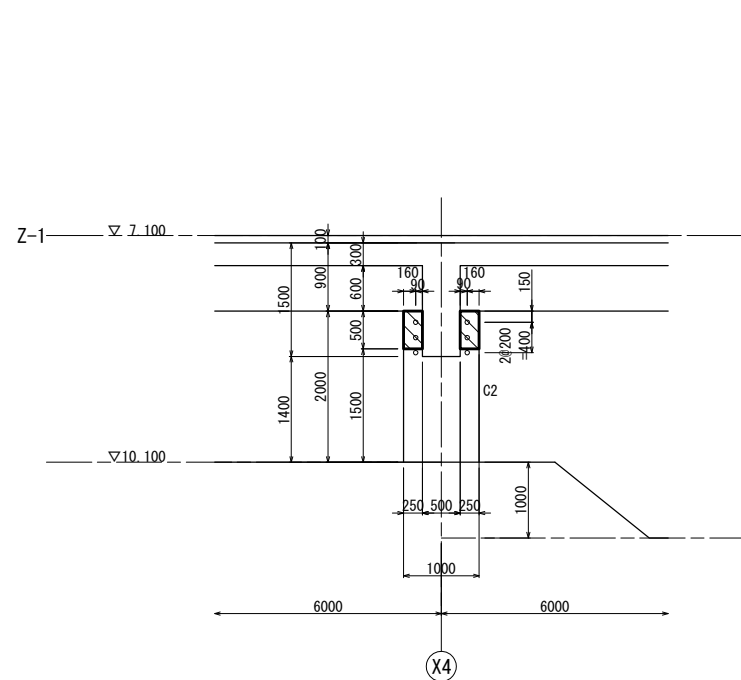


位置図
(B1F平面図)

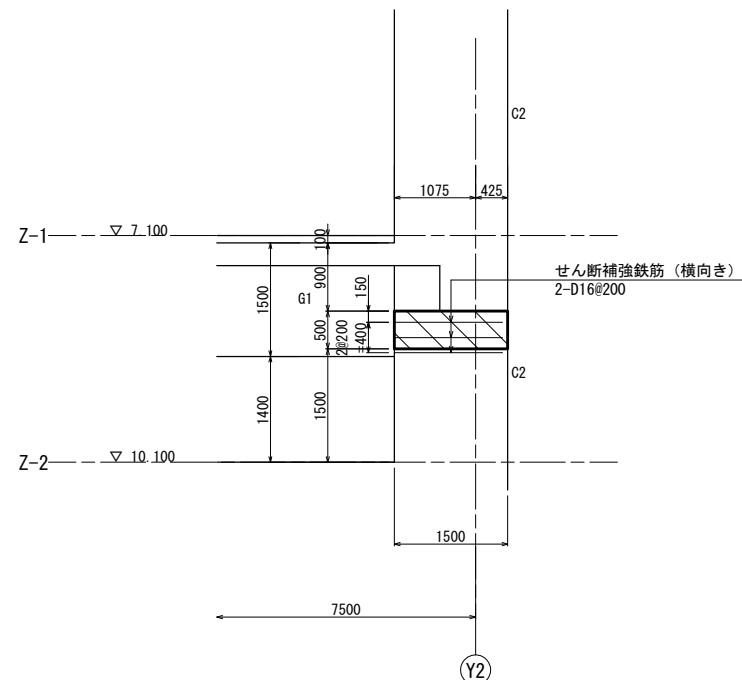
凡例
補強範囲

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	芝川ポンプ場補強配筋図 柱(1)		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	1/50	図面番号	C-15
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		

芝川ポンプ場補強配筋図 柱(2)



A-A断面図 1/50



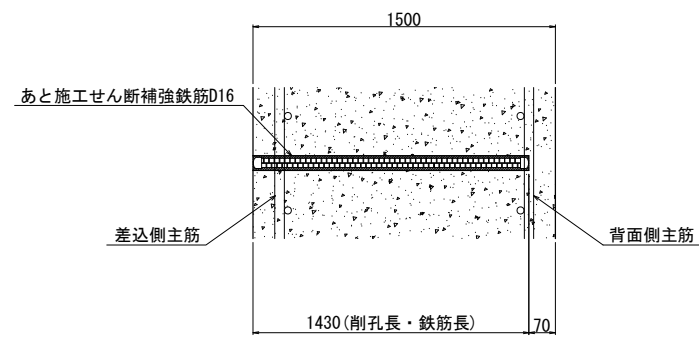
B-B断面図 1/50

柱リスト		〔注記〕 1. 特記外フープ□-D13@100 2. 巾止筋⊖-D13@500
------	--	--

階	符号	C2
B2	断面	1500 1000
	主筋	38-D22
	フープ	⊖-D13@100

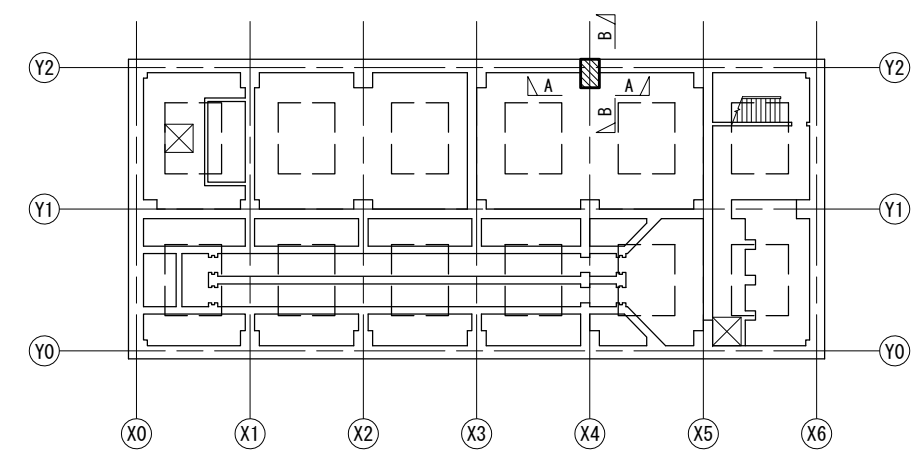
鉄筋補強工法

補 強 位 置	芝川ポンプ場
削孔長	B2F柱
削孔径	1430mm
補強鉄筋径・ピッチ	φ30mm
せん断補強鉄筋長	2-D16@200
せん断補強鉄筋本数	1430mm
特記事項	6本
	横向き施工



あと施工せん断補強筋詳細図

- 使用鋼材
異形棒鋼SD345とする。
- 注意事項
1) 穿孔前に、既存鉄筋の位置を鉄筋探査器等により確認し、既存鉄筋の損傷を極力避ける。
2) 施工に際し、アンカーの径・深さ・位置を確認し、アンカー埋込み前には穿孔内の切り粉等を除去する。
3) アンカーの削孔時に既存鉄筋に当たった場合は、耐力上支障のない部分に削孔位置を変更する。

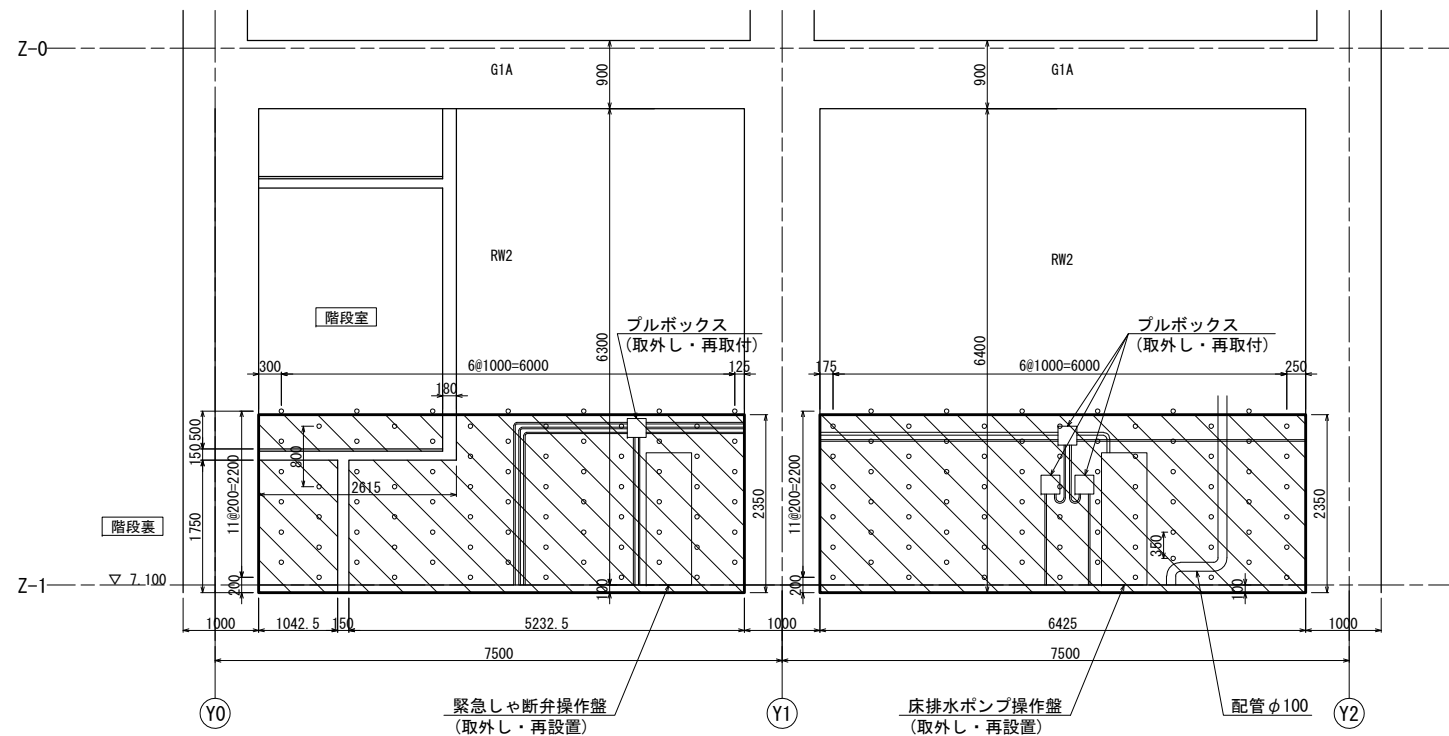


位置図
(B2F平面図)

凡例
補強範囲

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	芝川ポンプ場補強配筋図 柱(2)		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	1/50	図面番号	C-16
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		

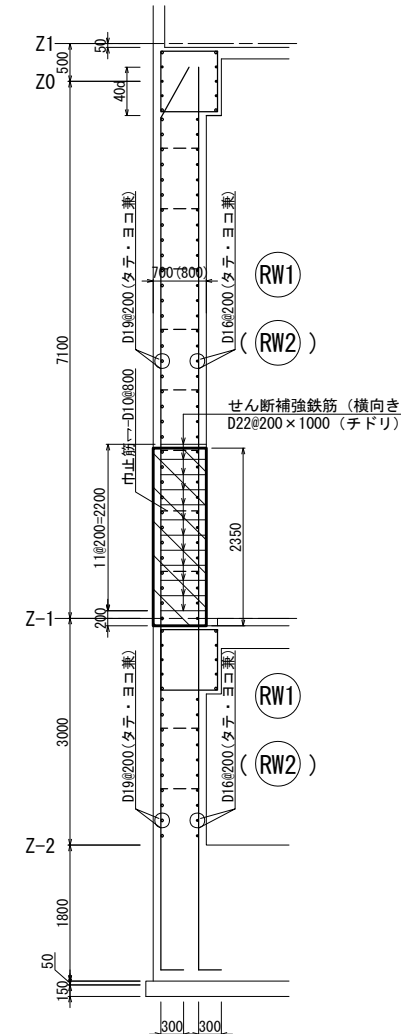
芝川ポンプ場補強配筋図 壁(1)



A-A断面図 1/50

地下壁リスト

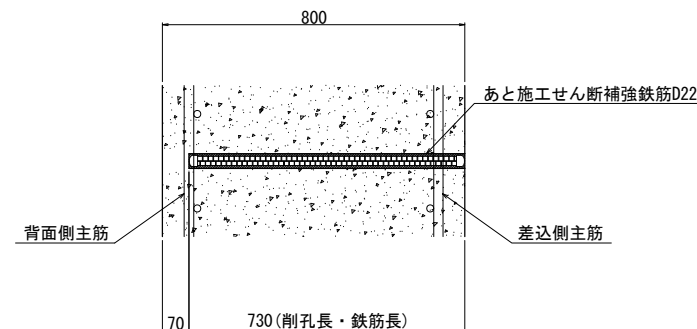
[注記] ・() 内寸法はRW2を示す。



B-B断面図 1/50

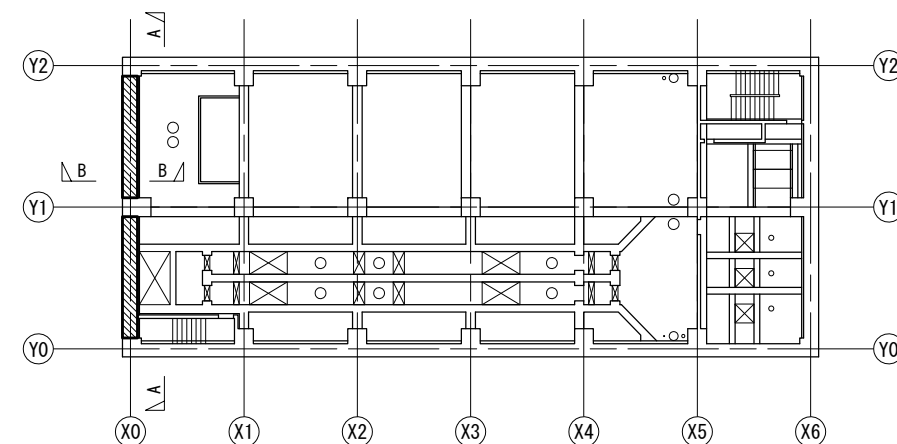
鉄筋補強工法

補 強 位 置	芝川ポンプ場
削孔長	730mm
削孔径	φ36mm
補強鉄筋径・ピッチ	D22@200×1000 (チドリ)
せん断補強鉄筋長	730mm
せん断補強鉄筋本数	154本
特記事項	横向き施工



あと施工せん断補強筋詳細図

- 使用鋼材
異形棒鋼SD345とする。
- 注意事項
1) 穿孔前に、既存鉄筋の位置を鉄筋探査等により確認し、既存鉄筋の損傷を極力避ける。
2) 施工に際し、アンカーの径・深さ・位置を確認し、アンカー埋込み前には穿孔内の切り粉等を除去する。
3) アンカーの削孔時に既存鉄筋に当たった場合は、耐力上支障のない部分に削孔位置を変更する。

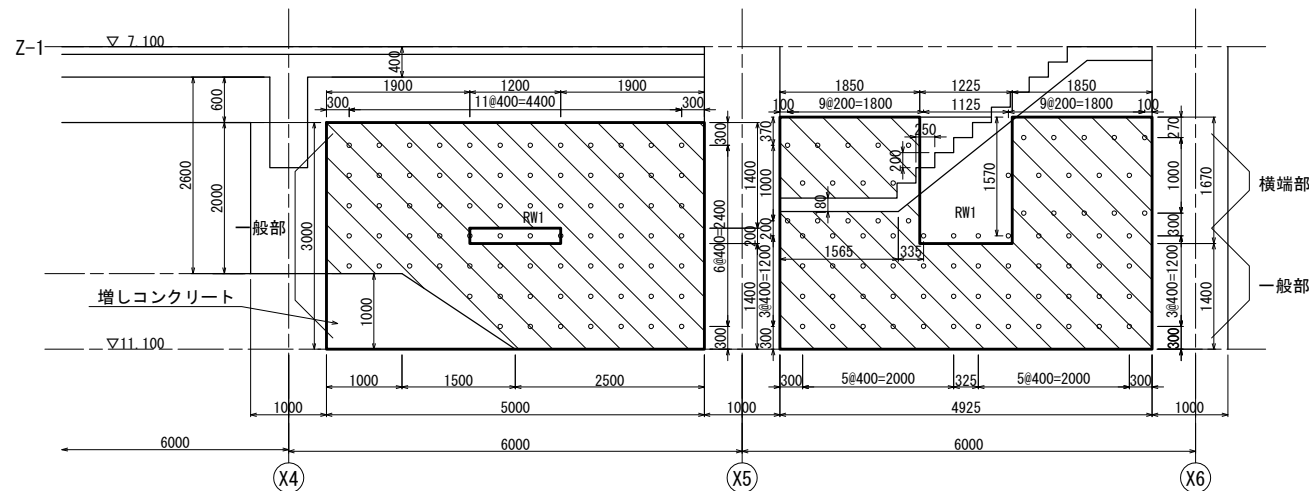


位置図
(B1F平面図)

凡例
補強範囲

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	芝川ポンプ場補強配筋図 壁(1)		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	1/50	図面番号	C-17
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		

芝川ポンプ場補強配筋図 壁(2)



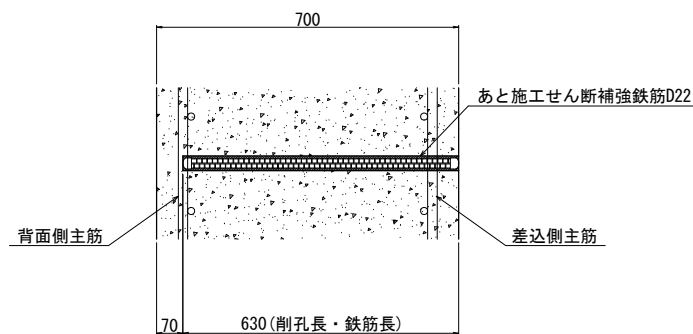
A-A断面図 1/50

鉄筋補強工法(一般部)

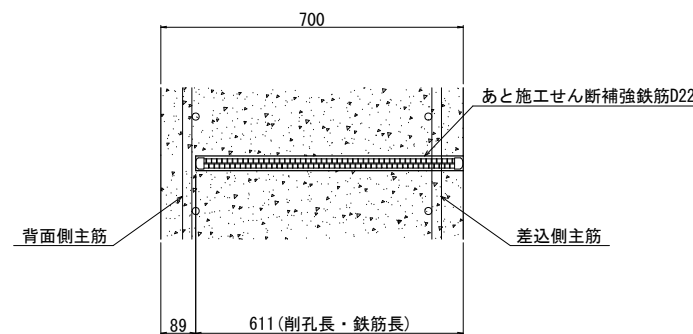
補 強 位 置	芝川ポンプ場
削孔長	630mm
削孔径	φ 36mm
補強鉄筋径・ピッチ	D22@400×400
せん断補強鉄筋長	630mm
せん断補強鉄筋本数	123本
特記事項	横向き施工

鉄筋補強工法(横端部)

補 強 位 置	芝川ポンプ場
削孔長	611mm
削孔径	φ 36mm
補強鉄筋径・ピッチ	D22@200×1000(チドリ)
せん断補強鉄筋長	611mm
せん断補強鉄筋本数	29本
特記事項	横向き施工



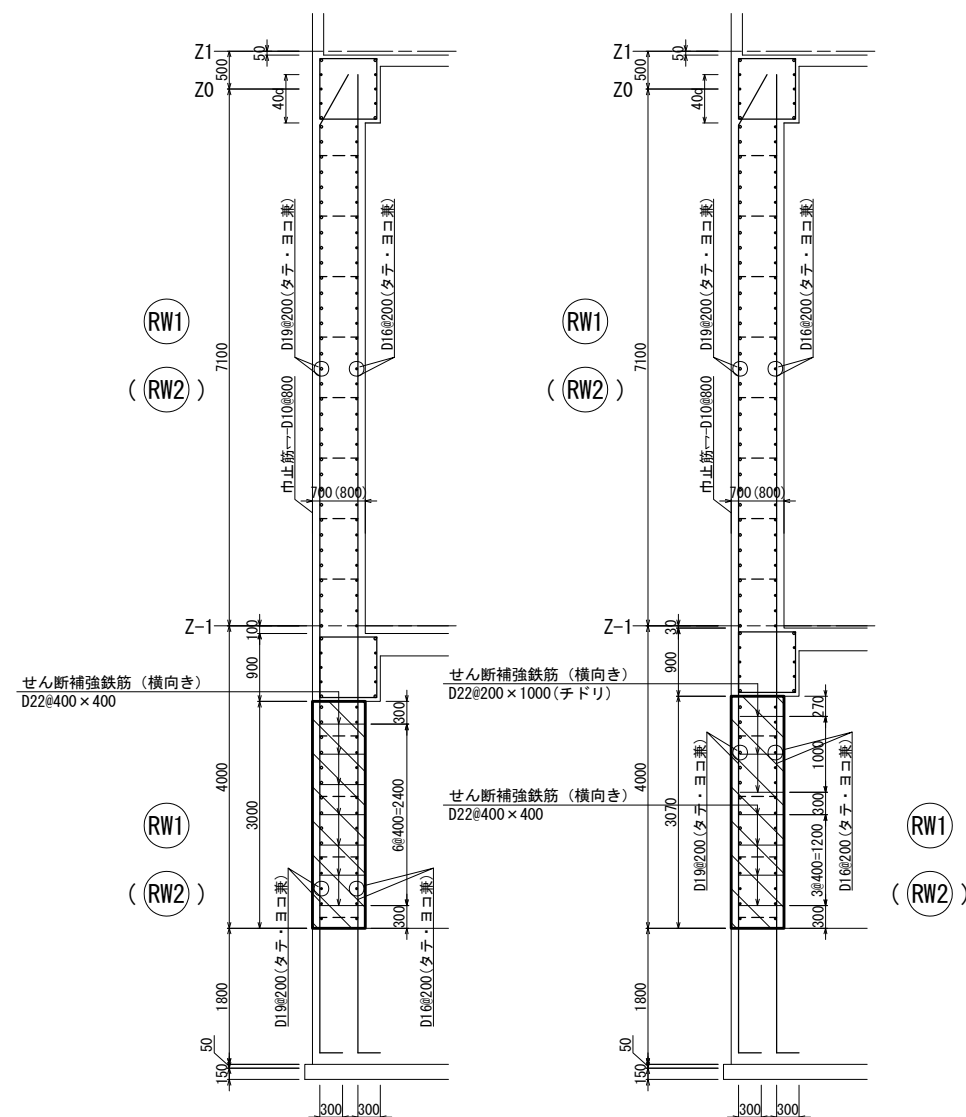
あと施工せん断補強筋詳細図(1)



あと施工せん断補強筋詳細図(2)

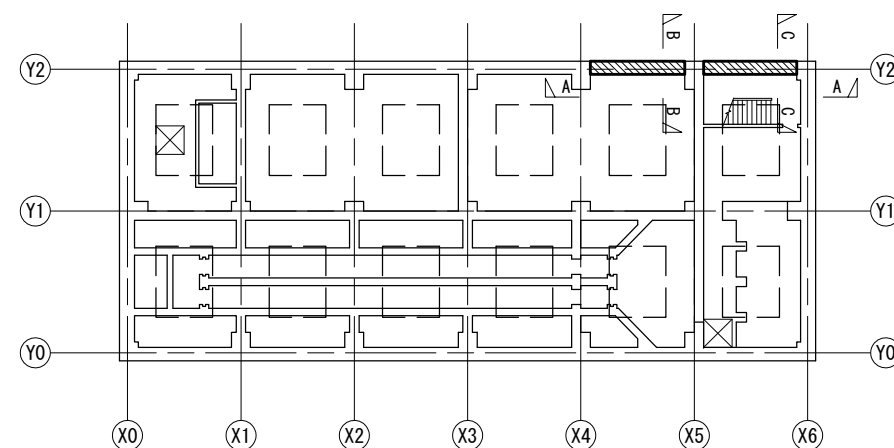
地下壁リスト

[注記] ・()内寸法はRW2を示す。



B-B断面図 1/50

C-C断面図 1/50



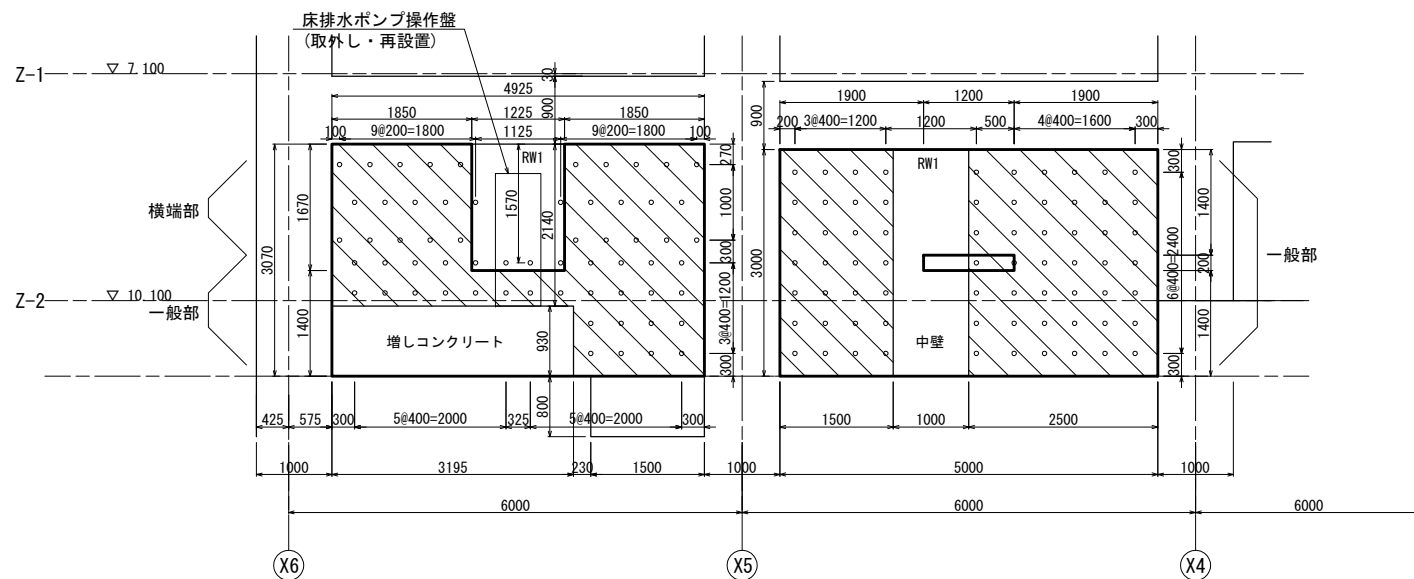
位置図
(B2F平面図)

凡例
補強範囲

- 使用鋼材
異形棒鋼SD345とする。
- 注意事項
1) 穿孔前に、既存鉄筋の位置を鉄筋探査等により確認し、既存鉄筋の損傷を極力避ける。
2) 施工に際し、アンカーの径・深さ・位置を確認し、アンカー埋込み前には穿孔内の切り粉等を除去する。
3) アンカーの削孔時に既存鉄筋に当たった場合は、耐力上支障のない部分に削孔位置を変更する。

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	芝川ポンプ場補強配筋図 壁(2)		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	1/50	図面番号	C-18
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		

芝川ポンプ場補強配筋図 壁(3)



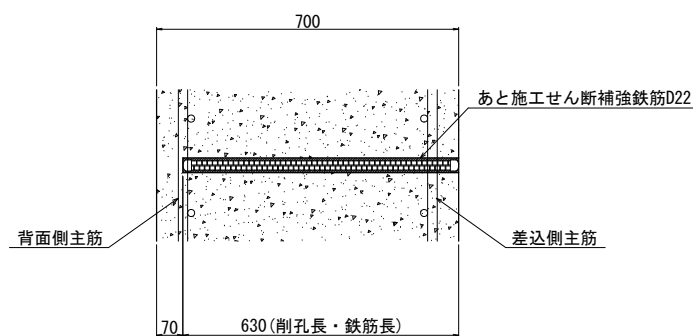
A-A断面図 1/50

鉄筋補強工法(一般部)

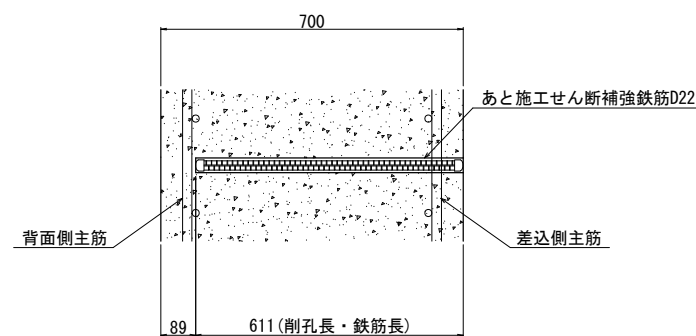
補 強 位 置	芝川ポンプ場
	B2F壁
削孔長	630mm
削孔径	φ 36mm
補強鉄筋径・ピッチ	D22@400×400
せん断補強鉄筋長	630mm
せん断補強鉄筋本数	102本
特記事項	横向き施工

鉄筋補強工法(横端部)

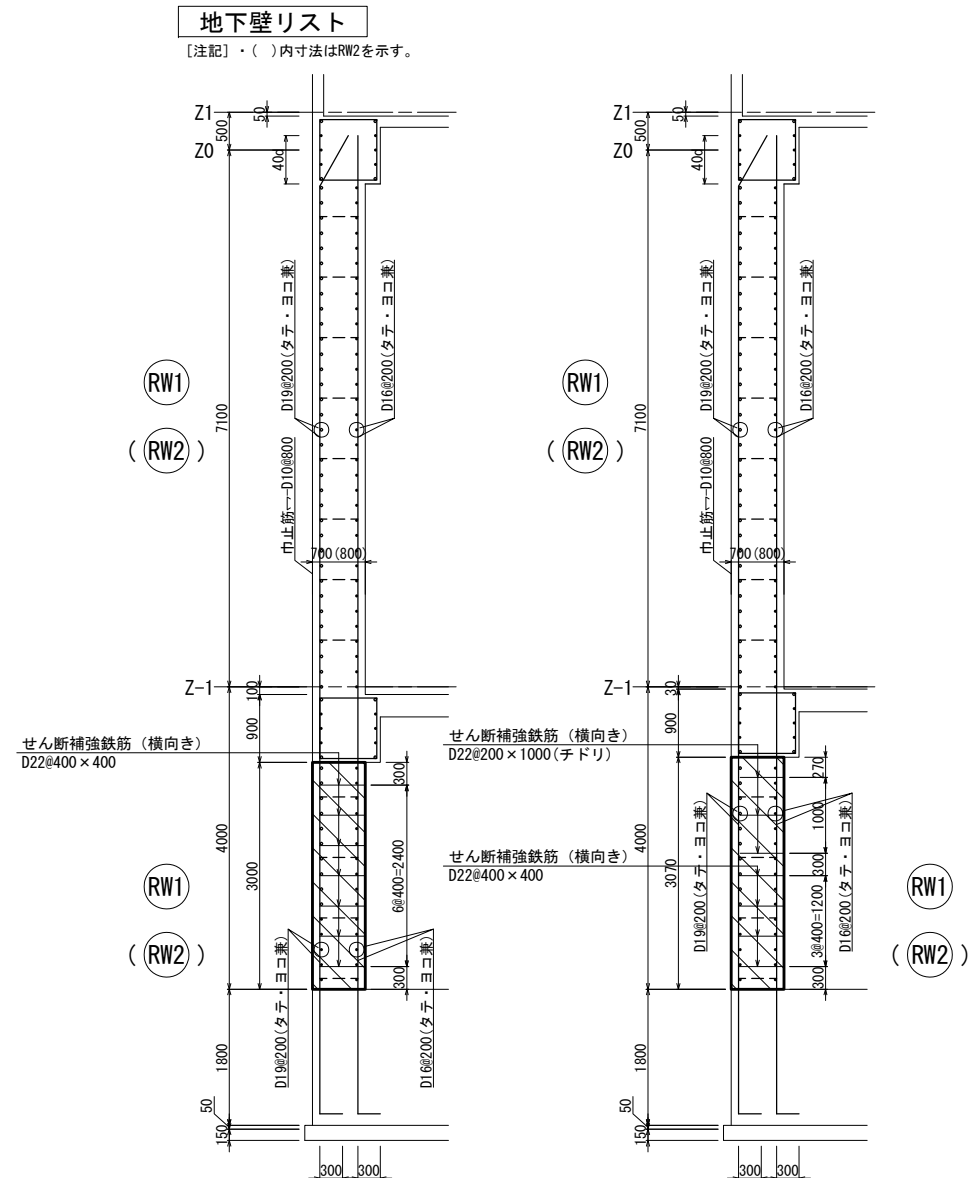
補 強 位 置	芝川ポンプ場
	B2F壁
削孔長	611mm
削孔径	φ36mm
補強鉄筋径・ピッチ	D22@200×1000(チドリ)
せん断補強鉄筋長	611mm
せん断補強鉄筋本数	30本
特記事項	横向き施工



あと施工せん断補強筋詳細図(1)

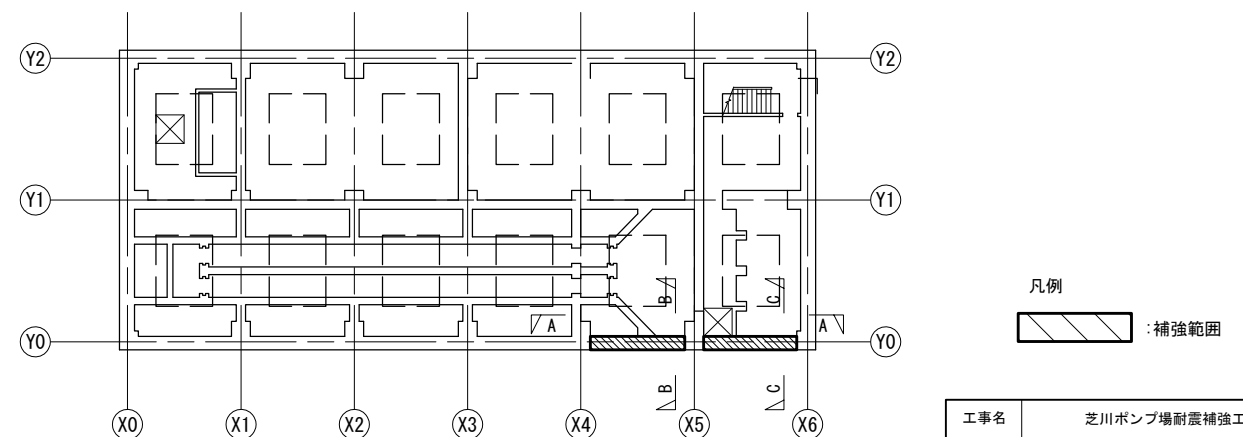


あと施工せん断補強筋詳細図(2)



B-B断面図 1/50

C-C断面図 1/50

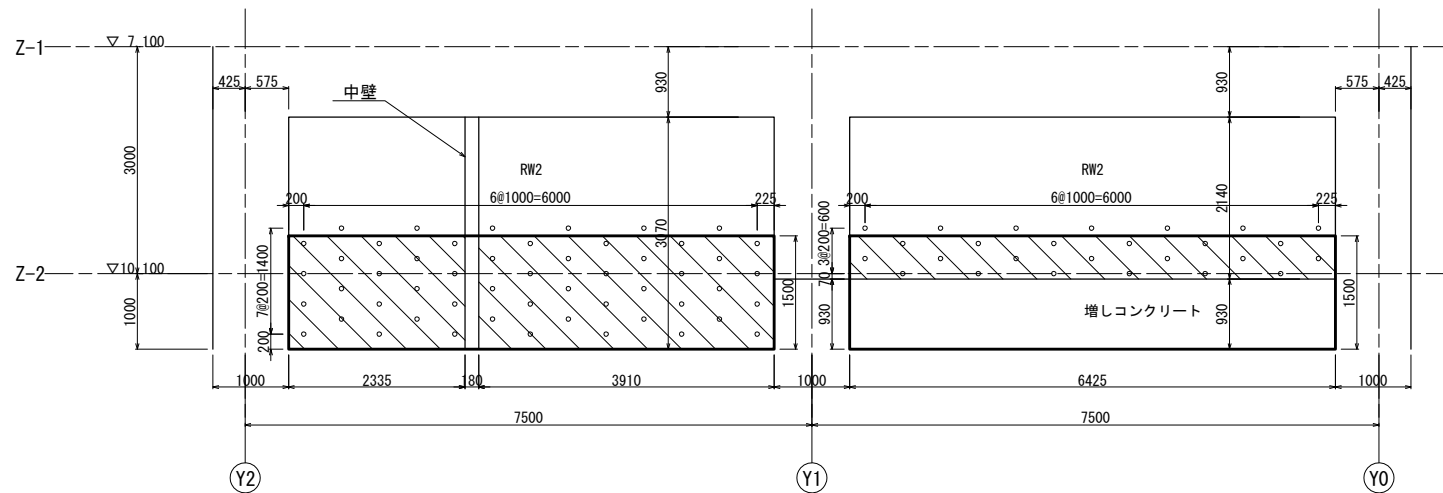


位置図
(B2F平面図)

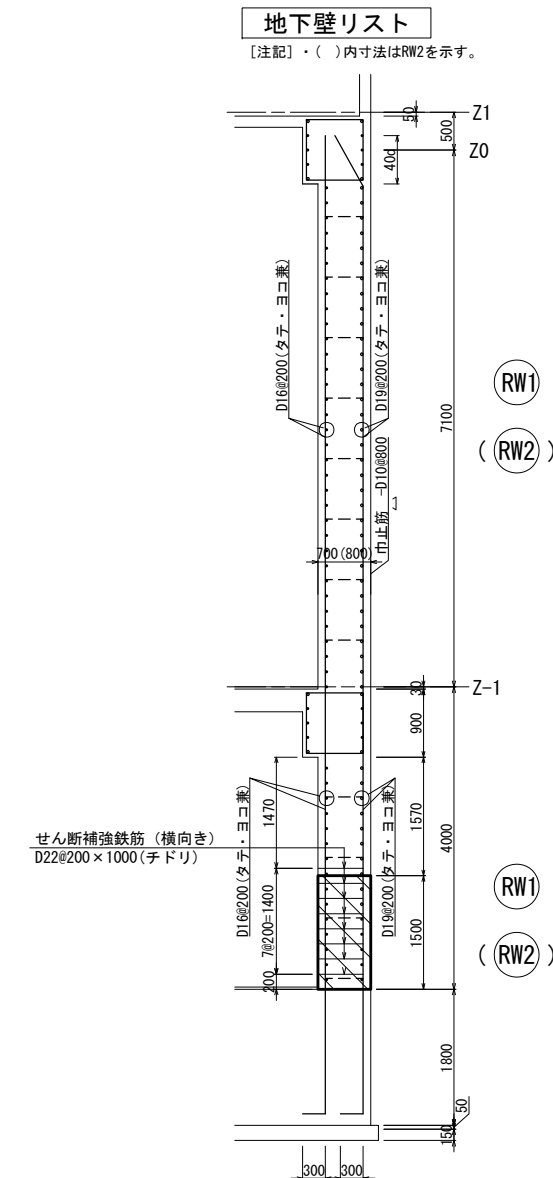
1. 使用鋼材
異形棒鋼SD345とする。
2. 注意事項
 - 1) 穿孔前に、既存鉄筋の位置を鉄筋探査器等により確認し、既存鉄筋の損傷を極力避ける。
 - 2) 施工に際し、アンカーの径・深さ・位置を確認し、アンカー埋込み前には穿孔内の切り粉等を除去する。
 - 3) アンカーの削孔時に既存鉄筋に当たった場合は、耐力上支障のない部分に削孔位置を変更する。

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	芝川ポンプ場補強配筋図 壁 (3)		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	1/50	図面番号	C-19
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		

芝川ポンプ場補強配筋図 壁(4)



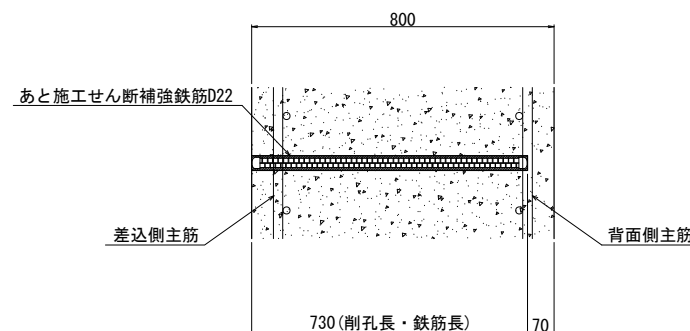
A-A断面図 1/50



B-B断面図 1/50

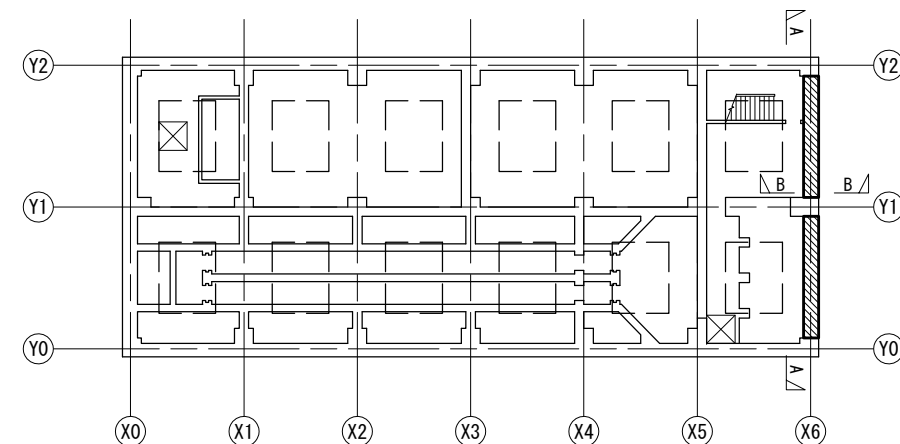
鉄筋補強工法

補 強 位 置	芝川ポンプ場
	B2F壁
削孔長	730mm
削孔径	φ36mm
補強鉄筋径・ピッチ	D22@200×1000(チドリ)
せん断補強鉄筋長	730mm
せん断補強鉄筋本数	78本
特記事項	横向き施工



あと施工せん断補強筋詳細図

- 使用鋼材
異形棒鋼SD345とする。
- 注意事項
 - 穿孔前に、既存鉄筋の位置を鉄筋探査器等により確認し、既存鉄筋の損傷を極力避ける。
 - 施工に際し、アンカーの径・深さ・位置を確認し、アンカー埋込み前には穿孔内の切り粉等を除去する。
 - アンカーの削孔時に既存鉄筋に当たった場合は、耐力上支障のない部分に削孔位置を変更する。

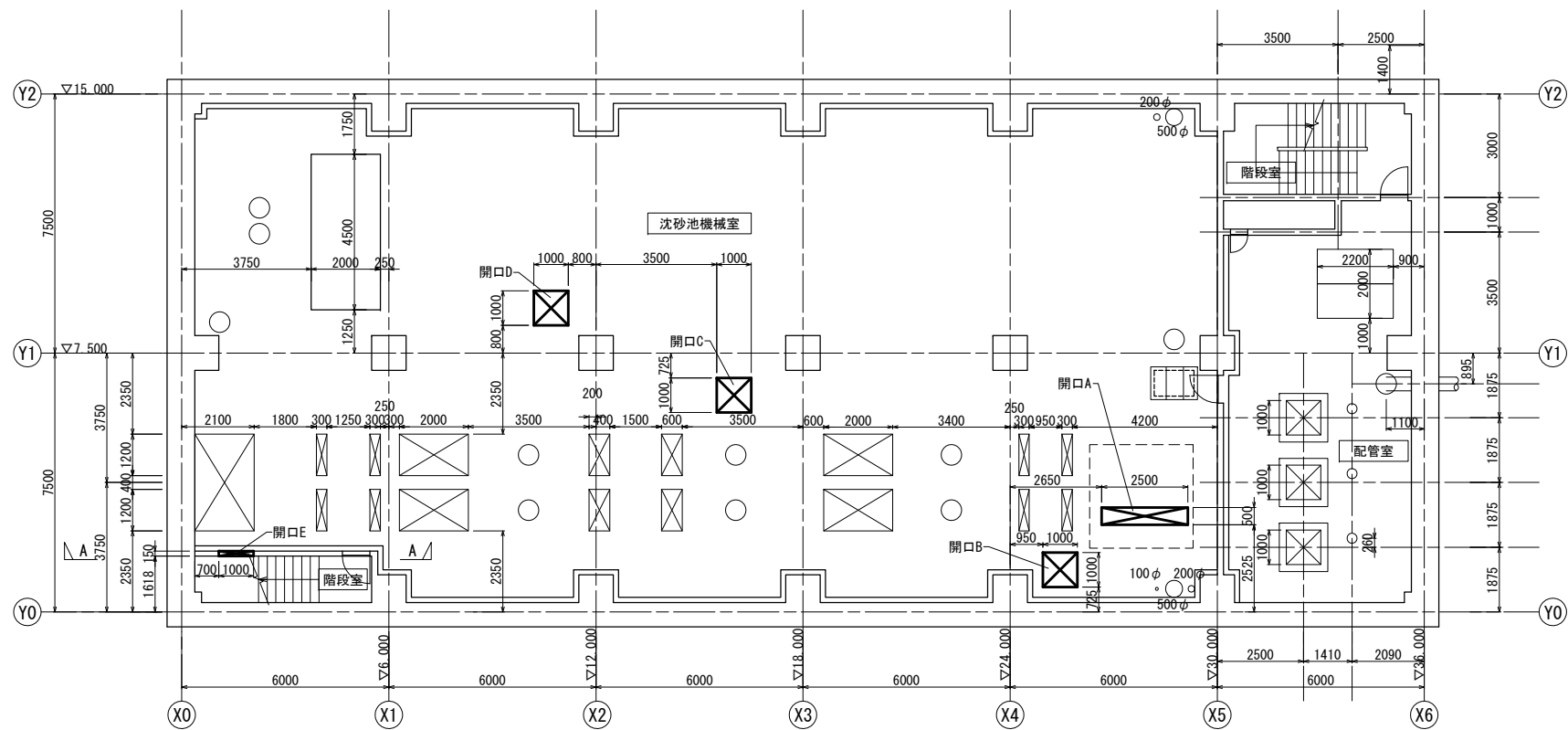


位置図
(B2F平面図)

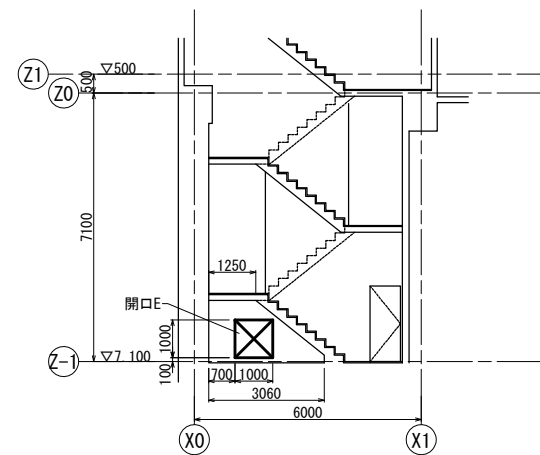
凡例
補強範囲

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	芝川ポンプ場補強配筋図 壁(4)		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	1/50	図面番号	C-20
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		

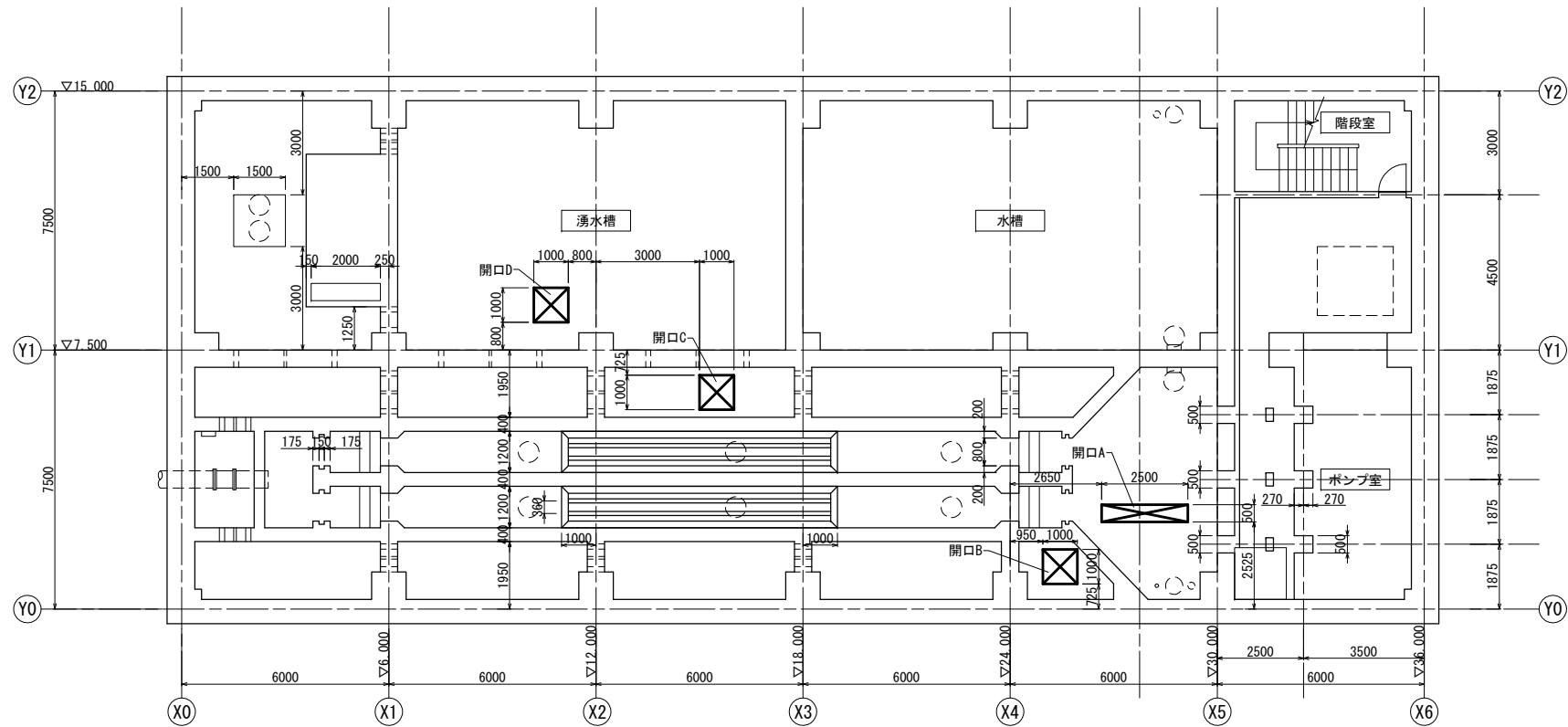
仮設開口配置図



地下1階仮設開口位置図 1/100



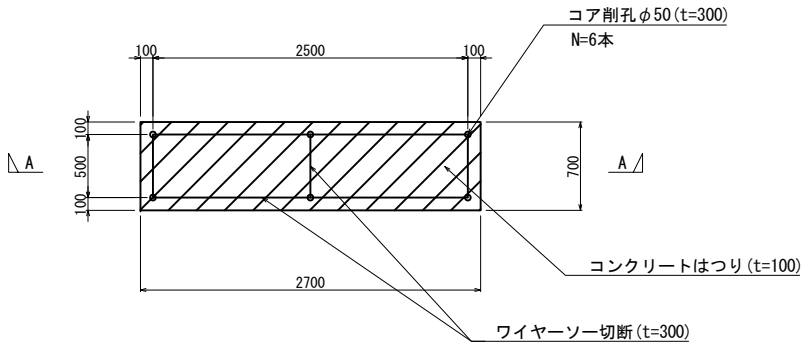
A-A断面図 1/100



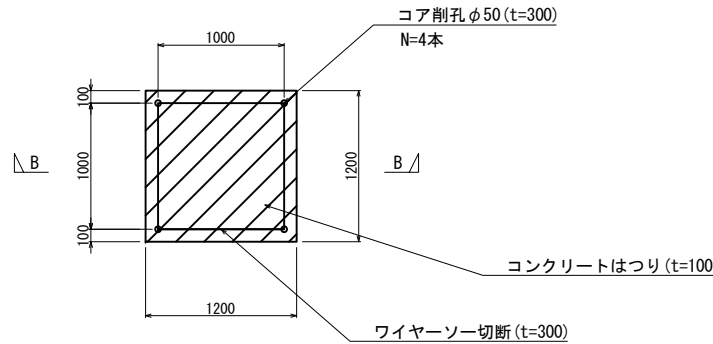
地下2階仮設開口位置図 1/100

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	仮設開口配置図		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	1/100	図面番号	C-21
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		

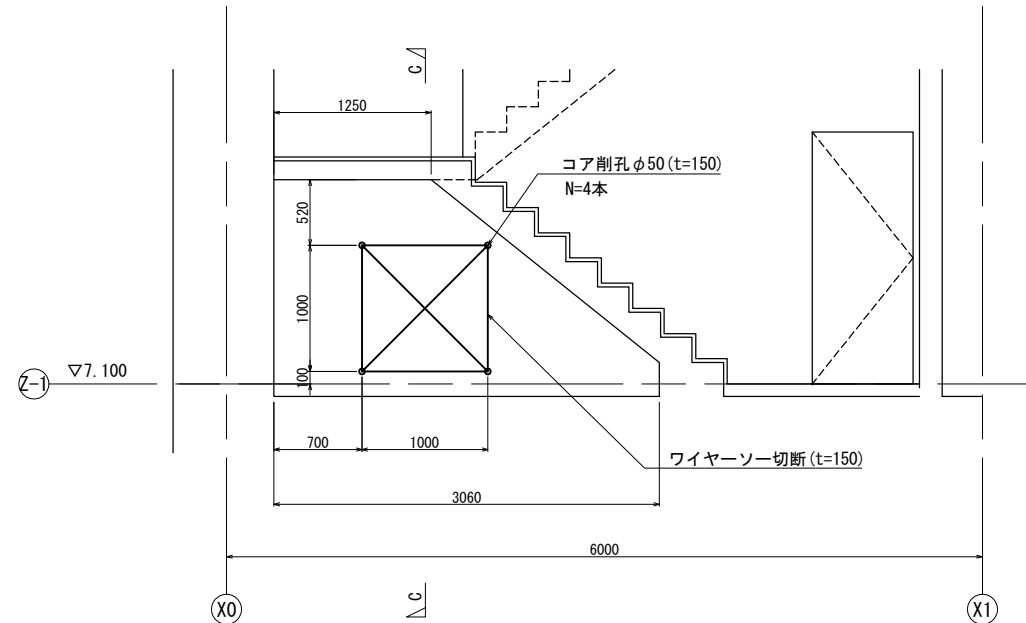
仮設開口設置詳細図



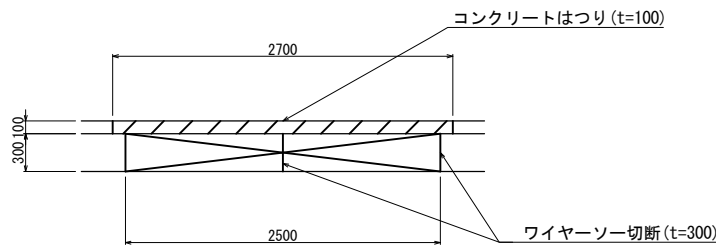
仮設開口平面図 1/30
(開口A)



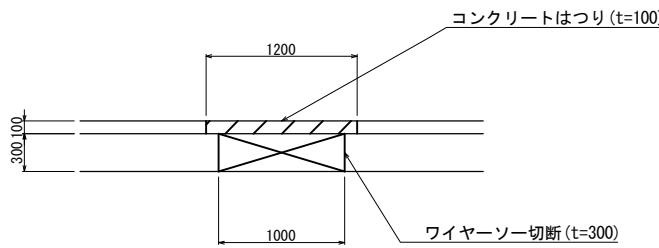
仮設開口平面図 1/30
(開口B、C、D)



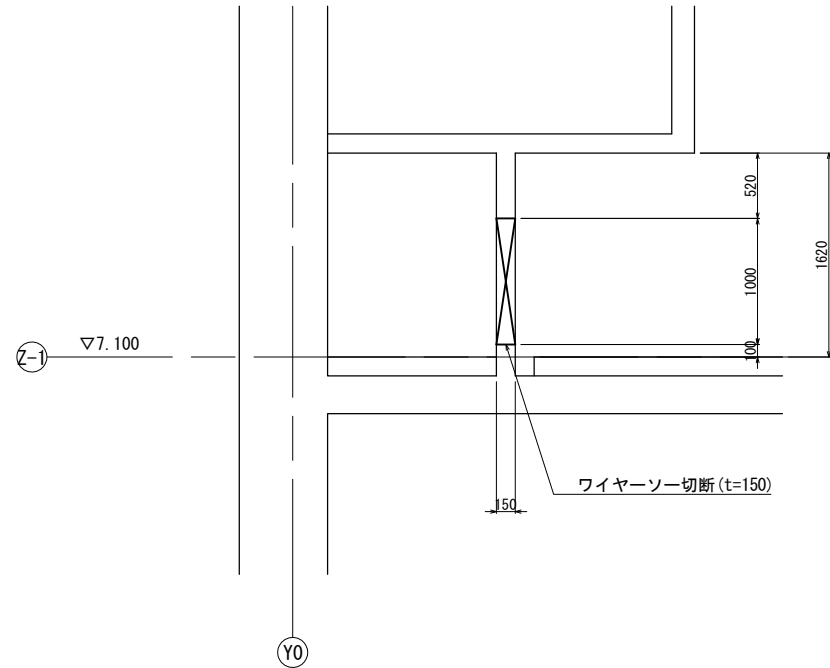
仮設開口位置図 1/30
(開口E)



A-A断面図 1/30



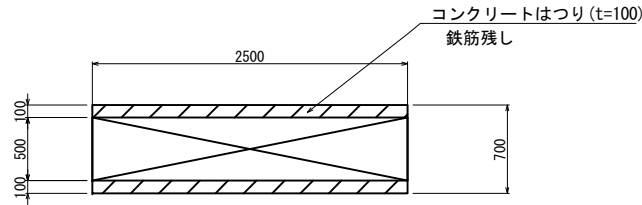
B-B断面図 1/30



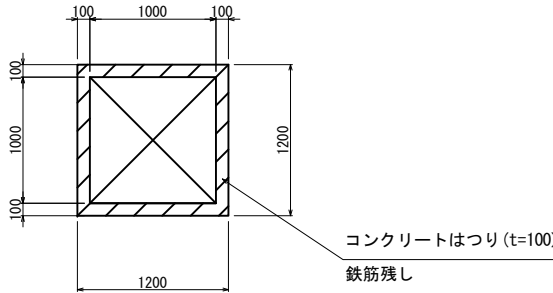
C-C断面図 1/30

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	仮設開口設置詳細図		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	1/30	図面番号	C-22
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		

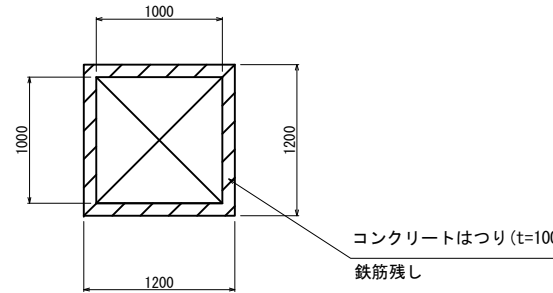
仮設開口閉塞詳細図



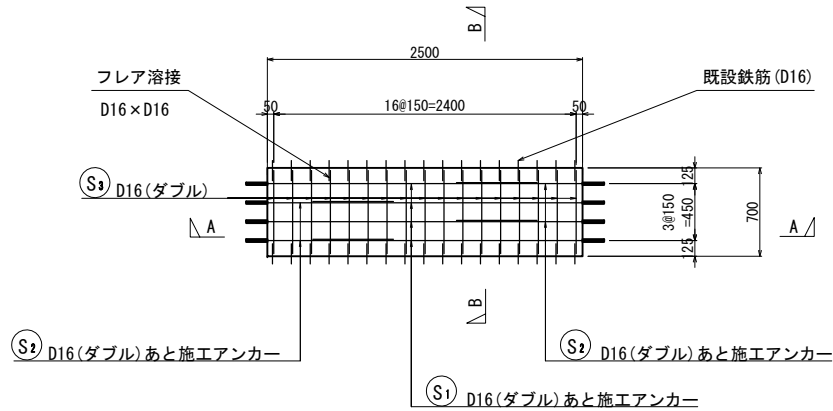
仮設開口平面図 1/30
(開口A)



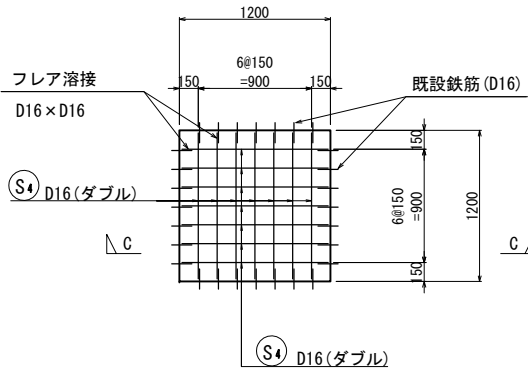
仮設開口平面図 1/30
(開口B、C、D)



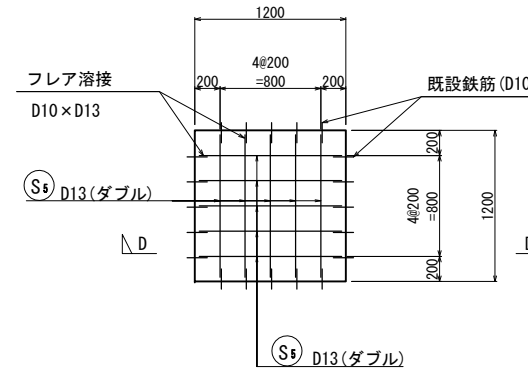
仮設開口平面図 1/30
(開口E)



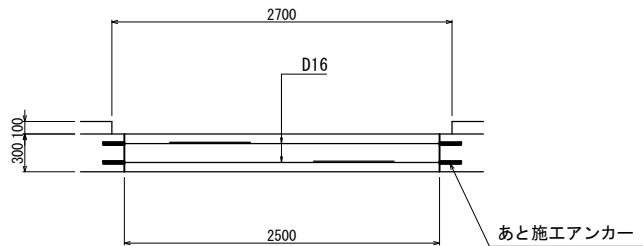
仮設開口配筋図 1/30
(開口A)



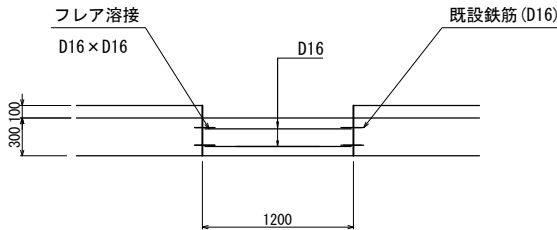
仮設開口配筋図 1/30
(開口B、C、D)



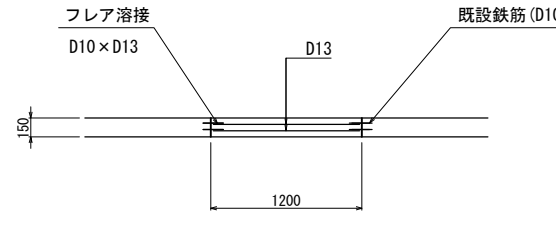
仮設開口配筋図 1/30
(開口E)



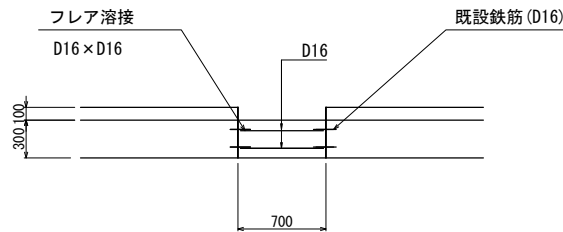
A-A断面図 1/30



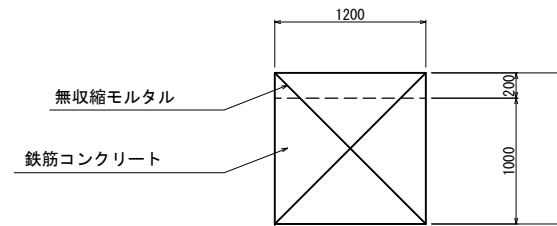
C-C断面図 1/30



D-D断面図 1/30



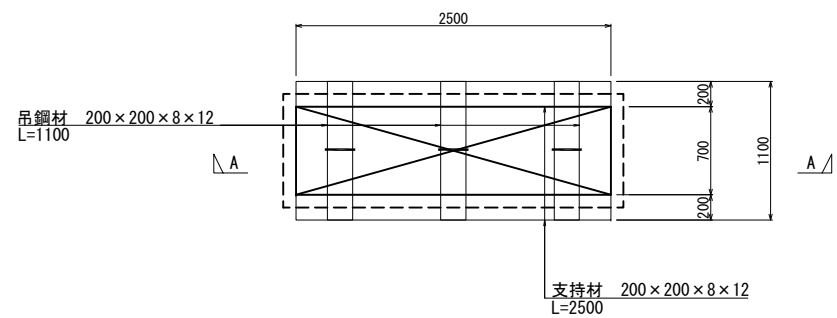
B-B断面図 1/30



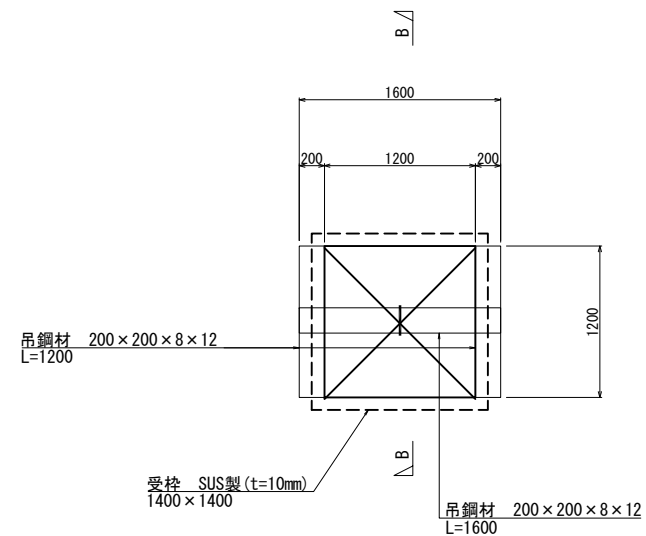
仮設開口閉塞要領図 1/30
(開口E)

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	仮設開口閉塞詳細図		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	1/30	図面番号	C-23
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		

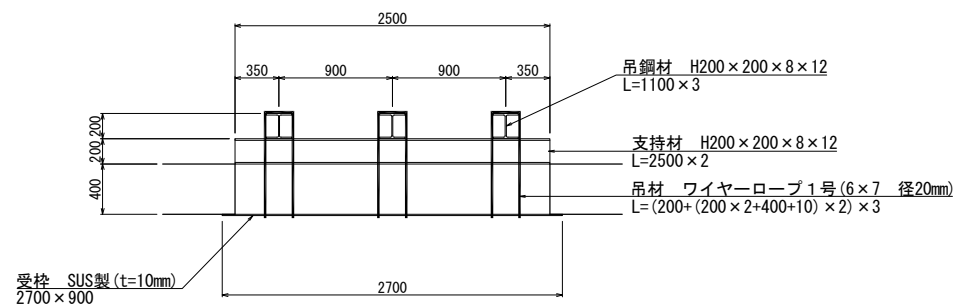
仮設支保工設置図



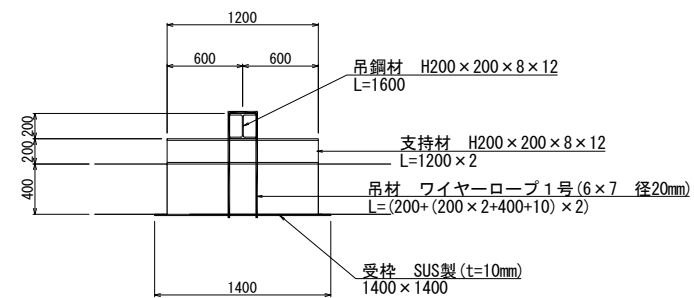
仮設支保工設置図 1/30
(開口A)



仮設支保工設置図 1/30
(開口B、C、D)



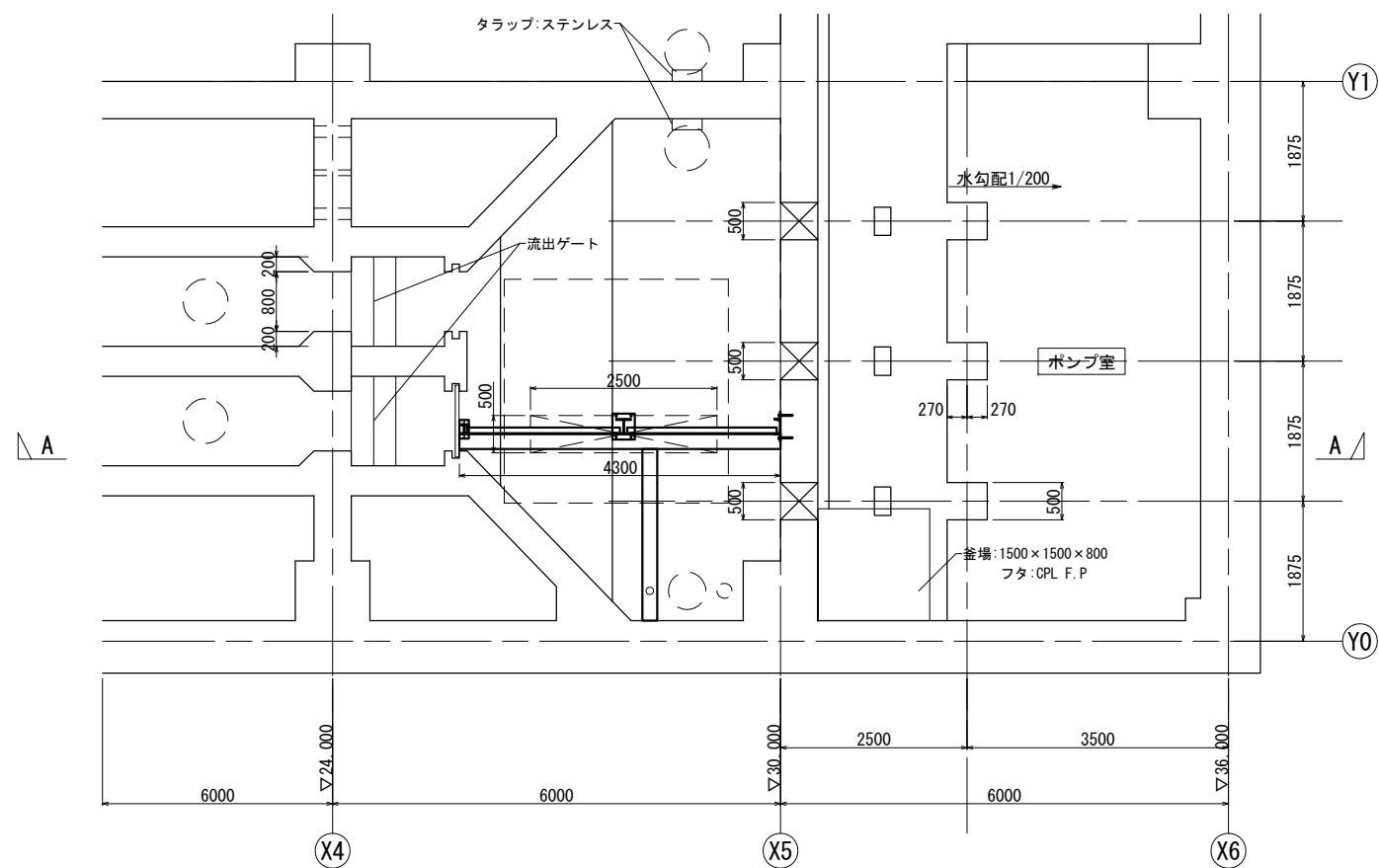
A-A断面図 1/30



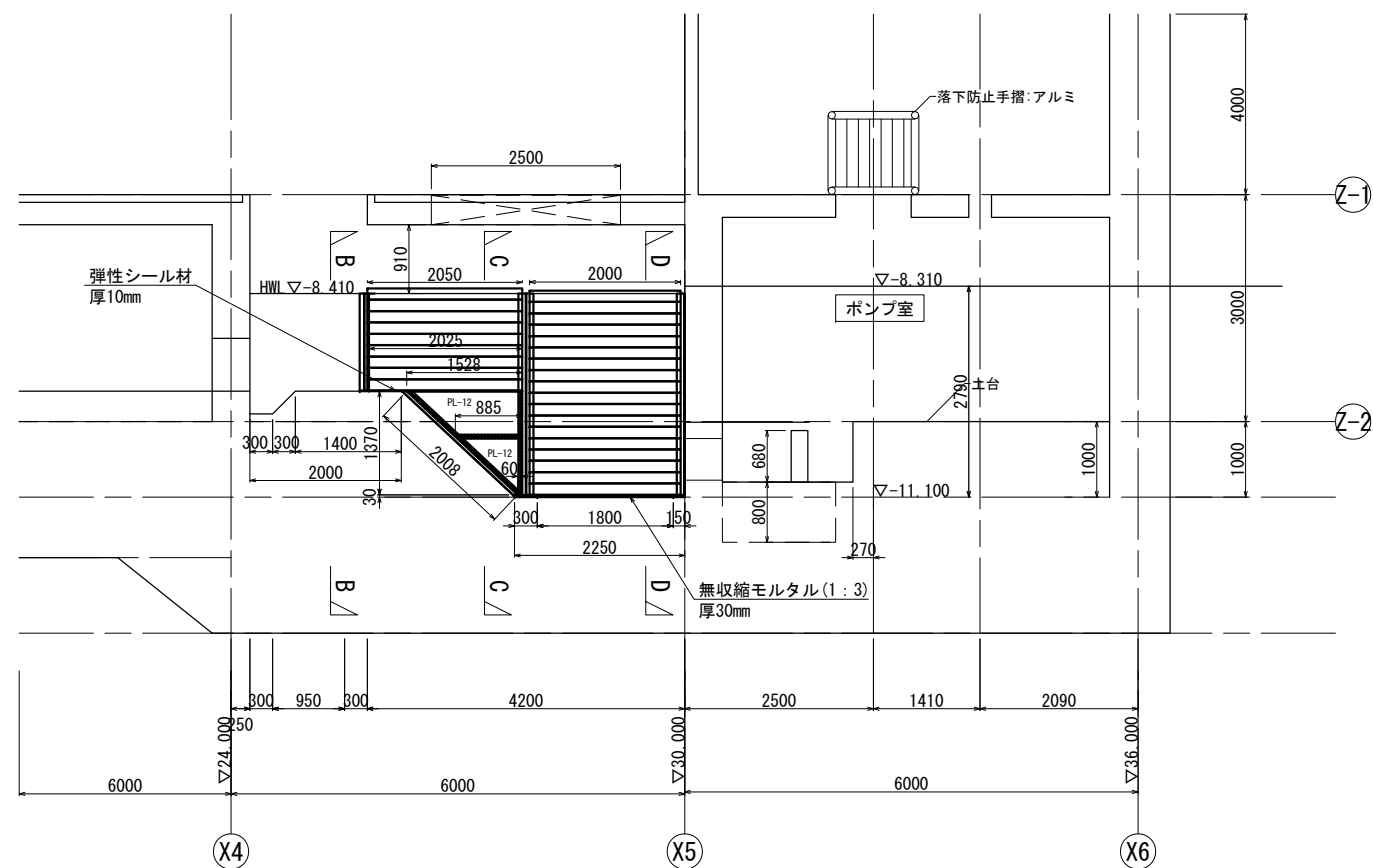
B-B断面図 1/30

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	仮設支保工設置図		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	1/30	図面番号	C-24
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		

仮壁詳細図(1)



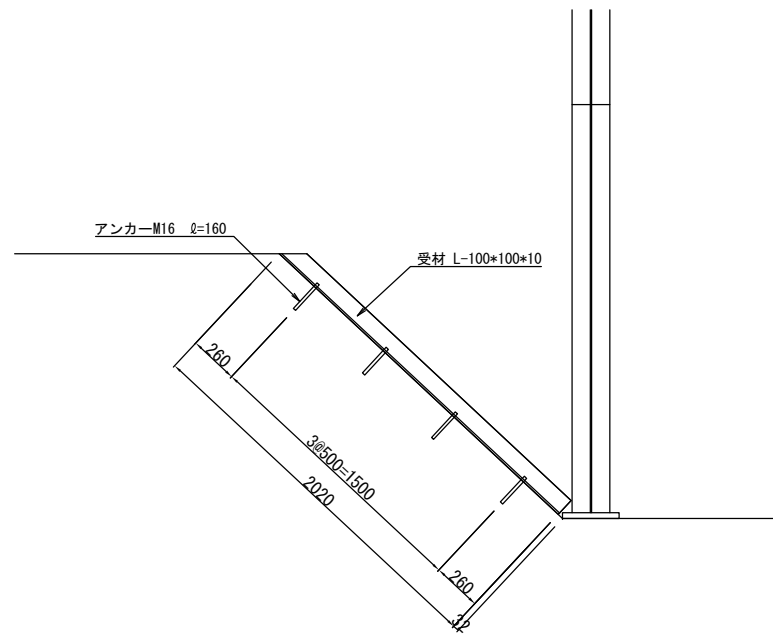
地下2階平面図 1/50



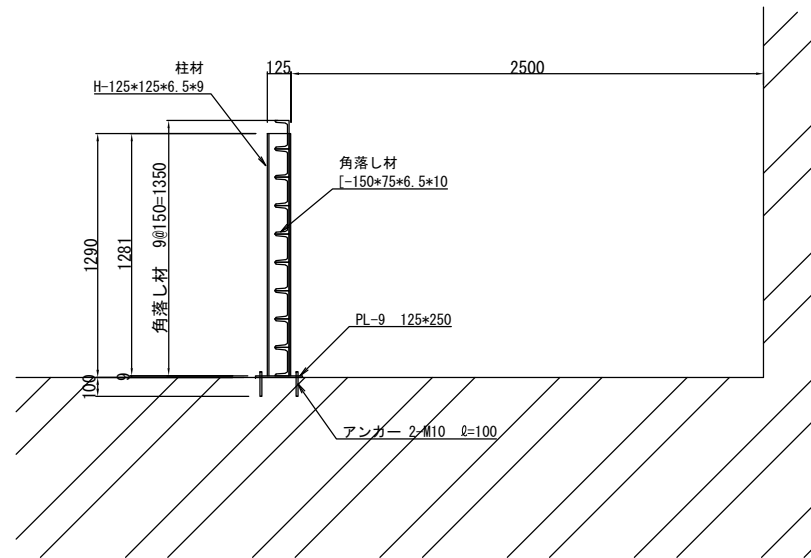
A-A断面図 1/50

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	仮壁詳細図(1)		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	1/50	図面番号	C-25
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		

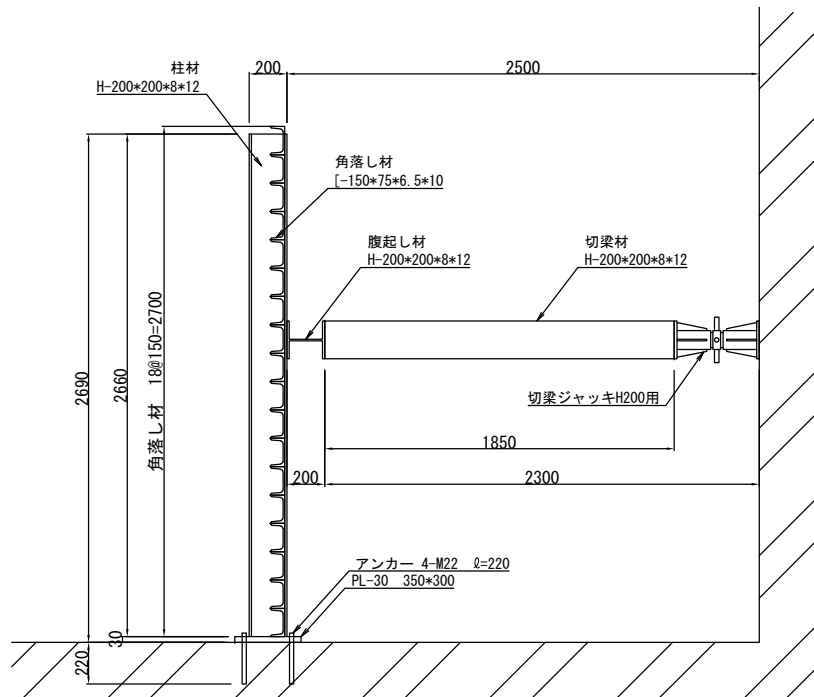
仮壁詳細図(2)



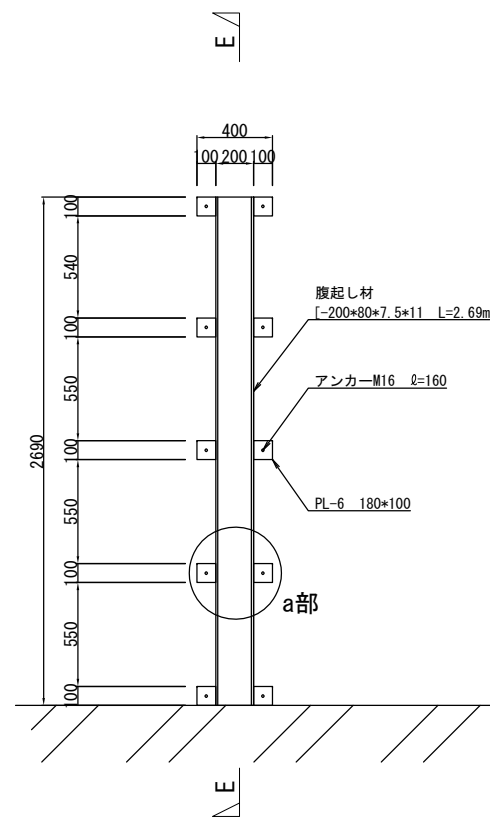
勾配部詳細図 1/20



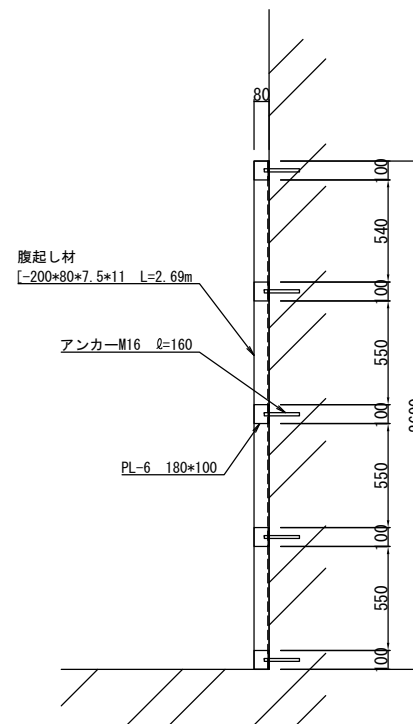
B-B断面図 1/20



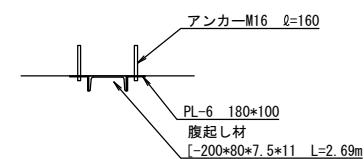
C-C断面図 1/20



D-D断面図 1/20



E-E断面図 1/20



a部詳細図 1/20

工事名	芝川ポンプ場耐震補強工事		
図面名	仮壁詳細図(2)		
作成年月	令和8年3月		
縮尺	1/20	図面番号	C-26
設計者	株式会社 日建技術コンサルタント		
発注者	埼玉県 上尾市		